



acdsee™ Photo Studio

Ultimate 2020



acdsee™

目次

CHAPTER 1: はじめに	18
ACDSee Photo Studio Ultimate 2020 へようこそ	18
ACDSee のユーザー インターフェイスについて	18
管理モード	19
写真モード	19
表示モード	19
現像モード	19
編集モード	20
365 モード	20
ダッシュボード モード	20
でモードを切り替える ACDSee	20
管理モードを使用する	20
管理モード ペインについて	21
管理モード ドロップダウン メニュー	21
ユーザーの好みに合わせて管理モード ペインを開いたり閉じたりすることができます。	22
ペインを移動する	22
ペインを固定する	22
ペインを重ねてタブとして表示する	23
ペインのサイズを変更する	23
レイアウトを既定設定に戻す	23
写真モードを使用する	23
画像を表示する	24
カタログ化	24
表示モードを使用する	25
フル スクリーンで画像を表示する	25
表示モード ペインを使用する	26
画面下のツールバーを使用する	26
表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用する	27
管理モードに切り替える	28
現像および編集モードを使用する	28
ワークフロー	28
365モードを使用する	30
画像をアップロードする	30
ダッシュボード モードを使用する	30
ファイルのカタログ化	30
ダッシュボード モード	31
CHAPTER 2: ヘルプを表示する	32
クイックスタートガイドを使用する	32

その他のリソースとサポートを見る	32
CHAPTER 3: 管理モード	33
以下を使用してファイルをインポートする ACDSee	33
Windows [自動再生] ダイアログボックスを使用してファイルをインポートする	33
特定デバイスの種類からファイルをインポートする	34
リムーバブル デバイスについて	34
デバイスから写真をインポートする	34
スキャナから写真をインポートする	38
CDまたはDVDから写真をインポートする	38
ディスクから写真をインポートする	39
名前の変更テンプレートを作成する	39
Lightroom® データベースをインポートする	40
モバイルによる画像の操作	41
ACDSee Mobile Sync を使用して、モバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する	42
はじめに	43
画像とビデオを送信する	44
ファイル一覧 ペインでファイルを参照する	44
ファイル一覧ペインを使用する	44
オーバーレイアイコンの表示を変更する	47
ファイル一覧ペインを最大化する	47
ファイルの作成と管理	47
フォルダペインで参照する	48
複数のフォルダを選択する	48
フォルダの作成と管理	48
日時またはイベントごとにファイルを参照する	49
イベントモードに説明やサムネイルを追加する	50
お気に入りファイルを参照する	51
ショートカット ペインを開く	51
ショートカットを作成する	51
新規フォルダを作成する	51
ショートカットまたはフォルダを削除する	52
カタログ ペインを使用する	52
イージーセレクトバー	52
フォルダを ACDSee データベース	52
RAW ファイルを閲覧する	52
管理モードで顔を検出する	53
顔データの埋め込みと取得	54
表示を変更する	54
詳細表示をカスタマイズする	54
ファイルにフィルタを適用する	55

ファイルをグループ化する	56
ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには	56
ファイル一覧からグループを削除するには	57
1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには	57
ファイルを並べ替える	57
列のヘッダーでファイルを並べ替える	58
ファイルのカスタム並び替え	58
ファイルを選択する	58
画像をプレビュー表示する	59
情報パレット	59
画像を回転する	60
画像を比較する	60
画像バスケットに画像を集める	63
[管理]モードで[現像設定]を表示する	64
現像調整内容のコピーと貼り付け	64
画像を復元する	64
ACDSee でファイルのカタログ化・管理 ACDSee	65
カタログ ペインを使って整理する	65
カテゴリ	65
人物	65
キーワード	65
重要度	65
カラーラベル	66
自動カテゴリ	66
保存済み検索	66
スペシャルアイテム	66
データベースと ACDSee 埋め込まれたデータ	67
イージーセレクトバー	67
完全一致/部分一致	67
カテゴリを作成する	68
カテゴリを管理する	68
アクセスのしやすいカテゴリーセットを作成する	69
カテゴリと重要度の割り当てと検索	69
重要度を素早く設定する	69
[カタログ] ペインでカテゴリと重要度を設定する	70
[プロパティ] ペインでカテゴリと重要度を設定する	71
ファイルからカテゴリや重要度を削除する	72
カラーラベルを割り当てる	72
カラーラベルセットを作成する	72
カラーラベルを割り当てる	73

ラベルに割り当てられたファイルを検索する	74
カラーラベルとカラーラベルセットを削除する	75
コレクションを作成する	75
コレクションセット	77
スマート コレクション	77
[プロパティ]ペインを使用する	78
[プロパティ]ペインの構成	78
メタデータ タブ	79
[整理] タブ	79
[ファイル] タブ	79
ACDSeeメタデータをファイルに埋め込む	79
オートアドバンスによる参照とカタログ化	80
管理モード	80
キーワードとカテゴリ	81
キーワード	81
カテゴリ	81
表示モード	81
マップ ペインを使用する	81
マップ ペインを使用したワークフロー	83
ファイルにメタデータを追加し、プリセットを使用する	83
メタデータのコピーと貼り付け	84
メタデータ プリセット	85
メタデータ表示とプリセットを管理する	86
階層キーワードの作成と割り当て	87
キーワードを作成する	87
キーワードを管理する	88
クイックキーワードを作成する	88
キーワードのインポートとエクスポート	89
人物マネージャで割り当てた名前を管理する	89
ファイルのコピーと移動	90
画像をクリップボードにコピーする	91
ファイルまたはフォルダを貼り付ける	91
ファイルを置き換える / 上書きする	91
ファイル名 やフォルダ名を変更する	92
プライベートフォルダにファイルを入れる	92
画像またはファイルにタグを付ける	94
ファイルからメタデータを削除する	95
自動カテゴリから IPTC キーワードを削除する	95
画像プロパティの日時を変更する	96
ファイルを別のコンピュータにバックアップする	97

同期を更新または削除する	98
保存されている同期を起動する	98
次のもので検索する ACDSee	98
クイック検索バーを使用する	99
検索ペインを使用する	100
検索ペイン領域	100
プロパティ領域	101
ファイル名のパターンで検索する	102
ブラウズ検索を使用する	102
ブラウズ検索ペインで検索範囲を設定する	102
ブラウズ検索を使用する際のヒント	103
ブラウズ検索パネルを非表示にする	103
自動カテゴリで検索する	103
よく使うカテゴリを識別する	104
自動カテゴリ検索を絞り込む	104
重複ファイルを検索する	104
ファイルの削除と名前変更	105
画像をすばやく検索する	106
で共有する ACDSee	106
スクリーン キャプチャを実行する	106
電子メールで画像を送信する	107
ACDSee 365 で共有、メール送信する	108
デスクトップ スクリーンセーバーを作成する	108
スライドショーを表示、設定する	111
スライドショーとスクリーン セーバーを共有する	113
デスクトップ スライドショーを作成する	114
ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方	114
PDFを作成する	115
PowerPoint プレゼンテーションを作成する	115
HTMLアルバムを作成する	116
ウェブサイト写真に写真をアップロードする	117
コンタクトシートを作成する	118
ファイルのアーカイブを作成する	119
アーカイブを展開する	119
画像とドキュメントを印刷する	120
プリンタ オプションを設定する	121
カスタム印刷レイアウトを作成する	122
画像サイズと位置を設定する	123
印刷調整の設定をする	123
ページにテキストを追加する	123

コンタクトシート オプションを設定する	124
一括処理について	125
一括エクスポートを使用する	125
複数の画像を別のファイル形式に変換する	129
複数の画像を回転/反転する	130
回転/反転済みファイルのオプションを設定する	131
複数画像のサイズを変更する	131
ファイルのオプションを設定する	132
複数の画像の露出を調整する	133
一括露出処理オプションを調整する	134
複数のファイル名を変更する	135
複数画像のカラープロファイルを変更する	136
編集の一括処理	137
回転の一括処理オプション	139
トリミングの一括処理オプション	140
サイズ変更の一括処理オプション	140
色の一括処理オプション	142
チャンネル ミキサの一括処理オプション	142
セピアの一括処理オプション	143
露出の一括処理オプション	143
Light EQ™ の一括処理オプション	145
ノイズ除去の一括処理オプション	145
シャープネスの一括処理オプション	146
ピネットの一括処理オプション	146
テキスト オーバーレイの一括処理オプション	147
透かしの一括処理オプション	149
現像の一括処理を使用する	150
データベース ACDSee について	152
ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む	153
埋め込み保留中アイコン	154
データの埋め込みが必要なファイルを表示する	154
ファイルに埋め込まれている ACDSee メタデータを取得する	154
データベースからフォルダを除外する	155
データベースのファイルをカタログ化する	155
ACDSeeインデクサーについて	155
複数のデータベースの作成と切り替え	156
旧バージョンのデータベースを変換する	157
データベース情報をインポートする	157
他のソースからファイル情報をインポートする	158
フォトディスクをインポートする	158

アルバムをインポートする	158
Description ファイルの使い方	158
データベース情報をエクスポートする	159
ファイル一覧を作成する	159
データベースをバックアップする	159
データベース バックアップのヒントと手順	160
バックアップ スケジュール	161
バックアップの保存先	161
バックアップ サイズ	161
バックアップからデータベース情報を復元する	161
データベースのメンテナンス	161
データベースを最適化する	162
取り込むデータベース用にドライブをマップする	162
サムネイルとメタデータの再構築	163
ファイルを隔離する	163
プラグインを使用する	163
プラグインの種類	163
プラグインを管理する	164
プラグインを無効にする	164
プラグインの優先順序を変更する	164
プラグインのプロパティとヘルプを表示する	164
ACDSee SeeDrive™	165
ACDSee 365 のファイルを SeeDrive™ で管理する	165
アップロードする	166
ダウンロードする	166
フォルダを公開 / 非公開にする	167
ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする	167
ACDSee SeeDrive™ でフォルダを共有する	167
ACDSee SeeDrive™ でフォルダの URL をコピー & 貼り付けてフォルダを共有する	168
CHAPTER 4: 写真モード	169
写真モードを使用する	169
画像を表示する	169
カタログ化	170
CHAPTER 5: 表示モード	171
自動レンズで画像をプレビューする	171
Light EQ™	172
RAW画像を表示する	172
画像を回転する	172
ヒストグラムを使用する	173

表示モードで顔検出と顔認識を使用する	173
候補	174
画像送りで画像を表示する	175
表示モードで画像にテキストを表示する	175
画像テキストを隠す	176
画像の一部を選択する	176
表示モードでファイル プロパティを表示する	177
ビジネスドキュメントを表示する	177
表示モードでPDFファイルを表示する	178
表示モードで[現像設定]を表示する	179
現像調整内容のコピーと貼り付け	179
画像を復元する	179
表示モードでプリセットを適用する	180
ブラシ ファイルを表示する/使用する	180
ビデオとオーディオファイルを再生する	181
オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する	181
メディア ツールバー	181
動画のフレームを画像として保存する	181
画像に音声を追加/編集する	182
画像にオーディオを録音する	182
画像とドキュメントを表示モードで印刷する	183
表示モードとフォルダを同期する	185
画像をデスクトップの壁紙に設定する	185
オフライン画像を表示する	186
フォトディスクを再結合する	186
ACDSee クイックビュー を使う	186
クイックビュー でWindows Touch Gestures™ を使用する	188
別のアプリケーションでファイルを表示する	188
オリジナルの表示	188
変更の確定	189
画像の色深度を変更する	189
画像をズームする	189
ズーム レベルを設定する	190
画像を自動で拡大/縮小する	190
ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する	191
拡大された画像のパンニング	192
パンを固定する	192
画像の特定領域を拡大表示する	192
CHAPTER 6: 現像モード	193
現像モードを使用する	193

画像を現像する	193
保存とキャンセル	193
オリジナルの設定に戻す	194
ヒストグラムと画像の表示コントロールについて	194
画像を表示する	196
表示をカスタマイズする	196
画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする	196
現像設定を共有する	198
オリジナルファイルを復元する	199
現像設定をコピーアンドペーストする	199
現像スナップショットを取得する	200
スナップショットの閲覧	201
現像モードでプリセットを使用する	202
プリセットを作成して適用する	202
1つの画像にプリセットを適用する	205
複数の画像にプリセットを一括適用する	205
プリセットの名前を変更する	205
プリセットを削除する	206
プリセットをインポートおよびエクスポートする	206
現像で画像を保存する	207
画像を保存する	207
ACDSeeでの画像の変更の保存方法	208
Pro 3 RAW 処理エミュレーション	208
現像モードで現像設定を表示する	209
現像ブラシを使用する	209
スマート ブラシ	213
グラデーションツールを使用する	214
放射状グラデーションツールを使用する	216
調整タブについて	218
保存とキャンセル	218
全般調整を使用する	219
eVに関するテクニカル解説	219
ホワイト バランスを調整する	219
ライティングを調整する	220
ベーシック Light EQ™	221
標準のLight EQ™	221
高度なLight EQ™	223
グラフ	223
色を調整する	225
トーンカーブを調整する	230

ソフト フォーカスを調整する	230
現像モードのエフェクトを適用する	231
写真エフェクト	231
カラーオーバーレイ	231
グラデーション マップ	231
グレインを追加	232
クロス処理効果	232
LUT を使用してカラー グレーディング	232
現像モードでブレンド モードと不透明度を使用する	233
不透明度	233
ブレンド モード	233
スプリット トーンを調整する	234
切り抜き後の周辺光量補正を調整する	235
RAW ファイル用の出力色空間を選択する	235
ディテール タブについて	236
保存とキャンセル	236
シャープネス	237
ノイズを除去する	237
スキントーンを調整する	238
色収差の補正	238
ジオメトリ タブについて	239
保存とキャンセル	240
レンズの歪みを補正する	241
回転 & 傾きを直す	242
遠近を補正する	243
トリミング	243
トリミング ウィンドウのサイズを変更する	244
レンズのヴィネット補正	245
修復タブについて	245
保存とキャンセル	245
赤目を補正する	246
画像を修復する	247
CHAPTER 7: 編集モード	249
編集モードの使い方	249
現像モードから編集モードへの切り替え	249
画像を編集する	249
現像設定またはオリジナルの設定に戻す	250
元に戻す、やり直し	250
ヒストグラムと画像の表示コントロールについて	251
編集でプリセットを使用する	252

プリセットをインポートおよびエクスポートする	253
元に戻す/やり直しボタンを使用する	253
オリジナルの設定または現像済み設定に復元する	254
オリジナルの画像に復元する	254
現像済みの設定に復元する	254
編集モードで画像を保存する	254
画像を保存する	254
ACDSee での画像の変更の保存方法	255
Photoshop® プラグインを適用する	256
カラーまたはトーンを調整する対象	257
ピクセルターゲット パネル	257
編集ブラシを使用する	258
編集ブラシ	258
スマート ブラシ	259
グラデーションツールを使用する	260
放射状グラデーションツールを使用する	261
ブレンドモードと不透明度について	262
不透明度	262
ブレンドモード	262
ルーラーとガイドラインを追加する	264
レイヤーを使用する	264
調整レイヤーを使用する	268
調整レイヤーと設定	269
レベル調整レイヤー オプション	269
カーブ調整レイヤー オプション	269
RGB 調整レイヤー オプション	269
色追加調整レイヤー オプション	270
写真エフェクト調整レイヤー オプション	270
かすみ除去調整レイヤー オプション	271
ポストライズ調整レイヤー オプション	271
しきい値調整レイヤー オプション	272
カラー LUT レイヤーオプション	272
レイヤーでマスクを使用する	272
マスクのプロパティ	275
マスクの柔軟性	275
特定の色とトーンからレイヤー マスクを作成する	277
画像からレイヤーマスクを作成する	277
テキストをレイヤーとして追加する	278
テキストのラスタライズ	279
キャンバスのサイズを変更する	279

ドラッグによるサイズ変更	279
サイズ変更と配置	280
レイヤーのエフェクトを適用する	280
周波数分離でレタッチする	283
画像をリタッチする	284
多焦点合成で合成する	284
[管理] モードのとき	285
編集モードのとき	285
HDR 画像を作成する	286
HDR写真の撮影	286
[管理] モードのとき	287
[編集] モードのとき	287
自動位置合わせを使用する	288
自動ブレンドを使用する	288
ACDSee アクションで調整を記録・適用する	289
記録を適用する	292
[管理] モードのとき	292
[表示] モードのとき	292
編集モードのとき	293
アクション カテゴリを管理する	295
記録カテゴリを管理する	295
アクションを共有する	295
選択範囲を使用する	296
選択範囲 ツール	297
オーバーレイオプション	297
選択範囲 ツールを使う	297
ツールを組み合わせて使用する	301
選択範囲を絞り込む	302
編集またはエフェクトを選択範囲に適用する	302
スマート削除ツールを使用する	303
赤目を補正する	304
画像を修整する	304
スマート消去	306
スキントーンを調整する	306
色収差を補正する	307
画像に描画を追加する	308
画像に透かしを追加する	314
枠を追加する	315
ユーザー定義のテキストチャやエッジを追加する	318
テキストチャ	319

エッジ	319
ピネットを追加する	319
チルトシフト効果を追加する	321
グレイン エフェクトを追加する	322
特殊効果フィルタについて	323
特殊効果: 曇りガラス	323
特殊効果: ブラインド	324
特殊効果: ブルースチール	325
特殊効果: Bob Ross	325
特殊効果: 膨張	326
特殊効果: マンガ	327
特殊効果: ノスタルジア	328
特殊効果: 雲	329
コラージュ エフェクトを適用する	330
特殊効果: カラーエッジ	330
特殊効果: 等高線	331
特殊効果: クレヨン画	332
クロスハッチ エフェクトを適用する	333
特殊効果: ペンキ画	333
特殊効果: ドラマチック	334
エッジ検出エフェクトを適用する	335
特殊効果: エンボス	335
特殊効果: 柔毛エッジ	336
特殊効果: グルーム	337
特殊効果: ネオン効果	338
特殊効果: グラデーションマップ	339
特殊効果: グラナイト	339
特殊効果: グランジ	340
特殊効果: 揺れ	341
ロモ エフェクトを適用する	342
特殊効果: ミラー	342
ネガ エフェクトを適用する	343
特殊効果: オイルペイント	344
特殊効果: アンティーク	344
オートン効果	345
特殊効果: 輪郭	346
鉛筆画エフェクトを適用する	347
特殊効果: 写真	347
特殊効果: ピクセル爆発	348
特殊効果: モザイク	349

特殊効果:ポスタライズ	349
特殊効果:霞み	350
特殊効果:光線ぼかし	351
特殊効果:雨	352
特殊効果:波紋	353
特殊効果:飛散タイル	354
セピア エフェクトを適用する	354
特殊効果:70年代	355
特殊効果:金属シート	356
特殊効果:シフト	356
特殊効果:アングル	357
ソーベル エフェクトを適用する	358
特殊効果:ソラリゼーション	359
特殊効果:くすみ	359
特殊効果:スタンドグラス	360
特殊効果:太陽スポット	361
特殊効果:渦巻き	361
特殊効果:しきい値	362
特殊効果:地形図	363
特殊効果:ウォーター	364
特殊効果:ウォータードロップ	365
特殊効果:波	366
特殊効果:織り	366
特殊効果:風	367
特殊効果:カスタムフィルタ (畳み込み効果)	368
画像を回転する	369
画像を反転する	370
画像をトリミングする	371
トリミング ウィンドウのサイズを変更する	371
遠近の歪みを補正する	372
歪みを補正する	372
レンズの歪みを自動補正する	373
画像のサイズを変更する	374
ピクセルのサイズ変更オプションと効果	375
液状化 ツールを使用して歪み付加とレタッチ処理を実行する	376
画像の露出を調整する	377
画像のレベルを調整する	378
レベルを自動調整する	380
トーンカーブを調整する	380
ライティングを調整する	381

[1-ステップ] タブを使用する	382
[ベーシック] タブを使用する	382
[標準] タブを使用する	383
[アドバンス] タブを使用する	384
スライダ	384
グラフ	384
覆みを除去する	387
覆い焼き・焼きこみ	388
画像の一部に覆い焼き、焼きこみを適用する	388
ホワイト バランスを調整する	389
色を調整する	390
カラー バランスを調整する	395
グレースケール画像を作成する	396
スプリットトーンを調整する	398
LUTを使用したカラーグレーディング	398
カラーLUTを作成する	399
ヒストグラムを使用する	400
色の設定 ダイアログボックスを使用する	400
標準タブ	401
カスタムタブ	401
カラーを選択する/調整する	401
画像の鮮明化	402
画像をぼかす	403
ノイズとノイズ除去について	405
ノイズを除去する	405
ノイズを追加する	407
ディテールを調整する	408
明瞭度を調整する	408
<hr/>	
CHAPTER 8: 365 モード	410
365 モードを使用する	410
365.acdsee.com アカウントの作成	411
365.acdsee.com に画像をアップロードする	411
フォルダを設定して自動的に Web を同期する	412
公開または非公開のフォルダを作成する	413
重要度設定システムを変更する	414
画像をダウンロードする	414
転送マネージャを使用する	414
<hr/>	
CHAPTER 9: ダッシュボード モード	416
ダッシュボード モードを使用する	416

ファイルのカタログ化	416
ダッシュボード モード	416
CHAPTER 10: PICAVIEW	417
ACDSee PicaView について	417
CHAPTER 11: オプションと設定	418
全般オプションを設定する	418
画像の自動表示オプションの設定	418
[モード設定オプション]を設定する	419
管理モード オプションを設定する	419
クイック検索オプションを設定する	420
[顔の検出と認識]オプションを設定する	420
[顔検索オプション]の設定	422
ファイル一覧ペイン オプションを設定する	423
サムネイル情報オプションを設定する	425
サムネイルのスタイル オプションを設定する	426
詳細表示オプションを設定する	427
プレビュー ペイン オプションを設定する	427
フォルダ ペイン オプションを設定する	428
カタログ ペイン オプションを設定する	429
カレンダー ペイン オプションを設定する	429
CD/DVD管理オプションを設定する	430
プロパティ ペイン オプションを設定する	430
ファイル管理オプションを設定する	431
カラーマネージメント オプションを設定する	432
データベース オプションを設定する	433
写真モードのオプションを設定する	434
表示モードのオプションを設定する	435
表示オプションを設定する	436
現像および編集モードオプションの設定	437
ルーラーとガイドラインのオプションを設定する	439
ACDSee 365オプションを設定する	439
ACDSee Showroomオプションを設定する	440
ACDSee クイックビュー オプションを設定する	441
メディア オプションを設定する	442
ACDSeeインデクサー オプションを設定する	442
ACDSee PicaViewオプションを設定する	443
ACDSee Mobile Syncオプションを設定する	443
文書ファイルの種類オプションを設定する	444
ACDSee を複数のモニターで使用する	444

管理モード	444
表示モード	445
現像および編集モード	445
カスタム作業領域を作成する	445
ペインとパネルを自動非表示にする	445
タスクペインを使用する	446
ツールバーをカスタマイズする	446
ツールバーを表示/非表示にする	446
ツールバーの内容をカスタマイズする	446
管理モード:	447
表示モード:	447
ツールバーをリセットする	447
ツールバーとペインの位置をカスタマイズする	448
ペインを非表示にする	448
表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する	448
表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する	448
カスタムメニューを作成する	449
外部エディタを設定する	450
キーボード ショートカットをカスタマイズする	451
配色を変更する	452
JPEGオプションを設定する	452
<hr/>	
CHAPTER 12: ショートカット	453
管理モードのキーボード ショートカット	453
管理モードのマウス ショートカット	460
表示モードのキーボードショートカット	461
表示モードのマウス ショートカット	470
カレンダー ペインのショートカット	470
現像/編集モードのキーボードショートカット	471
現像/編集モードのマウス ショートカット	483
365 モードのキーボードショートカット	484
365 モードのマウス ショートカット	485
ACDSee PicaView のキーボードショートカット	486
<hr/>	
CHAPTER 13: ファイル フォーマット	487
RAW ファイルについて	487
ファイルの関連付け	487
<hr/>	
用語集	488
<hr/>	
索引	498

Chapter 1: はじめに



ACDSee Photo Studio Ultimate 2020 へようこそ

ACDSee へようこそ業界をリードするデジタル写真 および文書管理ソフトウェア。

ACDSee は、デジタルカメラで撮影された写真やその他のメディア ファイルをインポート、管理、整理、表示、編集、共有するために不可欠なアプリケーションです。ACDSeeはさまざまな形式や場所のファイルの管理を可能にします。

一緒に ACDSee カメラからコンピュータに画像をインポートしたり、ファイルの分類や評価だけでなく、あらゆるサイズの数百から数十万もの画像からなる画像コレクションを管理することができます。サムネイルのプレビューから選択したり、プロパティの詳細リストを使用してファイルを並べ替えるなどの作業も瞬時に実行可能です。探している画像が見つからない? 問題ありません。ACDSee 様々な検索ツールの他、重複を避けるための「画像の比較」機能が備わっています。

写真ワークフローの統合的な管理を実現し、より早く撮影現場に戻りましょう。ACDSee は、プロ写真家のための総合管理ソリューションです。

ACDSee での写真ワークフローを構築して、違いを実感してください。柔軟なカタログ機能、比類なき高速表示、強力な写真編集機能を備えたACDSeeは、多忙なプロ写真家だけでなく、ハイエンドアマチュアにとって、ベストチョイスです。大幅に強化されたRAW現像処理機能、フルセットのメタデータ ツール、高速な表示速度が追加され、すべてが備わった写真編集および管理機能をお楽しみいただくことができます。ACDSeeがワークフローを効率化するため、あなたは本来の作業、「素晴らしい写真を撮ること」に集中できるようになります。

特許技術の Light EQ™画像処理技術を搭載した ACDSeeLight EQ™ ツールは、シングル露出で HDR画像を作り出すアルゴリズムによって、写真のダイナミックレンジを正確かつ合理的に拡大し、信じられないほどリアルでその場の雰囲気を出し出すような画像を作り出します。

表示モードでは、高速・高画質な画像の表示が可能です。スライドショーや埋め込みオーディオの再生、マルチページ画像の表示だけでなく、50 種類以上の画像およびマルチメディア ファイル フォーマットがサポートされています。

さらに、ACDSee ACDSeeは、広範に渡る画像処理ツールを備え、デジタル イメージの作成、編集、修整が可能です。赤目修整、トリミング、シャープネス、ぼかしなどのツールや写真の修復、修整ツールを是非お試しください。画像処理ツールを使えば、露出調整、変換、サイズ変更、名前の変更、回転などの機能を複数のファイルに一括して適用することも可能です。

ユーザー インターフェイスをお好みに合わせてカスタマイズをすることで、ツールや機能にすばやくアクセスすることができます。画面のレイアウトや画像の順番、ツールバーの表示その他数多くのオプションをお好みに合わせてカスタマイズすることが可能です。ACDSee ヘルプが、アプリケーションの様々な使用状況において、コンテキストに基づく高度なサポートを提供します。

ACDSee ACDSeeは、ビギナーからプロまで誰でも簡単に、しかも楽しみながら使うことのできる、高速でパワフルな画像ファイル管理ソフトです。

ACDSee のユーザー インターフェイスについて

ACDSee ユーザー インターフェイスはさまざまなツールや機能を簡単に使用でき、写真やメディア ファイルを閲覧、表示、編集、管理することができます。ACDSee は、次の 7 つのモードで構成されています: 管理モード、写真モード、表示モード、現像モード、編集モード、365 モード、ダッシュボード モード。

管理モード

1 管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、ACDSee デスクトップのショートカット アイコンをクリックしてを起動する際、常に表示されます。ほとんどのペインは、オプション設定によるカスタマイズが可能です。

管理モードは 15 のペインで構成されますが、不使用時にはそのほとんどが閉じられています。[ファイル 一覧ペイン](#) は常時表示されており、現在のフォルダの内容、最後の検索結果、フィルタ適用の条件に一致するデータベース内のファイルなどが表示されます。管理モードの一番下にあるステータスバーには、現在選択されているファイル、フォルダ、またはカテゴリの情報が表示されます。

表示モードでは、メディアファイルの再生を再生したり、フル解像度の画像を 1 枚ずつ表示したりすることができます。また、画像プロパティペインを表示したり、画像の一部を拡大表示したり、カラー情報を詳しく表示したりすることも可能です。

画像を選択し、表示モード タブをクリックして表示モードで開いたり、フィルムストリップを活用して、フォルダ内の画像を素早く行き来して表示したりすることができます。表示モードには、頻繁に使用するコマンドへのショートカットを含むツールバーと、ウィンドウの下にあるステータスバーが搭載されています。ステータスバーには、現在選択されている画像またはメディアファイルに関する情報が表示されます。

写真モード

2 写真モードは、画像コレクション全体を日付別に表示できるツールです。画像を年別、月別、日別に表示できます。Microsoft OneDrive™ がある場合、OneDrive 画像コレクションをハードディスクの画像コレクションと一緒に表示するか、ハードディスクのコレクションのみを表示するかを切り替えることができます。写真モードでは[カタログ](#)化された画像のみが表示されます。[写真] モードでは、画像の EXIF データに示される撮影の日付別に画像が表示されます。

写真モードは、日付ペインとタイムラインペインという 2 つのペインで構成されます。日付ペインでは、カタログ化された写真コレクションすべてが日付別に表示されます。タイムラインペインには写真の年と月、それぞれに含まれる写真の枚数が表示されます。各画像を選択して、別のモードで立ち上げることもできます。

表示モード

3 表示モードでは、一度に 1 ファイルずつ、フル解像度でメディアファイルを再生したり、画像やドキュメントを表示したりすることができます。現像モードでは画像の露出、ホワイトバランス、カラープロファイル、シャープネス、ノイズ除去など数多くの非破壊編集処理が可能です。

表示モードを開くには、画像またはドキュメント を選択し、[表示モード]タブをクリックします。表示モードのフィルムストリップを使用すると、フォルダ内の全ファイルをすばやく切り替えて表示することができます。表示モードには、一般的に使用されているコマンドのショートカットが表示されているツールバーがあり、ウィンドウの下部には、現在のイメージやメディア ファイルに関する情報が表示されるステータスバーがあります。

現像モード

4 画像の非破壊的画像調整はほぼすべて現像モードで行います。その後で画像を[編集]に移行させて微調整します。画像の露出、ホワイトバランス、カラープロファイルを調整したり、画像をシャープにしたり、ノイズ除去をしたりするには、現像モードの非破壊編集ツールを使用します。

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像 データを扱います。パラメトリック編集とは、現像モードで画像編集を行う際、編集モードで行うように実際の画像ピクセルを調整するのではなく、調整の指示を作成するということです。現像モードの非破壊処理は完全に相互作用し、決まった順番で適用されることによって最高の画像品質を引き出します。RAW ファイルを扱う場合、可能な限り RAW 画像データを使用して調整を適用します。

編集モード

5 現像モードで画像の非破壊的調整をした後、編集モードで赤目除去などのピクセルベースのさまざまな編集ツールを使用して画像を微調整します。

編集モードはすでにRGBにレンダリングされている画像データを扱います。編集はその順番通りに変換されたRGBデータに個別に適用されます。この編集方式により、ユーザーはピクセルを完全にコントロールし、自由な創造性によって正確な調整を適用することができます。選択範囲やブレンドモードなどの利用が可能なもの編集モードの特徴です。

365モード

6 365モードを使うと、365.acdsee.comに簡単に画像をアップロードして、自分の連絡先と共有したり、公開したりすることができます。365モードでは、画像をコンピュータで選択し、365.acdsee.comに直接ドラッグアンドドロップできます。

ダッシュボードモード

7 ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、ACDSeeデータベースとEXIF情報に基づいたデータベース統計情報にすばやくアクセスして閲覧できます。ダッシュボードモードはお使いのデータベースに由来する情報に依存しているため、このモードを最大限に活用するにはカタログの作成が重要になります。

でモードを切り替える ACDSee

ACDSeeでは、管理、写真、表示、現像、編集、365、ダッシュボードという7つのモードを素早く切り替えることができます。

モードボタンはACDSeeウィンドウの右上にあります：



モードからモードへの切り替えをするには：

次のいずれかのモードボタンをクリックします：

- **管理**：写真のインポート、閲覧、整理、比較、検索、印刷などを行うためのモードです。
- **写真**：全画像コレクションが日付ごとに表示されます。
- **表示**：写真を表示したり、拡大表示して細かい部分を確認するためのモードです。
- **現像**：現像ツールの非破壊的能力を使用してすべての画像を調整します。
- **編集**：ピクセルベースの編集ツールを使用して、写真の修整や画質の向上を行います。
- **365**：365.acdsee.comに画像をアップロードして、友人や世界中のユーザーと画像共有するためのモードです。
- **ダッシュボード**：ファイル、カメラ、データベース統計情報へのアクセスや閲覧を簡単に行うことができます。

管理モードを使用する

管理モードでは、ファイルや画像の参照、並べ替え、カタログ作成、操作、共有を行うことができます。異なるツールやペインを組み合わせ、高度な検索やフィルタオプションを設定したり、画像やメディアファイルのサムネイルをプレビュー表示をすることができます。

スクリーン右上部にあるボタンをクリックして、他のモードに素早く切り替えることも可能です。

管理モード内のペインはカスタマイズが可能で、移動、サイズ変更、非表示、固定または閉じることができます。また、ペインを重ねてタブとして表示することも可能です。必要なペインにのみアクセスができるので、画面を効率的に使用することができます。

表示したいペインが表示されない場合は、左上のメインツールバーの[ペイン]をクリックして、ペインを選択してください。

管理モード ペインについて

管理モードは次のペインで構成されています。

ファイル一覧	このペインには現在選択されているフォルダの 内容 、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。ファイル一覧ペインはカスタマイズ可能で、ファイルの表示方法やサムネイルのサイズ変更を行うことができます。
フォルダ	このペインには、Windows エクスプローラのフォルダツリーのような、コンピュータの フォルダ構成 が表示されます。フォルダペイン からフォルダを選択し、フォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。ファイル一覧に複数フォルダの内容を表示するには、左ペインにある各フォルダのイージーセレクトボックスをクリックします。
カレンダー	このペインには、ファイルと関連付けられた日付をもとにファイルを管理したり検索することのできる カレンダー が表示されます。
ショートカット	このペインには、お気に入りの画像、ファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットが表示されます。画像、ファイル、フォルダを ショートカットペイン にドラッグすると、オリジナルの画像に全く影響も与えることなく、オリジナルのショートカットが作成されます。
ラベルが割り当てられた	このペインでは、強力な 検索ユーティリティ にアクセスできます。[検索ペイン] では、検索の種類を選択し、フィールドに検索項目を入力するだけです。 また、検索に名前を付けて保存することもできます。保存済み検索は、検索ペインとカタログペインに備えられています。検索ペインでは、ドロップダウンリストから 保存済み検索 を選択して、その選択条件で検索を再実行することができます。カタログペインでは、保存済み検索は自動カテゴリの下に位置しています。保存済み検索の名前をクリックすることで、その選択条件で検索を再実行することができます。
プレビュー	このペインには、ファイル一覧ペインで現在選択されている画像またはメディアファイルの サムネイルプレビュー と ヒストグラム が表示されます。また、プレビューペインでメディアファイルを再生するか、または最初のフレームのみを表示するかどうか指定することができます。
ブラウズ検索	このパネルは、フォルダー、カタログ、およびカレンダーペインからの入力を組み合わせて、 ファイルリストペイン内のファイルのリスト を特定の条件セットに一致するものに制限します。[ブラウズ検索ペイン] の検索条件を細かく変更することで、検索結果のファイル数を調整することができます。[ブラウズ検索] パネルには [表示] メニューからアクセスできます。
カタログ	この ペイン には、カテゴリ、自動カテゴリ、人物、評価、色ラベル、キーワード、および保存済み検索をリストアップし、ファイルの並べ替えと管理を簡略化します。また、カタログペインの「スペシャルアイテム」の機能を使用して、コンピュータにあるすべての画像をすばやく表示したり、現在のフォルダ内にある未カテゴリファイルを表示することができます。
タスク	このペインには、メニューやツールバーから、 頻繁に使われているボタンやコマンド のメニューが表示されます。このメニューは、ACDSee内での現在の記憶装置内のロケーションや選択によって動的に変化します。
プロパティ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルまたはフォルダの プロパティとメタデータ が表示されます。プロパティペインを使用して、ファイルやデジタル画像に含まれる EXIF メタデータのデータベース情報を表示および編集することができます。
マップ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルの マップ上にマークされた場所 が表示されます。マップを使用して場所を表示したり、ファイルの地図上の場所をマークしたりすることができます。
画像バスケット	ファイルやフォルダを参照する際、バスケット内に気に入った画像を 一時保存する 。これらの画像をすべて1つのフォルダに移動させなくても、これらの画像の編集、印刷、共有を実行できます。

管理モード ドロップダウンメニュー

管理モードのドロップダウンメニューから、頻繁に使用するタスクにアクセスすることができます。ドロップダウンメニューは次の6つにグループ分けされています:

- **作業領域**: カスタマイズした作業領域のレイアウトを保存したり、既定の作業領域にリセットすることができます。
- **インポート**: カメラやその他のデバイスから画像をインポートすることができます。
- **一括**: 一括編集に必要な処理を実行することができます。
- **作成**: ここでスライドショーファイル、PDF、PowerPoint プレゼンテーション、CD/DVD、オンラインアルバム、アーカイブを作成することができます。
- **スライドショー**: スライドショーを実行したり、スライドショーの設定を行うことができます。
- **送信**: オンラインのフォト サイトや FTP、またはメールで写真を共有します。
- **編集**: 簡単にアクセスできるように外部エディターをリストアップすることができます。
- **アクション**: 選択した画像で [ACDSeeアクション](#) を実行できます。

ユーザーの好みに合わせて管理モード ペインを開いたり閉じたりすることができます。

また、複数のペインを移動、フロート、重ねてタブとして表示したりして、管理モード ウィンドウのレイアウトをカスタマイズすることも可能です。

管理モード内で、ペインを開いたり閉じたりするには:

[ペイン] をクリックし、表示/非表示にするペインを選択します。

ペインを移動する

固定ペインまたはフローティング ペインを新しい場所に移動することができます。1 つのペインを移動するのはもちろん、重なった複数のペインをまとめて移動することもできます。

ペインを移動するには:

1. 移動したいペインのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ペインのタブを新しい場所にドラッグします。この方法では 1 つのペインだけを移動することができます。
- ペインのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。この方法では、重なったペインを同時に移動することができます。



デュアル モニタをご利用の場合、ペインをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

ペインを固定する

管理モード内でペインを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

管理モード内でペインを固定するには:

1. ペインのタイトルバーまたはタブをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。
2. ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
3. ファイラー一覧ペイン、または他のブラウザペインの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの内側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインを重ねてタブとして表示する

ワークフローに合わせて、カスタムの順序に重ねて表示することができます。

ペインを重ねてタブとして表示するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ペインのタイトルバーを別のペインのタイトルバーまでドラッグし、濃い色のマーキーが表示された後にマウスボタンを放します。
 - ペインを別のペイン内にドラッグし、ドッキングコンパスの中心でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
2. ペインの順序を変更するには、タブを右または左にドラッグします。
3. ペインを別々に表示するには、ペインのタブをデスクトップ上の別の場所にドラッグします。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、管理モード内のすべてのペインをサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが矢印と線に表示されるまでホールドします。
2. ペインの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドした状態で、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。

レイアウトを既定設定に戻す

管理モード、編集モードでは、すべてのペインをいつでも既定の設定に戻すことができます。

レイアウトをリセットするには:

[表示]から[レイアウトをリセット]をクリックします。

写真モードを使用する

写真モードは、画像コレクション全体を日付別にすばやく簡単に表示できるツールです。[写真]モードではカタログ化された画像が表示されます。[写真]モードでは、画像の EXIF データに示される撮影の日付別に画像が表示されます。EXIF データに撮影日が含まれない場合、[写真]モードでは更新日時に基づいて画像が表示されます。



[[更新日時の一括変更](#)]を使用して、撮影日を更新することができます。

[写真]モードには2つのエリアがあります。

日付ペイン: このペインでは、カタログ化された写真コレクションすべてが日付別に表示されます。

タイムライン ペイン: このペインには写真の年と月と、それぞれに含まれる写真の枚数が表示されます。

画像を表示する

[写真] モードでは、画像は日付別に表示されます。年、月、日による表示を切り替えるには、次のいずれかを行います。

- 日付ペインの右下にある [年]、[月]、[日] のボタンをクリックします。
- 左上にある前後の矢印を使用して、[年] から [月]、[日] 表示へと移動します。
- [表示] から、[年]、[月]、[日] を選択します。
- 画像をクリックして [年] から [月] や [日] の表示へと移動します。
- タイムラインペインにある [年/月] の項目を **クリックして**、その時間の画像を閲覧します。

Microsoft OneDrive® 写真コレクションだけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、[OneDrive] を選択します。

すべての写真コレクションを表示するには (OneDrive を含む):

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、[すべて] を選択します。

Pictures フォルダの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、[Pictures] を選択します。

デスクトップの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、[デスクトップ] を選択します。

写真コレクション内でオーファンになったファイルを表示するには:

日付ペインの最上部の [オーファン ファイルを表示する] ボタンをクリックします。オーファン ファイルはセピア色で表示されます。

大きな画像を表示するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [表示] モードで画像を **ダブルクリック** して開きます。
- 画像を選択して、**Enter** キーを押し、[表示] モードと [写真] モードを切り替えます。

別のモードで画像を開くには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [日] 表示で画像を **右クリック** して、コンテキスト メニューからオプションを選択します。
- [年] または [月] 表示で画像を [Ctrl + 右クリック] して、コンテキスト メニューからオプションを選択します。

Windows Explorer® で画像を表示するには:

- 日表示で画像を [右クリック] して、コンテキスト メニューから [ファイル エクスプローラで表示する] を選択します。
- [年] または [月] 表示で画像を [Ctrl + 右クリック] して、コンテキスト メニューから [ファイル エクスプローラで表示する] を選択します。

カタログ化

[写真] モードではカタログ化された画像のみが表示されます。画像をカタログ化するには:

- **管理**モードでフォルダを参照します。
- [写真]モードの一番上にある [**カタログ**] ボタンを使用します。

表示モードを使用する

表示モードでは、画像やドキュメント、メディアファイルを実寸サイズで、または **拡大または縮小して**表示することができます。連続した複数の画像を表示することも可能です。

表示モードは、次の4つのメイン領域で構成されています。

- **表示領域**: 表示モードのメイン領域で、現在選択されている画像、ドキュメント、またはメディアファイルが表示されます。拡大、縮小表示など、表示方法をカスタマイズすることができます。
- **画面下のツールバー**: メイン表示領域の下にあるツールバーは、ズームやスクロールツールといった頻繁に使用されるツールやコマンドへのショートカット ボタンを提供します。大きいまたは小さいアイコンをツールバーに使用するか、またはツールバーを表示しないかなどカスタマイズが可能です。
- **フィルムストリップ**: メインの表示領域の下に位置して、現在選択されているフォルダ内、または管理モードで選択された画像ファイルグループのサムネイルが表示されます。最下部のスクロールバーを使って画像ファイル間を素早く移動したり、「次へ」または「戻る」ボタンを使って前後の画像に移動したりします。
- **ステータスバー**: ウィンドウの最も下に位置するステータスバーには、現在選択されている画像またはメディアファイルの情報とプロパティが表示されます。編集が可能な、重要度やカラーラベル、タグのアイコンも表示されます。

画像またはファイルの EXIF、IPTC および ACDSeeメタデータ情報を表示モードのプロパティペインに表示することもできます。また、**ナビゲータ**、**虫めがね**、**ヒストグラム** ペインを表示し、各画像の詳細情報を確認することも可能です。

表示モードで画像、ドキュメント、またはメディアファイルを開くには:

管理モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- ファイルを選択して、**Enter**キーを押します。
- ファイルを選択して、[表示]モード ボタンをクリックします。
- ファイルをダブルクリックします。
- 画像、ドキュメント、またはメディアファイルを右クリックし、[表示]を選択します。

表示モードで複数の画像を開くには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインから複数の画像を選択します。
2. **Enter**キーを押します。
3. 複数の画像を続けて、表示するには、次の操作を行います:
 - 連続した画像ファイルの次の画像を表示するには、[次へ]をクリックします。
 - 連続した画像ファイルの前の画像を表示するには、[戻る]をクリックします。

フルスクリーンで画像を表示する

モニタの画面全体に画像ファイルを表示することができます。フルスクリーンモードでは、ウィンドウのボーダー、メニューバー、ステータスバー、ツールバーが非表示になり、画像のみ表示されます。画像を常にフルスクリーンモードで表示したい場合は、このオプションを表示モードの既定値として設定することができます。

フルスクリーンモードで画像ファイルを表示するには:

1. 表示モードで画像または複数の画像を開きます。
2. [表示]から、[全画面表示]をクリックします。

3. 画像ファイルを右クリックして、表示モードのツールおよびオプションのコンテキストメニューを表示します。

フルスクリーン モードを終了するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **F** キーを押します。
- 画像ファイルを右クリックして、[表示]メニューから[フルスクリーン]を選択します。



表示モードで、ショートカットキーの **F** キーを使用すると、フルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

表示モード ペインを使用する

表示モード ペインを開くには:

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [ペイン]から[アクションブラウザ]をクリックし、画像上で[ACDSeeアクション](#)の実行や管理を行います。
 - [ペイン] から [ヒストグラム] をクリックして、画像のヒストグラムを表示します。
 - [ペイン] から [虫めがね] をクリックして、マウスカーソルの場所を拡大表示します。
 - [ペイン] から [ナビゲータ] をクリックして、拡大画像のサムネイルを表示します。
 - [ペイン]から[ページビュー]をクリックして、複数ページの画像の[ページビュー]パネルを開きます。
 - [ペイン] から [プロパティ] をクリックして、画像の IPTC、EXIF、ACDSee メタデータを表示します。
 - [ペイン]から[顔検出]をクリックして、[検出された顔](#)を表示して、名前を付けます。
 - [ペイン]から[現像設定]をクリックして、現像モードで画像に加えられた[調整](#)を表示します。

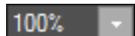
画面下のツールバーを使用する

画面下のツールバーを使用すれば、よく使うツールにすばやくアクセスできます。



これらのツールは、画像ファイルを表示している時しか使用できません。

画面下のツールバー

	バスケットに追加	画像をアクティブな画像バスケットに追加する。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。
	スクロール	表示モード ウィンドウのサイズよりも画像を大きくズームすると、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。
	選択	画像の一部を四角形で選択します。
	ズーム	画像をズーム表示します。クリックすると拡大表示に、右クリックすると縮小表示に切り替わります。
	フル スクリーン	画像をフル スクリーンで表示します。F キーを押して、フル スクリーン表示に切り替えます。
	外部エディタ	ユーザーの選択した外部エディタでファイルを開きます。
	オリジナルの表示	オリジナル画像と編集済み画像を切り替えて表示します。
	ナビゲータ	拡大表示された画像の上にクイックナビゲータ ペインが表示されます。(このボタンは、スクリーンサイズより大きく画像が拡大表示された場合にのみ有効になります。)
	ズーム スライダー	表示モードで表示される画像のサイズをコントロールします。スライダーをドラッグして調整します。
	ズーム ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。
	原寸サイズ	画像の実寸サイズで表示します。
	ウィンドウに合わせて表示する	表示モードのサイズに合わせて画像を表示します。
	オフ	RAW デコード/埋め込みプレビュー 現像されていないRAW画像を表示する場合、ツールバーで [RAW デコード/埋め込みプレビュー] スイッチを利用できます。RAW表示については「 RAW画像 」を表示するを参照してください。
	オン	

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用する

Windows Touch Gestures™ 対応のデバイスをお持ちの場合、表示モードから Windows Touch Gestures™ を使用して画像を素早く表示することができます。

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用するには:

表示モードで画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を1枚ずつスクロールします。この方法は、表示モードの左下にあるフィルムストリップファイラー一覧からも使用することができます。
- 一方方向にゆっくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップして、ACDSeeの管理モードに戻ります。
- 画面に指を2本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。
- 画像を100%以上縮小したあとは、画像を指でパンすることができます。

管理モードに切り替える

表示モードから、いつでも管理モードに戻ることができます。

表示モードから管理モードに戻るには:

以下のいずれかの操作を行います:

- 画像をダブルクリックします。
- [管理モード]ボタンをクリックします。

現像および編集モードを使用する

現像モードは非破壊で、パラメトリック編集で、RAW 変換環境です。パラメトリック編集とは、現像モードで画像編集を行う際、編集モードで行うように実際の画像ピクセルを調整するのではなく、調整の指示を作成することです。現像モードの非破壊処理は完全に相互作用し、決まった順番で適用されることによって最高の画像品質を引き出します。RAW ファイルを扱う場合、可能な限りRAW 画像データを使用して調整を適用します。

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像データを扱います。RAW ファイルを現像モードから編集モードに切り替えると、フル解像度の画像データは、現像の指示が適用された 16 ビット RGB 画像に変換されます。編集モードでは各操作は完全に独立しています。編集はその順番通りに変換された RGB データに個別に適用されます。この編集方式により、ユーザーはピクセルを完全にコントロールし、自由な創造性によって正確な調整を適用することができます。選択範囲やブレンドモードなどの利用が可能なもの編集モードの特徴です。

ワークフロー

RAW 画像の調整のほとんどは、RAW 画像データを扱える現像モードで行います。その後、より限定された RGB 画像データでの微調整が可能編集モードで、最終調整を行います。

例えば、現像モードで RAW 画像のホワイトバランスを調整すると、RAW 変換時に適用される色温度をコントロールすることになります。編集モードでホワイトバランスを調整した場合は、既にレンダリング済みの RGB データに色かぶりの調整をするだけとなり、画像の質が下がり、ポストライゼーション (カラーバンディング) を引き起こす可能性があります。

現像モード、編集モードの処理能力

まずは現像モードで作業

[現像] モードではRAW、JPEG およびその他の形式 ファイルを非破壊編集することができます。

- 画像の修整はまず現像モードで行ってください。現像モードは画像調整のほとんどを行うところです。
- 以前に行った画像調整をいつでも微調整することができます。現像済みの画像を再度現像モードで開くと、前回の設定がそのまま残っています。そのため、いつでも画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、調整したりすることができるため大変便利です。
- 変更を行うと、それらは別個のファイルに記録され、オリジナルファイルには一切変更を加えません。現像モードで画像を開くと、その都度オリジナルの画像に変更を適用することになります。これにより、画像の非破壊編集が可能になっています。
- 現像設定はいつでも破棄してオリジナルの状態に戻すことができます。オリジナル画像はあらゆる形式で保存されます。

[現像] モードでは次の作業が可能です：

- 露出、ホワイト バランス、ライティング、色、トーンカーブ、ソフト フォーカス、エフェクト、スプリット トーン、トリミング後のビネット補正のツールを使用して、画像を調整したり、RAW 画像の出力色空間の設定を行ったりします。
- シャープネス、ノイズ除去、スキン調整、色収差のツールを使用して、ディテールを調整します。
- レンズの歪み、回転 & 傾きを直す、遠近、ビネット補正、トリミングのツールを使用して、画像のジオメトリを修正します。
- 画像の赤目を修正し、傷を取り除きます。

その後編集モードで作業

画像の一部だけ編集したい場合には、編集モードの各ツールを使用します。画像の一部をさらに微調整するには選択範囲ツールを使用します。

- 画像の一部に選択的に調整を適用するには編集ツールを使用します。
- 枠やテキスト、透かし、特殊エフェクトなどの最終調整を画像に行います。
- ピクセル編集ツールを使用して、赤目を補正したり画像から傷を除去したりします。
- 変更はいつでも破棄して現像設定やオリジナルの設定に戻すことができます。現像設定に戻せば、設定は設定当時のままです。

[編集] モードでは次の作業が可能です：

- 選択範囲 ツールまたは編集ブラシを使用して、画像の一部に編集を適用します。
- レイヤーペイン を使用して、レイヤーを使った複雑な加工を画像に施すことができます。
- [ピクセルターゲット] を使用して、ピクセルを色とトーンで選択して調整します。
- 傷を取り除き、スキントーンを調整し、色収差または赤目を補正します。
- 透かし、枠、ヴィネット、チルトシフト、グレイン効果、特殊効果、および描画の追加。
- トリミング、反転、サイズ変更、回転、液状化、遠近の補正、レンズの歪み補正。
- 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、Light EQ™、かすみ除去、および覆い焼きと焼きこみツールを使用したライティング調整。
- ホワイトバランス、カラー EQ、カラーバランス、カラーバランス、モノクロへの変換、スプリットトーン、またはカラー LUTを使用した色調整。
- シャープネス、ノイズ除去、ノイズ追加、ディテールブラシ、ぼかし、明瞭度のツールを使用して、画像にディテールを追加する。



管理モードでは画像を簡単にグループ化できますので、現像済みや編集済みの画像を見つけるのも簡単です。グループドロップダウンメニューから[処理状況]を選択したり、カラーラベルを使用して、ワークフローを設定することができます。



現像モードや編集モードを終了するにはキーボードの **Esc** を押します。

365モードを使用する

365モードを使用して、365.acdsee.com に画像をアップロードすることができます。365.acdsee.com は、ACDSee ユーザー同士で画像を共有したり、画像を保存するサービスです。365モードと365.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネット サービス プロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。

365モードには次の2つがあります：365.acdsee.com と転送です。「365.acdsee.com」では、ユーザーの365.acdsee.com アカウントで画像を参照したり、アカウントの設定を変更したりすることができます。[転送]のスクリーンは2つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様の365.acdsee.com アカウントが表示されます。画面の下部に表示されているコンピューター内の画像をクリックし、画面の上部にドラッグするだけで、画像を365.acdsee.com アカウントにアップロードできます。



365モードの画像を、「現像」または「編集」モードで開いて現像処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「現像」または「編集」モードで開きます。

画像をアップロードする

365.acdsee.com アカウントに画像をアップロードするには:

1. 365モードで、[ログイン]をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **転送**をクリックします。
上下に分割されたスクリーンが表示されます。下半分の領域にはコンピュータに保存されている画像が表示されます。
4. アップロードする画像を選択します。複数の画像を選択するには、**Shift** または **Ctrl** キーを押しながらクリックして選択します。
5. スクリーンの上半分の領域に画像をクリックアンドドラッグして、365.acdsee.com アカウントにアップロードします。



365.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。

ダッシュボードモードを使用する

ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、データベース統計情報にすばやくアクセスして閲覧できます。カメラ統計情報は画像のメタデータから読み出され、ファイル情報は ACDSee データベースから分析されます。そのため、このモードを最大限に活用するには [\[カタログ\]](#) の作成が重要になります。

ファイルのカタログ化

カタログ化を行うには、以下のいずれかの操作を行います：

- ツールに移動 | データベース | カタログ。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボード モード

ダッシュボード モードには、以下のタブがあります：

- **[概要タブ]**: 概要タブは、その他のタブに表示される情報のまとめを表示します。月ごとまたは年ごとの写真数詳細を示したグラフも表示します。タブの最上部にある、月を範囲とするか年を範囲とするかの表示を切り替えるドロップダウンメニューが使用できます。前へまたは次へのボタンを使用して、時系列を後ろの方または前の方に移動することができます。
- **[データベース タブ]**: データベース タブは、場所、サイズ、バックアップ情報、アセットの内訳、など、データベースに関するデータを表示します。
- **[カメラ タブ]**: カメラ タブは、最も多く使用したカメラはどれか、よく使う ISO 設定、など、カメラの使用に関するデータを表示します。
- **[ファイル] タブ**: ファイル タブは、最も多く使用したビット深度、画像解像度、など、画像およびビデオファイルに関するデータを表示します。

Chapter 2: ヘルプを表示する

クイックスタートガイドを使用する

このクイックスタートガイドにより、ACDSee のもっとも重要な機能に関する簡単な説明を参照することができます。出だしの2ページには、ユーザーのワークフローを簡略化するためのいくつかの設定に関する説明が記載されています。これらのページの後のクイックスタートガイドの左側には、一連のリンクが含まれており、これらのリンクをクリックしてACDSeeの主な機能のツアーを見ることができます。または、[次へ]ボタンを使用することもできます。

クイックスタートを閉じるには:

ダイアログボックスの左下コーナーにある [起動時に常に表示する] オプションからチェックマークを解除して、[閉じる]をクリックします。

クイックスタート ガイドを再表示するには:

メニューバーの [ヘルプ] メニューから [クイックスタート ガイド] をクリックします。

クイックスタート ガイドを使って、その他の情報にアクセスするには:

クイックスタート ガイドの左手にある各リンクをクリックするか、[次へ] ボタンをクリックして、ツアーをご覧ください。

オプションを設定するには:

最初のページで、[参照]ボタンをクリックして、ACDSeeが今後開くフォルダーを選択します。

2番目のページで、[選択]ボタンをクリックして、ACDSeeデータベースに記録するフォルダーを選択します。

また、2番目のページでは、右側のドロップダウンメニューから間隔を選択して、ACDSeeがデータベースのバックアップを通知する頻度を指定できます。

その他のリソースとサポートを見る

メニューバーの [ヘルプ] メニューには、ACDSee プラグイン ヘルプファイルを開いたり、ACDSee Web サイトを開いたりするリンクが含まれており、アップデート、ニュースレター、システム要件を確認できます。

サポートページ、登録ページのリンク、コミュニティにサインして ACDSee フォーラムに参加することができるコミュニティ ホームページのリンクなど、その他のリンクもお楽しみいただけます。

[ヘルプ] メニューには、ライセンスコードを入力して ACDSee の体験版を製品版に変換するためのオプションも備えられています。

[ヘルプ]をクリックすると、以下のメニュー オプションが表示されます。

- [プラグイン ヘルプ](#)
- [ACDSee 365 ヘルプ](#)
- [acdID アカウントの管理](#)
- [クイックスタート ガイド](#)
- [製品のサポートとリソース](#)
- [カスタマーサポート](#)
- [ACDSee 製品](#)
- [ACDSee コミュニティ](#)
- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [ACDSee Photo Studio Ultimate 2020について](#)

Chapter 3: 管理モード

管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、ACDSee デスクトップ上のショートカットアイコンを起動する際、常に表示されます。

ショートカットこのペインには、お気に入りの画像、ファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットが表示されます。

- デバイス、CD、DVD、またはディスクから写真をインポートします。
- ファイルとフォルダーを参照します。
- ファイルにタグを付け、カテゴリ、カラーラベル、重要度、キーワード、その他のメタデータを追加して、ファイルのカatalogを作成します。
- ファイルを検索し、保存済み検索を作成します。
- ファイルの電子メール送信、スライドショーの作成、お気に入りの写真 Web サイトへの画像のアップロードなど、ファイルを公開および共有します。
- 画像を印刷します。
- 複数のファイルの編集または現像を行います。
- データベースの ACDSee 管理と保守を行います。
- メタデータを適用すると、フォルダーの次の画像に自動的に進みます。
- 画像内の顔を検出します。
- 現像モードで画像に加えられた調整を表示します。

以下を使用してファイルをインポートする ACDSee

デジタルカメラ、フラッシュ デバイス、CDやDVD、その他のリムーバブル デバイスから画像をダウンロードするには ACDSee を使用することができます。[管理] モードで、[ファイル] > [インポート] と選択し [ディスクから] のオプションを使用すると、ネットワークおよびマッピング可能なあらゆる種類のディスクやドライブから、元のフォルダやサブフォルダを保持したままファイルをインポートすることもできます。

Windows [自動再生] ダイアログボックスを使用してファイルをインポートする

デジタルカメラや他のデバイスとコンピュータが接続されると、Windows の [自動再生] ダイアログボックスが表示され、以下から1つを選択するようにメッセージが表示されます。

- **ACDSeeを使用して画像をインポートする:** このオプションを選択して、[インポート] ダイアログボックスを開きます。ここでファイルの名前を変更したり、バックアップ、保存先を指定します。インポートの設定に名前を付けて保存し、後でそれを再度使用することも可能です。RAWとPEGの両方のフォーマットで撮影可能なカメラを使っている場合には、取り込み日とRAW + JPEG オプションの詳細設定を作成することができます。また、特定のファイルやプロジェクト用に、名前の変更テンプレートを作成することも可能です。
- **ACDSeeを使用して写真を管理する:** ACDSee内のファイルを参照するには、このオプションを選択します。ファイルをインポートするか、デバイスから直接ファイルをコピー/貼り付けすることができます。
- **Windowsを使用して写真とビデオをインポートする:** Windowsを使用してファイルをインポートしたい場合は、このオプションを選択します。

ご利用になっているコンピュータにインストールされているアプリケーションによって、上記以外のオプションから選択することが可能な場合があります。

- ! コンピュータがデバイスをドライブとして認識しない場合は、デバイスの取扱説明書を参照してドライブとして搭載する方法を確認します。あるいは、カードリーダーを使用してメモリーカードにアクセスします。

特定デバイスの種類からファイルをインポートする

詳細につきましては、以下の一覧から該当するデバイスの種類を選択してください。

- [デバイスから写真をインポートする](#)
- [CDまたはDVDから写真をインポートする](#)
- [ディスクから写真をインポートする](#)

リムーバブル デバイスについて

デジタルカメラ、スキャナ、メモリーカードからACDSeeで画像を取り込む方法は何通りかあります。デバイスとコンピュータの接続方法についての詳細は、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルまたはマニュアルをご参照ください。リムーバブル デバイスの種類は下記の通りです。

- **USBリムーバブル デバイス:** リムーバブル デバイスには、USBカードリーダーを使ってコンピュータと接続できるメモリーカード、コンピュータのスロットに直接挿入できるカメラのメモリーカード、フラッシュドライブなどがあります。USBリムーバブル デバイスはご利用になっているコンピュータによって検出され、リムーバブルドライブとして表示されます。
- **Windows Image Acquisition(WIA):** Windows Image Acquisition(WIA)ドライバーを使用してコンピュータと通信するカメラとスキャナー。Canon製カメラなど、一部のカメラはWIAを使用します。ACDSee WIAプロトコルを自動的に検出します。



オーディオまたはビデオ ファイルをコピーおよび表示するには、DirectX 9.0cおよびQuickTimeが必要です。

デバイスから写真をインポートする

[インポート元] ダイアログボックスには、カメラ、カード リーダー、フラッシュドライブ、その他の大容量記憶装置からのインポートに関するオプションが多数用意されています。数回のクリックでファイルを手軽にインポートすることができます。あるいは、いくつかのオプションから選択してワークフローを効率化したり、インポートごとに複数のタスクを実行したりすることもできます。

[インポート] ダイアログボックスでは、日付またはファイルの種類別に、デバイス上に存在するファイルのサムネイルが表示されます。サムネイルのサイズを変更して、希望するファイルとデバイスに残しておくファイルを区別し、選択したものをだけを表示します。

ファイルのインポート先フォルダやサブ フォルダを選択したり、インポート中にファイルのバックアップを作成したり、名前を変更したり、カメラにオプションがある場合には自動回転させたりすることができます。[詳細設定] では、使用する日付を変更したり、RAWとJPEGファイルの両方のフォーマットを扱うカメラを使用している場合、これらのファイルの保存先を指定したりすることが可能です。

インポート中に、カテゴリ、IPTC、ACDSeeメタデータを追加してファイルを整理することもできます。

また、これらの設定をプリセットとして保存し、後で使用することができます。



カメラがリムーバブルドライブとしてコンピュータに接続されている場合は、[ファイル一覧](#)や[フォルダペイン](#)から写真をコピーするだけの操作を実行することもできます。ACDSee はリムーバブル デバイスを検出し、フォルダペインに表示するためです。使用するカメラがコンピュータにどう接続されるのかよくわからない場合は、[\[ACDSeeを使用してファイルをインポートする\]](#)の[\[リムーバブル デバイスについて\]](#)を参照してください。



一部のキャノン製カメラなど、ご利用になっているカメラの機種によっては、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバを使ってコンピュータとコミュニケーションするものがあります。ご利用のデバイスがこれらのプロトコルを使用している場合、[\[ファイル\]](#)から[\[インポート\]](#)メニューを選択し、[\[デバイスから\]](#)をクリックすることでファイルをインポートできます。ACDSee はこれらのプロトコルを自動検出します。

[インポート元] ダイアログボックスを使って写真をダウンロードするには以下の手順を実行します:

1. カメラまたはデバイスをコンピュータに接続します。カメラの電源が入っているか、またケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。

2. 以下のいずれかの操作を行います。

- Windowsの [自動再生] ダイアログボックスが表示されたら、[ACDSeeを使って画像をインポート]を選択します。
- コンピュータに複数のデバイスが接続されている場合は、インポート元のデバイスを一覧から選択し、[OK]をクリックします。
- [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[デバイスから]をクリックします。
- キーボードの **Alt + G** を押します。

3. 以下で解説されているように、インポート ダイアログ ボックスのオプションを設定します。

4. [インポート]をクリックします。

5. インポートした写真を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスが表示された際に、[はい] をクリックします。



カメラからオーディオやビデオ ファイルをダウンロードする際、DirectX 9.0cおよびQuickTimeが必要です。

インポート元オプション

	インポートする項目を選択	次のいずれかを選択してインポートする項目をコントロールします。 <ul style="list-style-type: none"> ● 新規ファイル: 過去にインポートしていないファイルのみをインポートします。 ● すべてのファイル: すべてのファイルをインポートします。 ● カスタム: 選択したファイルをインポートします。ファイルのチェックボックスを有効または無効にすることでインポートするファイルをコントロールします。
表示方法	日付	作成されたすべての日付け別に、ファイルがグループ分けされて表示されず。日付の横にあるチェックボックスをクリックすると、その日の選択を解除することができます。日付すべての選択を解除するには、[すべての日付] チェックボックスをクリックします。
	ファイルの種類	ファイルの種類別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。ファイルの種類のある横にあるチェックボックスをクリックすると、そのファイルの種類を選択を解除することができます。ファイルの種類すべての選択を解除するには、[すべてのファイルの種類] チェックボックスをクリックします。
	すべて表示	デバイス上に含まれる、すべてのファイルのサムネイルが表示されます。
	選択されたものを表示	インポート用に選択されたファイルのサムネイルのみが表示されます。
インポート プリセットを選択	[インポート設定] ドロップダウン メニュー	最近使用されたインポート設定の名前が表示されます。次から 1 つ選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の設定: 現在の設定をインポートに使用します。 ● 最近使用した設定: 前回のインポート時に適用した設定を使用します。 ● なし: 現在のインポート設定をすべてクリアします。
	インポート設定の保存 	現在選択されているインポート設定に名前を付けて保存しますので、後で同じ設定を使うことができます。インポート設定を保存 (編集) するには、[保存] アイコンをクリックして新規の名称を入力 (または既存の設定を再保存) します。 インポート設定の新しい名前が、ドロップダウンメニューに表示されるようになります。
	インポート設定の削除 	[インポート設定] ドロップダウンメニューで現在選択されているインポート設定を削除します。
場所	[保存先を選択] ドロップダウン メニュー	最近使用された保存先の名前が表示されます。次から 1 つ選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 前回の保存先: 前回のインポート時と同じ保存先を使用します。 ● なし: 現在の保存先設定をすべてクリアします。
	[サブフォルダに格納する] ドロップダウン メニュー	次の定義済みサブフォルダオプションを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 名前による単一フォルダ: [名前] フィールドに入力した名前を付けたサブフォルダを作成します。[名前] フィールドはこのオプションを選択すると有効になります。新規に入力された名前のフォルダ内に、すべてのファイルが格納されます。 ● 今日の日付による単一フォルダ: 今日の日付をフォルダ名にしたフォルダを作成し、ファイルすべてをそのフォルダ内に格納します。 ● 今日の日付でネストされたフォルダ: 上下にネストされた一連のフォルダを、今日の日付および[形式] フィールドで選択した形式に基づいて作成します。例で示されているようにフォルダが作成され、すべてのファイルは一番下のフォルダに格納されます。 ● ファイルの日付でネストされたフォルダ: ファイルの日付および[形式] フィールドで選択した形式に基づいて、一連のネストフォルダを複数作成します。[形式] フィールドはこのオプションを選択すると有効になります。例で示されているようにフォルダが作成され、ファイルは各日付の付いた一番下のフォルダに格納されます。

		<ul style="list-style-type: none"> • ファイルの日付でフォルダを分ける: [形式] ドロップダウンオプションで選択した形式に沿った個々のファイルの日付に合わせて、個別のフォルダを作成します。 • サブフォルダ名を保持する: インポート時に [ディスクから] オプションを使用する場合、既存のフォルダ名を保持します。例えば、フラッシュドライブやCDに複雑に構成されたサブフォルダが含まれている場合、フォルダツリーを変更せずにそのままインポートされます。
	フォーマット	入れ子になったフォルダ オプション用のフォーマットが表示されます (上記を参照ください)。
	例	現在選択されている設定でフォルダを作成した場合の、入れ子フォルダの例が表示されます (上記を参照ください)。
	[バックアップ先] ドロップダウン メニュー	<p>[格納先] で選択したサブフォルダと全く同じ複製フォルダを使用して、バックアップ ファイルのセットを作成します。</p> <p>次のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [参照] をクリックしてから、バックアップ先として使用する既存フォルダを指定します。 • [参照] に続き [フォルダの新規作成] をクリックして、バックアップ先となる新規フォルダを作成します。 <p> 既存のACDSeeメタデータはバックアップ コピーに含まれますが、インポート時に追加されたカタログ設定 (IPTCまたはACDSeeメタデータ) は一切含まれません。</p>
ファイル	[ファイル名を変更する] ドロップダウン メニュー	<p>定義済みの名前の変更テンプレートを使用して、インポート時に名前が変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日付 / 時刻 - ファイル名: ファイルを作成した日付と時刻に元のファイル名をつなげて、各ファイルの名前を作成します。 • 日付 / 時間: ファイルを作成した日付と時刻を使用して、各ファイルの名前を作成します。 • カメラ - 連番: カメラの名前と1から始まる連番を併せて、各ファイルの名前を作成します。 • 日付 / 時間 - 連番: ファイルを作成した日付と時刻に1から始まる連番を併せて、各ファイル名を作成します。 • カメラ - ファイル名: カメラの名前と元のファイル名を併せて、各ファイルの名前を作成します。 <p>カスタムの名前の変更テンプレートを作成し保存した場合も、このリストに表示されます。</p>
	編集	[名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開き、 名前の変更用テンプレートを自由に作成して保存 することができます。
	[メタデータを適用] ドロップダウン メニュー	保存されたメタデータのプリセット名を選択するか、管理のプリセットを選択して [メタデータプリセットの管理] ダイアログを開きます。
	カスタマイズ	<p>プロパティ ペイン メタデータ タブ: ACDSeeとIPTCメタデータをフィールドに入力して、インポートするファイルに追加します。</p> <p>プロパティ ペイン カテゴリ タブ: インポートしたファイルを、このタブで選択したカテゴリに振り分けます。カテゴリは複数選択することができます。</p>
	画像を自動回転する	ご利用になっているカメラが、このオプションに必要な情報を作成する機種の場合、インポート時に画像が自動回転されます。
	インポート後にソースから項目を削除する	インポート後に、インポートした項目を元の場所から削除します。
アドバンス	ACDSeeデータベースの日付	<p>ファイルの日付やRAWとJPEGファイルの格納先などを指定することができる [アドバンス インポート オプション] ダイアログ ボックスが開かれます。</p> <p>データベースを設定するには ACDSee 次のうちの1つをファイルの日付として</p>

使用する必要があります。

- **EXIFの日付**: カメラが画像に埋め込んだEXIFの日付を使用します。
- **ファイルの更新日時**: ファイルが前回更新された日付を使用します。
- **特定の日付**: カレンダーのドロップダウン矢印をクリックして、指定した日付を使用します。

RAW+JPEG

RAWとJPEGファイルの格納先を、次から1つ選択します。

- **両方のファイルを指定先フォルダに格納する**: [インポート元] ダイアログボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWとJPEGファイルを格納します。
- **JPEGファイルをサブフォルダに格納する**: [インポート元] ダイアログボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWファイルを格納します。続いて、このオプションを選択すると有効になる**サブフォルダ名**フィールドに入力した、新規サブフォルダ名を作成します。すべてのJPEGファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。
- **RAWファイルをサブフォルダに格納する**: [インポート元] ダイアログボックスの [保存先] で選択したフォルダに、JPEGファイルを格納します。続いて、このオプションを選択すると有効になる**サブフォルダ名**フィールドに入力した、新規サブフォルダ名を作成します。すべてのRAWファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。



IPTCフィールドに設定した値は、対応するEXIFフィールドに反映されます。

スキャナから写真をインポートする

ACDSeeを使って画像をスキャンし、それをアクセス可能な特定の場所にインポートします。

スキャンした画像の保存先フォルダを指定するには:

1. [ツール]>[オプション]>[管理モード]をクリックします。
2. [管理モード]ページの [スキャン保存先] セクションで、[フォルダの参照] ボタンをクリックします。
3. [フォルダの参照] ダイアログで、スキャンした画像の保存先フォルダを選択します。
4. [OK]を押します。

画像をスキャンするには:

1. [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[スキャナー取り込み]をクリックします。
2. スキャン設定を自由に構成します。スキャンダイアログがWindowsによりコントロールされているため、これらの設定はお使いのOSとACDSeeのバージョンにより異なります。
3. フォルダペインを使ってスキャン済み画像の保存先として設定した場所に進みます。

CDまたはDVDから写真をインポートする

[インポート元] ダイアログボックスまたは [フォルダペイン](#) を使用して、CDまたはDVDから写真をダウンロードできます。インポートする前に、他のフォルダを参照するようにCDを参照して、どの写真をインポートするか確認してから、新しい場所にコピー&貼り付けすることができます。

[インポート] ダイアログを使用すると、サブフォルダオプションを設定して、フォルダ名を含む複雑なフォルダ構造をそのままインポートすることが可能です。インポートしながら画像を整理したり、バックアップフォルダを作成したりすることもできます。

CDまたはDVDから写真をインポートするには:

1. ドライブにCDまたはDVDを挿入します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの [自動再生] ダイアログボックスが表示されたら、[ACDSeeを使って画像をインポート]を選択します。
 - 複数のCDまたはDVDがお使いのコンピュータに接続されている場合、使用したいデバイスを選択し、[OK] をクリックします。
 - [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[CD/DVDからインポート]の順にクリックします。
3. [インポート元] ダイアログボックスで、適用したい[インポート元]オプションを選択し、[インポート]をクリックします。
4. インポートした写真を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスが表示された際に、[はい] をクリックします。

ディスクから写真をインポートする

ACDSeeを使用すると、他のストレージデバイス、コンピュータ、ネットワークなどから、簡単に写真をインポートできます。コンピュータがマップできるあらゆるデバイスに対応しています。リムーバブルドライブやネットワーク、ディスクやその他のコンピュータと接続すると、ACDSeeは [フォルダ] ペインにリムーバブルドライブとしてそれを表示するため、参照したり確認したりすることが可能です。ファイルをACDSeeにコピー、ペーストするだけで完了です。

複雑なフォルダ構造のディスクやドライブから写真をインポートしようとしている、あるいはインポートしながら名前変更やバックアップファイルを作成して整理したい場合には、[インポート] ダイアログボックスを使用します。このダイアログボックスには、インポート中に行うことができるタスクの設定が備えられています。

ディスクから写真をインポートするには:

1. ディスクとコンピュータを接続します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの [自動再生] ダイアログボックスが表示されたら、[ACDSeeを使って画像をインポート]を選択します。
 - コンピュータにディスクやドライブを複数接続している場合は、使用したいデバイスを選択し、[OK] をクリックします。
 - [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[デバイスから]をクリックします。
3. [フォルダの参照] ダイアログボックスから、リムーバブルドライブまたはデバイスを指定し、[OK] をクリックします。
4. [インポート元] ダイアログボックスで、使用したいオプションを選択し、[インポート]をクリックします。
5. インポートした写真を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスが表示された際に、[はい] をクリックします。

名前の変更テンプレートを作成する

[インポート] ダイアログを使って、ハードドライブに画像がコピーされている間、各ファイルに固有の名前を付けるテンプレートを作成したり、それに名前を付けて保存したりすることができます。画像をインポートする度に、テンプレートを再利用することも可能です。名前の変更テンプレートは、連番、カスタム名前、各ファイル特定の情報を含むことができます。異なる種類のファイルに、異なる名前変更テンプレートを作成・保存できます。例えば、異なるカメラや異なるタイプのファイルに、異なる名前変更テンプレートを設定できます。

ファイル名変更のテンプレートを作成するには:

1. [インポート] ダイアログボックスから、[次に名前を変更する] を選択します。
2. ドロップダウンリストをクリックして、次のいずれかを選択します:
 - **日付/時間 - ファイル名**: 画像ファイルの撮影日と時間にオリジナルのファイル名を付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
 - **日付/時間**: ファイルの撮影日と時間を使った形で、ファイルの名前が変更されます。
 - **カメラ - 連番**: カメラ名と連番を使った形で、ファイルの名前が変更されます。

- **日付/時間 - 連番**:ファイルの撮影日と時間に連番が付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
 - **カメラ - ファイル名**:カメラ名と各ファイルのオリジナル名が付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
3. カスタムのテンプレートを作成する、あるいはシステムのテンプレートに追加するには、**[編集]** をクリックします。
 4. **[名前の変更テンプレート]** ダイアログボックスで、以下の表で解説されているオプションから選択します。
 5. **[OK]** をクリックします。



[ビデオとオーディオ ファイルはスキップ] チェックボックスを選択すると、インポート中にビデオまたはオーディオ ファイルの名前は変更されません。

名前の変更テンプレート オプション

システム テンプレートのドロップダウン リスト	ドロップダウン リストをクリックして、定義済みのシステム テンプレートを選択します。
新規の名前の変更テンプレート	[新規の名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開かれます。カスタムのテンプレートに使用する名前を入力します。テンプレートの使用目的、または含んでいる情報がすぐにわかるようなテンプレートの名前を付けるように注意します。例えば、 カメラ名_撮影者 のような名前を付けます。 [保存] をクリックすると、システム テンプレートのドロップダウン リストにその名前が追加されます。
削除	現在選択されているテンプレートをドロップダウン リストから削除します。定義済みのシステム テンプレートは削除できませんのでご注意ください。
名前の変更テンプレート	このフィールドを使用して、名前の変更テンプレートを作成します。撮影者の名前を入力した後にアンダースコアを入れて、その次に続くエレメントから区別しやすいように、また読みやすいように気をつけます。 次のプレースホルダを使って、各ファイルが固有名を持つようにします： <ul style="list-style-type: none"> • * を挿入します。ファイルの名前が変更される際、* (アスタリスク) がオリジナルのファイル名になります。 • # を挿入します。ファイルの名前が変更される際、# (シャープ記号) が連番になります。多数のファイルがある場合は、いくつかの#を挿入します。例えば、###と入力すると、名前が変更された最初のファイルには001、次のファイルには002という風に番号が振られます。1000 以上のファイルをインポートする場合は、# を最低 4 つ (####) 挿入するようにします。 • メタデータのプレースホルダである <> を挿入します。これらの括弧内に指定されたデータが、名前の変更時に置き換えられます。例えば、<カメラ: モデル名> を選択すると、カメラのモデル名が各ファイル名に挿入されます。
メタデータの挿入	クリックすると、 [プロパティの選択] ダイアログボックスが開かれます。メタデータの一覧からテンプレートに使用するデータを選択します。
例	[名前の変更テンプレート] フィールドに入力する、あるいはプレースホルダを追加するにつれ、 [例] に表示されるテンプレートが変わります。
ビデオとオーディオ ファイルはスキップ	名前の変更中、ビデオとオーディオ ファイルの名前は変更されません。

Lightroom® データベースをインポートする

Adobe® Lightroom® Database インポーターを使用すると、コレクション、キーワード、重要度、カラーラベルを Lightroom® から ACDSeeへインポートできます。キーワード階層は、インポートに選択された画像に埋め込まれているかどうかに関わらず、インポートを行います。



スマートコレクションをインポートすることはできません。

 Lightroom® を開いたままインポートを開始することはできません。

 Lightroom® にある階層と ACDSee にあるコレクションの階層が同じ場合、これらのコレクションは統合されます。

Lightroom® データベースをインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]>[Lightroomデータベース]の順に選択します。
2. Adobe Lightroom Database インポーターで [次へ] を押します。
3. 重要度、ラベル、コレクション、キーワードなど、ACDSeeにインポートしたいデータベース情報のチェックボックスを選択します。
4. [場所] フィールドの隣にある [参照] ボタンを使用して、Lightroom® データベースファイルの場所に移動します。

 既定の設定で、フィールドには Lightroom® のデータベース保存場所が表示されるようになっているため、データベースを移動した場合のみ参照が必要になります。

5. [次へ]を押します。
6. 概要をチェックして、表示されている情報が正しいことを確認します。間違っている場合は、[戻る] ボタンを使用して前のページに戻り、訂正します。
7. [次へ]を押します。正常に完了した項目の隣には緑のチェックマークが表示され、失敗した項目の隣には赤いチェックマークが表示されます。
8. [完了]を押します。

LightroomはAdobe Inc.の登録商標です。

モバイルによる画像の操作

ACDSeeを使えば、お使いの携帯電話上で、画像へのアクセス、画像の閲覧、表示、削除、コピー、貼り付けを実行できます。モバイルデバイス上で画像を編集または作成するには、画像をローカルフォルダにコピーする必要があります。

ACDSee を使って携帯電話上で画像にアクセスするには:

 モバイル デバイスでファイル共有が有効になっていることを確認します。

1. 携帯電話のプラグインを使って、ACDSeeを開きます。
2. 管理モードで、フォルダペインを使用して、[この PC/コンピュータ] のお使いの電話に進みます。
3. フォルダペインまたはファイル一覧ペインを使用して、対象の画像に進みます。画像は通常、DCIM というフォルダに保存されています。

 ACDSeeにより、プロパティペインに、お使いのデバイスから提供されたファイル情報が表示されます。

携帯電話に保存されている画像を表示するには:

ファイル一覧ペインで画像をダブルクリックします。

 フィルムストリップを使うと、フォルダ内のその画像に進むことができます。

ACDSeeで、携帯電話に保存されている画像を他のフォルダにコピーするには:

ファイル一覧ペインで画像を選択し、次のいずれかを実行します:

- 右クリックして、[コピー]を選択します。別のフォルダを参照し、右クリックして [貼り付け] を選択します。
- 右クリックして [フォルダにコピー] を選択... [フォルダにコピー] ダイアログで、保存先フォルダを選択して、[OK] をクリックします。
- [編集]メニューから、[コピーする]を **C**、**Ctrl + C**を押します。次に、宛先フォルダーで、[編集]メニュー、[貼り付け]をクリックするか、**Ctrl + V**を押します。

ACDSee を使って携帯電話から画像を削除するには:



お使いのモバイル デバイスの設定を、PC を使ってファイルを削除できるように変更する必要があります。

ファイル一覧ペインで画像を選択し、次のいずれかを実行します:

- 右クリックして [削除] を選択します。
- **DEL**を押します。
- [編集]メニューから、削除をクリックします。

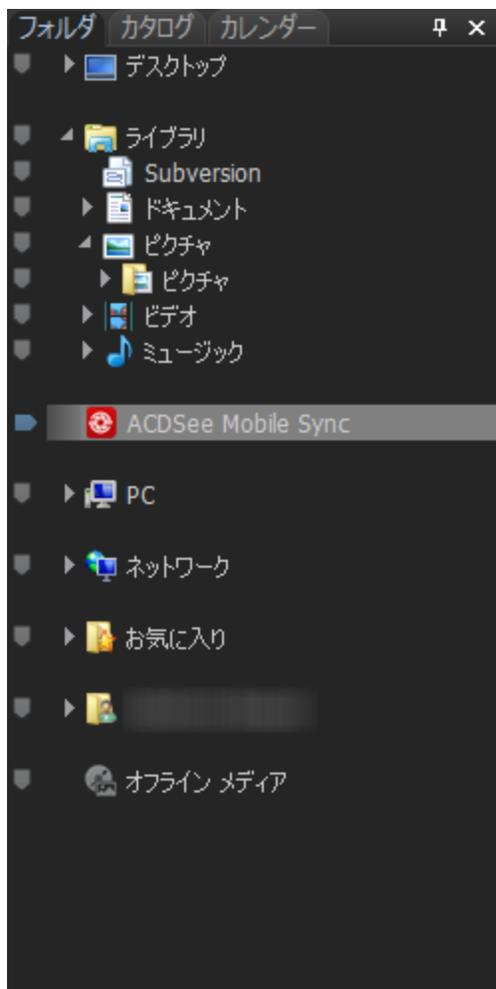
ACDSee Mobile Sync を使用して、モバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する

ACDSee Mobile Sync アプリを使って、モバイル デバイスから PC の ACDSee Photo Studio に写真やビデオを直接送信できます。この無料アプリは、iOS の場合は Apple App Store で、Android の場合は Google Play ストアで入手できます。



ACDSee Mobile Sync は、送信した写真を追跡し、ACDSee カラーボーダーにより、新規アイテムと未送信アイテムを区別します。

管理モードで、フォルダ ペイン の ACDSee Mobile Sync ノード アイコンをクリックすると、ACDSee に送信した画像にアクセスできます。



はじめに

アプリを入手するには:

- iOS の場合は、[Apple App Store](#) でダウンロードできます。App Store の検索バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。



- Android の場合は [Google Play ストア](#) でダウンロードできます。Play ストアの検索バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。

お使いのデバイスで ACDSee Mobile Sync アプリのインストールが完了したら、アプリを開きます。表示される指示に従って、アプリに写真へのアクセスを許可し、ターゲット (PC上のACDSee) を割り当てます。

- ! ACDSee Mobile Sync を使って写真やビデオを送信するには、ACDSee を実行している PC と同じ WiFi ネットワークに接続する必要があります。

画像とビデオを送信する

ACDSee Mobile Sync アプリからACDSeeに画像や動画を送信することができます。ACDSee Mobile Sync は、送信済みアイテムを追跡し、ACDSee 送信したアイテムが受領された時点で、右下に表示されるポップアップがアイテムが受領されたことを通知します。管理モードで、フォルダ ペイン の ACDSee Mobile Sync ノード アイコンをクリックすると、受信済みファイルを確認できます。

新しいアイテムをすべて送信するには、[送信] ボタンを押します。

特定のアイテムを送信するには、そのアイテムを選択して [送信] ボタンを押します。



アプリ内のコンテキスト メニューでさらに特殊な選択オプションを使用できます。



ハードドライブ上の ACDSee Mobile Sync フォルダの位置をカスタマイズできます。[「ACDSee Mobile Sync オプションを設定する」](#)を参照してください。

ファイル一覧 ペインでファイルを参照する

[ファイル一覧] ペインは、管理モードの中央に位置する大きなペインです。このペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。

既定設定では、ファイルはサムネイルでファイル一覧ペインに表示されます。しかし、ファイル一覧ペインの表示は、サムネイルから詳細、一覧、アイコン、タイトル、フィルムストリップに変更することができます。名前順、サイズ、プロパティ、などでファイルを並べ替えることも可能です。フィルタを使用して、ファイル一覧ペインに表示されるファイルの種類を指定することも可能です。

ファイル一覧ペインを使用する

ファイル一覧ペインは、コンテンツバー、ファイル一覧ドロップダウンリスト、ファイル一覧ツールバーの3つのセクションで構成されています。サムネイル上に表示されるオーバーレイアイコンは、その画像またはドキュメントに関する追加情報（処理済、ジオタグ済みなど）を示し、また重要度、タグ、ラベルなどを設定することも可能です。

コンテンツバー

コンテンツバーはファイル一覧ペインの最上部に位置し、現在参照しているフォルダのパスが表示されます。[フォルダペイン] を使用している場合、コンテンツバーにはパスまたは現在参照しているフォルダのパスが下記のように表示されます。



[カタログペイン] を使用してカテゴリや重要度でファイルを参照する場合、コンテンツバーには選択されたカテゴリが下記のように表示されます。

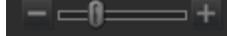
[重要度: 4] そして [ラベル: ブルー] そして [1 カテゴリ: 人物]

[カレンダーペイン](#) で参照している場合、コンテンツバーには日付の範囲が表示されます。また、検索ペインを使用している場合、検索条件の概要が表示されます。

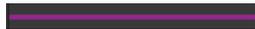
ファイル一覧ドロップダウンリスト

フィルタ	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。[高度なフィルタ] を選択してカスタムフィルタを作成することも可能です。
グループ	ファイル一覧ペインで、ファイルのグループ化に使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
並べ替え	[ファイル一覧] ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
表示	[ファイル一覧] ペインで、ファイルの表示オプションの一覧が表示されます。
選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。

ファイル一覧 ツールバー

	バスケットに追加	選択された画像を画像バスケットに追加します。
	左に回転	選択された画像を左へ回転します。
	右に回転	選択された画像を右へ回転します。
	画像の比較	画像の比較ビューアに選択された画像を表示します。
	ズーム スライダー	[ファイル一覧]ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダーをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。

オーバーレイアイコン

	サウンド / サウンドの再生	埋め込みオーディオまたは関連付けられたオーディオがある場合に表示されます。サウンド アイコンをクリックして、埋め込まれたサウンドの再生が開始されると2番目のアイコンが表示されます。	左クリックして埋め込みオーディオを再生します。
	重要度	データベースに保存されている重要度が存在する場合に ACDSee 表示されます。	
	カラーラベル	カラーラベルが設定されている場合に表示されます。	
	埋め込み保留中	ファイル内に未書き込みの ACDSee ACDSeeメタデータがデータベース内に保存されている場合に表示されます。	右クリックして次のどちらかの操作を選択してください： <ul style="list-style-type: none"> • ACDSee メタデータの埋め込み: メタデータをファイルへ書き込みます。 • 埋め込み保留中のアイコンの消去: オーバーレイアイコンは消えますが、メタデータはファイルに書き込まれません。
	ファイル フォーマット	ファイル フォーマットが表示されます。	クリックすると、[プロパティ]ペインのファイルタブにあるファイル情報、画像属性、および EXIF メタデータ(概要)が表示されます。
	カテゴリ	カテゴリが適用されている場合に表示されます。	[プロパティ]ペインの整理タブにあるカテゴリセクションを左クリックして開きます。
	コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合に表示されます。	
	ショートカット	別のファイルへのショートカットが適用されている場合に表示されます。	
	オフライン	ファイルがオフライン デバイスに格納されている場合に表示されます。	
	除外された項目	データベースから除外されている場合に ACDSee 表示されます。	
	タグの付いた項目	タグが適用されている場合に表示されます。	
	タグの付いていない項目	タグが適用されていない場合に表示されます。	
	ジオタグの付いた項目	ジオタグが適用されている場合に表示されます。	クリックして[マップ]ペインを開きます。
	自動回転	ファイルが自動回転されている場合に表示されます。	左クリックしてオリジナル画像自体を回転し、EXIF 情報を更新します。
	現像済み	ファイルが現像されている場合に表示されます。	
	編集済み	ファイルが編集されている場合に表示されます。	
	スナップショット	ファイルに現像スナップショットが付されている場合に表示されま	表示モードで画像を開き、[スナップショット]ボタンをクリックし

す。

て、保存したスナップショットを表示します。

オーバーレイアイコンの表示を変更する

オーバーレイアイコンを表示するかどうか、色で表示するかどうか、どのアイコンを色で表示するかを変更できます。

オーバーレイアイコンの表示を変更するには:

管理モードの[ファイル一覧]ペインの一番上で、次のいずれかを実行します:

- [表示]メニューから[オーバーレイモードの切替]を選択して、オーバーレイアイコンの表示、グレースケールで表示、カラーで表示を切り替えます。(J)キーをクリックして、利用可能なモードを切り替えます。
- [表示]メニューから[オーバーレイのハイライト]をクリックして、どのアイコンをカラーで表示するかを選択します。(I)キーをクリックして、利用可能なオプションを選択します。



すべてのオーバーレイアイコンには適用されませんのでご注意ください。どのアイコンを表示するかについての詳細は [サムネイル情報オプションを選択する](#) をご確認ください。

ファイル一覧ペインを最大化する

スクリーンのスペースを最大限に使用するために、管理モードの他のペインをすべて隠し、ファイル一覧ペインを最大化することができます。管理モードで表示される領域は、ファイル一覧ペインと現在使用中のツールバーのみになります。

ファイル一覧ペインを最大化するには:

1. [表示]から[ファイル一覧の最大化]をクリックします。
2. ファイル一覧ペインとツールバーのみを表示するには、[表示]から[フルスクリーン]を選択します。
3. 管理モードに戻るには、右上隅の[フルスクリーンを閉じる]ボタンをクリックします。

ファイルの作成と管理

ファイル一覧ペインでは、ファイルの作成、削除、および名前の変更を実行してファイルを管理することができます。

新しい画像を作成するには:

ブランクのまったく新しい画像を作成することができます。

1. 管理モードまたは編集モードで、[ファイル]から[新しい画像]を選択するか、**Ctrl + N**を押します。
2. [新しい画像]ダイアログで、画像名と寸法を入力します。ドロップダウンメニューを使用して、測定単位をカスタマイズできます。
 - ! 幅または高さはいずれも、16,000ピクセルを超えて設定することはできません。
3. [アスペクト比]の横にあるドロップダウンリストから、アスペクト比を選択します。[カスタム]オプションを使用して、独自の比率を定義できます。ドロップダウンで比率を選択し[削除]ボタンを押すことで、比率を削除することもできます。
4. [解像度]の横で、[インチあたりのドット数]フィールドを使用して解像度を指定します。
5. [背景のコンテンツ]ドロップダウンメニューから画像の背景色を選択します。
6. [ビット数]ドロップダウンメニューから、画像を32ビットと64ビットのいずれにするかを選択します。
7. [OK]を押します。新しい画像が.acdcフォーマットで開きます。

ファイルを管理するには:

以下のいずれかを実行します。

ファイルを削除するには、ファイル一覧ペインでファイルを右クリックし、コンテキストメニューから[削除]を選択するか、「Delete」を押します。

ファイルの名前を変更するには、ファイルを右クリックして、コンテキストメニューから[名前の変更]を選択するか、F2を押します。新規ファイル名を入力し、Enterキーを押すこともできます。

フォルダペインで参照する

フォルダペインには、Windows エクスプローラのフォルダツリーと同じスタイルでコンピュータのフォルダ構成が表示されます。フォルダペインで1つまたは複数のフォルダを選択し、そのフォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。フォルダペインでは、クラウド上で同期しているドライブがノードとして表示され、他のフォルダと同様に参照することができます。

また、このペインを使用して、お気に入りファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットを作成することもできます。そうすると、特定のファイルを検索することなく、ショートカットペインですばやくアクセスすることができます。

フォルダペインを使ってフォルダを参照すると、ACDSee データベースはそのフォルダ内の画像、ドキュメント、またはメディアファイルをカタログ化します。

フォルダペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、[ペイン]、[フォルダ]をクリックします。

大容量格納デバイスやデジタルカメラのようなリムーバブルデバイスを接続すると、フォルダペイン内ではドライブ名が自動的に設定された別のドライブとして認識されます。

フォルダペイン内をクリックするだけで、デバイスとそのコンテンツにアクセスすることができます。

複数のフォルダを選択する

イージーセレクトバーは、フォルダペインおよびカタログペインの左側にある縦列のバーです。イージーセレクトバーを使用して複数のフォルダ、カテゴリ、重要度を選択し、ファイル一覧ペインに該当するファイルを表示することができます。

イージーセレクトバーを適用するには:

フォルダペインで、表示したい各フォルダの左にあるインジケータを選択します。

また、イージーセレクトバーを[ブラウズ検索]ペインで使用することも可能です。

フォルダの作成と管理

フォルダペインおよびファイル一覧ペインでは、ハードディスクにあるフォルダの作成、削除、名前の変更、移動を実行して、ファイルを管理することができます。

フォルダを管理するには:

1. フォルダペインで、追加、削除、名前の変更をしたいフォルダを選択します。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - フォルダを作成するには、[ファイル]、[新規]をクリックし、[フォルダ]を選択します。新規フォルダの名前を入力し、Enterキーを押します。
 - フォルダを削除するには、フォルダを選択してDeleteキーを押します。
 - フォルダ名を変更するには、名前を変更するフォルダを選択し右クリックし、[名前の変更]を選択します。新規フォルダの名前を入力し、Enterキーを押します。



CD-ROM などの読み取り専用のファイルシステム上のドライブやフォルダの名前を変更することはできません。

日時またはイベントごとにファイルを参照する

カレンダー ペインでは、ファイルに関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを管理したり参照することができます。カレンダー ペインには、イベント、年、月、日のビューモードとフォトカレンダーが用意されています。フォトカレンダーは、各月で撮影された日付けに基づいてサムネイルを表示します。カレンダー ペインの日付をクリックすると、その日と関連付けられているファイルの一覧が表示されます。

カレンダー ペインを開くには:

管理モードで、[ペイン] から [カレンダー] をクリックします。

メインブラウザの左手、[フォルダ] と [カタログ] タブの間にカレンダー ペインが開かれます。



カレンダーペインに画像を表示するには、画像の含まれているフォルダを参照したことがあるか、カタログファイル ウィザードを使用してカタログ化を行っており、ACDSee データベースにその情報が含まれている必要があります。



[フォトカレンダー] を使用する場合、該当月の画像が含まれている特定日にもみサムネイルが表示されます。画像の含まれていない日は空白で表示されます。

カレンダー ペインの表示オプション

	イベントモード	カレンダー ペインをイベントモードに切り替えます。イベント モードでは、指定されたイベントに該当する画像またはメディアファイルが表示されます。月の横には、画像、またはメディアファイルが含まれている日数が表示されます。月の領域を展開すると、該当する画像数と日にちが表示されます。説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。
	年モード	カレンダー ペインを年モードに切り替えます。年モードでは、年ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの年度が表示されます。年の横には、該当年に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている月は、ハイライト表示で区別されます。
	月モード	カレンダー ペインを月モードに切り替えます。月モードでは、月ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの月が表示されます。月の横には、該当月に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	日モード	カレンダー ペインを日モードに切り替えます。日モードでは、日ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの日が表示されます。日の横には、該当日に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	フォトカレンダー	カレンダー ペインをフォトカレンダー モードに切り替えます。フォトカレンダーは、月別のカレンダーに画像の含まれた日をサムネイルで表示します。サムネイル上にマウスを移動すると、その日に含まれている最初の 4 画像がポップアップで表示されます。サムネイルをクリックすると、該当日に含まれているすべての画像がファイル一覧に表示されます。カレンダーの右上隅に、該当月に含まれる画像の合計数が表示されます。タイトルバーをドラッグ別の場所にフロートさせ、ペインのコーナーをドラッグしてサイズ変更をすると、サムネイルのサイズを大きくまたは小さく変更することができます。
	オプション	<p>カレンダー ペイン オプション を使って、ファイルの管理に使用する日を指定します。例えば以下のように日付を設定し、表示を素早く切り替えることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • データベースの日付 (ACDSee がデータベースをカタログ化した日付) • 画像の撮影日時 • ファイルの更新日時 • ファイルの作成日時 (コンピュータにロードされた日) <p>[ACDSee オプション] を選択して [カレンダー] ダイアログを開き、フィルタ、週の始まりや時計の表示形式などを設定します。</p>
	目次	<p>イベント日の一覧を表示します。</p> <p> イベントモードでのみ利用できます。</p>

イベントモードに説明やサムネイルを追加する

イベントモードに説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。

 カレンダー タイトル バーを右クリックして、[フロート]を選択してペインを新しい場所に移動できます。

イベントモードの特定日に説明を追加するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. [イベントの説明をここに入力します] をクリックし、ハイライト表示されたテキストを新規入力された説明に置き換えます。
3. **Enter** キーを押すか、説明領域外の任意の場所をクリックします。これで説明の内容が保存されます。

イベントモードまたはフォトカレンダーにある特定のサムネイルを選択するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. 該当日をクリックして、ファイル一覧ペインに画像またはメディアファイルを表示します。

3. 該当日のサムネイル領域に、画像またはメディアファイルをクリック & ドラッグします。

マウスボタンをリリースすると、サムネイルが保存されます。既定サムネイルをリセットするには、該当サムネイルを右クリックし、**[既定サムネイルの復元]**を選択します。

イベントモードで日付一覧をナビゲートするには:

1. 特定グループを展開または折りたたむには、グループヘッダーの左横にある +/- をクリックします。
2. 全グループを展開または折りたたむには、**[全グループの展開]** または **[全グループの折りたたみ]** を選択します。
3. 複数のグループ間をスクロールするには、**[ファイル一覧]** スクロールバーの下にある **[次のグループ]** または **[前のグループ]** ボタンをクリックします。
4. **[カレンダー]** ペインのスクロールバーの下にある **[目次]** ボタンをクリックして、希望する日付を選択します。

お気に入りファイルを参照する

お気に入りのファイルへすぐにアクセスできるショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインを開く

[ペイン] から **[ショートカット]** をクリックする。

ショートカットを作成する

ショートカット ペイン内では、フォルダやファイルへのショートカットを作成したり、実行ファイルを起動したりすることができます。また、お気に入りのショートカットはフォルダのように、コピー、移動、名前の変更、削除することができます。実行ファイルのショートカットを使用して、ACDSee内から別のアプリケーションを起動することもできます。**[ファイル]** 一覧ペインからファイル、フォルダ、実行ファイルをショートカットペインに直接ドラッグすることでも、ショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインにファイルを追加するには:

1. ファイル一覧ペインから、ファイル、フォルダまたは実行ファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 選択したアイテムを右クリックし、**[ショートカットに追加]** を選択します。
 - **[ファイル]** から **[ショートカットに追加]** をクリックします。
3. 新規ショートカット名を入力し、**[OK]** をクリックします。

新規フォルダを作成する

ショートカットを管理しやすいように、ショートカット ペイン内では、フォルダまたはフォルダツリー全体を作成することが可能です。

新規フォルダを作成するには:

1. ショートカット ペイン内で、ショートカット、または既に作成されているフォルダを右クリックし、**[新規作成]**、**[フォルダ]** を選択します。
2. 新規フォルダの名を入力し、**Enter** キーを押します。

 ショートカットとして適用されているファイルまたはフォルダを移動するとリンクが壊れるため、それ以降ショートカット機能が適切に起動しないこととなります。

ショートカットまたはフォルダを削除する

ショートカット ペイン内では、ショートカットまたはフォルダを削除することができます。

ショートカットまたはフォルダを削除するには:

ショートカット ペインで、ショートカットまたはフォルダを右クリックし、[削除] をクリックしてから、[はい] をクリックして、ショートカットまたはフォルダの削除を確認します。

カタログ ペインを使用する

カタログ ペインは管理モードの中で最も便利なペインの 1 つで、ファイルの整理や管理に必要なツールを数多く搭載しています。ファイルをカタログ ペインのカテゴリや重要度、キーワード、カラーラベルにドラッグすることで素早くファイルの整理が可能になります。自動カテゴリを使えば、ファイルサイズやキーワード、シャッター速度などの特定の情報でファイルを検索することができます。保存済み検索では、検索を自由に作成して実行することが可能です。[イメージ Jewel] のようなスペシャルアイテムを使用すれば、コンピュータ内の全画像をワンクリックで表示できますし、またカテゴリ分けされていない画像もスペシャルアイテムの [未分類] をクリックすれば簡単に表示できます。

カタログ ペインを開くには:

管理モードで、[ペイン]、[カタログ] をクリックします。

メインブラウザの左手、[フォルダ] と [カレンダー] タブの間にカタログ ペインが開かれます。

イージーセレクト バー

イージーセレクト バーを使用して複数のアルバム、重要度、キーワード、ラベル、カテゴリを選択すると、選択した条件に合致するファイルをファイルリストペインで表示することができます。

イージーセレクト バーを適用するには:

 カatalog ペインの 1 つ以上のアイテムの左側にあるインジケータを選択して、特定の条件に一致するファイルをファイル一覧ペインに表示します。

フォルダを ACDSee データベース

カタログ ペインまたはプロパティ ペインにあるカテゴリや重要度に関連する情報は、ACDSee データベースに保存されます。各ファイルにこの情報を埋め込むことで、ファイルの場所を移動したり、ファイルを共有したり、必要に応じて情報を取得したりという作業を簡単に行うことができます。

RAW ファイルを閲覧する

RAW ファイルはネガのようなものなので、表示するには現像や処理を行う必要があります。閲覧するのに RAW ファイルをすべて現像しなくてはならないのは大変不便です。では ACDSee 写真を閲覧するのに RAW ファイルを処理する必要はありません。ACDSee で基本的な処理が行われます。

RAW ファイルに写真のサムネイルが埋め込まれている場合には、ACDSee はそのサムネイルを管理モードで表示します。埋め込まれているサムネイルの画質が低い場合には、ACDSee はまず埋め込まれたサムネイルを管理モードで表示した後、高画質のサムネイルを作成して再表示します。この処理は、ウィンドウの下部にあるステータス バーで確認することができます。

高画質サムネイルの表示に時間がかかりすぎる場合は、このオプションをオフにすることができます。管理モードで [ツール] > [オプション] をクリックして [ファイル一覧] を選択し、[高画質サムネイルの作成] チェックボックスをすべてオフにします。RAW ファイルに写真のサムネイルが埋め込まれていない場合には、ACDSee は高画質のサムネイルを即座に作成して管理モードで表示します。



[高画質サムネイルの作成] オプションをオフにすると表示が速くなりますが、RAW 画像のサムネイルが正確に表示されなくなります。

ACDSee はデータベースを検索し、以前に RAW ファイルを現像したことがあるかどうかを確認します。RAW ファイルの現像設定が見つかった場合、その設定を使用して管理モードで正確なサムネイルを表示します。

サムネイルは作成されると ACDSee データベースに保存され、次回から取得と表示の時間が短くなります。

管理モードで顔を検出する

ACDSee は、ファイル情報とサムネイルを、ファイルを参照する際、データベースに自動追加します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。閲覧しているフォルダがカタログ化されると、ACDSee は画像内の顔を検出する処理を開始します。他のフォルダを開くと、ACDSee は最初のフォルダで顔のスキャンを続行し、後続のフォルダはキューに入れられます。管理モードの右下隅でスキャンの進行状況を確認できます。ACDSee は、閲覧したフォルダで顔検出が完了するまでスキャンを続けます。

顔のスキャン:

スキャンのために待機中の画像の数が右下隅に表示されます。この画面にカーソルを合わせると、現在スキャンされているファイル名を含むツールチップが表示されます。

キューが大きくなりすぎてリセットしたい場合は、画面を右クリックして、コンテキストメニューから[待ち行列を消去]を選択するか、[ツール] > [顔検出] > [待ち行列を消去]を選択します。そうすると、スキャンする特定の写真を閲覧できます。



表示モードで、画像ごとに画像上の顔を検出することもできます。画像を開くと顔検出が各画像の顔をスキャンします。

閲覧したフォルダで顔検出を実行した後、表示モードで画像を開くことができ、表示モードでは顔の輪郭が表示されます。表示モードで検出された顔に名前を割り当てることができます。

顔検出を有効または無効にするには:

[ツール]から[オプション]、[顔検出]をクリックし、[画像内の顔を自動的に検出する]チェックボックスを切り替えます。

表示モードで検出された顔に名前を割り当てると、カタログペインの[人物]グループを使用して、画像内の人物に基づいて写真を検索できます。クイック検索バーと検索ペインで名前を検索することもできます。人物マネージャを使用して、顔検出で顔に割り当てられた名前を管理できます。

選択した画像の顔検出と顔認識を削除するには:

管理モードで選択した画像の顔検出および顔認識データを削除できます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [ツール]から[顔検出]、[顔を削除]を選択します。

これらの画像はスキャン済みとしてマークされたままになり、[顔の再検出]コマンドによってトリガーされない限り、または[顔検出の再実行]を有効にし、画像を編集または現像して閲覧しない限り、顔検出は再スキャンを実行しません。

選択した画像で顔検出を再実行するには:

管理モードで、選択した画像を顔検出で強制的に再スキャンできます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [ツール]から[顔検出]、[顔の再検出]を選択します。

選択した画像で顔認識を再実行するには:

選択した画像内で手動で名前を付けていない顔で顔認識を再実行して、ACDSeeが顔に割り当てた誤った名前を修正することができます。この動作を実行すると、ACDSeeの顔認識が割り当てた名前すべてがクリアされますが、手動で入力された名前は残ります。続いてACDSeeは、手動で入力した名前に基づいて、名前の付いていない顔の認識を試みます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [ツール]から[顔検出]、[顔認識を再実行]を選択します。

顔データの埋め込みと取得

顔検出機能を実行すると、「顔データ」が作成され、データベースに追加されるため、**埋め込み保留中アイコン**がトリガーされます。顔データは、ACDSee メタデータと同様に、画像のXMP ファイルに埋め込まれます。顔データもファイルに埋め込むことで、共有したり、復元したり、新しいデータベースで使用したりできるようになります。

顔データを埋め込むには:

[ACDSee メタデータの埋め込み]ダイアログを使用して、顔データを埋め込むことができます。[ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む](#)を参照してください。

ファイルに埋め込まれた顔データを取得するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ツール]から[顔検出]、[ACDSee 顔データのインポート]を選択します。
- [ツール]から[データベース]、[カタログ ファイル]を選択します。[カタログファイル]ダイアログの[カタログファイルからインポート]セクションで、[ACDSee 顔データ]チェックボックスを有効にします。スタートを押します。

表示を変更する

ファイル一覧ペインでは、サムネイル プレビュー、ファイルの詳細など、ファイルのさまざまな表示を選択することができます。また、サムネイルの外観やサイズをカスタマイズしたり、[詳細]の表示で表示する情報を指定したりすることができます。

ファイル一覧ペインを変更するには:

管理モードで、ファイル一覧ペインの[表示]から次のいずれかを選択します。

表示

サムネイル+詳細	一覧にファイル名と詳細を表示し、[ファイル名]列にサムネイル プレビューが追加されます。
フィルムストリップ	ファイル一覧ペインの下部に、ファイルのサムネイル プレビューを横一列に表示します。拡大されたプレビュー ペインには、現在選択されている画像のプレビューが表示されます。
サムネイル	ファイル一覧ペインにあるすべての画像とメディア ファイル (そして一部のドキュメント形式) のサムネイル プレビューを表示します。サムネイルの外観をカスタマイズしたり、サムネイルと一緒に表示される情報を指定することができます。
タイル	サムネイル プレビューとファイル情報が含まれる「タイル」に、ファイル一覧ペインの各ファイルを表示します。ズーム スライダを使用して、タイルのサイズを変更することができます。
アイコン	一覧にあるファイルを、各ファイル形式に適用されている既定の大きなシステム アイコンで表示します。
一覧	ファイル名とファイル拡張子の一覧を表示します。
詳細	ファイル名と、サイズ、フォーマット、作成日などの各ファイルの詳細を含むリストが表示されます。下に説明されているように、[詳細]表示モードの外観をカスタマイズしたり、表示される情報を指定することができます。
オーバーレイ モードの切替	オーバーレイアイコンの非表示、グレースケールで表示、カラーで表示を切り替えます。「] 」キーで選択します。
オーバーレイのハイライト	カラー表示するオーバーレイ アイコンを選択します。「 [」キーで切り替えます。

詳細表示をカスタマイズする

[詳細]表示モードを設定して、列を自動的にサイズ変更するようしたり、グリッド ラインを表示または非表示にしたり、行の入力項目を選択するとその行全体が選択されるようしたりすることができます。また、[詳細]表示モードの外観を変更したり、表示する列を選択したり、列の順序をカスタマイズすることも可能です。

列の選択や列の順序の変更するには:

1. 管理モードでファイル一覧のドロップダウンから[表示] > [詳細の選択]をクリックします。
2. [詳細の選択]ダイアログボックスで、以下のいずれかの操作を行います。
 - 列を追加するには、[利用可能な詳細]ペインにあるフォルダ名または詳細の名前を選択し[追加]をクリックします。フォルダを追加すると、そのフォルダ内にあるすべての詳細の名前が追加されます。
 - 列を削除するには、[現在表示されている詳細]ペインにあるフォルダ名または詳細の名前を選択し[削除]をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの左側に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当する列の名前を選択し、[上に移動]をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの右側に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当する列の名前を選択し、[下に移動]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。



既定の列の名前のみを[現在表示されている詳細]ペインに表示するには、[リセット]をクリックします。また、ファイル一覧ペインでは、列のヘッダーをドラックして移動させることも可能です。縦線は列が挿入される場所を示します。

ファイルにフィルタを適用する

フィルタの条件オプションを使用して、[ファイル一覧]ペインに表示されるファイルの種類を設定することができます。

[ファイル一覧]ペインのフィルタを設定するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [表示] > [フィルタ条件]をクリックし、フィルタオプションを選択します。
- [フィルタ]ドロップダウンをクリックし、フィルタオプションを選択します。



サムネイルがすべて隠れてしまった場合には、[フィルタ] から[すべて] を選択すると再表示されます。

カスタムフィルタを作成するには:

1. 以下のいずれかを実行します。
 - [表示]から[フィルタ条件]、[高度なフィルタ]をクリックします。
 - [フィルタ]ドロップダウンをクリックし、[高度なフィルタ]を選択します。
2. [フィルタ条件の適用]を選択します。
3. 以下のいずれかのオプションを選択またはクリアすると、[ファイル一覧]ペインに選択されたファイルの種類が表示 / 非表示されます。
 - **画像ファイルの表示**
 - **メディアファイルの表示**
 - PDFファイルを表示する
 - **フォルダを表示**
 - **アーカイブファイルの表示**
 - Officeドキュメント示る
 - [隠しファイルとフォルダを表示する]を選択して、オペレーティングシステムでは通常表示されないファイルやフォルダを表示します。
 - [THMファイルを表示する]を選択して、サムネイルファイルを表示します。

- **[XMPファイルを表示する]** を選択して、Adobe® が RAW フォーマット用に作成する XMP サイドカーファイルを表示します。

4. **[OK]**をクリックします。

ファイルをグループ化する

[ファイル一覧] で膨大な量の画像を参照しなければならないといった場合には、[グループ化] を使用して別のグループに仕分けると、参照が楽になります。グループ化することで、特定の画像を探しやすくなります。例えば、複数のカメラを使用する場合には、画像撮影に使用したカメラの機種別に画像をまとめることができます。同様に、画像を別のファイルフォーマットで保存する場合には、フォーマット別に画像をまとめることもできます。



グループ化は、[サムネイル]、[サムネイル + 詳細]、[詳細]、[タイル]、[アイコン]表示でのみ利用可能です。



「処理状況」でグループ分けすると、どのファイルが現像または編集済みかなどを区別することができるため大変便利です。

ファイル一覧でファイルをグループ化するには:

1. ファイルが含まれているフォルダを参照します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[表示]** メニューから **[グループ化]** をクリックし、グループ オプションを選択します。
 - **[グループ]** ドロップダウンをクリックし、グループ オプションを選択します。

ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには

特定グループを展開または折りたたむには:

グループヘッダーの左横にある **[展開]** または **[折りたたみ]** 矢印をクリックします。

全グループを展開または折りたたむには:

[全グループの展開] または **[全グループの折りたたみ]** を選択します。

閉じられたグループの画像プレビューを表示するには:

グループのヘッダー上にマウスをポイントします。

複数のグループ間をスクロールするには:

[ファイル一覧] スクロールバーの下にある **[次のグループ]** または **[前のグループ]** ボタンをクリックします。

目次を表示するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- **[表示]** メニューから **[グループ化]**、**[目次]** をクリックします。
- **[グループ]** ドロップダウン リストから **[目次]** をクリックします。
- ファイル一覧 スクロールバーの下にある **[目次]** ボタンをクリックします。

特定のグループに素早くジャンプするには:

1. 目次を表示します。
2. 表示したいグループをクリックします。

グループを並べ替えるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- **[表示]** メニューから **[グループ化]** をクリックし、**[昇順]** または **[降順]** を選択します。
- **[グループ]** ドロップダウンをクリックし、**[昇順]** または **[降順]** を選択します。

ファイル一覧からグループを削除するには

1 つのグループを削除するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- **[表示]** メニューから **[グループ化]**、**[なし]** をクリックします。
- **[グループ]** ドロップダウン リストから **[なし]** をクリックします。

1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには

グループ内のファイルを選択するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- グループのヘッダーをクリックし、そのグループ内の全ファイルを選択します。
- **Ctrl** キーを押しながら、複数グループのヘッダーをクリックし、それらのグループに含まれているファイルをすべて選択します。

ファイルを並べ替える

管理モードでは、異なるファイル プロパティによってファイルを並べ替えることで、すばやく画像を管理したり、特定のファイルを検索したり、類似する属性のファイルを作成したりすることができます。

ファイル一覧の項目を並べ替えるには:

1. **[表示]** メニューから **[並べ替え]** をクリックし、並べ替えオプションを選択します:
 - **ファイル名**
 - **サイズ (KB)**
 - **画像タイプ**
 - **更新日時 (M)**
 - **画像プロパティ**
 - **キャプション**
 - **重要度**
 - **タグ付き**
 - **その他** (メタデータ、EXIF、ファイル プロパティ、画像の属性、IPTC情報またはマルチメディアの属性で並べ替え)
2. 並べ替えの方向を設定するには、**[表示]** メニューから **[並べ替え]** をクリックし、次のいずれかを選択します:
 - **昇順に並べ替え**
 - **降順に並べ替え**



並べ替え設定は、新規の設定が選択されるまで変更されません。例えば、重要度でファイルを並べ替えた場合、他の並べ替え設定を選択するまで、重要度別にファイルが並べ替えられたままになります。

列のヘッダーでファイルを並べ替える

列のヘッダーを使用して、「詳細」表示モードのファイルをすばやく並べ替えることができます。

列のヘッダーを使用してファイルを並べ替えるには:

1. 列のヘッダーをクリックします。矢印が表示されたら、並べ替える方向を指定します。
2. 並べ替える方向を変更するには、列のヘッダーをもう一度クリックします。

ファイルのカスタム並び替え

[カスタム並び替え]を使用して、ファイル一覧ペインで表示されているファイルの順序を変更することができます。[カスタム並び替え]で変更されたファイルの順序は、順序が再度変更されるか、または [カスタム並び替え] が削除されるまで ACDSee によって自動的に保持されます。

ファイルの並び替え順序をカスタマイズするには:

1. 1 つ以上のファイルを選択します。
2. 選択したファイルを、ファイル一覧の新しい場所にドラッグします。



[カスタム並び替え] を削除するには、[表示] メニューから [並び替え] を選択し、[カスタム並び替えの削除] を選択します。

ファイルを選択する

ファイル一覧ペインでは、すべてのファイルやフォルダを一度に選択したり、現行フォルダにあるすべてのファイルを選択したり、画像ファイルのみを選択することができます。

また、選択範囲をすべてクリアすることもできます。ファイル一覧に新しいファイルが追加される度にそれらのファイルを自動的に選択するオプションも用意されています。[ツール]メニューから、[オプション]、このオプションを設定する [ファイルリスト] をクリックします。

ファイルやフォルダを選択するには:

- ファイルを選択するにはサムネイルをクリックします。
- **Ctrl**キーを押しながらクリックして、複数のファイルを選択します。
- **Shift + クリック** で、連続した複数のファイルを選択します。



ファイル一覧ペインの端の部分をクリックすると選択を解除します。

メニューからファイルやフォルダを選択するには:

1. [管理] モードで [編集] をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **すべて選択**: 現在のフォルダ内のすべてのファイルとサブフォルダを選択します。
 - **すべてのファイルを選択**: 現在のフォルダ内のすべてのファイルを選択します。
 - **すべての画像を選択**: 現在のフォルダ内のすべての画像ファイルを選択します。
 - **タグの付いた画像を選択**: フォルダの場所に関係なく、タグの付いたすべての画像を選択します。
 - **重要度で選択**: 重要度の一覧を表示し、選択した重要度が付いているすべてのファイルを選択します。

- **選択のクリア**: 現在の選択を解除します。
- **選択範囲の反転**: 初めに選択した範囲以外のすべてのファイルを選択します。

画像をプレビュー表示する

プレビュー ペインでは、画像、オーディオ、ビデオ ファイルのプレビューを表示することができます。デフォルト設定では、プレビュー ペインには画像の EXIF 情報の主要な部分が表示されます。プレビューペインで現在選択されている画像またはメディア ファイルのサムネイルを表示するよう設定することができます。プレビュー ペインのサイズを変更してサムネイルのサイズを調整したり、画面のお好きな位置にペインを移動することができます。

プレビュー ペインを使って、選択した画像のヒストグラムを表示することも可能です。

プレビュー ペインを開くまたは閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ペイン]から[プレビュー]をクリックします。
- **CTRL + Shift + P**を押します。

プレビュー ペインに表示する情報を選択するには:

画像を表示している時にプレビュー ペインに表示されているオプションをカスタマイズできます。(画像を表示するには、[ツール]> [オプション]> [プレビュー]の順に移動し、[画像の表示]チェックボックスをオンにします。) [プレビュー]ペインで画像を右クリックし、[画像と情報]を選択して、次のいずれかを選択します。

- **画像の表示**: 画像のプレビューのみを表示します。
- **情報の表示**: 画像のEXIF情報を表示します。これは情報パレットと呼ばれます。
- **ヒストグラムの表示**: 画像のヒストグラムを表示します。

情報パレット

情報パレットは、画像の EXIF 情報の最も有用な要素に素早くアクセスすることができます。含まれる情報

- カメラ名とレンズ モデル
- 大きさ
- ファイル サイズ
- 露出プログラム
- ホホワイトバランス
- 測光モード
- フラッシュ
- RAW (RAWでないファイルの場合はブランク)
- ISO
- 絞り値
- シャッター速度
- 露出補正
- 焦点距離



アイコンの意味がわからない場合は、その上にマウス ポインタを移動すると説明がポップアップ表示されます。

プレビュー情報をカスタマイズするには:

プレビュー ペインの情報パレットの下に表示する情報をカスタマイズすることができます。既定では、画像の撮影日時が表示されます。

1. プレビュー ペインの情報パネルの下に表示されている日時を右クリックします。
2. [プレビュー情報を選択...]をクリックします
3. [詳細の選択]ダイアログ ボックスで、[現在表示されている詳細]の下に表示されている項目を選択して[削除]ボタンをクリックします。
4. [選択可能な詳細]から項目にチェックを入れて選択し、[追加]ボタンをクリックします。
5. [OK]をクリックします。

オーディオまたは動画ファイルをプレビューするには:

1. [ツール]>[オプション]>[プレビュー]をクリックします。
2. [オーディオおよびビデオクリップのプレビュー]チェックボックスを選択します。
3. [OK]をクリックします。



情報パレットは表示モード、現像モードおよび編集モードでも表示されます。[情報パレット]をオフにするには、[ペインメニュー]の[情報パレット]の選択を解除します。

画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある[回転]アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未処理の JPEG 画像を回転する際、ACDSee は可逆圧縮の回転を実行します。

画像を回転するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、1 つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの[左に回転]または[右に回転]ボタンをクリックします。

回転 アイコン

	左に回転	画像を左に 90 度回転します。
	右に回転	画像を右に 90 度回転します。

画像を比較する

「画像の比較」機能を使用して、複数の画像を比較することができます。選択した画像のプロパティ、メタデータ、ピクセルの強度レベルを比較して、類似する点と異なる点の両方をハイライトします。好きな方の画像をハードディスク上の新しい場所に保存したり、管理モードで画像にタグを付けて、後で削除、移動、名前の変更、編集を行ったりすることができます。

画像を比較するには:

1. ファイラー一覧 ペインから、比較する複数の画像を選択します。
2. [ツール]、[画像の比較]をクリックします。[画像比較ビューア]には最大 4 画像まで表示することができます。

3. 表示する画像を変更するには、次の1つ以上を実行します。
 - 比較リストの画像を右クリックし、[アクティブビューへ送信]をクリックします(選択された画像は淡い色のボックスで表示されます)。
 - 比較一覧から、[画像比較ビューア]のボックスに画像を直接ドラッグします。
 - [画像比較ビューア]で画像を右クリックし、[次の画像]または[前の画像]を選択します。
 - [画像比較ビューア]で画像を右クリックし、[ファイル]メニューから[画像の比較から削除]を選択するか、画像ツールバーから[削除]アイコンをクリックします。
4. タグを追加するには、次のいずれかを実行します:
 - 比較リストで、右側にある画像の下にあるチェックボックスをクリックします。
 - [画像比較ビューア]で、画像を右クリックし、[タグ]を選択するか、画像ツールバーにある[タグ]アイコンをクリックします。
 - 左手下にある[すべてをタグ]をクリックして全画像にタグを追加するか、[すべてのタグを解除]をクリックして全画像からタグを解除します。
5. 画像に重要度を設定するには、画像を右クリックし、[重要度の設定]をクリックしてから、その画像に適切な重要度を選択します。
6. 画像にカテゴリを設定するには、画像を右クリックし、[カテゴリの設定]をクリックしてから、その画像に適切なカテゴリを選択するか、必要に応じてカテゴリを作成します。
7. 右下隅にあるOKをクリックします。

画像の比較ツールバー

	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	選択された画像を拡大します。
	縮小	選択された画像を縮小します。
	ズームメニュー	ズーム オプションのメニューを開きます。次のオプションから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 実寸表示: オリジナルのサイズで画像を表示します。 • 画面に合わせて表示: 画像比較ビューアに収まる最大サイズで画像を表示します。 • 幅に合わせて表示: 画像比較ビューアの幅に合わせて画像を表示します。 • 高さに合わせて表示: 画像比較ビューアの高さに合わせて画像を表示します。 • ズーム固定: 現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズームが調整されると、表示されるすべての画像にそのズームレベルが適用されます。 • 倍率指定: ズーム オプションを選択することができるダイアログ ボックスが開かれます。
	パンの固定	画像を特定の領域にズーム / パンする際、画像比較ビューアですべての画像の同一領域を表示するように、画像のパンした領域を固定します。
	露出警告を表示する	ピクセルが露出オーバーまたはアンダーである領域を示します。
	プロパティ	画像比較ビューアに各画像のプロパティを表示します。[メタデータの設定] ボタンをクリックして、表示させるプロパティを指定します。 画像の比較ツールは、各画像の下に指定されたプロパティを表示します。異なるプロパティの値は太字で表示されます。近い値のプロパティは通常のフォントで表示されます。
	ヒストグラム	画像比較ビューアに画像のヒストグラムを表示します。
	メタデータの設定	ダイアログ ボックスを開き、画像比較ビューアに表示する画像のメタデータを選択します (プロパティ  がオンになっていることを確認してください)。
	1 画像	画像比較ビューアに 1 つの画像を表示します。
	2 画像	画像比較ビューアに 2 つの画像を表示します。
	3 画像	画像比較ビューアに 3 つの画像を表示します。
	4 画像	画像比較ビューアに 4 つの画像を表示します。

	プロパティ ペイン	1 画像が表示されている場合は、プロパティ、ヒストグラム、虫めがね、ナビゲータ ペインを開きます。
	ヘルプ	ヘルプ ファイルを開きます。

画像ツールバー

画像の比較ツールに表示される各画像の下には、ツールバーが設定されています。このツールバーを使用して、各画像を調整することができます。

	保存	新規のファイル名、異なるファイル フォーマットで保存することができるダイアログが登場します。
	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	画像を拡大します。
	縮小	画像を縮小します。
	Delete	ハードドライブから画像を削除します。
	削除	比較リストから画像を削除します。
	タグ	画像にタグを付けると、画像の比較ツールを閉じても、画像が選択された状態になります。

画像バスケットに画像を集める

画像バスケットを使うと、さまざまな場所やフォルダにある画像やメディアファイルを集めて維持することができます。画像バスケットにアイテムを入れると、それらのファイルの編集、共有、表示に ACDSee のツールや機能を使用できるようになります。最大 5 つの画像バスケットを作成し、同時に使用することができます。

画像バスケットを開くには:

管理モードで、[ペイン]、[画像バスケット]、[新しい画像バスケット] をクリックするか、[Ctrl + Shift + 9] を押します。この手順を繰り返すことで、最大 5 つの画像バスケットを開くことができます。

イメージバスケットにファイルを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ファイル一覧] ペインで追加したいファイルを選択します。アイテムを画像バスケットにドラッグします。
- [ファイル一覧] ペインで、選択したファイルを右クリックし、コンテキストメニューから[画像バスケットに追加]を選択します。この方法は、表示モードでも使用できます。
- [ファイル一覧] ペインで、追加したいファイルを選択し、**Ctrl + B**を押します。この方法は、表示モードでも使用できます。



最後に操作した画像バスケットは、「アクティブな」バスケットと見なされます。これは、バスケット名の横に星印で示されます。アクティブなバスケットは、管理モードまたは表示モードでコンテキストメニューまたはキーボードショートカットを使用するときに画像が追加されるバスケットです。



Windows エクスプローラから画像をドラッグして画像バスケットに追加することもできます。

画像バスケットからファイルを削除するには:

画像バスケットで、ファイルを右クリックし、[画像バスケットから削除]を選択するか、**Alt + X**を押します。

すべてのファイルを削除するには、バスケットを右クリックして[バスケットを空にする]を選択します。

画像バスケットの名前を変更するには:

画像バスケットで、右クリックしてコンテキストメニューから[画像バスケットの名前を変更]を選択します。[画像バスケットの名前を変更]ダイアログで、フィールドに名前を入力し、[OK]を押します。

画像バスケットを削除するには:

画像バスケットで、右クリックしてコンテキストメニューから[画像バスケットを削除]を選択するか、**Ctrl + Shift + -**を押します。画像バスケットを削除しても、その中の画像は削除されません。

[管理]モードで[現像設定]を表示する

現像設定 ペインを使用すると、現像モードで自分の画像に加えられた調整を表示できます。



画像を現像しないと、現像設定 ペインには値が一切表示されません。

現像設定ペインを開くには:

管理モードで、[ペイン]、[現像設定]をクリックします。

[現像設定]を表示するには:

1. 現像済みオーバーレイアイコンが付いている画像を選択します。
2. [現像設定]ペインでグループを展開し、各調整値を表示します。



現像調整内容のコピーと貼り付け

現像モードで実行した調整内容をコピーして、現像設定 ペインの他の画像に貼り付けることができます。

[現像設定]をコピーして他の画像に貼り付けるには:

1. 画像を選択します。
2. 現像設定 ペインで、[コピー]ボタンを押します。
3. 調整内容を貼り付ける画像を選択します。
4. [貼り付け]ボタンを押します。

画像を復元する

[復元]ボタンを押すと、画像を元の状態に復元することもできます。

画像を元の状態に戻すには、以下の手順を実行します:

1. 画像を選択します。
2. [現像設定]ペインで、[復元]ボタンを押します。

ACDSee でファイルのカタログ化・管理 ACDSee

閲覧、表示、編集の機能に加え、ACDSee 画像やメディア ファイルを整理して並べ替えるのに便利な統合管理ツールが搭載されています。この統合管理ツールには、一括処理機能（複数のファイルを同時に変更したり調整したりできるツール）、カテゴリや重要度のシステム、大切な画像情報を保有する強力なデータベースなどがあります。

一括処理機能を使用すると、ACDSee エクスポート、名前の変更、サイズ変更、回転、EXIF 情報の追加、露出調整を、1つの画像、画像グループ、フォルダ内のすべてのファイルに対してすべて一度に実行することができます。カテゴリ、カラーラベル、重要度のシステムにより、仮想のフォルダ構造を作成して、ワンクリックで関連した画像やメディアを探し当てることができます。

ACDSee ファイルのプロパティ、画像情報をアクセスしやすいプロパティ ペインに表示し、ACDSee メタデータなどのファイル情報を直接追加、編集することができます。また、作成者、説明、メモ、キーワードのファイルへの追加や、カテゴリや重要度の割り当ての調整を同時に実行することができます。

カタログ ペインを使って整理する

カタログ ペインは ACDSee の中で最も便利なペインの1つで、多くの方法でファイルのカタログ化、並べ替え、グループ化、検索や管理ができます。

カテゴリ

カテゴリを使用すると、ファイルを内容と関連したセクションに簡単に整理することができます。ファイルにカテゴリを適用しても、そのファイルがフォルダから移動されたり、コピーが作成されることはありません。カテゴリはユーザーの希望にあわせてシンプルあるいは複雑に設定することができ、カテゴリの名前もユーザーが指定することができます。ユーザーが一目ただけでわかるように、異なる種類のアイコンが用意されています。ファイルがカテゴリに割り当てられると、カテゴリ別に検索、並べ替え、グループ化ができるようになります。

ファイルをカテゴリに適用する方法の1つに、ファイル一覧からファイルを選択し、希望するカテゴリ上に直接ドロップする方法があります。カテゴリの適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にブルーのタブが表示されます。ファイルには複数のカテゴリを適用できますが、表示されるブルーのタブは1つのままになります。包括的な[カテゴリ](#)管理を行うには、プロパティ ペインの[整理]タブを使用します。

人物

カタログ ペインの[人物]グループには、表示モードの[顔検出](#) ペインで割り当てた人物の名前が表示されます。顔検出で識別されている場合は、名前を選択して、その人物が写っているすべての写真を表示できます。[人物]グループの右上隅にある設定メニュー（ギアアイコン）を使用して、[割り当てられた名前](#)、[推奨ネーム](#)、またはその両方を表示するかどうかを設定できます。

キーワード

キーワードはファイルを効率的に整理する方法の一つです。階層構造を利用してスマートに整理できます。プロパティ ペインの[整理]タブで作成した[キーワード](#)の階層ツリーは、画像を選択しなくてもカタログ ペインのキーワード セクションに表示されます。右クリックのコンテキスト メニューを使用してキーワードを管理するためのグループを使用できます。画像にキーワードをドラッグしたり、キーワードを画像にドラッグすることによりすばやくキーワードの割り当てが可能です。

重要度

画像やファイルに1から5までの[重要度](#)を適用することができます。重要度を適用すると、重要度に基づいて検索、並べ替え、管理ができるだけでなく、重要度やカテゴリ、自動カテゴリと組み合わせてこれらの作業を行うこともできます。ファイルに複数の重要度を適用することはできませんのでご注意ください。重要度が適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にその数字が表示されます。

カラーラベル

カラーラベルはさまざまな使い方でファイルの管理に役立ちます。ワークフローの異なるステージを異なる色で表示することができます。写真またはドキュメントを確認する際にカラーラベルに割り当てて、それに従って名前を変更することができます。

自動カテゴリ

ほとんどのデジタルカメラは、写真撮影時に、そのファイルに関する情報を作成し埋め込みます。この情報はメタデータと呼ばれ、カメラ名や機種、ファイルのサイズ、シャッター速度、撮影時のカメラ設定などが含まれます。ACDSeeはこの情報を使用して、自動カテゴリを作成します。自動カテゴリをクリックすると、ACDSeeはそのメタデータに属している画像を検索します。例えば、特定のカメラで撮影された、特定サイズの画像のみを探すなど、複数の自動カテゴリを選択してファイルを検索することができます。また、プロパティペインを使用し、この情報を追加することが可能です。

保存済み検索

同じ検索条件を頻繁に使うような場合、その条件をプリセットとして保存し、後で使用すると便利です。保存済み検索は、検索ペインの上部およびカテゴリペインに表示されます。カテゴリペインでは、名前をシングルクリックする、あるいはイージーセレクトバーの白いチェックボックスをクリックするだけで使用可能です。

カタログペインで保存済み検索を新規作成するには:

1. カタログペインの[保存済み検索]領域にある[新規の保存済み検索]アイコンをクリックします。

[検索]ペインが開かれます。

2. 検索条件を入力したら[保存済み検索]アイコンをクリックします。

カタログペインの[保存済み検索]と、検索ペインの[保存済み検索]ドロップダウンリストに新規の保存済み検索が表示されます。

スペシャルアイテム

スペシャルアイテムを使用して、データベース内の全画像、未分類の画像を素早く表示することができます。次のいずれかを選択します。

- **イメージ ウェル:** データベースにカタログ化されているすべての画像を ACDSee 表示します。画像コレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかります。
- **動画:** データベースにカタログ化されているすべての動画を ACDSee 表示します。ACDSeeでサポートされているすべての動画フォーマットが結果に表示されます。ファイルコレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかります。
- **埋め込み保留中:** データベースのデータが変更され、まだファイルに情報が埋め込まれていないすべてのファイルが表示されます。
- **未分類:** データベース内にカタログ化された画像で、カテゴリに分類されていないものが表示されます。
- **キーワードなし:** データベース内にカタログ化された画像で、ACDSeeキーワードが割り当てられていないものを表示します。
- **名前のない顔:** 顔が1つ以上検出されていても名前が付けられていないすべての写真を表示します。
- **顔の自動名前付け:** ACDSeeが顔認識を使用して自動的に名前を付けた1つ以上の顔を含むすべての写真を表示します。
- **推奨ネーム:** すべての写真に推奨ネームが表示されます。このアイテムを使用して、画像コレクション全体の候補をすばやく確認または拒否することができます。
- **タグ:** ファイルコレクション内のタグが付けられている全ての画像が表示されます。

データベースとACDSee 埋め込まれたデータ

ファイルに重要度やカテゴリを設定すると、この情報はACDSee データベースにも保存されます。各ファイルにこの情報を埋め込むことで、ファイルの場所を移動したり、ファイルを共有したり、必要に応じて情報を取得したりという作業を簡単に行うことができます。データベースでは、情報は特定のファイルと常に関連付けられています。Windows エクスプローラのように、ACDSee 以外のアプリケーションを使用して移動または名前の変更が行われると、そのファイルとACDSee データベースのリンクが壊れてしまいます。各ファイルに情報を埋め込んでおけば、このような事態が発生しても、データベースを再構築して情報を取り込むことができます。

プロパティ ペインを使用して、キャプションやキーワードなどを ACDSee データベースに追加することも可能です。時間をかけてカテゴリやキーワード、注記などを適用すると、ファイルの検索や整理が楽になります。

- ❗ ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカー ファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカー ファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があり、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

イージーセレクトバー

イージーセレクト バーは、フォルダ ペインおよびカタログ ペインの左側にある縦列のバーです。イージーセレクト バーを使用して複数のフォルダやカテゴリを選択し、ファイル 一覧 ペインにそれらの内容を表示することができます。カタログ ペインでイージーセレクト バーを使用して、カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索、スペシャル アイテムの組み合わせを選択することも可能です。例えば、重要度 1 の付けられている画像で [人物] カテゴリが適用されているすべての画像など、ユーザーの希望する組み合わせで表示することができます。

また、イージーセレクト バーをブラウズ検索 ペインで使用することも可能です([表示]から[ブラウズ検索])。

完全一致/部分一致 ボタンとイージーセレクトを合わせて使用すれば、カタログ ペインは特定条件でファイルを探ることができるパワフルな検索ツールとなります。

イージーセレクトバーを適用するには:

フォルダ ペインまたはカタログ ペインで、表示したい各項目の左にあるインジケータを選択します。インジケータは、選択した項目の方に方向が変わります。



カテゴリや重要度、またそれらのコンビネーションを選択し、条件に一致するファイルがない場合、空白のサムネイルと共にファイル 一覧にメッセージが表示されます。ファイルを含んだフォルダに素早く戻るには、[戻る] をクリックします。

カタログ化されたファイルを表示するには:

1 つ以上のカテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索またはスペシャル アイテムを選択します。その分類に割り当てられたファイルは、ファイル 一覧 ペインに表示されます。

ファイル 一覧 の上部にあるコンテンツ バーに、現在選択されているカテゴリやアイテムが表示されます。ブラウズ検索 ペインを使用し、特定のフォルダ内にある特定のカテゴリ、重要度またはアイテムに絞り込んでブラウズすることができます。

完全一致/部分一致

カタログ ペインには、完全一致/部分一致 ドロップダウン リストが 2 つ備えられています。ペインの上部にあるリストはカテゴリ用、中部にあるリストは保存済み検索用です。完全一致/部分一致 オプションを使用すると、ファイル 一覧 に表示されるサムネイルが次のように絞り込まれます:

- **完全一致:** 選択されたカテゴリまたは検索のすべてに一致する画像のみが表示されます。カテゴリまたは検索の両方またはすべてと一致するファイルが、ファイル 一覧 に表示されます。完全一致はより排他的です。完全一致を使用すれば、表示されるファイルの数を減らし、検索結果をより限定的な条件で絞ることができます。
- **部分一致:** 選択されたカテゴリまたは検索のいずれかに一致する画像が表示されます。ファイル 一覧 には、選択されたカテゴリまたは検索のいずれかに当てはまるファイルが表示されます。部分一致はより包括的です。

カタログアイコン

	カテゴリ	カテゴリに割り当てられているファイルを識別します。
	重要度 1 ~ 5	ファイルの重要度を表示します。
	新規の保存済み検索	保存済み検索を新規作成することが可能な検索ペインが開かれません。
	保存済み検索	保存/新規保存のメニューが表示されて、検索条件を保存できます。
	イージーセレクト インジケータ (選択済み)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムを選択し、ファイル一覧ペインに表示します。
	イージーセレクト インジケータ (選択解除)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムの選択を解除します。ファイル一覧ペインには表示されません。
	部分一致/完全一致	ファイル一覧ペインに表示される画像をコントロールします。

 カタログ ペインでアイコンを非表示にするには、[ツール]から[オプション]をクリックし、[カタログ]を選択します。[オプション] ダイアログボックスで、[アイコンを表示する] チェックボックスを無効にします。

カテゴリを作成する

プロパティ ペインのカテゴリ タブでカテゴリを作成、管理することができます。ご自身の用途にあったカテゴリを簡単にカスタマイズすることができます。

プロパティペイン のカテゴリ タブを選択し、カテゴリの作成、名前変更、削除、移動を行うことができます。[ペイン] から [カテゴリ] を選択しても **カテゴリ** にアクセスできます。

カテゴリを作成するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - カタログ ペインで、[カテゴリ] を右クリックし、[新規カテゴリ] を選択します。
 - 管理モードで、[編集] > [カテゴリの設定] > [新規カテゴリ] をクリックします。
- 次のいずれかを選択します。
 - トップ階層に新規カテゴリを作成する
 - 選択したカテゴリにサブ カテゴリを作成する
- サブ カテゴリを作成した場合、ドロップダウン リストからトップ階層 (親となるカテゴリ) を選択します。(カタログ ペイン内のカテゴリ) を右クリックすると、既定設定として、新規サブ カテゴリがそのカテゴリの下に追加されます。
- [名前] フィールドに新規カテゴリ名 を入力します。
- [OK] をクリックします。

 新規に上部階層のカテゴリを作成する場合、アイコンを選択するとカテゴリの識別が簡単になります。アイコンのドロップダウン は、[ACDSee オプション] ダイアログの [カタログ] サブメニューにある [アイコンを表示する] チェックボックスが選択されている場合に表示されます。管理モードで、[ツール] | [クリック] [オプション] をクリックし、[カタログ] を選択します。

カテゴリを管理する

カテゴリを管理するには:

カタログ ペインにあるカテゴリを選択し、次のいずれかの操作を実行します：

- **名前**を変更するには、カテゴリを右クリックで選択し、[編集]を選択します。
- カテゴリを削除するには、削除したいカテゴリを右クリックし、[削除]を選択します。

カタログ ペインのカテゴリ グループ：

- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリを新規の場所にドラッグします。

アクセスのしやすいカテゴリーセットを作成する

カテゴリのリストが長かったり、対象別にカテゴリを分けたい場合などは、カテゴリーセットの作成機能が便利です。

カテゴリーセットを作成するには：

1. セット内に必要なカテゴリを作成します。
2. プロパティ ペインで、[クイック カテゴリ]ドロップダウン リストをクリックし、[新規のクイック カテゴリ セット...]を選択します。
3. [行と列]ドロップダウン メニューから値を選択して、セットの行と列の数をカスタマイズします。
4. 通常使用するカテゴリを入力フィールドに入力します。サブカテゴリにはパイプキーを使用します。例：例：A|B|C
5. [保存]ボタンをクリックします。
6. [OK]をクリックします。このカテゴリはクイックカテゴリドロップダウンリストに表示されます。
7. 1 つ以上のファイルを選択してカテゴリーセットのボタンをクリックします。そのカテゴリが選択したファイルに割り当てられます。現在選択されているファイルに割り当てられているカテゴリはボタンテキスト色が変わり、現在選択されているファイルの一部(すべてではない)にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。



カテゴリボタン名はカテゴリツリーのカテゴリ名と一致するようにしてください。

カテゴリと重要度の割り当てと検索

ファイルを移動したり、コピーを作成することなく、画像に重要度や1つまたは複数のカテゴリを適用することが可能です。



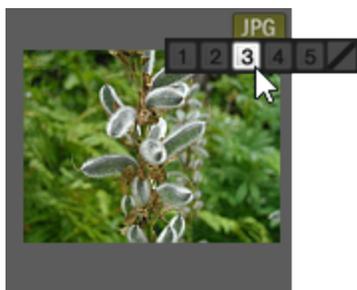
[管理] モードで [プロパティ] ペインまたは [カタログ] ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ]、または [ペイン] から [カタログ] を選択します。

重要度を素早く設定する

1. サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーの斜め線が入ったボックスを表示します。
2. グレーのボックスをクリックして重要度を選択します。

サムネイル上にマウスを移動してホバーアイコンから重要度を選択：

- 1.



2.



3.



ホバーアイコンはサムネイル表示の場合にのみ表示されます。



キーボードショートカットを使用して重要度を設定するには **Ctrl+ 0-5** を押します。



重要度の数字は他のアプリケーションでお気に入りの星を付けるようなものです。気に入った写真には高い重要度をそうでないものには低い重要度を設定するとよいでしょう。

[カタログ] ペインでカテゴリと重要度を設定する

[カタログ] ペインでは、カテゴリと重要度を適用したり、それらを元に検索することができます。

[カタログ] ペインでファイルにカテゴリと重要度を設定するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - 選択されたファイルを、[カタログ] ペインのカテゴリまたは重要度上にドラッグする。
 - 選択されたファイルに、[カタログ] ペインからカテゴリまたは重要度をドラッグする。
 - 右クリックして **[カテゴリの設定]** をクリックして表示されるサブメニューから希望するカテゴリをクリックするか、**[重要度の設定]** をクリックして表示されるサブメニューから希望する重要度をクリックする。

2. [表示] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [編集] メニュー から [カテゴリの設定] をクリックし、希望するカテゴリをクリックする。
 - ファイル上を右クリックし、[カテゴリの設定] を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
 - [編集] メニュー から [重要度の設定] をクリックし、希望する重要度をクリックする。
 - ファイル上を右クリックし、[重要度の設定] を選択し、希望する重要度をクリックする。
 - ステータス バーから、重要度アイコンをクリックし、希望する重要度をクリックする。重要度が設定されるとアイコンが表示されます。
3. 複数画像の比較中にカテゴリを設定したい場合には、次のいずれかを実行します。
 - ファイルの 1 つを右クリックし、[カテゴリの設定] を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
 - ファイルの 1 つを右クリックし、[重要度の設定] を選択し、希望する重要度をクリックする。



ACDSee が埋め込んだ重要度は、xmp: 重要度をサポートしている他のアプリケーションで開いたり、逆にその他のアプリケーションから ACDSee で開くことができます。1 つまたは複数の選択ファイルにメタデータを埋め込むには、[ツール] | [メタデータ] | [ACDSee メタデータを埋め込む] | [選択されているファイル] をクリックします。

カテゴリツリーで右クリックし、コンテキスト メニューを使用して次のいずれかの操作を行います:

- 項目を適用する
- 項目を削除する
- 新規カテゴリ
- ラベルが割り当てられた
- 切り取り
- コピー
- 貼り付け
- 削除
- 編集

[カタログ] ペインでカテゴリまたは重要度を使って検索するには:

カテゴリの名前、または重要度の数字をクリックするだけで、適用されているすべてのファイルがファイル一覧に表示されます。

[プロパティ] ペインでカテゴリと重要度を設定する

[プロパティ] ペインからもカテゴリと重要度を設定する方法が用意されています。

[プロパティ] ペインでファイルに重要度を設定するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. プロパティ ペインで [メタデータ] タブを選択します。
3. プロパティペイン上部の番号リストから設定した重要度をクリックします。

[プロパティ] ペインでファイルにカテゴリを設定するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. プロパティ ペインで [整理] タブを選択します。
3. カテゴリリストから設定したいカテゴリをクリックします。



カテゴリセットボタンを使用して素早くカテゴリを設定することも可能です。[アクセスのしやすいカテゴリセットを作成する](#)の項を参照してください。

ファイルからカテゴリや重要度を削除する

元のファイルを移動したり削除したり、同じカテゴリや重要度が割り当てられた他のファイルを変更することなく、カテゴリまたは重要度からファイルを削除することができます。

ファイルからカテゴリや重要度を削除するには:

1. [ファイルリスト] ペインで削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 選択したファイルを右クリックし、[重要度の設定] から[重要度のクリア] を選択する。
 - ファイル上を右クリックして [カテゴリの設定] をクリックし、ファイルから削除したいカテゴリの名前をクリックする。ファイルからすべてのカテゴリを削除するには、[すべての選択項目のカテゴリ解除] をクリックする。
 - カタログ ペインから、カテゴリのチェックボックスまたはラジオ ボタンに付けられているチェックを解除する。
 - カタログ ペインで、[カテゴリ] または [重要度] を右クリックし、[項目を削除する] を選択する。

カラーラベルを割り当てる

カラーラベルを使用すると、画像とドキュメントを色分けして、どのような処理をするべきかが一目でわかるようになります。ワークフローの段階別に異なる色を使い分けてください。例えば、写真またはドキュメントをチェックしている際に、アップロード、印刷、却下、再チェック、シャープネスをかける等、これからするべき処理を色で分けます。ファイルにカラーラベルを適用した後は、カタログペインでその色のラベルをクリックするだけで素早くそのラベルの画像をすべて表示します。

カラーラベルをグループと組み合わせ使用しても便利です。カラーラベルはタグ付けやカテゴリ分け、評価などと同様、写真またはドキュメントを別のフォルダに移動することなく整理、グループ化することができます。



[管理] モードで [プロパティ] ペインまたは [カタログ] ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ]、または [ペイン] から [カタログ] を選択します。

カラーラベルセットを作成する

ラベルセットを作成することにより、指定のラベルの選択、割り当てが素早く行えます。ラベルセットが利用できると、ワークフローに対応した適切なラベルを画像またはドキュメントに割り当てることができます。

カラーラベルセットを作成するには:

1. カタログ ペインで[ラベルセット] ボタン  をクリックし、[ラベルセットの編集] を選択します。
2. ラベルの名前を入力して [保存] アイコンをクリックします。
3. [ラベルセットの保存] ダイアログで [別名で保存] をクリックします。
4. 新しいラベルセットの名前を入力します。
5. [OK] をクリックします。

作成したカラーラベルセットは [カテゴリ] ペインでラベル設定ボタンをクリックし、ドロップダウンリストから選択できます。カラーラベルを割り当てる前に、正しいラベルセットを選択していることをご確認ください。現在選択されているカラーラベルは、ラベルヘッダに名前が表示されています。

カラーラベルを割り当てる

次の場所からカラーラベルを割り当ることができます:

- サムネイルビューのホバー アイコン
- カタログ ペイン
- [プロパティ]ペイン
- 管理および表示モードの編集メニュー
- コンテキスト メニュー
- キーボード ショートカット

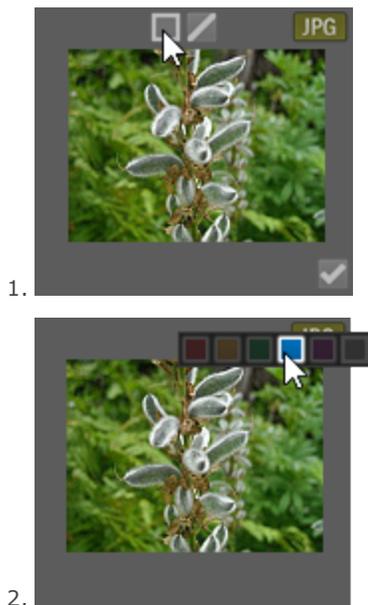
 ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカー ファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカー ファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があります。そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

 表示、現像、編集モードで ACDSee を最小化表示します。

サムネイルビューのホバー アイコンのラベルラインを使用してカラーラベルを割り当てるには:

1. サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーのラインを表示します。 
2. グレーのラベル アイコンをクリックして重要度を選択します。

サムネイルのラベルラインをクリックしてホバーアイコンからカラーラベルを選択:





複数選択した画像のいずれか 1 つのオーバーレイアイコンを使用することにより、すべてのファイル画像にラベルを割り当てることができます。

[カタログ] ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ファイルを [カタログ] ペイン内のカラーラベルにドラッグする。
 - [カタログ] ペイン内のカラーラベルをファイルにドラッグする。

[プロパティ] ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

1. [ファイル一覧] ペインでカラーラベルを割り当てるファイルを選択します。
2. [プロパティ] ペインの上部のボックスからカラーラベルを選択します。

管理および表示モードの編集メニューでカラーラベルを割り当てるには:

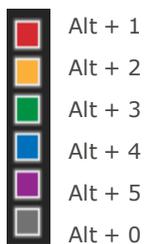
- [編集] メニューから [ラベルの設定] を選択し、色を選択する。

コンテキストメニューでカラーラベルを割り当てるには:

- ファイルを右クリックし、[ラベルの設定] を選択し、ラベル名を選択する。

キーボードショートカットを使用してカラーラベルを割り当てるには:

- Alt 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。



ラベルに割り当てられたファイルを検索する

データベース内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて検索するには:

- [カタログ] ペイン内のカラーラベルをクリックし、[ファイルリスト] ペイン内で該当するファイルを表示する。
- 検索ボックスを使用する。
- クイック検索を使用します。

ファイル一覧内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて検索するには:

ファイル一覧ペインの **フィルタ** ドロップ ダウン リストをクリックしてラベル名を選択します。現在のファイルリストでそのラベルが割り当てられたすべての画像が選択されます。

ファイル一覧内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて選択するには:

Alt + 1 から Alt + 5 で 5 つの色を指定し、Alt + 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。

カラーラベルとカラーラベルセットを削除する

ファイルからカラーラベルを削除するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカラーラベルを削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 選択したファイルを右クリックし、[ラベルの設定] から [ラベルの削除] を選択する。
 - [プロパティ] ペインでグレーのラベル解除 アイコンをクリックする。

ラベルセットを削除するには:

1. [カタログ] ペインで [ラベルセット] ボタン をクリックし、[ラベルセットの編集] を選択します。
2. [ラベルセット] ドロップダウンリストから削除したいラベルを選択します。
3. [削除] ボタンをクリックします。

コレクションを作成する

コレクションは強力なグループ化および検索クエリーツールです。[コレクション] ペインで、使用カメラ、場所、サイズなどの一般的な変数に基づいて、たまった写真をグループ化できます。また、コレクションで写真をグループ化して、選別、処理、共有などを行うこともできます。



コレクション



コレクション セット



スマート コレクション

コレクションを作成するには:

1. 管理モードで、[ペイン] > [コレクション] を選択します。コレクション ペインは、フォルダー ペインにタブ付きで表示されます。
2. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから [コレクションを作成...] を選択します。
3. [コレクションを作成] ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [作成] ボタンを押します。

[コレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	コレクションの名前を入力します。	
場所	コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスを選択します。画像を追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
オプション	選択した写真を含む	現在選択している写真をコレクションに含めるには、このチェックボックスにオンにします。
	ターゲット コレクションとして設定	写真を追加する画像のターゲットコレクションとしてこのコレクションを指定するには、このチェックボックスにオンにします。画像を選択して Ctrl + Alt + C を押すと、画像を直接このコレクションに素早く送信することができます。キーボードショートカットをカスタマイズするには、 [キーボードショートカットのカスタマイズ] を参照してください。

写真をコレクションに追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を選択してから上記の [コレクションを作成] コマンドを使用します。続いて、[コレクションを作成] ダイアログボックス内の [選択した写真を含む] チェックボックスをオンにします。
- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を右クリックし、[コレクション] | [追加先] | [コレクションの名前] を選択します。
- [ファイル一覧] ペインから画像 (複数可) を [コレクション] ペイン内のコレクションにドラッグ & ドロップします。
- ファイル一覧ペインで画像を選択します。[プロパティ] ペインの [カテゴリ] タブにある [コレクション] グループで、コレクションの横にあるチェックボックスをオンにします。

コレクションをターゲットコレクションとして設定するには:

特定のコレクションをターゲットコレクションとして設定することができます。これにより、キーボードショートカットで画像をそのコレクションに素早く追加できるようになります。● ターゲットコレクションでは、[コレクション] ペイン内でその横に青いサークルアイコンが表示されます。

以下のいずれかの操作を行います。

- 以下のいずれかの操作を行います: コレクションを作成するときは、[コレクションを作成] ダイアログボックスで [ターゲットコレクションとして設定] チェックボックスをオンにします。
- [コレクション] ペインでコレクションを右クリックし、[ターゲットコレクションとして設定] を選択します。

画像をターゲットコレクションに追加するには:

画像を選択し、**Ctrl + Alt + C** キーを押します。



このキーボードショートカットはカスタマイズすることができます。[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)を参照してください。

コレクションを検索するには:

[コレクション] ペイン上部の [フィルタコレクション] フィールドで、コレクション、コレクションセット、およびスマートコレクションを検索することができます。

- 探しているコレクション、スマートコレクション、またはコレクションセットの名前 (または名前の一部) を入力します。検索しているコレクションがコレクションセットの一部である場合、[フィルタコレクション] フィールドに入力したテキストがサブコレクションのいずれかに含まれていれば、検索によりルートコレクションセットが返されます。

コレクションから画像を削除するには:

1. コレクションを選択します。
2. 画像を右クリックし、[コレクション] | [選択したコレクションから削除] を選択します。



この操作では、コレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、**[コレクション] | [選択したコレクション から削除]** を選択します。

すべてのコレクションから画像を削除するには:

すべてのコレクションから画像を削除するには、画像を右クリックし、**[コレクション] | [すべてのコレクション から削除]** を選択します。



この操作では、すべてのコレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をすべてのコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、**[コレクション] | [すべてのコレクション から削除]** を選択します。

コレクションセット

コレクションセットを作成し、その中に他のコレクションフォルダを追加することができます。この方法で階層を作成することで、さらに詳細な整理が可能です。画像をコレクションセット自体に追加することはできません。画像はコレクションセット内のフォルダ(コレクション)にのみ追加することができます。コレクションセットのルートを選択すると、ルート内の全コレクションの画像がすべて表示されます。

コレクションセットを作成するには:

1. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから **[コレクションを作成...]** を選択します。
2. [コレクションセットを作成] ダイアログボックスで、コレクションセットの名前を入力します。
3. 別のコレクションセット内にコレクションを追加したい場合には、[コレクションセットの中] チェックボックスをオンにします。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
4. **作成** をクリックします。

コレクションセットにコレクションを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [コレクションセットの中] チェックボックスをオンにするとともに、[コレクションを作成] ダイアログボックス内でコレクションを作成します。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
- [コレクション] ペインで、コレクションをルートレベルからコレクションセットにドラッグ & ドロップします。

スマート コレクション

スマートコレクションは、指定した検索条件に基づいてクエリーが組み込まれたコレクションです。これらの検索クエリーはデータベースに保存されています。新しい画像を後でカタログ化すると、検索クエリーの条件を満たす画像が自動的にスマートコレクションに表示されます。ファイルがカタログ化された日付でファイルを探す検索クエリーを作成することもできます。

スマートコレクションを作成し、検索条件をクエリーに追加するには:

1. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから **[スマートコレクションを作成 ...]** を選択します。
2. [スマートコレクションを作成] ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. **OK** ボタンを押します。

[スマートコレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	スマートコレクションの名前を入力します。	
	 <p>スマートコレクションに名前を付ける際には、スマートコレクションに割り当てられた検索クエリーを反映した名前にすることをお勧めします。このようにすることで、スマートコレクションを開いてその内容を確認するのに必要な時間が節約されます。</p>	
場所	コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスを選択します。スマートコレクションを追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
一致	<p>[追加] ボタンを押して、クエリーの検索条件を選択します。[選択条件の追加] ダイアログボックスで、[+] をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオン/オフを切り替えてプロパティを選択することにより条件を選択します。[OK]を押します。選択した条件は[一致] フィールドボックスに表示されます。各項目を絞り込むには、下線付きの変数をクリックし、ドロップダウンからオプションを選択するか、フィールドに番号を入力します。</p> <p>例えば、検索条件として[サイズ]を選択した場合、[次の値に一致]をクリックし、[次の値以外]、[次の値より小さい]、[次の値以下]、[次の値より大きい]、[次の値以上]、[次の値の範囲内]のいずれかを選択します。続いて、[0]をクリックし、サイズの値を入力します。</p>	

検索クエリーから条件を削除するには:

[一致] フィールドから条件を選択し、[削除]を選択します。

検索クエリーを編集するには:

1. [コレクション] ペインでスマートコレクションを右クリックし、[編集]を選択します。
2. [スマートコレクションを編集] ダイアログボックスで、上記のように検索条件を追加および削除します。
3. [OK]をクリックします。

[プロパティ]ペインを使用する

プロパティ ペインは、ファイルと関連付けられているすべてのメタデータを表示します。また、ファイル サイズ、作成日時、読み取り専用、隠しファイルなど、ファイルのプロパティも表示します。プロパティ ペインでは、画像およびメディアファイルのメタデータを追加、変更、削除することができます。

プロパティ ペインは管理モードのファイル一覧ペインの右側で開けます。プロパティ ペインは、以下を除くすべてのモードで使用できます。365 モードと写真モード以外。

いずれかのモード内でプロパティ ペインを開くには:

[ペイン]から[プロパティ]をクリックします。



[メタデータ] パネルでは、メタデータ フィールドの幅を調整することができます。変更したいラベルとフィールドの間にマウスを置いて、双方向の矢印に変わるのを待ちます。クリック&ドラッグで幅を調整します。ダブルクリックで、グループ間の最も広い幅とペイン内の最も長いラベルの間を切り替えることができます。

[プロパティ]ペインの構成

プロパティ ペインは、メタデータタブ、整理タブ、ファイルタブという3つのタブに分かれています。



サムネイル上にマウスカーソルを移動すると表示されるオーバーレイアイコンを使用して、画像にタグを追加したり、重要度やカラー ラベルを設定することができます。あるいは、[ツール]> [オプション]> [プロパティ ペイン] の順にクリックして、[タグ付き、評価、カラーの各ラベルを表示]を選択することで、[プロパティ] ペインにこれらの設定を表示できます。

メタデータ タブ

[メタデータ] タブには、写真と一緒に保存されている重要度、カテゴリ、IPTC、EXIF、ACDSeeメタデータが表示されます。ACDSeeメタデータフィールドには、写真に関する説明をはじめ、日付、作者、注記などを入力することができます。キーワードフィールドは表示のみで、入力は整理タブで行います。ラベルフィールドはここで入力したり、カタログペインのラベルセクションから選択できます。IPTC情報は、画像に自動的に埋め込まれている情報である一方、ACDSeeメタデータはファイルには埋め込まれておらず、データベース内に保存されています。ACDSeeメタデータは、[ツール] から [メタデータ] > [ACDSeeメタデータを埋め込む] をクリックすることで、すべてのファイル(あるいは選択されているファイルのみ)に埋め込むことができます。

[IPTC] データフィールドには、説明、作者、著作権情報など、画像に追加されたり保存されたりしている、基本的な情報が表示されません。ACDSeeは、IPTC Core 1.1で定義されているフィールドに対応しています。

[EXIF] データフィールドには、シャッター速度、カメラの機種、GPS情報など、カメラによって作成された情報が表示されます。

特定のEXIFフィールドは、既定で非表示に設定されるようになりました。EXIFアーティスト、著作権、画像の説明、オリジナルの日時フィールドは、IPTCフィールドが変更されると、自動的に修正されます(下の表を参照してください)。この変更は、Metadata Working Group (MWG) の推奨に従った形で導入されました。これらのフィールドをEXIFセクションで表示したい場合には、[ツール]から [オプション] を選択し、[プロパティ ペイン] をクリックして、[メタデータ表示の管理] ボタンをクリックします。

IPTCフィールドとEXIFフィールドの一致

IPTC		EXIF
説明	次に書き込む	画像の説明
クリエイター	次に書き込む	アーティスト
著作権情報	次に書き込む	著作権
作成日	次に書き込む	オリジナルの日時



ACDSeeがファイルからメタデータを解読する際、フィールドの内容はマップなしで表示されます。

[整理] タブ

整理タブは、カテゴリツリーとキーワード ツリーを表示します。カテゴリツリーを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、カテゴリやサブカテゴリの追加、削除ができます。カテゴリセットを作成するとファイルを素早くカテゴリ分けすることができます。キーワード ツリーを右クリックしても同様のオプションを使用できます。キーワード ツリーを使用して階層を作成し、ファイルをより簡単に整理することができます。

[ファイル] タブ

[ファイル] タブでは、選択されたファイルの情報および画像の属性が表示されます。読み取り専用/隠しファイル(フォルダ)の設定および変更や、ファイルのEXIF情報の概要を確認することができます。

ACDSeeメタデータをファイルに埋め込む



ファイルにメタデータ情報があり、ACDSee以外のプログラムを使用して、当該ファイルをコピー、移動、または名前を変更すると、ファイルとデータベース間のリンクが失われますが、ファイルに埋め込まれているデータを使用してデータベースを再構築できます。



ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカー ファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカー ファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があり、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

オートアドバンスによる参照とカタログ化

画像の自動表示を使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、またはキーワードを追加しながら画像をすばやく移動できます。管理および表示モードでオートアドバンスを使用できます。

管理モードでオートアドバンスをオンにするには:

[ファイル一覧]ツールバーの下部で、[オートアドバンス]ボタンを切り替えるか、**Ctrl + Q**を押します。 

オートアドバンスを使用するには:

オートアドバンスが有効になっている場合、タグ、重要度、カラーラベル、キーワード、またはカテゴリを追加または消去すると、フォルダの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。これは、キーボードから手を離さずにフォルダ全体を整理できるため、キーボードショートカットと組み合わせると特に便利です。

オートアドバンスを起動する適用されたメタデータのタイプを選択するには、[オートアドバンスオプションの設定](#)を参照してください。

 キーワードとカテゴリは既定で無効になっています。

管理モード

管理モードで、テンキーを使用して、次のキーボードショートカットを適用すると、オートアドバンスを最大限に活用できます。

 次のキーボードショートカットを使用する前に、Num Lockキーを押してテンキーを有効にします。

/	タグ
*	紫のカラーラベル
9	青のカラーラベル
8	緑のカラーラベル
7	黄色のカラーラベル
6	赤のカラーラベル
5	重要度5
4	重要度4
3	重要度3
2	重要度2
1	重要度1
0	重要度を削除
+	次へ
-	前へ
.	カラーラベルを削除する。

 Num Lockキーが有効になっていない場合、これは[削除]ボタンとして機能します。

[キーボードショートカットをカスタマイズ](#)することもできます。

キーワードとカテゴリ

カスタマイズされたキーボードショートカットとオートアドバンスを組み合わせると、画像にキーワードとカテゴリを追加するプロセスを合理化することができます。

キーワード

プロパティ ペインの[メタデータ]タブのIPTCグループで、キーワード フィールドにキーワードを追加し、**Enter**キーを押すと、オートアドバンスで次の画像に移動します。プロパティ ペインの[整理]タブのキーワード フィールドでも同じ方法を使用できます。両方の場所で、複数のキーワードを一括で追加し、カンマで区切ることができます。キーボードから手を離さずに、すべての画像の処理を続行できます。

カテゴリ

プロパティ ペインの[整理]タブで、[カテゴリ]グループを展開します。目的のカテゴリのチェックボックスをオンにして、画像にカテゴリを追加します。または、次のいずれかを実行します。

- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから[**カテゴリの設定**]、[**目的のカテゴリ**]を選択します。
- [編集] > [カテゴリの設定] > [(目的のカテゴリ)]を選択します。

これらの方法のいずれかを使用すると、オートアドバンスで次の画像に移動します。

すべてのIPTCフィールドで同様の利便性を利用するには、「[キーボード ショートカットを使用して複数画像の同一フィールドにメタデータを入力するには](#)」を参照してください。

表示モード

表示モードでオートアドバンスをオンにするには:

下部のツールバーで、**オートアドバンス**ボタンを切り替えるか、**Ctrl + Q**を押します。 

表示モードでオートアドバンスを使用するには:

1. [ペイン]から[プロパティ]を選択します。
2. プロパティ ペインで重要度、カラーラベル、タグ、カテゴリ、またはキーワードを追加し、オートアドバンスでフィルムストリップの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。

表示モードで、次のキーボード ショートカットを使用してフォルダを移動します。

Home	フォルダ内の最初の画像を選択します。
End	フォルダ内の最後の画像を選択します。
Page Down	次へ
Page Up	前へ

マップ ペインを使用する

マップ ペインを使用して写真に撮影場所の情報を追加することができます。場所の情報はいつでも呼び出し、表示することができます。マップを使って、ファイルのグループを選択して次のワークフローに移ったり、写真を選択して表示モードで表示したりします。

マップペインに表示されるファイルの場所は、ファイルのプロパティに含まれている緯度と経度の情報に基づいています。ジオタグ機能を持ったカメラを使っている場合、地理的な位置がマップ上に自動伝達されます。また、マップ上に直接ファイルをドラッグして[**すべて保存**] ボタンを押すと、座標を追加することができます。

ジオタグの付いている画像は、マップ上にピンで表示されます。マップ上のピンをクリックして、地理的な場所の範囲にあるファイルを選択し、表示したり処理したりすることができます。ジオタグが付けられた画像のピンがマップ上に表示されていない場合は、キーボードショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。



マップに追加できるファイルフォーマットは次のとおりです。JPG、TIFF、RAW、DNG および PNG。



ACDSeeは、ジオタグを含むファイル情報を、ファイルを参照する際、データベースに自動追加します。ファイルの数が多い場合には、まずファイルをカタログ化すると、マップ上のピンの読み込み時間を短縮することができます。ファイルをカタログするには、**[ツール]**、**[データベース]**、**[カタログファイル]**とクリックします。

マップ ペインを開くには:

管理モードで、**[ペイン]**、**[マップ]** (**Ctrl + Shift + M**)をクリックします。

マップ ペインは、既定設定では管理モードでファイル一覧ペイン上に表示されます。マップのタイトルバーをドラッグして新しい場所に移動したり、ACDSee の他の可動ペインのように、ペインをフロートしたり、別の場所にドックしたりすることが可能です。



管理モードで、キーボードショートカット **Ctrl + Shift + M** を押して、マップのオン/オフを切り替えることができます。

ドラッグしてマップにファイルを追加するには:

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある**[すべて保存]**をクリックします。



画像を処理する前にジオタグを付けておくのが理想です。編集後にジオタグが付けられますが、元の状態に復元するコマンドを使用するとそのジオタグが失われてしまうためです。

マップからピンの場所を削除するには:

ジオタグの付けられている画像サムネイルを右クリックし、**[マップ]** > **[マップから削除]**を選択します。

マップ上でジオタグ付きの画像を表示するには:

ジオタグの付きの画像サムネイルを右クリックし、**[マップ]** > **[マップで表示]**を選択します。

場所を検索するには:

特定の場所を検索するには、マップ ペインの右上に表示されている**場所検索** フィールドに名前やランドマークを入力します。

場所、ズーム、マップの種類を規定に設定するには:

1. マップ上で希望する場所を表示し、希望するズームレベルに調整し、マップの種類 (地図、航空写真、地形) のいずれかを選択します。
2. **[ツール]** > **[マップ]** > **[マップ場所を規定に設定]**をクリックします。



注意: マップは現在選択されているファイル一覧の内容に反映されます。ファイル一覧内に、既定設定とは異なる場所にマップされている画像が含まれている場合には、その場所が表示されますのでご注意ください。



特定の場所にピンしてズームするには、マップ検索フィールドに場所の名前を入力して**Enter**キーを押します。

Reverse Geocoding (逆ジオコーディング):

Reverse Geocoding コマンドを使うと、特定の IPTC フィールドに場所の情報を保存することができます。含まれる情報: 国、国別コード、州/県、場所。

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある**[すべて保存]**をクリックします。

3. **Reverse Geocode**ボタンをクリックすると、場所の情報をプレビューできます。
4. **[保存]**をクリックすると、これらの情報を選択された画像のIPTCフィールドに保存します。



複数の異なる場所の画像が選択されている場合は、それらのうちの一つのみが使用されます。

マップ ペインを使用したワークフロー

特定の場所の画像がすべて選択されている状態で、次のようなワークフローを実行することが可能です。

- 処理モードを開いて、現像や編集を適用します。
- **[一括]**ツールを使用して、場所が同じ画像に同じ設定を適用します。
- **[スライドショー]**をクリックして、この場所の写真のスライドショーを表示したり、提示したりします。
- また、これらの写真を電子メールで **送信** します。



ジオタグの付けられた画像が表示されない場合は、キーボードショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。

ピンの凡例



ジオタグの場所を示します。



このエリアに複数のジオタグの場所があることを示します。(場所を拡大表示する)



選択されたジオタグの場所を示します。



任意の色のピンにドットがある場合、画像の場所が保存されていないことを示します。

ファイルにメタデータを追加し、プリセットを使用する

IPTCおよびACDSeeメタデータを使って、画像に情報を追加できます。IPTC情報は画像に自動的に埋め込まれる一方、ACDSeeメタデータは、ファイルに埋め込んだりデータベースに格納したりすることができます。情報は、まとめて複数のファイルに追加することも可能です。頻繁に使用するメタデータの値をプリセットとして保存すると、入力する手間を省くことができます。

メタデータの入力や編集は、画像を処理する前に行うようにお勧めします。**[オリジナルに戻す]** コマンドを使用すると、処理前にメタデータを入力していない限り、(RAW画像の場合を除き)その情報が失われてしまうためです。



CD-ROMのような読み取り専用メディア上のファイルには、IPTC情報、EXIF情報を設定することはできません。



[プロパティ]ペインを開いていない場合は、**[ペイン]** から**[プロパティ]**を選択します。

1つ以上のファイルにメタデータを追加するには:

1. **管理モード**で、1つ以上のファイルを**[ファイル一覧]**ペインで選択します。
2. **[プロパティ]**ペインで**[メタデータ]**タブを選択します。
3. メタデータフィールドに情報を入力します。
4. **[適用]**をクリックするか、**Enter**キーを押して変更を適用します。



[管理] モードで [適用] をクリックするか **Enter**キーを押すと、フォーカスが[ファイル一覧]ペインに戻るため、キーボードを使って別のファイルをすぐに変更できます。



メタデータに連続した番号を入れるには、ファイルを選択し、任意のフィールドに開始番号 <#>を入力します。例) <5> を入力すると、連続する番号は5から始まります。

メタデータタブのキーボード ショートカット

ショートカット操作	操作
Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを前に移動します。
Shift + Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを後ろに移動します。
Ctrl + K	[プロパティ]ペイン内[整理]タブの [ACDSeeメタデータ キーワード] フィールドにカーソルを置きます。
Alt + K	[プロパティ]ペイン内[メタデータ]タブにある [IPTCキーワード] フィールドにカーソルを置きます。
Enter	変更を適用します。
Esc	変更を破棄します。



プロパティ ペイン外をクリックすると、入力していたメタデータが失われてしまいます。[適用] をクリックまたは **ENTER** を押さないと、変更は適用されません。

キーボードのショートカットを使用して、複数画像の同一フィールドにメタデータを入力するには:

1. 複数画像グループの最初の画像を選択して、メタデータフィールドに値や内容を入力します。
2. **Page Down**キーを押して次の画像に移動します。カーソルはプロパティペイン内の同じフィールドに置かれたままになりますので、複数の画像に同じフィールドの内容を素早く入力することができます。
3. フィールドに内容を入力したら、**Page Down**キーを再度押して次の写真に移動します。
4. 完了するまで手順3を繰り返します。



このショートカットを使用する場合、[適用] ボタンをクリックする必要はありません。



Page Upキーを使用して、前の写真に戻ることができます。

メタデータのコピーと貼り付け

ファイルから GPS、IPTC、および ACDSeeメタデータをコピーして、別のファイルへ貼り付けることが簡単にできて便利です。

この操作ではキーワードとカテゴリ情報が結合されます。

メタデータをコピーするには:

1. 管理モードでファイルを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ツール > **メタデータ** > **コピー** に移動します
 - 右クリックして [メタデータ] > [コピー] を選択します。
2. [メタデータをコピー] ダイアログボックスで、コピーしたいメタデータにチェックを入れます。
3. **コピー**を押します。

メタデータを貼り付けるには:

1. 管理モードでファイルを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ツール > **メタデータ** > **貼り付け** に移動します
 - 右クリックして [**メタデータ**] > [**貼り付け**] を選択します。

メタデータ プリセット

プロパティ ペインでメタデータプリセットを作成するには:

1. [管理]モードで、[ファイル一覧]ペインからファイルを選択します。
2. [プロパティ] ペインで [**メタデータ**] タブを選択します。
3. [**メタデータ プリセット**] のドロップダウンリストをクリックし、[**プリセットの管理**] を選択します。
4. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスのフィールドに内容を入力します。
(詳細は、以下に記載する「**メタデータのプリセット管理ダイアログボックスにデータを入力する際の注意**」を参照してください。)
5. [**OK**] をクリックします。
6. [**名前を付けて保存**] をクリックします。
7. プリセットの名前を入力し、[**OK**] をクリックします。そのプリセットが、[プリセット] ドロップダウンリストに表示されるようになります。

メタデータメニューを使ってメタデータプリセットを作成するには:

1. [管理]モードで、[ツール] > [**メタデータ**] > [**メタデータプリセットの管理**] へと進みます。
2. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスのフィールドに内容を入力します。
詳細は、以下に記載する「**メタデータのプリセット管理ダイアログボックスにデータを入力する際の注意**」を参照してください。
3. [**OK**] をクリックします。
4. [**名前を付けて保存**] をクリックします。
5. プリセットの名前を入力し、[**OK**] をクリックします。プロパティ ペイン内にあるメタデータタブのプリセットドロップダウンリストに、そのプリセットが表示されます。

ショートカットのプリセット (Ctrl + M) は以下の手順で設定します:

1. [**メタデータのプリセット**] ドロップダウンリストから、[**プリセットの管理**] を選択します。
2. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスで、**プリセット** のドロップダウン リストの横にある矢印ボタンをクリックします。
3. 保存されているメタデータのプリセット一覧から選択して、**ショートカットプリセット** を設定します。
4. [**OK**] をクリックします。

既定のプリセットを設定したら、**Ctrl + M** キーを押すだけで、選択された画像すべてのメタデータフィールドが自動的に入力されるようになります。既定のプリセットを設定していない場合は、ショートカットキー **Ctrl + M** を押すと [メタデータのプリセットの管理] ダイアログボックスが表示されます。

メタデータのプリセットを適用するには:

1. ファイル一覧ペインから画像を1つ以上選択します。
2. [プロパティ] ペインで [**メタデータ**] タブを選択します。
3. [**メタデータプリセット**] ドロップダウンリストをクリックして、作成したプリセットから選択します。
4. **適用** をクリックします。

[プリセットの管理] ダイアログボックスでデータを挿入する際の注意点は以下の通りです:

- アスタリスク(*)は、各ファイルに関する既存のフィールドデータを示しています。既存のデータを保持しながら情報を追加するには、アスタリスクの横に情報を追加します。またデータを削除して新しい情報を入力することも可能です。例えば、IPTC キャプションのテキストを置き換えるのではなく修正したい場合、フィールドにアスタリスクを挿入し、スペース、テキストを入力します。
- [メタデータの挿入] コマンドを使用して、あるメタデータフィールドの値を別のフィールドに転送することができます。各フィールドの横にある [メタデータの挿入] 矢印をクリックし、メタデータのプレースホルダを選択します。例として、<ACDSee Metadata: Keywords>プレースホルダをIPTCキーワードフィールドに挿入すると、ACDSeeキーワードをIPTCキーワードに転送できます。

メタデータのプリセットをインポートおよびエクスポートする:

1. [管理]モードで、[ツール]>[メタデータ]>[メタデータプリセットの管理]へと進みます。
2. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスで、[プリセット] ドロップダウンメニューの右横にある矢印をクリックします。
3. インポートまたはエクスポートを選択します。
4. 参照からXMLファイルを見つけて選択したら、[開く] をクリックします。

メタデータ表示とプリセットを管理する

メタデータの表示を選択するには:

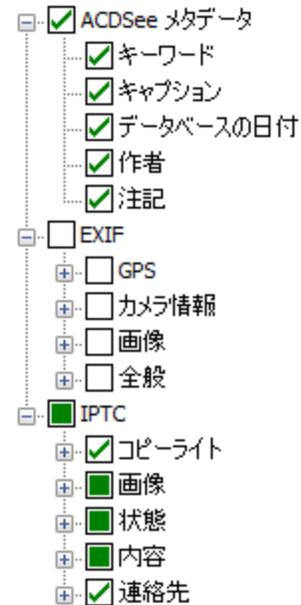
1. [ペイン]メニューから、[プロパティ]をクリックして、[プロパティ]ペインを開きます。
2. プロパティ ペインのメタデータ タブを選択します。
3. [メタデータ]タブの[メタデータの表示]ドロップダウンリストから、次のいずれかの表示オプションを1つ選択します: 既定のメタデータ表示(通常使用するフィールド)、すべての EXIF、すべての IPTC、ACDSeeメタデータ、または保存されたカスタム表示。

カスタマイズされたメタデータの表示を作成するには:

1. [メタデータ] ペインの [メタデータの表示] ドロップダウンリストをクリックして、[メタデータ表示の管理] をクリックします。
2. [表示するメタデータの選択]ダイアログボックス内で、ドロップダウンリストから[新規のメタデータ表示] を選択します。
3. [+] 記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオン/オフにより、設定を選択します。メタデータ表示の管理オプションにつきましては、以下を参照してください。
4. [保存] ボタンをクリックして、カスタマイズされた表示の名前を入力します。
5. [OK]をクリックします。

メタデータ表示の管理オプション

- グループ内のすべての項目が選択されている場合、グループのチェックボックスがチェックされます。
- グループ内で選択されている項目がない場合、グループのチェックボックスはチェックされません。
- グループ内のすべての項目ではなく、一部の項目が選択されている場合、グループのチェックボックスが緑色の四角で表示されます。
チェックボックスをオン/オフに切り替えて選択を行います。



[メーカーノートを表示] チェックボックスを解除または選択して、メーカーノートを表示するか、非表示にするかを選択することができます。

階層キーワードの作成と割り当て

ファイルにキーワードを設定し、キーワードを階層構造でグループ管理することができます。[プロパティ](#) ペインの[整理]タブを選択すると、キーワードの作成、名前変更、削除、移動を行うことができます。

[ペイン] から [キーワード] を選択すると、キーワード ペインが利用できます。



[カタログ]ペインの[キーワード]グループで特定のキーワードをクリックすると、特定のキーワードに割り当てられた画像すべてを表示できます。

キーワードを作成する

キーワードを管理するには:

ファイル一覧ペインの右にあるプロパティペインで、次のいずれかを実行します。

- [整理]タブの[キーワード]グループの下部で、[キーワード]を右クリックし、[新しいキーワード]をコンテキストメニューから選択します。
- キーワードグループの一番上にキーワードを入力して**Enter**を押します。

既存のキーワードをファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います:

- 1つ以上のファイルを選択し、キーワードのチェックボックスを有効にする。
- 1つ以上のファイルを選択し、キーワードを右クリックする。コンテキストメニューから[アイテムの割り当て]を選択します。
- 1つ以上のファイルを選択し、ファイルをキーワードにドラッグする。
- ファイルを一つ以上選択し、[クイックキーワード](#) セットからキーワードを選択します。選択したキーワードがファイルに割り当てられ、ツリーにも追加されます。

[カタログ]ペインの[キーワード]グループでは、次の操作が実行できます。

- ファイルを一つ以上選択し、キーワードをツリーから選択したファイルにドラッグします。

階層を作成するには、次のいずれかを実行します:

- キーワードフィールドで、より具体的なキーワード < より幅広い一般的なキーワード、のように記述する。

例:

フクロウ < 鳥

または

マドリード < スペイン < ヨーロッパ

- 既存のキーワードを右クリックして、[新しいキーワード]を選択します。新しいキーワードは自動的に既存のキーワードの子供になります。

 1つのファイルに複数のキーワードを割り当てる場合、複数のキーワードをカンマで区切ってください (階層を作りません)。

キーワードを管理する

キーワードを管理するには:

カテゴリタブにあるキーワードを選択し、次のいずれかの操作を実行します。

- ファイルに割り当てたキーワードを削除するには、キーワードを選択し右クリックして、[アイテムの削除]をクリックするかチェックボックスを無効にします。
- キーワードを編集するには、キーワードを選択して右クリックし、[編集]を選択します。
- キーワードを削除するには、削除したいキーワードを右クリックし、[削除]を選択します。
- キーワードを複製するには、複製したいキーワードを右クリックして[コピー]を選択し、コピーしたい場所で[貼り付け]を選択します。

[カタログ]ペインの[キーワード]グループでは、上記の管理操作のほか、以下に挙げる操作も実行できます。

- キーワード ツリーを編集するには、キーワードをドラッグして他の場所に移動します。

クイックキーワードを作成する

[クイックキーワード]を使用して、関連するキーワード同士でグループを作成することにより、整理された状態を保ち作業をスムーズにできます。階層構造の中に埋もれてしまわないので、キーワードに簡単にアクセスできます。グループを複数作成し、閲覧している写真に合わせて切り替えることができます。ACDSeeには、クイックキーワードの各種セットが使えるように、あらかじめ設定されています。これらのキーワードをツリーに追加することも可能です。

例:

イタリア

フィレンツェ	ヴェネツィア	コモ湖
ローマ	ミラノ	ヴェローナ
ジェノヴァ	ボローニャ	ナポリ

クイックキーワードからキーワードを割り当てるには:

1つ以上のファイルを選択し、キーワードをクリックします。

素早くアクセスできるクイック キーワードを作成するには:

1. [整理]タブの[キーワード]グループで、ドロップダウンメニューから[新しいクイックキーワードセット...]を選択します。[クイックキーワード]ダイアログボックスが表示されます。
2. [行と列]ドロップダウンメニューから値を選択して、セットの行と列の数をカスタマイズします。
3. 関連キーワードまたは頻繁に使用するキーワードを、250個まで空欄に入力できます。フィールド内に階層を作成するには、パイプキーを使用します。例：A|B|C
4. [OK]ボタンをクリックします。
5. [新しいプリセット]ダイアログで、セットの名前を入力します。[OK]をクリックします。
6. ファイルを選択したらクイックキーワードの表から適切なキーワードを選択して、セットからキーワードを適用します。キーワードがツリーに追加されます。キーワードセットに階層を指定した場合、親キーワードがツリーに表示され、子はその下に格納されます。現在選択されているファイルに割り当てられているキーワードは、表内のキーワードテキストの色が変化し、現在選択されているファイルの一部(すべてではない)にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。



クイックキーワードセットは、AppDataフォルダのACDSeeの下の[プリセット]フォルダに保存されます。[プリセット]フォルダは以下のパスで検索できます。C:\Users\\AppData\Local\ACD Systems\Presets

キーワードのインポートとエクスポート

他のユーザーからACDSeeにキーワードをインポートすることができます。キーワードをエクスポートして共有することもできます。キーワードは、.txtファイルとしてインポートおよびエクスポートされます。



Adobe®Lightroom®のキーワードをインポートすることができます。

キーワードのエクスポート:

1. ツール > メタデータ > キーワードのエクスポートを選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. キーワードファイルの名前を入力します。
4. 保存を押します。

キーワードをインポート:

1. ツール > メタデータ > キーワードのインポートを選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. ファイルを選択して、[開く]を押します。ファイル内のキーワードはACDSeeキーワードツリーにロードされ、アルファベット順に一覧表示されます。重複したキーワードは結合されます。

人物マネージャーで割り当てた名前を管理する

表示モードで検出された顔に名前を割り当てたら、[カタログペイン](#)の人物グループを使用して、そこに記載のある個人の写真を検索します。[クイック検索バー](#)と[検索ペイン](#)において、名前で検索することもできます。

人物マネージャーの顔検出により顔に割り当てられた名前を管理することができます。

人物マネージャーを開くには:

管理モードまたは表示モードで、[ツール]から、[人物を管理...]を選択します。

名前を削除するには:

1. 人物マネージャーで名前を選択するか、**Ctrl + (プラス記号)**で複数の名前を選択するか、**Shift + (プラス記号)**で一度に複数の名前を選択します。

2. [削除] ボタンを押します。 

名前を再度、割り当てするには:

一人の人間が複数の名前で作成されている場合があります(例:「ダニエル」&「ダン」)。[マージ]ボタンを使用して、これらの名前を統一することができます。

1. 人物マネージャーで、**Ctrl + (プラス記号)**により複数の名前を選択するか、または、**Shift + (プラス記号)** で一度に複数の名前を選択します。

2. [統合] ボタンを押します。 

名前を編集するには:

1. 人物マネージャーで、名前を選択します。

2. [名前の変更] ボタンを押します。 

3. フィールドで名前を編集します。

ファイルのコピーと移動

[フォルダにコピー]および[フォルダに移動]コマンドを使用して、ハードディスク上にあるファイルやフォルダの位置を変更したり、既存のファイルの上書きを処理する方法を指定したりすることができます。また、最近使ったフォルダの一覧を使用すれば、フォルダの検索時間を短縮することができます。

 を使用して ACDSee ファイルの場所を変更する場合、既定設定として、それらのファイルと関連付けられている ACDSee メタデータが新しい場所に自動的にコピーされます。関連付けられているファイルをコピーしたくない場合は、**RAW ファイル以外の関連付けられたファイルを含む**チェックボックスをオフにします。

 を使用せずに ACDSee ファイルを移動あるいはコピーした場合、それらのファイルに追加されているデータベース情報とのリンクが壊れてしまいます。これは ACDSee がファイルを追跡できないために発生します。その結果、カテゴリやその他の重要なデータベース情報が失われます。これは**結合の変更とデータベースの再結合**をクリックすることで、解決することができます。ファイルそのものにデータベース情報が埋め込まれている場合、[ツール]メニューの[データベース]、[ファイルのカatalog化]をクリックして情報を取り込むことが可能です。

 ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカーファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカーファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があり、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

ファイルをコピーまたは移動するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。

- ファイル一覧ペインで、1 つ以上のファイルを選択し、[編集]メニューから[フォルダにコピー]または[フォルダに移動]を選択します。
- 表示モードで画像またはメディアファイルを表示しながら、[編集]メニューから[フォルダにコピー]または[フォルダに移動]を選択します。

2. [ファイルのコピー] または [ファイルの移動] ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します:
 - [フォルダ] タブを選択し、保存先となるハードディスク上のフォルダを指定します。
 - [履歴] タブを選択し、最近使ったフォルダの一覧からフォルダを選択します。
 - [フォルダの作成] を選択してから、新規フォルダ名を入力します。
3. [重複ファイルを上書きする] ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択して、ACDSee のファイルの上書き方法を指定します:
 - **確認する:** ファイルを上書きする際、確認のメッセージを表示します。
 - **名前を変更する:** ファイル名の変更を促すメッセージを表示します。
 - **置き換え:** 同じファイル名と拡張子のファイルで上書きします。
 - **スキップ:** ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。
4. [OK] をクリックします。

画像をクリップボードにコピーする

画像をクリップボードにコピーし、他のアプリケーションに貼り付けることができます。[画像のコピー] コマンドを使用すると、画像データのみがクリップボードにコピーされます。EXIF、IPTC、メタデータの情報は保持されません。

画像をコピーするには:

1. 管理モードまたは表示モードで、コピーしたい画像を選択します。
2. [編集] > [画像のコピー] をクリックします。
3. 他のアプリケーションに画像を貼り付けます。

ファイルまたはフォルダを貼り付ける

ファイルをコピーまたは切り取ってクリップボードに保存し、ACDSee メタデータを失うことなく別のフォルダに貼り付けることができます。

ファイルを切り取り、新しい場所に貼り付けるには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインまたはフォルダペインから 1 つ以上のファイルまたはフォルダを選択します。
2. [編集] メニューから [コピーまたは 切り取り] をクリックします。
3. フォルダペインを使って、新しい場所にフォルダを指定します。
4. [編集] メニュー から [貼り付け] を選択し、新しい場所にファイルまたはフォルダを貼り付けます。

ファイルを置き換える / 上書きする

同一のファイル名と拡張子が、コピー先または移動先に既に存在する場合、ファイル名の重複が起こります。ACDSeeでは、[ファイル置換の確認] ダイアログ ボックスで、関係するファイル両方を表示することができます。それらのファイルが画像ファイルである場合、ACDSee は両ファイルのサムネイルのプレビューを表示します。そして、重複するファイル名の取扱い方法を、ファイルの置換、名前変更、コピーまたは移動しているファイルのスキップ、すべての操作の中止のオプションから選択します。

[ファイル置換の確認] ダイアログ ボックスを使用するには:

1. 複数のファイルを移動する際、名前が重複する可能性のあるファイルすべてを同じ方法で扱うよう設定するには、[すべてに適用] チェックボックスをオンにします。

2. 2つのファイルの違いを比べるには、プレビュー ウィンドウの中央にあるツールバーを使用して、プレビューのサイズを拡大または縮小します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 保存先ファイルをソースファイルに置き換えるには、[置換] ボタンをクリックします。
 - 保存先フォルダに移動する前にファイル名を変更するには、[変更後の名前]欄に新規ファイル名を入力し、[名前の変更] をクリックします。
 - このファイルをスキップして、ファイル両方をそのまま残すには、[スキップ] をクリックします。
 - ソースファイルまたは保存先ファイルを削除するには、ハードディスクから削除したいファイルの下にある [削除] ボタンをクリックします。
 - 操作を中止してこれ以上ファイルをコピーまたは移動しないようにするには、[キャンセル] ボタンをクリックします。

 [ファイル置換の確認]ダイアログボックスでは、ターゲットフォルダにあるファイルを[移動先ファイル]、移動またはコピーしようとしているファイルを[ソースファイル]と称します。

ファイル名 やフォルダ名を変更する

[フォルダ] ペインまたは[ファイル一覧] ペインでは、ハードディスク上にあるファイルまたはフォルダの名前を変更することができます。

ファイル名またはフォルダ名を変更するには:

1. 管理モードのファイル一覧またはフォルダペインから、名前を変更するアイテムを選択します。
2. **編集**メニューから**Rename**(名前を変更する)をクリックします。
3. 「.jpg」のようなファイル拡張子を削除あるいは変更しないよう注意し、新規ファイル名を入力します。
4. **Enter**キーを押します。

 複数のファイル名をまとめて変更するには、名前一括変更ツールを使用します。

プライベートフォルダにファイルを入れる

プライベートフォルダは、秘密のファイルを格納することができるセキュリティ保護されたフォルダです。プライベートフォルダにファイルを格納すると、ACDSee は現在のフォルダまたは場所から、画像をプライベートフォルダに移動します。プライベートフォルダはパスワード保護されており、ACDSee内でのみ表示することができます。

プライベートフォルダにファイルやフォルダを追加すると、それらに関する全情報がデータベースから完全に削除されることとなります。プライベートフォルダからファイルやフォルダを復元しても、情報がデータベースに復元されることはありません。ファイルやフォルダに関するデータベース情報を保存したい場合には、データベースをバックアップするかエクスポートしてから、プライベートフォルダへ移動します。

プライベートフォルダペインを開くには:

管理モードで、[ペイン] から [プライベートフォルダ] をクリックします。

プライベートフォルダを作成するには:

1. 開かれているプライベートフォルダがある場合には全て閉じます。
2. [プライベートフォルダ] ペインにある [プライベートフォルダ] アイコンを右クリックし、[プライベートフォルダを作成する] を選択します。
3. [パスワードの入力] 用テキストボックスに、プライベートフォルダ用のパスワードを入力します。パスワードに使用できる最長文字数は 40 文字です。

4. **[パスワードの再入力]**用テキスト ボックスに、パスワードを再入力します。
5. **[OK]**をクリックします。

新規作成されたフォルダは、プライベート フォルダ ペインには表示されません。プライベート フォルダは隠れているため、パスワードを入力することでのみ表示することができます。プライベート フォルダを開くと、そのフォルダ内に含まれているサブフォルダも表示されますが、プライベート フォルダとこれらのサブフォルダを区別するようにしてください。

プライベート フォルダを開くには:

1. 開かれているプライベート フォルダがある場合には全て閉じます。
2. **[ペイン]** から、**[プライベートフォルダー]**をクリックします。
3. **[プライベート フォルダ]** ペインのヘッダーにある**[開く]** ボタンをクリックします。
4. **[パスワードの入力]** テキスト ボックスに、開こうとしているプライベート フォルダのパスワードを入力します。
5. **[OK]**をクリックします。



開かれているプライベート フォルダの内容は、そのフォルダを閉じるまで表示されます。コンピュータから離れる可能性があり、他の人にそのプライベート フォルダを見られたくない場合には、フォルダを閉じてから席を外すように気をつけてください。

プライベート フォルダを閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **[プライベート フォルダ]** ペインのヘッダーにある**[閉じる]** ボタンをクリックします。
- **[ファイル]**から**[終了]**をクリックして、ACDSeeを終了します。プライベート フォルダが自動的に閉じられます。

プライベート フォルダにファイルを追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. **[プライベート フォルダ]** ペインの**[プライベート フォルダ]** アイコンに該当ファイルをクリックして、ドラッグします。警告メッセージが表示されます。
3. **[はい]** をクリックして、プライベート フォルダにファイルを移動します。



ファイルやフォルダをプライベート フォルダに追加すると、それらのファイルはシステムのオリジナル場所から削除され、パスワード保護されたプライベート フォルダに追加されることとなります。パスワードを忘れてしまうと、プライベート フォルダからファイルやフォルダを復元することはできません。覚えやすいパスワード、忘れにくいパスワードを選択するように気をつけてください。

プライベート フォルダに既存のフォルダとその内容を追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. **[プライベートフォルダ]**ペインの**[プライベートフォルダ]**アイコンに該当ファイルをクリックして、ドラッグします。
3. **[はい]**をクリックして、フォルダとその内容をプライベートフォルダに移動します。

プライベート フォルダからフォルダやファイルを復元するには:

1. 復元したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. フォルダまたはファイルを選択し、**[ファイル]** メニューから**[プライベート フォルダから復元する]** をクリックします。
3. **[参照]** ボタンをクリックして、フォルダまたはファイルの移動先フォルダを参照し、**[OK]** をクリックします。
4. **[OK]**をクリックします。

ACDSee この操作により、指定された場所にプライベートフォルダのフォルダまたはファイルを移動します。これで、コンピュータにアクセスできる全ユーザーが、これらのフォルダやファイルを見ることができます。

プライベート フォルダ、またはプライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには:

1. 削除したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - プライベート フォルダを削除するには、[プライベートフォルダ]アイコンを右クリックし、[削除]を選択します。
 - プライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには、削除したいフォルダやファイルを右クリックし、[削除]を選択します。

警告メッセージが表示されます。
3. [はい]をクリックしてプライベート フォルダとその内容を削除する、あるいはプライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除します。



プライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除する場合、細心の注意が必要です。プライベート フォルダからフォルダやファイルを削除すると、これらは完全に破壊されます。プライベート フォルダからこれらを移動したい場合には、コンピュータの保護されていない場所に移動して復元するようにしてください。

画像またはファイルにタグを付ける

結婚式やマラソンなどの大きな行事では、通常、数百枚という大量の画像が撮影されます。撮影が完了したら、コンピュータにそれらの画像を転送して表示し、ベストショットのみをまとめて選択しなければならない場合がほとんどです。タグは、ベストショットを素早く表示させる最も簡単な方法です。これと同じ方法で、ドキュメントやその他のファイルを整理したりカテゴリ化したりできます。

サムネイルの右下に、タグ付けチェックボックスが備えられています。このチェックボックスをクリックして、写真またはドキュメントのタグの設定と解除を切り替えます。タグをつけた写真は、このチェックボックスのチェックマークを解除しない限り、タグが付いたままの状態になります。

カタログ ペインのスペシャルアイテムにある[タグ付き]をワンクリックするだけで、タグの付いたすべての写真またはファイルを表示することができます。カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、写真やファイルをまとめて管理することができます。



タグは、画像やファイルを区別する一時的な手段として意図されています。画像やファイルを移動したり、カテゴリや重要度を適用する操作が完了したら、タグをクリアするようにします。長期間にわたって画像やファイルを管理したり、グループ分けするためには、カテゴリと重要度を使用したほうが効果的です。

選択した画像やファイルにタグを付けるには:

- キーボードのショートカットキー \ (バックスラッシュ) を使用して、タグをオンに切り替えます。
- サムネイルの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 1 つまたは複数のサムネイル上を右クリックして、[タグ] を選択します。
- プロパティ ペインで [メタデータ] タブの左上隅にある [タグ] のチェックボックスを選択します。

選択した画像やファイルのタグを解除するには:

- キーボードのショートカットキー \ (バックスラッシュ) を使用して、タグをオフに切り替えます。
- プロパティ ペインで [メタデータ] タブの左上隅にある [タグ] のチェックボックスのチェックを外します。

タグの付いたすべての画像やファイルからタグを解除するには:

1. [カタログ] ペインの [タグ付き] をクリックして、タグの付いたすべてのファイルをファイル一覧に表示します。
2. キーボードショートカットの **Ctrl + A** キーを押して、すべてのファイルを選択します。
3. \ (バックスラッシュ) キーをクリックして、タグをオフに切り替えます。

タグのついた画像やファイルを表示するには:

管理モードで、[ペイン] から [カタログ] をクリックして、カタログ ペインを開き、[スペシャル アイテム] セクションの [タグ付き] をクリックします。

タグの付いた写真やファイルがすべて、ファイル一覧 ペインに表示されます。

表示モードで画像またはファイルにタグを付けるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- 表示モードで、ステータス バーの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 表示モードで、[ペイン] から [プロパティ] をクリックして、プロパティ ペインを開き、[メタデータ] タブをクリックして、左上隅にある [タグ付き] のチェックボックスを選択します。

画像の比較中にタグを付けるには:

1. [比較リスト] で、該当画像のサムネイルの右下にあるチェックボックスをクリックします。
2. [OK] をクリックします。[画像の比較] を閉じます。該当画像のチェックボックスにチェックマークが付いているか確認します。

ファイルからメタデータを削除する

写真を共有する場合に、撮影場所やカメラ情報、個人的な評価などの情報をファイルに含めておきたくないこともあるでしょう。メタデータの削除オプションを使用すれば、選択した画像からこれらの情報を削除し、プライバシーを保護することができます。

メタデータはJPG、GIF、TIFF、PNG およびDNGファイルから削除することができます。



メタデータを削除したい画像のコピーを作成すれば、メタデータを変更せずにそのまま残しておくことが可能です。

選択した画像からメタデータを削除するには:

1. [ツール] から、[メタデータ]、[削除] とクリックします...
2. **EXIFとIPTC**、または**埋め込まれているACDSeeメタデータ**を削除したくない場合は、それぞれのオプションを無効にします。
3. [OK] をクリックします。
メタデータは完全に削除されます。



注意: DNG ファイル固有の EXIF データは保持されます。

自動カテゴリから IPTC キーワードを削除する

データベースから、使用していない IPTC キーワードを ACDSee で削除することができます。一度削除すると、IPTC キーワードは、カタログ ペインの画像プロパティの自動カテゴリリストのキーワード (IPTC) から削除されます。



このプロセスは [補充カテゴリ] フィールドにも適用されます。このフィールドは、[ツール] メニュー、[オプション]、[プロパティ ペイン] で **メタデータ表示の管理** ボタンをクリックし、[表示するメタデータの選択] ダイアログボックスで選択されている場合のみ表示されます。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除するには:

1. 管理モードで、IPTC をサポートしている画像を選択します。
2. プロパティ ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ] をクリックします。

3. 次を実行して、画像が書き込み可能かを確認します:

- [ファイル] タブを選択して [読み取り専用] にチェックマークがあるか確認します。
- [読み取り専用] にチェックマークが付いている場合、その画像に書き込むことはできません。[読み取り専用] チェックマークをクリックし、ファイルを書き込み可能にします。

4. [メタデータ] タブの [IPTC] セクションで、 [キーワード] フィールドの横にあるキーワードピッカーボタンをクリックします。

5. [IPTCキーワードの選択] ダイアログボックスで、[リストの編集] をクリックします。

6. 値リストから削除したいキーワードを選択します。



複数のキーワードを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらキーワードをクリックします。

7. 削除をクリックします。

8. [OK] をクリックします。

9. [OK] をクリックします。



使用されていないキーワードのみをリストから削除できます。キーワードに関連付けられている写真を検索するには、カタログページの自動カテゴリリストで画像プロパティにリストされているキーワードをクリックします。

画像プロパティの日時を変更する

「更新日時の一括変更」ツールを使用して、管理モードや表示モードで表示される1つ以上の画像ファイルのプロパティの日時を変更することができます。

ファイルプロパティの日付と時間を変更するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を一つ以上選択し、[ツール] から [一括] そして [タイムスタンプの調整] を選択します。
 - 表示モードで、[ツール] から [修正]、[画像のタイムスタンプを調整] をクリックします。
- 「変更する更新日時を選択する」タブで、次のオプションを選択します。

変更する日付

EXIF日時	オリジナルの EXIF日時	画像がキャプチャされたオリジナルの日時です。
	デジタル化された EXIF日時	画像がデジタル画像に変換された日時です(通常オリジナルと同じになります。)
	EXIF日時	画像の最終更新日時です。
ファイルの最終更新日時	画像またはファイルが最後に編集された日時です。例えば、画像の編集や、メタデータへの更新を行った日時などです。	
ファイルの作成日時	ファイルが作成されたオリジナルの日時です。	
ACDSeeデータベースの日付と時刻	ACDSeeデータベース上で記録されている日付と時刻です。	

- [アドバンスオプション] タブで、以下で解説する[画像のタイムスタンプを調整] ツールのオプションを選択し、[次へ] をクリックします。

アドバンスオプション

既定値を使って変換を開始する	新規の更新日時オプションに既定値を使用します。画像の日付と時刻の変更を開始するには、[タイムスタンプを調整] をクリックします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	手順が完了次第、[画像のタイムスタンプ調整]ウィザードを閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回更新日時を変更する際に使用します。

- 「新規の更新日時を選択する」のページで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 別の日付と時刻を使用:** 選択した日付と時刻を、同じファイルの別のタイムスタンププロパティに置き換えます。[日付と時刻の選択]ドロップダウン リストから、使用したいファイル プロパティを選択します。
 - 特定の日付と時刻を使用する:** 各ファイル内の選択されたタイムスタンプを特定の日付と時刻に変更します。[日付と時刻]フィールドのタイムスタンプに新規の日付と時刻を入力します。
 - 新規の開始日時に変更する:** 最も古いタイムスタンプを特定の日付と時刻に置き換え、以降のタイムスタンプすべてをその日付と時刻に合わせてずらします。[日付と時刻]フィールドで最も古いファイルのタイムスタンプを指定します。
 - 日付と時刻を指定した時間数分ずらす:** すべてのタイムスタンプを特定の時間数分、前後にずらします(タイムゾーンに合わせて調整します)。[早い時間にシフト]または[遅い時間にシフト]を選択し、[時間]、[分]、[秒]のスピンボックスに数値を入力します。
- [タイムスタンプの調整]をクリックして、ファイルの調整を開始します。
- ウィザードが終了したら、[完了]をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルを別のコンピュータにバックアップする

[同期]ウィザードを使用すると、ローカル ハード ドライブにエラーが発生した場合に備えて、ファイルを同期したコピーを作成できます。このウィザードでは、ネットワーク、リモート コンピュータ、外部 ハード ドライブに保存されているローカル フォルダを同期することができます。さらに、同期名の指定、同期を実行する際の設定、同期スケジュールの設定、既存の同期の編集 / 削除などのオプション設定が可能です。

- ❗ **ファイル**を新しい保存場所にコピーすると、[同期]ウィザードではデータベースのバックアップは作成されません。ファイルとデータベース情報を一緒にバックアップするには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#) を使用します。

同期ファイルを作成するには:

- [管理]モードで、[ファイル]>[同期]>[同期を作成]をクリックします。
- [よろこそ]ページで、準備ができたなら[次へ] ボタンをクリックして続行します。
- 「同期オプション」のページで次を実行します。
 - [ソースフォルダ] フィールドで、コピーしたいファイルがあるフォルダを指定します。
 - [バックアップの保存先] フィールドで、ネットワークドライブやリモート コンピュータまたは外付けハードドライブにあるフォルダを、バックアップ ファイルの保存先として指定します。
 - [オプション] エリアで、同期がエラーとログを処理する方法を指定します。
 - [確認] エリアで、同期が重複ファイルを処理する方法を指定します。
 - 準備ができたなら[次へ] をクリックして続行します。
- 「同期スケジュール」のページで次を実行します。
 - [名前] テキスト ボックスに、同期の名前を入力します。
 - [スケジュール] エリアで、同期を今すぐ実行するか、同期のスケジュールを設定するかを指定します。

- ウィザードを完了するには、[完了] をクリックします。

 **スケジュール:** パスワードのないアカウントでは、スケジュールは設定できません。スケジュールを設定するためには、ご利用のアカウントにパスワードを設定する必要があります。空白のパスワードは無効です。1文字以上を含むパスワードを作成してください。

同期を更新または削除する

ACDSeeから、同期設定を変更したり、定期的に同期を実行するスケジュールを設定したり、同期を削除したりすることができます。

既存の同期ファイルを更新または削除するには:

1. [管理]モードで、[ファイル]>[同期]>[同期を編集]をクリックします。
2. [既存の同期] ダイアログ ボックスで、一覧から同期を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 同期のスケジュールを設定するには、[スケジュール] をクリックします。同期を実行する頻度を指定したら、[OK] をクリックします。
 - 設定を調整するには、[編集] をクリックします。「同期の編集」のダイアログ ボックスで、コピーしたいファイルを含むフォルダと、ファイルの保存先となるネットワークドライブ、リモート コンピュータ、または外部ドライブ上のフォルダを設定します。[オプション] エリアで、同期時のエラーやログの対処方法についての設定を更新します。[確認]エリアで、同期が重複ファイル処理する方法についての設定を更新します。設定が完了したら、[OK] をクリックします。
 - 同期の名称を変更するには、[名前の変更] をクリックします。同期の新規名称を入力し、[OK] をクリックします。
 - 同期を削除するには、[削除] をクリックします。
4. 閉じるをクリックします。

保存されている同期を起動する

スケジュールが定期的に設定されている場合でも、一度同期を作成したら、いつでも起動することができます。

保存されている同期を起動するには:

管理モードから、[ファイル]>[同期] をクリックし、実行したい同期の名称を選択します。

次のもので検索する ACDSee

ACDSee では、様々な方法でファイルやフォルダの検索をすることができます。「検索ペイン」では、ファイル名、キーワード、画像プロパティを検索条件として絞り込み検索することができます。また、特定の日付や重要度に該当するファイルを検索し、その検索条件に名前を付けて保存し、後で再度利用することも可能です。「重複の検索」機能を使用して重複するファイルを検索、また管理することもできます。

比較的シンプルな検索をする場合には、クイック検索バーを使ってファイルやフォルダを検索したり、特定の名前やキーワードを指定してデータベース内を検索することができます。クイック検索バーをカスタマイズして、特定の項目やデータベースの特定情報だけで検索することができます。

「カタログ ペイン」には、ハードディスク上のすべての画像や、カタログ化されていないフォルダ内のファイルをすばやく表示することのできる機能が搭載されています。多数の画像から検索するような場合、「ブラウズ検索 ペイン」を使用すれば、ファイル一覧ペインに表示したい画像の検索条件を絞り込むことができます。

クイック検索バーを使用する

管理モードにあるクイック検索バーを使用して、ファイルやフォルダを素早く検索することができます。クイック検索オプションや演算子と単語を組み合わせて、検索を絞ったり広げたりして、検索結果をファイル一覧で確認します。

クイック検索機能は常に次のIPTCフィールドを検索します: タイトル、見出し、説明、人物、キーワード、作成者、都市、場所、州/県、国、および指し。クイック検索は、カラーラベルとACDSeeメタデータフィールド(キャプション、作成者、メモ、キーワード)も検索します。



ファイル名を検索する場合、ACDSee ファイルの最初の名前のみ考慮します。たとえば、**Cat_Dog** という名前のファイルの場合、**CAT** は検索されますが、**Dog** は検索されません。検索する用語を入力する際、大文字と小文字の区別をする必要はありません

クイック検索を使用するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- クイック検索バーに、検索したい用語または名前の一部を入力します。
- クイック検索フィールドの横にあるドロップダウンリストをクリックして、以前入力された検索用語リストから選択します。



キーボードショートカット **Ctrl + F** により、クイック検索バーにフォーカスを表示させ、すぐに入力を開始できます。

クイック検索の演算子

クイック検索バーで次の演算子を使用して、検索を絞ったり検索結果を広くしたりします。演算子で始まる検索を行うことはできませんのでご注意ください。必ず用語で始まらなければなりません。

演算子	結果	例
-	最初の単語を含むすべてのファイルが検索された後、二番目の単語を含まないファイルのみが表示されます。	Cat -Dog では、Catを含むすべてのファイルが結果として表示されますが、Dogを含むものは表示されません。マイナス(-)の前に必ず半角スペースが必要です。ご注意ください。ご注意ください。ACDSee 半角スペースを忘れると、ハイフンでつながった1つの単語として検索が行われます。
+	演算子の前後にある単語の両方を含んだすべてのファイルが結果として表示されます。どちらか一方の単語を含んでいるファイルは除外されます。クイック検索バーは、単語間に入力された半角スペースをプラス(+) 演算子として扱います。	Cat + Dog または Cat Dog にすれば、CatとDogの両方を含むアイテムが返されます。 Cat+Dog+- Kittens では、CatとDogの両方を含んだファイルが表示されますが、CatとDogとKittensのすべてを含んだファイルは除外されます。
	検索要素のいずれかを含むすべての項目が検索されます。	Cat Dog では、CatまたはDogのいずれかを含んだファイルが表示されます。 Cat+Dog Kittens では、CatとDogの両方を含んだもの、そして、Kittensを含んだファイルが表示されます。

検索ペインを使用する

「検索ペイン」を使用して、ファイルやフォルダを検索することができます。ファイル名やキーワードで基本的な検索を実行できます。さらに高度な検索を作成し、フォルダ、カテゴリ、画像のプロパティによって検索結果を絞り込むこともできます。ファイル名のパターンで検索して、重複ファイルを見つけることもできます。

また、検索に名前を付けて保存することもできます。保存済み検索は、検索ペインとカタログペインに備えられています。検索ペインでは、ドロップダウンリストから[保存済み検索]を選択して、その選択条件で検索を再実行することができます。カタログペインでは、保存済み検索は自動カテゴリの下に位置しています。保存済み検索の名前をクリックすることで、その選択条件で検索を再実行することができます。



検索ペインは、データベースで ACDSee カタログ化されていないフォルダは返しません。フォルダを参照すると自動的にカタログ化が行われます。[ツール]>[データベース]>[カタログファイル]の順にクリックすることもできます。

検索ペインを開くには:

[管理]モードで、[ペイン] > [検索]をクリックします。

検索ペイン領域

検索ペインには、検索を管理しやすくするための領域が幾つか備えられています。検索を作成すると、指定した検索条件のすべてに一致するファイルのみが返されることにご留意願います。

保存済み検索

保存済み検索領域では、複雑な検索条件の検索を保存して後で使用したり、再実行する検索を選択したり、保存済み検索を削除したりすることができます。

<p>保存済み検索</p>	<p>保存済み検索を作成すると、このドロップダウンリストに表示され、選択して再実行することができます。ペイン下部にある[開始]をクリックすると、[ファイル一覧]ペインに検索結果が表示されます。</p> <p>保存済み検索はカタログペインにも備えられていますので、保存済み検索の名前をワンクリックするだけで検索を実行することができます。</p>
<p>検索の保存</p> 	<p>[保存] アイコンをクリックしてから、[保存] または [名前を付けて保存] を選択して、保存済み検索を上書き保存または名前を付けて保存します。[保存済み検索] ダイアログが開かれたら、名前を入力します。後で便利のように、保存条件がすぐにわかるような名前を付けるようお勧めします。</p>
<p>検索の削除</p> 	<p>ドロップダウンリストから削除したい検索を選択し、[削除] アイコンをクリックします。確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックして削除します。</p>

ファイルとテキスト

「ファイルとテキスト」領域では、検索条件と検索場所を指定することができます。

ファイルまたはフォルダの名前	検索したいファイルまたはフォルダの名前の一部を入力するか、前回の検索で使用した用語をドロップダウン リストから選択します。ワイルドカードを使用して ファイル名のパターン で検索することもできます。画像以外のファイルすべてを除外するには、フィールドの横にある右矢印ボタンをクリックし、 [画像のみ] チェックボックスをオンにします。
含まれる文字列	<p>データベースで検索したいテキストを ACDSee 入力します。検索したいファイルのキャプションまたはキーワードの一部、あるいはフォルダまたはカテゴリの名前の一部がテキストに含まれている必要があります。ファイル名とキーワードまたはフレーズの両方を検索条件として使用する場合、検索条件を両方とも満たす項目のみが検索結果に表示されます。</p> <p>データベースで検索するアイテムを指定するためには、入力フィールドの横にある右矢印をクリックして、フィールドに入力されたテキストの取扱い方法を次のオプションから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての単語に一致する項目を検索: 入力された単語すべてに一致するファイルのみを検索結果に表示します。 • 単語全体と一致する項目を検索: 入力した単語全体に、入力した通りに一致するファイルのみを検索結果に表示します。 • キャプション検索: データベース内ファイルのキャプション フィールドを検索します。 • キーワード検索: データベース内ファイルのキーワード フィールドを検索します。 • 注記検索: データベース内ファイルの注記フィールドを検索します。 • カテゴリ検索: データベース内ファイルのカテゴリ フィールドを検索します。 • フォルダ検索: データベース内フォルダの名前を検索します。 • ラベル検索: ラベルが適用された画像を色ごとに検索します。 • 人物の検索: 画像で検出され、表示モードの[顔検出]で名前が付けられている人物を検索します。割り当てた名前や候補名、またはその両方で検索できます。
検索場所	<p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データベース全体: データベース全体の検索を ACDSee 実行します。データベース内でカタログ化されていないフォルダは検索されませんのでご注意ください。 • 特定のカテゴリとフォルダ: 指定したカテゴリとフォルダのみを検索します。このオプションを選択すると、[カテゴリとフォルダ] セクションが開かれ、検索したい場所とカテゴリを選択することができます。
ファイル一覧設定と同期する	[ブラウズ検索] 設定を含む、現在の管理モード設定を、検索ペインにインポートします。検索ペインの検索条件が削除される場合がありますのでご注意ください。

プロパティ領域

「プロパティ」領域では、検索したいファイルに含まれるプロパティの内容、検索に含むあるいは除外する条件を指定することができます。

「プロパティ」領域を使用するには:

1. **[検索ファイルのプロパティ]**フィールドの下で、**[追加]**をクリックします。
2. **[選択条件の追加]**ダイアログボックスで、検索条件とする1つ以上のプロパティを選択します。
3. **[OK]**をクリックします。
4. 「プロパティ」領域のハイパーリンクをクリックして、各プロパティの詳細を定義します。
5. **[開始]**をクリックして検索を開始します。

ファイル名のパターンで検索する

検索ペインの[ファイルとフォルダーの名前検索]フィールドにテキストパターンを入力して、ファイルの名前を検索することができます。ワイルドカード]フィールドにパターンを入力し、ファイル名で検索することができます。

ファイル名のパターン ワイルドカード

ワイルドカード	結果	例
?	入力された文字と、その次の一文字に該当するものがファイル名にあるか検索します。	ca?.jpg はcat.jpg、cap.jpg、car.jpg一致、cats.jpg一致せず
*	入力された文字と、その次の0文字以上の文字に該当するものがファイル名にあるか検索します。	cat* はcat.jpg、cats.jpg、cathy.jpgと一致
[...]	括弧で囲まれた文字と一致するものを検索します。	ca[tr] はcat.jpgまたはcar.jpgと一致、cap.jpgとは一致せず
[!...]	括弧で囲まれた文字以外と一致するものを検索します。	cat[!0] はcata.jpg、catb.jpgと一致、cat0.jpgとは一致せず
[...-...]	指定された範囲の文字がファイル名に含まれているか検索します。	cat[a-f0-9] はcata.jpg、catb.jpg、catf.jpg、cat0.jpg、cat1.jpg、...cat9.jpgと一致
\	ファイル名として使用できる文字で、同時にワイルドカードとして使用できる文字をブロックします。[]。例: *および? はファイル名として認識されないため、この機能で使うことはできません。	ワイルドカードである [] を含むファイル名を検索する場合は、と [] を組み合わせて検索します。 ACD\[123\] はACD[123].gif と一致



パターンでは、大文字と小文字の区別をする必要はありません。複数のパターンを使用するには、ファイル名をスペースまたは「;」で区切ります。スペースまたはセミコロンを含むパターンを検索するには、「"」でパターンを囲みます。パターンにワイルドカードの「*」が含まれない場合、そのパターンはサブストリングとして検索されます。例えば、cat は cat、cat hy および bobcat および *cat* と同様のパターンと照合します。

ブラウズ検索を使用する

ブラウズ検索ペインは、特定のフォルダ、カタログ分類、特定の日付に該当するファイルをすばやく検索してファイル一覧ペインに表示することができます。ブラウズ検索の範囲を設定して、ファイル一覧ペインにファイルを含むあるいは除外し、ブラウズしたいファイルのみを表示します。

ブラウズ検索を最大限に活用するには、データベースのファイルを**カタログ化**して**整理**することを [ACDSee お勧めします](#)。ブラウズ検索は、ファイルの情報が多いければ多いほど便利な機能と言えます。

ブラウズ検索を使用するには:

[表示]から[ブラウズ検索]をクリックして、[ブラウズ検索]パネルを開きます。このパネルはファイル一覧ペインの左側に表示されます。

ブラウズ検索ペインで検索範囲を設定する

[ブラウズ検索]パネルは、フォルダ、カタログ、カレンダーの3つの領域に分かれています。各領域は、同じ名前の管理モードペインに対応しています。[ブラウズ検索]パネルを開くと、ファイル一覧ペインの[コンテンツバー]が現在の検索条件すべてを一覧表示する[ブラウズ検索バー]に置き換えられます。

ブラウズ検索パネルの検索範囲にフォルダ、日付の範囲、整理方法を追加すると、ACDSee は検索範囲と一致しないファイルを除外します。検索範囲にアイテムを追加または削除することで、検索結果を絞り込むことができます。

ブラウザ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加するには:

ブラウザ検索パネルを開き、次のいずれかの操作を行います。

- [フォルダペイン](#) から、フォルダを一つ以上選択します。
- [カタログペイン](#) から、カテゴリを一つ以上選択し、必要に応じて重要度も選択します。
- [カレンダーペイン](#) から日付の範囲を一つ以上選択します。

ブラウザ検索パネルの検索範囲にアイテムが追加されるたびに、ACDSee はデータベースのフォルダから、検索範囲と一致するファイルを検索し、ファイル一覧ペインに表示します。表示されたファイルは、ACDSee で自由自在に編集、共有、移動、表示することができます。

以下のように、ブラウザ検索パネルの検索範囲を設定し直すこともできます。

- 選択した条件をブラウザ検索パネルから削除するには、削除したい条件を右クリックして **[対象から削除]** を選択します。
- 検索範囲から特定の種類の条件をすべて除外するには、一覧の上にあるバーをクリックして **[検索範囲に含む]** をオフにします。例えば、一覧にしたフォルダを対象から除外するには、**[フォルダ]** バーをクリックして **[対象に含む]** をクリックします。ブラウザ検索パネルの検索範囲にはフォルダが表示されたままですが、検索結果として表示されません。
- 特定の種類の条件すべてを削除するには、一覧の上にあるバーをクリックして **[すべてクリア]** を選択します。

ブラウザ検索パネルのカテゴリでは、検索範囲に指定されているカテゴリのいずれかと一致するファイルが表示されるように、既定で設定されています。特定のカテゴリのファイルだけを表示するには、検索範囲を設定し直します。動作を切り替えるには、カテゴリの上にあるバーを右クリックして **[部分一致]** または **[完全一致]** を選択します。

ブラウザ検索を使用する際のヒント

ブラウザ検索パネルに検索条件を追加すると、検索したいファイルにその属性が含まれていることを条件とすることになります。例えば、フォルダペインからフォルダを選択すると、ACDSee は、そのフォルダ内にあるファイルのみをファイル一覧ペインに表示します。カタログペインの「重要度」を選択すると、ACDSee は、その重要度が適用されているファイルのみをファイル一覧ペインに表示します。

ブラウザ検索の検索範囲を組み合わせて、検索範囲を絞り込むことができます。例えば、カテゴリとある特定の日付の範囲を選択すると、ACDSee はその両方と一致するファイルのみを表示します。ACDSee は指定された日付の範囲に該当するファイルが存在しても、適切なカテゴリに適用されていない限りそれらを表示しません。あるいは、適切なカテゴリに適用されていても、指定された日付の範囲に該当しない場合にはそれらを表示しません。

ブラウザ検索パネルを非表示にする

ブラウザ検索パネルの **[自動非表示]** 機能を使うと、ブラウザ検索パネルを自動的に非表示にし、ファイル一覧ペインの作業領域を広げることができます。パネルが自動非表示に設定されている場合、パネルの外をクリックするとパネルがロールアップされ、パネルの端部のみが表示されます。パネルの端部にマウスポインタを合わせると、パネルが再度表示されます。

自動カテゴリで検索する

何百枚、何千枚という画像を所有している。複数のカメラを使用している。家族とカメラを共有している。友達や家族が撮影した画像をコンピュータに保存している。このような方には、自動カテゴリによる画像検索の利用をお勧めします。

自動カテゴリは [\[カタログペイン\]](#) の [\[ラベル\]](#) のすぐ下に表示されます。ダブルクリックまたはプラスサイン **(+)** をクリックして、自動カテゴリのグループを展開します。ダブルクリックまたはマイナスサイン **(-)** をクリックして、自動カテゴリのグループを閉じます。

自動カテゴリ情報の一部は、撮影したカメラによって画像に追加されます。例えば、カメラのメーカー名、モデル名、使用されたホワイトバランス設定、レンズ焦点距離、絞り値などがその例です。それらの情報だけでなく、画像を撮影した都市名や国名、キーワードや著作権など、補足情報を加えることもできます。プロパティペインで情報を手入力することも可能です。

自動カテゴリをクリックすると、ACDSee はそのカテゴリに属している画像を検索します。例えば、複数のカメラを持っていて、状況によって使い分けて撮影していると仮定しましょう。[\[フォト プロパティ\]](#) と [\[カメラのメーカー名\]](#) を展開し、該当カメラのカテゴリを選択します。これで、そのカメラで撮影されたすべての画像が表示されます。同様に、[\[フォトプロパティ\]](#) と [\[撮影者\]](#) のグループを展開し、撮影者一覧から弟の名前を選択します。すると弟が撮影した画像がすべて表示されます。

以下で、自動カテゴリの検索ヒントをご紹介します。

よく使うカテゴリを識別する

[フォト プロパティ] で頻繁に使用する自動カテゴリがある場合には、[よく使うカテゴリ] としてそれらを追加し、検索時間を短縮することができます。規定では、[フォト プロパティ] グループの一部が [よく使うカテゴリ] のグループで使用できるように設定されています。[よく使うカテゴリ] には希望する数の自動カテゴリを追加できる他、使用しなくなった場合にはそれらを簡単に削除することができます。

【よく使うカテゴリ】に自動カテゴリのグループを追加するには:

1. [フォト プロパティ] のグループを展開します。
2. [よく使うカテゴリ] に追加したい自動カテゴリのグループを右クリックし、**【よく使うカテゴリに追加】** を選択します。これで、該当のグループが [よく使うカテゴリ] に追加されます。

同様に、[フォト プロパティ] のグループでも表示されます。

【よく使うカテゴリ】から自動カテゴリのグループを削除するには:

1. [よく使うカテゴリ] のグループを展開します。
2. [よく使うカテゴリ] から削除したい自動カテゴリのグループを右クリックし、**【よく使うカテゴリから削除】** を選択します。

これで、該当のグループが [よく使うカテゴリ] から削除されます。

自動カテゴリ検索を絞り込む

複数の自動カテゴリを選択することで、自動カテゴリ検索の精度を上げることができます。例えば、さまざまな照明のもとで適切な画像の露出を見つけ出そうとして、絞りどシャッタースピード設定の組み合わせを試行錯誤しているときに、特定の設定で撮影された画像を検索したいというケースを考えてみましょう。f/16 絞り値と 1/30 s のシャッタースピードの左横にあるボックスをクリックすると、ACDSee 両方のカテゴリに属する画像を検索します。

複数の自動カテゴリを選択する場合、[カテゴリ ペイン] の上部にある [完全/部分一致] ドロップダウンから、**[完全一致]** または **[部分一致]** を選択して、検索をより一層絞り込むことができます。[部分一致] を選択すると、ACDSee 選択されたカテゴリと関連付けられているあらゆる画像が表示されます。[完全一致] を選択すると、ACDSee 選択された全カテゴリと関連付けられている画像のみが表示されます。

また、カテゴリあるいは重要度を選択することで、検索を絞り込むことも可能です。例えば、[撮影者] のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。その撮影者が撮影したベストの画像だけを表示させたいとします。[カテゴリ ペイン] の **[重要度]** 領域から 1 を選択します。その結果、特定の撮影者と重要度 1 の画像のみが表示されます。

また、[ブラウズ検索] ペインを使用して、自動カテゴリの検索を絞り込むことも可能です。例えば、[カメラのメーカー名] のカテゴリをクリックし、ACDSee 何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。そのカメラで撮影した、特定日の画像だけが見たいとします。[表示] メニューから **[ブラウズ検索]** をクリックして、[ブラウズ検索] を表示し、**[カレンダー]** ペインを選択し、特定日を選択します。その結果、特定のカメラと特定日の画像のみが表示されます。

重複ファイルを検索する

「重複の検索」機能を使用して、ハードドライブ上のさまざまなフォルダから重複するファイルを検索することができます。重複が見つかったら、名前変更機能や削除機能を実行して、ファイルコレクションをより適切に管理することができます。



フォルダ内の画像のみを選択して、検索範囲を絞ります。

重複ファイルを検索するには:

1. 管理モードで、重複の検索を行うフォルダまたはファイルを選択します。(任意)
2. [ツール] から **[重複の検索]** をクリックします。

3. [重複の検索]ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します。
 - 選択したフォルダおよび追加されたファイルまたはフォルダ内で重複を検索するには、[このファイルの単一リストから重複を検索する]を選択します。
 - 2つの異なるリストの内容を比較して重複を見つけるには、[この2つのファイルリスト内で重複を検索する]を選択します。(これは、2つのリストのいずれかで重複を検索するのではなく、2つのリストを相互に検索する目的のみに使用されます。)
4. [ファイルを追加]ボタンと[フォルダを追加]ボタンでリストにファイルを追加します。リストでファイルを選択して、[削除]ボタンを押してファイルを削除します。リストでファイルまたはフォルダを選択して、[変更]ボタンを押して、ファイルまたはフォルダを切り替えます。選択したサブフォルダの内容を含むには、[サブフォルダを含む]チェックボックスをオンにします。
5. [ファイルリスト]の下で、完全重複ファイルを検索するか、または同じファイル名の重複を検索するかを指定します。画像ファイルのみを検索したい場合は、[画像のみを検索する]を選択します。

 異なる形式 (JPEG、BMP、GIFなどの異なる拡張子) で保存された同一の画像は、重複として認識されません。JPEG 画像のコピーを保存する場合、画像は再圧縮されます。したがって、元のJPEG画像とコピーは内部的に異なるファイルであり、重複として認識されません。
6. [検索]を押します。
7. 重複が検索されなかった場合は、[OK] をクリックして検索条件を変更してやり直すか、[キャンセル] をクリックして [重複の検索] を閉じます。
8. 重複が見つかった場合は、リストで重複するファイルを選択し、さらにアクションを実行します。

ファイルの削除と名前変更

重複が見つかったら、ファイルの名前を変更または削除することができます。画像ファイルを使用している場合は、プレビューを利用できません。

複数の重複ファイルが見つかった場合は、見やすくするためにそれらを並べ替えることができます。

ファイルを並べ替えるには:

1. 左上のリストを右クリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **ファイル名で並べ替え**
 - **パスで並べ替え**
 - **ファイルサイズで並べ替え**
 - **ファイルの種類で並べ替え**
 - **重複の数で並べ替え**

重複を削除するには:

1. 左上のリストで目的のファイルを選択します。
2. 下部のフィールドで、次のいずれかを実行します。
 - ファイル名の横にあるチェックボックスをオンにします。ファイル名が「**ファイルを削除**」に変わります。
 - ファイル名を右クリックして、コンテキストメニューから[削除]を選択します。ファイル名が「**ファイルを削除**」に変わります。
3. 2つのファイルリストを使用して検索した場合は、[ファイルリスト1/ファイルリスト2から削除]を有効にします。これにより、指定どおりにファイルリスト1またはファイルリスト2からすべてのファイルを選択することで、時間の節約になります。
4. [次へ] をクリックして変更を確認し、[完了] をクリックします。

ファイル名を変更するには:

1. 左上のリストで目的のファイルを選択します。
2. 下部のフィールドで、ファイル名を右クリックし、コンテキストメニューから[名前の変更]を選択します。
3. 新規ファイル名を入力します。
4. [次へ]をクリックして変更を確認し、[完了]をクリックします。

画像をすばやく検索する

保存済み検索の名前をクリックして、その検索条件ですばやく検索することができます。[カテゴリペイン](#)の「スペシャル アイテム」を使用すれば、[データベース](#)内にあるすべての画像や、[カテゴリへの割り当て](#)がまだなされていない未分類の画像をすばやく表示することができます。

保存済み検索を再度使用するには:

- 管理モードのカタログ ペインから、保存済み検索の名前をクリックします。
- ファイル一覧 ペインに検索結果が表示されます。

すべての画像を一度に検索するには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [カタログ] を選択して、カタログ ペインを開きます。
2. カタログ ペインの [スペシャル アイテム] から [イメージ ウェル] を選択します。

カテゴリ未分類の画像を見つけるには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [カタログ] を選択して、カタログ ペインを開きます。
2. カタログ ペインの [スペシャル アイテム] から [未分類] を選択します。「イメージ ウェル」と「未カテゴリ」機能は、[データベース](#)内のカタログ化された画像を表示するのみです。ハードディスクから特定のファイル形式を検索するではありません。

キーワードのない画像を見つけるには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [カタログ] を選択して、カタログ ペインを開きます。
2. カタログ ペインの [スペシャル アイテム] から [キーワードなし] を選択します。

で共有する ACDSee

ACDSeeを使用して、ご家族やお友達と画像を簡単に共有することができます。ACDSeeにより、電子メールでファイルを直接送信したり、Web サイトへ画像をアップロードしたり、HTMLアルバムプラグインでご自身のWebページを作成したり、コンタクトシートを印刷することができます。また、スライドショーやスクリーンセーバーを作成して、コンピュータを持っている人に提供することができます。ACDSee ACDSeeがなくても表示可能です。

スクリーン キャプチャを実行する

スクリーン キャプチャ ACDSee ユーティリティを使って、画面の様々な領域をキャプチャして画像を作成することができます。キャプチャする領域、キャプチャの方法、キャプチャされた画像の出力先などを選択することができます。

スクリーン キャプチャを実行するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、[ツール] から [スクリーンキャプチャ...] をクリックします。
2. [スクリーン キャプチャ] ダイアログ ボックスの [ソース] セクションで、キャプチャしたい画面の領域を指定します。ソース オプションの詳細については、下記の表をご参照ください。
3. 出力する画像にマウスのカーソルも入れたい場合、[マウスのカーソルを入れる] チェックボックスをオンにします。

4. [出力先] セクションで、キャプチャされた画像の出力先を指定します。
5. [キャプチャの実行] セクションで、スクリーン キャプチャの実行方法を指定します。
6. [開始] をクリックし、スクリーン キャプチャ ツールを起動します。
タスクバーの通知領域にスクリーン キャプチャのアイコンが表示されます。
7. キャプチャする画面の領域を表示し、スクリーン キャプチャのアイコンに表示される吹き出しの手順に従ってください。
8. スクリーン キャプチャを実行せずに[スクリーン キャプチャ] ユーティリティを終了するには、[スクリーン キャプチャ] アイコンを右クリックし、[スクリーン キャプチャの終了] を選択します。

スクリーン キャプチャのオプション

デスクトップ	現行モニタ	画面に表示されている領域全体の画像をキャプチャします。
ウィンドウ	ウィンドウ全体	アクティブ ウィンドウ全体をキャプチャします。
	コンテンツのみ	ウィンドウ内のコンテンツをキャプチャします。(フレームまたはタイトルバーはキャプチャされません)。
領域	固定サイズ	画面の固定領域をキャプチャします。 ドロップダウン ボタンをクリックして、寸法の設定を選択するか、[カスタム] を選択して、希望の寸法をピクセルで入力します。
	選択領域	画面の選択領域をキャプチャします。マウス ポインタをクリック&ドラッグして、キャプチャしたい領域を囲みます。
オブジェクト	子ウィンドウ	ウィンドウの一部をキャプチャします。例：ツールバー、ボタン
	ポインタの置かれたメニュー	選択されたメニュー コマンドをキャプチャします。
マウス ポインタを含む	スクリーンキャプチャにカーソルを含めます。	
出力先オプション	クリップボード	クリップボードにキャプチャされた画像を保存します。画像をクリップボードに一時的に保存し、新しい場所に貼り付けることができます。
	ファイル	[スクリーン キャプチャの保存] ダイアログ ボックスを表示します。場所、フォーマット、ファイル名を指定できます。
	エディタ	キャプチャした画像を既定の画像エディタで表示します。
キャプチャの実行オプション	ホットキー	スクリーン キャプチャを実行するキーの組み合わせを指定します。 ホットキーを設定するには、ボックス内に入力するのではなく、キーボードでキーまたはキーの組み合わせ (例: Ctrl + S) を押します。
	タイマー	指定された時間が経過した後に、スクリーン キャプチャを実行します。デスクトップまたはウィンドウでスクリーン キャプチャの準備をするための十分な時間を設定します。最大設定時間は60秒間です。

電子メールで画像を送信する

電子メールの送信ウィザードを使用して、ACDSee 他の電子メール アプリケーションを開くことなく内から直接ファイル画像を送信することができます。電子メールの送信ウィザードを使用するには、有効な電子メールアカウントがあるか、コンピュータ上で既定のメール アプリケーションが設定されているか、SMTP サーバーにアクセスできる状態になっている必要があります。

電子メールで画像を送信するには:

1. ファイラー 一覧 ペインから電子メールで送信する画像を選択して、[ファイル]から[送信]、[電子メールで画像を送信]をクリックします。
 - 他の画像を追加したい場合は、[追加]をクリックします。画像の追加が完了したらを[OK]をクリックします。
 - 画像を削除したい場合には、画像を選択して[削除]をクリックします。画像はウィザードより削除されますが、ACDSee から削除されるわけではありません。

- 電子メールの最大サイズや JPEG に変換するなど、電子メールや画像オプションを設定したい場合は、[オプション] をクリックします。オプションの選択が完了したら[適用]をクリックします。
 - 電子メール アカウントの設定を変更したい場合、既定の電子メール クライアントと SMTP サーバーのどちらかを使用するために、[変更]をクリックします。電子メール アカウントの変更が完了したら、[OK] をクリックします。
2. [電子メールの送信ウィザード] にある [次へ] をクリックします。
 - [既定の電子メールクライアント経由で送信] を選択した場合、新規のメッセージに画像と電子メール情報が追加されます。通常のメッセージを扱うように、メッセージを編集してから送信します。
 - [SMTP サーバー経由で送信] を選択した場合、ウィザードで電子メールの送信先、件名、メッセージを入力します。[次へ]をクリックします。
 3. 画像の送信が終了したら、[完了] をクリックしてウィザードを閉じます。



Hotmail や Yahoo (無料アカウント) のようなインターネット ベースのアプリケーションの中には SMTP をサポートしないものがあり、[電子メールの送信ウィザード] と合わせて使用することができません。Gmail、Yahoo (アップグレード アカウント)、AOL などその他のアプリケーションでは、POP/SMTPのアカウントを設定する必要があります。電子メール アカウントの設定方法は各アプリケーションによって異なりますので、詳細につきましては各アプリケーションのWeb サイトから SMTP を検索してください。

ACDSee 365 で共有、メール送信する

ACDSee 365 のアカウントを一度有効にすると、365.acdsee.com からあなたの写真を共有することができます。

電子メールで画像を送信するには:

1. [ファイル一覧] ペインから、共有したい写真を選択し、[ファイル] メニューから [送信]、[ACDSee 365 で共有/メール] をクリックします。
2. [ACDSee 365 で共有/メール] ダイアログボックスで、写真アルバム名を入力し、既存のオンラインフォルダから場所を選択します。
3. 画像の送信先となる 1 つまたは複数のメールアドレスを入力します。



[共有する人たち] ボタンをクリックして、アドレス帳から希望する名前を引き出すことができます。

4. ドロップダウン リストからアップロードのサイズを選択します。
5. アップロードをクリックします。
6. 新しいウィンドウが開かれますので、メッセージの入力、フルサイズの JPG ダウンロードを有効にするか、アクセスパスワードを作成するなど、希望するオプションを選択します。
7. [OK]をクリックします。

デスクトップ スクリーンセーバーを作成する

お気に入りの画像を使用してスクリーンセーバーを作成することができます。スクリーンセーバー オプションでは、各画像の表示時間、背景色の設定、トランジション効果の適用、ヘッダーまたはフッターの追加などを設定することができます。

スクリーンセーバーを作成するには:

1. [管理]モードの[ファイル一覧]ペインから画像グループを選択して、[ツール] から [スクリーンセーバーの設定] を選択します。
2. [ACDSeeスクリーンセーバー] ダイアログボックスの [追加] をクリックしてスクリーンセーバーに加える画像を参照するか、不要な画像を選択して [削除] をクリックします。
3. [設定] をクリックして、以下に説明されているオプションを指定し、[OK] をクリックします。

4. スクリーンセーバーをデスクトップで自動的に起動させるには、**[既定のスクリーンセーバーとして設定する]** チェックボックスをオンにします。
5. 選択内容に納得できたら、**[OK]** をクリックします。

コンピュータでスクリーンセーバーをアクティブにするには:

お使いのWindowsの[画面のプロパティ]ダイアログボックスから[スクリーンセーバー] タブを選択した後、ドロップダウンリストから**[ACDSeeスクリーンセーバー]** を選択します。

ACDSeeスクリーンセーバーオプション

ベーシック	トランジションを選択する	トランジションの一覧が表示されます。トランジション、変化、効果を選択すると、プレビューに反映されます。
		<ul style="list-style-type: none"> • すべて選択: すべてのトランジションを選択し、ランダムに表示します。 • すべてクリア: 選択されたトランジションをすべてクリアします。
		 これらのトランジションは 2 画像、4 画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。
	バリエーション	<p>ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • なし: バリエーションを一切使用しません • パン&ズーム: 各スライドの表示時間に合わせて、パンニング&ズーム表示を行います。 • 2画像: 画像二点を一度に表示します。 • 4画像: 画像四点を一度に表示します。 • コラージュ: 画像を重ねるコラージュとして表示します。
	効果	<p>ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • なし: 効果を一切使用しません。 • モノクロ: すべての画像をグレースケールで表示します。 • セピア: すべての画像をセピア色で表示します。 • ヴィヴィッド: 画像の彩度を高めて、色全体をより明るく表示します。 • ソフト: 画像をわずかにぼかしてソフトな効果を加えます。
	背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。[その他]をクリックして、[色]ダイアログボックスでカスタムの色を設定します。
	スライドの表示間隔(秒)	スクリーンセーバーの各画像の表示時間を指定します。
アドバンス	全般設定	<p>次のオプションから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画面に合わせて画像を引き延ばす: 画面のサイズに合わせて小さい画像を拡大します。 • 埋め込みオーディオの再生: 画像に埋め込まれているあらゆるオーディオクリップを再生します。
	スライドの順序	<p>以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 進む • シャッフル
テキスト	ヘッダー テキストの表示	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
	フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。

スクリーンセーバー テキスト オプション

配置	テキスト キャプションの配置を指定します。
背景色	キャプションの背景色を指定します。
テキスト	キャプションとして表示するテキストを入力します。
フォント	[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。
メタデータの挿入	メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。 クリックして [プロパティの選択] ダイアログ ボックスを開き、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーを表示、設定する

画像やビデオのスライドショーは、管理モードまたは表示モードから表示することができます。スライドショーを自動実行するように設定したり、画像の表示時間、背景色の選択、トランジション効果の適用、ヘッダー/フッターの追加などのオプションを設定したりすることも可能です。

管理モードからスライドショーを起動するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - ファイル一覧ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダペインで、フォルダを選択します。
 - イージーセレクト バーを使って、画像が格納されているフォルダ複数を選択します。
- [ツール]>[スライドショー]をクリックします。(Ctrl + S)

表示モードからスライドショーを起動するには:

[ツール]>[スライドショー]をクリックします。

スライドショーを設定するには:

- [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ファイル一覧ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダペインで、フォルダを1つ選択するか、イージーセレクト バーを使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
- [ツール]>[スライドショーの設定]をクリックします。
- [スライドショーのプロパティ] ダイアログ ボックスで、下記を参考にしてスライドショーのオプションを選択または変更します。
- 現在のオプション設定をスライドショーの既定値として保存するには、[現在の設定を既定値として保存する] のチェックボックスを選択します。
- [OK]をクリックします。

スライドショー オプション

ファイルの選択	スライドショーの内容	<p>スライドショーに含むメディアの種類を以下から指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在のフォルダ内のメディア ファイルすべて: 現在選択されているフォルダ内のファイルすべて(画像またはビデオ)を表示します。 ● 現在のフォルダとサブフォルダ内のメディア ファイルすべて: 現在選択されているフォルダとそのサブフォルダ内に含まれているファイルすべてを表示します。 ● 選択されたメディア ファイル: [スライドショーのプロパティ] ダイアログ ボックスを開く前に選択されていたファイルのみを表示します。
	この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する	現在指定している スライドショーの内容 設定を維持し、スライドショーを次回実行する際に自動的に再生します。
ベーシック	トランジションを選択する	<p>トランジションの一覧が表示されます。トランジション、変化、効果を選択すると、プレビューに反映されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すべて選択: すべてのトランジションを選択し、ランダムに表示します。 ● すべてクリア: 選択されたトランジションをすべてクリアします。 <p> これらのトランジションは 2 画像、4 画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。</p>
	バリエーション	<p>ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● なし: バリエーションを一切使用しません。 ● パン&ズーム: 各スライドの表示時間に合わせて、パンニング&ズーム表示を行います。 ● 2画像: 画像二点を一度に表示します。 ● 4画像: 画像四点を一度に表示します。 ● コラージュ: 画像を重なり合うコラージュとして表示します。
	効果	<p>ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● なし: 効果を一切使用しません。 ● モノクロ: すべての画像をグレースケールで表示します。 ● セピア: すべての画像をセピア色で表示します。 ● ヴィヴィッド: 画像の彩度を高めて、色全体をより明るく表示します。 ● ソフト: 画像をわずかにぼかしてソフトな効果を加えます。
	背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。[その他]をクリックして、[色ダイアログ]でカスタムの色を設定します。
	スライドの表示間隔(秒)	スライドショーの各画像の表示時間を指定します。
アドバンス	全般設定	<p>次のオプションから選択または解除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 画面に合わせて画像を引き延ばす: 画面のサイズに合わせて小さい画像を拡大します。 ● 埋め込みオーディオの再生: 画像に埋め込まれているあらゆるオーディオクリップを再生します。 ● 画面に合わせてビデオを引き延ばす: 画面のサイズに合わせてビデオ ファイルを拡大します。 ● コントロールバーの自動非表示: マウスのカーソルが数秒以上動いていない場合、スライドショーのコントロールバーを自動的に隠します。

		<ul style="list-style-type: none"> • ループ:最後の画像が表示された後、スライドショーを繰り返します。
	スライドの順序	以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 進む • シャッフル
	ミュージック ディレクトリ	以前選択したフォルダからミュージックを表示するか、[参照]をクリックして新しいフォルダを探します。
テキスト	ヘッダー テキストの表示	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
	フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
現在の設定を既定値として保存する		すべてのタブの現在の設定を保持し、次回スライドショーを起動する際に適用します。

スライドショー テキスト オプション

配置	テキスト キャプションの配置を指定します。
背景色	キャプションの背景色を指定します。
テキスト	キャプションとして表示するテキストを入力します。
フォント	[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。
メタデータの挿入	メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。 クリックして [プロパティの選択] ダイアログ ボックスを開き、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーとスクリーンセーバーを共有する

[ツール]から[スライドショー]をクリックするか、管理モードでキーボードの**Ctrl + S**を押すと、管理モードまたは表示モードからいつでも画像のスライドショーを表示することができます。ACDSeeでは、お気に入りの写真のスライドショーやスクリーンセーバーを作成して、友人や家族に送ったり、Web サイトに表示したりすることができます。スライドショーまたはスクリーンセーバーのプロジェクトは、保存することができるため、後で編集することも可能です。

スライドショーを作成するには:

1. 管理モードで、[ツール]から[作成]、[スライドショーファイル]をクリックします。
2. [よろこそ] ページから、新規スライドショーを作成するには、[新規スライドショーを作成する] ラジオボタンを選択します。スライドショーの種類を指定するには、次のオプションから1つを選択します:
 - **スタンドアロン スライドショー:**すべての画像とそれらの画像を表示するのに必要なものを含む、シングル実行ファイル (.exe) を作成します。このファイルの種類は、ACDSee をインストールしていなくても、コンピュータを持っている人なら誰でも閲覧することができます。
 - **Windows スクリーン セーバー:**標準の Windows スクリーン セーバー ファイル (.scr) を作成し、Windows システムに保存して使用することができます。
 - **Adobe Flash Player® スライドショー:**Web サイトに掲載することができる、コンパクトな Adobe Flash ファイル (.swf) を作成します。
3. 既存のスライドショーやスクリーンセーバーのプロジェクトを編集するには、[既存のスライドショーをロードする] ラジオボタンを選択し、[参照]をクリックしてプロジェクト(.asw ファイル)の保存先を指定します。
4. [次へ]をクリックして続行します。
5. 「画像の選択」のページで、スライドショーに表示される画像を確認することができます。ここで表示される画像の順番が、スライドショーの順番として設定されます。画像を変更するには [追加] または [削除] をクリックします。また、矢印ボタンを使って画像の順番を変更します。準備ができたなら[次へ] をクリックして続行します。

6. 「ファイル固有オプションの設定」のページで、サムネイルの横に表示されているハイパーリンクをクリックし、各画像のオプションを設定します。ここで画像間のトランジション、トランジションとスライドの表示間隔(長さ)、テキストキャプション、画像が表示される際のオーディオファイルを設定します。注意: オプションは出力ファイルのフォーマットによって異なり、すべてのフォーマットが全オプションをサポートしているわけではありません。準備ができたら[次へ]をクリックして続行します。
7. 「スライドショーのオプション設定」のページで、各スライドを自動または手動で表示するか、スライドの表示順番、コントロールの表示/非表示などを設定します。BGMに使うオーディオファイルを追加したり、画質、スピード、トランジションを調整することができます。準備ができたら[次へ]をクリックして続行します。
8. 次のページでは、画像サイズのオプション、スライドショーファイルとプロジェクトファイルの保存先を設定します。
9. 最後に[次へ]をクリックして、ACDSeeがスライドショーの作成を完了するまで待ちます。完了したら、スライドショーを起動するかウィザードを終了します。



オーディオファイルを画像に適用してある状態で、スライドショーオプションのページでもスライドショー全体にオーディオを設定している場合には、スライドショーの表示中に両方のオーディオが再生されることとなりますのでご注意ください。

デスクトップスライドショーを作成する

ACDSee Showroom を使用して、お気に入り画像のスライドショーを作成し、コンピュータのデスクトップに小さなウィンドウとして表示することができます。一度に最高 16 ものスライドショーを起動することが可能です。

ACDSee Showroom のウィンドウは、他のアプリケーションの上に常に表示するように設定することができます。また、コンピュータの起動時に ACDSee Showroom ウィンドウを自動実行するようにも設定できます。ACDSee Showroom を ACDSee 使用するために

ACDSee Showroom でデスクトップスライドショーを作成するには:

1. 管理モードで、デスクトップスライドショーに使用したい画像を含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ツール] > [作成] > [ACDSee Showroom]をクリックします。
 - [スタート] > [プログラム] > [ACD システム] > [ACDSee Showroom]の順にクリックします。

ACDSee Showroom のアイコンがタスクバーに表示されます。

ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方

ACDSee Showroom ウィンドウには次のようなコントロールが含まれています。

- スライドショーの前の画像、あるいは次の画像を表示するには、[戻る] または [次へ] ボタンをクリックします。
- 特定の画像が表示されている間、[一時停止] ボタンをクリックしてスライドショーを一時停止することができます。



ACDSee Showroom ウィンドウ内にこれらのコントロールが表示されない場合は、ウィンドウ内の任意の場所をクリックします。スライドショー再生時は、写真をフルにお楽しみいただけるようコントロールが非表示になります。

複数の ACDSee Showroom を作成するには:

ACDSee Showroom が開かれている状態で、次のいずれかを実行します:

- ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。

ACDSee Showroom を閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- ACDSee Showroom ウィンドウの **[閉じる]** をクリックします。
- タスクバーの[ACDSee Showroom]アイコンをクリックし、**[Showroom を終了する]**を選択します。



コンピュータ起動時に ACDSee Showroom を自動実行するよう設定している場合には、次回コンピュータを起動すると ACDSee Showroom が自動実行されます。

PDFを作成する

では、ACDSee 画像を PDF (Portable Document Format) ファイルに結合することができます。PDF ファイルの作成 ウィザードでは、画像から 1 つ以上の PDF ファイルを作成する方法や、画像を PDF スライドショーに追加する方法をご案内します。

PDFファイルを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]**から**[作成]**、**[PDF]**をクリックします。
3. PDF ファイルの作成 ウィザードの「ようこそ」のページで、次のいずれかのオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします:
 - **PDF スライドショーを作成する:**すべての画像をまとめて、スライドショーとして表示することのできるシングル PDF ファイルを作成します。
 - **すべての画像を含む PDF ファイルを作成する:**すべての画像をまとめて、マルチページのシングル PDF ファイルを作成します。
 - **画像ごとに PDF ファイルを作成する:**画像ごとに個別のPDF ファイルを作成します。
4. 「画像の選択」のページで、選択した画像を変更したり、矢印ボタンを使って画像の順序を変更したりします。**[次へ]**をクリックして続行します。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - **[PDF スライドショーを作成する]** を選択した場合、各画像の横にあるハイパーリンクをクリックして、トランジション オプションを設定または変更します。**[次へ]** をクリックし、スライドショーの順序、背景色、ファイル名オプションを指定します。準備ができたら**[次へ]** をクリックして続行します。
 - 1つ以上のPDFファイルを作成することを選択した場合、ファイル名と保存先を指定し、**[次へ]** をクリックします。
6. **[完了]** をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成する

「PPT の作成 ウィザード」を使用して、ACDSee 内から素早く PowerPoint プレゼンテーションを作成することができます。ウィザードは、ご希望の画像を使ったプレゼンテーションの作成または編集のプロセスをご案内します。スライドの長さ、ファイルの場所、各スライドの画像数を設定したり、背景にデザイン テンプレートを使用するかを指定することができます。また、各スライドにキャプション、タイトル、注記を追加することができます。



この機能は、ご使用のコンピュータに Microsoft PowerPoint® がインストールされている場合にのみご利用いただけます。また、RAW ファイルはサポートされていないため、RAW ファイルを別のファイル フォーマットに変換する必要があります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]**から**[作成]**、**[PPT]**をクリックします。
3. PPT の作成 ウィザードの **[画像の選択]** ページで、**[追加]** をクリックして画像を追加します。

4. [次へ]をクリックします。
5. [プレゼンテーション オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - プレゼンテーションを新規作成する場合、[プレゼンテーション オプション] 領域で各スライドの表示時間(長さ)を指定します。
 - プレゼンテーションを編集している場合、[既存プレゼンテーション] を選択し [パス] フィールドをアクティブにした後、該当のプレゼンテーションを参照します。プレゼンテーションの開始、または終了にスライドを挿入するかを選択します。
 - ドロップダウン リストから [各スライドの画像数] を選択します。(1 画像よりも大きい数を選択した場合、次ページで「タイトル」と「注記」オプションを設定することはできません。
 - プレゼンテーションに画像を埋め込むのではなく、画像とをリンクした状態に保ちたい場合には、[画像ファイル ヘルプ] ACDSee を選択します。
 - [デザイン テンプレートの使用] をクリックし、ご利用になっているコンピュータのフォルダを参照に背景用のテンプレートを選択します。(PowerPoint のテンプレートは通常 C:\Program Files\Microsoft Office\Templates\Presentation Designs) に格納されています。
6. [次へ]をクリックします。
7. [テキスト オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - [キャプション] タブで、キャプションとなるテキストを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、ファイル名や画像サイズといったメタデータ情報を挿入することも可能です。キャプションはスライドの下部に表示されます。
 - [タイトル] タブで、スライドのタイトルを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、メタデータ情報を挿入することも可能です。
 - [注記] タブで、各スライドに添付される「注記」セクションに表示されるテキストを入力します。注記は、スライド自体では表示されませんのでご注意ください。
8. 作成をクリックします。

作成されたプレゼンテーションが PowerPoint で開かれます。

HTMLアルバムを作成する

[HTML アルバム] ウィザードを使用して、画像コレクションをインターネットに掲載することができます。HTML アルバムは、スライドショーのコントロールやサムネイル表示を含みます。ギャラリー スタイル一覧から希望するテンプレートを選択し、気に入った画像をロゴとして追加したり、ヘッダーやフッターにテキストを入力してカスタマイズします。もちろんフォントの色やスタイルも設定可能です。

HTML アルバムを作成するには：

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. [ツール]から[作成]、[HTML アルバム]をクリックします。
3. [HTML アルバムの作成] ウィザードの [スタイルの設定] ページで、[ウェブ ページのスタイル] ボックスから希望するギャラリースタイルを選択します。



ギャラリー スタイルとその他の設定を選択したら、[ギャラリーのプレビュー] をクリックして、HTML アルバムの仕上がりがプレビューを確認します。[アルバムの作成]をクリックして、[HTML アルバムの作成] ウィザードのあらゆるページから、HTML アルバムを作成することも可能です。

4. [次へ]をクリックします。
5. [ギャラリーのカスタマイズ] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - [ギャラリー タイトル] のテキスト ボックスに、ウェブ ページの上部に表示するタイトルを入力します。
 - [ヘッダーを含む] を選択してページ上部にヘッダーを表示する、あるいは [ヘッダーを含む] のチェックボックスをクリアしてヘッダー テキストの表示を解除します。
 - [フッターを含む] を選択してページ上部にフッターを表示する、あるいは [フッターを含む] のチェックボックスをクリアしてフッター テキストの表示を解除します。
 - ヘッダーあるいはフッターに画像を表示させたい場合には、[画像を使用する] を選択した後に [参照] をクリックし、会社のロゴやユーザーの顔写真など希望する画像を選択します。
 - ヘッダーまたはフッターにテキストを表示させたい場合には、[情報を使用する] を選択した後に [情報の設定] をクリックし、希望する情報を選択します。
 - [フォルダ設定] セクションにある [参照] をクリックし、HTML アルバムファイルの保存先を指定します。
6. [次へ]をクリックします。
7. [サムネイルと画像] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - [サムネイル設定] セクションで、アルバムの外観とサムネイルのフォーマットを調整します。
 - [画像設定設定] セクションで、アルバムの外観とフルサイズ画像のフォーマットを調整します。
 - [スライドショーの長さ] セクションで、スライドショー内のフルサイズ画像の表示時間を指定します。
 - [カラーとフォント設定] セクションの [カラーとフォント] をクリックして、ウェブ ページに使用する色とフォントを設定したら、[OK] をクリックします。



[設定の保存] をクリックして、特定の Web ページ スタイル用に選択した設定を保存します。設定を保存しておくことで、[HTML アルバムの作成] ウィザードにある [スタイルの設定] ページで、その設定を次回から再利用できるため便利です。

8. [次へ] をクリックして HTML アルバムを作成します。が Web ページとサムネイルの作成に ACDSee 時間がかかることがあります。
9. [別のアルバムを作成する] をクリックして別のアルバムを作成するか、[完了] をクリックしてウィザードを閉じ ACDSee に戻ります。

HTML アルバムを Web サイトに掲載するには、FTP または別の方法を使う必要があります。

ウェブサイト写真にアップロードする

Flickr、SmugMug、Zenfolio、FTPなどの画像共有サイトに、ACDSeeから画像や写真を直接アップロードできます。これらのサイトにアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。ご希望の場合には、ACDSee から初めてアップロードするプロセスの一部として、アカウントを作成することができます。



RAWやTIFFなど、ほぼすべての画像ファイル形式を選択することができ、ACDSeeはアップロード前に形式をJPGに自動変換します。

写真ウェブサイト写真にアップロードするには:

ACDSeeを終了しなくても、写真共有サイトに素早く写真をアップロードできます。

1. [管理]モードで、画像を一つ以上選択し、[ファイル]>[送信]>[<写真ウェブサイト>...へ]をクリックします
2. [<写真サイト>アップローダー]ダイアログボックスで、右下隅の[ヘルプ]ボタンを押して、指示に従います。

コンタクトシートを作成する

画像のサムネイルプレビューをページに並べて表示する「コンタクトシート」を作成することができます。コンタクトシートは、画像の整理や共有に便利です。[コンタクトシートの作成]ユーティリティを使用して、コンタクトシートをさまざまな画像フォーマットやHTML画像マップとして保存することができます。オプションは後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

サムネイルのサイズは、コンタクトシートで表示する行数と列数、表示の際のサムネイル間のスペースによって変わります。

コンタクトシートはを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、取り入れたい画像を選択します。
2. [ツール] > [作成] > [コンタクトシート]をクリックします。
3. コンタクトシートのフォーマットのところで、コンタクトシートのフォーマットのオプションを設定します。
4. 出力設定のところで出力設定オプションを選択します。
5. 必要に応じて、ページにテキストを追加したり変更したりできます。
6. [OK]をクリックします。



出力ファイルのパスを指定しない場合、コンタクトシートの作成ユーティリティは、既定の画像フォルダに、コンタクトシート.<拡張子> というファイル名で保存します。コンタクトシートが複数ページにわたる場合は、ファイル名に数字が追加されます。例：**コンタクトシート3.bmp**。

コンタクトシートのフォーマットのオプション

サムネイル設定	サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
	スペース	各サムネイルにフレームを追加します。行間/列間のスペースの幅を指定します。[横]スピンボックスおよび[縦]スピンボックスで、サムネイル間の間隔を示す値を入力します。
フレーム オプション	サムネイル フレームを使用する	各サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	無地	フレームの色を指定します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
	タイル表示画像	フレームに使用する画像を指定します。[閲覧]をクリックして使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	カラー ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ エフェクトを追加します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
	カラー エッジフェード	画像のフレームにフェード エフェクトを追加します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
	カラー艶消し	ページの背景に無地を使用します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
	角落とし	各サムネイルに角落としのエフェクトを追加します。このエフェクトはプレビューでは表示されません。
ページ背景オプション	無地	ページの背景に無地を使用します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
	タイル表示画像	ページの背景にタイル表示画像を使用します。[閲覧]をクリックして使用する画像を指定します。

ファイルのアーカイブを作成する

アーカイブの作成 プラグインを使って、画像やドキュメント、メディアファイルのアーカイブ ファイルを作成することができます。「アーカイブの作成」機能は複数のアーカイブ フォーマットをサポートしているだけでなく、圧縮、暗号、パスワードの保護ツールを使って画像を管理することができます。

アーカイブを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧 ペインから、フォルダまたは複数のファイルを選択します。
2. [ツール]から[作成]、[アーカイブ]をクリックします。
3. [アーカイブ作成]ダイアログ ボックスのオプション領域で、[アーカイブの種類]ドロップダウン リストをクリックし、作成したいアーカイブ フォーマットを選択します。
追加設定があるアーカイブ フォーマットの場合は、[設定]ボタンをクリックして設定します。
4. 次のいずれかを実行します。
 - 選択したサブフォルダの内容を含むには、[サブフォルダを含む] チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブに隠しファイルを含むには、[隠しファイルを含む] チェックボックスをオンにします。
 - 選択したファイルとフォルダがアーカイブに追加された時点でハードディスクから削除するには、[アーカイブ作成後にファイルを削除する] チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブの内容をパスワードで保護するには、[アーカイブをパスワード保護する] チェックボックスをオンにして、フィールドにパスワードを入力します。パスワードはすべてのアーカイブの種類ではサポートされていません。また、一部のフォーマットではパスワードは必須です。
5. [出力ファイル] フィールドにファイル のパスを入力するか、または[参照]をクリックしてフォルダを検索します。
6. 次のいずれかを選択します。
 - **既存のアーカイブに追加する:** ファイルを既存のアーカイブに追加します。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
 - **既存のアーカイブを上書きする:** 既存のアーカイブを作成中のアーカイブで上書きします。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
7. 変更を確認したら、[作成] ボタンをクリックしてアーカイブ ファイルの作成を開始します。

アーカイブを展開する

ACDSee から離れることなく、アーカイブを素早く簡単に展開することができます。フォルダに展開するか、ダブルクリックしてファイルの内容を表示するかのいずれかを選択します。

アーカイブをフォルダに展開するには:

1. 管理モードで、フォルダ ペインを使用してアーカイブが含まれているフォルダに移動します。
2. ファイル一覧でアーカイブをクリックします。
3. [編集]、[フォルダに展開する]をクリックします。
4. [フォルダに展開する] ダイアログで、ファイルの保存先となるフォルダを指定します。
5. 新規フォルダを作成するには、[フォルダの作成] ボタンをクリックし、フォルダ名を入力してから**Enter** キーを押します。
6. 展開先のフォルダに同名のファイルが存在する場合の対応法を指定するには、[重複ファイルを上書きする]ドロップダウン リストから選択します。以下の選択肢から選択します:
 - **確認する:** 各ファイルに対する対応法を確認するメッセージが表示されます。
 - **名前を変更する:** 重複ファイルに新しい名前が付けられます。

- **置き換え:** 重複ファイルは上書きされます。
- **スキップ:** 重複ファイルがある場合は、展開されません。

7. [OK]をクリックします。

アーカイブ内のファイルを表示するには:

1. 管理モードで、アーカイブが含まれているフォルダに移動します。
2. アーカイブをダブルクリックします。

ファイル一覧ペインに、アーカイブの内容を示したサムネイルが表示されます。

画像とドキュメントを印刷する

以下の ACDSee 印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応している用紙サイズ、印刷方向、解像度を多様に選択してファイルを印刷できます。さらに、コンタクトシートに、ヘッダー、フッター、各画像用のキャプションを付けて作成して印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新されるプレビューを表示して、そのページのファイルとその配置を確認することができます。ファイルや画像毎に出力サイズを調整したり、複数の部数を印刷したり、ページ毎に画像やドキュメントの印刷方向を変更したりできます。

 管理モードで印刷用にさまざまなファイルタイプを選択した場合、最初のファイルがドキュメントであれば、そのドキュメントのみが印刷されます。その最初のファイルが画像であれば、画像のみが印刷されます。

 印刷ダイアログは、ショートカット **Ctrl + P** で起動できます。

画像またはPDFを印刷するには:

1. 印刷したい画像 または PDF を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理]モードで、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
 - [表示]モードで、[ファイル]>[すべての画像を印刷]をクリックします。(表示モードで画像を一点印刷したい場合は、[画像を印刷]を選択します。)
 - [表示]モードでPDFを表示している場合は、PDFオプションの[印刷]ボタンを押します。
3. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します。
 - [ページ全体]を選択し、[形式]リストから印刷サイズを選択します。
 - [コンタクトシート]を選択し、[コンタクトシートの形式]オプションを設定して、[コンタクトシート](#)の外観を定義します。
 - [レイアウト]を選択し、選択可能なレイアウトオプションを1つ選択します。
4. [プリンタ オプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、印刷方向、印刷したい部数、ページ上で印刷したい範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定]タブでは、ページ上の画像の位置や余白の幅を指定します。
6. [調整]タブで、適用したい調整内容を指定します。
7. 各写真の印刷部数を指定します。[ページ全体]または[コンタクトシート]を印刷する場合は、[ページ設定]タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト]を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
8. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。[ページ全体]または[コンタクトシート]を印刷する場合は、キャプション、ヘッダーまたはフッターのみを追加できます。
9. 印刷をクリックします。

ドキュメントファイルを印刷するには:



ドキュメントは、表示モードで表示されている状態ではなく、Microsoft Office™で表示した時のような状態で印刷されますのでご注意ください。

1. 印刷したいドキュメント (1つまたは複数) を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理]モードで、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
 - [表示]モードで、[ファイル]> [印刷]をクリックします。
3. [プリンタ]ドロップダウンメニューから使用したいプリンタを選択し、[部数]フィールドに印刷したい部数を入力します。
4. 設定セクションは、全てのページを印刷、または印刷範囲を選択することができます。印刷範囲は、カスタム印刷のとなりのフィールドに入力します。
5. ドロップダウンメニューから、片面印刷か両面印刷、印刷方向、1シート当たりのページ数、丁合いの有無、用紙サイズを選択します。
6. 印刷をクリックします。

プリンタ オプションを設定する

ACDSeeを使って印刷する際、[印刷] ダイアログボックスの使用するプリンターを指定し、[プリンタ オプション]タブから、使用する**プリンタ オプション**を設定することができます。

プリンタ オプション

プリンタ	使用するプリンタを指定します。ドロップダウンリストで使用するプリンタを選択し、 [プロパティ] ボタンをクリックしてプリンタのオプションを設定します。詳細については、プリンタ製造元のヘルプファイルをご参照ください。
用紙サイズ	Letter、Legal、A4 など、用紙サイズを指定します。
方向	ページの向き(ポートレート または ランドスケープ)を指定します。
印刷部数	印刷する部数を指定します。
印刷範囲	次のいずれかのオプションを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • すべて: ドキュメントのすべてのページを印刷します。 • ページ指定: 指定されたページのみを印刷します。フィールドに開始ページと終了ページを入力します。
解像度	画像に使用する 1 インチあたりの解像度 (PPI = pixels-per-inch) を指定します。大きな値ではインチあたりのドット数が多くなり、印刷する画像の解像度が高くなります。例: 600 PPI = 360,000 (600×600) PPI
フィルタ	画像を印刷する際に使用するリサンプル フィルタを指定します。ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します： <ul style="list-style-type: none"> • Box: 画像のサイズを変更した際、大きなタイリングまたはジャギーを表示します。 • Triangle: 画像を適切に拡大や縮小しますが、変更時にシャープなラインを表示します。 • Bicubic: 実際の写真のような画像や、特殊または複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 • Bell: 画像を滑らかにします。 • B-spline: 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。 • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然に仕上がることもあります。 • Mitchell: 実際の写真のような画像を拡大する際、滑らかに仕上げます。[Lanczos] フィルタの不自然な仕上がりとは他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。
ガンマ	印刷画像にガンマ補正値を適用します。[ガンマ補正値]フィールドに0.10から3.00までの数字を入力して、画像のガンマ値を調整します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
色の管理	ドロップ ダウン メニューからプリンタでカラーマネージメントを行うか、ACDSeeで行うかを選択することができます。ACDSeeでカラーマネージメントする： <ul style="list-style-type: none"> • プリンタのプロファイル: お使いのコンピュータに現在保存されているすべてのプリンタのプロファイルから選択できます。下にスクロールして、現在選択しているプリンタに対応するプロファイルを見つけます。 • レンダリングの方法: すべての色が出力デバイスの色空間に適合するわけではない場合の処理方法を選択します。 • ソフト ブルーフ: 現在選択されているプリンタのプロファイルでどのように印刷されるかプレビューすることができます。 • 色域の警告: プレビューでプリンタが再現できない色を表示します。その場合、使用可能な色の中から最も近い色が選択されます。レンダリングの方法で選択されている方式で別の色を選択します。 <p>詳しくは カラー マネージメント の項を参照してください。</p>
可能な場合は EXIF 2.2 印刷を使用する	デジタルカメラの種類によっては EXIF情報をキャプチャするものがあります。EXIF印刷を使用すると印刷の最適化に繋がります。ご使用になっているデジタルカメラおよびプリンタが EXIF 2.2 印刷をサポートしている場合には、このオプションを選択してください。

カスタム印刷レイアウトを作成する

カスタム印刷レイアウトを作成し、印刷オプションとして保存することができます。

カスタム印刷フォーマットを作成するには:

1. 印刷ダイアログボックスの[ページ全体]をクリックします。
2. 印刷フォーマット領域で[追加]をクリックします。
3. [カスタムフォーマットの追加]ダイアログボックスで、[寸法の単位]ドロップダウンリストから寸法の単位を選択します。
4. [フォーマットの幅]フィールドと[フォーマットの高さ]フィールドに新規フォーマットの寸法を入力します。
5. [追加]をクリックします。

画像サイズと位置を設定する

[印刷]ダイアログボックスのタブのオプションを使用して、印刷する画像のサイズおよび各ページの位置を設定することができます。

ページ設定 オプション

ページの位置	各ページ上で画像を置く位置を指定します。
余白	余白のサイズを指定します。値を入力するか、「上」、「下」、「左」、「右」スピンボックスの矢印をクリックします。
画像単位の印刷部数	印刷する画像の部数を指定します。必要に応じてページが追加されます。
印刷フォーマットに合わせて画像を自動回転する	各画像の印刷方向を自動選択にするかどうか指定します。チェックボックスをオンにすると、印刷する画像に合わせて各ページの印刷方向を変更します。
縦横比を保持する	画像の縦横比を保持して印刷するかどうか指定します。次のいずれかのオプションを選択し、大きなサイズの画像の縦横比の扱い方を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 印刷フォーマットに合わせてトリミングする: 印刷フォーマットに収まる画像の一部のみを印刷します。 • 印刷フォーマットに合わせて縮小する: 印刷フォーマットに合わせて画像全体を縮小します。

印刷調整の設定をする

[印刷]ダイアログの[調整]タブの設定を使用して、プリンターが露出を処理する方法など、プリンター固有の癖を補正できます。

- ❗ これらの設定は、最初に印刷した後、プリンタに必要な修正がわかっている場合にのみ調整することをお勧めします。
- ❗ [調整]タブで行った調整は、[プレビュー]ウィンドウには反映されないことに注意してください。

印刷前に画像に調整を適用するには:

1. 管理モードで、印刷したい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [管理]モードで、[ファイル] [印刷]をクリックします。
 - 表示モードで、[ファイル] [画像を印刷する]、または [ファイル] [すべての画像を印刷する]をクリックします。
3. 必要に応じて、[調整]タブの[印刷]ダイアログで、[露出]、[コントラスト]、または[シャープネス]スライダーを調整します。
4. 印刷をクリックします。

ページにテキストを追加する

ページにヘッダーやフッターを追加したり、画像の下にキャプションを追加することができます。

印刷画像にキャプションを追加するには:

1. **印刷** ダイアログボックスで、**キャプション** タブをクリックします。
2. [**キャプション テキストを使用する**]をクリックします。
3. [**フォント**]をクリックしてフォント ダイアログボックスを開き、フォント オプションを設定します。
4. テキストボックスに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
5. [**メタデータの挿入**]をクリックして、各画像のキャプションにファイルの固有情報を挿入します。
6. [**テキストの配置**]ドロップダウン リストから、キャプションの配置を選択します。
7. 表示する各キャプションの最大行数を設定するには、**行数**チェックボックスを選択し、フィールドで値を指定します。

印刷ページにヘッダー/フッターを追加するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **ヘッダー** タブをクリックし、[**ヘッダー テキストを使用する**]を選択します。
 - **フッター** タブをクリックし、[**フッター テキストを使用する**]を選択します。
2. [**フォント**]をクリックしてフォント ダイアログボックスを開き、フォント オプションを設定します。
3. テキストボックスに、ヘッダーまたはフッターとして表示するテキストを入力します。
4. テキストに現在のページ番号や総ページ数を入力するには、[**ページ番号の挿入**]をクリックし、メニューからオプションを選択します。
5. [**テキストの配置**]ドロップダウン リストから、ヘッダーまたはフッターの配置を選択します。
6. テキストの最大行数を設定するには、**行数**チェックボックスを選択し、フィールドで値を指定します。

コンタクトシート オプションを設定する

印刷ユーティリティの [コンタクトシート フォーマット] セクションでは、サムネイルのサイズ、レイアウト、外観を設定することができます。フォーマット オプションがプリセットとして既に保存されている場合、該当する プリセット を選択することができます。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル設定	サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
	スペース	行と列の間のスペースの値を指定します。[横] および [縦] スピンボックスに、表示されるサムネイル間の間隔の値を入力します。
フレーム オプション	サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	ページ背景オプション	フレームの色を指定します。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	フレームとして使う画像を指定します。[参照] をクリックして、使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	マット	サムネイルのフレームにマット効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	V カット 枠	サムネイルにV カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。
ページ背景オプション	ページ背景オプション	ページの背景に無地を使用します。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	ページの背景に並列画像を使用します。[参照] をクリックして、使用する画像を指定します。

一括処理について

では ACDSee 以下のようなことができます。

- **1つの編集操作を複数の画像にまとめて行う:** 例えば、複数の写真のサイズを変更する場合は、[サイズの一括変更] ツールを使用します。または、複数の写真を90度回転する場合は、[一括回転/反転] ツールを使用します。
- **複数の編集操作を複数の画像にまとめて行う:** 例えば、複数の画像のサイズ変更、トリミング、カラーキャストの補正、回転をする場合は、[一括編集] ウィザードですべての編集操作をすべてのファイルに1度に行うことができます。
- **複数の画像をさまざまな出力ですばやく簡単に保存する:** 複数のファイルを複数の指定したフォルダ、ファイル名、ファイル形式、サイズでエクスポートすることができます。
- **複数の画像をまとめて現像する:** 同じ現像設定を複数の画像に適用したい場合は、現像設定をプリセットとして保存することができます。
- **画像ではないファイル形式で名前の一括変更を使用する**

ファイルにタグを付けると、一括現像や一括編集のワークフローをスピードアップすることができます。例えば、変更したいファイルにタグを付けてからカタログ ペインで[タグ付き]をクリックすると、ファイル一覧 ペインにタグが付いたすべてのファイルが表示されます。すると、ファイルを選択して一括ツールを選択することができます。

一括エクスポートを使用する

一括エクスポートツールを使用すると、複数のファイルをさまざまな出力形式で素早く簡単に保存することができます。

複数のファイルを以下のようにさまざまな指定を行ってエクスポートできます:

- フォルダ
- ファイル名

- フォーマット
- 出力サイズ

複数の画像をエクスポートするには:

1. [管理] モードで、エクスポートしたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ファイル] から [エクスポート] をクリックします(表示モード、現像モードおよび編集モードでも可能です)。
 - 右クリックしてコンテキストメニューの [一括] から [エクスポート] を選択します (表示モードでも可能です)。
 - [一括]、[エクスポート] をクリックします。
 - キーボードのショートカットキー、**Ctrl + Alt + E** を押します。
3. [エクスポート] ダイアログ ボックスでの選択の仕方は、以下の表をご確認ください。

エクスポート オプション

保存先	ソース フォルダ内	ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。 [新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスを選択すると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。
	フォルダを指定	このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。
ファイル名	テンプレートを使って名前を変更する	テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。
	テンプレート	[テンプレートを使って名前を変更する] チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。 テンプレートフィールド ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク (*) を 1 つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ (#) を使用します (複数可)。 ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。 挿入 メタデータ フィールド 名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 カーソルを テンプレート フィールドに移動して 挿入 をクリックします。挿入ドロップダウンメニューから メタデータ フィールド を選択してプロパティダイアログボックスを開きます。挿入したいメタデータを選択して [OK] をクリックします。 挿入 連番 テンプレートに挿入されたシャープ (#) は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。 挿入 オリジナルのファイル名 テンプレートに挿入されたアスタリスク (*) は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。 挿入 連番 オプション 最初の文字または番号を指定します。 開始番号
	フォーマット	ファイルフォーマット エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。
		フォーマットの設定 [設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。
		ピクセル フォーマット 選択したフォーマットの色深度を指定します。
		色空間情報 [色空間情報] チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。
出力サイズ	画像のサイズを変更する	このオプションを選択して画像サイズの変更方法を指定します。
	再サンプリング方式	このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式 (再サンプリング方式) を指定します。

- **Bell:** 画像を滑らかにします。
- **Bicubic:** 写真のようにリアルな画像や、不規則だったり複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。
- **Box:** 画像サイズ変更の際、タイリングやジャギーが出ます。
- **B-spline:** 色の変化が滑らかになりますが、過度にぼけることもあります。
- **ClearIQZ:** Bicubic や Lanczos よりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大において最適な仕上がりになります。
- **Lanczos:** 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。
- **Mitchell:** 写真のようにリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ラングズ フィルタの波打つ効果と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。
- **Triangle:** 画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。

寸法	このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定したサイズに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。				
幅と高さ	二つのボックスに入力した値の範囲に収まるよう、エクスポートする画像のサイズを調整するには、このオプションを選択します。				
長辺	このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。				
短辺	このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。				
パーセンテージ	オリジナル画像の割合でサイズを変更するには、このオプションを選択します。[幅]と[高さ]フィールドに割合の寸法を入力します。				
解像度	インチまたはcm当たりのピクセル数を指定します。				
拡大のみ	指定した高さや幅より小さい画像のみをサイズ変更します。				
縮小のみ	指定した高さや幅より大きい画像のみをサイズ変更します。				
拡大または縮小	すべての画像を指定した幅と高さでサイズ変更します。				
オリジナルの縦横比を保持	オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。 注意: 画像のサイズを長辺または短辺のオプションで変更した場合、元の画像の縦横比が保持されます。				
メタデータ	画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。				
処理	<table border="0"> <tr> <td>現像プリセット</td> <td>ドロップダウンメニューから [現像プリセット] を選択してエクスポートした画像に適用します。</td> </tr> <tr> <td>ACDSee アクション</td> <td>ドロップダウンメニューから [記録] を選択してエクスポートした画像に適用します。</td> </tr> </table>	現像プリセット	ドロップダウンメニューから [現像プリセット] を選択してエクスポートした画像に適用します。	ACDSee アクション	ドロップダウンメニューから [記録] を選択してエクスポートした画像に適用します。
現像プリセット	ドロップダウンメニューから [現像プリセット] を選択してエクスポートした画像に適用します。				
ACDSee アクション	ドロップダウンメニューから [記録] を選択してエクスポートした画像に適用します。				



上で説明したように、ACDSee アクションの [\[出力オプション\]](#) ダイアログで指定したファイル出カタイプよりも、[\[エクスポート\]](#) ダイアログの [\[フォーマット\]](#) セクションで選択した出カファイルタイプが優先されます。

 画像のエクスポート中、記録の開始時点で複数のレイヤーを持つ画像が含まれている場合、その記録は適用できません。

オプション: [エクスポート プリセットの新規作成] ボタンをクリックし、 プリセットの名前を入力すると、設定をプリセットとして保存することができます。1つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。

4. [エクスポート]をクリックします。



プリセットを編集は、リストでプリセットをクリックして編集し、現在のエクスポート プリセットの[保存]ボタンをクリックします。

複数の画像を別のファイル形式に変換する

複数の画像ファイルを、サポートされている別のファイルフォーマットに変換することができます。各フォーマットのオプションを個別に設定したり、複数ページの画像を取り扱う方法を指定したり、変換の既定値を自動的に適用したりできます。

複数の画像を別のファイルフォーマットに変換するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで、1つ以上の画像を選択し、[ツール] > [一括] > [ファイル形式の変換] > [変換...]をクリックします。
 - 表示モードで、[ツール]から[変更]、[ファイルフォーマットの変換]、[変換]をクリックします。
 - 管理モードで、1つ以上の画像を選択し、[一括]、[ファイルフォーマットの変換]、[変換]をクリックします。
 - 管理モードまたは表示モードで、1つ以上の画像を選択し、**Ctrl + Alt + F**を押します。
- [ファイルフォーマットの変換]ダイアログで、[出力ファイルフォーマット]ドロップダウンリストから画像の新しいフォーマットを選択します。フォーマット固有オプションを設定するには、ファイルフォーマットを選択し、[設定]ボタンを押します。
- [出力場所]セクションで、変換された画像の保存先を指定します。
- [ファイルオプション]セクションで、重複ファイル名の対処方法を指定するには、[既存ファイルの上書き]ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択します:
 - 確認:** ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。
 - スキップ:** ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。
 - 置換:** ファイルが上書きされます。確認メッセージは表示されません。
 - 名前の変更:** ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
- ベクタの設定とマルチページ画像の処理方法を設定するには、[詳細設定]ボタンを押します。マルチページ画像を選択していない場合や、マルチページ画像フォーマットを出力ファイルフォーマットとして指定していない場合は、マルチページソースセクションのオプションをスキップしてください。
- 変換**をクリックします。



使用した設定は、後で利用する際のプリセットとして保存することができます。[ファイルフォーマットの変換]ダイアログの設定を構成したら、[プリセット]フィールドの横にある[保存]アイコンを押します。プリセットの名前の入力を求められます。プリセットにはわかりやすい名前を付けることをお勧めします。保存したプリセットは、[ファイル形式の変換]ポップアップメニューに一覧表示されます。



保存したプリセットにカスタムショートカットを割り当て、すばやく変換することができます。プリセットは[ショートカットのカスタマイズ]ダイアログの[プリセットカテゴリ]と[ファイルフォーマットの変換]カテゴリの下にあります。

複数の画像を回転/反転する

複数の画像をプリセットの角度で回転/反転することができます。

画像を回転 / 反転するには:

1. [管理] モードで、画像を一つ以上選択し、[ツール]から[一括]に続き[回転/反転]をクリックします。
2. [回転 / 反転の一括変更] ダイアログ ボックスで、適用する角度を選択します。各角度についての説明は、下記を参考にしてください。
3. ページが複数にまたがる画像を選択した際、選択した回転角度をすべてのページに適用するには、[現在の画像のページすべてに適用する] チェックボックスをオンにします。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [次の画像] をクリックして、次に選択した画像に進みます。[選択した画像すべてに適用する] チェックボックスがオンになっていると、[次の画像] ボタンはクリックできません。
 - 複数の画像を選択し、同じ回転角度を画像すべてに適用するには、[選択した画像すべてに適用する] チェックボックスをオンにします。
 - [オプション] をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 画像に回転を適用する準備ができたなら、[回転を開始する] をクリックします。

回転/反転の角度



画像を反時計回りに90度回転させます。



画像を180度回転させます。



画像を時計回りに90度回転させます。



EXIFデータに基づいて画像を回転します。(EXIF情報のない画像では回転は行われません。)



画像を垂直軸に対して反転させます。



画像を水平軸に対して反転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、反時計回りに90度回転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、時計回りに90度回転させます。



編集モードの [回転] ツールを使用して、カスタム角度で画像を回転させることも可能です。

回転/反転済みファイルのオプションを設定する

[回転/反転の一括変更] ダイアログボックスでは、修正された画像の格納先、重複ファイルの対処方法、「回転/反転の一括変更」ツールを使用する際ファイルの最終更新日を保存するかなど、ACDSee が実行するオプションを設定することができます。

回転/反転オプションを設定するには:

1. [管理] モードで、画像を一つ以上選択し、[ツール] から [一括] に続き [回転/反転] をクリックします。
2. [画像を一括で回転/反転] ダイアログボックスで、[オプション] ボタンをクリックします。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK] をクリックします。

回転/反転オプション

JPEG可逆回転を行う	JPEG情報を展開または再圧縮することなく、JPEG画像を回転することができます。非可逆回転では、画像を回転 / 反転しても画質に変化はありません。
ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 元のファイルを削除 / 置換する: 元のファイルに新しい画像を上書きします。 ● 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する: 修正された画像の名前に識別ラベルを追加し、元の画像と同じフォルダに保存します。 ● 修正済み画像を以下のフォルダに保存する: 変換した画像を指定先のフォルダに保存します。[参照] ボタンをクリックして、フォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ファイルの ACDSee 上書き方法を指定します。ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 確認: ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。 ● スキップ: ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。 ● 置換: ファイルを上書きします。 ● 名前の変更: ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付 / 時間を保存します。
最後に行った回転を保存して適用する	次回画像を回転する際、現在の回転設定が自動的に適用されます。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、画像の回転 / 反転ウィザードを次回使う際に適用することができます。

複数画像のサイズを変更する

ピクセル サイズ、元のサイズに対する比率、あるいは印刷サイズを指定して、複数の画像のサイズを変更することができます。

複数の画像のサイズを変更するには:

1. 管理モードで画像を一つ以上選択し、[ツール]から[一括]そして[サイズ変更]を選択します。
2. [サイズの一括変更]ダイアログボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **元の比率**: 画像のサイズを元の比率へと変更します。
 - **ピクセルのサイズ**: 指定したピクセルのサイズに画像の大きさを変更します。
 - **実寸 / 印刷サイズ**: 画像の大きさを指定した印刷サイズへと変更します。
3. 下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [オプション]をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 選択内容に納得できたら、[サイズ変更を開始]をクリックします。



編集モードで、画像のサイズを変更したり交互にサンプリングを再試行するフィルタを使用することもできます。

サイズ変更オプション

元の比率	パーセンテージ	画像のサイズ変更方法を指定します。画像を縮小するには100未満の数値を入力し、拡大するには100より大きい数値を入力します。
	適用部分	サイズ変更を適用する部分(高さ、幅、または両方)を指定します。
ピクセルサイズ	幅	画像の新しい幅をピクセルで指定します。
	高さ	画像の新しい高さをピクセルで指定します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 拡大のみ: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ: 指定した高さや幅より大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更オプションと効果] をご参照ください。
実寸 / 印刷サイズ	単位	使用する単位を指定します。
	幅	画像の新しい幅を指定します。
	高さ	画像の新しい高さを指定します。
	解像度	画像の印刷解像度を指定します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更オプションと効果] をご参照ください。

ファイルのオプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスの設定を変更して、ACDSee 変更されたイメージを適用する場所の管理や、ファイルが重複した場合の処理方法の指定、ファイルの最終変更日付を保持するかどうかの指定ができます。

ファイルオプション

ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次の3つのオプションからいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 元のファイルを削除 / 置換する: 元のファイルに新しい画像を上書きします。 ● 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する: 修正された画像の名前に識別ラベルを追加し、元の画像と同じフォルダに保存します。 ● 修正済み画像を以下のフォルダに保存する: 変換した画像を指定先のフォルダに保存します。[参照]ボタンをクリックして、フォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ファイルのACDSee上書き方法を指定します。ドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 確認: ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。 ● スキップ: ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。 ● 置換: ファイルを上書きします。 ● 名前の変更: ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付 / 時間を保存します。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、[画像のサイズ変更]ウィザードを次回使う際に適用することができます。
JPEG圧縮オプション	[JPEGオプション]ダイアログが開き、サイズを変更したファイルに適用する圧縮オプションの詳細を指定できます。

⇒ [複数画像のカラープロファイルを変更する](#)

複数の画像の露出を調整する

ACDSeeの「露出一括調整ウィザード」では、1つまたは複数の画像の色を明るく、または暗くすることができます。各画像を個別に調整して適用前に変更のプレビューを確認したり、1つの画像に行った調整を選択したすべての画像に適用したりすることができます。

使用した設定は、後で利用する際の[プリセット](#)として保存することもできます。

画像の露出を調整するには:

1. 管理モードで1つ以上の画像を選択し、[ツール]メニューから[一括]、[露出調整]を選択します。
2. [露出一括調整]ダイアログボックスで、次を1つ以上実行します:
 - 画像の明るさ、コントラスト、フィルライトを調整するには、[露出]タブを選択してオプションを調整します。
 - 画像のコントラストや光量レベルを正確に調整するには、[レベル]タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の露出を自動調整するには、[自動レベル]タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像のRGBカラーチャンネルを正確に調整するには、[トーンカーブ]タブを選択してオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [この設定をすべての選択画像に適用する]チェックボックスを選択すると、選択したすべての画像に現行の設定が適用されます。
 - [この設定をすべての選択画像に適用する]チェックボックスをオフにして、[次の画像]をクリックし次の画像に移り、調整したい各画像に対して手順2を繰り返します。
4. [オプション]をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. [すべての画像をフィルタする]をクリックします。



編集モードで画像の露出と色レベルを調整することもできます。

一括露出処理オプションを調整する

[露出の一括調整] ダイアログのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の 4 つのタブで構成されています：露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ

露出 オプションを使用するには:

[露出の一括調整] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します:

露出 オプション

露出	画像全体に追加する光の量を指定します。
自動	画像の明るさを基本にして露出を自動調整します。
コントラスト	画像の色と明るさの違いを指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
フィルライト	画像の暗い領域に追加する光の量を指定します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
中間色	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ~ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	黒い点眼器のボタンをクリックしてブラックポイントを調整します。ブラックポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
ミッドポイント ピッカー	灰色の点眼器のボタンをクリックしてガンマ補正値を調整します。ガンマ補正値を調整したい部分を適用前画像で選択します。
ホワイトポイント ピッカー	白い点眼器のボタンをクリックしてホワイトポイントを調整します。ホワイトポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。

自動レベルオプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動コントラストと自動カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
自動カラー	画像全体の色を調整します。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてカーブを操作します。

複数のファイル名を変更する

[名前の一括変更] ツールを使用して、複数のファイル名をまとめて変更することができます。テンプレートを数値またはアルファベット順で指定したり、次回の操作のために保存したり、特定の文字/語句を置き換えたり、各ファイル名にファイル特有情報を挿入したりすることができます。

複数のファイル名を一括変更するには:

1. 管理モードで1つ以上のファイルを選択し、[ツール]から[一括]、[名前の変更。]をクリックします。
2. [名前の一括変更] ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します:
 - [テンプレート] タブを選択して、テンプレート オプションを設定します。
 - [検索と置換] タブを選択して、検索と置換オプションを設定します。
 - [詳細オプション] タブを選択して、名前の一括変更のオプションを設定します。
 - [プレビュー] フィールドで、ファイル名の変更を確認します。
3. [名前の変更を開始する]をクリックします。



CD-ROM などの読み取り専用ファイルシステムにあるファイルの名前を変更することはできません。

名前の一括変更 オプション

テンプレート	[テンプレートを使って名前を変更する] チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。
テンプレート	ファイル名の変更使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク(*)を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ(#)を使用します(複数可)。ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
テンプレートのクリア	[テンプレート] ドロップダウン リストから、最近使用したテンプレートを削除します。
# を数字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号(#)を数字に置き換えます。
# を文字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号(#)をアルファベットに置き換えます。
開始番号	最初の文字または番号を指定します。
メタデータの挿入	名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 [テンプレート] フィールドにカーソルを合わせ、[メタデータを挿入]をクリックすると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが開きます。挿入したいメタデータを選択して[OK]をクリックします。
ファイル名の太文字/小文字	ファイル名と拡張子に使用する太文字/小文字を指定します。
検索と置換	[検索/置換を使って名前を変更する] チェックボックスをオンにし、ファイル名の特定文字や語句を置き換えます。スペースを下線に置換えたり、大文字を小文字に変更したり、テンプレートと変更を組み合わせたりすることができます。
検索する文字列	ファイル名で置換えたい文字を指定します。
置換後の文字列	元の文字列と置換える文字を指定します。
大文字/小文字を区別する	[検索する文字列] フィールドで、入力した文字と完全一致する文字だけを検索するかどうか指定します。
アドバンスオプション	[詳細オプション] で名前の一括変更ウィザードの動作設定をします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	名前の変更作業が完了したら、[名前の一括変更] ダイアログボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回ファイル名を変更する際に使用します。
拡張子の変更時に警告を表示する	テンプレートの一部として拡張子を変更した場合、警告が表示されます。
名前の重複を自動的に対処する	各ファイル名の語尾にアンダースコアや連番を加えることで、名前の重複を自動的に対処します。

複数画像のカラープロファイルを変更する

[**カラープロファイルの一括変換**] ツールを使用して、複数画像のカラープロファイルを変更することができます。



現時点では ACDSee は CMYK カラープロファイルをサポートしていません。

画像に使用されているカラープロファイルを変更するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [ツール]から[一括]、[ICC プロファイルの変換]をクリックします。
3. [カラープロファイルの変換元]一覧から、現在画像と関連付けられているカラープロファイルを選択します。

例えば、デジタルカメラのカラープロファイルを、より一般的な sRGB カラープロファイルに変換する場合に、[カラープロファイルの一括変換]を使用します。[JPEG と TIFF 画像にカラープロファイルがある場合その情報を使用する]を選択すると、ACDSee は一覧から選択されたカラープロファイルではなく、画像に埋め込まれているカラープロファイルから変換を行います。

4. [カラープロファイルの変換先]一覧から、画像と関連付けたいカラープロファイルを選択します。
5. [レンダリングの方法]一覧から、レンダリングを選択します。

最も一般的に使用されているレンダリングは、[知覚]です。カラープロファイルのなかには、レンダリングを無視するものもあるため、選択されたプロファイルによって結果が異なります。

6. [オプション]をクリックして、ACDSee が画像ファイルを上書きするか(オリジナルのカラープロファイルは削除されます)、新規のカラーファイルと関連付けられた新規ファイルとして保存するかを指定します。また、JPEG 圧縮のオプションを設定することも可能です。
7. **開始**をクリックします。
8. **[完了]**をクリックします。

編集の一括処理

[編集の一括処理]を使用して、複数の画像に複数の編集作業をまとめて行うことができます。使用した編集設定は、後で利用するための**プリセット**として保存することができます。各編集ツールの詳細オプションにつきましては、以下のリンクをご覧ください。



さらに包括的な一括処理ツールとして [ACDSee アクション](#) の利用をお勧めします。

編集の一括処理を開くには:

1. 管理モードで、編集したい画像を選択した後 [ツール] から [一括]、[編集の一括処理] をクリックします。
2. [編集の一括処理オプション] ページで、[処理プロファイル] タブをクリックし、編集の種類の名前を選択すると、選択した編集の種類で利用可能なオプションが表示されます。
3. 画像に適用したい編集タイプを選択します。

変更をプレビューに反映させるには:

編集オプションの画像プレビューを [プレビュー] 領域で確認することができます。

1. [編集の一括処理] ウィザードでは、[適用前] と [適用後] タブをクリック、あるいは [プレビュー] アイコンをクリック & ホールドして [適用前] と [適用後] タブを切り替え、選択されたオプションの適用前と適用後を比較します。
2. [操作] 一覧の上下にある [オリジナル画像] または [最終画像] をクリックして、オリジナル画像とすべての編集オプションが適用された後の画像を比較します。
3. 選択された編集オプションが各画像ではどのように見えるかを確認したい場合、[次の画像] と [前の画像] ボタンをクリックして、[プレビュー] 領域に表示させます。

ズーム機能を使用するには:

1. [ズーム] スライダーを左右にドラッグして、画像全体を表示したり、特定部分を拡大表示します。
2. [画面に合わせて表示] ボタンをクリックして [プレビュー] 領域に合わせて画像を表示します。
3. [実寸表示] ボタンをクリックして [プレビュー] 領域に画像を実際のサイズで表示します。[実寸表示] ボタンをクリックする場合には、スクロールバーを使って画像内を移動する必要があります。

画像を追加または削除するには:

1. [編集の一括処理] ウィザードに画像を含みたくない場合は、[画像一覧] タブをクリックし、該当する画像を選択してから [削除] をクリックします。
2. 編集する画像を追加したい場合は、[画像一覧] タブをクリックしてから、[追加] をクリックします。
3. 追加したい画像が含まれているフォルダを参照します。

4. **[選択可能な項目]** 領域から、該当の画像を選択した後 **[追加]** をクリックします。
5. **[OK]** をクリックします。
6. 選択された画像と編集オプションに満足したら、**[次へ]** をクリックします。

出力オプションの設定と処理を完了するには:

1. **[出力オプション]** ページでは、編集された画像の保存先、名前変更の有無やその他のオプションを設定します。出力オプションの詳細は以下をご覧ください:
2. 出力オプションの設定に満足したら、**[次へ]** をクリックします。
3. **[一括処理の状況]** ページでは、進行状況バーに作業中の画像と編集の状況が表示されます。
4. **[一括処理の完了]** ページでは、次のオプションを設定することができます:
 - **[概要]** 領域から **[ログの表示]** をクリックして、処理中に発生した警告やエラーを表示します。
 - **[Explorer で参照する]** をクリックすると、Windows Explorer が開かれ、編集された画像を表示することができます。
 - **[プリセットの保存]** をクリックして編集オプションのすべてを保存すれば、次回以降プリセットとして使用することができます。
 - 編集された画像をファイル一覧ペインで表示したい場合、**[ACDSee で出力フォルダを参照する]** を選択します。
5. **完了** をクリックします。

編集オプション

[編集の一括処理] で使用可能な各ツールのオプション詳細につきましては、次のヘルプトピックをご覧ください:

- [回転](#)
- [トリミング](#)
- [サイズ変更](#)
- [カラー](#)
- [チャンネル ミキサー](#)
- [セピア](#)
- [露出](#)
- [Light EQ™](#)
- [ノイズ除去](#)
- [シャープネス](#)
- [ヴィネット](#)
- [テキストのオーバーレイ](#)
- [透かし](#)

出力オプション

保存先	ソース フォルダ内	編集後の画像を、オリジナル画像と同じフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。
	新規のサブフォルダを作成する:	[フォルダの指定] ドロップダウンから選択されたフォルダ内に、新規のサブフォルダを作成します。[新規のサブフォルダを作成する] テキストボックスに、新規フォルダの名前を入力します。
	フォルダを指定	編集後の画像を特定のフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。
ファイル名	オリジナルのファイル名を保持する	編集後の画像を、オリジナル画像と同じファイル名で保存したい場合に、このオプションを選択します。
	次の名前変更テンプレートを使用する	編集後の画像に、テンプレートを使って名前を変更したい場合に、このオプションを選択します。
画像ファイル フォーマット	ファイル フォーマット	編集後の画像のファイル フォーマットを変更したい場合に、ファイル フォーマットを選択します。
	ピクセル フォーマット	編集後の画像の BPP (Bit Per Pixel) 値と、画像のカラーまたはグレースケールを指定するためのオプションです。編集後の画像を、オリジナル画像と同じピクセル フォーマット (あるいは最も近いフォーマット) にしたい場合には、[自動] を選択します。また、カラーの画像をグレースケールに変換する、あるいは他のソフトウェアで対応できるピクセル フォーマットに変換する場合も、このオプションを使用します。
メタデータ	メタデータを保存	オリジナル画像にメタデータが含まれていて、編集後の画像にも同一のメタデータを含ませたい場合に、このオプションを選択します。
	埋め込みオーディオを保持する	オリジナル画像にオーディオが埋め込まれていて、編集後の画像にも同一のオーディオを埋め込ませたい場合に、このオプションを選択します。
オプション	最終更新日を保持する	オリジナル画像に最終更新日のデータが含まれていて、編集後の画像にも同一の最終更新日を含ませたい場合に、このオプションを選択します。
	データベース情報をコピーする	オリジナル画像の ACDSee メタデータを、編集後画像のデータベースにもコピーしたい場合、このオプションを選択します。
	出力ファイルが存在する際の処理法:	このオプションを使用して、ACDSee 出力フォルダに編集後の画像と同名のファイルが存在する場合の処理方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 確認: 画像ごとに異なるオプション(スキップ、名前変更、上書き)を選択するように確認メッセージが表示されます。 • スキップ: その画像の処理をスキップし、次の画像の処理を開始します。 • 置き換え: 保存先フォルダにある画像を編集された画像で置き換えます。 • 名前を変更する: 編集された画像の名前を変更します。

回転の一括処理オプション

[回転] セクションのオプションを使用して、プリセットの角度、あるいはカスタムの角度で画像を回転することができます。

回転オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [回転] チェックボックスを選択します。

回転オプション

回転なし	このオプションは既定として設定されていますので、ユーザーが回転オプションを選択するまで画像は回転されません。
180°	画像を180度回転させます。
左に90度	画像を左に90度回転させます。
右に90度	画像を右に90度回転します。
カスタム回転	このオプションを選択してスピンボックスにカスタムの角度を入力するか、希望する角度に画像が回転されるまで矢印をクリック & ドラッグします。
背景色	選択された色が、回転された画像の背景に表示されます。
縦横の基本線として使うための線を画像上に描く	[上下]または[左右] ボタンをクリックし、マウスポインタを使って縦横の基本線を画像上に描きます。
自動トリミング	回転後の画像から最も大きな長方形にトリミングしたい場合は、カスタム角度で画像を回転させるときに[自動トリミング]を選択します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

トリミングの一括処理オプション

[トリミング] セクションのオプションを使用して、トリミング領域のサイズや方向を指定することができます。

トリミング オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [トリミング] チェックボックスを選択します。

トリミング オプション

トリミングの縦横比	トリミング領域のサイズ、あるいは縦横比を選択します。[カスタム] を選択して、カスタムのトリミング領域を指定します。
方向	トリミング領域の方向を選択します: <ul style="list-style-type: none"> • 自動: オリジナル画像の方向に基づいて、トリミング領域の方向を指定します。例えば、オリジナル画像の方向が横になっている場合、トリミング領域も横に設定されます。 • 横: トリミング領域の方向に横を使用します。 • 縦: トリミング領域の方向に縦を使用します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

サイズ変更の一括処理オプション

[サイズ変更] セクションのオプションを使用して、画像のサイズを変更することができます。

サイズ変更 オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [サイズ変更] チェックボックスを選択します。

サイズ変更オプション

サイズの変更方法	メガピクセル	<p>オリジナルの縦横比を保持しながら、特定のメガピクセル数に画像を拡大/縮小する場合に、このオプションを使用します。例えば6メガピクセルで縦横比が3000 X 2000の画像を1.5メガピクセルに設定すると、画像のサイズは1500 X 1000に縮小されます。</p> <p>ドロップダウンリストを使って、メガピクセルサイズのプリセット一覧から選択します。別の方法として、[メガピクセル] スピンボックスに値を入力することもできます。[縮小/拡大]ドロップダウンリストで、画像のサイズ変更方法を指定します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 縮小のみ：画像のサイズを縮小します。 ● 拡大のみ：画像のサイズを拡大します。 ● 拡大または縮小：画像のサイズを拡大、または縮小します。
	パーセンテージ	<p>オリジナル画像の割合でサイズを変更する場合に、このオプションを選択します。例えば、画像を小さくしたい場合は、100より小さい値を入力します。画像を大きくしたい場合は、100より大きい値を入力します。</p>
	ピクセルの寸法	<p>ピクセル単位で、特定の幅や高さに画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。[縮小/拡大]ドロップダウンリストで、画像のサイズ変更方法を指定します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 縮小のみ：画像のサイズを縮小します。 ● 拡大のみ：画像のサイズを拡大します。 ● 拡大または縮小：画像のサイズを拡大、または縮小します。
	印刷の寸法	<p>特定の印刷の寸法、例えば写真の印刷サイズに合わせて画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。ドロップダウンには、プリセットの印刷サイズの一覧が表示されます。別の方法として、特定の高さ、幅、解像度を入力することも可能です。</p> <p>[縮小/拡大]ドロップダウンリストで、画像のサイズ変更方法を指定します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 縮小のみ：画像のサイズを縮小します。 ● 拡大のみ：画像のサイズを拡大します。 ● 拡大または縮小：画像のサイズを拡大、または縮小します。
	<p>[パーセント]、[ピクセルの寸法]、[印刷の寸法] オプションを選択した場合に設定できる [調整方法] では、サイズ変更後の調整方法を指定します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オリジナルの縦横比を保持して合わせる：オリジナル画像の縦横比を保持する場合に、このオプションを選択します。例えば、オリジナル画像の縦横比が4:3の場合には、サイズ変更後の縦横比も4:3のままになります。 ● 拡大して合わせる：指定の幅や高さに画像を拡大したい場合に、このオプションを選択します。 ● バーを追加して合わせる：画像より大きな領域に画像のサイズを合わせたい場合に、このオプションを選択します。画像と指定サイズ間の余白を埋めるためのバーの色は、指定することができます。 	
再サンプリング方式	<p>このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式 (再サンプリング方式) を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Box：画像サイズ変更の際、タイリングやジャギーが出ます。 ● Triangle：画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。 ● Bicubic：写真のようにリアルな画像や、不規則だったり複雑だったりする画像に適してい 	

ます。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。

- **Bell:** 画像を滑らかにします。
- **B-spline:** 色の変化が滑らかになりますが、過度にぼけることもあります。
- **Lanczos:** 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。
- **Mitchell:** 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ランクゾスフィルタの波打つ効果と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。
- **ClearIQZ:** バイキュービックやランクザスよりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大においてベストの仕上がりになります。

リセット すべてのオプションを既定値にリセットします。

色の一括処理オプション

[カラーキャスト] タブのオプションを使用して、画像から不必要な色合いを削除することができます。[彩度] タブを使用して、複数画像の彩度をまとめて変更することも可能です。

カラー オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [カラー] チェックボックスを選択します。

カラー オプション

カラーキャスト	色の選択	白またはグレーであるべき画像の領域をクリックします。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
	ホワイトポイント	次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • カスタム: ユーザーがクリックした、画像の領域を色温度で表示します。 • 晴れ: 晴れの日の正午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。 • 曇り: 少し曇っている日の値に近い 6500 K に色温度を調整します。 • 影: 雲が多い曇りの日の値に近い 7500 K に色温度を調整します。 • タングステン: 一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。 • 蛍光灯: 蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。 • フラッシュ: カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。
	強さ	削除するカラーキャストの強度を指定します。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
	色温度	色温度を指定します。
	色合い	撮影時に使用した設定に合わせて、グリーン(左に移動)またはレッド(右に移動)の量を指定します。
彩度	度合い	画像の色相(カラー)の強度を増加あるいは減少します。すべてのカラーを削除してグレースケールの画像を作成するには、スライダを左端にドラッグします。
リセット		すべてのオプションを既定値にリセットします。

チャンネルミキサの一括処理オプション

編集の一括処理にある [チャンネルミキサー] を使用して、複数の画像をリッチなグレースケールに上げることができます。レッド、グリーン、ブルーチャンネルの輝度、および画像全体の明るさを調整するため、画像の異なる領域やアスペクトを強調するだけでなく、画像の

ムードやトーンを変更することができます。

各スライダの上にカーソルを移動すると、コントロールの下にある小さなプレビューウィンドウに効果が表示されて、チャンネルごとに画像のどの部分に変化するのかがわかります。画像における各スライダの効果を確認するために便利です。

グレースケールの画像を作成するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [チャンネルミキサー] チェックボックスを選択します。

チャンネルミキサー オプション

パーセント・赤	スライダを左または右にドラッグします。ピクセルにレッドが多いほど、レッドスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
パーセント・緑	スライダを左または右にドラッグします。ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
パーセント・青	スライダを左または右にドラッグします。ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
パーセント・明るさ	スライダを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

セピアの一括処理オプション

[編集の一括処理] ウィザードを使用して、複数の画像をまとめてセピアカラーに仕上げることができます。

複数の画像をセピアに変更するには:

- [編集の一括処理] ウィザードで [セピア] チェックボックスを選択します。
即時に、[プレビュー] にセピアカラーの画像プレビューが表示されます。
- [画像一覧] タブをクリックし、一括処理の各画像をクリックすると、他の画像でセピアの効果を確認できます。

露出の一括処理オプション

[露出] セクションのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の4つのタブで構成されています: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ

露出 オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [露出] チェックボックスを選択します。

露出 オプション

露出	画像全体に追加する光の量を指定します。
コントラスト	画像内での色と明るさの差の量を指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
フィルライト	画像の暗い領域に追加する光の量を指定します。
明るさ	画像の明るさの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
ガンマ	画像の光のスペクトルの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
中間色	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ~ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	黒い点眼器のボタンをクリックしてブラックポイントを調整します。ブラックポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
ミッドポイント スポイト	灰色の点眼器のボタンをクリックしてガンマ補正値を調整します。ガンマ補正値を調整したい部分を適用前画像で選択します。
ホワイトポイント スポイト	白い点眼器のボタンをクリックしてホワイトポイントを調整します。ホワイトポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
自動	次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● コントラストの調整: 自動分析して、画像のコントラストを調整します。 ● 色とコントラストの調整: 自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 ● 色と明るさの調整: 自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 ● トレンス: [トレンスの設定] ダイアログ ボックスが開かれます。シャドウとハイライトの最大クリッピング率を指定し、[OK]をクリックします。ACDSee は画像のレベルを自動調整します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

自動レベルオプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動コントラストと自動カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルに基づいて、画像の色情報レベルを視覚的に表示します。線をクリック & ドラッグしてカーブを操作します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

Light EQ™ の一括処理オプション

[Light EQ™] セクションのオプションを使用して、他の領域を変更せずに、画像内の明るすぎるまたは暗すぎる領域だけを調整することができます。変更を行う際、[Light EQ™ 処理後] タブで画像の効果を確認したり、[画像一覧] タブをクリックして他の画像をクリックすることで各画像の調整効果を確認したりすることができます。

ライティングを調整するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [Light EQ™] チェックボックスを選択します。

Light EQ™ オプション

各画像に自動設定を適用する	ソフトウェアが写真を分析し、写真内の明るいピクセルと暗いピクセルの量に基づいて最適な設定を適用します。既に明るい写真よりも暗い写真の方が、明るくなる度合いが大きくなります。
明るくする	画像の暗い領域を明るくします。次のいずれかまたは両方を実行します: <ul style="list-style-type: none"> • 圧縮: スライダを右に動かすと、画像の暗い領域が明るくなります。 • 振り幅: 右にドラッグすると、画像のすべての領域で明るくなる度合いが増えます。
暗くする	画像の明るい領域を暗くします。次のいずれかまたは両方を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 圧縮: スライダを右に動かすと、画像の明るい領域が暗くなります。 • 振り幅: 右にドラッグすると、画像のすべての領域で暗くなる度合いが増えます。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

ノイズ除去の一括処理オプション

[ノイズ除去] セクションのオプションを使用して、画像のディテールを保持しながら画像からノイズを除去することができます。

使用した設定は、後で利用するための[プリセット](#)として保存することもできます。

ノイズ除去オプションを使用するには:

1. [ツール] から [一括]、[編集の一括処理] をクリックします。
2. [編集の一括処理] ダイアログボックスから、[ノイズ除去] チェックボックスを選択します。

ノイズ除去 オプション

ノイズ除去	ノイズを除去します。
正方形	正方形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。
X	X 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用しません。
+	+ 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使用します。
ハイブリッド	正方形の 3 × 3 ピクセル、X 形の 3 × 3 ピクセルおよび + 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、対角線、縦横線を保持したい場合に、このオプションを使用します。[ハイブリッド] を選択すると、以下の追加オプションを指定することができます: <ul style="list-style-type: none"> • 明るさ: スライダを左右にドラッグして、明るさのバリエーションをコントロールします。 • カラー: スライダを左右にドラッグして、カラー(色相と彩度)のバリエーションをコントロールします。例えば、スライダを右にドラッグするとカラーバリエーションの量が減ります。カラーバリエーションの量を減らすと、画像内の実際のカラーバリエーションも減らしてしまう結果になるため、十分注意します。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元のノイズレベルに戻します。

シャープネスの一括処理オプション

[シャープネス] セクションのオプションを使用して、画像の中～高コントラストのエッジを強調することによって、画像をシャープに上げることができます。

シャープネス オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [シャープネス] チェックボックスを選択します。

シャープネス オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。値が高くなるほどエッジが暗くなります。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増加します。
しきい値	シャープにする前に、近隣ピクセル間の明るさの違いを指定します。値が高くなるほど浮き出しが深くなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようしきい値を設定するのが理想です。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

ビネットの一括処理オプション

[ヴィネット] セクションのオプションを使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できます。ボーダーの外観をコントロールすることができます。

ヴィネット オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [ヴィネット] チェックボックスを選択します。

ヴィネット オプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリアゾーン	焦点の周りがあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
トランジションゾーン	クリアゾーンとフレーム間のトランジションゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなります。スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広がります。
形	<p>ヴィネットの形を指定します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 丸：丸みを帯びたフレームを作成します。 ● 四角：四角形のフレームを作成します。
輪郭を表示する	クリアゾーンの外側のエッジと、フレームの内側のエッジを示した輪郭を表示します。
フレーム	<p>焦点の周りがあるフレームに追加する、特殊効果を指定します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カラー：フレームの領域に色の効果が適用されます。 ● 彩度：フレームの領域から色を取り除きます。 ● ぼかし：フレームがぼかして表示されます。 ● 雲：フレームの領域に雲を表示します。 ● エッジ：フレーム領域内の人物やオブジェクトの線やディテールを、蛍光色でなぞります。 ● 放射状波：焦点からフレーム領域に放射する波を生成します。 ● 放射状ぼかし：フレーム領域の人物やオブジェクトを回転して引き伸ばします。 ● ズームぼかし：フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 ● クレヨン エッジ：フレーム領域内の人物やオブジェクトの線やディテールを、クレヨンでの線でなぞります。 ● ペンキ画：フレーム領域の人物やオブジェクトが、ペンキで描かれたような効果を加えます。 ● ピクセル化：画像のピクセルサイズを大きくして画像をぼかします。 ● オールド：年季の入った外観に仕上げます。 ● グロー エッジ：フレーム内の線やディテールに色を追加します。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。 ● 波紋：画像を同心円に分割して、小石を水に落とした時の波紋のような見栄えにします。
フィルタの設定	[フィルタの設定]領域に表示される設定は、選択される各フレームの効果によって変わります。例えば、[色]を[フレーム]エリアで選択すると、カラーピッカーが[フィルタ設定]エリアに表示されます。同様に、[ぼかし]を[フレーム]エリアで選択すると、ぼかしのレベルをコントロールするスライダが[フィルタ設定]エリアに表示されます。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

テキスト オーバーレイの一括処理オプション

[テキストのオーバーレイ]セクションのオプションを使用して、画像に書式付きのテキストを追加します。特殊効果を適用して、テキストをアーティスティックに仕上げることも可能です。不透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を入れるのに大変便利です。

テキストのオーバーレイ オプションを使用するには：

[編集の一括処理]ウィザードで[**テキストのオーバーレイ**]チェックボックスを選択します。

テキスト オプション

テキスト	与えられた領域にテキストを入力した後、太字、斜体、下線などのフォントスタイルを指定します。[テキスト]領域の右にあるドロップダウンリストをクリックして、登録記号、著作権記号、商標記号や画像メタデータを挿入します。
回転	テキストの回転を指定します。
サイズ	スライダをドラッグしてテキストのサイズを指定します。
カラー	テキストの色を指定します。
不透明度	スライダをドラッグして、テキストの不透明度を調整します。
配置	四角をクリックして、テキストの配置を指定します。
テキスト ボックス	
左揃え	テキストボックスの配置を、各画像の左端に設定します。
右揃え	テキストボックスの配置を、各画像の右端に設定します。
上端揃え	テキストボックスの配置を、各画像の上に設定します。
下端揃え	テキストボックスの配置を、各画像の下に設定します。
枠	ボーダーの色を選択し、スライダをドラッグしてボーダーの不透明度を指定します。
塗りつぶし	テキストボックス内を塗りつぶす色を選択し、スライダをドラッグしてフィルの不透明度を指定します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

ボックス効果 オプション

特殊効果	ボックスに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、ボックスの外観を調整します。
斜角縁	
角度	エッジ傾斜効果を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。
高度	エッジ傾斜のシャドウ効果を形成する仮想光源の高さを指定します。値が低くなるほどボックスのシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
斜角縁	各ボックスのエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
強さ	ボックスの最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、ボックスの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
ドロップシャドウ	
角度	影を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ボックスの影を調整することができます。
ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
距離	ドロップシャドウとボックス間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、ボックスがより浮き立つこととなります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、ボックス枠のサイズを大きくします。
ブレンドモード	[ブレンドモード]ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。

テキスト効果オプション

特殊効果	テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。	
斜角線	角度	エッジ傾斜効果を形成する仮想光源の向きを指定します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。
	高度	エッジ傾斜のシャドウ効果を形成する仮想光源の高さを指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
	斜角線	各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強さ	テキストの最高点と最低点の差を指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
ドロップシャドウ	角度	影を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でテキストの影も調整することができます。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	距離	ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つこととなります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。
ブレンドモード	[ブレンドモード]ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。	

透かしの一括処理オプション

[透かし] セクションのオプションを使用して、画像に透かしを追加することができます。画像の任意の位置に透かしを移動することができます。透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。

透かしオプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [透かし] チェックボックスを選択します。

透かしオプション

画像	参照	クリックして透かしに使用する画像を参照して選択するか、ドロップダウン リストから選択します。既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。クリック & ドラッグで透かしの位置を調整するか、[場所 & ブレンドモード] タブをクリックしてオプションを使用します。
	縦横比を保持してサイズ変更する	透かしの形を引き伸ばしたりゆがめたりせず、縦横比を保ったままサイズを変更したい場合に、このオプションを選択します。
	アルファ チャンネルを適用	透かしにアルファ チャンネルが存在し、それを適用したい場合に選択します。(TIF、PNG、ICO の透かしファイルのみ、アルファ チャンネルを含むことができます。)
	透過を適用	透かしの色を透明にしたい場合には、[透過を使用] を選択します。既定の色は白です。RGB の値を入力することもできます。RGB 値がわからない場合、透かしのプレビューサムネール上にカーソルを移動して、透明にしたい色をクリックします。
場所 & ブレンド	場所	透かしの位置をピクセルまたはパーセントで指定します。
	ブレンドモード	透かしと画像のブレンドモードを指定します。
	不透明度	スライダをドラッグして、透かしの不透明度を指定します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。	

現像の一括処理を使用する

現像の一括処理ツールは、複数の画像に現像プリセットを適用してさまざまなファイルフォーマットでエクスポートすることができる非常に便利な機能です。

複数の画像にプリセットを一括適用するには:

1. [管理] モードで、現像したい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 右クリックしてコンテキストメニューの [一括] から [現像の一括処理] を選択する (表示モードでも可能です)。
 - [一括]、[一括現像] をクリックします。
3. [現像のプリセットを選択] で使用するプリセットを選択します。
4. JPEG や TIFF ファイルなど、異なるファイルフォーマットで保存したい場合は、[ファイルを別のフォーマットにエクスポート] を選択します。
5. [オプション] をクリックして現像の一括処理オプション ダイアログを開き、フォーマットやその他のオプションを選択します。(次の表をご覧ください。)
6. [エクスポート] ダイアログボックスでの選択の仕方は、以下の表をご確認ください。
7. [OK] をクリックします。
8. [現像] をクリックします。

エクスポート オプション

保存先	ソース フォルダ内	ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。 [新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスを選択すると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。
	フォルダを指定	このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。
ファイル名	テンプレートを使って名前を変更する	テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。
	テンプレート	[テンプレートを使って名前を変更する] チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。
	テンプレートフィールド	ファイル名の変更使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク(*)を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ(#)を使用します(複数可)。ド롭ダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
	挿入 メタデータ フィールド	名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 [テンプレート]フィールドにカーソルを合わせ、[メタデータを挿入]をクリックすると、[プロパティの選択]ダイアログボックスが開きます。挿入したいメタデータを選択して[OK]をクリックします。
	挿入 連続する番号	テンプレートに挿入されたシャープ(#)は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。
	挿入 オリジナルのファイル名	テンプレートに挿入されたアスタリスク(*)は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。
	挿入 連番 オプション 開始番号	最初の文字または番号を指定します。
フォーマット	ファイルフォーマット	エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。
	フォーマットの設定	[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。
	ピクセル フォーマット	選択したフォーマットの色深度を指定します。
	色空間情報	[色空間情報] チェックボックスを選択して、ド롭ダウンリストから色空間オプションを選択します。
出力サイズ	画像のサイズを変更する	このオプションを選択して画像サイズの変更方法を指定します。次のオプションから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 寸法: このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定した寸法に合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチまたは cm で指定します。 • 幅と高さ: 二つのボックスに入力した値の範囲に収まるよう、エクスポートする画像のサイズを調整するには、このオプションを選択します。 • 長辺: このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチまたは cm で指定します。

	<ul style="list-style-type: none"> • 短辺: このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチまたは cm で指定します。 • パーセンテージ: パーセンテージでサイズを変更するには、このオプションを選択します。
	<ul style="list-style-type: none"> • 拡大または縮小: すべての画像を指定した幅と高さサイズに変更します。 • 縮小のみ: 指定した高さ幅より大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大のみ: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみ画像を拡大します。
解像度	インチまたはcm当たりのピクセル数を指定します。
オリジナルの縦横比を保持	オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。 注意 : 画像のサイズを長辺または短辺のオプションで変更した場合、元の画像の縦横比が保持されます。
メタデータ	画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。



オプション: 新規エクスポート プリセットのボタン  をクリックし、プリセットの名前を入力すると、設定をプリセットとして保存することができます。1つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。



プリセットを編集は、リストでプリセットをクリックして編集し、現在のエクスポート プリセットの[保存]ボタン  をクリックします。

データベース ACDSee について

フォルダを参照すると、ACDSee データベースは、画像、ドキュメント、メディア ファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースによりコンピュータの閲覧速度が上がり、データベースに保存した情報を使用して画像やメディア ファイルの並べ替え、整理、検索、フィルタリングができます。また、データベース情報をバックアップ、復元、共有することもできます。

キャッシュされたサムネイルのプレビューを格納したり、コンピュータ上の各画像またはメディアファイルに、次のような情報を追加したり編集したりすることができます。

- カテゴリ
- 注記
- キーワード
- カラーラベル
- 作者
- 日付
- 重要度
- キャプション
- 顔データ

データベースからフォルダを除外したり、除外したフォルダにあるコンテンツを他の画像またはメディアファイルと切り離して保管したりすることも可能です。



ACDSeeSee でファイルに ACDSee メタデータを追加すると、そのファイルはデータベースにリンクされます。Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のプログラムを使用してファイルのコピー、移動、名前の変更を行うと、データベースとのリンクが壊れ、ACDSeeSee メタデータが消えることがあります。

ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む

ACDSee メタデータを編集する場合、またはこのメタデータをファイルに追加する場合、ACDSee により新しいデータがそのデータベースに自動で追加されます。[オプション] ダイアログ ボックスの [**ACDSee メタデータの埋め込みリマインダーを表示する**] チェックボックス ([**ツール**]、[**オプション**]、[**データベース**] の順にクリック) を選択している場合、ACDSee を次回終了する際に [ACDSee メタデータをファイルに埋め込む] ダイアログ ボックスが開きます。そこで、変更したファイル自体に新しいデータを埋め込むかどうかを選択できます。このリマインダーの表示頻度を設定することもできます。ファイルにも ACDSee メタデータを埋め込んでおくと、データのバックアップが安全に行われるだけでなく、必要に応じて簡単に探し出すことができるため大変便利です。

例えば、ACDSee メタデータをファイルに割り当てると、そのファイルはデータベースにリンクされます。Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のアプリケーションを使ってそのファイルを移動すると、リンクが壊れてしまいます。しかし、リンクが壊れてもファイルそのものにデータが埋め込まれている場合は、ファイルに埋め込まれたデータを使用して ACDSee メタデータを取得することができます。

では、ACDSee ファイルの名前の変更や移動 (他のコンピュータへの移動も) が可能で、埋め込まれた ACDSee メタデータはファイルと一緒に移動します。

ダイアログが表示された時に ACDSee メタデータをファイルに埋め込むには:

- [ACDSeeメタデータの埋め込み]ダイアログの[埋め込み]セクションで、埋め込みたいメタデータのタイプを選択します。
- 次のいずれかを実行します。
 - ネットワーク上に存在するファイルにデータを埋め込むには、[**ネットワークドライブのファイルを含む**] チェックボックスを選択します。
 - データの埋め込みに対応していないファイル形式のサイドカー ファイルに情報を書き込むには、[**埋め込み XMP をサポートしていないフォーマットのサイドカー ファイルを書き込む**] を選択します。
 - ダイアログの現在の選択を適用し、次回以降に自動で選択されているようにするには、[**今後は確認しない**] を選択します。
- [**埋め込み**] をクリックして、ファイルにデータを埋め込みます。進行状況バーに続き、次の項目を示した [埋め込みの概要レポート] ダイアログが表示されます:
 - 選択された画像数**: 選択されたファイル数が表示されます。
 - 処理された画像数**: 実際に処理されたファイル数が表示されます。(データの埋め込みの必要のないファイルを選択した場合、[選択された画像数] とここに表示される数字が異なることがあります。)
 - 処理済画像数**: データの埋め込みが完了したファイル数が表示されます。
 - エラーが発生した画像**: 様々な理由から、データの埋め込みが完了しなかったファイル数が表示されます。(エラー ログを表示するには、[**エラーの表示**] をクリックします。)
- [**閉じる**] をクリックします。

ACDSee メタデータをいつでも埋め込むには:

ファイルにデータを埋め込む処理は、いつでも行うことができます。

- [**ツール**] メニューから [**メタデータ**]、[**ACDSee メタデータの埋め込み**] をクリックして、次のいずれかを選択します:
 - すべてのファイルに埋め込む**: すべてのファイルに対してデータを埋め込みます。
 - 選択したファイルに埋め込む**: 選択したファイルに対してデータを埋め込みます。
- [ACDSeeメタデータの埋め込み]ダイアログの[埋め込み]セクションで、埋め込みたいメタデータのタイプを選択します。
- 次のいずれかを実行します。
 - ネットワーク上に存在するファイルにデータを埋め込むには、[**ネットワークドライブのファイルを含む**] チェックボックスを選択します。
 - データの埋め込みに対応していないファイル形式のサイドカー ファイルに情報を書き込むには、[**埋め込み XMP をサポートしていないフォーマットのサイドカー ファイルを書き込む**] を選択します。

4. **[埋め込み]** をクリックして、ファイルにデータを埋め込みます。進行状況バーに続き、次の項目を示した **[埋め込みの概要レポート]** ダイアログが表示されます：
 - **選択された画像数**：選択されたファイル数が表示されます。
 - **処理された画像数**：実際に処理されたファイル数が表示されます。(データの埋め込みの必要のないファイルを選択した場合、**[選択された画像数]** とここに表示される数字が異なることがあります。)
 - **処理済画像数**：データの埋め込みが完了したファイル数が表示されます。
 - **エラーが発生した画像**：様々な理由から、データの埋め込みが完了しなかったファイル数が表示されます。(エラーログを表示するには、**[エラーの表示]** をクリックします。)
5. **[閉じる]** をクリックします。

! ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカーファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカーファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があり、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

埋め込み保留中アイコン

管理モードのファイル一覧 ペインでは、次のオーバーレイアイコンは、ファイルへ未書き込みの ACDSee データベース内に保存されている

ACDSee メタデータと顔データを含むファイルの上部に表示されます：

右クリックして次のどちらかの操作を選択してください：

- **ACDSee メタデータを埋め込む**：メタデータをファイルに書き込みます。
- **埋め込み保留中のアイコンの消去**：オーバーレイアイコンは消えますが、メタデータはファイルに書き込まれません。

データの埋め込みが必要なファイルを表示する

埋め込む必要があるデータが含まれているファイルを確認するには、**[埋め込み保留中]** オプションを使うとファイルを簡単に一覧表示できます。

データの埋め込みが必要なファイルを表示するには：

カタログ ペインの **[スペシャル アイテム]** から **[埋め込み保留中]** を選択します。

ファイル一覧に、埋め込みの必要なデータを含んでいるファイル一覧が表示されます。

ファイルに埋め込まれている ACDSee メタデータを取得する

ファイルの格納されているフォルダを参照すると、ACDSeeメタデータの一部が取り込まれ、データベースに書き込まれます。ただしカテゴリとキーワードはこれに該当しません。

すべての ACDSee メタデータ (カテゴリとキーワードを含む) を取得するには、**[ツール]** > **[データベース]** > **[ファイルのカタログ化]** をクリックするのが最も安全です。その後、以下が適用されます：

- GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF 形式のファイルについては、すべてのデータが取得されてデータベースに書き込まれます。
- ファイルのサイドカーファイルがフォルダ内に存在し、ファイル名が同一である場合、データベース情報が取得され、データベースに書き込まれます。
- ファイルとそれとペアになっているサイドカーファイルが移動された、あるいは名前が変更された場合、ACDSee メタデータは取得されずに失われてしまいます。

データベースからフォルダを除外する

データベースからフォルダを除外して、除外したフォルダにあるコンテンツを他の画像やメディアファイルから切り離すことができます。既定値として、ハードディスク上にある Program Files や Windows フォルダは自動的にデータベースから除外されるように設定されています。

フォルダの除外設定を管理するには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[フォルダの除外設定]をクリックします。
2. [フォルダの除外] ダイアログボックスで、以下のいずれかを実行します:
 - データベースからフォルダを除外するには、[追加] をクリックします。ハードドライブから除外するフォルダを選択して、[OK] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧からフォルダを削除するには、一覧から削除するフォルダを選択して [削除] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧を既定値にリセットするには、[既定値にリセット] をクリックします。
3. 選択項目を確認したら、[閉じる] をクリックして ACDSee に戻ります。

データベースのファイルをカタログ化する

ACDSee で参照されたファイル情報やサムネイルは、データベースに自動的に追加されます。「ファイルのカタログ化ウィザード」を使用すれば、複数のファイルをまとめてデータベースに追加することができます。特にこの機能は、ACDSee を初めて使用する場合や大きな画像コレクションの参照や管理を行う場合に、フォルダのロード時間が短縮できるのでとても便利です。

ACDSee を初めて起動する際、カタログ化の確認をたずねるメッセージが表示されます。

ファイルをカタログ化するには:

1. 管理モードで、[ツール] から [データベース]、[カタログファイル] をクリックします。
 2. [カタログ化するフォルダ] セクションで、カタログ化するフォルダ名の横にあるチェックボックスを選択します。
一覧に表示されていないフォルダを追加するには、[フォルダの追加] をクリックし、追加したいフォルダを選択してから [OK] をクリックします。
 3. [カタログファイルからインポート] セクションで、データベースに追加する情報を選択します。
 4. [ファイルフォーマット] セクションで、カタログ化するファイルの種類を選択します。
 5. [オプション] セクションで、実行する追加のアクションを選択します。
 6. **開始** をクリックします。
進行状況バーに、カタログ化されている画像が表示されます。
 7. **完了** をクリックします。
-  比較的大きな画像ファイルをカタログ化している間は、そのプロセスを妨害しないように、あるいはその他のソフトウェアを使用しないようにします。莫大な数のコレクションを扱う場合、夜中など妨害される可能性の少ない時間帯にカタログ化を行うようお勧めします。

ACDSee インデクサーについて

フォルダを参照すると、ACDSee データベースは、画像、ドキュメント、メディアファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースにより ACDSee での閲覧速度が上がり、データベースに保存した情報を使用して画像、ドキュメント、メディアファイルの並べ替え、整理、検索、フィルタリングができます。[カタログ] ダイアログボックスを使用すれば、最初にフォルダを参照することなく複数のファイルをまとめてデータベースに追加することもできますが、カタログ化中は ACDSee を使用することができません。

しかし、ACDSee インデクサーでは、コンピュータがアイドル状態で ACDSee が動作していないときに、カタログ化プロセスが実行できます。この機能のおかげで、すべてのフォルダを参照する手間や、パソコンの速度やパフォーマンスが落ちてしまうという問題、ACDSee の使用を一時中断しなくてはならない問題が解消されます。もしも選択したフォルダ内でファイルが変更された場合は、ACDSee インデクサーがファイルを自動でカタログ化するので、ACDSee のデータベースはいつでも最新の状態にキープされます。

カタログ化したいフォルダおよび ACDSee インデクサーがカタログ化を始めるまでのパソコンのアイドル時間を設定することができます。これらのオプションの設定方法は、[ACDSeeインデクサーオプションの設定](#)を参照してください。

複数のデータベースの作成と切り替え

ACDSeeでは複数のデータベースを作成することができ、またいつでもデータベース間の切り替えが行えるため、どんなに大量のファイルでも楽に管理できます。

ACDSeeを一番最初に起動して使用するデフォルトのデータベースは "Default.dbin" と呼ばれ、新しく追加でデータベースを作成しない限り継続して使用されます。C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\ACD Systems\Catalogs\



タイトルバーに実行中のデータベースを表示するようにACDSeeを設定することも可能です。

新規データベース作成するには:

1. 管理モードで、[ファイル]>[データベース]>[新規...]を選択します。
2. [新規のデータベース] ダイアログボックスで、新規データベースの名前を入力します。
3. [参照]からデータベースを保存するディレクトリを指定しても、既存のデータベース、"Default.dbin" が保存されているデフォルトのディレクトリのままでもかまいません。

 新しく作成したデータベースは、データベースと同じ名前のフォルダ内に保存されます。データベースのファイルとフォルダ名はいつでも必ず同じである必要があります。そうでないと、ACDSee がデータベースへ接続できません。

4. アプリケーションのタイトルバーにデータベース名を表示したい場合は、[タイトルバーにデータベースのファイル名を表示]チェックボックスをオンにします。
5. [OK]をクリックします。
6. ダイアログが開き、新しく作成したデータベースに切り替えるか確認されます。はいまたはいいえを選択します。[はい]を選択すると、ACDSee は再起動後、新しいデータベースを使用します。

データベース間を切り替えるには:

[管理] モードで次のいずれかの操作を行います。

[ファイル]、[データベース]、[開く]を [データベースを開く] ダイアログボックスで、使用したいデータベース (*.dbin) を参照したら、[開く] をクリックします。

[ファイル]、[データベース]、[履歴]を 最近使用したデータベースから希望のものを選択してください。開きます。

コマンドライン スイッチを使って特定のデータベースで ACDSee を素早く起動するには:

1. ACDSee のショートカットを作成します。ここで付けるショートカット名は、開きたいデータベースに関連したものにするのがおすすめです。
2. ショートカットプロパティで、リンク先を次へ指定します:C:\Program Files\ACD Systems\ACDSee Ultimate\

旧バージョンのデータベースを変換する

「ACD データベースの変換ウィザード」を使用して、旧バージョンの ACDSee のデータベース情報を現在のデータベース情報に追加することができます。そのため、旧バージョンでファイルに関連付けられた情報が ACDSee 現在のデータベースで正しく参照されます。

- ❗ 既に現在のデータベースに情報が追加されている場合、ACDSee 旧データベースを変換する前にデータベースのバックアップを作成することを ACDSee おすすめします。

旧バージョンのデータベースを変換するには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[データベースの変換]をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ]をクリックしてデータベースの変換オプションを選択します。
3. [データベースの変換オプション]ページで、変換するデータベース ファイルのバージョンと、ハードディスク上でデータベース ファイルが格納されているフォルダを指定します。[次へ]をクリックします。
4. 変換後、画像サムネイル、EXIF、IPTC 情報を自動的に再構築するには、[ローカル画像用にサムネイル、EXIF、IPTC データを再構築する] チェックボックスをオンにします。
5. 変換後、データベースを自動的に更新するには、[変換後、データベース ファイルを最適化する] チェックボックスをオンにします。
6. [次へ]をクリックします。
7. 「概要」のページで選択項目を再確認したら、[次へ] をクリックしてデータベースを変換します。

データベース情報をインポートする

ACD データベース インポート ウィザード を使って、アーカイブされたデータベース情報をインポートしたり、他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートしたりすることができます。情報がインポートされると、ACDSee は画像とその情報を関連付けます。

- ❗ 既に現在のデータベースに情報が追加されている場合、ACDSee データベースに新しい情報が追加されている場合、旧データベースを変換する前に、データベースのバックアップを作成することを ACDSee おすすめします。

ACD データベース インポート ウィザードを使用するには:

1. 管理モードで、[ツール]から[データベース]、[インポート]をクリックし、[データベース]を選択します。
 2. [次へ] をクリックして、ウィザードを開始します。
 3. 「インポート オプション」のページで、インポートするデータベース情報の種類を選択します。
データベースの圧縮版、あるいは XML ベース テキスト ファイルから画像情報をインポートすることができます。
 4. [参照] ボタンをクリックし、データベースのインポート元を指定して[OK] をクリックします。
 5. [インポート後、データベース ファイルを最適化する]チェックボックスをオンにすると、ウィザード終了後にデータベースの最適化を実行することができます。[次へ] をクリックします。
 6. 「概要」のページで選択した項目を再確認します。選択されている項目を変更するには、[戻る] をクリックします。データベース情報のインポートを開始するには、[次へ] をクリックします。
 7. [完了] をクリックして、ACD データベース インポート ウィザードを閉じます。
- ❗ 他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートするには、インポートされるファイルのパスと保存先のパスが完全に一致する必要があります。

他のソースからファイル情報をインポートする

[ACDSeeフォトディスク](#)や、旧バージョンのACDSeeなど、他のソースからファイル情報をデータベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートする

旧バージョンの ACDSee (バージョン4.0および 5.0) では、フォト デスクは別のデータベース ファイル「.ddf」として作成されます。フォト デスク データベース ファイルを ACDSee データベースにインポートできます。

フォトディスクをインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[フォトディスク]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたいフォトディスク ファイルを選択します。
3. [開く]をクリックします。



ACDSee 6.0以降のバージョンで作成したフォトディスクから情報をインポートするには、データベース全体を**変換してインポート**しなくてはなりません。

アルバムをインポートする

旧バージョンのACDSeeのアルバムには「.ais」ファイルフォーマットが使用され、画像へのショートカットが含まれていました。新バージョンのACDSeeでは、アルバムの作成に別のファイルフォーマットを必要としないため、カテゴリを使って画像アルバムを作成することができます。旧バージョンのACDSeeで作成されたアルバムをインポートし、アルバムの情報をデータベースに追加することができます。ACDSeeはアルバムをインポートする際、新しいカテゴリを作成します。

アルバム情報をデータベースにインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[アルバム]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい「.ais」ファイルを選択します。
3. [開く]をクリックします。

Descript.ion ファイルの使い方

旧バージョンの ACDSee では、ファイルの説明は個別の「Descript.ion」ファイルとして、画像を含む各フォルダに保存されていました。ACDSee では、ファイルの説明はキャプションとして、注意事項やキーワードなど別のファイル情報とともにデータベースに保存されます。

「Descript.ion」ツールを使えば、以前作成した Descript.ion ファイルをインポートしてその情報をデータベースに追加したり、既存のファイル キャプションを Descript.icon ファイルにエクスポートしたりすることができます。

Descript.ion ファイルをインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックして、[Descript.ion ファイル]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい Descript.icon ファイルを選択します。
3. [開く]をクリックします。

キャプションをDescript.ionファイルにエクスポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[エクスポート]をクリックして、[Descript.ion ファイル]を選択します。
2. [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスの [ファイル名] フィールドに Descript.icon ファイルの名前を入力します。
3. [保存]をクリックします。

データベース情報をエクスポートする

「ACDSee データベース エクスポート ウィザード」を使用して、選択したデータベース情報を圧縮フォーマットとして保存したり、バックアップとして保存したり、他の ACDSee ユーザーと共有したりすることができます。カテゴリやキーワード定義をテキスト ファイルとしてエクスポートすることも可能です。

バックアップの作成とは異なり、データベース情報のエクスポートは、CD など共有または格納したい特定ファイルのデータベースの一部だけを選択してエクスポートすることができます。他の ACDSee ユーザーは、既存のデータベースが壊れないかという心配をすることなく、情報をインポートすることができます。

画像またはメディアファイルを含むデータベース全体のバックアップを作成するには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#)を使用します。

ローカル フォルダの内容をネットワークのような遠隔地にバックアップするには、[ACD 同期 ウィザード](#)を使用します。

ACD データベース エクスポート ウィザードを使用するには:

1. 特定の画像またはメディアファイルのデータベース情報をエクスポートする場合、管理モードの[ファイル一覧](#)ペインでファイルを選択します。
2. [ツール]から、[データベース]、[エクスポート]、[データベース]をクリックします。
3. [次へ]をクリックして、ウィザードの使用を開始します。
4. 「コンテンツとフォーマット オプション」のページで、以下のオプションのいずれかを選択してデータベース情報のエクスポート方法を指定し、[次へ]をクリックします:
 - **ACDSee データベース全体を読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする:** データベースのコンテンツ全体を ACDSee 他のユーザーと共有可能な圧縮版にして ACDSee エクスポートします。
 - **選択されたデータベース情報を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする:** ファイラー一覧ペインで選択されている画像のすべてのデータベース情報をエクスポートします。
 - **テキスト ファイルにデータベース情報をエクスポートする:** XML 形式のテキスト ファイルに選択された情報をエクスポートします。エクスポートしたい情報の横にあるチェックボックスをオンにします。
5. 「ロケーション オプション」のページで、情報のエクスポート先を指定し(必要であればテキスト ファイル名も入力)、[次へ]をクリックします。
6. [概要]のページで選択した項目を確認します。選択されている項目を変更するには、[戻る]をクリックします。データベース情報のエクスポートを開始するには、[次へ]をクリックします。
7. [完了]をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

ファイラー一覧を作成する

「ファイラー一覧の作成」機能を使って、ファイラー一覧ペインで現在表示されているフォルダ内に含まれている、すべてのファイルをテキスト ファイルとして作成することができます。フォルダ内のすべてのファイルのファイル名、サイズ、画像ファイル形式、更新日時、プロパティ、キャプション、重要度が表になった、1 つのテキスト ファイルとして作成されます。

ファイラー一覧を作成するには:

管理モードで、[ツール]、[データベース]、[エクスポート]をクリックして、**ファイラー一覧の作成**を選択します。

ACDSee は自動でファイラー一覧を作成し、既定のテキスト エディタでテキスト ファイルとして開きます。作成されたテキスト ファイルは、必要に応じて編集したり、保存したりすることができます。

データベースをバックアップする

[ACDSee バックアップ] ウィザードを使って、データベース情報をバックアップすることができます。システム障害などが起こった場合、作成したバックアップを使用してデータベースを復元することができます。また、画像、メディア、アーカイブ ファイルと関連するデータベース情報を一緒にバックアップすることも可能です。

ACDSee バックアップ ウィザードは、すべてのデータベースを含んだファイルを、ユーザーの指定した場所に作成します。バックアップはフォルダ構造を使用して作成され、対象のコンピュータによって異なります。データベースの一部をバックアップしたり、他の ACDSee ユーザーとデータベース情報を共有するには、「ACDSee データベース エクスポート ウィザード」を使用します。

データベースのバックアップ管理に関する詳細につきましては、「[データベース情報のバックアップ](#)」のワンポイントをご覧ください。

データベース情報をバックアップするには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[データベースのバックアップ]をクリックします。
2. [ようこそ]のページで、新規バックアップを作成するか、既存のバックアップを更新するかを選択します。[次へ]をクリックします。
[既存バックアップを更新する]を選択した場合、手順 5 に進んでください。
3. [新規バックアップ]のページで、バックアップする情報を選択します。[次へ]をクリックします。
4. 「バックアップの保存先」のページで、[参照]をクリックしてバックアップの保存先を指定し、バックアップ名を入力します。[次へ]をクリックします。
5. 「バックアップの概要」のページで設定を再確認します。[既存バックアップを更新する]を選択した場合、[バックアップの更新]ドロップダウンリストから更新する既存バックアップを選択します。[次へ]をクリックします。

バックアップ情報オプション

サムネイルを含まない	バックアップからサムネイルを除くため、ディスクまたはハードディスクの格納領域を大幅に節約することになります。
オフライン ファイルにサムネイルを含む	フォトディスクのようにハードディスクに記録されないファイルのサムネイルのみを含みます。
サムネイルを含む	データベースにあるすべてのサムネイルを含みます。このバックアップを格納するには、ハードディスクに十分な領域が必要です。
バックアップ ファイルの種類	指定されたデータベース情報とファイルの種類をバックアップします。次のファイルの種類から選択します: <ul style="list-style-type: none"> • 画像: 画像ファイルをバックアップに含みます。 • メディア: オーディオとビデオ ファイルをバックアップに含みます。 • アーカイブ: アーカイブ ファイルをバックアップに含みます。
ローカル ディスク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスク上にある指定されたすべてのファイルをバックアップします。
ローカル ディスクとネットワーク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスクおよびネットワーク上にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。
サブ フォルダを含むフォルダ内にある、指定された種類のすべてのファイル	指定されたフォルダ内にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。[参照] ボタンをクリックし、バックアップするフォルダを選択します。

データベース バックアップのヒントと手順

プロパティ ACDSee イベント で入力した EXIF 情報、ファイル名、保存先、サムネイル、カテゴリ、重要度やその他のファイル情報は、データベースに保存されます。情報入力に費やした時間やデータベース情報が多ければ多いほど、データベース情報のバックアップは重要になります。また、作成したバックアップの管理も大切です。システム障害やその他の予期または回避できないエラーの発生により、すべての作業を失ってしまうことがあります。バックアップはそれらの損失を最小限に抑える、また回避するために行います。

バックアップ スケジュール

データベース情報を追加あるいは更新する頻度により、バックアップ スケジュールを設定します。情報の再入力といった二度手間を省くために、バックアップは頻繁に行うようお勧めします。[ACDSee オプション] ダイアログボックスの「データベース」のページにある [バックアップアラームの表示] で、必要に応じてバックアップのスケジュールを設定します。特にビジネスでご利用のユーザー、またはプロの写真家ユーザーは、毎日バックアップすることをお勧めします。

別の ACDSee ユーザーから情報をインポートする、あるいは ACDSee の古いバージョンからデータベースを変換するといった大きな変更をデータベースに追加する前には、既存のデータベースをバックアップするように推奨します。

バックアップの保存先

バックアップの保存場所の設定は、バックアップのスケジュール設定と同様に重要です。バックアップをハードディスクに保存する場合は、ACDSee によってバックアップの新規フォルダが毎日作成されます。これは、バックアップ ファイルの上書きを回避するためで、増分された項目を加えることで復元が可能です。また、月 1 回は、ご自分のコンピュータ以外の場所（例：ネットワークなど）にバックアップを保存されることをお勧めします。

バックアップ サイズ

バックアップ サイズを最小限にするには、データベース情報と画像を別々にバックアップします。また、画像のバックアップも定期的に行うようにします。

バックアップからデータベース情報を復元する

「ACD データベース復元ウィザード」では、以前バックアップしたデータベース情報を復元することができます。

データベース情報を復元するには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[データベースを復元] をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ] をクリックしてバックアップを選択します。
3. 「復元オプション」のページで、バックアップ名と日時から選択するか、バックアップの保存先に移動してバックアップ ファイル（拡張子 .bkup）を選択します。
4. [次へ] をクリックして、データベースの復元を実行します。

 複数のバックアップ ファイルからバックアップを復元する際、ACDSee は選択したバックアップ ファイルに含まれる情報とそれ以前の情報のみを復元します。そのため、必要な場合を除き、一連のバックアップで最後に作成されたファイルを選択することをおすすめします。

データベースのメンテナンス

ハードディスクの空き容量を増やすため、また不要な情報を削除し、ACDSee 全体パフォーマンスを向上させるために、定期的にデータベースのメンテナンスおよび最適化を行うことをお勧めします。

[データベースのメンテナンス] ダイアログボックスでは、フォルダの更新や、フォルダ内にある削除したいサムネイルやデータベース情報の識別ができます。[データベースのメンテナンス] ダイアログボックスでは、システム内のフォルダ一覧が表示され、特定フォルダ内にあるデータベース情報のステータスがアイコンで表示されます。

データベース コンテンツ アイコン

 フォルダには、サムネイルがデータベースにキャッシュされたファイルが含まれています。

 このフォルダには、データベースの更新以外で変更されたファイルが含まれています。例えば、ACDSee 以外でフォルダやファイルが名前が変更されたり移動されたりしたなど。

データベースのメンテナンスを行うには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[データベースのメンテナンス]をクリックします。
2. [データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスで、データベース コンテンツ アイコンの付いたフォルダを参照します。アイコンの付いたフォルダが存在しない場合は、データベースのメンテナンスを行う必要はありません。
3. フォルダを選択し、次のいずれかのボタンをクリックして、実行するメンテナンスを指定します:
 - **サムネイルの削除**: 選択されたフォルダからすべてのサムネイル情報が削除されます。
 - **データベース情報をすべて削除**: 選択されたフォルダから、すべてのデータベースおよびサムネイル情報が削除されます。
 - **孤立フォルダの削除**: 選択されたフォルダから、今はないファイルや情報への古い参照や破損した参照が削除されます。ユーザーのコンピュータに格納されているフォルダ内のみ、オーファンのチェックが可能です。フォルダがネットワーク上にある場合は、このオプションは表示されません。
 - **結合の変更**: 選択されたオーファン フォルダのすべての参照場所を別のフォルダに変更し、すべてのデータベース情報を保持します。既定の結合フォルダは My Pictures です。
4. データベースのメンテナンスツールは、データベースの空き容量を増やすために履歴を削除します。空き容量を再構成するには、[データベースの最適化] をクリックしてウィザードの指示に従ってください。
5. **閉じる**をクリックします。

データベースを最適化する

[データベースの最適化] ウィザードを使用して、不要なデータベースや古いデータベース情報を素早く削除することができます。データベースの最適化と [データベースのメンテナンス](#) を定期的に行うことで、ハードドライブの容量を増やし、ACDSee の全体的なパフォーマンスを向上することができます。



定期的に大量のファイルをカタログしている場合、毎週、あるいはカタログが終わってからデータベースの最適化を行うようにします。その際、データベースをバックアップするとより効率的です。

データベースを最適化するには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[データベース の最適化]をクリックします。
2. [データベースの最適化] ウィザードで、[次へ] をクリックします。
3. 次のいずれか、または両方のオプションを選択します:
 - **データベーステーブルとフィールドを最適化する**: データベースから古い情報を削除して、データベースフィールドの空きスペースを増やし、テーブルの再インデックスが行われます。
 - **データベースからオーファンを削除する**: 他プログラムにより削除されたファイルやフォルダによるオーファンのデータベース エントリを削除します。
4. [次へ] をクリックします。
5. ウィザードが完了したら、[完了] をクリックして ACDSee に戻ります。

取り込むデータベース用にドライブをマップする

データベースを ACDSee にアップグレードする、あるいはインポート/復元する場合、ACDSee [データベースドライブ マップ] ダイアログ ボックスに、データベース(取り込むデータベース)でドライブマッピングがどのように再構築されるかが ACDSee 表示されます。このダイアログを使用し、データベース内における各ドライブのマップを変更することができます。

新規のドライブのマップを選択するには:

1. [データベースドライブのマップ] ダイアログで、ドライブを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ドライブのマップを新規作成するには、[新規データベース エントリの作成] を選択します。
 - ドライブをローカルドライブにマップするには、[ローカルドライブ] ドロップダウン リストからドライブを選択します。
2. [完了] をクリックします。

サムネイルとメタデータの再構築

[ファイル一覧] ペインで表示されるサムネイル画像や埋め込まれたメタデータの同期が適切に行われなかったことがあります。そのような状況が発生した場合、サムネイルとメタデータの再構築機能を使用して、選択した画像のサムネイルをすばやく再構築することが可能です。

サムネイルを再構築するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [ファイル一覧] ペインから 1 つ以上のサムネイルを選択します。
 - [フォルダ] ペインからフォルダを選択します。
2. [ツール] から [メタデータ] > [サムネイルとメタデータの再構築] をクリックします。

ファイルを隔離する

もし ACDSee 画像またはメディアファイルが破損している、または不完全なため、読み込みに問題がある、またはプラグインエラーを生じる場合は、ACDSee そのファイルを隔離します。ユーザーは、隔離ファイルの一覧から必要に応じてファイルを削除することができます。

隔離されたファイルを表示するには:

1. 管理モードで、[ツール] から、[データベース]、[隔離したファイル] とクリックします。
2. ファイルを削除するには、一覧から削除したいファイルを選択して [削除] をクリックします。
3. 「ファイルの隔離」機能を無効にするには、[隔離機能を有効にする] のチェックボックスをオフにします。
4. [OK] をクリックして [ファイルの隔離] ダイアログ ボックスを閉じて、ACDSee に戻ります。

プラグインを使用する

プラグインはソフトウェア モジュールで、より大きなプログラムに機能を追加します。ACDSee は様々な種類のプラグインを搭載しています。

プラグインの種類

- **画像デコード:** ファイルを二進法フォーマットから変換して、ACDSee で画像を表示します。デコード プラグインを使用すると、ACDSee で様々なファイルフォーマットの画像を表示することができます。表示できるファイルは、ACDSee コンピュータにインストールされているデコードプラグインによって異なります。
- **画像エンコード:** で表示された画像を ACDSee 二進法ファイルフォーマットに変換します。エンコード プラグインを使用すると、ACDSee でさまざまなファイルフォーマットの画像を保存 (または変換) することができます。編集して保存できるファイルは、ACDSee コンピュータにインストールされているエンコードプラグインによって異なります。
- **アーカイブ:** ACDSee 様々な種類のファイルフォーマットのアーカイブを表示し、保存することができます。表示および作成できるアーカイブは、ACDSee コンピュータにインストールされているアーカイブプラグインによって異なります。
- **カメラ:** ACDSee デジタル カメラの画像を参照し、ハード ディスク上のフォルダに転送することができます。

- **コマンド拡張**: ACDSeeに機能を追加します。例として、インターネットで画像を共有する際に使用するプラグインがあります。
 - **ペイン拡張**: ペインを ACDSee デジタル画像の印刷オーダーなどのタスクを実行できる場所に追加します。
- ! ACD Systems社が認証していないプラグインについては、その品質を保証することはできません。他のソフトウェアと同様、ユーザーは、プラグインがウイルスに感染しておらず、プラグインの製造元が信頼できる会社であることを信じています。

プラグインを管理する

[プラグイン設定] ダイアログ ボックスには、システムにインストールされているすべての ACDSeeプラグインの一覧が表示されます。 [プラグイン設定] ダイアログボックスを使って、ACDSee が使うプラグインをコントロールすることができます。

[プラグインの設定] ダイアログ ボックスを開くには:

管理モードで、[ツール] メニューから [プラグインの設定] をクリックします。

プラグインを無効にする

[プラグイン設定] ダイアログ ボックスでは、不要なプラグインを無効にして、ACDSee 使用しないように設定できます。

プラグインを無効にするには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. 使用を無効にしたいプラグイン名の横にあるチェックインボックスを ACDSee クリアします。
3. [OK] をクリックします。

プラグインの優先順序を変更する

一部のファイル フォーマットは複数のプラグインでサポートされています。この場合、特定のファイル フォーマットの読み取り、もしくは書き込みどこのプラグインを使用するかを指定できます。 [プラグイン設定] ダイアログ ボックスでのプラグインの表示順序が、ACDSee がファイルを読み取り、または書き込みするときに使用するプラグインの優先順序になります。

プラグインの優先順序を変更するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン**一覧からプラグインを選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [上へ移動] ボタンをクリックして、プラグインを一覧の上位に移動します。
 - [下へ移動] ボタンをクリックして、プラグインを一覧の下位に移動します。
4. [OK] をクリックします。

プラグインのプロパティとヘルプを表示する

特定のプラグインのプロパティを表示 および設定することができます。

プラグイン プロパティを表示するには:

1. [プラグインの設定]ダイアログボックス で、[プラグイン]タブの 1 つを選択します。
2. プラグイン一覧からプラグインを選択します。
3. [プロパティ] ボタンをクリックします。

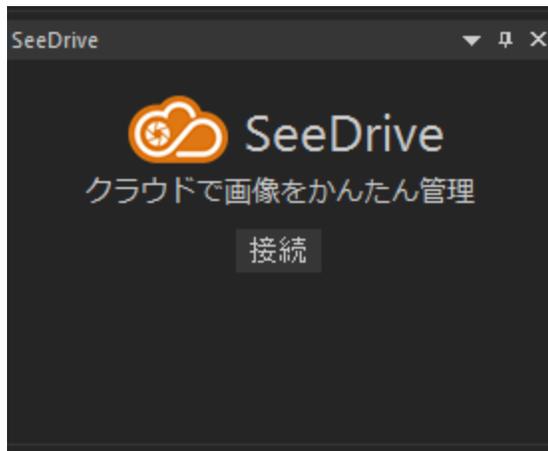
プラグインのヘルプファイルを表示するには:

1. [\[プラグインの設定\]ダイアログボックス](#) で、[プラグイン]タブの 1 つを選択します。
2. [プラグイン一覧](#) からプラグインを選択します。
3. [\[プラグイン ヘルプ\]](#) ボタンをクリックします。

ACDSee SeeDrive™

ACDSee SeeDrive™ ペインでは、ACDSee 365アカウントに直接アクセスすることができます。ACDSee SeeDrive™ を使用すると、ACDSee 365 の画像を管理したり、画像の共有・ストレージサービスの 365.acdsee.com へのアップロードやダウンロードの状況を監視したりすることができます。ACDSee 365 アカウントのご利用には、365.acdsee.com にてご入会いただくか、または追加ストレージをご購入いただく必要があります。

ACDSee SeeDrive™ では、インターネット ブラウザを起動することなく、オンラインの画像を閲覧することができます。または、ブラウザで 365.acdsee.com にアクセスすることも可能です。SeeDrive™ ペインを表示するには、[ペイン] > [**SeeDrive**]に移動します。

**ACDSee SeeDrive™ を使用するには:**

ACDSee SeeDrive™ ペインで、[接続]をクリックし、ACDSee 365 のログイン情報を入力します。[ACDSee 365 アカウント](#)を持っていない場合は、[\[アカウントを作成\]](#)を選択します。

または、[365 モード](#)からログインすることもできます。

ACDSee 365 のファイルを SeeDrive™ で管理する

管理モードの ACDSee SeeDrive™ から直接、ACDSee 365 のフォルダの作成、名前の変更、削除ができます。

新規フォルダを作成するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名を右クリックして[\[オンラインフォルダの新規作成...\]](#)を選択します。
2. [\[オンラインフォルダの新規作成\]](#)ダイアログで、フォルダ名を入力して[OK]をクリックします。



新規に作成したフォルダを既存のフォルダ階層に追加するには、新規に作成したフォルダを追加したい階層の場所にドラッグします。

既存のフォルダ内に新規フォルダを作成するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 既存のフォルダを右クリックして、[\[オンラインフォルダの新規作成...\]](#)を選択します。

3. [オンラインフォルダの新規作成]ダイアログで、フォルダ名を入力して[OK]をクリックします。

フォルダ名を変更するには:

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックして[名前の変更]を選択します。

フォルダを削除するには:

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックして[削除]を選択します。

ファイル名を変更するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、削除したいファイルがあるフォルダを開きます。
2. ファイラー一覧ペインで、ファイルを右クリックしたら[名前の変更]を選択します。

ファイルを削除するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、削除したいファイルがあるフォルダを開きます。
2. ファイラー一覧ペインで、ファイルを右クリックして[削除]を選択します。

アップロードする

SeeDrive™ を使用してファイルを ACDSee 365 へアップロードするには:

- **フォルダをアップロードするには:** フォルダ ペインからフォルダを選択し、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- **ファイルをアップロードするには:** ファイラー一覧ペインからファイルを選択し、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダを右クリックして[転送マネージャ...]を選択すると、アップロードを管理することができます。下の表の説明に従って転送マネージャのコントロールを使用してください。

ダウンロードする

SeeDrive™ を使用してファイルを ACDSee 365 からダウンロードするには:

1. フォルダ ペインでダウンロード先のフォルダを選択します。
2. ダウンロードする ACDSee SeeDrive™ のフォルダを選択して、[ダウンロード]を選択します。

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダを右クリックして[転送マネージャ...]を選択すると、ダウンロードを管理することができます。下の表の説明に従って転送マネージャのコントロールを使用してください。

転送マネージャオプション

アップロード/ダウンロード タブを選択します。

	一時停止した転送を再開する
	転送を一時停止する
	転送のキャンセル
	転送の再試行
	すべて選択
	転送済みのクリア

フォルダを公開/非公開にする

管理モードにある ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダの公開または非公開の設定をすることができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも 365.acdsee.com にて閲覧することができます。



新しいフォルダは既定で非公開に設定されています。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を [公開] に変更するには:

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 公開したいフォルダを右クリックして、**公開する**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を [非公開] に変更するには:

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 非公開にしたいフォルダを右クリックして、**非公開にする**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする

ACDSee SeeDrive™ を使えば、オンライン上にあるコンテンツをすぐにダウンロードおよび共有することができます。転送マネージャで、アップロードとダウンロードの進行状況を表示および管理することも可能です。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダを共有する

ACDSee 365 のフォルダを、ACDSee SeeDrive™ ペインだけですぐに共有することができます。フォルダや画像は、メールで送信、ソーシャルネットワークにアップロード、あるいはウィジェットを作成することができます。

ACDSee SeeDrive™ を使用してフォルダを共有するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを右クリックしたら、**フォルダの共有**を選択します。
3. 共有ウィンドウが開きますので、共有方法を選択して次のように必要情報を入力します:

共有オプション

メールアドレス	ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。下記情報をすべて入力したら、 OK をクリック します。
宛先のメールアドレス	受取人のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスはカンマ [,] で分けます。
メッセージ	受取人に向けたメッセージを入力します。
利用可能な JPG 最大サイズのダウンロードを許可する	受取人は、受信・利用できる最大サイズで画像をダウンロードできるようになります。
自分のメールアドレスにも送る	メールのコピーを受信したいときはこのチェックボックスにチェックを入れます。
パスワード (任意)	フォルダをパスワードで保護したい場合は、ここにパスワードを入力します。入力したパスワードはメール本文内に記載されますので、メールの受信者はそのパスワードでフォルダを開くことができます。
Twitter™	ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。下記手順が完了したら、 アップロード をクリックします。
Twitter™	このボタンを押すと Twitter™ がブラウザで立ち上がりますので、ログイン情報を入力します。
bit.ly で URL を短くする	アルバムの URL が短くなりますので、メッセージ欄に入力できる文字数が増えます。
プレビュー	投稿のプレビューが表示されます。
残りの文字数	メッセージ欄にあと何文字入力可能か表示されます。
利用可能な JPG 最大サイズのダウンロードを許可する	閲覧者が、利用できる最大サイズで画像をダウンロードできるようになります。
ウィジェット	フォトウィジェットとは、ブログやサイトに貼ることのできる画像ビューアまたはスライドショーのようなものです。このオプションでは HTML コードが生成されますので、それをコピーしてウェブサイトやブログに貼り付けます。ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。
方向	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの向き(方向)を選択します。
配色	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの配色を選択します。
サイズ	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットのサイズを選択します。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダの URL をコピー & 貼り付けしてフォルダを共有する

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダの URL をコピーして、ブラウザやメールはじめその他のメディアに貼り付けることができます。

 URL がコピーできるフォルダは公開フォルダのみです。

フォルダの URL をコピー & 貼り付けするには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを右クリックして、**URL のコピー** を選択します。
3. URL を貼り付けたい箇所をどこでも右クリックして、**貼り付け**、または **Ctrl+ V** を押します。

Chapter 4: 写真モード

写真モードを使用する

写真モードは、画像コレクション全体を日付別にすばやく簡単に表示できるツールです。[写真]モードでは**カタログ化**された画像が表示されます。[写真]モードでは、画像のEXIFデータに示される撮影の日付別に画像が表示されます。EXIFデータに撮影日が含まれない場合、[写真]モードでは更新日時に基づいて画像が表示されます。



[**更新日時の一括変更**]を使用して、撮影日を更新することができます。

[写真]モードには2つのエリアがあります。

日付ペイン: このペインでは、カタログ化された写真コレクションすべてが日付別に表示されます。

タイムライン ペイン: このペインには写真の年と月と、それぞれに含まれる写真の枚数が表示されます。

画像を表示する

[写真]モードでは、画像は日付別に表示されます。年、月、日による表示を切り替えるには、次のいずれかを行います。

- 日付ペインの右下にある[年]、[月]、[日]のボタンをクリックします。
- 左上にある前後の矢印を使用して、[年]から[月]、[日]表示へと移動します。
- [表示]から、[年]、[月]、[日]を選択します。
- 画像をクリックして[年]から[月]や[日]の表示へと移動します。
- タイムラインペインにある[年/月]の項目を**クリックして**、その時間の画像を閲覧します。

Microsoft OneDrive® 写真コレクションだけを表示するには:

[フィルタドロップダウン]メニューをクリックし、[**OneDrive**]を選択します。

すべての写真コレクションを表示するには (OneDrive を含む):

[フィルタドロップダウン]メニューをクリックし、[**すべて**]を選択します。

Pictures フォルダの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン]メニューをクリックし、[**Pictures**]を選択します。

デスクトップの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン]メニューをクリックし、[**デスクトップ**]を選択します。

写真コレクション内でオーファンになったファイルを表示するには:

日付ペインの最上部の[**オーファン ファイルを表示する**]ボタンをクリックします。オーファンファイルはセピア色で表示されます。

大きな画像を表示するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [表示]モードで画像を**ダブルクリック**して開きます。
- 画像を選択して、**Enter**キーを押し、[表示]モードと[写真]モードを切り替えます。

別のモードで画像を開くには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [日]表示で画像を**右クリック**して、コンテキストメニューからオプションを選択します。
- [年]または[月]表示で画像を [**Ctrl + 右クリック**] して、コンテキストメニューからオプションを選択します。

Windows Explorer® で画像を表示するには:

- 日表示で画像を [**右クリック**] して、コンテキストメニューから [**ファイル エクスプローラで表示する**] を選択します。
- [年]または[月]表示で画像を [**Ctrl + 右クリック**] して、コンテキストメニューから [**ファイル エクスプローラで表示する**] を選択します。

カタログ化

[写真] モードではカタログ化された画像のみが表示されます。画像をカタログ化するには:

- 管理 モードでフォルダを参照します。
- [写真] モードの一番上にある [**カタログ**] ボタンを使用します。

Chapter 5: 表示モード

表示モードは、画像表示をメインとしたユーザーインターフェイスです。

表示モードでは、次のような操作を行うことができます：

- 大きな画像はマウスでクリックしたままドラッグして表示領域を移動します。
- キーボードショートカットの**F**キーを使って、フルスクリーン表示のオン/オフを切り替えます。
- 画像を拡大または縮小表示する。
- スライドショー形式で画像を表示する。
- ビデオとオーディオファイルを再生し、画像ファイルに音声を追加します。
- 画像にキャプションを追加する。
- ファイルにタグを付けたり、カテゴリ、キーワードやその他のメタデータを追加したりして、ファイルのカタログを作成します。
- 画像に編集または特殊効果のプリセットを適用する。
- メタデータを適用すると、フィルムストリップの次の画像に自動的に進みます。
- 画像内の顔を検出し、名前を割り当てます。
- 現像モードで画像に加えられた調整を表示します。

自動レンズで画像をプレビューする

自動レンズ表示を使用すると、実際にフィルタを適用せずに多数のフィルタが適用された画像をプレビューすることができます。

自動レンズで画像をプレビューするには：

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーの[自動レンズ]ボタンを押します。
3. プレビューしたいフィルタを選択します。
4. フィルムストリップまたは[前へ]/[次へ]ボタンで、選択したフィルタが適用された他の画像もプレビューできます。

 自動レンズはオフにするまでは表示モードでオンになったままになります。



選択した自動レンズをオフにするには：

1. ツールバーの[自動レンズ]ボタンを押します。
2. [なし]を選択します。

Light EQ™

Light EQ™ の表示モードでインスタント露出調整をした画像を表示することができます。表示する画像ごとにLight EQ™ を選択する必要があります。

Light EQ™ で画像を表示するには:

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーの[Light EQ™]ボタンを押します。

オン



RAW画像を表示する

RAW画像ファイルは、カメラのネガに似ています。カメラで撮影する際、画像を構成するすべての「生の」データがキャプチャされます。RAW画像にはJPEGが埋め込まれているため、画像をプレビュー表示することができます。ネガティブ同様、画像として表示するにはRAWファイルを現像する必要があります。

管理モード内でRAW画像ファイルのサムネイルをダブルクリックすると、ACDSeeはそのRAWファイルが以前現像されたことがあるかを確認します。現像されたことがあれば、ACDSeeはビューアに現像済の画像を表示します。現像されたことがなければ、ACDSeeは次のいずれかの処理を実行します:

- これは、**オプションダイアログボックスの全般タブで埋め込みプレビュー**チェックボックスを選択していると発生する場合があります。ACDSee写真撮影時にカメラによって生成された埋め込みJPEGが表示されます。これは既定値として設定されています。
- **[RAW デコード]**ラジオボタンを**[全般]** ページで選択した場合、ACDSee RAWファイルがすぐに現像され、RAWファイルの仮写真が表示されます。

[表示] モードで未現像のRAW画像をズームインする際、**[埋め込みプレビュー]** オプションが選択されており、埋め込みJPEGの解像度を超えてズームすると、ACDSeeそのRAW画像がすぐに現像され、そのズームレベルで画像を表示することができます。埋め込みJPEGファイルからデコードされたRAW画像を表示することになるため、画像のカラー、ライト、ディテールが変更されることがあります。これは、カメラによるJPEG設定とACDSeeが画像を現像する設定の違いによって生じるものです。カメラは機種によって、埋め込みJPEGに使用されるカラー、ライト、ディテールの設定が異なるため、必ずしも、ACDSeeの設定と一致するわけではありません。そのような場合は、ACDSeeの[現像] ツールを使用して、ユーザーの希望する設定でRAW画像を処理します。



ACDSeeはジオメトリの歪みを修正するタグを含むDNGファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ4/3rdsカメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある[回転]アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未処理のJPEG画像を回転する際、ACDSeeは可逆圧縮の回転を実行します。

画像を回転するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、1つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの**[左に回転]** または **[右に回転]** ボタンをクリックします。

回転 アイコン

	左に回転	画像を左に90度回転します。
	右に回転	画像を右に90度回転します。

ヒストグラムを使用する

ヒストグラムは、画像の明るさと各カラーチャンネルのレベルをグラフィックで表します。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. [表示]または[編集]モードで、[ペイン] から [ヒストグラム]をクリックします。
2. ヒストグラム ペイン内の次のチェックボックスをオンまたはオフにします。
 - **R:** レッド チャンネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーン チャンネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルー チャンネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

表示モードで顔検出と顔認識を使用する

では、表示モードで閲覧する画像内の人物を検出することができます。



現在表示中のフォルダの管理モードで顔検出のスキャンがすべて実行されるようにした場合、このプロセスは迅速に実行されます。

顔検出ペインまたは顔ツールを使用して、表示モードで検出された顔に名前を割り当てることができます。顔に名前を付けると、ACDSeeが他の画像で人物を認識するのに役立ちます。これは顔認識といえます。同じ人物に対する名前の登録が多いほど認識率が高まり、以降の認識が速くなります。ACDSeeが誤って顔に割り当てた名前を修正することにより、結果を改善することもできます。修正が早く行われるほど、誤認識が再発する可能性は低くなります。1回以上同じ名前を割り当てると、ACDSeeは次回その名前を提案する場合があります。以下の提案セクションを参照してください。

名前を割り当てることにより、画像に含まれる人物の名前を使用して画像を検索できるようになります。これを行うには、管理モードの検索機能と、カタログペインの人物グループを使用します。人物マネージャを使用して、顔に割り当てられた名前を管理することもできます。

顔検出は規定で有効になっています。顔検出は、サポートされている画像ファイルタイプでのみ使用できます。



アーカイブ、電話、フォトディスクなど、サポートされていない場所にあるファイルに対して顔検出を実行することはできません。



データベースから除外されたファイル上では、顔検出を実行できません。

顔検出を有効または無効にするには:

[ツール]から[オプション]、[顔検出]をクリックし、[画像内の顔を自動的に検出する]チェックボックスを切り替えます。

表示モードで画像を閲覧する際に、画像を開くと顔検出が各画像の顔をスキャンします。

顔検出ペインを開くには:

[ペイン]、[顔検出]を選択します。

検出された顔が顔検出ペインに表示されます。

顔の輪郭を表示するには:

下部のツールバーで、[顔の輪郭を表示]ボタンをクリックするか、**Shift + B**を押します。



検出された顔に名前を付けるには:

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. 顔の輪郭の下にあるフィールドに、検出された顔の名前を入力します。
3. **Enter**キーを押します。



タブを使用して、画像や顔検出ペインの名前フィールド間でカーソルを移動することができます。

顔の輪郭を編集するには:

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. カーソルを使用して、輪郭を移動、拡大、または縮小します。



未検出の顔の輪郭を描いて、名前を付けるには:

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. クリック&ドラッグして、画像に顔の輪郭を描きます。
3. 顔の輪郭の下にあるフィールドに、顔の名前を入力します。



検出されていない顔の輪郭を描いて名前を付けても、ACDSeeによる人物の認識率は向上しません。

候補

1回以上同じ名前を割り当てると、ACDSeeは次回その名前を提案する場合があります。名前の候補は時間とともに改善され、類似性に基づいて割り当てを行うこともできるようになります。



メインビューアで候補を操作するには、**顔ツール**を選択する必要があります。



候補を否定または確定するには:

緑色のチェックマークをクリックして候補名を確定するか、赤色の否定マークをクリックして候補名を却下します。



望ましくない結果を回避して、誤った候補を無視することができます。候補を拒否しても、他の写真の候補には影響しません。名前フィールドで候補を編集して**Enter**キーを押すこともできます。

画像送りで画像を表示する

画像送り機能を使用して、複数の画像またはフォルダ内のすべての画像をプレビューするクイック スライドショーを作成することができます。

画像送りを開始するには:

1. 表示モードで複数の画像を開きます。
2. [ツール]から[画像送り]、[オプション]をクリックします。
3. 以下で解説されているように、[画像送り] ダイアログ ボックスのオプションを設定します。
4. **開始**をクリックします。
5. 次の画像ファイルを表示するには、**Space**キーを押します。
6. 前の画像に戻るには、**Backspace**キーを押します。
7. 画像送りを一時停止または再開するには、**Pause**キーを押します。

画像送りオプション

順序	画像の表示順序を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 昇順 • 降順 • ランダム
繰り返し	スライドショーの最後の画像が表示された後も、スライドショーを自動的に繰り返します。
間隔	各画像の表示時間を指定します。スライダをドラッグまたは 0 から 864000000 ミリ秒の値を入力して、画像の表示時間を指定します。
サウンド	[オーディオ クリップの再生] のチェックボックスをオンにすると、選択した画像ファイルに埋め込まれているオーディオが再生されます。

表示モードで画像にテキストを表示する

ヘッダー/フッター ツールを使用して、表示モードで画像にテキストを表示することができます。テキストは画像を表示している間だけ表示され、オリジナルの画像そのものを変更するわけではありません。また、設定を変更することなく、ヘッダーやフッターのテキストを隠すこともできます。

ヘッダーとフッターを表示するには:

1. [表示]モードで、[表示] から[ヘッダー/フッターの編集]を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します。
 - [ヘッダー] チェックボックスをオンにすると、画像の上にテキストが追加されます。
 - [フッター] チェックボックスをオンにすると、画像の下にテキストが追加されます。
3. 下の解説を参照して、テキスト オプションを選択または変更します。
4. [OK]をクリックします。

テキスト オプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景	テキストに背景色を追加します。[カラー]をクリックして色を指定します。
説明	画像に表示するテキストを入力します。表示させたいテキストを入力するか、フィールド内をクリックしてメタデータを挿入するように設定します。
メタデータの挿入	各画像特有の情報を挿入します。
フォント	テキストのフォント、サイズ、色を設定します。

画像テキストにメタデータを挿入するには:

1. [説明] テキストボックスで、ファイルの情報を表示したい場所にカーソルを合わせ、[メタデータの挿入]をクリックします。
2. [プロパティの選択] ダイアログボックスで、表示したいファイル情報を選択します。
3. [OK]をクリックします。

情報はプレースホルダとして挿入されるため、各画像に固有のテキストが表示されます。

画像テキストを隠す

ヘッダーまたはフッターを非表示にしたり、テキストフィールドの情報を変更 / 削除しないで無効にすることができます。

画像テキストを隠すには:

1. [表示]モードで、[表示] から[ヘッダー/フッターの編集]を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します。
 - [ヘッダー] チェックボックスをオフにすると、画像の上のテキストが削除されます。
 - [フッター] チェックボックスをオフにすると、画像の下のテキストが削除されます。
3. [OK]をクリックします。



ヘッダーとフッターの両方を同時に表示または非表示にするには、[表示]メニューから[ヘッダー/フッターの表示]をクリックします。

画像の一部を選択する

表示モードの[選択ツール]を使用して、画像の一部を四角形で選択することができます。選択した画像の一部を新しい画像として保存したり、デスクトップ壁画として使用したり、ズーム、コピー、印刷することができます。

画像の一部を選択するには:

1. [ツールの選択]アイコンをクリックします。
2. 画像上にカーソルを置いてドラッグし、マーキーを作成します。
3. マーキーの内部を右クリックして、次のいずれかのオプションを選択します。
4. 選択範囲をクリアするには、マーキーの外部をクリックします。

選択範囲のオプション

倍率指定	選択範囲を拡大します。
コピー	選択範囲をクリップボードにコピーします。
名前を付けて保存	選択範囲を新規画像として保存します。
印刷	選択範囲を印刷します。
壁紙として中央に表示	選択範囲を使用して壁紙を作成し、デスクトップの中央に表示します。
必要であれば縮小します	壁紙として並べて表示選択領域を使用してタイル壁紙を作成します。

表示モードでファイルプロパティを表示する

管理モードで画像のプロパティペインを開き、プロパティの情報を編集することができます。

画像ファイルのプロパティを表示するには:

表示モードで、[ペイン]、[プロパティ]とクリックします。

プロパティペインに関する詳細、および ACDSee メタデータの追加や編集に関する情報については、「[プロパティペインの使い方](#)」をご覧ください。

ビジネスドキュメントを表示する

ACDSeeでは、PDF、Excel、PowerPoint、Word、Canvas Xなど、さまざまなドキュメントを表示できます。表示モードでは、整理と検索を簡略化するため、ドキュメントにメタデータを追加することができます。

ドキュメントを表示するには:

1. 管理モードでドキュメントに移動する。
2. ドキュメントを選択して表示モードに入る。

PDF ファイル (.pdf) について:

「[表示モードでPDFファイルを表示する](#)」を参照してください。

Excel ファイル (.xlsx) について:

表示モードでは、ドキュメントの下方にあるシートタブを利用して、ドキュメント内のすべてのシートを表示できます。

PowerPoint ファイル (.pptx) について:

表示モードでは、マウスホイールを使用するとドキュメント内のスライドの間を移動することができます。次の画像を表示するには、スライドをクリックします。

Word ファイル (.docx) について:

表示モードでは、マウスホイールを使用するとドキュメントをスクロールすることができます。

重要度、カラーラベル、タグを表示モードで割り当てるには:

ドキュメントを表示モードで開き、次のいずれかの操作を行います。

- 右下隅の[カラーラベル] ボタンをクリックして、カラーラベルを選択します。 
- 右下隅の[重要度]ボタンをクリックして、重要度を選択します。 
- 右下隅の[タグ付け]ボタンをクリックします。 

表示モードでPDFファイルを表示する

PDF ファイルを表示モードで表示、移動、印刷できます。

表示モードで画像を開くには:

以下のいずれかの操作を行います:

- 管理モードで、PDF をダブルクリックします。
- 管理モードで、PDFを選択して、**Enter**キーを押します。
- 管理モードで、PDFを選択し、**表示** モードボタンを押します。

下の表を参考にして、PDF オプションを設定します。

PDF オプション:

 戻る	前のページを表示します。
 進む	次のページを表示します。
 拡大	PDF をより高い拡大率で表示します。
 縮小	PDF をより低い拡大率で表示します。
 既定のアプリケーションで開く	PDF を既定のアプリケーションで開きます。
 PDF の印刷	PDF を印刷します。
 ページに合わせる	ページを表示領域に合わせて調整します。
 幅に合わせて表示	ページを表示領域の幅に合わせて調整します。
 1 / 26 ページ番号	表示しているページの番号を表示します。
 69% 拡大率	ページの拡大率を表示します。

PDF ドキュメントを印刷するには:

「[画像とドキュメントを印刷する](#)」を参照する。

ホットキー:

	→	フィルムストリップの次の画像を表示します。
	←	フィルムストリップの前の画像を表示します。
	Page Up	ドキュメントの前のページを表示します。
	Page Down	ドキュメントの次のページを表示します。
	Spaceキー	ドキュメントの次のページを表示します。
	Home	ドキュメントの最初のページを表示します。
	End	ドキュメントの最後のページを表示します。
ページに合わせて表示で	↑	ドキュメントの前のページを表示します。
	↓	ドキュメントの次のページを表示します。
	マウスホイールを上回転	ドキュメントの前のページを表示します。
	マウスホイールを下回転	ドキュメントの次のページを表示します。
幅に合わせて表示で	↑	ドキュメントを上スクロールします。
	↓	ドキュメントを下スクロールします。
	マウスホイールを上回転	ドキュメントを上スクロールします。
	マウスホイールを下回転	ドキュメントを下スクロールします。

表示モードで[現像設定]を表示する

[現像設定]ペインを使用すると、[現像]モードで自分の画像に加えられた調整を表示できます。

 画像を現像しないと、[現像設定]ペインには値が一切表示されません。

[現像設定]ペインは以下の手順で開きます:

[表示]モードで、[ペイン]>[現像設定]をクリックします。

[現像設定]は以下の手順で表示します:

- [表示]モードで画像を閲覧しながら、現像された画像を選択します。これは、ステータスバーの右下隅にある 現像済みオーバーレイアイコン によって示されます。 
- [現像設定]ペインでグループを展開し、各調整値を表示します。

現像調整内容のコピーと貼り付け

[現像]モードで実行した調整内容をコピーして、[現像設定]ペインの他の画像に貼り付けることができます。

[現像設定]をコピーして他の画像に貼り付けるには、以下の手順を実行します:

- 画像を選択します。
- [現像設定]ペインで、[コピー]ボタンを押します。
- 調整内容を貼り付ける画像を選択します。
- [貼り付け]ボタンを押します。

画像を復元する

[復元]ボタンを押すと、画像を元の状態に復元することもできます。

画像を元の状態に戻すには、以下の手順を実行します:

1. 画像を選択します。
2. [現像設定]ペインで、[復元]ボタンを押します。

表示モードでプリセットを適用する

さまざまな ACDSee 開発ツールで、設定をプリセットとして保存できます。特定のツールやエフェクトで同じ設定を頻繁に使用する場合に便利です。

ほとんどのツールでは、ACDSee [適用] または [完了] をクリックした時点でのオプション設定が自動的に保存されます。このプリセットは「**最後に使用された設定**」と呼ばれています。いつでも使用できるプリセットを作成するには [現像モードでプリセットを使う](#) を参照してください。

表示モードでプリセットを適用するには:

1. 表示モードで [処理] > [プリセットの適用] をクリックします。
2. プリセットの一覧から希望するものを 1 つ選択します。
プリセットが適用され、自動的に保存されます。



適用したプリセットを元に戻すには、右クリックして [処理]、[オリジナルに戻す] を選択します。



編集モード内で作成されたプリセットは、編集モード内でのみ適用されます。

ブラシ ファイルを表示する/使用する

フォント ファイルやその他のファイルのように、ブラシ ファイルを管理モードで表示することができます。これにより、ACDSeeの他のファイル同様に重要度を設定したり、整理したりできることを意味します。abr は、1 つのファイル内に複数の画像を含むファイル形式のため、表示モードで個々の画像を開く必要があります。



ACDSee では、.abr ブラシ ファイルはこのアイコンで表示されます。

ブラシ ファイルを表示するには:

管理モードで、ブラシ ファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。

- .abr ファイルの最前面にある画像を表示するには、そのサムネイルの上にマウスを移動してポップアップ表示するか、サムネイルをクリックしてプレビュー ペインに表示します。
- .abr ファイルのその他の画像を表示するには、ダブルクリックしてファイルを表示モードで開きます。左手のペインに各画像を表示した形で、表示モードにファイルが開かれます。
- サイドバー上部の下矢印をクリックすると、ブラシ ファイルに含まれている合計画像数が表示されます。
- 特定番号の画像を表示するには、この下矢印をクリックし希望する番号を選択します。

画像間をスクロールするには、サイドバー上部または各画像にある右または左矢印をクリックします:

Adobe Photoshop® でブラシ ファイルを使用するには: ACDSee Adobe Photoshop® との両方を開いた状態で、管理モードのファイル一覧から Photoshop® のウィンドウにファイルをドラッグします。

何も起こっていないかのように見えますが、ドラッグされたファイルは、Photoshop® のブラシ ライブラリにロードされます。新規 ブラシ ファイルを表示するには、ライブラリを開いてから、ペイン下部までスクロールします。



Photoshop® を既定のエディタとして設定すると、PhotoShopでブラシファイルを扱いやすくなります。**Ctrl + Alt + X** キーにより、Photoshop® を開き、ブラシファイルをすぐに使用することができます。

ビデオとオーディオファイルを再生する

ACDSee では、様々なフォーマットのビデオまたはオーディオ ファイルを再生することができます。再生音量の調整やビデオフレームから画像を作成することが可能です。

オーディオまたはビデオ ファイルを再生するには:

管理モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- オーディオまたはビデオ ファイルをダブルクリックします。
- 1 つ以上のファイルを選択して、**Enter**キーを押します。
- 1 つ以上のファイルを選択して、それらのファイルを右クリックした後、**[表示]**を選択します。
- メディア ツールバーを使用して、音量の調整、一時停止、繰り返し、フレームの抽出を行えます。

オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する

表示モードでオーディオまたはビデオ ファイルを開くとすぐに、または管理モードの [プレビュー ペイン](#) で開くと、自動再生されるように設定することができます。

メディア ファイルを自動再生するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**[ツール] メニュー** から **[オプション]** そして **[プレビュー]** をクリックします。
2. **[オーディオおよびビデオクリップの自動再生]** チェックボックスをオンにします。
3. **[OK]** をクリックします。

メディア ツールバー

メディア ツールバーを使用して、頻繁に使用するメディアの表示や編集ツールにすばやくアクセスすることができます。

メディア ツールバーのボタン

	再生	メディア ファイルまたは選択範囲を再生します。メディア ファイルまたは選択範囲の再生中は、一時停止ボタンに変わります。
	フレームの抽出	ビデオフレームをコピー、保存、抽出することのできるメニューを開きます。
	ループ	メディア ファイルまたは選択範囲を繰り返し再生します。



フレームは、現在表示している解像度で抽出されます(ご使用中のスクリーンの解像度)。

動画のフレームを画像として保存する

動画ファイルから個々のフレームを抽出して、静止画として保存することができます。

ビデオのフレームを画像として保存するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - ビデオの再生中に、保存したいフレームで [一時停止] ボタンをクリックします。
 - 抽出したいフレームが今まさに再生中の場合、手順 2 に進みます。
- 選択範囲**と**メディアコントロール**のツールバーの**[フレームの抽出]** ボタンをクリックします。
- [現行フレームの抽出] ダイアログ ボックスで、ファイルの保存先を選択します。
- [ファイル名] フィールドにファイル名を入力します。
- [ファイルの種類] ドロップダウン リストからファイル フォーマットを選択します。[オプション] ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットに関連したオプションを選択または変更します。
- [保存] をクリックします。

画像に音声を追加/編集する

ACDSee は、オーディオが埋め込まれた画像やオーディオ ファイルと関連付けられた画像をサポートしています。

オーディオが埋め込まれた画像とは、オーディオがファイル内に保存されている TIFF または JPEG 画像を指します。画像にオーディオを追加することで、画像ファイル内にオーディオを直接埋め込むことができます。

オーディオ ファイルと関連付けられた画像とは、WAV ファイルとペアになっている画像のことです。画像ファイルと関連付けられたオーディオ ファイルは、同じフォルダ内に同じファイル名で保存されます。WAV ファイルと画像に同じファイル名を付けて同じフォルダ内に保存するか、画像にオーディオを追加することで、画像とオーディオを関連付けることができます。

-  **関連付けられた画像ファイルまたはオーディオファイルを移動する、あるいは名前を変更する場合、同じフォルダ内にある両方のファイルの名前を変更しなければなりません。そうでなければ、画像とオーディオの関連付けが解除されてしまいます。なお、この法則は TIFF や JPEG などオーディオの埋め込まれた画像には当てはまりません。**

画像にオーディオを追加するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
- [ツール] から [画像のオーディオ]、[編集] をクリックします。
- [オーディオの編集] ダイアログ ボックスで、[参照] ボタンをクリックします。
- .WAV ファイルを選択し、[保存] をクリックします。
- オーディオ ファイルの一部を切り捨て、あるいはクリップしたい場合、[マーカーを使用する] チェックボックスをオンにして、[開始マーカー] と [終了マーカー] のスライダをドラッグします。以下のいずれかの操作を行います。
 - オーディオファイルの始まりと終わり(開始マーカーと最終マーカーの範囲外)を削除するには、[切り捨て] ボタンをクリックします。
 - オーディオファイルの一部(開始マーカーと最終マーカーの範囲内)を削除するには、[クリップ] ボタンをクリックします。
- ファイルのプレビューを聞くには、[再生] ボタンをクリックします。
- [OK] をクリックします。

画像にオーディオを録音する

オーディオ ファイルを録音して、画像に追加することができます。JPEG または TIFF 画像にオーディオを追加する際、オーディオは画像に直接埋め込まれます。その他のファイル フォーマットでは、オーディオは画像に関連付けられます。オーディオ ファイルは画像と同じフォルダ

に保存され、画像が表示される際に再生されます。

オーディオ ファイルを録音し画像に追加するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
2. [ツール]から[画像のオーディオ]、[編集]をクリックします。
3. [オーディオの編集] ダイアログボックス内で、以下を参照にして[サウンドの録音設定] オプションを設定します。
4. [録音]ボタンをクリックして、次のいずれかを実行します。
 - マイクを使用してサウンドを録音します。
 - コンピュータのオーディオ プレイヤーでオーディオを再生します。
5. [録音] ボタンをクリックし、録音を停止します。
6. [名前を付けて保存] ボタンをクリックし、オーディオ ファイルを保存します。
7. [サウンド ファイルの保存] のダイアログボックスで、[ファイル名] のフィールドにファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。
8. [OK]をクリックします。

サウンドの録音設定 オプション

キャプチャ デバイス	オーディオの録音に使用するデバイスを指定します。
入力フォーマット	サウンドの録音に使用するサンプルレートとオーディオ タイプを指定します。表示されるフォーマットは、コンピュータにインストールされているサウンド カードにより異なります。
上書き	録音されたオーディオを[開始 マーカー]のスライダの位置に上書きします。
ミックス	既存のオーディオ ファイルと録音を結合します。
開始 マーカーの位置に挿入	開始 マーカーの位置に録音を挿入します。[開始 マーカー] スライダをドラッグし、位置を選択します。
サウンド ファイルに追加	既存のオーディオ ファイルに録音を追加します。
サウンド ファイルの置換え	オーディオ ファイル全体を新しい録音と置換えます。

画像とドキュメントを表示モードで印刷する

以下の ACDSee の印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応しているさまざまな用紙サイズ、印刷方向、解像度で画像やファイルを印刷できます。さらに、コンタクト シートに、ヘッダー、フッター、各画像用のキャプションを付けて作成して印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新される画像ファイルのプレビューを表示して、ページ上の配置を確認することができます。また、各画像の出力サイズの調整、各画像の複数印刷、各ページの画像の印刷方向の変更も実行できます。

1つの画像を印刷するには:

1. 表示モードで、印刷したい画像を選択します。
2. [ファイル]メニュー から、[画像を印刷する]をクリックします。
3. [フォーマット]で印刷サイズを選択します。
4. [プリンタ オプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定] タブでは、用紙上の 画像の位置や余白の幅を指定したり、写真毎の印刷部数を指定したりします。
6. [調整]タブで、設定を調整して、プリンタが露出、コントラスト、シャープネスを処理する方法を補正します。

7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。
8. **印刷**をクリックします。

すべての画像を印刷するには:

1. [表示]モードで、[ファイル]、[すべての画像を印刷]をクリックします。
2. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します:
 - [ページ全体]を選択し、[フォーマット]リストから印刷サイズを選択します。
 - [コンタクトシート]を選択し、[コンタクトシートの形式]オプションを設定して、コンタクトシートの外観を定義します。
 - [レイアウト]を選択し、選択可能なレイアウトオプションを1つ選択します。
3. [プリンタ オプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
4. [ページ設定]タブでは、ページ上の画像の位置や余白の幅を指定します。
5. [調整]タブで、設定を調整して、プリンターが露出、コントラスト、シャープネスを処理する方法を補正します。
6. 各画像の印刷部数を指定します。[ページ全体]または[コンタクトシート]を印刷する場合は、[ページ設定]タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト]を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。[ページ全体]または[コンタクトシート]を印刷する場合は、キャプション、ヘッダーまたはフッターのみを追加できます。
8. **印刷**をクリックします。

ドキュメントファイルを印刷するには:



ドキュメントは、表示モードで表示されている状態ではなく、Microsoft Office™ で表示した時のような状態で印刷されますのでご注意ください。

1. 印刷したいドキュメントを選択します。
2. [表示]モードで、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックします。
3. [プリンタ]ドロップダウンメニューから使用したいプリンタを選択し、[部数]フィールドに印刷したい部数を入力します。
4. 設定セクションは、全てのページを印刷、または印刷範囲をカスタム印刷のとなりのフィールドに入力して選択することができます。
5. ドロップダウンメニューから、片面印刷か両面印刷、印刷方向、1シート当たりのページ数、丁合いの有無、用紙サイズを選択します。
6. **印刷**をクリックします。

PDF ドキュメントを印刷するには:

1. 印刷する PDF を選択します。
2. 表示モードで、[ファイル] から [印刷] をクリックするか、または PDF オプションの印刷 ボタンを押します。 
3. フォーマット リストから印刷サイズを選びます。
4. [プリンタ オプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、印刷方向、印刷したい部数、ページの印刷したい範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定] タブで、ページの位置 と余白のサイズを指定します。
6. 各画像の印刷部数を指定します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、[ページ設定] タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト] を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、キャプション、ヘッ

ダーまたはフッターのみを追加できます。

8. **印刷**をクリックします。

表示モードとフォルダを同期する

[フォルダと同期] オプションを使用すると、表示モードで表示される画像を変更できます。

フォルダを同期するには:

1. 表示モードで、[ファイル] から [フォルダの同期] をクリックします。
2. 同期したいフォルダのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを探します。
3. 下記で解説されているように、[新規画像] オプションをオンまたはオフにします。
4. [OK] をクリックします。

新規画像オプション

新規画像をすぐに表示する	フォルダに追加された新規画像をすぐに表示します。このオプションがクリアされると、新規画像はスライドショーの最後に追加されます。
現行ファイルは無視する	転送中のアプリケーションがファイルの移動またはダウンロードを終了するまで、新規ファイルはスライドショーに追加されません。
ファイル名で並べ替える	スライドショーに表示される画像をファイル名で並べ替えます。

フォルダの同期を解除するには:

表示モードで、[ファイル] から [フォルダの同期] をクリックします。

画像をデスクトップの壁紙に設定する

お気に入りの画像を Windows デスクトップの壁紙に設定することができます。壁紙の画像を画面に合せて自動拡大したり、以前使用した壁紙を復元したりすることも可能です。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで、画像を選択し、[ツール] メニューから [壁紙の設定] をクリックします。
 - 表示モードで、[ツール] メニューから [壁紙の設定] をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **中央に表示**: 画像を画面の中央に配置します。画像が画面より大きい場合、画面の大きさに合わせて縮小します。
 - **並べて表示**: デスクトップ全体を覆うように、画像をタイル状に並べて表示します。
 - **拡大表示**: スクリーンに合わせて画像を拡大表示します。

選択した画像は、「ACD Wallpaper.bmp」として Windows フォルダに保存されます。ACDSee が、コントロールパネルの画面プロパティの壁紙設定を自動的に変更し、画像を表示します。

壁紙を画面に合わせて自動的に拡大するには:

1. [ツール] から [オプション] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[全般] をクリックします。

3. [全般] ページで、**[壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する]** チェックボックスを選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

以前表示した壁紙を表示するには:

[ツール]、**[壁紙の設定]**、**[元に戻す]**の順にクリックします。

オフライン画像を表示する

ACDSee は、CD または他のリムーバブル メディアに保存された画像のサムネイルやデータベース情報を、フォトディスクとして保存します。そのため、CD-ROM ドライブにディスクが入っていないなくてもそれらの画像のサムネイルを参照したり、画像情報を表示したりすることができます。

フォトディスクを追加するには:

1. 画像を含むディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
2. 管理モードで、**[ファイル]メニュー** から、**[新規]**、**[フォトディスク]** とクリックします。
3. **[新規ディスク]** ダイアログ ボックスで、「**タイトル**」フィールドにディスク名を入力し、**[OK]** をクリックします。
フォルダペイン内の **[オフライン メディア]** から、作成したフォトディスクをブラウズすることができます。



フォトディスクとして ACDSee に追加されたディスクから画像を追加または削除する場合、データベースに保存されている情報を更新することができます。CD-ROM ドライブにディスクを挿入し、フォルダ ペインでディスク名を右クリックして、**フォトディスクの更新**を選択します。

既定では、ACDSee はフォトディスクをシリアル番号で区別します。特に ACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポートあるいは変換する場合、この設定がフォトディスクで作業するためのもっとも確実な設定と言えます。

しかしながら、マルチセッションのディスクを作業中、あるいは近い将来そういったディスクと作業する予定がある場合などでは、ディスクの内容が変更されるたびにシリアル番号が再生成、あるいは変更されてしまう、という可能性があります。そのため、ボリュームラベルはマルチセッションのフォトディスクを識別するための方法として使用されます。

フォトディスクを再結合する

フォトディスクを識別するために設定されたオプションによっては、ACDSee で識別できないフォトディスクが見つかることがあります。これは、フォトディスクの識別にシリアル番号が使用されていないが、マルチセッションのディスクを挿入した場合に発生します。ACDSee マルチセッション ディスクを更新した際にシリアル番号も変更されたために、で認識することができません。

このような場合は、再結合オプションを使用して ID 情報を更新し、ディスクと適切なデータベース情報を関連付けます。

フォトディスクを ACDSee データベース情報と再結合するには:

1. **[フォトディスクの再結合]** ダイアログボックスから、現在のディスク情報に目を通して、ドライブに適切なディスクが挿入されているか確認します。
2. **[フォトディスクの名前]** 一覧から、現在のディスクと再結合したいフォトディスクの記録を選択します。
3. **再結合** をクリックします。

ACDSee クイックビューを使う

ACDSee クイックビュー は、ACDSeeを開かずに画像を素早く表示できる画像ビューアです。例えば、誰かがメールで送ってきた画像を表示したいとします。対象の画像をダブルクリックするとクイックビュー で開き、ACDSeeの **[表示]** モードの簡易版のような感じで画像を表示することができます。

クイックビュー では、画像を素早くスクロールしたり、一時的に回転したり、拡大/縮小表示することができます。クイックビュー で表示中に気に入った画像があれば、それをデスクトップの壁紙に設定したり、印刷したりすることも可能です。

クイックビュー からACDSeeへの切り替えも簡単です。[管理]、[表示]、[現像] および [編集] の各モードで画像を開くオプションも用意されています。

[表示] モードでキーボードやマウスのショートカット操作に慣れている方は、クイックビュー でも同様にほとんどのショートカットが使用できます。

クイックビュー で画像を開くには:

1. 次の ACDSee を閉じた状態で、画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラ内またはメールに添付された画像をダブルクリックします。
2. 下記の表示オプションを使用して画像を表示します。

ACDSee クイックビュー 表示オプション

	前へ	前の画像を表示します。
	次へ	次の画像を表示します。
	左に回転	画像を左へ回転します。
	右に回転	画像を右へ回転します。
	拡大	画像を拡大表示します。
	縮小	画像を縮小表示します。
	削除	画像を削除してごみ箱に移動します。

 [Esc]を押すとACDSeeを閉じることができます。

ACDSeeで画像を開くには以下の手順を実行します:

[管理]、[表示]、[現像]、または[編集]モードをクリックします。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. デスクトップの壁紙に設定したい画像がクイックビュー で表示されるまで**前へ**または**次へ**をクリックします。
2. [ツール]、[壁紙の設定] をクリックし、次のいずれかを選択します。
 - **中央に表示**: デスクトップの中央に画像を表示します。
 - **並べて表示**: デスクトップ全体を覆うようにファイルを複数のタイルとして並べて表示します。画像のサイズが小さい場合は、複数枚の画像がデスクトップに表示されます。画像のサイズが大きい場合は、1、2枚の画像がデスクトップに表示されます。
 - **拡大表示**: 画像の縦横比を保持したまま拡大表示して、デスクトップを可能な限り覆うように表示します。

デスクトップの壁紙を既定に戻すには:

[ツール]> [壁紙の設定]> [元に戻す]の順にクリックします。

画像は以下の手順で印刷します:

1. [ファイル]に続いて[印刷]をクリックします。
2. [形式]から[印刷サイズ]を選択します。
3. [プリンタ オプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
4. [ページ設定]タブでは、用紙上の画像の位置や余白の幅を指定したり、写真毎の印刷部数を指定したりします。
5. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。
6. 印刷をクリックします。

クイックビューでWindows Touch Gestures™を使用する

Windows Touch Gestures™対応のデバイスをお持ちの場合、デバイスをACDSee クイックビュー と併せて使用することで素早く簡単に写真を表示できます。

クイックビューでWindows Touch Gestures™を使用するには:

ACDSee クイックビュー で画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を1枚ずつスクロールします。
- 一方方向にゆっくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップするとACDSeeで画像が開きます。
- 画面に指を2本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。
- 画像を拡大したあとは、画像を指でパンすることができます。元に戻すには、[表示]>[ズーム]>[画像を合わせる]を選択します。

別のアプリケーションでファイルを表示する

ACDSee内から別のプログラムでファイルを開くことができます。例えば、ドキュメントを作成したアプリケーションでそのドキュメントを開くことができます。

シェル コマンドを使用するには:

1. 管理モードで、[ファイル]、[シェル]をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **開く:** Windows がそのファイル拡張子と関連付けているアプリケーションを使ってファイルを開きます。
 - **編集:** 既定のシステム アプリケーションでファイルを開くか、アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開きます。

オリジナルの表示

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。

オリジナル画像を表示する手順:

1. 表示モードで、現像または編集された画像を選択します。
2. 画面下のツールバーの **オリジナルを表示** ボタンをクリックし、ホールドします。
マウスボタンを放すと、現像済みまたは編集済みの画像が表示されます。

変更の確定

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。現像または編集した画像を保持することし、オリジナル画像として保存する場合は、画像に加えた変更を確定します。こうすることで保存されていたサイドカーファイルやオリジナルは削除され、画像が現像済みまたは編集済みであることを示す現像済みまたは編集済みのオーバーレイアイコンが消えます。

画像に加えた変更を確定するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、現像または編集された画像を選択します。
2. [プロセス] > [変更を確定]をクリックします。

画像の色深度を変更する

表示モードで、画像の色深度を変更することができます。色深度とは、画像に含まれる色の1段階の範囲のことです。

画像の色深度を変更するには:

表示モードで[ツール] > [修正] > [色深度の変更]を選択し、下記で説明するオプションの1つを選択します。

色深度オプション

モノクロ	白黒2色のパレット
16色グレースケール	16色のグレースケールパレット
256色グレースケール	256色のグレースケールパレット
16色カラー	16色パレット
256色カラー	256色パレット (GIF形式では既定値として256色を使用しています)
High Color	32,768色パレット
True Color	人間が識別可能なすべての色 16,777,216色のパレット
16ビットグレースケール	16ビットのグレースケール
48ビットカラー	48ビットのカラーパレット

では、ACDSee 画像をこれらの色深度に変換することができます。しかし、特定の画像エンハンスメント ツール、フィルタ、ブレンド、調整のオプションを使用するには、画像がハイカラーかトゥルーカラーである必要があります。元がハイカラーまたはトゥルーカラーではない画像を編集するには、画像を変換して編集した後に元の色深度に戻してください。

画像をズームする

表示モードで画像を表示する際、ズーム ツールを使用して、表示中の画像サイズを拡大または縮小することができます。画像が、表示モード ウィンドウのサイズよりも大きくなった場合、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。



RAW 画像をズームする際、カラー、ライト、ディテールが変化して見えることがあります。これは、**オプションダイアログボックスの全般タブで埋め込みプレビューチェックボックスを選択している**と発生する場合があります。このオプションにより画像の埋め込み JPEG が表示されますが、埋め込み JPEG の解像度を超えてズームインすると、ACDSee そのズームレベルで画像を表示できるように、RAW 画像がデコードされます。画像の ACDSee デコード処理中は、ズームツールの反応が遅くなる場合があります。詳細については、[RAW 画像を表示](#) をご覧ください。

画像を拡大または縮小するには:

- 画像を一回クリックするごとに、既定の表示サイズと原寸サイズの表示が切り替わります。
- [ツール] メニューから、[ズーム]をクリックし、そのズームメニューのオプションを1つ選択します。

ズームメニューのオプション

拡大	画像を拡大します。
縮小	画像を縮小します。
原寸サイズ	オリジナルの画像サイズで画像を表示します (100%)。
ウィンドウに合わせて表示する	表示モード ウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。
幅に合わせて表示	表示モード ウィンドウの幅に合わせて画像を表示します。
高さに合わせて表示する	表示モード ウィンドウの高さに合わせて画像を表示します。
ズームの固定	現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用します。ズーム レベルを変更すると、変更したズームレベルが表示するすべての画像に適用されます。
倍率指定	ズームレベル を選択することができるダイアログ ボックスが表示されます。
パンの固定	画像の パン 領域を固定します。



画面に合わせて表示するを選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。



既定の画像表示方式を変更するには、**ツールメニュー** から**ズーム** を選択し、原寸表示、画面に合わせて表示、幅に合わせて表示、高さに合わせて表示のいずれかを選択します。



ズーム固定 ボタンを切り替えて、ツールバーからズーム固定に簡単にアクセスすることができます。



ズームレベルを設定する

[ズームレベルの設定] ダイアログ ボックスを使って、表示モードのズーム レベルを設定することができます。

特定のズーム レベルを設定するには:

- [ツール] メニューから [ズーム] そして [倍率指定...] を選択します。
- [ズームレベル] 領域から、次のいずれかを選択します。
 - 画面に合わせて表示**: ウィンドウ全体に画像が収まるように、画像をズームします。
 - 幅に合わせて表示**: ウィンドウ幅に合わせて画像をズームします。
 - 高さに合わせて表示**: ウィンドウの高さに合わせて画像をズームします。
 - 倍率指定**: ズーム倍率を指定します。数値をフィールドに入力するか、またはドロップダウン リストからズーム レベルを選択します。
- この設定を表示モードのズームレベルの既定値として使用するには、[このズーム レベルで固定する] チェックボックスをオンにします。表示モードでは、すべての画像が指定されたズーム レベルで表示されます。
- [OK] をクリックします。



画面に合わせて表示を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押すことで前後の画像を表示できるようになります。

画像を自動で拡大/縮小する

オプション ダイアログ ボックスの[表示] ページの設定を使用して、ACDSee ウィンドウのサイズに合わせて画像を自動的に拡大または縮小することができます。ズーム オプションを組み合わせたときの表示についての詳細は、下の「ズーム モードとサイズ変更の結果」の表をご参照ください。

画像を自動拡大 / 自動縮小するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、[ツール] > [オプション]をクリックします。
2. オプション ダイアログ ボックスで[表示モード] > [表示]をクリックします。
3. [ズーム オプション]領域で、[ズーム モードの既定値]ドロップダウン リストから次のオプションを選択します。
 - **実寸表示**: 画像のオリジナルサイズを保持します。
 - **幅に合わせて表示**: 表示モード ウィンドウの幅に合わせて、画像をサイズ変更します。
 - **高さに合わせて表示**: 表示モード ウィンドウの高さに合わせて、画像をサイズ変更します。
 - **ウィンドウに合わせて表示**: 表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、画像をサイズ変更します。
4. [サイズ変更]ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **縮小のみ**: 表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像を縮小します。
 - **拡大のみ**: 表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、小さな画像を拡大します。
 - **拡大または縮小**: 表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像は縮小、小さな画像は拡大します。
5. [OK]をクリックします。

ズームモードとサイズ変更の結果

	ウィンドウに合わせて表示	幅に合わせて表示	高さに合わせて表示
縮小のみ	表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像を縮小します。 表示モード ウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、表示モード ウィンドウの幅に合わせて縮小されます。 表示モード ウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、表示モード ウィンドウの高さに合わせて縮小されます。 表示モード ウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大のみ	小さな画像は、表示モード ウィンドウのサイズに合わせて拡大されます。 表示モード ウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像は、表示モード ウィンドウの幅に合わせて拡大されます。 表示モード ウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像は、表示モード ウィンドウの高さに合わせて拡大されます。 表示モード ウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大または縮小	表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像は縮小、小さな画像は拡大されます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、表示モード ウィンドウの左右に合わせてます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、表示モード ウィンドウの上下に合わせてます。



[ウィンドウに合わせて表示]を選択すると、キーボードの左右の矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する

ナビゲータ ペインを使って、表示モードの表示領域よりも大きく拡大された画像のサムネイルを表示します。ナビゲータでは、表示モード内で表示されている画像の領域は、マーカーで囲まれます。

ナビゲータ ペインを使用するには:

1. [表示]モードで、[ペイン] > [ナビゲータ]をクリックします。
2. ナビゲータ ペインのスライダをドラッグして、表示モードで表示する画像の拡大率を設定します。
3. ナビゲータ ペインのマーカーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

クイック ナビゲータ ペインを使用するには:

1. [表示]モードで、下にあるツールバーの [**ナビゲータ**] ボタンをクリックして長押しします。
2. ナビゲータ ペインのマーキーをドラッグして、表示モードで見た画像の領域に移動します。

拡大された画像のパンニング

表示モードでは、大きい画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分をパンニングすることができます。のウィンドウ サイズよりも大きな画像を扱う場合は、[スクロール] ツールを使うことになり、カーソルが手の形に変わります。ACDSee 画像をパンニングするには:

画像をパンニングするには:

以下のいずれかの操作を行います:

- 表示したい画像の部分を中心にドラッグします。
- 矢印キーを使って移動します。**Ctrl** キーをホールドすると、移動の速度が速くなります。一方、**Shift** キーをホールドすると、移動の速度が遅くなります。

パンを固定する

[パンの固定]設定を使用すると、複数の大きい画像を表示する際、画像の同じ部分を表示モードの中心として自動表示することができます。

パンを固定するには:

1. 表示モードで、大きい画像の上をパンニングし、表示したい部分を指定します。
2. **ズーム** メニューを使用して、画像に使用したいズームレベルになるまで拡大します。
3. [**ツール**]、[**ズーム**]、[**ズーム固定**]とクリックして、現在のズームレベルを維持します。
4. [**ツール**]、[**ズーム**]、[**パンの固定**]とクリックします。

ビューアで次の画像を表示する際、画像の同じ部分が自動拡大/自動縮小されてビューアの中心に表示されます。

画像の特定領域を拡大表示する

虫めがねペインでは、画像の特定領域を拡大表示することができます。

虫めがねペインを使用するには:

1. [表示]モードで、[ペイン] から [**虫めがね**] をクリックします。
2. 画像の任意の領域にカーソルを移動して、その領域を虫めがねペインで表示します。
3. 虫めがねペインの設定を変更するには、次のいずれかを実行します。
 - 虫めがねペインのスライダをドラッグして、拡大率を設定します。
 - [**固定**] チェックボックスをオンにして、画像の元のサイズにスライダの設定を適用します。[**固定**] チェックボックスをオフにして、[表示]モード内で拡大した画像の倍率にスライダの設定を適用します。
 - [**スムーズ**] チェックボックスをオンにして、画像の拡大部分にアンチエイリアスを適用します。または、[**スムーズ**] チェックボックスをオフにして個別のピクセルを表示します。

Chapter 6: 現像モード

現像モードでは、RAW、JPEG およびその他のファイル形式の非破壊的処理ができます。RAW 画像は [現像] モードで調整を行うことをお勧めします。

[現像] モードでは次の作業が可能です：

- **画像の調整**：露出、ホワイトバランス、ライティング、色、トーンカーブ、ソフトフォーカス、効果、スプリットトーン、切り抜き後の周辺光量補正などのツールの使用や、RAW 画像の出力色空間の設定を行います。
- **ディテールの調整**：シャープネス、ノイズ除去、スキントーン、色収差の補正などのツールを使用します。
- **ジオメトリの修正**：レンズの歪み、回転 & 傾きを直す、透視、トリミング、ヴィネット補正などのツールを使用します。
- **修復**：赤目補正ツールまたは画像の修整ツールが利用可能です。

現像モードを使用する

「現像」で画像を調整しても、オリジナルファイルが変更されることは決してありません。変更は別のファイル内に保存され、画像を開くたびにそれらの変更が適用されるという仕組みになっています。そのため、画像の非破壊編集処理を行うことができるので、画像調整を出来る限り「現像」で行うようにお勧めします。

現像済みの画像を「現像」モードで開くと、最後にその画像を処理した時の設定で開かれます。そのため、いつでも画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、調整したりすることができるため大変便利です。

現像設定の保存状況についての詳細は、[\[画像に加えた変更内容のACDSeeによる保存方法\]](#)をご覧ください。

画像を現像する

画像を現像するには：

1. [現像]モードを選択します。
2. [現像]の[調整]タブで、[全般]、[ホワイトバランス]、[Light EQ™]、[カラーEQ]、[トーンカーブ]、[ソフトフォーカス]、[効果]、[カラーLUT]、[スプリットトーン]、[クロップ後ビネット]を選択します。RAWファイルの場合は[出力カラースペース]を選択します。
3. [詳細]タブで、[シャープネス]、[ノイズ除去]、[スキン調整]、[色収差]を選択します。
4. [ジオメトリ]タブで、[レンズ補正]、[回転と傾き]、[遠近法]、[切り取り]、[ビネット補正]を選択します。
5. [修復]タブでは、[修正]または[赤目補正]をクリックします。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. [完了]をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**：変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。

- **破棄**: 変更を破棄します。
- **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **[保存]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **[エクスポート]**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**[編集] | [コピー]** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイルフォーマットでは、**[保存]** は利用できません。

オリジナルの設定に戻す

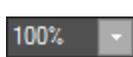
現像で行ったすべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。詳細については、[\[元の画像を復元する\]](#)を参照してください。

ヒストグラムと画像の表示コントロールについて

画像の現像中に、モードの右下に位置しているズームコントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。



露出の調整中は、**[露出警告]**  および **[ヒストグラム]**  プレビューを開いておく非常に便利です。ヒストグラムの下に、露出オーバーと露出アンダーのピクセルがパーセンテージで表示されます。

<p>ヒストグラム</p> 	<p>現在の画像のヒストグラム プレビューを表示します。ヒストグラム プレビューは、画像に見られるレッド、グリーン、ブルーのカラーチャンネルを表しています。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。ヒストグラムが有効の場合にはアイコンがブルーに、無効の場合にはアイコンがグレーに変わります。</p> <p>ヒストグラムの下部には、画像のハイライト部分の詳細 ▲ や暗い部分の詳細 ▼ が消失した場合に通知としてアイコンが表示されます。これらの 2 つのアイコンの横にある数値は、シャドウまたはハイライトで失われているピクセルをパーセンテージで示したものです。</p>
<p>シャドウとハイライト</p> 	<p>クリッピングを引き起こしているシャドウとハイライトが表示されます。このアイコンをクリック、またはキーボードの E キーを押すと、画像の露出オーバーまたは露出アンダー領域がハイライトで表示されます。シャドウ&ハイライト ツールが有効の場合にはアイコンがイエローに、無効の場合にはアイコンがグレーに変わります。</p>
<p>元に戻す/やり直し</p> 	<p>[元に戻す] ボタンを使用して、スライダーごとあるいは調整内容ごとに変更を破棄します。[やり直し] を使用すると、[元に戻す] をクリックする前に選択したオプションに戻ります。</p>
<p>リセット</p> 	<p>選択した設定を破棄し、各グループに設定された規定値に戻します。グループの1つを使用して変更を適用している場合は、リセット ボタンがブルーに変わります。リセット ボタンをクリックして、画像を既定設定に戻します。</p>
<p>プレビュー</p> 	<p>グループ内で行った変更をオン/オフで切り替え表示することができます。このボタンは各グループに搭載されているため、各グループの現像設定を目で確認することが可能です。アイコンが緑色ならグループの変更が表示されます。グレーのアイコンは変更が非表示であることを示しています。</p>
<p>現像の設定</p> 	<p>最後に保存された状態、既定値、あるいは最後に使用された設定にリセットされます。自分で設定した内容をプリセットとして保存、コピー、貼り付けすることもできます。</p>
<p>画面に合わせて表示</p> 	<p>画像をフルスクリーンで表示します。F キーを押してフルスクリーン表示に切り替えます。[現像] モードに戻るには、いずれかのキーを押します。</p>
<p>実際のサイズ</p> 	<p>現行の画像を原寸に戻します。</p>
<p>ナビゲータ</p> 	<p>ナビゲータ アイコンは、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされている場合にのみ表示されます。ナビゲータ アイコンをクリックすると、画像の小さな複製が表示されます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の一部領域上でカーソルを離して決定します。</p>
<p>画像に合わせて</p> 	<p>現像モードの領域に合わせて画像を縮小します。</p>
<p>オリジナルの表示</p>	<p>変更をオン/オフで切り替えて、オリジナルと比較することができます。</p>
<p>ズーム スライダー</p> 	<p>右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。</p>
<p>ズーム ドロップダウンリスト</p> 	<p>ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。</p>

画像を表示する

スクリーンの下にあるフィルムストリップから画像をクリックして、他の画像を表示することができます。あるいは、[完了] ボタンにある矢印をクリックして現像する画像を選択します。

表示をカスタマイズする

自分の作業状況に合わせて、[現像]と[編集] ペインを切り離すことができます。

また、ペイン内でグループを展開、折りたたむかを指定することも可能です。[表示]メニューから以下に挙げる項目を選択します。

- **すべてのグループを展開表示**: ペイン内のグループすべてを展開して表示します。
- **すべてのグループを折りたたむ**: 開かれているグループすべてを折りたたみます。
- **グループの自動折りたたみ**: このオプションはデフォルト設定です。作業中のグループを開いたままで、その他のグループは自動的に折りたたんで表示されます。ペイン内でグループ間をスクロールする必要がないため、作業しやすい設定と言えます。
- **フィルム ストリップ**: フィルム ストリップのオンとオフを切り替えます。

画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする

ACDSeeを使用して、画像を複数の画像フォーマットと解像度にエクスポートすることができます。

画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートするには:

1. [現像] モードで、希望する現像設定を選択します。
2. [保存] をクリックし、[エクスポート] を選択します。
3. [エクスポート] ダイアログ ボックスでの選択の仕方は、以下の表をご確認ください。

エクスポート オプション

保存先	ソース フォルダ内	ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。 [新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスを選択すると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。
	フォルダを指定	このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。
ファイル名	テンプレートを使って名前を変更する	テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。
	テンプレート	[テンプレートを使って名前を変更する] チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。
	テンプレートフィールド	ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク (*) を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ (#) を使用します (複数可)。 ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
	挿入 メタデータ フィールド	名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 [テンプレート] フィールドにカーソルを合わせ、[メタデータを挿入] をクリックすると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが開きます。挿入したいメタデータを選択して[OK] をクリックします。
	挿入 連続する番号	テンプレートに挿入されたシャープ (#) は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。
	挿入 オリジナルのファイル名	テンプレートに挿入されたアスタリスク (*) は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。
	挿入 連続する番号オプション	最初の文字または番号を指定します。
	開始番号	
フォーマット	ファイルフォーマット	エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。
	フォーマットの設定	[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。
	ピクセル フォーマット	選択したフォーマットの色深度を指定します。
	色空間情報	[色空間情報] チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。
出力サイズ	画像のサイズを変更する	このオプションを選択すると画像のサイズを変更することができます。次のオプションから選択してください。
	サンプル変更方式	このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Box: 画像のサイズを変更した際、目立つタイリングまたはジャギーを表示します。 • Triangle: 画像を適切に拡大や縮小しますが、変更時にシャープなラインを表示します。 • Bicubic: 実際の写真のような画像や、特殊または複雑な画像に適し

	<p>ています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Bell: 画像を滑らかにします。 • B-spline: 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。 • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然に仕上がることもあります。 • Mitchell: 実際の写真のような画像を拡大する際、滑らかに仕上げます。本フィルタを使用すると、[Lanczos]フィルタの不自然な仕上がりと他のフィルタのぼかし効果をうまく調和できます。 • ClearIQZ: Bicubic や Lanczos よりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大において最適な仕上がりになります。
大きさ	このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定したサイズに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
幅と高さ	二つのボックスに入力した値の範囲に収まるよう、エクスポートする画像のサイズを調整するには、このオプションを選択します。
長辺	このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
短辺	このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
解像度	インチまたはcm当たりのピクセル数を指定します。
拡大のみ	指定した高さや幅より小さい画像のみをサイズ変更します。
縮小のみ	指定した高さや幅より大きい画像のみをサイズ変更します。
拡大または縮小	すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
オリジナルの縦横比を保持	オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。 注意: 画像のサイズを長辺または短辺のオプションで変更した場合、元の画像の縦横比が保持されます。
メタデータ	画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。

オプション: エクスポート プリセットの新規作成ボタン  をクリックし、プリセットの名前を入力すると、設定をプリセットとして保存することができます。1つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。

4. [エクスポート] をクリックします。



プリセットを編集するには、リストでプリセットを選択してから内容を変更し、[現在のエクスポート プリセットを保存] ボタンをクリックします。 

現像設定を共有する

現像設定は、他の ACDSee ユーザーと共有できます。共有するには、データベースから処理設定を .rpp 拡張子の付いたファイルにエクスポートします。そして、該当の画像ファイルとその処理設定を、別のユーザーに送信します。ACDSee 受け取ったユーザーは .rpp 設定を ACDSee データベースに保存されます。ACDSee で画像を開くと、送信者ユーザーの設定が適用された形で画像が表示されます。

RAW ファイルの場合、変更は XMP ファイルに格納されます。そのため RAW ファイル用の設定を共有するには、XMP サイドカー ファイルを使用するのが適しています。

現像設定をエクスポートするには:

1. 管理モードで、共有したい画像を選択します。
2. [ツール]メニューから、[データベース]、[エクスポート]、[RPPファイル]をクリックすることもできます。[概要]ダイアログに、エクスポート作業の概要が表示されます。
3. [OK]をクリックします。
4. .rpp ファイルは、ソースとなる画像と同じフォルダ内に保存されます。

画像ファイルと.rpp ファイルを別の ACDSee ユーザーに送信する際、それらの画像ファイルと.rpp ファイルを同一ファイル内に格納するように指示してください。

現像設定をインポートするには:

1. 管理モードで、共有された画像を選択します。
2. [ツール]メニューから、[データベース]、[インポート]、[RPPファイル]をクリックすることもできます。
[概要]ダイアログに、インポート作業の概要が表示されます。
3. [OK]をクリックします。
共有された画像のサムネイルは、処理設定を反映して更新表示されます。

オリジナルファイルを復元する

画像ファイルを一度処理すると、その際使用された設定がデータベース間に保存され、ファイルを開くたびにその設定が適用されます。1つまたは複数の画像から、現像設定を削除することができます。

1 つの画像から現像設定を削除するには:

1. 管理または表示モードで画像を選択します。現像済み画像は  オーバーレイアイコン付きで表示されます。
2. [処理]から[オリジナルに戻す]をクリックします。

 現像済み画像を右クリックして、コンテキストメニューの[処理]から[オリジナルに戻す]を選択することも可能です。

 画像をオリジナルに戻すと、ACDSee データベースに保存されます。

現像設定をコピーアンドペーストする

現像モードでは、設定をそっくりそのままコピーして、他の画像に正確に適用することができます。これにより、同じ行為を何度も繰り返す必要がなくなり、複雑な調整が1回で済み、その設定を無数の画像に適用できます。

 現像設定を プリセット として使用されるように保存して、後で他の画像に適用することもできます。

現像した画像から現像設定をコピーして、他の画像に適用するには:

1. コピーしたい設定を含んでいる画像を [現像] モードで開きます。
2. [編集]メニューから [設定のコピー] を選択します。
3. [設定のコピー]ダイアログボックスで、コピーしたい設定を選択します。
4. [OK]をクリックします。

5. 次のいずれかを実行して、設定を貼り付けたい画像を選択します：
 - フィルムストリップの画像をクリックします。
 - [ファイル] メニューから [次の画像を開く] を選択します。(あるいはPgDnキーを押します)。
 - [ファイル] メニューから [前の画像を開く] を選択します。(あるいはShift + Alt + L キーを押します)。
6. [編集] メニューから [設定の貼り付け] を選択します。



[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、[修復] タブの上に、変更が適用されたことを示す四角いブルーのアイコンが表示されます。

(現像中などの) 画像から現像設定をコピーして、他の画像に適用するには:

1. 現像モードで画像を調整したあと、[現像の設定] ボタンをクリックしてください。
2. [設定のコピー]を押します
3. [設定のコピー]ダイアログボックスで、コピーしたい設定を選択します。
4. [OK]をクリックします。
5. 設定を貼り付けたい画像を右クリックして、次の操作を行ってください：
 - フィルムストリップで、[設定の貼り付け]を選択します。
 - 管理モードで、[処理]、[設定の貼り付け] をクリックします。



[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、[修復] タブの上に、変更が適用されたことを示す四角いブルーのアイコンが表示されます。



ある画像からコピーした設定を異なるサイズの画像に貼り付けた場合は、その設定は貼り付ける画像のサイズに合わせて自動で変更されます。

現像スナップショットを取得する

現像スナップショットを使用すると、現像ワークフロー中のあらゆるポイントで調整を保存できます。調整を行う過程でスナップショットを利用すれば、そのポイントまでの作業をいつでも保存することができます。これにより、好きなだけ編集を続けた後で、いつでも元のバージョンのスナップショットに戻ることができます。プリセットとは異なり、スナップショットは画像に直接保存されるため、[現像] モードを再開してスナップショットを切り替えたり、編集を続けたり、適用したりできます。

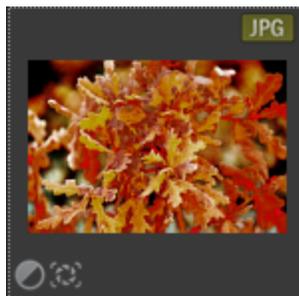
スナップショットを撮影するには:

1. [現像] モードで必要な調整を行います。
2. 現像ペインの一番上にある [スナップショット] を押して、スナップショットペインを表示します。
3. [新しいスナップショット] ボタンを押します。
4. [新規スナップショット] ダイアログでスナップショットの名前を入力し、[OK] を押します。保存したスナップショットがスナップショットペインに一覧表示されます。



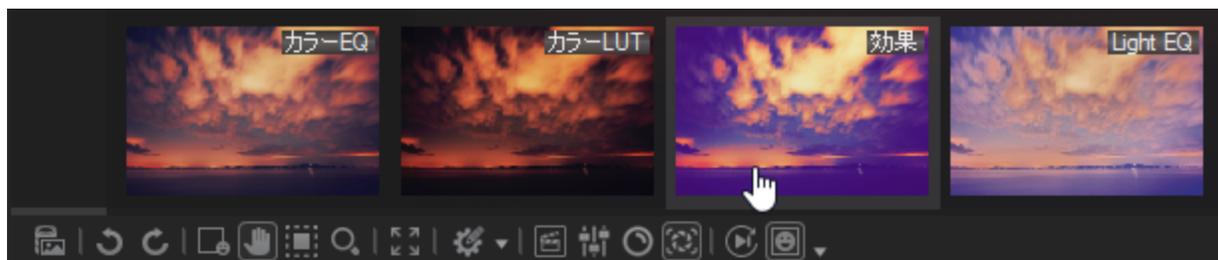


 スナップショットのある画像には、[管理] モードでスナップショットアイコンが表示されます。



スナップショットの閲覧

[表示] モードでは、画像と、その画像に保存されたすべてのスナップショットを閲覧できます。[自動レンズ](#)と同じように、適用を確定することなく閲覧できます。



画像とそのスナップショットを閲覧するには:

1. [表示] モードで画像を開きます。

2. ツールバーで [スナップショット] ボタンを押します。



[スナップショット] ボタンは、[現像] モードで作成した現像スナップショット付きの画像を閲覧する場合のみ表示されません。

3. 画像をプレビューするスナップショットを選択します。



スナップショット閲覧時に、[現像] モードを終了せずに画像の保存済みバージョンへと戻りたい場合は、[現像設定を調整] ボタンをクリック  してメニューから [最後に使用したものを適用] を選択します。

現像モードでプリセットを使用する

同じ現像設定を他の画像にも使用する場合、その設定をプリセットとして保存することが可能です。プリセットを作成しておくことで、変更の作業や操作を何度と繰り返すことなく、変更を簡単に適用することができるため大変便利です。例えば、コントラスト ツールの値を 25 に、中間調ツールの値を -8 にして画像を補正することが多い場合、この設定をプリセットとして保存しておけば画像のコントラストを素早く変更することができます。また、プリセットを使用することで、設定が一環して適用されることとなります。1 つの現像設定、または複数の現像設定をプリセットとして保存することが可能です。[調整]、[詳細]、[ジオメトリ]、および[修正]タブのすべての[現像]設定でのプリセットを保存することができます。または、[調整]タブのすべての設定など、1つのタブ内の全グループの設定のプリセットを保存できます。または、Color EQグループなど、個別グループのみのプリセットを保存できます。

- ! プリセットは幾つでも適用することができます。プリセットを使用するたび、以前行われた設定の上にその設定が新しく適用されます。

プリセットを作成して適用する

以下の場所で現像設定ボタン  をクリックして、プリセットを作成し、アクセスするようにすることができます。

ペインの上部



最上位の現像設定ボタンにより、調整、ディテール、ジオメトリ、修正のタブで行われたすべての現像設定を保存します。このレベルで作成されたプリセットは、管理モードと表示モードからアクセスすることができます。このレベルで作成されたプリセットは、表示モードからもアクセスすることができ、1つの画像を現像するために使用することが可能です。

タブ:調整、ディテール、ジオメトリまたは修復



任意のタブで作成されたプリセットは、そのタブ内の異なるグループで使用された様々な現像設定を含みます。左の例では、調整タブから現像設定を保存する設定ボタンが表示されています。グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です。

グループ

いずれかのグループで作成されたプリセットは、そのグループ内で使用された様々な現像設定を含みます。左の例では、全般グループから現像設定を保存する設定ボタンが表示されています。グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です。



グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です:

1. 現像モードで画像に必要な調整を行います。
2. ペインの上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
3. メニューから [プリセットの保存] を選択します。
4. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、**すべてを選択し**、使用したすべての設定を保存するか、プリセットとして保存したい設定を選択します。
5. プリセットの名前を入力します。
6. [OK]をクリックします。

タブからプリセットを作成するには:

1. 現像モードで、[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、または[修正]タブを選択します。
2. タブで画像に必要な調整を行います。
3. タブの右上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
4. メニューから [プリセットの保存] を選択します。
5. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、プリセットに使用する名前を入力します。
6. [OK]をクリックします。

グループからプリセットを作成するには:

1. 現像モードで、[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、または[修正]タブを選択します。
2. グループを選択して必要な調整を行います。
3. グループの右上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
4. メニューから [プリセットの保存] を選択します。
5. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、プリセットに使用する名前を入力します。
6. [OK]をクリックします。

1つの画像にプリセットを適用する

現像モードで、1つの画像にプリセットを適用するには:

1. ペイン、タブまたはグループの上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. メニューから、使用したいプリセットの名前を見つけて選択します。

選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。



プリセットをフィルムストリップの画像に適用することも可能です。フィルムストリップの画像を選択し、右クリックして **[プリセットの適用]** を選択します。画像に適用したいプリセットの名前を見つけて選択します。選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。

表示モードで、1つの画像にプリセットを適用するには:

1. 管理モードで画像を選択してから、[表示] モードのタブをクリックします。
画像が表示モードで開かれます。
2. 画像を右クリックし、[処理] メニューから **[プリセットの適用]** を選択します。
3. 画像に適用したいプリセットの名前を見つけて選択します。

選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。

複数の画像にプリセットを一括適用する

複数の画像にプリセットを一括適用すると、時間の短縮だけでなく、ワークフローの効率が大幅にアップします。

複数の画像にプリセットを一括適用するには:

1. 管理モードで、プリセットを適用する画像を選択します。
2. [処理] から、**[プリセットの適用]** をクリックし、保存したいプリセットを選択します。

選択されたプリセットを適用した形で、画像のサムネイルが更新されます。



複数の画像にプリセットを一括適用して他のフォーマットにエクスポートする方法については、[「現像の一括処理を使用する」](#) を参照してください。

プリセットの名前を変更する

プリセットの名前をいつでも変更することができます。

プリセットの名前を変更するには:

1. [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. **[プリセットの管理]** を選択します。
3. [プリセットの管理] ダイアログで、名前を変更したいプリセットを選択してから、**[名前の変更]** をクリックします。
4. プリセットの新規名を入力します。
5. **OK** をクリックして保存し、ダイアログを閉じます。

プリセットを削除する

必要のなくなったプリセットを削除することができます。プリセットを削除しても、そのプリセットが既に適用されている画像は変更されません。

プリセットを削除するには:

1. [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. [プリセットの管理]を選択します。
3. [プリセットの管理] ダイアログで、削除したいプリセットを選択してから、[削除クリック]をします。
4. **OK** をクリックして保存し、ダイアログを閉じます。または、**キャンセル** をクリックして、プリセットの削除をキャンセルします。

プリセットをインポートおよびエクスポートする

プリセットをエクスポートして、他のユーザーと共有することができます。他のユーザーまたは古いコンピュータによって作成されたプリセットをインポートすることもできます。

プリセットをエクスポートするには:

1. 上記のようにプリセットを作成します。(編集モードでプリセットを作成するには、「[編集モードでプリセットを使用する](#)」を参照してください)
2. [ツール]から[プリセットをエクスポートする]を選択します。
3. [プリセットのエクスポート]ダイアログで、プラス(+)記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオンとオフを切り替えて、エクスポートするプリセットを選択します。グローバル、タブ、またはグループのプリセットをエクスポートできます。



チェックボックスを切り替えることで、ブランチの特定のプリセットのみエクスポートすることができます。灰色のチェックボックスは、ブランチの下の一部のプリセットが選択されているが、すべてではないことを示します。

4. 編集モードのフィルターを同時にエクスポートするには、[編集モードのフィルタープリセットを含める]チェックボックスをオンにします。
5. [エクスポート]をクリックします。
6. [名前を付けて保存]ダイアログで、エクスポートするプリセットの保存先を参照して指定します。
7. フィールドに名前を入力し、**保存**を押します。

プリセットをインポートするには:

1. [ツール]から、[プリセットをインポートする]を選択します。
2. [開く]ダイアログで、プリセットの場所に移動します。
3. インポートするプリセットを選択し、[開く]を押します。
4. [プリセットのインポートする]ダイアログで、**プラス(+)**記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオンとオフを切り替えて、インポートするプリセットを選択します。グローバル、タブ、またはグループのプリセットをインポートできます。



チェックボックスを切り替えることで、ブランチの特定のプリセットのみインポートすることができます。灰色のチェックボックスは、ブランチの下の一部のプリセットが選択されているが、すべてではないことを示します。

5. **インポート**を押します。それぞれのグループのプリセットメニューでインポートしたプリセットを確認します。

現像で画像を保存する

現像モードで行われた処理設定はデータベースに保存されますので、次回以降画像を開くたび、現像で最後に使用された調整が適用されます。そのため、画像を元に戻したり、さらに細かい調整を加えたりすることが可能です。現像モードには、画像に変更を保存するためのオプションがあります。

画像を保存する

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. [完了]をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。

保存	変更を保存します。
名前を付けて保存	<p>現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。</p> <p>ファイルの種類に応じて、[画像に名前を付けて保存]ダイアログボックスの左下隅に次のオプションが表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • メタデータを保持する: 新規画像でメタデータを保持します。 • データベース情報を保持する: 重要度のようなカタログ情報を保持します。 • オリジナル画像用に現像設定を保持する: オリジナル画像、および保存済みコピーに変更を適用します。 • 画像の埋め込みカラープロファイル: カラーマネージメントで選択したカラープロファイルを新しい画像に保持します。
破棄	変更を破棄します。
キャンセル	画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。
自動保存	<p>画像を終了するたびに保存オプションを選択しなくともすむように、自動保存を有効にすることができます。自動保存が有効になっている場合、[完了]を押すか、フィルムストリップから別の画像を選択すると、ACDSeeは現像モードで変更を自動的に保存します。[変更の保存]ダイアログは表示されなくなります。自動保存を無効にするには、[ツール]から[オプション...]を選択します。[オプション]ダイアログで、[現像モード]をクリックします。次に、[すべての現像モードの調整を自動保存する]のチェックボックスをオフにします。</p> <p> 自動保存はRAW画像には使用できません。</p>

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. [保存]をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **名前を付けて保存:** 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存:** 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **エクスポート:** 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のまま作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイルフォーマットでは、[保存] は利用できません。

ACDSee での画像の変更の保存方法

RAW ファイルのようにエンコード不可能な画像、あるいは JPEG のようにエンコード可能な画像を扱っているかによって、保存方法が異なります。下の一覧は、ACDSee の保存方法と違いを画像のフォーマット別に表したものです。オリジナル、現像済み、編集済みという異なるステータスで保存すると、後で変更を破棄したくなった場合に、特定の設定状態に戻ることができるため大変便利です。



画像をアーカイブ保存する場合、オリジナルの画像ファイルと共に、サブフォルダも含んでバックアップすることを忘れないようにしてください。

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
オリジナル	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。
現像済み	変更を行ってから [完了] をクリックすると、その画像の現像設定が RAW ファイルの XMP ファイル内と ACDSee データベースにも保存されます。	現像処理を行ってから [完了] をクリックすると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、オリジナルの画像と XMP ファイルは [オリジナル] フォルダに移動されます。管理モードおよび表示モードには、変更された画像が表示されます。現像設定は、ACDSee データベースにも保存されます。
編集済み	RAW ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行い [保存] をクリックすると、ACDSee 別のファイルフォーマットで保存することを促すメッセージがよって発信されます。RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	画像ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行った後に保存すると、オリジナルの画像は ACDSee の [オリジナル] フォルダ内に保存されます。 画像を編集した後に「現像」で開くと、ACDSee 編集処理が失われることを確認するメッセージがよって発信されます。「編集」で編集処理を行う前に現像されなかった画像は、「現像」の設定に戻すことができませんので注意してください。
現像済みと編集済み	画像を現像すると、画像の現像設定は RAW ファイルの XMP ファイル内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、新しいファイルフォーマットで保存することを確認するメッセージが ACDSee によて発信されます。 RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、[オリジナル] フォルダに格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから [保存] をクリックすると、ACDSee はその画像を保存します。 編集済みの画像を「現像」に戻って処理を行おうとする場合、ACDSee 編集処理が失われることを確認するメッセージがよって発信されます。編集処理の破棄が選択されると、現像設定が付随したオリジナル画像が開きます。

Pro 3 RAW 処理エミュレーション

ACDSee の RAW 処理パイプラインは、幅広い色域を使用して RAW ファイル内にキャプチャされた色を最大限に引き出します。より広い ProPhoto 色空間により、パイプラインの最後まで省略される色はありません。

ACDSee は Pro 3 以前のバージョンで現像された画像の RAW 処理のパイプラインをエミュレートすることができます。しかしながら、の改善された RAW 処理をフルに活用したい場合、以前現像処理された RAW 画像から処理設定を削除して最新の ACDSee のパイプラインに移動することができます。

1 つめのオプションは、**オリジナルに戻す** コマンドを使用して、ACDSee 内で RAW 画像を再度現像する方法です。別のオプションは、のパイプラインに変換したいけれども、Pro 3 からジオメトリの設定などの現像設定を維持したいような場合、プリセットを作成して特定の現像設定を保持し、必要のない設定をクリアにする方法です。

いくつかの現像設定を保持しながら RAW 処理のパイプラインを使用するには:

1. ACDSee の「現像」で、未処理の RAW 画像を開きます。
2. **[現像のプリセット]を作成し**、[現像設定のプリセットの保存]ダイアログボックスで[トーンカーブ]グループから**[カメラ (RAW のみ)]**を選択します。元の色、コントラスト、露出はの RAW 処理エンジンによって非常に異なるため、アドバンスカラー、自然な彩度、コントラスト、露出の設定を追加するようにお勧めします。
3. プリセットの名前を入力し **[OK]** をクリックします。
4. 内でこのプリセットを適用すると、Pro 3 で現像されたあらゆる画像が、新しい処理パイプラインに変換されます。(右クリックして**処理 | プリセットの適用** をクリックして、プリセットを選択します。

現像モードで現像設定を表示する

[現像設定]ペインを使用して、現像モードで自分の画像に加えられたすべての調整を一度に表示できます。

 画像を現像しないと、[現像設定]ペインには値が一切表示されません。

現像設定ペインを開くには:

表示モードで、[ペイン]、[現像設定]をクリックします。

[現像設定]を表示するには:

1. 以前に現像した画像を現像モードで開きます。
 -  画像を現像中の場合は、現像設定ペインに値を表示させる前に[保存]を押す必要があります。
2. [現像設定]ペインでグループを展開し、各調整値を表示します。

現像ブラシを使用する

現像ブラシは写真の一部にさまざまな微調整を適用するために設計されたツールです。エフェクトをブラッシングするだけで、写真の露出、彩度、ハイブランス、色温度、色合い、フィルライト、コントラスト、明瞭度、色の強度、およびカラー EQ、トーンカーブ、シャープネスを別々に調整できます。例えば、写真全体にフィルライトを追加するのではなく、一部 (例えば逆光) の領域だけに追加することが可能です。画像上の領域に個別に最高 8 種類のブラシを適用し、各ブラシには異なるエフェクト設定を適用できます。

現像ブラシ

現像ブラシボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

現像ブラシを使用するには:

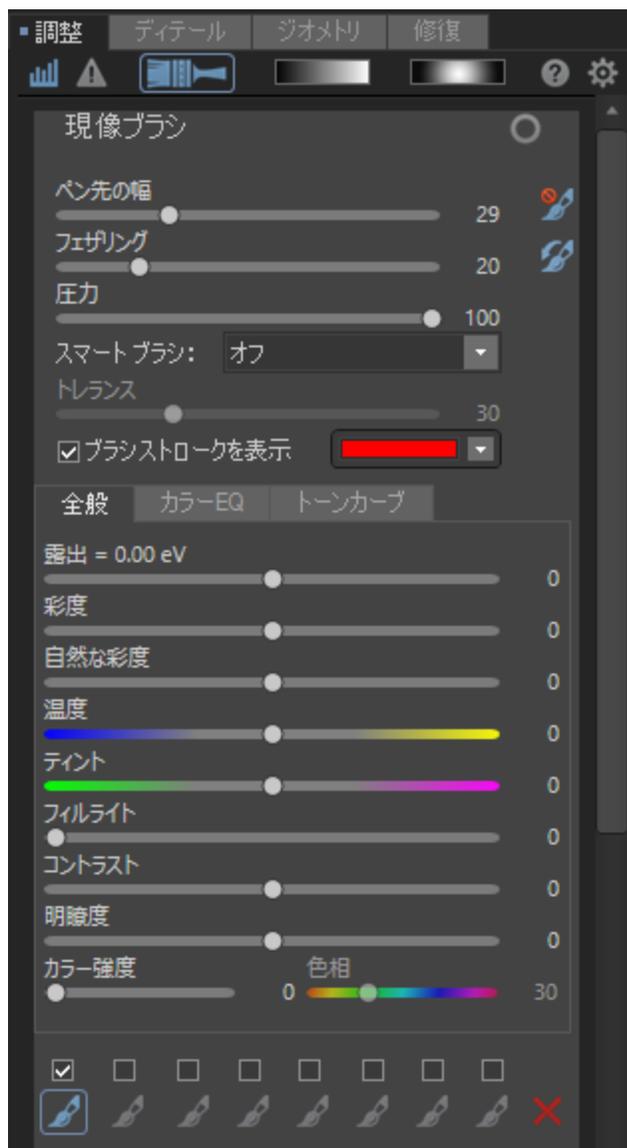
1. 現像モードの調整タブまたはディテールタブで、ペインの上部にある**[ブラシ]** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、ブラシパネルはキーボードの **B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. パネルのブラシ設定を指定します。
3. 写真に効果を描画します。

4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (8種類まで可能) を適用するには、ペインの下部にある次のブラシをクリックします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、そのブラシが有効である、という意味です。現在有効なブラシのアイコンには青い四角が表示されます。ブラシをクリックして選択を切り替えることができます。白いブラシはまだ使用されていないことを意味します。ブラシの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. [適用]または[完了]を押します。



ブラシボタンの上にマウスポインタを移動すると、そのボタンのブラシストロークが画像に表示されます。ブラシストロークはブラシストロークを表示 チェックボックスの右に表示されている色で表示されます。(既定の色は赤です。) もしくは **S** キーを押下するとブラシストロークを表示できます。



すべてのスライダーがゼロの場合、画像に変更は適用されませんので、**ブラシストロークは選択した色でそのまま表示** されます (にチェックが入っている場合)。

ブラシストロークを削除するには:

ブラシ ストロークを削除するには、削除したいブラシを選択して、 ボタンを押します。チェックボックスをはずすだけでとブラシストローク自体は削除されず、再度チェックを入れた場合にまた表示されます。

現像ブラシのオプション

ブラシ幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してブラシ幅を変更するか、[ブラシ幅]スライダを使用します。
フェザリング	スライダでブラシストロークと画像の間のトランジションの濃淡の調整ができます。「 Shift + マウスホイール 」でフェザリングの量を調整するか、 フェザリング スライダを使用します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強度を指定します。
ブラシ ストロークの追加	マウスの 左ボタン を押しながらブラッシングします。
ブラシ ストロークの消去	マウスの 右ボタン を押しながら描画します。
すべてのブラシストロークをクリア	 現在選択されているブラシのすべてのブラシストロークを画像から消去します。
すべてのブラシストロークを反転	 現在選択されているブラシのブラシストロークを反転します。つまり、ブラシを適用した領域から効果が消え、適用しなかった領域に効果が適用されます。これは画像の大部分に効果を適用したい場合に便利です。つまり強化を適用したくない部分にのみブラシを適用した後で反転すればいいわけです。
スマート ブラシ	以下の スマートブラッシング セクションを参照してください。
ブラシ ストロークを表示	 このオプションが有効の場合、現在選択されているブラシのストロークが選択されている色で表示されます。これは複雑な領域にわずかな効果を適用したい場合に便利です。赤い部分をクリックして色を変更することができます。

調整タブで現像ブラシを使用する

一般

露出	スライダを右に移動して露出を増やすか、左に移動して露出を減らします。eV は露出の 1 補正值です。露出のブラシをかけます。
彩度	彩度を増やすには右へ、彩度を減らすには左へ、スライダをドラッグします。彩度のブラシをかけます。
バイバランス	バイバランスを増やすには右へ、バイバランスを減らすには左へ、スライダをドラッグします。自然な彩度を増やしても、画像のトーンは影響されません。彩度と異なり、すべての色を均等に増感するわけではありません。バイバランスのブラシをかけます。
色温度	[色温度]スライダを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。ホワイトバランスのブラシをかけます。
色合い	[テイント]スライダを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーンの増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。ホワイトバランスのブラシをかけます。
フィルライト	スライダを右にドラッグし、画像の暗い領域にライトを追加します。フィルライトのブラシをかけます。
コントラスト	スライダを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。コントラストのブラシをかけます。
明瞭度	透視度ツールは画像の詳細に鮮明度を追加します。明瞭度スライダは、影とハイライトを強調せずに中間調のコントラストを高めます。スライダを右に移動して明瞭度の量を増やすか、左に移動して明瞭度の量を減らします。明瞭度のブラシをかけます。
カラー強度	[カラー オーバーレイ]スライダーを使用して、明るさレベルに影響を与えずに画像に色合いを追加します。[色の強さ]スライダを設定してから、[色]スライダを希望のカラーバンドまで動かします。色の強度を0に設定すると色はなくなります。

色のブラシをかけます。

カラーEQ

[色]スライダをドラッグして、個々の色の彩度、明るさ、色相、コントラストをそれぞれのタブで調整します。スライダを右にドラッグすると強度が上がり、左にドラッグすると強度が下がります。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。次のいずれかのボタンを選択します。

- 彩度
- 明るさ
- 色相
- コントラスト
- カラー セレクター

また、直接画像上でドラッグして調整する色を正確に選択することもできます。[カラー セレクター]

をオンに切り替えるには、[カラー セレクター]アイコンを押します。 画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダが自動

調整されるのを確認します。 ただし、調整ブラシをかけるまで、画像に変更は行われません。

カラー EQ のブラシをかけます。

トーンカーブ

曲線を動かしたり、ポイントを追加するには、画像のトーンの範囲をクリックして調整をします。グラフの右側にある色のアイコンを選択し、次のいずれかのカラー チャンネルを調整対象にします。

- RGB
- 赤
- 緑色
- 青

トーンカーブ調整のブラシをかけます。

右クリックして[ポイントを削除]を選択すると、曲線上のポイントを削除できます。グラフ外にドラッグすることでポイントを削除することもできます。

ディテール タブの現像モード:

シャープネス

シャープネスのブラシをかけるにはスライダを右にドラッグし、ぼかしのブラシをかけるには左にドラッグします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



ブラシパネルを終了するには、現像ブラシボタンをクリックします。



スマート ブラシ

スマートブラシを使うと、ブラシ処理の対象を、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに絞ることができます。スマートブラシは、ピクセル値がブラシ ストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、調整をこれらのピクセルにのみ適用することができます。

スマート ブラシを使用するには:

1. 現像モードの調整タブまたはディテール タブ で、ペインの上部にある[ブラシ] ボタン  をクリックしてコントロール パネルを開き、ブラシモードに入ります。または、ブラシ パネルはキーボードの **B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. スマート ブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

色	ブラシ ストロークの中央とピクセル値が同じである色 (しきい値設定によって異なる) を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
明るさ	ブラシ ストロークの中央とピクセル値が同じである明るさ (しきい値設定によって異なる) を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
マジック	ブラシ ストロークの中央のピクセルと同じ色と明るさの値の組み合わせ (しきい値設定によって異なる) を使用して、ブラシをかけるピクセルを判断します。

- しきい値スライダを使って、スマート ブラシ効果のピクセルの範囲を増減させます。
- 選択したい色または明るさにカーソルを合わせ、効果のペイントを開始します。
- スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (8種類まで可能) を適用するには、ペインの下部にある次のブラシをクリックします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、スマートブラシが有効である、という意味です。現在有効なスマートブラシのアイコンには青い四角が表示されます。ブラシをクリックして選択を切り替えることができます。青いブラシはスマートブラシが使用されていることを意味します。ブラシの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

- [適用]または[完了]を押します。



スマート ブラシを一時的に無効にするには、**Shift** キーを押したままブラシをかけます。このキーボード ショートカットは、ストロークごとに使用できます。



右クリックしてブラシストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマート ブラシをオフにするには:

スマート ブラシのドロップダウン メニューから[オフ]を選択します。

グラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真に対して段階的に適用したい場合もあるでしょう。写真の露出、彩度、バイバランス、色温度、色合い、フィルライト、コントラスト、明瞭度、色の強度、およびカラー EQ、トーンカーブ、シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、露出を写真全体に均一に適用するのではなく、画像の一部の領域でだけ効果を強調したり弱めたり、また一部には適用しない場合などです。

グラデーション ツール

グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

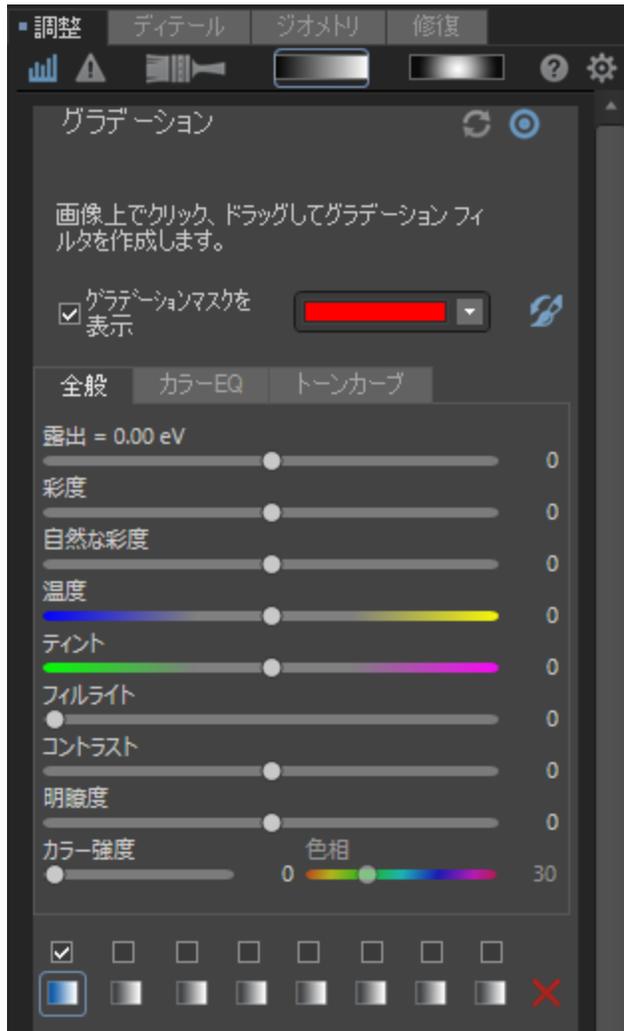
グラデーション ツールを使用するには:

- 現像モードの調整とディテールタブの**グラデーション**ボタンは  ペインの中央上にあり、クリックするとコントロールパネルが開きグラデーションモードの入力ができます。または、グラデーション パネルはキーボードの**G**キーで表示/非表示を切り替えることができます。
- 次の表にあるとおり、パネルのグラデーション設定を指定します。
- 画像上でガイドを移動します。ガイド ボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスの一方のサイドではグラデーションツールによる効果が最大限に適用され、他方では一切適用されません。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示**チェックボックスを有効にします。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、45°で切り捨てられる角度に固定できるように効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。
- スライダーを変更して効果を調整します。



別のグラデーション (8 つまで可能) を適用するには、パネルの下にあるシーケンスの中の次のグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていればそのグラデーションが有効であることを表し。グラデーション アイコンが選択 (青でハイライト) されていればそのグラデーションが現在有効であることを表します。各グラデーション アイコンをクリックすることで、いつでも希望のグラデーションに切り替えることができます。青いグラデーションはすでにまだ使用されたことを意味します。グラデーションの有効/無効は、それぞれのチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. [適用]または[完了]を押します。



グラデーション ツールオプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。画像の上部からグラデーションを開始する効果を適用した後、反転ボタンをクリックすると、グラデーションが反転して画像の下部から適用されるようになります。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくは **S**キーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

ディテール タブのグラデーション ツール:

シャープネス	スライダを右にドラッグするとグラデーションのかかった領域にシャープネス効果が追加され、左にドラッグするとグラデーションのかかった箇所にぼかし効果が適用されます。
--------	--



グラデーション モードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。



放射状グラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真にの一部分だけに適用したい場合もあるでしょう。写真の露出、彩度、バイバランス、色温度、色合い、フィルライト、コントラスト、明瞭度、色の強度、およびカラー EQ、トーンカーブ、シャープネスなどをそれぞれひとつずつ、または一連のグラデーションで調整することができます。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。

放射状グラデーション ツール

放射状グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

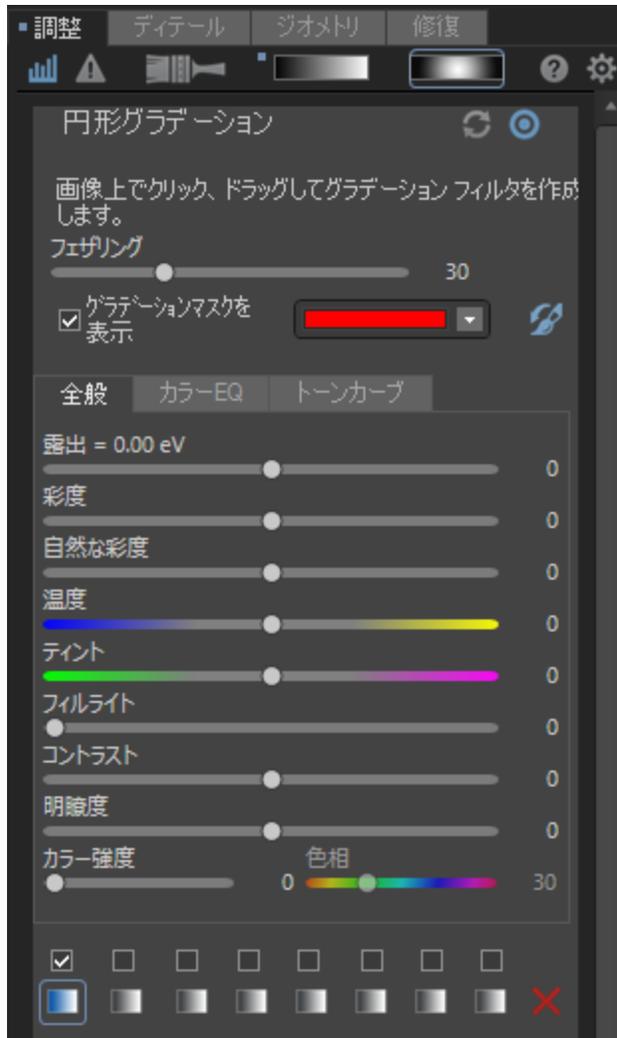
グラデーション ツールを使用するには:

1. 現像モードの調整とディテールタブの**放射状グラデーション** ボタン  はペインの最上部にあり、クリックするとコントロールパネルが開き、放射状グラデーションモードで入力ができます。または、放射状グラデーション パネルは、**R** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にあるとおり、パネルの放射状グラデーション設定を指定します。
3. 画像上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。放射状グラデーションツールで適用した効果は、効果のない箇所(円の中)と効果が強い箇所(円の外)が出会う円の境目で、遷移します。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。これらのガイドを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。**Shift**キーを押しながら、効果の位置を決め、放射状グラデーションを真円に変えます。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のグラデーション(8 つまで可能)を適用するには、パネルの下にあるシーケンスの中の次のグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、そのグラデーションが有効である、という意味です。現在有効なグラデーションのアイコンは青い四角が表示されます。グラデーションをクリックして選択を切り替えることができます。青いグラデーションはすでにまだ使用されたことを意味します。グラデーションの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. [**適用**]または[**完了**]を押します。



グラデーション ツール オプション

フェザリング	スライダーを動かして、グラデーションのトランジション部分のグラデーション効果を調整してください。
グラデーションの反転	 グラデーションを反転します。[グラデーションの反転] ボタンをクリックして、画像の中心部(円形のガイドの中)に効果を適用してください。放射状グラデーションの外側は変更されません。
グラデーションマスクを表示	<input checked="" type="checkbox"/> グラデーションマスクを表示 
このオプションが有効の場合、グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくはSキーを押下するとグラデーション マスクを表示 できます。	
ディテール タブの放射状グラデーションツール:	
シャープネス	スライダを右にドラッグすると放射状グラデーションの円の外側の領域にシャープネス効果が追加され、左にドラッグするとぼかし効果が適用されます。



円形ガイドの中央にある + をダブルクリックして、放射状グラデーションを画像の幅いっぱい展開します。



グラデーション モードを終了するには、放射状グラデーション ツール ボタンをクリックします。



調整タブについて

調整タブでは、露出、ホワイト バランス、彩度、明度、色相、カラー プロファイルなどが調整できます。

調整タブを使用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 一般、ホワイト バランス、Light EQ™、カラー EQ、トーンカーブ、ソフト フォーカス、エフェクト、カラー LUT、スプリットトーン、トリミング後ビネット、出力カラーペースのグループを選択して、画像を現像します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **【完了】** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェック ボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**【ツール】 | 【ACDSee オプション】** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **【エクスポート】**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**【編集】 | 【コピー】** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のまま作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイルフォーマットでは、[保存] は利用できません。

全般調整を使用する

[全般] グループでは、画像全体の調整を行うことができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

[全般] で現像処理を行うには:

1. 現像モードで [調整] タブを選択します。
2. [全般] から、以下の表を参考にして調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

露出	スライダーを右に移動して露出を増やすか、左に移動して露出を減らします。eV は露出の 1 補正值です。
ハイライト	スライダーを右にドラッグして、露出オーバーの領域にある画像の細部を復元します。
フィルライト	スライダーを右にドラッグし、画像の暗い領域にライトを追加します。
コントラスト	スライダーを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。
彩度	スライダーを右に移動して彩度の量を増やすか、左に移動して彩度の量を減らします。
自然な彩度	スライダーを右に移動して自然な彩度の量を増やすか、左に移動して自然な彩度の量を減らします。自然な彩度を増やしても、画像のトーンは影響されません。彩度と異なり、すべての色に等しく影響するわけではありません。
明瞭度	透明度ツールは画像の詳細に鮮明度を追加します。明瞭度スライダーは、影とハイライトを強調せずに中間調のコントラストを高めます。スライダーを右に移動して明瞭度の量を増やすか、左に移動して明瞭度の量を減らします。
かすみの除去	かすみ除去ツールにより、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元します。これは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪うことで発生します。スライダーを右へ動かすほど、かすみが減少します。



[設定] ボタンにより 、最後に保存した設定、あるいは最後に使用した設定にスライダーをリセットします。[自分の設定をプリセットとして保存し、それをコピーしたり、貼り付けたりすることもできます。](#)

eV に関するテクニカル解説

eV は exposure value (露出値) を略したものです。画像を撮影する際、露出は F 値 つまり絞り値、そしてシャッタースピード、ISO によって決定されます。一般的に、カメラは内蔵された光測定に基づいて、最適な露出を自動的に検出した後、その値に合わせて F 値とシャッタースピードを設定します。ただし、晴天あるいは暗い場所での撮影でカメラの光測定が適切に行われなかった場合は、F 値とシャッタースピードが不適切に設定されます。その結果、露出アンダーまたは露出オーバーの画像が生成されます。[露出] スライダーを使用すれば、画像撮影時の不適切な設定によって引き起こされた露出问题を補正することができます。

ホワイト バランスを調整する

「ホワイトバランス」グループを使用して、画像から不必要なカラーキャストを削除することができます。

設定は後で利用する際の [プリセット](#) として保存することができます。

画像のホワイトバランスを調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. [ホワイトバランス] グループで、以下のいずれかを実行します：
 - 画像のグレーのピクセルををマウスで選択してホワイトバランスを自動調整します。
 - 後述する方法でホワイトバランススライダを手動で調整します。



スライダを右クリックすると既定値に戻します。

ホワイトバランス オプション

ホワイト バランス	RAW画像の場合、以下のホワイトバランスの補正オプションから1つを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 撮影時:自動的に選択されます。写真の撮影時に、カメラに保存されたホワイトバランス設定を適用します。 • 自動:画像を分析した後、色温度とティントを自動的に設定します。 • 晴れ:晴れの日の中午の値に近い5500 Kに色温度を調整します。 • 曇り:少し曇っている日の値に近い6500 Kに色温度を調整します。 • 影:雲が多い曇りの日の値に近い7500 Kに色温度を調整します。 • タングステン:一般家庭の電球の値に近い2850 Kに色温度を調整します。 • 蛍光灯:蛍光灯の電球の値に近い3800 Kに色温度を調整します。 • フラッシュ:カメラのフラッシュの値に近い5500 Kに色温度を調整します。 • カスタム:「温度」と「ティント」スライダを調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックすることもできます。 <p>JPEGのようにエンコード可能な画像は、以下のホワイトバランスの補正オプションから1つを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 撮影時:自動的に選択されます。写真の撮影時に、カメラに保存されたホワイトバランス設定を適用します。 • 自動:画像を分析した後、色温度とティントを自動的に設定します。 • カスタム:「温度」と「ティント」スライダを調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックすることもできます。
色温度	[色温度] スライダを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。
色合い	[ティント] スライダを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーン増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。
強度	スライダを右に移動してホワイトバランスの調整を増やすか、左に移動して明るさの量を減らします。

ライティングを調整する

[Light EQ™] ツールを使用して、画像内で光が適切に表示されている領域を変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域のトーンレベルを調整することができます。トーンレベルとは、ピクセルの明るさとその周辺のピクセルを平均したものです。

また、暗すぎる領域を明るく、明るすぎる領域を暗くすることを、同時に行うことができます。例として、海や窓など明るい背景で人物を撮影した場合に、人物が暗くはつきりと顔が見られないけれども背景の明るさは調整しなくても大丈夫な写真、が挙げられます。現実問題として、ほとんどの写真は曇天あるいはフラッシュ発光で撮影されるため、シャドウとハイLight EQ™を使用して微調整をすると出来上がりに大きな差がでます。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像からライティングを除去するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. Light EQ™ グループで、パネル上部のドロップダウンメニューから**ベーシック**モード、**スタンダード**モード、**アドバンスド**モードのいずれかを選択し、以下のように設定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ベーシック Light EQ™

ベーシックは、3つのスライダーを使用するだけのシンプルで簡単な調整方法です。画像のある領域(通常は画像の被写体)を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。

以下のいずれかの操作を行います。

- 画像内の領域をクリックすると、その領域に最適な設定を自動で生成します。
- 後述の方法でライティングを手動調整します。

ベーシック Light EQ™ オプション

シャドウ	スライダーを右にドラッグするとシャドウが明るく、左にドラッグするとシャドウが暗くなります。
中間色	スライダーを右にドラッグすると中間調が明るく、左にドラッグすると中間調が暗くなります。
ハイライト	スライダーを右にドラッグするとハイライトが明るく、左にドラッグするとハイライトが暗くなります。
自動	[自動] ボタンをクリックすると、ACDSee は画像のライティングを自動調整します。

標準のLight EQ™

標準では、サウンド イコライザのような方法で、光の調整をおこないます。トーンバンド(相対的に明るい領域または暗い領域)ごとに、明るくするスライドと、暗くするスライドの2つのスライダーを使用して、異なるトーンバンドの明るさとコントラストを個別に調整できます。グラフには、トーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングや詳細が失われないために表示されています。ピンクの領域は調整されたスライダーのうち、クリッピングが発生した領域を示しています。

以下のいずれかの操作を行います。

- 調整したい領域を選択し、左クリックして上にドラッグすると明るくなり、右クリックして下にドラッグすると暗くなります。
- 後述の方法でライティングを手動調整します。

標準のLight EQ™ オプション

明るさの スライダ (上に 位置するス ライダ)	スライダを上ドラッグして、各トーンバンドの輝度を増加します。左側のスライダは暗いトーンに反映されます。右側のスライダは明るいトーンに反映されます。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある輝度の量のみが変更します。 ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。	
暗さのスライダ (下に位置するスライダ)	スライダを下にドラッグして、各トーンバンドの暗さを増加します。左側のスライダは暗いトーンに反映されます。右側のスライダは明るいトーンに反映されます。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある暗さの量のみが変更します。 ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。	
グラフ	グラフは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示します。水平軸の上にある部分は明るさを、水平軸の下にある部分は暗さを表しています。同一のトーンバンドで明るさと暗さが変更された場合、コントラストが激しくなります。つまり、グラフの上部の明るい領域と、グラフの下部の暗い領域は、そのトーンレンジのコントラストが相対的に増えていることを示します。グラフまたは画像上を左クリックして、双方向矢印をドラッグアップすると明るくなり、ドラッグダウンすると暗くすることができます。	
トーンバンド 数	調整するトーンバンドの数を設定します。トーンバンドの数を増やすとより正確に制御できるようになり、トーンバンドの数を減らすと調整をすばやくスムーズできるようになります。	
画像	左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。
	右マウスボタンでダブルクリック (または Shift + マウスの左ボタンでダブルクリック)	画像のその領域に最適な「暗くする」の値を自動設定します。
	Ctrlキー + 左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の明度調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさを最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさが増加し、他のトーンレベルの明るさが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を明るくして目立たせることができます。
	Ctrlキー + 右マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の暗化調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗化を最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗さが増加し、他のトーンレベルの暗さが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を暗くして目立たなくすることができます。
	画像上でマウスホイールをスクロールアップまたはダウンします。	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
	キー + 画像上をマウスホイールでスクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
	「A」キーを押したままにする +スクロール または +ドラッグ 左マウスボタンを押した状態	すべての明るさスライダを一度に調整します。
	A + Shift キーをホールド +スクロール または +ドラッグ 右マウスボタンを押した状態	すべての暗さスライダを一度に調整します。
	左マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)

キー + 左マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
自動	[自動] ボタンをクリックすると、ACDSee は画像のライティングを自動調整します。

高度なLight EQ™

アドバンス タブでは、画像の明るさとコントラストを完全にコントロールすることができます。4つのスライダを使用してカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接クリック&ドラッグしてカーブを手動調整します。

以下のいずれかの操作を行います。

- 調整したい領域を選択し、左クリックして上にドラッグすると明るくなり、右クリックして下にドラッグすると暗くなります。
- 後述の方法でライティングを手動調整します。

グラフ

グラフの上部は明るさを、下部は暗さを表しています。シャドウのトーンレベルは左に、中央は中間調、右はハイライトを表しています。

グラフの明るいグレーの領域は、画像に適用された明るさまたは暗さの量を示しています。グラフの暗いグレーの領域は提案された境界で、この領域が赤になると、調整された領域が大きすぎたためディテールが失われてしまったことを示します。画像上にカーソルを動かすと、2つの黄色い垂直線がカーソル下にあるトーンレベルの上下を示すため、調整の中間領域を見つけることができます。

高度なLight EQ™ オプション

領域	操作	結果
スライダ	【明るくする】スライダをドラッグ	右に移動する: 暗い領域に適用される明るさの量を増やします。 左に移動する: 画像のすべての領域で、明るさが一様に増加します。
	【暗くする】スライダをドラッグ	右に移動する: 画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左に移動する: 画像のすべての領域で、暗さが一様に増加します。
	【振り幅】スライダをドラッグする (明るくする)	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される明るさの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 明るさとカーブの高さの強度が減少します。 振り幅スライダが 0 の場合: 明るさを一切適用しません。 振り幅スライダが 100~200 の場合: 数字に比例して切り取られる量が増加します。 ほとんどのケースでは、100 が適切な振幅の値です。ハイライトの領域にディテールが見られる画像では、【明るくする】の【振幅】の値を下げると、そのディテールを保つことができます。 ほとんどの場合、振り幅を調整する必要はありません。
	【振幅】スライダをドラッグする (暗くする)	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される暗さの強度が増加します。グラフ内で、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 暗さとカーブの高さの強度が減少します。
グラフ上	オレンジのグラフ(上部)をドラッグ	グラフ上を左クリックして上に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。 グラフの高さは、各トーンレベルに適用された明るさのレベルを表します。(トーンは左がブラックで、右に向かうほどホワイトになります。) グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」のスライダが、自動的に【カスタムカーブ】に変わります。この時点でスライダのポジションを変更すると、グラフまたは画像上で直接調整された変更はすべて破棄されますのでご注意ください。 グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振り幅」のスライダが、現在のカーブの振幅を示した値に変わります。(振幅の値 100 はクリッピングを発生させない最大の振幅値です。)
	グラフ(下部)をドラッグ	グラフ上を右クリックして下に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。
	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。グラフのトーンバンドを変更すると、画像にその変更が反映されるため、特定のトーンバンドを微調整する場合に便利です。
画像	左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。
	右マウスボタンでダブルクリック	画像のその領域に最適な「暗くする」の値を自動設定します。
	(または Shift + マウスの左ボタンでダブルクリック)	
	Ctrlキー + 左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の明度調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさを最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさが増加し、他のトーンレベルの明るさが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を明るくして目立たせることができます。
Ctrlキー + 右マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の暗化調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗化を最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の	

	領域の暗さが増加し、他のトーンレベルの暗さが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を暗くして目立たなくすることができます。
画像上でマウスホイールをスクロールアップまたはダウンします。	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
キー + 画像上をマウスホイールでスクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
「A」キーを押したままにする +スクロール または +ドラッグ 左 マウスボタンを押した状態	[明るくする] の [振り幅] スライダを直接設定します。
A + Shift キーをホールド +スクロール または +ドラッグ 右 マウスボタンを押した状態	[暗くする] の [振り幅] スライダを直接設定します。
左 マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
キー + 左 マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
自動	[自動] ボタンをクリックすると、ACDSee は画像のライティングを自動調整します。

色を調整する

カラー EQ により彩度、明るさ、色相、コントラストの色補正ができます。上下スライダを使用すると、標準モードでは画像全体に調整を加えることができ、標準モードまたは高品質モードでは色ごとの調整をすることができます。各コントロールに関する詳細につきましては、下の表をご覧ください。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

カラーを調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. カラー EQ グループで、**彩度**、**明るさ**、**色相**のいずれかの**タブ**を選択し、以下の表で解説されているオプションに従って、これらを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

カラー EQ オプション

[カラー EQ] ドロップダウンメニューから [高品質] モードまたは [標準] モードを選択します。個々の色を調整するには、画像の色を左クリックしてマウスを上下にドラッグします。高品質モードではカラー-sliderが、標準モードではグラフがそれぞれマウスの動きに合わせて変化します。これは彩度、明るさ、色相、コントラスト タブで機能します。

高品質

画像の色を個々に調整します。高品質では、新しいより進化したカラーモデルを使用して、より高品質な調整が可能です。

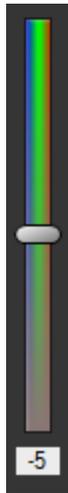


個々の色 slider を右に移動すると効果がより強く、左に移動すると弱くなります。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。または画像上にカーソルを移動し、双方向矢印アイコンを表示して細かい調整を行うこともできます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色の slider が自動調整されるのを確認します。

標準

以前に現像した画像に対応します。色を個々に調整するか全体的な調整を行います。

縦のスライダ

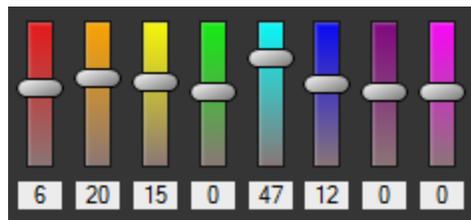


画像全体に調整を適用します。左手にあるスライダの効果は、各タブによって次のように異なります：

- **彩度**：飽和（スライダ上）からグレースケール（スライダ下）まで調整することができます。
- **明るさタブ**：画像の明るさまたは暗さを調整することができます。
- **色相**：別の色に変更します。

各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

各カラー スライダ

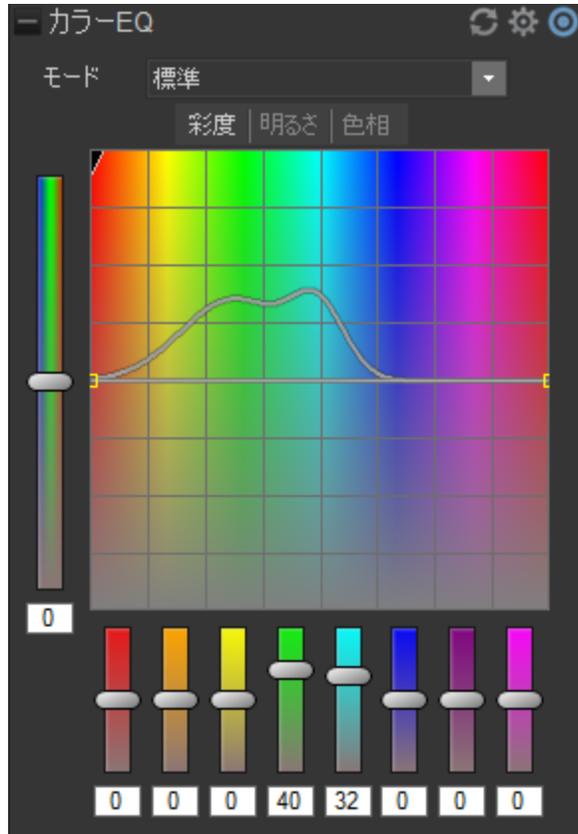


スライダを動かして各カラーを調整します。調整したいカラーを選択し、そのスライダをクリック & ドラッグします。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

画像を直接調整する

画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、カーブと対応するカラーのスライダが自動調整されるのを確認します。グラフのホワイトカーブの下にブラックカーブが表示されます。

このブラックカーブは、画像で調整されているカラーを示します。このブラックカーブは、グラフ内で直接ドラッグすることはできませんのでご注意ください。より大幅な調整を行うには、ホワイトカーブを直接変更します。ホワイトカーブを調整すると、ブラックカーブもそれと一緒に変更されます。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。



白黒ード

アドバンス モノクロ



モノクロモードでは、([調整]タブの[一般]グループで定義されているように) [カラーEQ]グループは[高度なモノクロ]グループになります。

明るさタブ:

- **明るさ:** 画像の色の明るさを調整します。

コントラスト タブ:

- **強度:** 特定の色調でコントラストを調整するには、個々の色スライダーをドラッグするか、画像（以前に色が発生した場所）を左クリックして上下にドラッグします。
- **バランス:** コントラスト調整のターゲットとなる明るさの範囲を設定するには、スライダーを調整して、ハイライトまたはシャドウから細部を引き出します。中間色からディテールを引き出すには、バランススライダーを0にします。**Shift** キーを押しながら画像をクリックしてドラッグすると、対応する色のバランススライダーが対象になります。

色づけ: 色相スライダーで選択した色をベースにして画像に色を追加します。追加される色の彩度は、オリジナル画像に存在していた色/彩度の量と度合いスライダーの設定を基本にします。

トーンカーブを調整する

現像では、トーンカーブ ツールで画像のトーンレンジを変更することができます。RGB カラー チャンネルを選択するか、特定の色を選択して、画像全体のトーンレンジを調整します。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像の明度カーブを調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. [トーンカーブ]グループで、下の説明に従ってカーブを調整します。



黒、中間色、白の数値フィールドまたは矢印を右クリックすると既定値にリセットされます。数値フィールドまたは矢印をダブルクリックして自動設定を使用することもできます。

トーンカーブ オプション

カーブ	画像に適用するカーブを選択します。既定は標準カーブです。[カメラ]を使用すると、画像に適したカーブがACDSeeによって作成されます。カーブのドロップダウン リストは、RAW ファイルでのみ有効です。
チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラム	選択されたチャンネルに基づいた、画像の色情報レベルのグラフィックを表示することができます。線をクリック & ドラッグしてカーブを操作します。カーブをクリックするたびに、新しいポイントが追加されます。カーブの上下にポイントをドラッグできます。ポイントを削除するには、ポイントを右クリックして[ポイントの削除]を選択します。グラフの外(上または下)にドラッグしてポイントを削除することもできます。
黒	黒の三角形をクリック & ドラッグするか、クリックして、黒のポイントを自動設定します。フィールドに数値を入力したり、上下の矢印ボタンを使用したりして、黒のポイントを正確に設定することも可能です。
中間色	グレーの三角形をクリック & ドラッグするか、クリックして、中間色のポイントを自動設定します。フィールドに数値を入力したり、上下の矢印ボタンを使用したりして、中間色のポイントを正確に設定することも可能です。
白	白の三角形をクリック & ドラッグするか、クリックして、白のポイントを自動設定します。フィールドに数値を入力したり、上下の矢印ボタンを使用したりして、白のポイントを正確に設定することも可能です。
自動	黒、中間色、白のポイントを自動設定します。

ソフト フォーカスを調整する

[ソフト フォーカス] ツールを使用して、画像にドリーミーな効果を付加することができます。ソフト化の効果は、全色域に対して、または画像の中間色に限定して適用することが可能です。ソフト フォーカス効果を画像の一部の色域に適用するか、または全体に適用するには、[トーンの幅] スライダーを使用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像にソフト フォーカスを追加するには:

1. 現像モードで **[調整]** タブを選択します。
2. [ソフト フォーカス] グループで、下記説明に従い、調整します。

ソフト フォーカス オプション

強さ	ソフト フォーカスの量を調整します。スライダーを右へ動かすほど効果が強くなります。
明るさ	スライダーを右へ動かすほど明るさが増します。
コントラスト	スライダーを右へ動かすほどコントラストが強くなります。
トーンの幅	スライダーを右へ動かすとソフト フォーカスのトーンの幅が増し、効果が及ぶシャドウ、中間調、ハイライトの幅が広がります。スライダーを左へ動かすとトーンの幅が狭まり、効果が及ぶシャドウ、中間調、ハイライトの幅が狭くなります。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

現像モードのエフェクトを適用する

現像モードでは画像に数多くの効果を適用できます。
設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

写真エフェクト

写真効果のドロップダウンメニューを使用すると、画像にさまざまなフィルタをかけることができます。

写真効果を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで**写真効果** チェックボックスを選択します。
3. 写真効果のドロップダウンメニューからフィルタを選択します。

 **不透明度スライダーとブレンドモード** のドロップダウンメニューを使えば、選択した効果を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、写真効果のドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

カラーオーバーレイ

カラーオーバーレイのドロップダウンメニューを使うと、画像に色を付けることができます。

画像に色を追加するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、**カラーオーバーレイ**チェックボックスを選択します。
3. カラーオーバーレイのドロップダウンメニューから色を選択します。

 **不透明度スライダーとブレンドモード** のドロップダウンメニューを使えば、選択した色を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、カラーオーバーレイのドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

グラデーション マップ

グラデーションマップ効果を使用して、画像の暗い部分と明るい部分に色を追加できます。グラデーションマップ効果はひとつの色にシャドウをマップし、各ピクセルの明度に基づいて他の色にハイライトをマップします。画像の暗い部分に、明るい部分とはまったく違う色を与えることができます。

グラデーションマップ効果を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、**グラデーション マップ**チェックボックスを選択します。
3. シャドウのドロップダウンメニューで、画像の暗い領域に追加する色を指定します。ハイライトのドロップダウンメニューで、画像の明るい領域に追加する色を指定します。

 **不透明度スライダーとブレンドモード** のドロップダウンメニューを使えば、選択した色を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、ハイライトのドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

グレインを追加

グレイン効果を使用すると、新聞に印刷されたような画像に仕上げることができます。グレインツールを他の効果と組み合わせて使用すると、全体をビンテージ仕上げにすることもできて便利です。

グレイン効果を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、下の表を参考にしてグレイン追加設定を調整します。

グレインのオプション

グレインの度合い	グレインの強度を指定します。
グレインの平滑化	グレインの滑らかさを指定します。
グレイン サイズ	グレインのサイズを指定します。

クロス処理効果

80年代、90年代にフィルム写真で人気のあったテクニックで、フィルムを別の種類のフィルムのように処理するものです。クロスプロセスは写真の彩度とコントラストを強調し、色を黄緑がかかったハイライトと青っぽいシャドウに色をシフトします。クロス処理ツールを使うとこれらのレトロ効果をシミュレートすることができます。クロス処理を切り抜き後の周辺光量補正とあわせて使用すると、ロモと呼ばれる効果を作成できます。

クロス処理効果を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、クロス処理のスライダーを右に移動させるとレトロ効果が強まります。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

LUTを使用してカラー グレーディング

「カラー LUT」とはカラー ルックアップ テーブルの略です。カラー LUTは、特定の RGB 値を他の特定のカラー値にマッピングするように ACDSee や関連プログラムに指示するリストです。LUT をインポートして ACDSee でフィルタとして使用することができます。[編集モード](#)で LUT を作成することもでき、作成した LUT は現像モードで使用することができます。他の現像モードのフェクトと同じ方法でカラー LUT を適用できます。カラー LUT に対応しているファイルの種類は、.3DL と .CUBE です。

画像にカラー LUT を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. [カラー LUT]グループで、次のいずれかを実行します。
 - ドロップダウン メニューから LUT を選択します。LUT が即座に適用されます。
 - **[LUT のインポート]** ボタン を押します。[開く]ダイアログで、LUT ファイルの場所を参照して**[開く]**を押します。

 インポートした LUT ファイルの場所が変更された場合、カラー LUT パネルでファイルをロードし直す必要があります。

カラー LUT を削除するには:

1. [カラー LUT]グループで、**[LUT の削除]** ボタンを押します。
2. [LUT の削除]ダイアログで、削除したい LUT の隣のチェックボックスをオンにします。
3. **[LUT の削除]**を押します。

カラー LUT のリストを更新するには:

使用可能な LUT のリストを更新すると、移動または削除されたファイルがわかります。

[カラー LUT]グループで、[リストの更新]ボタンを押します。



編集モードで調整レイヤーを使用して作成されたカラー LUT は、現像モードの[カラー LUT]グループで自動的に使用可能になります。

現像モードでブレンドモードと不透明度を使用する

現像モードで効果グループのツールを使っているときに、ブレンドモードと不透明度ツールを調整して、画像への効果のブレンド状態をカスタマイズすることができます。

不透明度

不透明度スライダは、画像に施される効果の不透明度を変更します。施された効果が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。効果のドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押すと、不透明度スライダにアクセスできます。

ブレンドモード

オリジナルの画像と現像済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

ノーマル	現像済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	現像済みの画像とオリジナル写真の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	現像済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
焼きこみ	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差異	オリジナル画像の色から現像済み画像の色を減算します。現像済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
暗くする	オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
明るくする	オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	現像済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	現像済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
色	現像済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	現像済み画像の色の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	現像済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダーで斑点の強度をコントロールします。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。
ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からブレンド色を減算します。
除算	画像 (ベース) 色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。

スプリット トーンを調整する

スプリットトーンはフィルム写真に元からある技術で、ハイライトとシャドウに薄い色をつけます。

[スプリットトーン] ツールは、ハイライトとシャドウの色相と彩度を調整して創造的な作品を可能にします。スライダーを使用してハイライトとシャドウの色相、彩度を調整します。スプリットトーンは ACDSee での RAW 現像や非破壊編集に創造的な要素を追加します。

設定は後で利用する際の [プリセット](#) として保存することができます。

ハイライトとシャドウを調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. スライダーをドラッグして、下表で説明されているハイライトおよびシャドウの調整を行います。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

ハイライト

色相	スライダーを右にドラッグしてハイライトする色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の色の彩度を上げます。

シャドウ

色相	スライダーを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の色の彩度を上げます。

バランス

スライダーを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダーが最大値の50に設定されている場合は、ハイライト色は最大限に強調され、スライダーのが最小値の-50に設定されている場合は、シャドウ色が最大限に強調されます。

 セピアトーン効果を出すには、まず [アドバンスカラー] ツールで写真の彩度を落とした後、[スプリットトーン] ツールで赤茶の色相を適用します。わずかに色づけした白黒写真を作成することもできます。

切り抜き後の周辺光量補正を調整する

このツールは主題の周囲にフレームを追加します。ボーダーの外観をコントロールすることができます。このツールは、イメージをトリミングした後の仕上げとして使用してください。これにより画像のフォーカルポイントをより調整することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. 現像モードで [調整] タブを選択します。
2. [切り取り後の周辺光量補正] から、以下の表を参考にして調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ヴィネット オプション

強さ	スライダーを右にドラッグすると白いヴィネットを追加し、左にドラッグすると黒いヴィネットを追加します。
半径	ピクセルがソフトに調整される画像の四隅の距離を設定します。半径を大きくするほど、中央から効果の開始位置までの距離が遠くなります。
フェザリング	ヴィネットのエッジの柔らかさを調整します。スライダーを右に動かすと、ヴィネット効果の柔らかさが増加します。
丸み	スライダーを右に移動してヴィネットの丸みを増やすか、左に移動して減らします。

RAW ファイル用の出力色空間を選択する

RAW ファイルを現像する際、出力色空間を選択することができます。このオプションは、RAW ファイルでのみ有効になります。

RAW ファイルの出力色空間を調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。

ヒストグラムを使用して、画像に最適な出力色空間を探します。ヒストグラムは、各カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端に山がある場合は、白とびや黒つぶれが発生しています。クリッピングが発生しないように気をつけながら、最も広い色域を再現できる出力色空間を見つけるようにします。

2. [出力色空間] グループから、希望する色空間を選択します。
3. RAW ファイルを現像する際に同じ色空間を使いたい場合、希望する色空間を選択した後、**[既定に設定]** をクリックします。

 画像を保存する際、「埋め込まれたカラープロファイル」オプションが既定として選択されます。このオプションの選択を解除すると、出力色空間は画像に埋め込まれませんので注意してください。

ディテールタブについて

ディテールタブでは、画像をシャープにしたり、ノイズを削除することができます。

ディテールタブを使用するには:

1. 現像モードで**ディテール**タブを選択します。
2. 画像を現像するには、シャープニング、ノイズリダクション、スキンチューン、または色収差 グループを選択します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **[完了]** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。

 確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **[保存]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。

- **[エクスポート]**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
- **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。([編集] | [コピー] に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままだに元の RAW 画像のまま作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、[保存] は利用できません。

シャープネス

シャープネス ツールを使用して、画像の詳細を引き出したり、クリアに仕上げたりすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像をシャープにするには:

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [シャープネス] グループで、以下の説明を参考にしてスライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

シャープネス オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどエッジが暗くなります。
マスク	ノイズやテクスチャのシャープネスを抑えながらエッジを対象にします。マスクの適用領域を表示するには、マスクスライダーを動かしながら、 Alt キーを押します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増加します。
ディテール	強度を減らすことにより光輪 (極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線) を抑えます。値が大きいほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすこととなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。



詳細ペイン上部にある **[プレビューウィンドウ]** で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビュー ウィンドウが表示するエリアを変更します。



シャープネスグループの**[設定]** ボタン  をクリックし、**[新しいデフォルトを保存する]** を選択し、RAW ファイルのデフォルトのシャープネスを設定します。

ノイズを除去する

高い ISO 感度設定 や長時間露出によって引き起こされたノイズを除去することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像からノイズを除去するには:

1. 現像モードで **ディテール**タブを選択します。
2. [ノイズ除去] グループで、以下を参考にしてスライダを調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ノイズ除去オプション

明度	スライダーを右にドラッグして、ライティングのノイズを目立たなくさせます。画像のノイズに比例した設定を適用し、プレビューウィンドウで、ノイズ除去によってディテールが失われていないかを確認します。 Alt キーを押しながらスライダーをドラッグすると、画像に残っているノイズを確認できます。
強さ	スライダーを右にドラッグして、ノイズ除去をどの程度の強さで実行するかを決定します。明度と強度のバランスをうまく取ってディテールが失われないようにしてください。
カラー	スライダーを右にドラッグして、画像のカラーノイズを除去します。 Alt キーを押しながらスライダーをドラッグすると、画像に残っているカラーノイズを確認できます。
ディテール保持	強カノイズ除去により失われたディテールを復元します。スライダーを使って、復元するディテールの程度を調整してください。
ディテール保持閾値	[ディテール保持] スライダーの調整に含める必要があるディテールのレベルを決定します。

 詳細ペイン上部にある [プレビューウィンドウ] で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

スキントーンを調整する

[スキントーン] ツールを使用して、肌の色合いを調整したり、しみや傷を取り除いたりできます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

肌の色合いを補正するには:

1. 現像モードで **ディテール**タブを選択します。
2. [スキントーン] パネルで、下の表を参考にして設定を調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スキン調整オプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。スライダーを左へ動かすと細かなディテールが強調されません。効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。

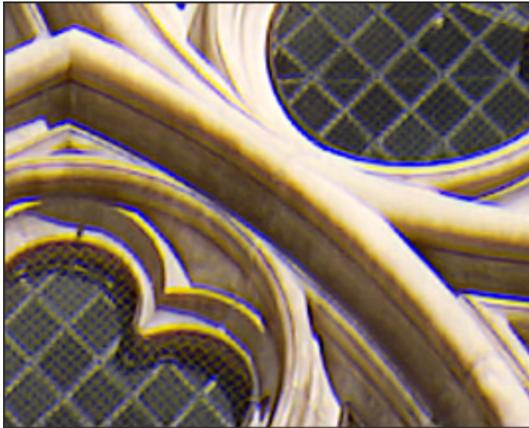
 詳細ペイン上部にある [プレビューウィンドウ] で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

色収差の補正

色収差とはレンズによって生じるもので、ハイコントラストの領域でフリッジが発生します。カメラのレンズは光の波長によって焦点距離が変わるので、写真ではハイコントラスト領域の境界でカラーフリッジやカラーラインが発生します。またパープルフリッジは、レンズの前に

明るいスポットがある場合に発生します。

このズーム画像は、青/黄色のフリンジ発生 の例です。



現像モードの[フリンジ除去]ツールと[色収差の補正]ツールを使用して、カラー フリンジを抑えることができます。特に建築物の詳細を撮影した写真に便利です。最高の仕上がりを得るには、まず[色収差の補正]スライダを調整してから、[フリンジ除去]スライダを調整するのがおすすめです。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像のフリンジを除去するには:

1. 現像モードで**ディテール**タブを選択します。
2. [色収差の補正]グループで、以下を参照してスライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

色収差の補正オプション

赤/シアン の補正	赤とシアンチャンネルを調整して、赤/シアンのフリンジを減らします。
青/黄色 の補正	青と黄色チャンネルを調整して、青/黄色のフリンジを減らします。

フリンジ除去オプション

フリンジ除去の 強度	ハイコントラストのエッジから除去したいフリンジ色の量を調整します。値を0にすると、フリンジ除去がオフになります。
フリンジ除去の 半径	フリンジ除去するエッジの周辺のピクセル数を調整します。
色	ハイコントラストのエッジから除去する色を調整します。



詳細ペイン上部にある[プレビューウィンドウ]で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

ジオメトリタブについて

ジオメトリタブでは、レンズの歪みや遠近を補正したり、画像を回転させたり画像の傾きを直したりすることができます。トリミングツールで画像の構成を変更することもできます。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

ジオメトリタブを使用するには:

1. 現像モードで**ジオメトリ**タブを選択します。
2. [**レンズ補正**]、[**回転&傾きを直す**]、[**遠近法**]、[**トリミング**]、[**ピネット補正**]グループを選択して、画像を現像します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **【完了】** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**【ツール】 | 【ACDSee オプション】** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **【エクスポート】**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**【編集】 | 【コピー】** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のまま作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイルフォーマットでは、**【保存】** は利用できません。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

レンズの歪みを補正する

デジタル写真の樽形歪みと糸巻き形歪みを修正することができます。バレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。樽形歪みと糸巻き形歪みは、広角レンズやズームレンズで撮影した写真でよく起きます。

ACDSee では、[手動補正] スライダで手動補正を行うことができます。また、レンズプロファイルからレンズ補正を有効化することもできます。画像の撮影に使用したカメラのメーカー、モデル、レンズを選択すると実行できます。レンズ補正ツールによって、使用したレンズ固有の歪みに基づいた自動調整が行われます。また、画像ごとに手動でレンズ補正をすることもできます。EXIF プロファイルにレンズプロファイルをマップしてしまえば、その EXIF 情報に基づいて、画像の撮影に使用されたカメラの [メーカー] と [モデル] ドロップダウンメニューがあらかじめ入力されます。[レンズ補正] ツールには、カメラのメーカー、モデル、対応するレンズのデータベースが入っています。選択したカメラに対応するレンズは [レンズ] ドロップダウンメニューから選択できます。ただし対応するレンズが1つしかない場合は、初めからそのレンズが選択された状態になります。

使用されたレンズの名前は画像の EXIF 情報で確認できます。ただしサードパーティ製レンズの場合、カメラ自体が ID 番号としてしか認識しない場合があるため、EXIF で表示されるレンズ値は信頼できません。可能な場合は正確なレンズ値を復元して、[レンズ] ドロップダウンメニューから選択します。

レンズ固有の補正、(レンズプロファイル) を、カメラメーカー、モデル、レンズの組み合わせにマップすることもできます。レンズプロファイルをマップすることで、[現像] モードの [レンズ補正] ツールで開く際に、カメラとレンズの組み合わせが同じ画像すべてに補正を適用することもできます。

[手動補正] スライダは、自動補正後、またはそれ自体による手動補正に対し、さらに調整を加えることができます。

使用できる場合は、レンズ プロファイルを用いて色収差を補正することもできます。

使用した設定は、後で利用するための [プリセット](#) として保存することができます。



使用できるレンズ プロファイルは、[こちら](#)からすぐに確認できます。

レンズ プロファイルを使用してレンズの歪みを修正するには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. [レンズ補正] グループで、[**レンズプロファイルを有効にする**] チェックボックスを選択します。
3. 表示されているカメラのメーカーとモデルが正しくない場合は、[メーカー] と [モデル] のドロップダウン メニューから正しいものを選択します。
4. レンズドロップダウン メニューから、画像の撮影に使用したレンズを選択します。この情報は [現像] モード右下隅にある [EXIF] パネルに表示されます。補正は自動的に行われます。
5. 追加で調整を行いたい場合は、[手動補正] スライダを左に動かすと膨張効果が適用され、右に動かすと画像のエッジが引き延ばされます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[**グリッドの表示**] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

後で使用できるようにレンズプロファイルをデフォルトとして保存するには:

カメラとレンズの組み合わせの補正プロファイルを保存して、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影された他の画像にデフォルトとして使用することができます。これにより、[レンズ補正] ツールで特定のカメラメーカー、モデル、レンズの組み合わせから画像を開くと、そのカメラにマップしたレンズが [レンズ] フィールドに常に自動入力されるようになります。[現像] モード開始と同時に、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影された他の画像に対して、このレンズプロファイルを自動的に適用することもできます。



この機能は EXIF データに依存しているため、主に JPEG、DNG、RAW、TIFF 画像で実行することができます。

1. [メーカー]、[モデル]、[レンズ] ドロップダウンメニューで希望のカメラとレンズの組み合わせを選択して、[デフォルトマッピング] ボタンを押します。
2. [現像モード開始時にこのマップ済みプロファイルを自動適用] チェックボックスを有効にすると、[現像] モード開始と同時に、このマップ済みデフォルトが他の画像にも適用されます。
3. [デフォルトマッピング] ダイアログボックスで、[OK] を押して保存するか、[キャンセル] を押して中止します。

保存済みのデフォルトを管理するには:

1. [デフォルトの管理] ボタンを押します。
2. [マップ済みデフォルトの管理] ダイアログボックスで次のいずれかを実行します。
 - [マップ済みデフォルトの管理] ダイアログボックスでデフォルトを選択し、[マップ済みデフォルトを削除] ボタンを押します。
 - [現像モード開始時に選択したマップ済みプロファイルを自動適用] チェックボックスを有効にすると、[現像] モード開始と同時に、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影される画像に対して、選択したマップ済みデフォルトが適用されます。
3. [OK] を押して続行するか、[キャンセル] を押してマップ済みデフォルトを保持します。

レンズ プロファイルを使用して色収差を修正するには:

色収差は使用したレンズの特性が原因で発生します。そのため、レンズ プロファイルを使用して自動的に補正することができます。選択したレンズに対応する色収差補正が利用できる場合、[色収差] チェックボックスが有効になります。

1. 現像モードで[ジオメトリ] タブを選択します。
2. [レンズ補正] グループで、[レンズプロファイルを有効にする] チェックボックスを選択します。
3. [色収差] チェックボックスを選択します。
4. [詳細] タブをクリックして補正した画像を確認します。



[色収差] チェックボックスを選択してレンズプロファイルを保存し、常に色収差が補正されるようにします。

回転 & 傾きを直す

現像モードでは、自由設定の角度で画像を回転して、傾いている画像をまっすぐに補正することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

傾いている画像を補正するには:

1. 現像モードで[ジオメトリ] タブを選択します。
2. [回転および傾きを直す] グループで、下表に従い、画像を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グリッドの表示] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます 。

回転オプション

左に 90 度

画像を左に 90 度回転します。



右に 90 度

画像を右に 90 度回転します。



傾きを直すオプション

スライダ	画像の水平線の角度を調整します。画像がまっすぐに見えるようになるまで、スライダを左右に動かします。
左に -5 度	画像を左に -5 度回転します。
	
右に +5 度	画像を右に +5 度回転します。
	
傾きを直す ツール	画像の傾きを直します。カーソルを使って、傾いている水平線を正すように線を描きます。カーソルをリリースすると水平線が自動的に直され、画像の傾きが修正されます。
	

遠近を補正する

被写体に対して、カメラを水平あるいは垂直に構えない状態で撮影された場合に発生する透視問題は、ワイドアングルのレンズでの撮影でよく見られます。例えば、高層ビルを道の下から見上げた状態で撮影すると、ビルが傾いているように見えてしまいます。これらの問題は、「透視」グループのオプションを使用して補正することができます。

設定は後で利用する際の[プリセット](#)として保存することができます。

透視を補正するには:

1. 現像モードで**ジオメトリ**タブを選択します。
2. 下の一覧を参照して、[透視]グループのオプションを設定します。



[**グリッドの表示**] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

透視 オプション

上下	スライダを左右にドラッグして、垂直軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右	左右スライダを左右にドラッグして、水平軸で画像の中心となる位置を指定します。
上下シアー効果	スライダを左右にドラッグして、垂直軸および斜め軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右シアー効果	スライダを左右にドラッグして、水平軸および斜め軸で画像の中心となる位置を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

トリミング

トリミングツールを使用して、画像の不要な部分を除去したり、画像キャンバスを特定のサイズに縮小したりすることができます。

設定は後で利用する際の[プリセット](#)として保存することができます。

画像をトリミングするには:

1. 現像モードで**ジオメトリ**タブを選択します。
2. トリミンググループで、トリミングウィンドウの[サイズを変更](#)し、切り取りたい画像の部分に配置します。詳細については以下をご覧ください。



[トリミング画像のプレビュー]ボタン  をクリックするか、**E** を押して、トリミングした画像のプレビューを表示します。



[グリッドの表示] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます 。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズを変更する方法は次のとおりです。

- トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望のサイズに変更する。
- トリミング ウィンドウのサイズをインチで指定する。
- トリミング ウィンドウの縦横比の比率を利用する。
- 矢印キーを使用してトリミング ウィンドウのサイズを変更する。

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミングウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング領域を最大化するには:

1. [トリミング領域の最大化]をクリックします。トリミング領域が画像の外枠に向かって最大表示されます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング ウィンドウのサイズを正確に指定するには:

1. [幅]と[高さ]のスピンドボックスに希望のトリミング ウィンドウの比率を入力します。
2. [単位]ドロップダウン リストから、寸法の単位を選択します。
3. [ドット/インチ]スピンドボックスで、解像度を指定します。

トリミング ウィンドウの縦横比を指定してサイズを変更するには:

1. [縦横比の設定]チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから、縦横比を選択します。
3. トリミング ウィンドウの端にカーソルを合わせ、カーソルが双方向矢印に変わったら、トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

縦横比を解除するには:

1. [縦横比の設定]ドロップダウン リストから、縦横比を選択します。
2. ドロップダウン リストの隣にある下矢印ボタンをクリックし、[削除]を選択します。
3. [はい]をクリックします。

縦横比を既定に設定するには:

1. [縦横比の設定]チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから、縦横比を選択します。
3. ドロップダウン リストの隣にある下矢印ボタンをクリックし、[既定に設定]を選択します。

トリミング オプション

縦横比の設定	このオプションを選択すると、トリミング領域を特定の縦横比にすることができます。ドロップダウン リストから縦横比を選択します。
トリミング領域の最大化	トリミング領域をクリックして画像全体に広がったら、トリミング ウィンドウの端をクリック & ドラッグして調整します。トリミング領域を選択し直すには、[トリミング領域の最大化] ボタンをクリックして画像全体に広げてから、トリミング領域の調整を行います。
トリミング領域の回転 	クリックしてトリミング領域を回転します。

レンズのヴィネット補正

ヴィネットは、画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。レンズのヴィネット補正は、「処理」モードの「ヴィネット補正」を使用して、画像の四隅を明るくすることで補正することが可能です。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネットを補正するには:

1. 現像モードで[ジオメトリ]タブを選択します。
2. [ヴィネット補正] グループ グループで、下の表を参照にして画像を調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ヴィネット補正 オプション

強さ	ヴィネット補正される、画像の四隅の量を調整します。
半径	ピクセルが明るく調整される画像の四隅の距離を設定します。値が高くなるほど、画像の中心に近いピクセルが明るくなります。

 [グリッドの表示] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

修復タブについて

修復タブでは、赤目補正を行って画像を修復することができます。

【修復】タブを使用するには:

1. 現像モードで**修復**タブを選択します。
2. [赤目補正]または[修復]ツールを選択します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **【完了】** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**【ツール】 | 【ACDSee オプション】** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **【エクスポート】**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**【編集】 | 【コピー】** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のまま作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイルフォーマットでは、**【保存】** は利用できません。

赤目を補正する

現像モードの **【赤目補正】** ツールを使用して、デジタル画像の赤目を補正することができます。**【赤目補正】** ツールは、赤いピクセルだけを対象にし、周囲のピクセルに影響を及ぼすことはありません。

赤目を補正するには:

1. 現像モードで **修復** タブを選択します。
2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目を拡大し、センタリングします。
3. 目の赤い部分をクリックします。
4. **【赤目補正】** グループで、下記説明に従い、スライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

赤目補正のオプション

サイズ	スライダを右に移動すると、暗くする領域の広さが広くなり、左に移動すると、小さくなります。
暗くする	スライダを右に動かし、目の補正部分が暗くします。

赤目補正は必要な場所すべてに適用できます。画像上でクリックするだけで、補正箇所を追加することができます。補正箇所は追加後に、ドラッグして移動したり、**Del** キーで削除することが可能です。



暗くしたい領域の広さは、マウスをスクロールすることにより、あとで修正することができます。



赤目補正グループの左上隅にある目のボタンをクリックすることにより、補正箇所表示/非表示の切り替えをすることができます。



Del キーで、設定した補正箇所を削除することができます。

画像を修復する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます：

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫
- センサーについたほこりによる影

修整ツールとしていくつかのオプション：ヒーリングブラシ、ブレンドクローニングツール、およびクローンブラシ。

[美肌効果] ツールは画像の一部を別の領域にコピーしますが、コピーする前にソース元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としくりなじむこととなります。[ヒーリングブラシ]は、肌や毛皮など、複雑な質感を含む写真に使用すると特に効果的です。

[クローン] ツールは、正確なピクセルを写真の一部の領域から他の領域にコピーするためのツールで、同一の画像領域を作成することになります。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

[ブレンドクローン] ツールを選択すると、[修正ツール]が写真の一部からピクセルを別の領域に正確にコピーしますが、実行前にコピー先のピクセルを分析し、コピーしたピクセルとブレンドします。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。



推奨ワークフロー： 最高の仕上がりを得るには、ヒーリングブラシを使う前に、画像にすべての幾何学操作を行ってください。

画像を補整するには：

1. 現像モードの[補正]グループにある[修復]タブで、次の操作を行ってください：
 - **ヒール：** コピー元の領域からコピー先の領域へピクセルをコピーし、コピー先の領域周辺のピクセルとなじませます。
 - **クローン：** コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーします。
 - **ブレンドクローン：** コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーし、コピー先の領域のピクセルを分析して、コピーしたピクセルとなじませます。
2. 以下の表の説明に従い、[ペン先の幅]と[フェザリング]スライダをドラッグします。
3. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。

4. コピーしたい領域をクリックアンドドラッグします。美肌効果ツールを選択した場合には、マウスボタンを放した際にACDSeeによってピクセルの分析と置き換えが行われます。[ブレンド クローン]ツールを選択した場合、ACDSee マウスボタンを離れたときに、ピクセルを分析、置換、ブレンドします。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



マウスをスクロールしてオンザフライでブラシを調整するか、スクロール中に**Shift** キーを押して、フェザリングを調整します。



正確なプレビューが表示するには、クローンを加えるとき、画像を 100% で拡大して編集してください。



赤目補正および現像ブラシやグラデーションなどその他の調整に、美肌効果やクローンをすることはできません。

修整ツールオプション

ブラシの幅を設定します。	ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズに相対します。
フェザリング	<p>ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。</p> <p>フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることとなります。このオプションは、[ブレンド クローン]ツールでは使用できません。</p>



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

Chapter 7: 編集モード

編集モードでは RGB 画像データの微調整を行うことができます。編集モードのツールを使用すると、画像の一部にさまざまな編集を追加することができます。

[編集] モードでは次の作業が可能です:

- [選択範囲ツール](#)を使用して、選択範囲を作成し、画像の一部に編集を適用します。
- [編集ブラシ](#)を使用して、画像の一部にこの効果を描画することができます。
- [ピクセルターゲット](#)を使用すると、特定のピクセルのカラーとトーンを対象として調整、選択、マスキングを行うことができます。
- [レイヤーペイン](#)を使用して、レイヤーを使った複雑な加工を画像に施すことができます。
- [欠陥](#)や[赤目](#)を除去し、[スキントーン](#)を調整し、[色収差](#)を補正します。
- [透かし](#)、[枠](#)、[ヴィネット](#)、[チルトシフト](#)、[グレイン効果](#)、[特殊効果](#)、および[描画ツール](#)の追加。
- [トリミング](#)、[反転](#)、[サイズ変更](#)、[回転](#)、[液状化](#)、[遠近の補正](#)、[レンズの歪み補正](#)。
- [露出](#)、[レベル調整](#)、[自動レベル](#)、[トーンカーブ](#)、[Light EQ™](#)、[かすみ除去](#)、および[覆い焼きと焼きこみツール](#)を使用したライティング調整。
- [ホワイトバランス](#)、[カラー EQ](#)、[カラーバランス](#)、[モノクロへの変換](#)、[スプリットトーン](#)、および[カラー LUT](#)を使用した色調整。
- [シャープネス](#)、[ぼかし](#)、[ノイズ除去](#)、[ノイズ追加](#)、[ディテール ブラシ](#)、または[明瞭度](#)ツールを使用したディテールの調整。

編集モードの使い方

現像モードで非破壊処理ツールを利用した画像修整を完了した後、最終的な画像の微調整を行うのが編集モードです。このモードでは、赤目補正や特殊効果など、ピクセルベースの編集を行うツールが用意されており、選択範囲ツールを使って、画像の一部を調整することができます。

現像モードから編集モードへの切り替え

ある画像を現像モードから編集モードへ切り替えても、オリジナルの画像が変わることはありません。変更はオリジナルの画像とは別のファイルに保存されますので、オリジナル画像や現像済み状態までいつでも戻すことができます。変更がどのように保存されるかについての詳細は、[ACDSee 画像の変更がどのように保存されるか](#)をご覧ください。

画像を編集する

画像を編集するには:

1. **編集モード**を選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
 - パネルの上にある、[選択範囲](#) または [描画ツール](#) を使用します。
 - レイヤーで作業するには [レイヤーペイン](#) を開きます。
 - 補正グループで、[赤目補正](#)、[スキンチューン](#)、[色収差](#)、または [修整ツール](#) をクリックします。
 - 追加グループで、[\[\]](#) をクリックします。[透かし](#)、[境界線](#)、[ビネット](#)、[ティルトシフト](#)、[グレイン](#)、または [特殊効果](#) をクリックして効果を選択します。

- ジオメトリグループで、[回転](#)、[反転](#)、[トリミング](#)、[ゆがみ](#)、[遠近補正](#)、[レンズ歪み補正](#)、または[サイズ変更](#)をクリックします。
- 露出/ライティンググループで、[露出](#)、[レベル](#)、[自動レベル](#)、[トーンカーブ](#)、[Light EQ™](#)、[ディヘイズ](#)、[覆い焼き](#)、[焼き付け](#)をクリックします。
- 色グループで、[ホワイトバランス](#)、[カラーEQ](#)、[カラーバランス](#)、[白黒に変換](#)、[スプリットトーン](#)、または[カラーLUT](#)をクリックします。
- [詳細]グループで、[シャープ](#)、[ぼかし](#)、[クラリティ](#)、[詳細ブラシ](#)をクリックするか、[ノイズ](#)をクリックしてノイズを[削除](#)または[追加](#)します。

3. 画像の保存にはさまざまなオプションが用意されています。詳しくは、[編集モードで画像の保存](#)のトピックをご確認ください。



[ピクセルターゲット](#) を使って特定のトーンまたはカラーに限定して、調整を加えることができます。

現像設定またはオリジナルの設定に戻す

編集設定を破棄して現像設定またはオリジナルの設定に戻すことができます。画像を元に戻すには、[オリジナルの設定または現像済み設定に復元する](#)のトピックを参照してください。

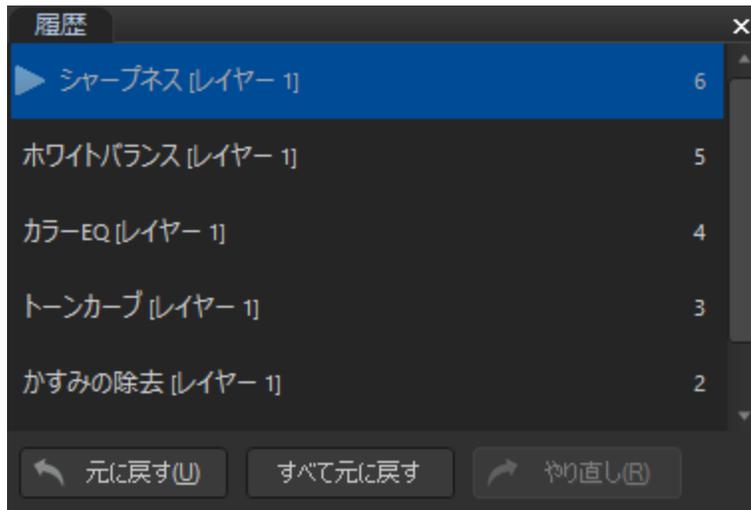
元に戻す、やり直し

履歴ペインを使用する:

履歴ペインを使用して、画像に施した一連の変更を表示することができます。履歴ペインを使用すれば、編集履歴の任意の変更を選択して、画像をその変更が適用される前の状態に戻すことができます。例えば、カラーの調整をした後シャープネスを編集し、次に露出を調整するなど複数の調整を連続して適用した場合に、いくつかの編集を遡ってカラー調整だけした状態の画像に戻したいときなどは、編集モードの履歴ペインを使うことができます。

履歴ペインを開くには、[ペイン](#) をクリックして [履歴](#) をクリックします。

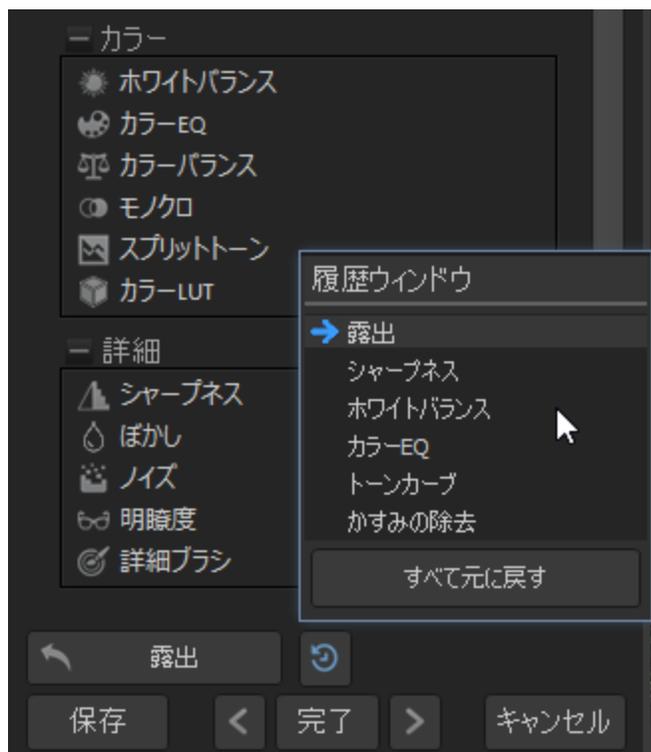
特定の調整に戻すには、ペイン内で希望する調整を選択してダブルクリックします。または、[すべて元に戻す](#) を選択して、行った調整すべてを一度に元に戻すこともできます。



編集モードの履歴ウィンドウ:

編集モードにある履歴ウィンドウで、画像に行った一連の変更を表示して確認することができます。履歴ペインを使用すれば、編集履歴の任意の変更を選択して、画像をその変更が適用される前の状態に戻すことができます。例えば、カラーの調整をした後シャープネスを編集し、次に露出を調整するなど複数の調整を連続して適用した場合に、いくつかの編集を遡ってカラー調整だけした状態の画像に戻したいときなどは、編集モードの履歴ウィンドウを使うことができます。

特定の調整に戻すには、編集モードパネルの下方にある履歴ウィンドウの矢印を選択して、戻したい調整を選択してダブルクリックします。リストにある調整はどれでも選択することができますし、すべて元に戻すを選択して行った調整を、**すべてを一度に元に戻す**こともできます。



ヒストグラムと画像の表示コントロールについて

画像の編集中に、モードの右下に位置しているズームコントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。

ヒストグラム 	<p>現在の画像のヒストグラムプレビューを表示します。ヒストグラムは、各カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端に山がある場合は、白とびや黒つぶれが発生しています。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。</p> <p>[ペイン] の [ヒストグラム] を選択してヒストグラムを表示することも可能です。</p>
元に戻す/やり直し	<p>[元に戻す] は、現在開かれているタブで行われたすべての変更を破棄します。[やり直し] は、[元に戻す] をクリックする前に選択されたオプションに戻ります。編集モードでは、[元に戻す] および [やり直し] ボタンが表示されている場合、それぞれの操作を行うが可能なことを意味します。</p>
リセット 	<p>リセット ボタンをクリックして画像を既定設定に戻します。</p>
画面に合わせて表示 	<p>画像をフルスクリーンで表示します。F キーで全画面表示、再度押すと編集モードに戻ります。</p>
原寸サイズ 	<p>現行の画像を原寸に戻します。</p>
ナビゲーターペイン	<p>自動ウィンドウ: 自動ウィンドウが有効な場合、画像を拡大すると同時にナビゲーターペインが表示されます。表示されたら、拡大したい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。</p> <p> ナビゲーターペインを右クリックして自動から手動へ切り替えます。</p> <p>手動ウィンドウ: 手動ウィンドウが有効な場合、ナビゲーターアイコンを選択すると、ナビゲーターペインが表示されます。 ナビゲーターアイコンは、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされた場合にのみ表示されます。ナビゲーターアイコンをクリックしてホールドすると、画像の小さな複製が表示されます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。</p> <p> ナビゲーターアイコンを右クリックして、手動から自動へ切り替えます。</p>
ウィンドウに合わせて表示する 	<p>編集モードの領域に合わせて画像を縮小します。</p>
前の画像の表示 ズーム スライダー 	<p>変更をオン/オフで切り替えて、最後に保存した画像と現在の画像を比較することができます。</p> <p>右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。</p>
ズーム ドロップダウンリスト 	<p>ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。</p>

編集でプリセットを使用する

さまざまな ACDSee 編集ツールや特殊エフェクトで、設定をプリセットとして保存することができます。特定のツールやエフェクトで同じ設定を頻繁に使用する場合に便利です。

ほとんどのツールでは、ACDSee [適用] または [完了] をクリックした時点でのオプション設定が自動的に保存されます。このプリセットは「最後に使用された設定」となります。



[プリセットの保存]  と [削除]  ボタンは、プリセットを保存可能な編集ツールのパネル上部で見つけることができます。

プリセットを保存するには:

1. 編集モードで、ツールを選択してオプションを設定します。
2. [プリセットを保存] ボタンをクリックします。
3. [新規プリセット] ダイアログ ボックスで、プリセット名を入力して [OK] をクリックします。
ツールのプリセット ドロップダウン リストに、新しいプリセットが表示されます。

以前保存されたプリセットを使用するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. [プリセット] ドロップダウン リストから、適用するプリセットを選択します。

プリセットを削除するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. [プリセット] ドロップダウン リストから、削除するプリセットを選択します。
3. 削除 ボタン(-)をクリックします。
4. [削除の確認] ダイアログ ボックスで、をクリックします。

プリセットをインポートおよびエクスポートする

編集プリセットをインポートおよびエクスポートできます。以下を参照してください。"プリセットをインポートおよびエクスポートする" on page 206.



インポートまたはエクスポートの際に、個々の編集モードプリセットを選択することはできません。

元に戻す/やり直しボタンを使用する

画像の編集では、画像の変更を元に戻したり、やり直すことができます。

変更を元に戻すには:

- [編集] モードで次のいずれかの操作を行います:
- 左のペインの下部にある[元に戻す]ボタンをクリックします。
 - キーボードショートカット **CTRL + Z**を押します。

変更をやり直すには:

- [編集] モードで次のいずれかの操作を行います:
- 左のペインの下部にある やり直し ボタンをクリックします。
 - キーボードショートカット **CTRL + Y** を押します。

オリジナルの設定または現像済み設定に復元する

編集中の画像を、編集で行った変更を破棄して、現像済みの設定に戻すことができます。[変更がどのように保存されるか](#)については、ACDSeeに詳しく解説されていますので、そちらをご覧ください。

 一度画像に変更を確定すると、オリジナルの状態に戻すことはできなくなります。ご注意ください。

オリジナルの画像に復元する

すべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。

編集内で、画像をオリジナルの状態に戻すには:

編集モードで、[ファイル] メニュー から [オリジナルに戻す] を選択します。

管理または表示モードで、画像をオリジナルの状態に戻すには:

1. 画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 画像を右クリックして、[処理]、[オリジナルに戻す] を選択します。
 - [処理] から [オリジナルに戻す] を選択します。

現像済みの設定に復元する

[編集]で行った変更を破棄して、現像済みの設定に復元することができます。

編集内で、画像を現像済みの状態に戻すには:

1. 編集した画像を編集モードにします。編集を破棄するかどうか確認されます。
2. [編集を破棄] をクリックします。

編集モードで画像を保存する

画像を保存する

画像の編集が終了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. [完了] をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。

保存	変更を保存します。
名前を付けて保存	<p>現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。</p> <p>ファイルの種類に応じて、画像に名前を付けて保存 ダイアログ ボックスの左下に次のオプションが表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • メタデータを保持する:新規画像でメタデータを保持します。 • データベース情報を保持する:重要度のようなカタログ情報を保持します。 • オリジナル画像用に現像設定を保持する:オリジナル画像に変更を適用し、コピーも保存します。 • 画像の埋め込みカラープロファイル:カラーマネージメントで選択したカラープロファイルを新しい画像に保持します。
破棄	変更を破棄します。
キャンセル	画像を保存せずに、変更もそのままにして同じ画像に戻ります。
自動保存	<p>自動保存を有効にすると、画像が完成する度に保存オプションを選択する必要がなくなります。自動保存を有効にして[完了]を押すか、フィルムストリップから別の画像を選択するとACDSeeの編集モードで変更が自動保存されます。[変更の保存]ダイアログが表示されることはありません。自動保存を無効にするには、[ツール]メニューから[ACDSee オプション]を選択します。オプションダイアログにある[編集モード]をクリックします。[全変更の自動保存]チェックボックスからチェックマークを外します。</p> <p> 自動保存はRAW 画像にはご利用いただけません。</p>

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 編集した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 編集した画像のコピーを新しい名前、フォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば RAW 画像を撮影してコピーを JPG として保存する場合、画質が劣化する JPG 画像に切り替えることなく、設定を変更せずに RAW 画像で作業を続けることができます。



RAW ファイルへの変更は直接保存できないため、RAW ファイルフォーマットでは **【保存】** を使用できません。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

[キャンセル] をクリックするかキーボードショートカットの **Esc** を使用します。



各モードで各種ファイルフォーマットがどのように保存されるかについての詳細は、[ACDSee 画像の変更を保存する方法をご覧ください](#)。現像モードで画像がどのように保存されるかについての詳細は、[現像モードで画像を保存するをご覧ください](#)。

ACDSee での画像の変更の保存方法

RAW ファイルのようにエンコード不可能な画像、あるいは JPEG のようにエンコード可能な画像を扱っているかによって、保存方法が異なります。下の一覧は、ACDSee の保存方法と違いを画像のフォーマット別に表したものです。オリジナル、現像済み、編集済みという異なるステータスで保存すると、後で変更を破棄したくなった場合に、特定の設定状態に戻ることができるため大変便利です。



画像をアーカイブ保存する場合、オリジナルの画像ファイルと共に、サブフォルダも含んでバックアップすることを忘れないようにしてください。

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
オリジナル	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。
現像済み	変更を行ってから [完了] をクリックすると、その画像の現像設定が RAW ファイルの XMP ファイル内と ACDSee データベースにも保存されます。	現像処理を行ってから [完了] をクリックすると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、オリジナルの画像と XMP ファイルは [オリジナル] フォルダに移動されます。管理モードおよび表示モードには、変更された画像が表示されます。現像設定は、ACDSee データベースにも保存されます。
編集済み	RAW ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行い [保存] をクリックすると、ACDSee 別のファイルフォーマットで保存することを促すメッセージによって発信されます。RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	画像ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行った後に保存すると、オリジナルの画像は ACDSee の [オリジナル] フォルダ内に保存されます。 画像を編集した後に「現像」で開くと、ACDSee 編集処理が失われることを確認するメッセージがによって発信されます。「編集」で編集処理を行う前に現像されなかった画像は、「現像」の設定に戻すことができませんので注意してください。
現像済みと編集済み	画像を現像すると、画像の現像設定は RAW ファイルの XMP ファイル内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、新しいファイルフォーマットで保存することを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。 RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、[オリジナル] フォルダに格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから [保存] をクリックすると、ACDSee はその画像を保存します。 編集済みの画像を「現像」に戻って処理を行おうとする場合、ACDSee 編集処理が失われることを確認するメッセージがによって発信されます。編集処理の破棄が選択されると、現像設定が付随したオリジナル画像が開きます。

Photoshop® プラグインを適用する

ACDSee は、[編集] モードで 32 ビット版と 64 ビット版の Adobe® Photoshop® プラグインに対応しています。32 ビット版の Photoshop® プラグインが機能するのは、32 ビット版の ACDSee のみです。同様に、64 ビット版のプラグインを実行できるのは、64 ビット版の ACDSee のみです。



すべてのプラグインが Photoshop® とまったく同じように機能するわけではありません。

Photoshop® プラグインを適用するには:

[編集] モードで画像を開き、[ツール]、[Photoshop プラグイン]、[(自分のプラグイン)] の順に選択します。



[編集] パネル下部にある [元に戻す] ボタンを押すと、プラグインの効果を元に戻すことができます。



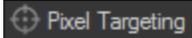
2つのウィンドウで同じプラグインを ACDSee 同時に開くことはできません。

Photoshop は Adobe Inc の登録商標です。

カラーまたはトーンを調整する対象

編集モードのツールは、写真全体にさまざまな調整を適用することができ、編集ブラシでは写真の中の選択した一部分だけに希望の調整を行うことができます。そして、ピクセルターゲットを使用すると特定のトーン、カラー、そしてスキントーンだけを対象として調整をすることができます。ピクセルターゲットは編集モードにあるいくつかの調整ツールで使用することができ、画像上の特定のカラーやトーンだけにその調整を適用できるようになる機能です。例えば、画像を開いて編集モードにある露出を選択すると、調整した露出は画像全体に渡って適用されます。しかし、もしも画像の青い空の箇所の露出だけ調整したい場合、ピクセルターゲットを使用して青色だけを選択すれば、青い空の部分の露出だけを増加させることが可能になります。

ピクセルターゲットを使用してターゲットのみのカラー・トーンを調整するには:

1. 編集モードにある次のいずれかのツールを開きます: ヴィネット、任意の特殊効果、チルトシフト、露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、Light EQ™、ホワイトバランス、アドバンス カラー、カラーバランス、白黒への変換、スプリットトーン、シャープネス、ぼかし、ノイズ、または明瞭度。
2. コンテキストバーの最上部にある **ピクセルターゲット** ボタンをクリックします。 
3. ピクセルターゲットパネルの設定を以下のように設定します。
4. 選択した編集ツールの設定を調整します。対象として選択したカラーまたはトーンだけが調整されます。

ピクセルターゲット パネル

ピクセルターゲットパネルは、次の4つのセクションで構成されています。ターゲットトーン、ターゲットカラー、ターゲットスキントーン、ターゲットマスク。

ターゲット マスク:

ターゲット(対象)となるカラーやトーンが画像上に配置されている部分を白で表示します。ターゲットとなるピクセルが選択されていないときは、ターゲットマスクは真っ黒になります。反対に、ピクセルターゲットパネルを最初に開いたときのように、すべてのピクセルがターゲットとして選択されているとき、ターゲットマスクは真っ白に表示されます。

ターゲット トーン:

ターゲットトーンのスライダーでは、明るさのトーンを調整することができます。1つ、または複数のトーンをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのトーンを選択が解除されますので、それからターゲットとしたいトーンのスライダーを 0 から 100 の間で好みで調整します。

ターゲット カラー:

ターゲットトーンのスライダーでは、特定のカラーを調整することができます。1つ、または複数のカラーをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのカラーの選択が解除されますので、それからターゲットとしたいカラーのスライダーを 0 から 100 の間で好みで調整します。

ターゲット スキントーン:

スキントーンのスライダーでは、特にスキントーンを調整することができます。スキントーンをターゲットとするには、スライダーを 0 から 100 の間で好みによって右にスライドさせて調整します。

ターゲット スキンのスライダーを移動させると、スキントーン以外のすべてのカラーが対象外になります。例えば、グリーンカラーのスライダーで調整ができなくなります。スキントーンとカラーを同時にターゲットにして調整したい場合、まずターゲット スキントーンを実行してから、次に編集ツールを選択後、調整したら、**適用**をクリックします。次にピクセルターゲット パネルをクリックして開いたら、トーンまたはカラーをターゲットに設定します。

調整済みのスキントーンを対象から除外するには、スライダーを 0 から -100 の間で好みでスライドさせます。この方法を使えば、スキントーンに影響を与えることなく、さまざまな編集ツールで設定した調整を画像に適用することができます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ピクセルターゲットは、**選択範囲** または **編集ブラシ** とペアで使うとさらに効果を発揮します。ピクセルターゲットと同時にこのようなツールを使うと、画像にある青い色すべてなどではなく、人物の青い目の部分だけなど、画像の特定の細部まで正確に狙って編集することができますようになります。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[**リセット**]をクリックします。



使用した設定はプリセットとして保存し、後で再利用することができます。ピクセルターゲット パネルにあるプリセットの保存を使用すると、ピクセルターゲットで調整した対象設定だけが保存され、編集ツールで設定した露出などの調整は保存されません。この2つは別々に保存する必要があります。

編集ブラシを使用する

編集モードのツールは、写真全体にさまざまな調整を適用することができますが、写真の一部にだけ適用したい場合も時にはあります。例えば、写真全体をぼかすのではなく、背景など、写真の一部だけをぼかしたい、というような場合です。このような部分的な調整を行うことができるのが、編集ブラシです。

編集ブラシは、ブラシをかけるだけで選択的に効果を適用できます。編集ブラシでは、どのピクセルに効果を適用するかを決定するためにマスクを作成します。



編集ブラシ

編集ブラシが利用可能な編集ツールでは、編集パネル ツールバーの上中央に、編集ブラシ ボタンが表示されます。

編集ブラシを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。

2. **編集ブラシ** ボタンをクリックして、ブラッシング モードに入り、ブラシ コントロールを開きます。



または、ブラシ パネ

3. パネルで、または直接、下の表の説明のようにブラシ設定を指定します。
4. 写真に効果を描画します。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. **完了** をクリックしてブラシ ストロークを適用します。

ブラシ コントロールの編集

ブラシ ストロークの追加	マウスの左ボタンを押しながらブラッシングします。
ブラシ ストロークの消去	マウスの右ボタンを押しながらブラッシングします。
ブラシ幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してブラシ幅を変更するか、[ブラシ幅]スライダを使用します。
フェザリング	スライダでブラシストロークと画像の間のトランジションの濃淡の調整ができます。「Shift + マウスホイール」でフェザリングの量を調整するか、 フェザリング スライダを使用します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強度を指定します。
ブラシ モードとカーソル適用ツールを切り替える	ライトEQ™やホワイトバランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、 Alt キーを押しながらブラシ モードをツールの使用に切り替えることができます。
すべてのブラシストロークをクリア	 画像からすべてのブラシ ストロークを削除します。
すべてのブラシストロークを反転	 ブラシストロークを反転します。こうすると、ブラッシング済みの領域はそれ以上効果が適用されず、ブラッシングされていない領域に効果が適用されます。画像の大部分をブラッシングしたいけれども、小さな一部はそのままにしたい場合に便利です。つまり強化を適用したくない部分にのみブラシを適用した後で反転すればいいわけです。
最後に適用したブラシストロークを読み込み	 最後にブラシを適用した領域に効果を適用します。
スマート ブラシ	以下の スマートブラッシング セクションを参照してください。
ブラシ ストロークを表示	 <input checked="" type="checkbox"/> ブラシストロークを表示
	このオプションが有効の場合、ブラシのストロークが選択されている色で表示されます。これは複雑な領域にわずかな効果を適用したい場合、処理したかどうかのわかりにくいので便利です。もしくは S キーを押下するとブラシストロークを表示できます。

 編集ブラシをクリックしてブラッシングモードに入った場合、ブラシ ストロークを適用して調整を確認します。

  ブラシモードを終了するには、編集ブラシボタンをクリックします。

 [ファイル]メニュー下部にある[元に戻す]ボタンでブラシ ストロークを個別に元に戻すことができ、[やり直す]ボタンでブラシ ストロークを個別にやり直すことができます。

 **ブレンド モード** および **選択範囲**で編集ブラシを使用し、効果の適用方法を変更することも可能です。

編集ブラシは、多くの編集ツールと特殊効果フィルタで使用することができます。ただしこのツールが不必要な場面では表示されません。編集ブラシは次のツールでは利用できません: トリミング、サイズ変更、レンズ歪みの補正、遠近の補正、回転、反転、透かし、赤目補正、修整ツール、および選択範囲。

スマート ブラシ

スマートブラシを使うと、ブラシ処理の対象を、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに絞ることができます。スマートブラシは、ピクセル値がブラシ ストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、調整をこれらのピクセルにのみ適用することができます。

スマート ブラシを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。

2. **編集ブラシ**ボタンをクリックして、ブラッシングモードに入り、ブラシコントロールを開きます。 または、ブラシパネルはキーボードの **B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。

3. スマートブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

色	ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである色 (しきい値設定によって異なる) を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
明るさ	ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである明るさ (しきい値設定によって異なる) を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
マジック	ブラシストロークの中央のピクセルと同じ色と明るさの値の組み合わせ (しきい値設定によって異なる) を使用して、ブラシをかけるピクセルを判断します。

4. しきい値スライダを使って、スマートブラシ効果のピクセルの範囲を増減させます。

5. 選択したい色または明るさにカーソルを合わせ、効果のペイントを開始します。

6. スライダーを変更して効果を調整します。

7. **完了**をクリックしてブラシストロークを適用します。



スマートブラシを一時的に無効にするには、**Shift** キーを押したままブラシをかけます。このキーボードショートカットは、ストロークごとに使用できます。



右クリックしてブラシストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマートブラシをオフにするには:

スマートブラシのドロップダウンメニューから[オフ]を選択します。

グラデーションツールを使用する

編集モードのツールは、写真の全体に調整を適用することができますが、しばしば、写真に対して段階的に適用したい場合もあります。例えば、ぼかしを写真全体に均一に適用するのではなく、徐々に適用したり、画像の一部に適用したい場合などです。その場合には、グラデーションツールを使って、効果を写真全体にグラデーションをかけて適用しましょう。

グラデーション ツール

グラデーションツールが利用可能な編集ツールでは、編集パネルツールバーの上中央に、グラデーションツールボタンが表示されます。

グラデーション ツールを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **グラデーション** ツールボタン をクリックしてグラデーションモードに入ります。または、グラデーションパネルはキーボードの **G** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. 下の表の説明のように、このパネルでまたは直接グラデーション設定を指定します。
4. 画像上でガイドを移動します。ガイドボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスの一方のサイドではグラデーションツールによる効果が最大限に適用され、他方では一切適用されません。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスを有効にします。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、45°で切り捨てられる角度に固定できるような効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. [**適用**]または[**完了**]を押します。

グラデーション ツールオプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。画像の上部からグラデーションを開始する効果を適用した後、反転ボタンをクリックすると、グラデーションが反転して画像の下部から適用されるようになります。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくは**S**キーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

グラデーション ツールとカーソル適用ツールを切り替える

Light EQ™ やホワイト バランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、**Alt** キーを押し続けることでグラデーション モードをツールの使用に切り替えることができます。



グラデーション モードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。



編集ブラシ モードに切り替える際、グラデーション マスクを保持するには、**Shift** キーを押しながら、編集ブラシ ボタンをクリック



します。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。

グラデーション ツールは、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができます。ただしこのツールが不必要な場面では表示されません。グラデーション ツールは次のツールでは利用できません：ディテール ブラシ、覆い焼きと焼き込み、サイズ変更、レンズ歪みの補正、遠近の補正、トリミング、回転、描画ツール、ビネット、枠、透かし、修復ツール、赤目補正、選択範囲。

放射状グラデーションツールを使用する

編集ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真にの一部分だけに適用したい場合もあるでしょう。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。放射状グラデーション ツールを使用して効果を丸く適用したり、画像の中心に直接適用することができます。

放射状グラデーション ツール

すべての利用可能な編集モードツールでは、編集パネル ツールバー上部に放射状グラデーションツールボタンが表示されます。

グラデーション ツールを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **放射状グラデーション** ツールボタン  をクリックして、放射状グラデーションモードを起動します。または、**R** キーで、放射状グラデーション パネルの表示/非表示を切り替えることができます。
3. パネルの放射状グラデーション設定を指定します。
4. 画像上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。放射状グラデーションで適用した効果は、効果のない箇所(円の中)と効果が強い箇所(円の外)が出会う円の境目で、遷移します。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。**Shift**キーを押しながら、効果の位置を決め、放射状グラデーションを真円に変えます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. **完了**を押します。

グラデーション ツールオプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えてグラデーションを反転します。[グラデーションの反転] ボタンをクリックして、画像の中心部（円形のガイドの中）に効果を適用してください。放射状グラデーションの外側は変更されません。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、放射状グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくは**S**キーを押下するとグラデーション マスクを表示 できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

放射状グラデーション ツールとカーソル適用ツールを切り替える

Light EQ™ やホワイトバランスなど、画像上での描画 やクリックを含むフィルタの場合、**Alt**キーを数秒間押下し、放射状グラデーション モードをツールの使用に切り替えることができます。



放射状グラデーション モードを終了するには、放射状グラデーション ツール ボタンをクリックします。



編集ブラシモードに切り替える際、放射状グラデーションマスクを保持するには、**Shift**キーを押しながら、編集ブラシボタンを



クリックします。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。

放射状グラデーションツールは、数多くの編集ツールと特殊効果フィルターで利用することができますが、編集ブラシが不要な編集ツールと特殊効果では表示されません。放射状グラデーション ツールは次のツールでは利用できません: デイテールブラシ、覆い焼きと焼きこみ、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、トリミング、回転、描画ツール、ヴィネット、枠、透かし、修整ツール、赤目補正、選択範囲。

ブレンドモードと不透明度について

編集内のツールの中には、スクリーンの上部に「ブレンド」と「不透明度」というツールが表示するものがあります。これらのツールをクリエイティブに使用して、新しい画像を生み出すことができます。「ブレンドモード」と「不透明度」は、画像全体、あるいは画像の選択された部分のみに適用することができます。

不透明度

「不透明度」スライダは、編集済み画像の透過度を変更するためのものです。施された編集が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。

ブレンドモード

オリジナルの画像と編集済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

通常	編集済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	編集済みの画像とオリジナル画像の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	編集済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
焼きこみ	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差異	オリジナル画像の色から編集済みの色を減算します。編集済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生み出しますが、黒では効果が見られません。
暗くする	オリジナル画像よりも暗い編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも明るい画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています)
明るくする	オリジナル画像よりも明るい編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも暗い画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています)
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	編集済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	編集済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	編集済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	編集済み画像の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	編集済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダで斑点の強度をコントロールします。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生み出しますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。
ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からブレンド色を減算します。
除算	画像 (ベース) 色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。



編集ブラシ を使用



度合いを変更することができます。

すると、画像の一部に効果を描画し、ブレンドモードと透明度スライダを設定して効果の

「ブレンドモード」と「不透明度」は、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、これらが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。「ブレンドモード」と「不透明度」が表示されないツールの一覧は次の通りです: トリミング、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、回転、反転、透かし。赤目補正、修整ツール、および選択範囲。

ルーラーとガイドラインを追加する

ルーラーとガイドラインを使用して、レイヤー、テキスト、およびオブジェクトを正確に配置できます。

ルーラーをオンにするには:

編集モードで、[表示]メニューから[ルーラー]を選択するか、**Ctrl + T**を押します。

ルーラーの測定単位をカスタマイズするには:

ルーラーを右クリックして、コンテキストメニューから新しい測定単位を選択します。

ガイドラインを描くには:

ルーラーを有効にして、ルーラーをクリックし、画像上の目的の場所にガイドラインをドラッグします。



移動ツールが有効になっていれば、一度配置したガイドラインを移動できます。



ガイドラインへのスナップを有効にするには:

ガイドラインの正確な位置に、レイヤー、オブジェクト、テキストレイヤーをスナップできます。スナップを有効にすると、レイヤーの端をガイドラインの近くに移動することができ、それがガイドラインにスナップされます。

[表示]メニューから、[ガイドラインにスナップする]を選択するか、**Ctrl + Shift + G**を押します。このキーボードショートカットを使用して、スナップを有効または無効にできます。

ガイドラインを削除するには:

[表示]メニューから、[ガイドラインを削除する]を選択するか、**Ctrl + Shift + ;**を押します。

ガイドラインを所定の場所にロックするには:

[表示]メニューから、[ガイドラインにロックする]を選択するか、**Ctrl + Alt + ;**を押します。

ガイドラインを非表示にするには:

[表示]メニューから、[ガイドラインを非表示にする]を選択するか、**Ctrl + ;**を押します。このキーボードショートカットを使用して、ガイドラインの非表示/表示の切り替えができます。



ルーラーとガイドラインのオプションをカスタマイズできます。「[ルーラーとガイドラインのオプションを設定する](#)」を参照してください。

レイヤーを使用する

編集モードにあるレイヤーペインを使って、レイヤーに効果や形を追加をしたり、写真加工を実行したり、合成写真を作成するなどさまざまな編集が楽しめます。レイヤーを使うと他の画像に影響を与えることなく、画像のある特定の要素だけに作業を行うことができます。レイヤーはお好みに合わせて、透明にも不透明にもできます。そのため、レイヤーを重ねることで各レイヤーに追加するエレメントの可視性を自由に調整できます。レイヤーは非表示にすることもできます。

レイヤーは特殊効果や調整ツール、描画ツール、テキストなど複数のツールと併用して使用することができます。レイヤーペインでレイヤーを選択したら、効果を適用したり、透明度を調整したりすることができます。ブランクの画像を作成して、その上にその他の要素をレイヤーとして載せることもできます。



ジオメトリに関する調整はすべてのレイヤーに適用されます。

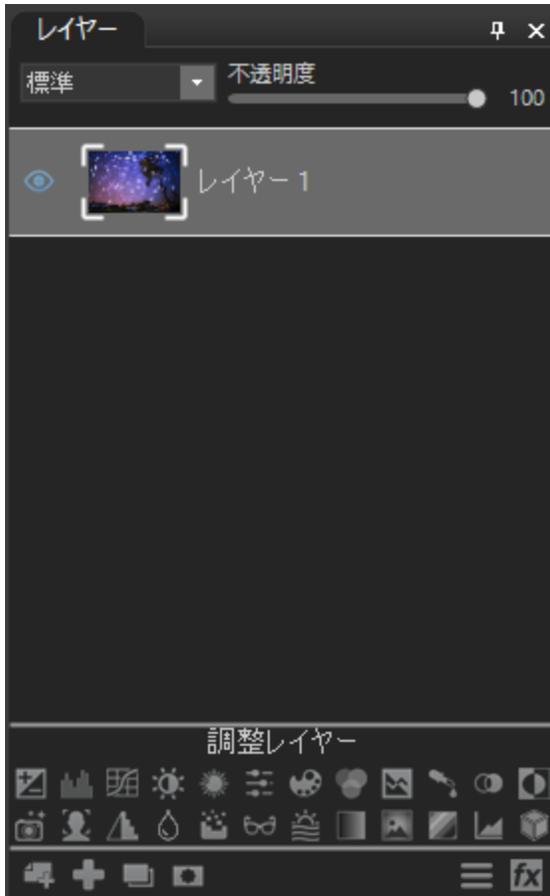


新しいレイヤーに透かしを追加するオプションもあります。

レイヤーペインを開くには:

[編集] モードで画像を開いたら、[ペイン] から [レイヤー] に進みます。

レイヤーペインを開くと、画像がレイヤー1の上に表示されます。この時点で、写真を編集したり、他の写真や描画エレメント (シェイプなど) を含んだ別のレイヤーを追加したりできます。[マスク](#) を作成して、下層のレイヤーを表示 / 非表示することもできます。

**レイヤーを追加するには:**

以下のいずれかの操作を行います。

- レイヤーペインの下部にある [空白のレイヤーを追加する] ボタンを押します。
- [レイヤー] から [空白のレイヤーを追加] に移動します。



レイヤーを編集するには、レイヤーペインで該当のレイヤーを選択します。

レイヤーペインにもう1つ画像を追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [レイヤー] ペインの下部にある [ファイルをレイヤーとして追加] ボタンを押します。
- [レイヤー] から [ファイルをレイヤーとして追加] に移動します。
- 編集モードの下にあるフィルムストリップから画像のサムネイルを選択してレイヤーペインにドラッグします。



- 編集モードの下の方にあるフィルムストリップから画像のサムネイルを右クリックし、コンテキストメニューから **[画像を新規レイヤーとして追加]** を選択します。

複数の画像をレイヤーペインに追加するには:

管理モードで、目的の画像を選択し、コンテキストメニューから右クリックで **[処理]** に続き **[ファイルをスタックにロード]** を選択します。

レイヤーの可視性を設定するには:

すべてのレイヤーを表示または非表示にするには、以下に挙げる手順のいずれかを実行します。

- [レイヤー] から **[すべてのレイヤーを表示]** を選択するか、**Shift + J** を押します。
- [レイヤー] から **[すべてのレイヤーを非表示]** を選択するか、**Shift + Y** を押します。

個々のレイヤーを表示または非表示にするには、該当するレイヤーを選択して **[レイヤーの表示 / 非表示]** ボタンを押します。

レイヤーの表示 

レイヤーの非表示 

レイヤーを削除するには:

レイヤーを選択したら、**[レイヤーの削除]** ボタンを押します。



レイヤーを複製するには:

複製したいレイヤーを選択し、**[複製]** ボタンを押します。



レイヤーを移動するには:

レイヤーペインで、レイヤーを選択して上下にドラッグします。

レイヤー名を変更するには:

1. 「レイヤー1」などからレイヤー名を変更するには、レイヤーを選択して右クリックします。
2. コンテキストメニューから **[レイヤー名の変更]** を選択します。
3. [レイヤー名の変更] ダイアログボックスで、新しいレイヤー名を入力して **[OK]** をクリックします。

レイヤーを結合するには:

レイヤーは下層のレイヤーと結合することができます。

1. 一番上のレイヤー、または下にレイヤーが存在しているレイヤーを選択します。

2. **[下のレイヤーと結合]** ボタンを押します。



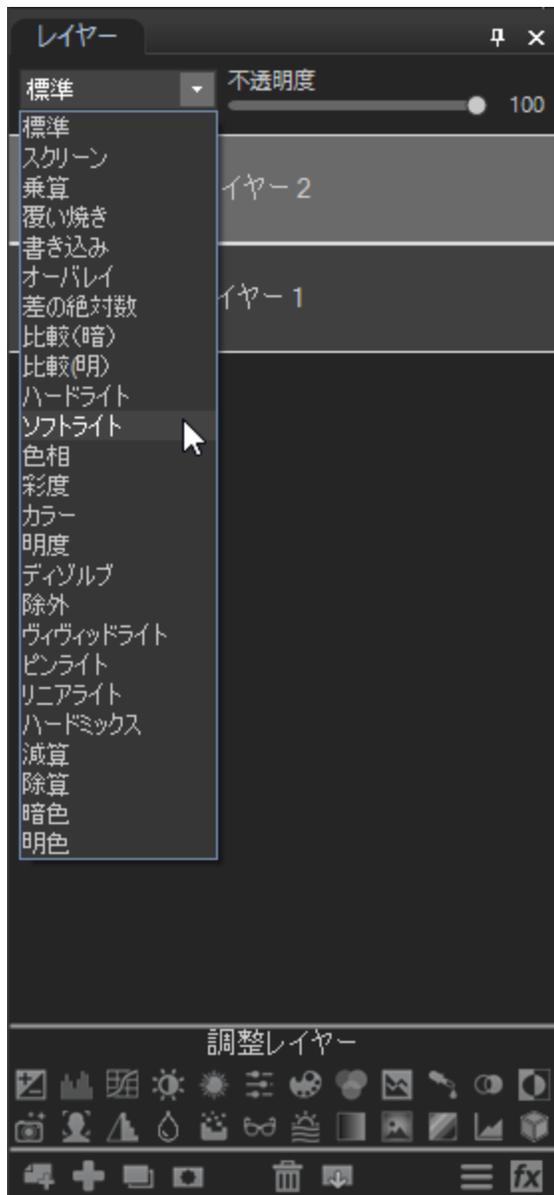
画像を統合するには:

すべてのレイヤーをひとつの画像に結合するには、次の操作を行います。

[レイヤー] に続き **[画像を統合する]** を選択します。

レイヤーのブレンドモードと不透明度を変更するには:

[ブレンド] モードによって、それぞれのレイヤーがどのようにブレンドされるかが決まります。ブレンドは、例えレイヤーの順序が変更されても、適用されたレイヤーに固定されます。不透明度では、レイヤーの可視性、透明度を調整することができます。



1. レイヤーを選択します。
2. [レイヤー]ペインの上部にあるドロップダウンリストから、[ブレンドモード]を選択します。
3. [レイヤー]ペイン上部の[不透明度]スライダを移動します。

レイヤー化した画像は、以下の手順で保存します:

レイヤー化した画像を保存する場合、[名前を付けて保存]ダイアログが開きます。ファイルフォーマットはデフォルトで[.acdc]に設定されています。.acdc ファイルフォーマットで保存すると、その後[編集]モードで画像を再度開いたときも、レイヤーにアクセスすることができます。



画像を統合したり、レイヤーをすべて結合した場合には、[名前を付けて保存]ダイアログボックスには既定のフォーマットとして、acdcは表示されません。

このファイルフォーマットは、すべてのビット深度画像に対してデフォルトで各チャンネル8ビットで保存されます。RAW ファイル、64ビット TIFFファイルなどチャンネルデータごとに16ビットある画像は、チャンネル毎に16ビットで保存できます。これによってより高画質な画像が

実現しますが、ファイルサイズも大きくなります。16ビットで保存するには、[名前を付けて保存] ダイアログボックスで [各チャンネルデータ 16ビット] のチェックボックスを選択します。このオプションを使用して各チャンネルデータが16ビットより低い画像を保存しようとする、チャンネル毎に8ビットで保存されます。

新しい画像を作成するには:

ブランクのまったく新しい画像を作成することができます。

1. [ファイル]に行き[新しい画像...]または **Ctrl + N**を押します。
2. [新しい画像]ダイアログボックスで、画像名と寸法を入力します。ドロップダウンメニューを使用して、測定単位をカスタマイズできます。
 - ! 幅または高さはいずれも、16,000ピクセルを超えて設定することはできません。
3. [アスペクト比]の横にあるドロップダウンリストから、アスペクト比を選択します。[カスタム]オプションを使用して、独自の比率を定義できます。ドロップダウンで比率を選択し[削除]ボタンを押すことで、比率を削除することもできます。
4. [解像度]の横で、[インチあたりのドット数]フィールドを使用して解像度を指定します。
5. [背景のコンテンツ]ドロップダウンメニューから画像の背景色を選択します。
6. [ビット数]ドロップダウンメニューから、画像を32ビットと64ビットのいずれにするかを選択します。
7. [OK]を押します。新しい画像が.acdcフォーマットで開きます。

レイヤーマスクを追加するには、[レイヤーでマスクを使用する]を参照してください。

調整レイヤーを使用する

レイヤー ペインの[調整レイヤー]セクションを使用すると、編集モードの画像で非破壊的に調整したりエフェクトを追加したりできます。調整レイヤーはレイヤー ペインで重なっており、いつでも個々のレイヤーに戻って、各エフェクトの調整を続行することができます。各調整レイヤーにはデフォルトでマスクが備わっています。

調整レイヤー付きの画像を .acdc ファイルで保存すると、その画像を編集モードで開き直し、引き続きいつでも各エフェクトを個別に調整することができます。



最高の仕上がりを得るには、調整レイヤーを追加する前に全体調整をすべて行います。

調整レイヤーを追加するには:

編集モードで画像を開いて、次のいずれかの操作を行います。

- レイヤー ペインの下部から調整レイヤー アイコンを選択する。
- レイヤー ペインの下部にある[調整レイヤーの追加]メニューから調整レイヤーを選択する。☰

調整レイヤーがレイヤー ペインの画像の上に追加されます。調整レイヤーの設定がパネルの下部に表示されます。以下に従って設定を行ってください。

調整レイヤーを特定の画像に適用するには:

レイヤー ペインに複数の画像がある場合、調整レイヤーを特定の画像に制限することができます。

1つの調整レイヤーをその下の最も近い画像レイヤーだけに適用するには、[クリッピング]ボタンを有効にします。



クリッピング オフ



クリッピング オン

すべての調整レイヤーの[クリッピング]ボタンをすべて有効にすると、複数の調整レイヤーを特定の1つの画像レイヤーに適用することができます。

調整レイヤーと設定

露出調整レイヤー オプション

露出	スライダを右に移動して露出を増やすか、左に移動して露出を減らします。
コントラスト	コントラストを増やすには右へ、コントラストを減らすには左へ、スライダをドラッグします。

レベル調整レイヤー オプション

- レベルパネルの右側にあるボタンを使用して、調整するチャンネルに輝度、赤、緑、青を選択します。
- パネルの下部にある矢印を使用して、シャドウ、中間色、ハイライトを調整します。シャドウの矢印を移動させて、画像の最も黒い部分を定義します。中間色の矢印を移動して、中間色を定義します。ハイライトの矢印を移動して、画像の最も白い部分を定義します。

カーブ調整レイヤー オプション

カーブパネルの右側にあるボタンを使用して、調整する RGB、赤、緑、青のカラーチャンネルを選択します。

[トーンカーブを調整する]を参照してください。

Light EQ™ 調整レイヤー オプション

明るくする	スライダをドラッグして、画像の暗い部分の明るさを増やします。
暗くする	スライダをドラッグして、画像の明るい部分の明るさを減らします。

ホワイト バランス調整レイヤー オプション

色温度	補正の暖かさを青から黄色に調整します。
色合い	補正の色合いをマゼンタから緑に調整します。

彩度調整レイヤー オプション

パイプランス	パイプランスを増やすには右へ、パイプランスを減らすには左へ、スライダをドラッグします。パイプランスを増やしても画像のスキントーンには影響しません。彩度と異なり、すべての色を均等に増感するわけではありません。
彩度	彩度を増やすには右へ、彩度を減らすには左へ、スライダをドラッグします。
色相	画像の色相を調整します。色相を増やすには右へ、色相を減らすには左へ、スライダをドラッグします。
輝度	画像の明るさを調整します。明るさを増やすには右へ、明るさを減らすには左へ、スライダをドラッグします。

カラー EQ 調整レイヤー オプション

[彩度]、[色相]、または[明るさ]のタブを選択し、スライダをドラッグして色の調整を個別に行います。

パイプランス	スライダをドラッグして、スキントーンを変えずに画像のパイプランスを調整できます。
彩度	彩色飽和からグレースケールまで調整することができます。
色相	色相を変更します。
明るさ	画像で明るいトーンまたは暗いトーンを調整することができます。

RGB 調整レイヤー オプション

[赤]、[緑]、[青]のスライダを使用して、画像の RGB チャンネルをバランス調整したり強調したりします。

スキントーン調整レイヤー オプション

色相のハイライト	スライダを右にドラッグしてハイライトする色を選択します。
彩度のハイライト	スライダを右にドラッグして画像のハイライトでの指定色の彩度を上げます。
シャドウの色相	スライダを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
シャドウの彩度	スライダを右にドラッグして画像のシャドウ部分での指定色の彩度を上げます。
バランス	スライダを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダが最大値の50に設定されている場合は、ハイライト色は最大限に強調され、スライダのが最小値の-50に設定されている場合は、シャドウ色が最大限に強調されます。

色追加調整レイヤー オプション

- 画像に追加する色を選択します。
- [密度] スライダを使用して、追加した色の強度を指定します。

モノクロ調整レイヤー オプション

[赤]、[緑]、[青]のスライダを調整して、モノクロ画像に色を追加し直します。

明るさ	画像の色の明るさを調整します。
-----	-----------------

ネガ調整レイヤー

ネガ調整レイヤーにより、画像からネガが作成されます。この調整レイヤーに対する設定はありません。

写真エフェクト調整レイヤー オプション

ドロップダウンメニューから写真エフェクトを選択して、画像の雰囲気を変更します。

 マウスホイールを使用すると、写真エフェクトを速くスクロールすることができます。

スキントーン調整レイヤー オプション

スムージング	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	エフェクトによるきめの質感の程度を指定します。値を下げれば細かいディテールが、上げれば大きなディテールが強調されます。

シャープネス調整レイヤー オプション

強度	エッジの各サイドのコントラストを増減することで、適用するシャープネスの強度を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えてディテールが荒くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減ってディテールがきめ細かくなります。
ディテール	強度を減らすことにより光輪(極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線)を抑えます。値が大きいほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズが増えます。背景ノイズを最小に維持しながらエッジを強調するようにしきい値を設定するのがおすすめです。

ぼかし調整レイヤー オプション

[ガウシアン]ボタンまたは[方向性]ボタンを選択してぼかしの種類を選択します。  

ガウシアン	全体を均等に、滑らかにぼかします。
強度	ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
方向性	画像に動きをつけてぼかします。
強度	ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
角度	ぼかしエフェクトが適用される方向を指定します。

ノイズ除去調整レイヤー オプション

輝度	ノイズ中の明るさのばらつきを除去します。
色	ノイズ中の色のばらつきを除去します。

明瞭度調整レイヤー オプション

明瞭度	スライダを右にドラッグすると画像のテクスチャが強調されます。スライダを左にドラッグすると画像のテクスチャが滑らかになります。
オートン	スライダをドラッグすると、テクスチャがわずかに滑らかになりながら局所的なコントラストが強調されます。
ソフトライト	スライダをドラッグすると、テクスチャがわずかに滑らかになりながら明るくなります。
トーンの幅	スライダをドラッグすると、明瞭度、オートン、ソフトライトのスライダにより変化するシャドウとハイライトの量をコントロールできます。値0を選択すると中間色の調整が制限されます。値100を選択するとすべてのトーンで均等に調整が適用されます。
半径	スライダをドラッグして、変化するテクスチャのディテールの程度をコントロールします。値0を選択すると細かいディテールが強調され、値100を選択すると大きなディテールが強調されます。
輪郭の強調処理	強調テクスチャによってエッジ周辺に光輪ができるのを抑え、テクスチャを滑らかにする際のエッジのソフト化を最小限にするには、このチェックボックスをオンにします。

かすみ除去調整レイヤー オプション

スライダをドラッグしてコントラスト、ディテール、色を補正する強度を調整します。

グラデーション マップ調整レイヤー オプション

シャドウ	画像の暗い領域に追加する色を指定します。
ハイライト	画像の明るい領域に追加する色を指定します。

ビネット調整レイヤー オプション

強度	ビネットのサイズと強度を指定します。
距離	焦点の周りにあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
形状	フレームの形状を指定します。

ポスタライズ調整レイヤー オプション

[ポスタライゼーション エフェクトの適用](#)を参照してください。

しきい値調整レイヤーオプション

スライダを使用して明るさのレベルを選択します。選択したレベルの明るさより明るいピクセルはすべて白くなり、暗いピクセルはすべて黒くなります。

カラー LUT レイヤーオプション

ドロップダウンメニューからカラー LUT を選択します。または、[LUT をインポート] ボタンを押して、新しい LUT をリストにインポートします。

レイヤーでマスクを使用する

レイヤーマスクで、レイヤーの透明度を調整することができます。不透明スライダはレイヤー全体の不透明度を簡単に調整したいときにとっても便利ですが、レイヤー マスクはレイヤーの特定部分に絞って調整したいときに効果を発揮します。レイヤーマスクを使って下層にあるレイヤーの一部を表示/非表示にしましょう。複数の画像を1つの画像に統合したいときや、一部分だけ調整したいときに、レイヤーマスクは非常に効果的です。

次のように考えると、レイヤーマスクとはどんなものかわかり易くなります：

ホワイトマスクとは下層にあるレイヤーを完全にカバーします。ホワイトマスクを黒いブラシでペイントすると、マスクにまるで "穴" ができるようにブラシをするため、その下にあるレイヤーが透けて見えるようになります。反対にブラックマスクは透明なので、下層にあるレイヤーを完全に表示します。ブラックマスクを白いブラシでペイントすると、画像を覆い隠しているため、その下にあるレイヤーがカバーされて隠されます。

レイヤーマスクを作成するには:

以下のいずれかの操作を行います：

- レイヤーペインで、レイヤーマスクを追加したいレイヤーを右クリックして、[ホワイトマスクを設定] または [ブラックマスクを設定] を選択します。
- [レイヤー] から [マスク]、[ホワイトマスクの設定] または [ブラックマスクの設定] と進みます。
- レイヤーペインの下方にある [レイヤーマスクを追加する] ボタンをクリックします。 

ホワイトまたはブラックのマスクが、選択したレイヤーの画像サムネイルの横に表示されます。レイヤーマスクを操作する場合は、必ずマスクをレイヤーペインで選択する必要があります。レイヤーマスクの不透明度を変更するには、レイヤーペイン上部にある不透明度スライダをドラッグします。選択してツールを使用することで、あらゆる [編集] モードの調整をレイヤーマスクに適用できます。



ホワイトマスク選
択時

ブラックマスク選択時



マスクを無効にするには:

マスクを削除せずに無効にできます。マスクを無効にした後、レイヤーを.acdcファイルとして保存し、編集モードを終了し、後で編集モードで再度開き、マスクを再度有効にすることもできます。

1. [レイヤー]ペインでマスクを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - マスクを右クリックして、コンテキストメニューから[マスクを無効にする]を選択します。
 - [レイヤー]ペインで、[マスクを無効にする]ボタンを押します。
 - [レイヤー]から、[マスク]、[マスクを無効にする]を選択します。
 - **Ctrl + Shift + M**を押します。

マスクを有効にするには:

1. [レイヤー]ペインでマスクを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - マスクを右クリックして、コンテキストメニューから[マスクを有効にする]を選択します。
 - [レイヤー]ペインで、[マスクを有効にする]ボタンを押します。

- [レイヤー]から、[マスク]、[マスクを有効にする]を選択します。
- **Ctrl + Shift + M**を押します。

マスクのプロパティ

[マスクのプロパティ] パネルを使って、各レイヤーの各レイヤーマスクのプロパティを個別に調整することができます。これらの調整は非破壊的であるため、編集プロセスのどの時点でも実行できます。

[マスクのプロパティ] パネルにアクセスするには:

[レイヤー]ペインでマスクを選択します。[マスクのプロパティ] は、このペインの下部、[調整レイヤー] の上に表示されます。

レイヤー マスクに対して実行できる調整:

フェザリング	マスクに非破壊的なフェザリングを施すことで、マスクとレイヤーの間にシャープなエッジや著しいコントラストが発生しないようにすることができます。スライダを動かしてマスクのエッジをぼやかします。
反転	マスクを非破壊的に反転させることができます。この効果を使うと、ホワイト マスクがブラックになり、ブラック マスクがホワイトになります。

マスク オーバレイを表示する:

[マスクのプロパティ]パネルの[オーバーレイを表示 する]チェックボックスを有効にすると、マスクを見やすくすることができます。

マスク オーバレイをカスタマイズするには:

1. [レイヤー] ペインで対象マスクを右クリックし、コンテキストメニューから[マスク オーバレイ オプション...]を選択します。
2. [マスク オーバレイ オプション] ダイアログで、次のオプションのいずれかを選択します:

マスクをハイライト	このオプションでは、選択した色でマスクにハイライト処理を施します。ドロップダウン メニューから色を選択します。[不透明度] スライダを使えば、マスク オーバレイの透明度をカスタマイズできます。
マスクを露出	このオプションでは、選択した色で、レイヤーのマスクされていない領域にハイライト処理を施します。ドロップダウン メニューから色を選択します。[不透明度] スライダを使えば、マークされていない領域の透明度をカスタマイズできます。

3. [OK]を押します。



マスク オーバレイは、そのレイヤーが選択されている時しか表示されません。

レイヤーマスクを編集するには:

レイヤーペインでレイヤーマスクを選択し、調整や、描画または選択ツールを選択します。

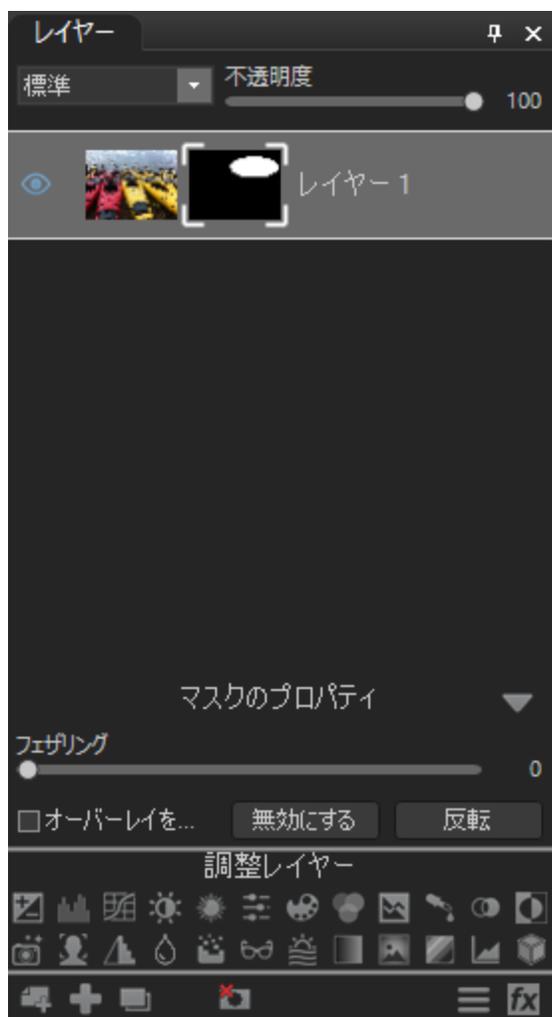
マスクの柔軟性

マスクの選択対象の作成や変更が可能です。

選択した範囲からレイヤーマスクを作成するには:

選択した範囲からもレイヤーマスクを作成することが可能です。

1. 選択範囲を決定します。
2. [選択範囲]から[レイヤー]、[マスク]と進みます。



または:

1. 選択範囲を決定します。
2. [レイヤー マスクを追加] ボタンを押します。または、[レイヤー] ペインの下部にあるアイコンのいずれかを選択して調整レイヤーを追加します。選択範囲からマスクが自動で作成されます。

または:

1. 選択範囲を決定します。
2. レイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから[選択範囲からマスク]を選択します。

マスクを選択範囲に追加するには:

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして、[選択範囲にマスクを追加する]を選択します。

選択範囲からマスクを差し引くには:

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして、[選択範囲からマスクを削除する]を選択します。

マスクと選択範囲の共通領域を選択するには:

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして、[選択範囲とマスクを交差する] を選択します。

選択したマスク ピクセルを削除するには:

「[選択範囲を使用する](#)」を参照してください。

特定の色とトーンからレイヤー マスクを作成する

指定した色 やトーンから、さらにはスキントーンからもマスクを作成することができます。

色 やトーンを指定してレイヤー マスクを作成するには:

1. レイヤーを選択して、前述の通りホワイトマスクかブラックマスクを設定します。
2. マスクを右クリックして、コンテキストメニューから[Pixel Targeting...]を選択します。
3. [ピクセル ターゲット] パネルの設定を以下のように設定します。
4. [OK]を押します。指定した色 やトーンからマスクが作成されます。

ピクセルターゲット パネル

ピクセルターゲット パネルは、次の4つのセクションで構成されています。ターゲットトーン、ターゲットカラー、ターゲットスキントーン、ターゲットマスク。

ターゲット マスク:

ターゲット(対象)となるカラーやトーンが画像上に配置されている部分を白で表示します。ターゲットとなるピクセルが選択されていないときは、ターゲットマスクは真っ黒になります。反対に、ピクセルターゲット パネルを最初にしたときのように、すべてのピクセルがターゲットとして選択されているとき、ターゲットマスクは真っ白に表示されます。

ターゲット トーン:

[ターゲット トーン] スライダーを使うと、マスクの明るさのトーンを指定することができます。1つ、または複数のトーンをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのトーンを選択が解除されるので、マスクに対してターゲットとしたいトーンのスライダーを使って 0 から 100 の間で自由に調整できるようになります。

ターゲット カラー:

[ターゲット カラー] スライダーを使うと、マスクに対して特定のカラーを指定することができます。1つ、または複数のカラーをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべての色の選択が解除されるので、マスクに対してターゲットとしたい色のスライダーを使って 0 から 100 の間で自由に調整できるようになります。

ターゲット スキントーン:

[ターゲット スキントーン] スライダーを使うと、マスクに対してスキントーンを具体的に指定することができます。スキントーンをターゲットとするには、スライダーを 0 から 100 の間でお好みによって右にスライドさせて調整します。

ターゲット スキンのスライダーを移動させると、スキントーン以外のすべてのカラーが対象外になります。例えば、グリーンカラーのスライダーで調整ができなくなります。

スキントーンをマスクから除外するには、スライダーを左に動かします(0 ~ -100)。

画像からレイヤーマスクを作成する

カラー画像をコピーして、調整レイヤーなどの他のレイヤーにグレースケール(輝度)マスクとして貼り付けます。

画像からマスクを作成するには:

- 以下のいずれかの操作を行います：
 - [レイヤー]ペインで画像を右クリックし、コンテキストメニューから[コピー]を選択します。
 - [レイヤー]ペインで画像を選択して、[編集]、[コピー]を選択します。
- [レイヤー]ペインでレイヤーを選択し、次のいずれかを実行します：
 - レイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから[マスクとして貼り付け]を選択します。
 - [編集]から[マスクとして貼り付け]を選択します。
 - [レイヤー]から、[マスク]、[マスクとして貼り付け]を選択します。

テキストをレイヤーとして追加する

編集モードでテキストツールを使用して、テキストをレイヤーとして追加できます。フォント、サイズ、色、スタイル、位置調整をカスタマイズし、メタデータを挿入できます。不透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を入れる際に便利です。

テキストレイヤーを含む画像を.acdcファイル形式として保存できます。この形式で保存することにより、将来、編集モードで、レイヤー効果が編集可能な状態で、画像を開くことができます。

 テキストレイヤーにレイヤー効果を追加できます。

テキストをレイヤーとして追加するには:

- 編集モードで、パネル上部のツールバーから **テキスト** ツールを選択します。 
- 画像の任意の領域をクリックします。画像にテキストボックスが追加され、レイヤーペインの上部にテキストレイヤーが表示されます。
- マーカーをクリックアンドドラッグしてテキストの場所を変更したり、マーカーにある四角をドラッグしてサイズ変更したりします。コンテキストバーでは、[サイズ]ドロップダウンメニューで特定のポイントサイズを選択または入力することもできます。

 アスペクト比を維持せずに変換するには、サイズ変更中に **Shift** キーを押します。

- [テキスト]ボックスにテキストを入力します。クリックして別のテキストボックスを追加するたびに、新しいテキストレイヤーが[レイヤー]ペインに追加されます。テキストボックスを選択すると、そのレイヤーが、[レイヤー]ペインで選択された状態になります。
- コンテキストバーのドロップダウンメニューで、使用するフォント、斜体や両端揃えなどの書式設定オプション、およびテキストの色を指定します。
- [レイヤー]ペインの上部で、[不透明度]スライダーをドラッグして、テキストの透明度を指定します。
- [レイヤー]ペインの上部で、[ブレンドモード]ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。

 テキストレイヤーが選択されている間は、編集モードフィルターを入力することはできません。これにより、テキストレイヤーをラスターライズするかどうかを確認する警告が表示されます。テキストレイヤーをラスターライズすると、編集できなくなります。

 テキストレイヤーを他のテキストレイヤーと結合することはできませんが、テキストを通常の画像レイヤーと結合することはできます。このアクションにより、テキストがラスターライズされます。テキストレイヤーをラスターライズすると、編集できなくなります。

 調整レイヤーをテキストレイヤーの上に追加して、テキストレイヤーに直接クリップすることができます。「調整レイヤーを使用する」を参照する。

 テキストレイヤーに マスクを追加できます。ただし、テキストレイヤーを移動しても、マスクは一緒に移動しません。



テキストレイヤーを選択して、スタイル設定のカスタマイズなどテキストレイヤーを変更できます。

Ctrl + C、**Ctrl + V**、**Ctrl + A**などの一般的なキーボードショートカットは、テキストボックスで機能します。**Home**、**End**、**Ctrl + Home**、**Ctrl + End**を使用して、カーソルをテキストの先頭または末尾に移動することもできます。

テキストボックス内で編集する場合、**Ctrl + Z**を使用して最近の変更を取り消すことができます。ただし、[元に戻す/やり直し]ボタンを使用すると、テキストボックスの追加などのテキストアクション全体に適用されます。

テキストボックスにAltコードを適用できます。次のキーボードショートカットを使用して、画像に著作権情報を追加できます：

® (登録記号)	Alt + 0174
© (著作権記号)	Alt + 0169
™ (商標記号)	Alt + 0153

テキストのラスターライズ

テキストにマスクを追加するなど、テキストを手動でラスターライズしたいときがあります。レイヤーごとにラスターライズするのではなく、複数のテキストレイヤーを選択して、一度にラスターライズすることもできます。

テキストをラスターライズするには：

テキストレイヤーを選択した状態で、次のいずれかを実行します：

- [レイヤー]から、[**テキストレイヤーをラスターライズする**]を選択します。
- **Ctrl + Shift + T**を押します。
- [レイヤー]ペインでテキストレイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから[**レイヤーのラスターライズ**]を選択します。

画像にテキストとしてメタデータを追加するには：

1. 編集モードで、パネル上部のツールバーから **テキスト** ツールを選択します。
2. コンテキストバーで、[**Ins**]ボタンをクリックします。
3. [プロパティの選択]ダイアログボックスで、プラス (+)記号をクリックして、ツリーを展開し、チェックボックスを切り替えてメタデータの設定を選択します。
4. [**OK**]を押します。選択したメタデータがテキストレイヤーとして追加されます。



テキストレイヤーとして追加されたメタデータを含む記録されたアクションを再生すると、結果には、アクションが再生されている画像からではなく、記録された元の画像からのメタデータが含まれます。

キャンバスのサイズを変更する

[キャンバスのサイズ変更]ツールを使用すると、レイヤー化されたコンテンツに合わせてキャンバスのサイズを拡大したり、無地の背景を追加したりできます。

ドラッグによるサイズ変更

この方法を使用すると、次の方法でキャンバスのサイズを変更できます：

- 写真の端をドラッグして、キャンバスを希望のサイズに拡大する。
- ピクセル、インチ、センチメートル、またはパーセンテージを使用してキャンバスの正確なサイズを指定します。
- 比率を適用して、キャンバスの比率を制限します。

ドラッグしてキャンバスのサイズを変更するには:

1. 編集モードで、パネル上部のツールバーから**キャンバス変更** ツールを選択します。
2. 画像の端または角にマウスポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
3. キャンバスの境界線を目的のサイズにドラッグします。
4. コンテキストバーで、[コミット]ボタンを押します。

コンテキストバーで使用可能なキャンバスのサイズ変更ツールのオプションの詳細については、[キャンバスのサイズ変更](#)を参照してください。



矢印キーを使用すると、キャンバスのサイズをピクセル単位で変更できます。

サイズ変更と配置

この方法を使用すると、次の方法でキャンバスのサイズを変更できます:

- ピクセル、インチ、センチメートル、またはパーセンテージを使用してキャンバスの正確なサイズを指定します。
- 比率を適用して、キャンバスの比率を制限します。

キャンバスのサイズを変更して配置するには:

1. 編集モードで、[ツール] から、[キャンバスのサイズを変更する]を選択します。
2. [キャンバスのサイズ変更]ダイアログで、以下の説明に従って設定を構成します。
3. [OK]を押します。

キャンバスのサイズ変更オプション

現在のサイズ	現在のファイルサイズとレイヤーの寸法を表示します。
新しいサイズ:	[幅]および[高さ]フィールドに希望のキャンバスサイズを入力します。ドロップダウンメニューで、測定単位をカスタマイズできます。サイズを変更すると、ファイルサイズが[新しいディメンション]の横に更新されます。
アンカー	アンカーボタンを使用して、レイヤーを特定の領域(左上隅など)にロックします。キャンバスはその周りに広がります。
[縦横比]	ドロップダウンリストから、希望する縦横比を選択します。[カスタム]オプションを使用して、独自の比率を定義できます。ドロップダウンで比率を選択し、[削除]ボタンを押すことで、比率を削除することもできます。
解像度	[インチあたりのドット数]フィールドを使用して、解像度を指定します。
背景色	キャンバスの色を選択する。
不透明度	不透明度スライダーでキャンバスの透明度を調整します。

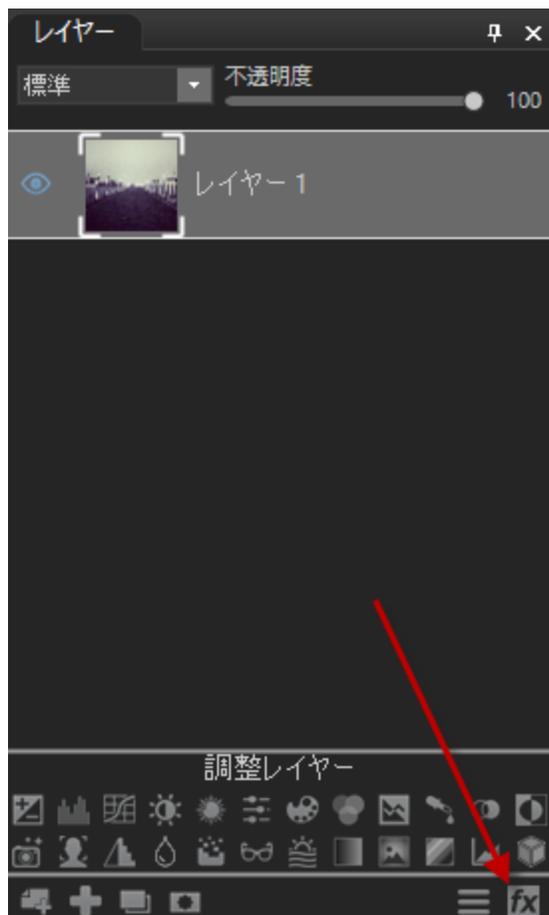


複数のレイヤーを持つ画像のキャンバスのサイズを変更すると、選択したレイヤーにのみ背景色が追加されます。

レイヤーのエフェクトを適用する

レイヤー間に表示される効果を追加できます。通常の画像およびテキストレイヤーにレイヤー効果を追加できます。ただし、レイヤーの種類や調整レイヤーに関係なく、それらを最下層のレイヤーに追加することはできません。レイヤー効果を含む画像を.acdcファイル形式と

して保存できます。この形式で保存することにより、将来、編集モードで、レイヤー効果が編集可能な状態で、画像を開くことができます。



レイヤー効果を追加するには:

1. 編集モードの[レイヤー]ペインで、効果を追加するレイヤーを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - レイヤーペインの最下部にある [レイヤーマスクを追加する] ボタンをクリックします。
 - [レイヤー] ペインで、レイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから [レイヤー効果] を選択します。
 - [レイヤー] から [レイヤー効果] と進む。
 - **Ctrl + Alt + X** を押します。
3. [レイヤー効果] ダイアログで、使用する効果のチェックボックスを有効にします。下の表を参考にして、設定を行います。
4. **閉じる** を押します。レイヤー効果 ダイアログを閉じて、レイヤー効果が削除される、または無効になることはありません。レイヤー化された画像を.acdcファイルとして保存することにより、編集モードで再度開き、将来、いつでもレイヤー効果の編集を続けることができます。



レイヤー効果オプション

インナーグロー	厚さ	グロー効果の厚さを指定します。スライダーをドラッグして厚さを設定します。
	ぼかし	グローのエッジをぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。
	不透明度	グローの不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてグローの不透明度を調整します。不透明度が高いほど、グローがより明確になります。
	ブレンドモード	エフェクトとレイヤーのブレンド方法を指定します。ドロップダウンメニューからブレンドモードを選択します。
	カラー	グローの色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「 色の設定ダイアログボックスを使用する 」を参照します。
インナーシャドウ	ぼかし	影の端をぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。
	距離	角度設定に従って、影のサイズを指定します。スライダーをドラッグして、レイヤーにかかる影の程度を調整します。
	不透明度	影の不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグして影の不透明度を調整します。不透明度が高いほど、影がよりはっきり見えるようになります。
	ブレンドモード	エフェクトとレイヤーのブレンド方法を指定します。ドロップダウンメニューからブレンドモードを選択します。
	角度	影の角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
カラー	影の色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「 色の設定ダイアログボックスを使用する 」を参照します。	
斜角縁	明るさ	ベベル効果の可視性を指定します。[高度]スライダーを下げると、レイヤーが暗くなり、効果がより際立ちます。
	半径	ベベルの広がり具合を指定します。
	光源	架空の光源を指定します。ボールのグローをクリックしてドラッグし、仮想光源の位置を変更します。
輪郭	厚さ	アウトライン効果の厚さを指定します。スライダーをドラッグして厚さを設定します。
	ぼかし	アウトラインのエッジをぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。
	不透明度	アウトラインの不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてアウトラインの不透明度を調整します。不透明度が高いほど、アウトラインがより明確になります。
	カラー	アウトラインの色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「 色の設定ダイアログボックスを使用する 」を参照します。
ぼかし	強さ	ぼかしの強度を調整します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
シャドウ	ぼかし	影の端をぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。
	距離	角度設定に従って、影のサイズを指定します。スライダーをドラッグして、レイヤーにかかる影の程度を調整します。
	不透明度	影の不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグして影の不透明度を調整します。不透明度が高いほど、影がよりはっきり見えるようになります。
	角度	影の角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
	カラー	影の色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「 色の設定ダイアログボックスを使用する 」を参照します。

 レイヤー効果が適用されたテキストまたは画像レイヤーに調整レイヤーをクリップしても、レイヤー効果は影響を受けません。



レイヤー効果を適用してテキストレイヤーをラスター化する場合、レイヤー効果をラスター化しないように選択できます。これにより、レイヤー効果の編集を継続できます。

レイヤー効果のコピーと貼り付け:

任意のレイヤーのレイヤー効果設定を他のレイヤーにコピーすることができます。

1. [レイヤー効果]ダイアログで、設定したいレイヤー効果を構成します。
2. [コピー]ボタンを押します。
3. 別の画像またはテキストレイヤーを選択します。最下層のレイヤーを選択することはできません。
4. [レイヤー効果]ダイアログで、[貼り付け]ボタンを押します。

すべてのレイヤー効果設定をリセットするには:

[レイヤー効果]ダイアログで、 [リセット]ボタンを押します。

周波数分離でレタッチする

周波数分離を使用して、ディテールを維持した状態で欠陥を除去することができます。画像を高周波レイヤーと低周波レイヤーに分離することで、テクスチャを失うことなく画像を修整できます。

周波数分離を適用するには:

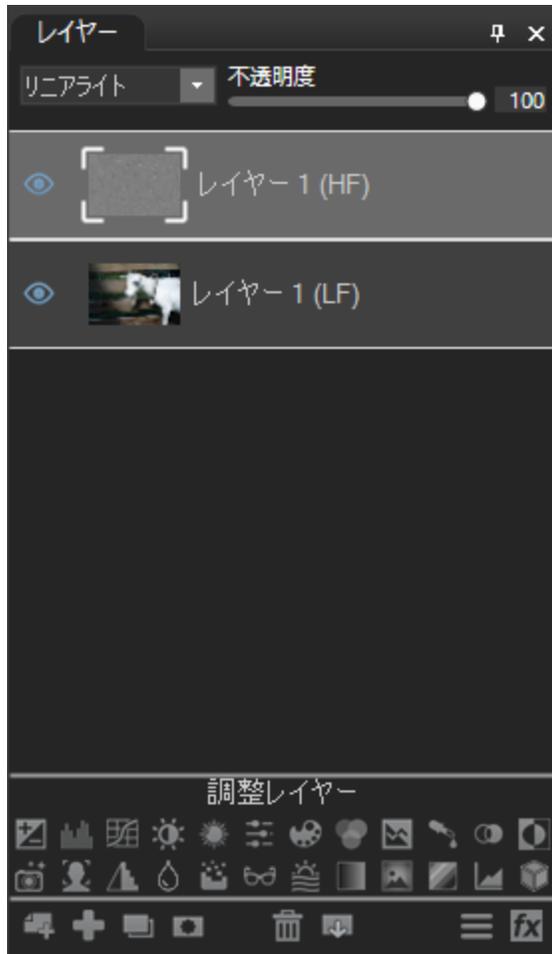
1. レイヤーペインで選択した画像に対して、次の作業のいずれかを実行します。
 - レイヤーを右クリックして [周波数分離] を選択します。
 - [レイヤー]、[周波数分離] を選択します。
 - **Ctrl + Shift + F** を押します。
2. 周波数分離 ペインで、[ぼかし半径]スライダを調整して、高周波数レイヤーのディテールの程度を決定し、それとは対照的に、低周波数レイヤーのぼかしレベルを決定します。[高周波数]および[低周波数]ラジオボタンを使用して、各レイヤーの表示を切り替えることができます。これらのボタンはぼかし半径の設定に影響を与えるものでないことに注意してください。



高周波レイヤーでディテールを保持する設定を選択することをお勧めします。

3. **完了**を押します。

画像が、高周波 (HF) と低周波 (LF) の2つのレイヤーに分離されました。低周波レイヤーには、画像のトーン、カラー、シャドウが含まれており、ぼやけた画像になります。これはテクスチャ情報が高周波レイヤーに保存されているためです。



画像をリタッチする

補正を一方のレイヤーに隔離することで、自然な外観を維持しながら画像を修整できます。周波数分離を利用してリタッチする方法は2つあります。

低周波レイヤー

低周波レイヤーのぼかし効果を使えば、照明の不整合やむらを除去できます。低周波レイヤーを選択した上で、[詳細ブラシ] ツールまたは [ぼかし] ツールを使用するか、選択ツールまたは選択ブラシを使用して特定の領域にぼかし効果を適用します。

高周波レイヤー

高周波レイヤーのクローン効果を使えば、テクスチャの均等化と、ディテール関連の欠陥の補正が可能です。高周波レイヤーを選択した上で、[修復] ツールを使ってクローン効果を適用します。



ヒント: 高周波レイヤーを1回以上複製することにより、シャープネスを高めることができます。

多焦点合成で合成する

多焦点合成を使用して、異なる焦点距離の画像を組み合わせることができます。焦点の領域が異なる複数の画像を組み合わせることで、より深い被写界深度の画像を新しく作成することができます。

多焦点合成を使用するには:

[管理] モードのとき

1. ファイラー 一覧 ペインで画像を選択します。
 - ❗ 焦点距離の順番に従って画像を選択する必要があります。つまりピントの中心が複数の画像を通して、前から後ろ、後ろから前、右から左、左から右のいずれかの一方向に進むように並べ替えなければなりません。必要に応じて、選別や名前変更、またはCtrlを押しながらクリックを使用して、画像の順番を決定します。
 - ❗ 選択した画像は同じサイズでなければなりません。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [処理]、[多焦点合成...]を選択します。
 - **Ctrl + Alt + S**を押します
 - 選択したものを右クリックして、コンテキストメニューから[処理]、[フォーカス スタック]を選択します。
3. 警告ダイアログが表示されます。焦点距離の順番に従って画像を選択した場合は、[実行]を押します。選択した画像が順番どおりでない場合は、[キャンセル]を押して順番を変更します。
4. [名前を付けて保存]ダイアログで、場所を選択して名前を入力し、[ファイルの種類]ドロップダウンメニューから画像形式を選択します。
5. **保存**を押します。スタックされた画像は選択した場所に保存されます。

編集モードのとき

1. 管理モードでファイラー 一覧 ペインから画像を選択します。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - [処理]、[ファイルをスタックに読み込む]を選択します。
 - 選択したものを右クリックして、コンテキストメニューから[処理]、[ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤー ペインに画像が編集モードで開きます。
3. 編集モードで、[レイヤー]から[フォーカス スタック]を選択します。
4. 警告ダイアログが表示されます。レイヤー ペインで、レイヤーを焦点距離に従って配置する必要があります。レイヤーが焦点距離に従って配置されている場合は、[実行]を押します。レイヤーが正しく配置されていない場合は、[キャンセル]を押して、[レイヤー]ペインで順序を並べ替えます。
5. [フォーカス スタック]ダイアログで、以下の説明に従って設定を構成します。
6. [OK]を押します。[レイヤースタックを保持]を無効にした場合、他のすべてのレイヤーが削除され、フォーカス スタックレイヤーのみがレイヤー ペインに残ります。[レイヤースタックを保持]を有効にした場合、フォーカス スタックレイヤーはレイヤー ペインの最上位のレイヤーとして表示されます。

多焦点合成オプション

統合	<p>すべてのレイヤー:レイヤー ペインのすべてのレイヤーを使用して多焦点合成を実行します。</p> <p>選択したレイヤー:レイヤー ペインで選択したレイヤーで多焦点合成を実行します。</p>
<p> 多焦点合成は、単一のレイヤーでは実行できません。</p>	
レイヤーを自動位置合わせ	<p>スタック内の画像を位置合わせします。最良の結果を得るためには、このオプションを有効のままにしてください。</p>
レイヤースタックを保持	<p>このオプションを無効にすると、他のすべてのレイヤーが削除され、生成されたフォーカス スタックレイヤーのみが保持されます。</p>
<p> 誤ってこのオプションを無効にして他のすべてのレイヤーを削除した場合は、コマンドの実行後に Ctrl + Zを押してください。</p>	

 フォーカス スタックコマンドでは、すべてのマスク、テキストレイヤー、調整レイヤーは無視されます。

 大きな画像で多焦点合成...コマンドを実行するには、大量のメモリが必要です。

HDR 画像を作成する

高ダイナミックレンジイメージング(HDR)は、デジタル画像処理で使用される手法で、異なる露出の一連の画像を組み合わせ、最適な範囲全体を持つ1つの画像を生成します。HDRツールを使用して、より大きなダイナミックレンジの輝度を持つ新しい画像を作成することができます。理想的には、HDRツールで使用する画像には、バランスの良いハイライトとシャドウの範囲が含まれている必要があります。最適な結果を得るための追加のヒントについては、以下を参照してください。

 HDR ダイアログのプレビューには、作成されるHDR画像が正確に反映されないことがあります。これは、プレビューのために画像が縮小されるためです。

HDR画像を作成するには、画像セットにEXIFデータで定義された次の属性が必要です。

- 絞り値/F値
- ISO値
- シャッタースピード/露出値

HDR写真の撮影

HDR写真を撮影する際には、以下の指示に従うと、高品質の成果を生み出す可能性が高くなります。

- シャッタースピードで露出を変化させます。とはいえ、絞りの設定を変えると被写界深度が変わり、良い結果が得られません。同様に、ISOまたは絞りを変更すると、ノイズや周辺光量の低下が発生する場合があります。ISOを最低値に設定します。
- 一般的に、露出の変化が十分でないため、カメラのオートブラケット機能を使用しないでください。
- 撮影するシーンに動きのあるものが含まれていないことを確認してください。HDRは、露出の異なる同じシーンの写真のためのものです。
- 三脚を使用してカメラを安定させます。
- カメラのタイマーを使用して、手ぶれを防ぎます。
- 各画像のフォーカスとズームを一定に保ちます。
- JPEGではなくRAWで撮影します。これにより、調整範囲と柔軟性が向上します。

- 最も露出の暗い深い影の部分にディテールが残っていることを確認してください。
- 最も露出の明るい画像の領域が白飛びしないようにしてください。
- 一連の画像が「バランスの良い」ものであることを確認します(つまり、中央の画像は適正に露出された中間調であること)。
- 下の表に示されているよりも多くの写真を使用すると、整列不良やゴーストによる不要なアーチファクトが発生する可能性があります。

カメラブラケット設定	HDR画像を作成するための最適な露出数
-1.0から+1.0	3
-2.0から+2.0	5
-3.0から+3.0	7

HDR画像を作成するには:

[管理] モードのとき

1. [ファイル一覧]ペインで画像を選択します。
 - ❗ 選択した画像は同じサイズでなければなりません。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - [プロセス]、[HDR]を選択します。
 - **Ctrl + Alt + H**を押します。
 - 選択したものを右クリックして、コンテキストメニューから[処理]、[HDR]を選択します。
3. HDRダイアログで、[プリセット]ドロップダウンメニューからプリセットを選択し、[OK]を押します。



独自のプリセットを作成するには、[アクションブラウザ](#)で「HDRプリセット」カテゴリにアクションを作成します。これらは、HDRダイアログの[プリセット]ドロップダウンメニューで使用可能になります。

4. [名前を付けて保存]ダイアログで、場所を選択して名前を入力し、[ファイルの種類]ドロップダウンメニューから画像形式を選択します。
5. **保存**を押します。HDR画像は選択した場所に保存されます。

[編集] モードのとき

1. 管理モードでファイル一覧ペインから画像を選択します。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - [処理]、[ファイルをスタックに読み込む]を選択します。
 - 選択したものを右クリックして、コンテキストメニューから[処理]、[ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤーペインに画像が編集モードで開きます。
3. 編集モードで、[レイヤー]から[HDR]を選択するか、**Ctrl + Shift + D**を押します。
4. HDRダイアログで、以下の説明に従って設定を構成します。
5. [OK]を押します。[レイヤースタックを保持]を無効にした場合、他のすべてのレイヤーが削除され、HDRレイヤーのみが[レイヤー]ペインに残ります。[レイヤースタックを保持]を有効にした場合、HDRレイヤーは[レイヤー]ペインの最上位のレイヤーとして表示されます。

HDRオプション

統合	<p>すべてのレイヤー: [レイヤー] ペインのすべてのレイヤーを結合します。</p> <p>選択したレイヤー: レイヤーペインで選択したレイヤーを結合します。1つのレイヤーのみが選択されている場合、ACDSeeはその1つのレイヤーでコマンドを実行しますが、結果は生成されません。</p>
レイヤーを自動位置合わせ	<p>スタック内の画像を位置合わせします。最良の結果を得るためには、このオプションを有効のままにしてください。</p>
レイヤースタックを保持	<p>このオプションを無効にすると、他のすべてのレイヤーが削除され、生成されたHDRレイヤーのみが保持されます。</p>
<p> 誤ってこのオプションを無効にして他のすべてのレイヤーを削除した場合は、コマンドの実行後に Ctrl + Z を押してください。</p>	

 HDRコマンドでは、すべてのマスク、テキストレイヤー、調整レイヤーは無視されます。

 大きな画像でHDRを実行するには、大量のメモリが必要になります。

自動位置合わせを使用する

自動位置合わせを使用すると、レイヤーの位置を合わせて合成できます。レイヤーペインでほぼ同一の複数の画像を積み重ね、位置を合わせ、マスクすることで、不要な領域を削除しつつ、選択した領域を使用して画像の最適なバージョンを作成することができます。

位置合わせ後、[レイヤーマスク](#)を使用して理想的な画像を合成できます。

複数のレイヤーの位置合わせするには:

- レイヤーペインで複数の画像を選択するには、**Shift** キーまたは **Ctrl** キーを押しながらクリックします。
- [レイヤー] > [レイヤーの自動位置合わせ]を選択します。

 自動位置合わせのコマンドは、垂直方向にのみ作用します。したがって、パノラマやサイズの異なる画像を揃えようすると、結果にばらつきがでます。

 大きな画像で自動位置合わせコマンドを実行するには、大量のメモリが必要です。

自動ブレンドを使用する

自動ブレンドを使用して画像のスタックを統合する方法は2つあります。

多焦点合成: [多焦点合成](#)を使用してブレンドします。この方法では異なる焦点距離の画像を統合し、より深い被写界深度の画像を新しく作成します。

HDR: [HDR](#)を使用してブレンドします。この方法では異なる露出の画像を統合し、最適なダイナミックレンジの画像を新しく作成します。

 多焦点合成とHDRでは、すべてのマスク、テキストレイヤー、調整レイヤーは無視されます。

 大きな画像でHDRまたは多焦点合成を実行するには、大量のメモリが必要になります。

多焦点合成を使用して自動ブレンドするには:

- 管理モードでファイル一覧ペインから画像を選択します。
- 以下のいずれかの操作を行います。

- [処理] > [ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤー ペインに画像が編集モードで開きます。
 - 選択したものを右クリックして、[処理] > [ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤー ペインに画像が編集モードで開きます。
3. 編集モードのレイヤー ペインで、**Ctrl キーを押しながらクリック**して特定のレイヤーを選択するか、もしくは**Shift キーを押しながらクリック**して複数のレイヤーをまとめて選択します。
 4. [レイヤー]から[レイヤーを自動ブレンド]を選択します。
 5. [自動ブレンド]ダイアログで[焦点ブレンド]を選択します。
 6. [OK]を押します。
 7. 警告ダイアログが表示されます。焦点距離の順番に従って画像を選択した場合は、[実行]を押します。選択した画像が順番どおりでない場合は、[キャンセル]を押して、画像を抜き出すなり、名称を変更するなり、Ctrl を押しながらクリックするなりして、順番を変更します。焦点ブレンドされたレイヤーが、レイヤー ペインの最上位レイヤーとして表示されます。

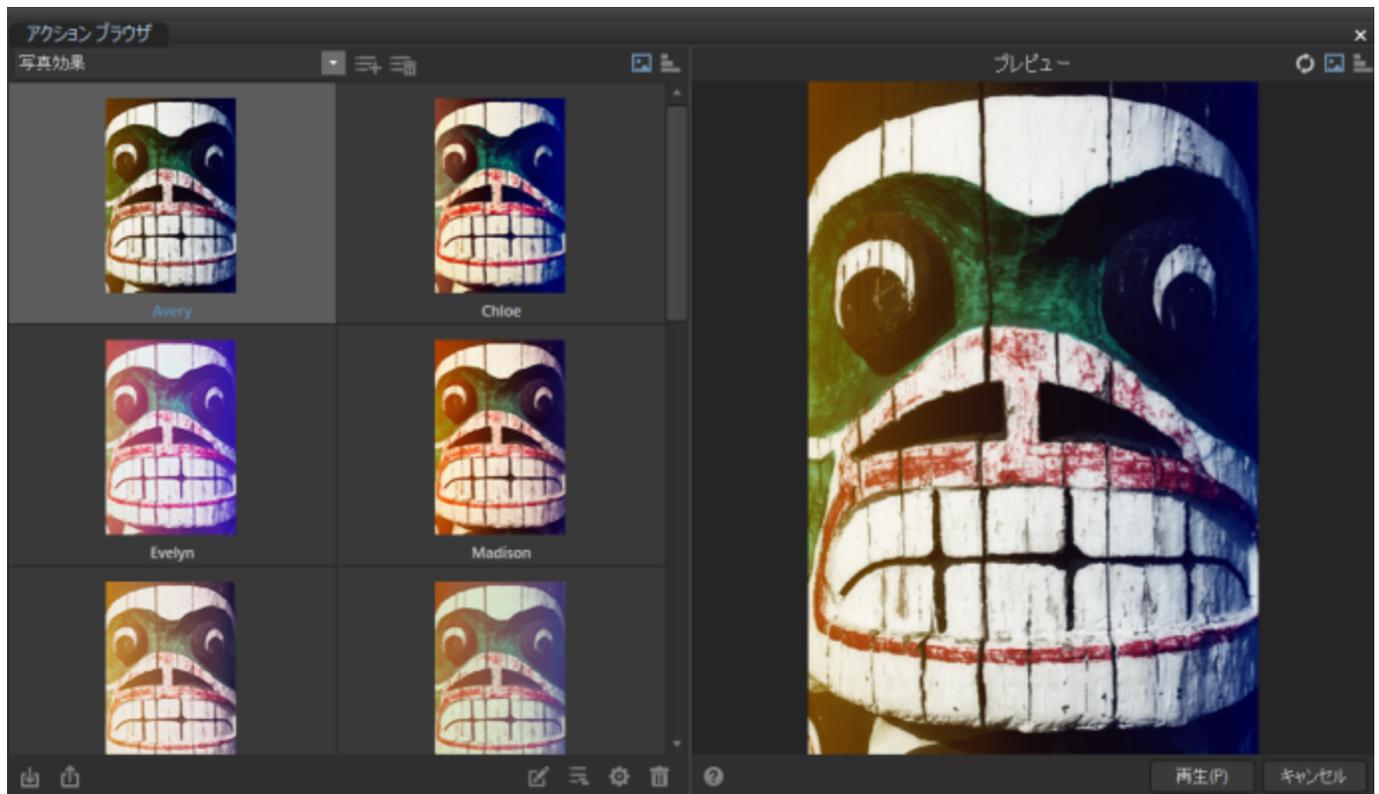
HDR を使用して自動ブレンドするには:

1. 管理モードでファイル一覧ペインから画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [処理] > [ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤー ペインに画像が編集モードで開きます。
 - 選択したものを右クリックして、[処理] > [ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤー ペインに画像が編集モードで開きます。
3. 編集モードのレイヤー ペインで、**Ctrl キーを押しながらクリック**して特定のレイヤーを選択するか、もしくは**Shift キーを押しながらクリック**して複数のレイヤーをまとめて選択します。
4. [レイヤー]から[レイヤーを自動ブレンド]を選択します。
5. [自動ブレンド]ダイアログで[HDRブレンド]を選択します。
6. [OK]を押します。HDR ブレンドされたレイヤーが、レイヤー ペインの最上位レイヤーとして表示されます。

ACDSee アクションで調整を記録・適用する

ACDSee アクションを使用すると、[編集] モードで行った調整をすべて記録し、それらの調整を「再生」して他の画像に適用することができます。この方法を使用すると、[編集] モードで実行できる調整を使って複数の写真を一括編集できます。また、調整レイヤーで記録を適用した後、画像を [編集] モードで開き、レイヤーエディタで調整レイヤーの微調整および調整を継続することができるので、画像の非破壊編集が可能です。

あらかじめロードしておいたデフォルト アクションを適用してすばやく調整することもできます。アクションは既存のカテゴリ、または自作の[カテゴリ](#)にまとめることができます。



 [編集] モードですばやくアクセスするには、[ツール] パネルの上部にある [記録] ボタン、[停止] ボタン、[再生] ボタンを使用します。    また、アクション ブラウザの切り替え ボタンを使用すると [ACDSee アクション] ウィンドウを開くことができます。  このACDSee アクション バーは、切り離して画面のどこにでも移動させることができます。

調整を記録するには:

1. [編集] モードで、ツールバーの右にある [記録] ボタンを押します。  [記録アクション] ペインが表示され、そこに実行する調整手順が表示されます。
2. [編集] モードで必要な調整を行います。
3. ツールバーの [停止] ボタンを押せば、いつでも記録を停止できます。  誤って [停止] ボタンを押した場合は、[キャンセル] を押すと記録を継続できます。
4. [アクションを保存] ダイアログボックスで、記録の名前を入力します。
5. ドロップダウン メニューからアクションのカテゴリを選択するか、または名前を入力して新しいカテゴリを作成します。
6. [保存] を押します。選択 (または作成) したカテゴリの [アクション ブラウザ] で、記録を使用できるようになります。

記録をプレビューするには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [アクション] をクリックします | アクションブラウザ...
 - [ツール] をクリックします | アクションを参照...

- [ツール]をクリックします| **ACDSee アクション | アクションブラウザ...**
- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから [**ACDSee アクション**] の [**アクション ブラウザ...**] を選択します。
- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから [**アクションを参照...**] を選択します。



複数の画像を選択している場合は、最初の画像のみがプレビューに表示されます。記録を再生すると、選択したすべての画像にプレビュー表示が適用されます。

[表示] モードで次のいずれかの操作を行います。

- [**アクション ブラウザ ペインを開く**] ボタンを押します。 
- [ツール]をクリックします| **アクションを参照...**
- [ツール]をクリックします| **ACDSee アクション | アクションブラウザ...**

[編集] モードで次のいずれかの操作を行います：

- **ペインをクリック|アクションブラウザ。**
- [ツール]をクリックします| **アクションを参照...**
- [ツール]をクリックします| **ACDSee アクション | アクションブラウザ...**
- ツールバーにある [**アクション ブラウザの切り替え**] ボタンを押します。 

2. アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューからカテゴリを選択します。
3. アクション ブラウザの左の列から、プレビューで表示したい記録のサムネイルを選択します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 適用されている記録とともに現在の画像が [プレビュー] 列にどう表示されるのかをプレビューで確認します。
 - 右上隅にある [**プレビュー**] ボタンを切り替えて、選択したアクションの調整手順を確認します。



画像のプレビュー



ステップのプレビュー

記録を削除するには:

 記録を削除すると元に戻すことはできませんのでご注意ください。削除した記録はシステムのごみ箱にも表示されません。

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 右クリックして [**削除**] を選択します。
 - [**削除**] ボタンを押します。 

記録の名前を変更するには:

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 右クリックして [**名前の変更**] を選択します。
 - [**名前の変更**] ボタンを押します。 

3. [名前] フィールドに新しい名前を入力します。
4. [OK]を押します。

記録を適用する

記録を他の画像に適用すると、記録した [編集] モードの調整を使って一括編集を行うことができます。あらかじめロードしておいたデフォルトのアクションのいずれかを適用することもできます。これらのアクションはアクション ブラウザ内のカテゴリにまとめられます。

記録で使用した画像と異なるサイズの画像に記録を適用する場合、描画、画像のレイヤーを伴うアクションは、幅および高さそれぞれのパーセントによる比率で、ターゲット画像に合わせて拡大/縮小されます。ただし、トリミングのサイズは絶対値で、ピクセル数に基づきます。トリミングの位置は絶対値で、これもピクセル数に基づきます。

[ジオメトリ] グループのツールで最適な結果を得るには、サイズが均一な画像に記録を適用してください。

記録を適用するには:



記録は、記録されたときと同じ順序で適用されます。

[管理] モードのとき

1. ファイラー 一覧ペインで画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ツール を選択 | **ACDSeeアクション** | <希望するカテゴリ> | <希望するアクション> | 演奏する。
 - ツール を選択 | **アクションを参照...** アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。再生 ボタンを押します。
 - 画像を右クリックして、[**ACDSeeアクション**] を選択します | <希望する記録> | 演奏する。
 - 画像を右クリックして [**アクションを参照...**] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。再生 ボタンを押します。
 - **アクション** を選択 | **アクションブラウザ...** アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。再生 ボタンを押します。
 - [**アクション**] > [(希望のカテゴリ)] > [(希望のアクション)] > [再生]の順に選択します。

[表示] モードのとき

以下のいずれかの操作を行います。

- ツール を選択 | **ACDSeeアクション** | <希望するカテゴリ> | <希望するアクション> | 演奏する。
- ツール を選択 | **アクションを参照**。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。再生 ボタンを押します。
- [**アクション ブラウザ ペインを開く**] ボタンを押します。  アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。再生 ボタンを押します。
- 画像を右クリックして、[**ACDSeeアクション**] を選択します | <希望する記録> | 演奏する。
- 画像を右クリックして [**アクションを参照...**] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。再生 ボタンを押します。

編集モードのとき

1. 画像を [編集] モードで開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **ペイン** を選択 | **アクションブラウザ**。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
 - **ツール** を選択 | **ACDSeeアクション** | **<希望するカテゴリ>** | **<希望するアクション>** | **演奏** する。
 - **ツール** を選択 | **ACDSee アクション** | **アクションブラウザ...**。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
 - **ツール** を選択 | **アクションを参照**。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
 - **[アクション ブラウザの切り替え]** ボタンを押します。 アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。



レイヤーエディタでレイヤーを選択し、アクション ブラウザで **[再生]** ボタンを押すと、1 つの画像レイヤーだけに記録を適用できます。

記録の出力オプションを設定するには:

記録を適用したときのファイルの出力方法を決定するオプションを設定できます。設定した各出力オプションは、選択した (右クリックした) 記録のみに適用されます。出力オプションは、[編集] モード以外のモードの画像に適用される記録のみに影響します。

 設定した出力オプションは共有記録には反映されません。

1. アクション ブラウザの左の列で記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 右クリックして **[オプション]** を選択します。
 - **[オプション]** ボタンをクリックします。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. **[OK]** を押します。

出力オプション

アクションの結果	選択したファイルを上書き、エンコード不可能なファイルの場合にはコピーを作成	記録を適用したとき、編集済みバージョンでファイルを上書きします。RAW ファイルのときにファイルを上書きできない場合は、コピーが保存されます。
	修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する	編集済み画像をオリジナル画像と同じフォルダに新しい名前前で保存する場合は、このオプションを選択します。
	修正済み画像を次のフォルダに保存する	編集後の画像を特定のフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。フォルダを参照します。
既存を上書きする	このオプションを使用して、ACDSee 出力フォルダに編集後の画像と同名のファイルが存在する場合の処理方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 確認: 画像ごとに異なるオプション(スキップ、名前変更、上書き)を選択するように確認メッセージが表示されます。 ● スキップ: その画像の処理をスキップし、次の画像の処理を開始します。 ● 置き換え: 保存先フォルダにある画像を編集された画像で置き換えます。 ● 名前を変更する: 編集された画像の名前を変更します。 	
最終更新日時を保存する	オリジナル画像に最終更新日のデータが含まれていて、編集後の画像にも同一の最終更新日を含ませたい場合に、このオプションを選択します。	
メタデータを保存	オリジナル画像にメタデータが含まれていて、編集後の画像にも同一のメタデータを含ませたい場合に、このオプションを選択します。	
データベース情報を保持する	オリジナル画像の ACDSee メタデータを保持する場合は、このオプションを選択します。	
ファイル出力	ファイルフォーマット	出力する画像のファイルフォーマットを選択します。
	ピクセルフォーマット	編集後の画像の BPP (Bit Per Pixel) 値と、画像のカラーまたはグレースケールを指定するためのオプションです。編集後の画像を、オリジナル画像と同じピクセルフォーマット (あるいは最も近いフォーマット) にしたい場合には、[自動] を選択します。また、カラーの画像をグレースケールに変換する、あるいは他のソフトウェアで対応できるピクセルフォーマットに変換する場合も、このオプションを使用します。
	色空間情報	[色空間情報] チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。



調整レイヤーの追加後に記録を開始した場合、その記録は、同じ調整レイヤーがすでに追加されているターゲット画像にのみ適用できます。



レイヤーが 1 つの画像へのレイヤーの追加を記録した後、レイヤーが複数あるターゲット画像にこの記録を適用した場合、他のすべてのレイヤーの一番上にレイヤーが追加されます。



複数のレイヤーがある画像の特定の調整レイヤーへの調整を記録した場合、同じ調整レイヤーがあるターゲット画像にのみ記録が適用されます。例えば、記録に 3 番目のレイヤーとしてシャープ化調整レイヤーが含まれており、それを調整した場合、ターゲット画像にも 3 番目のレイヤーとしてシャープ化調整レイヤーが含まれている必要があります。



レイヤーが 1 つの画像への全体的な調整を記録した後、レイヤーを追加し、レイヤーが複数あるターゲット画像にその記録を適用した場合、ターゲット画像は統合されます。全体的な調整が画像全体に適用され、その上にレイヤーが追加されません。

アクション カテゴリを管理する

アクションは、既存のカテゴリに編成することも、自分で作成することもできます。カテゴリの削除は自由にできます。



「HDR プリセット」カテゴリに保存されたアクションは、HDR ダイアログでプリセットとして使用できるようになります。

記録カテゴリを管理する

記録カテゴリは追加と削除が可能です。

カテゴリを追加するには:

1. アクション ブラウザで、[新規カテゴリを追加] ボタンをクリックします。
2. [新規カテゴリを追加] ダイアログで、新しいカテゴリの名前を入力します。
3. [OK] を押します。

カテゴリを削除するには:

アクション ブラウザで、[カテゴリを削除] ボタンをクリックします。このカテゴリのすべてのアクションは[未分類]に移動します。

記録を新規カテゴリに移動させるには:

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [カテゴリに移動] ボタンをクリックします。
 - 右クリックしてコンテキスト メニューから[カテゴリに移動]を選択します。
3. [カテゴリに移動] ダイアログで、ドロップダウン メニューからカテゴリを選択します。
4. [OK] を押します。

アクションを共有する

アクションのインポートとエクスポートができます。アクションをエクスポートすると、便利な圧縮パッケージとしてアクションを共有できます。エクスポートするアクションを選択することも、一度にすべてエクスポートすることもできます。ただ単に、その場所に移動したり、電子メールなどの方法を適宜、使用して、個々のアクションを共有することもできます。



ACDSeeに付属のプリロードされたアクションをインポートおよびエクスポートすることはできません。

記録をエクスポートするには:

1. アクションブラウザを開きます。「記録を適用する」を "記録を適用する" on page 292.
2. [アクションのエクスポート] ボタンをクリックします。

3. [ACDSeeアクションのエクスポート]ダイアログで、プラス + 記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオンとオフを切り替えて、エクスポートするアクションを選択します。または、[**すべて選択**]チェックボックスをオンにして、すべてのアクションをエクスポートします。
4. エクスポートするアクションの宛先を選択します。
5. [エクスポートパッケージ名]フィールドに、エクスポートするアクションの名前を入力します。
6. エクスポートパッケージのカテゴリ構造を維持するには、[**エクスポートにカテゴリを含める**]チェックボックスを有効にします。
7. [**OK**]を押します。

記録をインポートするには:

1. **アクションブラウザ**を開きます。「記録を適用する」を "記録を適用する" on page 292.
2. [**アクションのインポート**]ボタンをクリックします。 
3. アクションの場所に移動します。
4. [**インポート時にカテゴリを含める**]ラジオボタンを有効にして、インポート時に含まれるカテゴリ構造を維持します。
5. インポート時に含まれるカテゴリ構造を無視するには、[**インポートアクションのみ**]ラジオボタンを有効にします。インポートするアクションのカテゴリを選択します。または、インポートするアクションを配置する新しいカテゴリを作成するために、フィールドに名前を入力することもできます。
6. [**OK**]を押します。

記録を共有するには:

1. C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\ACD Systems\Actions\に移動します
2. 対象の記録を選択してコピーします。
3. お好みの方法で.acda ファイルを共有します。例えば、メールに添付できます。

選択範囲を使用する

[範囲選択] ツールを使用して、画像全体ではなく、画像のある特定領域だけを選択して、その領域だけに編集やフィルタを適用することができます。[範囲選択] ツールには 6 のさまざまな選択ツールがあり、画像の領域の選択方法がツールごとに異なります。選択したツールによって、利用できるオプションやコントロールが変わります。

範囲選択ツールを使用するには:

1. 編集モードで、パネル上部にある次のツールから選択してボタンをクリックします: ブラシ選択ツール、多角形選択ツール、四角形選択ツール、楕円形選択ツール、投げなわ選択ツール、マジックワンド選択ツール。各ツールの詳しい使用方法につきましては、下記をご覧ください。

選択範囲 ツールは、次の編集ツールで利用することができます:

- 修整: スキントーン、色収差
- 追加: ヴィネット、特殊効果、チルトシフト、描画ツール、グレイン
- 露出/ライティング: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、Light EQ™、かすみ除去、覆い焼きと焼きこみ
- カラー: ホワイトバランス、カラー EQ、カラーバランス、モノクロ変換、スプリット トーン
- 詳細: シャープネス、ぼかし、ノイズ、明瞭度、詳細ブラシ

選択範囲 ツール

- 

フリーハンド投げ縄: マウスを左クリックしカーソルをドラッグして、選択したい範囲を囲むように描きます。描いているときには、描いた領域を示す線が表示されます。マウスを放すと、線の開始点と終了点が自動的に結ばれ、選択範囲の領域を完了します。選択された領域は、ありの行進のようなラインで表示されます。
- 

マジックワンド: 画像上の任意の場所をクリックすると、その色と同じピクセルすべてが選択されます。クリックしたところと同じ色のピクセルだけを選択するか、あるいは写真で近いカラーピクセルすべてを選択するかを選ぶことができます。しきい値を増やして、選択範囲に含むピクセル数を増やすことができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに近い色を持つピクセルだけが選択され、従って選択されるピクセルの数を制限することになります。しきい値が大きいほど、より離れた色のピクセルまで選択範囲に含まれます。
- 

四角形または楕円形: クリック & ドラッグで選択範囲の開始点を長方形または楕円で指定し、マウスを放して終了点を指定します。
- 

多角形: 画像上の任意の場所をクリックすると、範囲選択が開始されます。マウスを動かすと、選択範囲がカーソルとともに移動します。選択ラインの方向を変更するには、マウスの左ボタンでクリックします。範囲選択を完了するにはダブルクリックします。
- 

ブラシ: ブラシ選択ツールを使うと、色、明るさ、または色と明るさの組み合わせに基づいて、選択範囲を絞ることができます。選択範囲を定義するために、コンテキストバーのドロップダウンメニューから、[色]、[明るさ]、または[マジック]を選択します。ブラシの中心を、対象とする色、輝度、または色と明るさの組み合わせに合わせて、ブラシ処理を開始します。しきい値を増加させて、より広範囲のピクセルを選択範囲に含めることができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに近い色を持つピクセルだけが選択されるので、選択されるピクセルの数を制限することになります。右クリックで選択範囲を消去できます。

オーバーレイ オプション

範囲選択タスクに最適な可視化に基づいて、選択範囲の見た目をカスタマイズすることができます。

選択オーバーレイをカスタマイズするには:

1. [選択] から [オーバーレイ オプション] を選択します。
2. [オーバーレイ オプション] ダイアログで、次のオプションのいずれかを選択します。

蠟の行進	このオプションでは、動く点線で選択範囲の輪郭線を引きます。
選択範囲をハイライト	このオプションでは、選択した色で選択範囲にハイライト処理を施します。ドロップダウンメニューから色を選択します。[不透明度] スライダーを使うと、カラーオーバーレイの透明度をカスタマイズできます。
選択範囲を露出	このオプションでは、選択した色で、画像内の選択されていない領域にハイライト処理を施します。ドロップダウンメニューから色を選択します。[不透明度] スライダーを使うと、選択されていない領域の透明度をカスタマイズできます。

3. [OK] を押します。

選択範囲 ツールを使う

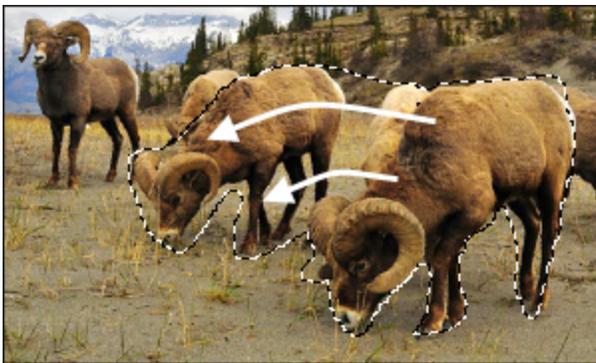
[投げ縄]を使用するには:

1. 投げ縄ボタンを選択します。
2. 画像上で、左マウスボタンをホールドしながら、選択したい領域の周りを描きます。
3. マウスボタンを放すと、選択範囲が完了します。



4. 選択範囲をクリアするには、画像上の任意の場所をクリックします (投げ縄、四角形、楕円形の場合)。
5. 既に変更されている範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドしたままでか、またはコンテキストバーにある **選択範囲に追加** ボタンを押してから、元の選択ラインの一部を含むようにして形を描きます。

マウスを放すと、オリジナルの選択範囲に描かれた形が追加され、新しい選択範囲として表示されます。



6. 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドしたままでか、またはコンテキストバーにある **選択範囲に追加** ボタンを押してから、該当の領域を描きます。

その他の選択範囲のラインに触れない限り、離れた領域を選択範囲に追加することができます。



7. 選択範囲から任意の領域を削除するには、**Ctrl**キーをホールドしたままでか、またはコンテキストバーにある **選択範囲から削除** ボタンを押してから、元の選択範囲の一部を含むか、または全部を取り囲む形を描きます。

8. 選択領域の外側で編集または効果を適用したい場合、[選択]メニューの[反転]をクリックすると選択範囲を反転します。
これで、オリジナルの選択範囲の外側が全て選択されることになります。



 [プレビュー]ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

その後、適用したい編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用します。

マジックワンドを使用するには:

1. マジックワンドボタンを選択します。
2. 画像上にある任意の色をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します。
 - [しきい値]スライダを調整して、選択範囲に含む、または含まないピクセル数を指定します。[しきい値]スライダは、クリックしたピクセルにどれだけ近い色のピクセルを選択範囲に含めるかを設定するものです。
 - クリックしたピクセルと同じ色のものだけを選択したい場合は、[連結]チェックボックスをクリックします。
 - **Shift** キーをホールドしながら選択範囲の辺りをクリックすると、ピクセルが追加されます。
 - **Ctrl** キーをホールドしながら選択範囲の辺りをクリックすると、選択範囲からピクセルが削除されます。
4. [選択モード]ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します:
 - **明るさ:** クリックした画像上の領域に近い明るさのピクセルが選択されます。
 - **カラー:** クリックした画像上の領域に近い明るさと色合のピクセルが選択されます。

 カラーを選択して範囲選択するのが一般的です。

 - **RGB:** クリックした画像上の領域に近いレッド、グリーン、ブルー (RGB) のピクセルが選択されます。

 [プレビュー]ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

四角形または楕円形選択ツールを使用するには:

1. [四角形]ボタンまたは[楕円形]ボタンのいずれかを選択します。
2. クリック&ドラッグして選択範囲を描きます。
3. 次のいずれかを実行します。
 - すでに選択されている範囲にさらに範囲を追加するには、**Shift**キーをホールドした状態で、または[選択範囲に追加]ボタンを使って、オリジナルの選択ラインの一部を含む選択範囲をドラッグします。マウスを放すと、選択範囲

が追加された形で表示されます。

- 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドした状態でドラッグを繰り返し、複数の領域を追加します。
- 既存の選択範囲から領域を削除するには、**Ctrl**キーをホールドした状態で、または[**選択範囲から削除**]ボタンを使って、削除したい領域と交わる選択範囲をドラッグします。マウスを放すと、選択範囲に含まれていた領域がドラッグした部分だけ選択範囲より削除されます。



[プレビュー]ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

多角形選択ツールを使用するには:

1. [多角形]ボタンを選択します。
2. 画像の任意の場所をクリックして範囲選択を開始します。
3. 選択ラインの方向を変更するには、もう一度クリックします。
4. 範囲選択を完了するにはダブルクリックします。
5. 次のいずれかを実行します。
 - すでに選択されている範囲にさらに範囲を追加するには、**Shift**キーをホールドした状態で、または[**選択範囲に追加**]ボタンを使って、オリジナルの選択ラインの一部を含む選択範囲をドラッグします。ダブルクリックすると、選択範囲が追加された形で表示されます。
 - 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドした状態でドラッグを繰り返し、複数の領域を追加します。
 - 既存の選択範囲から領域を削除するには、**Ctrl**キーをホールドした状態で、または[**選択範囲から削除**]ボタンを使って、削除したい領域と交わる選択範囲をドラッグします。ダブルクリックすると、選択範囲に含まれていた領域がドラッグした部分だけ選択範囲より削除されます。



[プレビュー]ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

ブラシ選択ツールを使用するには:

1. [ブラシ選択]ボタンを選択します。
2. スマート ブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

カラー	ブラシ中心のピクセルの色値にどれだけ近い(しきい値設定によって異なる)によって、ピクセルを選択します。
明るさ	ブラシ中心のピクセルの明るさの値にどれだけ近い(しきい値設定によって異なる)によって、ピクセルを選択します。
マジック	ブラシ中心の色値の明るさの値の組み合わせにどれだけ近い(しきい値設定によって異なる)によって、ピクセルを選択します。
3. [しきい値]スライダを使用して、選択されるピクセルの範囲を増減させます。
4. 選択したい色または明るさにカーソルを合わせ、クリック & ドラッグで選択範囲を作成します。



選択範囲から領域を削除するには、選択を解除したい領域で右クリック & ドラッグします。



ブラシを既定の選択ツールとして使用するには、**Shift**キーをホールドした状態でブラシを使用します。

編集ツールや特殊効果を選択して、[選択範囲に適用](#)することができます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ツールを組み合わせる

選択範囲ツールは、複数のツールと組み合わせることも可能です。例えば、[マジックワンド]を使用して特定の色を含んだ大まかな領域を選択した後、[フリーハンド投げ縄]に切り替えて選択範囲の追加と削除を行うことができます。あるいは、[四角形]選択を使用して大まかな領域を大きく選択した後、[フリーハンド投げ縄]で微調整を行うことができます。

選択範囲 ツールを組み合わせるには:

1. ツールを選択して範囲を指定します。
2. 別の選択範囲ツールを選択します。
3. [\[選択範囲に追加\]](#)ボタンを押します。 
4. また新たに範囲を選択します。

選択範囲をプリセットとして保存するには:

使用した設定は、後で利用する際のプリセットとして保存することができます。範囲選択ツールで範囲を選択したら、[選択]メニューの[\[選択範囲を保存する\]](#)をクリックします。

以前保存した選択範囲を使用するときには、[選択]メニューの[\[選択範囲をロード\]](#)をクリックします。

保存した選択範囲を削除するには、[選択]メニューの[\[選択範囲を管理\]](#)をクリックします。

選択範囲を切り取って貼り付けるには:

1. 選択範囲を決定します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **Ctrl + C**または**Ctrl + X**を押します。
 - [編集]メニューから[\[コピー\]](#)を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **Ctrl + P**を押します。
 - [編集]メニューから[\[貼り付け\]](#)を選択します。

レイヤーエディタで、選択中の(アクティブな)レイヤーの上に新しいレイヤーが作成され、そこに選択範囲が貼り付けられます。

選択したピクセルを削除するには:

画像内またはマスク内で選択した領域を削除できます。削除したピクセルを取り戻すには、[\[元に戻す\]](#) ボタンを使用します。

1. 選択範囲を決定します。
2. [選択]メニューから[\[選択したピクセルを削除\]](#)を選択します。



Alt + Delete キーを押してもピクセルを削除できます。

選択した範囲からレイヤーマスクを作成するには:

[「レイヤーでマスクを使用する」](#)を参照してください。

マスクを追加する、または選択範囲からマスクを差し引くには:

[「レイヤーでマスクを使用する」](#)を参照してください。

選択範囲にマスクを交差させるには:

「[レイヤーでマスクを使用する](#)」を参照してください。

選択範囲を絞り込む

特定のカラートーン、明るさの値、スキントーンに選択範囲を絞り込むことができます。

色またはトーンでピクセルを選択するには:

1. [選択] から [ピクセル ターゲット] をクリックします。
2. [ピクセル ターゲット] パネルの設定を以下のように設定します。
3. [OK] を押します。対象となる色またはトーンが選択されます。

ピクセルターゲット パネル

ピクセルターゲット パネルは、次の4つのセクションで構成されています。ターゲット トーン、ターゲット カラー、スキん ターゲット、ターゲット マスク。

ターゲット マスク:

ターゲット (対象) となるカラーやトーンが画像上に配置されている部分を白で表示します。ターゲットとなるピクセルが選択されていないときは、ターゲット マスクは真っ黒になります。反対に、ピクセルターゲット パネルを最初に開いたときのように、すべてのピクセルがターゲットとして選択されているとき、ターゲット マスクは真っ白に表示されます。

ターゲット トーン:

[ターゲット トーン] スライダーを使用すると、選択範囲のターゲットとする明るさのトーンを指定できます。1つ、または複数のトーンをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのトーンの選択が解除されますので、それからターゲットとしたいトーンのスライダーを 0 から 100 の間でお好みで調整します。

ターゲット カラー:

[ターゲット カラー] スライダーを使用すると、選択範囲のターゲットとする特定の色を指定できます。1つ、または複数のカラーをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのカラーの選択が解除されますので、それからターゲットとしたいカラーのスライダーを 0 から 100 の間でお好みで調整します。

スキん ターゲット:

[スキん ターゲット] スライダーを使うと、選択領域のターゲットとするスキントーンを具体的に指定することができます。スキントーンをターゲットとするには、スライダーを 0 から 100 の間でお好みによって右にスライドさせて調整します。

[スキん ターゲット] スライダーを移動させると、スキントーン以外のすべての色が除外されます。例えば、グリーンカラーのスライダーで調整ができなくなります。

選択領域からスキントーンを除外するには、スライダーを左に動かします(0 ~ -100)。

明度選択

画像の明るさに基づいて選択範囲を作成できます。ピクセルは明るいほど、選択範囲に含まれやすくなります。

明るさでピクセルを選択するには:

[選択] から [明度選択] をクリックします。

編集またはエフェクトを選択範囲に適用する

[選択範囲] ツールを使用して、画像の編集したい特定の部分のみ選択することができます。選択が完了したら、その選択範囲内のみカラーや露出などの編集ツールや、特殊効果フィルタを適用することができます。画像上でアクティブになっている選択範囲は、ありの

行進のようなラインで表示されます。

選択範囲の編集または効果を適用するには:

1. 選択範囲ツール を使用して、範囲を特定して選択します。
2. 以下のグループから使用するツールを選択します:

- 露出 /ライティング
- 色
- デテール
- 追加 (特殊効果)

❗ ここで、**選択範囲**のボタンがオンになっていることを確認します。

3. ツールを使って画像を編集します。

次のオプションのいずれかを選択します:

選択範囲の表示 / 選択範囲を隠す 	クリックして、ありの行進のように示される選択範囲のラインを表示または非表示に切り替えます。選択範囲を非表示に設定すると、様々な効果を確認しやすくなります。
選択範囲の使用 	クリックして、選択範囲を使用、あるいは画像全体に編集または効果を適用します。このコントロールは選択範囲のみに編集を適用した後、 選択範囲の使用 を解除して、別の編集を画像全体に適用する場合に便利です。一度選択した選択範囲をクリアする必要はありません。
選択範囲の反転 	クリックして選択範囲を反転します。(選択範囲外の領域が選択されることになります)。
フェザリング	ドラッグして、選択範囲のエッジ、編集または効果にみられるぼかしを増加または減少します。 フェザリングは選択範囲と画像の間に見られるエッジをブレンドするため、不自然またはシャープなトランジションを防ぐこととなります。また、このコントロールによって、選択したい範囲のエッジを完璧にまた緻密に選択する必要がなくなります。

スマート削除ツールを使用する

画像の中の不要なオブジェクトを選択するか、またはブラシでなぞって、スマート削除機能を使用すると、画像から不要なオブジェクトを削除することができます。スマート削除は、画像を分析して、ブラシでなぞった領域や選択した領域の最適な塗りつぶし方法を予測する機能です。この処理は、選択したオブジェクトやブラシでなぞったオブジェクトがない場合の、もっともらしい画像はどのようなものかに基づいています。

❗ 画像の 25% 以上を選択している場合またはブラシでなぞった場合、スマート削除機能は意図したとおりに機能しません。

選択範囲を消去して塗りつぶすには:

1. [編集] モードで、パネル上部にある選択ツールを選択します。
2. 画像の中で塗りつぶしたい領域を選択します。
3. [選択]、[スマート削除]をクリックします。塗りつぶしが適用されます。
4. 希望する外観になるまで手順を繰り返します。

❗ ブラシ選択ツールを使用している場合、[強度] スライダーを 50 以上に設定しておく必要があります。

スマート削除ブラシツールを使用して削除と塗りつぶしを実行するには:

1. [編集] モードで、パネル上部にあるツールバーから [スマート削除ブラシ] を選択します。 
2. 塗りつぶしたい領域をブラシでなぞります。マウス ボタンを離すと、塗りつぶしが適用されます。
3. 希望する外観になるまで手順を繰り返します。

赤目を補正する

編集モードの [赤目補正] ツールを使用して、デジタル画像に見られがちな赤目を補正することができます。

赤目を補正するには:

1. [編集] モードで、[補正] グループの [赤目補正] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [赤目補正] ツールにアクセスすることもできます。

2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目を拡大し、センタリングします。
3. 目の赤い部分をクリックします。
4. [赤目補正] グループで、下記説明に従い、スライダを調整します。

赤目補正のオプション

サイズ	スライダを右にドラッグすると暗くなる領域が大きくなり、左にドラッグすると小さくなります。
暗くする	スライダを右にドラッグすると塗りつぶしの色が濃くなり、左にドラッグすると薄くなります。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



暗くしたい領域の広さは、マウスをスクロールすることにより、あとで修正することができます。



[輪郭を表示する] チェックボックスで、暗くした領域の輪郭の表示/非表示を切り替えます。



Deleteキーで、設定した赤目補正を削除することができます。

画像を修整する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を修整することができます。

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫

修復ツールには4つの以下に挙げるオプションがあります。スマート消去、ヒーリングブラシ、ブレンド クローニング、クローンブラシ。

[ヒーリング]: [ヒーリングブラシ]を選択すると、[修復ツール]が画像の一部からピクセルを別の領域にコピーしますが、実施前にコピー元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としくりなじむこととなります。[ヒーリングブラシ]は、肌や毛皮など、複雑な質感を含む写真に使用すると特に効果的です。

クローン: [クローンブラシ]を選択すると、[修復ツール]が写真の一部からピクセルを別の領域に正確にコピーし、完全に同一の画像領域を作成します。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

ブレンド クローン: [ブレンド クローン]ツールを選択すると、[修復ツール]が写真の一部からピクセルを別の領域に正確にコピーしますが、実行前にコピー先のピクセルを分析し、コピーしたピクセルとブレンドします。

スマート消去: [スマート消去]については、以下の[\[スマート消去\]](#)についてのセクションを参照してください。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像を修整するには:

1. [編集] モードで、[修復] グループから **[修整ツール]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[修整ツール]** にアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを選択します。

- **ヒーリング:** コピー元の領域 からコピー先の領域 へピクセルをコピーし、コピー先の領域周辺のピクセルとなじませます。
- **クローン:** コピー元の領域 からコピー先の領域 にピクセルをコピーします。
- **ブレンド クローン:** コピー元の領域 からコピー先の領域 にピクセルをコピーし、コピー先の領域のピクセルを分析して、コピーしたピクセルとなじませます。
- **スマート消去:** ブラシ効果を適用していない場合の画像の見え方の予測に基づいて、ブラシ効果を適用した領域のピクセルと塗りつぶしを分析します。以下の "スマート消去" on page 306 セクションをご覧ください。

3. 以下の表の説明に従い、**[ペン先の幅]** と **[フェザリング]** スライダをドラッグします。

4. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。

5. コピーしたい領域をクリック&ドラッグします。ヒーリングブラシを選択した場合には、マウスボタンを離れた際に ACDSee によってピクセルの分析と置き換えが行われます。[ブレンド クローン]ツールを選択した場合、ACDSee によって、ピクセルを分析、置換、ブレンドが行われます。

6. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更をすべて破棄してツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



[リセット] をクリックすると、スライダがリセットされます。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。[編集]設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** > **[現像済みに戻す]** を選択します。



マウスをスクロールしてオンザフライでブラシサイズを調整するか、スクロール中に **Shift** キーを押してフェザリングを調整します。

修整ツールオプション

ブラシの幅	ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズに相対します。
フェザリング	<p>ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。</p> <p>フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることとなります。このオプションは、[ブレンド クローン]ツールでは使用できません。</p>
圧力	クローン ツールのソース ポイントを設定した後、スライダを調節して、適用されている効果の強度をコントロールします。
カーソルでプレビューを表示	このチェックボックスを有効にすると、カーソルで選択したソースポイントのプレビューが表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スマート消去

ブラシでなぞったり[スマート消去]機能を使用したりして、画像から不要なオブジェクトを削除できます。[スマート消去]は、画像を分析して、ブラシでなぞった領域の最適な塗りつぶし方を予測します。この動作は、ブラシ効果を適用していない場合の画像の見え方の予測に基づいて行われます。

1. [編集] モードで、[修復] グループから [修整ツール] を選択します。
2. **スマート消去**を選択します。
3. [ペン先の幅]スライダをドラッグするか、マウスホイールを動かして、ブラシの幅を設定します。
4. 塗りつぶしたい領域をブラシでなぞります。マウス ボタンを離すと、塗りつぶしが適用されます。目的の外観が得られるまで繰り返します。

スキントーンを調整する

[スキントーン] ツールを使用して、肌の色合いを調整したり、しみや傷を取り除いたりできます。

肌の色合いを補正するには:

1. [編集] モードで、[修正]グループの[スキン調整]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [スキン調整] ツールにアクセスすることもできます。

2. [スキン調整] パネルで、下の表を参考にして設定を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**完了** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**キャンセル** をクリックします。

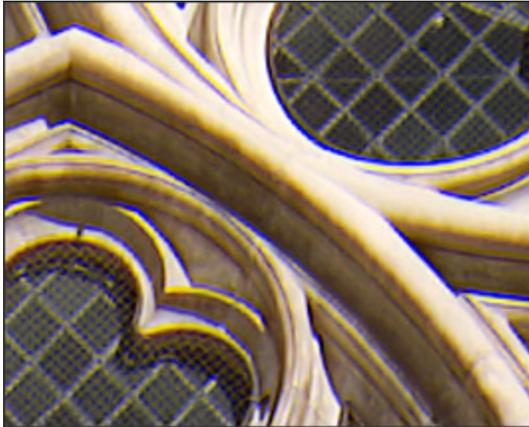
スキン調整オプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。値を下げれば細かい部分に、上げれば大きい部分に作用します。

色収差を補正する

色収差とはレンズによって生じるもので、ハイコントラストの領域でフリッジが発生します。カメラのレンズは光の波長によって焦点距離が変わるので、写真ではハイコントラスト領域の境界でカラーフリッジやカラーラインが発生します。またパープルフリッジは、レンズの前に明るいスポットがある場合に発生します。

このズーム画像は、青/黄色のフリッジ発生 の例です。



[編集] モードの [色収差の補正] ツールを使用すると、カラーフリッジを抑えることができます。特に建築物の詳細を撮影した写真に便利です。最高の仕上がりを得るには、まず [色収差の補正] スライダを調整してから、[フリッジ除去] スライダを調整するのがおすすめです。

画像のフリッジを除去するには:

1. [編集] モードで、[補正] グループから、[色収差の補正] をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [色収差の補正] ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下を参考にしてスライダを調節します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

色収差の補正オプション

赤/シアン の補正	赤とシアン のチャンネルを調整して、赤/シアンのフリッジを減らします。
青/黄色 の補正	青と黄色 のチャンネルを調整して、青/黄色のフリッジを減らします。
フリッジ除去 の強度	ハイコントラスト のエッジから除去したいフリッジ色の量を調整します。 。値を0 にすると、フリッジ除去がオフになります。
フリッジ除去 の半径	フリッジ除去 するエッジの周辺のピクセル数を調整します。
色	ハイコントラスト のエッジから除去する色を調整します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像に描画を追加する

編集モードの描画ツールを使用すると、画像に線や四角、円、矢印などを追加することができます。また、ブラシの幅やフェザリング、ブレンドを調整することができ、繊細でドラマチックな描画の作成に便利です。

画像に描画するには:

1. 編集モードでパネル上部にある次のツールから選択します

	ツール	説明
	ハンド	ハンドツールを使用すると、他の描画ツールや選択ツールなどが終了します。スクロール可能な画像の場合は、ハンドツールで画像をパンすることもできます。
	移動	<p>移動ツールを使用すると、画像レイヤーやテキストレイヤー、選択範囲の移動と、レイヤーの回転やサイズ変更ができます。また、各レイヤーに作成した円や直線などのオブジェクトを移動させたり、回転させたりすることもできます。(「レイヤーを追加するには」を参照してください。)[移動]ツールを選択し、レイヤーをクリック&ドラッグします。各レイヤーにあるオブジェクトを移動させる場合は、レイヤーを選択してから画像上のオブジェクトをクリックして、移動したい箇所までドラッグします。</p> <p> 矢印キーを使用すると、ピクセル単位でレイヤーを移動できます。</p> <p>コンテキスト バーの[スナップ]ボタンを使用すると、画像、テキスト、オブジェクトを左、右、上、下、中央、四隅にスナップできます。コンテキストバーの[グリッドを表示]ボタンを有効にして、画像にグリッドを表示することもできます。正確に配置したいときに便利です。</p> <p>サイズ変更の際にレイヤーの縦横比を維持するには、コンテキストバーにある[縦横比を固定する]のチェックボックスをクリックしてからレイヤーの隅をドラッグします。[縦横比を固定する]チェックボックスは、デフォルトでは有効になっています。</p> <p>画像、テキスト、オブジェクトを回転するには、カーソルが円形の矢印になるまで、画像、テキスト、オブジェクトの中央にある回転ハンドルの上にカーソルを移動させます。そして、カーソルを時計回りまたは反時計回りにドラッグします。回転中に Shift キーを押したままにすると、回転の角度が45°刻みになります。</p> <p> 移動ツールを使用すると、ガイドラインを移動できます。「ルーラーとガイドラインの追加」を参照してください。</p> <p>移動を確定するには、コンテキストバーにある[確定]ボタンを押します。移動を取り消して、画像の元の位置に戻すには、[破棄]ボタンをクリックします。</p> <p>画像データを失うことなく、レイヤーを画像領域の外側に移動させてそのレイヤーを確定し、[移動]ツールボタンをもう1度押してそのレイヤーを画像エリアに戻すことができます。ファイルを .acdc ファイルで保存して閉じ、後日もう一度そのファイルを開いて、移動させたレイヤーを読み込むこともできます。ただし、補正の中には、移動させたレイヤーに適用していると画像データの消失を招くものもあります。このような補正は破壊的処理と呼んでいます。</p> <p>以下が破壊的処理です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 修復ツール • 透かしの追加 ([透かしを新規レイヤーとして追加] チェックボックスにチェックを入れないで追加する場合) • 枠の追加 • ピネットの追加 • チルトシフトの追加 • 回転 • トリミング

- 遠近補正
- レンズ補正
- サイズ変更
- 覆い焼き・焼きこみ
- デイテール ブラシ
- ぼかし
- 反転
- 以下の特殊エフェクト：

曇りガラス	グラナイト	散乱タイル
ブラインド	グランジ	板金
ブルースチール	手振れ	シフト
Bob Ross	ロモ	傾斜
バルジ	ミラー	ソラリゼーション
マンガ	油絵	くすみ
ノスタルジー	オールド	ステンドグラス
雲	オートン	輝点
コラーージュ	線画	渦巻き
輪郭	ピクセル爆発	トポグラフィ
クロスハッチ	ピクセル化	水面
ダウバー	紫の霞み	水滴
ドラマチック	放射状波	波
柔毛エッジ	雨	織物
暗闇	波紋	風

- 自動ボタンを使用して適用された補正（結果が混合する場合あり）
- 選択範囲
- 描画ツール
- マスクの追加または変更

 非破壊的処理を記録してまた元に戻すと、破壊的処理になります。

 破壊的処理は移動させるレイヤーにあらかじめ適用しておくことをおすすめします。

以下は非破壊的処理で、移動させたレイヤーに適用していても画像データの消失を招きません。

 ハードドライブの空き容量が足りない場合は、非破壊的処理でも破壊的になります。

- 赤目
- 透かしの追加（[透かしを新規レイヤーとして追加] チェックボックスにチェックを入れて追加する場合）
- 露出
- レベル

- 自動レベル
- トーンカーブ
- かすみの除去
- ホワイト バランス
- モノクロ
- スプリットトーン
- スキントーン
- シャープネス
- ノイズ
- 明瞭度
- Light EQ™
- 調整レイヤー
- 重複レイヤー
- ブレンド モード
- 不透明度
- 対応レイヤーでのブラシ処理
- Pixel Targeting
- 対応レイヤーの選択対象
- 以下の特殊エフェクト:

畳み込み	エッジ検出	セピア
写真エフェクト	グロー エッジ	70年代
ポストリゼーション	ソーベル	クレヨン画
しきい値	グラデーション マップ	エンボス
カラーエッジ	ネガ	鉛筆画



キャンバスのサイズ変更

[キャンバスのサイズ変更] ツールを使用すると、レイヤー化されたコンテンツに合わせてキャンバスのサイズを拡大したり、無地の背景を追加したりできます。

キャンバスのサイズは次の方法で変更できます。

- 写真の端をドラッグして、キャンバスを希望のサイズに拡大する。
- コンテキスト バーのフィールドで、キャンバスの正確なサイズを指定する。ドロップダウン メニューから、希望の単位を選択する。
- 比率を設定してキャンバスの縦横比を固定する。コンテキスト バーで、**[縦横比を保持しない]**ドロップダウン メニューから比率を選択する。**[カスタム]**オプションを使用して、好きな比率を定義できます。ドロップダウンで比率を選択し、**[縦横比の削除]**ボタンを押して比率を削除することもできます。 

コンテキスト バーでは、次のことができます。

- **[グリッドを表示]**ボタンを切り替える。
- キャンバスの色を選択する。
- **[不透明度]**スライダで透明度を調整する。

必要に応じてキャンバスのサイズを変更し、コンテキスト バーの**[確定]**ボタンを押します。

- ! 複数のレイヤーを保有する画像のキャンバスのサイズを変更すると、選択したレイヤーでサイズ変更が実行されます。

		 <p>矢印キーを使用すると、キャンパスをピクセル単位でサイズ変更できます。</p>
	テキスト	「 テキストをレイヤーとして追加する 」を参照してください。
	矩形	画像に矩形を描画します。 Shift キーを押しながら描くと正方形になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスが選択されている状態にします。
	楕円	画像に楕円を描画します。 Shift キーを押しながら描くと円になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスが選択されている状態にします。
	線	画像上でドラッグして直線を描きます。 Shift キーを押しながら描くと垂直線、または水平線になります。
	矢印	画像上でドラッグして矢印を描画します。 Shift キーを押しながら描くと垂直または水平の矢印になります。
	多角形	クリックで多角形の端点を設定し、ダブルクリックで始点と終点を結合して、多角形ができあがります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスが選択されている状態にします。
	曲線	画像上でドラッグした後マウスボタンを離します。次にマウスを動かして曲線を作成し、クリックで確定します。
	ブラシ	画像上でドラッグして自由な線を描きます。マウスで左クリックすると前景色で、右クリックすると背景色で描きます。
		 <p>マウス ホイールを使用するか、パネル上部の不透明度スライダの近くにある[ブラシ幅]スライダを使用して、ブラシ幅を調整します。</p>
		 <p>Shift + マウスホイールを使用するか、パネル上部の不透明度スライダの近くにあるフェザリングスライダを使用して、フェザリングの量を調整します。</p>
		 <p>[ファイル]メニュー下部にある[元に戻す]ボタンでブラシ ストロークを個別に元に戻すことができ、[やり直す]ボタンでブラシ ストロークを個別にやり直すことができます。</p>
	塗りつぶし	[塗りつぶし]ボタンを選択して画像上をクリックすると、クリックしたピクセルと同じカラー値のピクセルがすべて選択した色でシェーディングされます。選択する色はカラーボックスで次のように定義します。 しきい値 スライダで範囲に含むピクセル数または除外するピクセル数を指定してください。しきい値スライダは、クリックしたピクセルにどれだけ近いピクセルを範囲に含むかを指定するためのものです。コンテキスト バーの[関連付け済み]チェックボックスを有効にして、同じ色の関連付けられたピクセルをすべて塗りつぶしてください。
	グラナイト	グラデーション ツールを使用して画像にグラデーションを描くか、[放射状]オプションを使用して領域の周辺にグラデーションを描きます。グラデーション ツールを選択したら、コンテキスト バーを使用して色、不透明度、ブレンド モードを設定します。放射状グラデーションの場合は、コンテキスト バーの[放射状グラデーション]ボタンを選択します。次に、画像でドラッグしてグラデーションを描きます。グラデーションを取り消すには、コンテキスト バーの[破棄]ボタンを押します。必要に応じてグラデーションを再調整したら、コンテキスト バーの[確定]ボタンを押します。「 Ctrl + Z 」を押す、[編集] > [元に戻す]を選択するか、[履歴ウィンドウ]を使用して、確定を元に戻せます。

	消しゴム	消しゴムツールを使用してピクセルを消去することができます。レイヤーのピクセルを消去して下にあるレイヤーを表示するには、レイヤー エディタで2番目以降のレイヤーを選択して、画像の消去したいピクセル上にカーソルをドラッグします。このツールはピクセルのアルファチャンネル値を変更します。
	スポイト	<p>スポイト ツールを使用して画像から色を選択します。画像内の色をクリックすると、パネルの右上にあるカラーボックスに表示されます。ブラシ ツールなどの描画ツールを使用して、この色を適用することができます。</p> <p>画像上で右クリックして背景色（カラーボックスの下部）を選択することができます。</p> <p>画像を左クリックしてアプリケーションの外にある色までカーソルをドラッグすれば、アプリケーションの外から色を選択できます。マウスボタンを放すとその色が選択され、パネル右上のカラーボックスに表示されます。</p>

2. 以下のいずれかのオプションを選択します（注：選択したツールにより利用できるオプションは異なります）。

	オプション	説明
	色	<p>パネル右上のカラーボックスをクリックして色を選択し、前景または背景の色ダイアログを開くと、色を選択するスウォッチのダイアログが表示されます。長方形などの単色の図形を描く際には、図形の輪郭に使われる色は一番上（前景）のカラーボックスで定義されます。図形の中心を塗る色は、一番下（背景）のカラーボックスで定義されます。図形に単色にしたい場合は、両方のカラーボックスを同じ色にします。</p> <p> カラーボックスのすぐ横のリセットボタンを押すと、モノクロにリセットすることができます。</p> <p> レイヤーエディタの上部にあるカラーペインを使用すると、カラーパレットに直接アクセスすることもできます。</p>
	ブラシ幅	<p>[ブラシ幅]スライダをドラッグして、ブラシの半径（単位：ピクセル）を設定します。ブラシ幅は、マウスホイールか、画像を右クリックして表示されるブラシ幅スライダで、調整することができます。</p>
	フェザリング	<p>[ブラシ幅]ボタンを選択して、フェザリングスライダを表示します。フェザリングスライダをドラッグしてブラシの半径を設定します。画像を右クリックすると、ブラシ幅スライダとフェザリングスライダが表示されます。または、Shift キーを押したままでマウスホイールを使用すると、点線の円で表示されたフェザリングの半径を調整できます。</p>
	スペース	<p>スペーシングスライダをドラッグして、ブラシセグメントの間隔を設定します。このスライダはブラシ幅のサイズをパーセントで指定するもので、ストロークのなめらかさや粗さの程度を決定します。</p> <p>自動スペーシングを使用する: [自動スペーシングを使用]チェックボックスを選択すると、ACDSeeがブラシ幅とフェザリングの設定に基づいて間隔をパーセントで選択し、ストロークがなめらかになります。</p>
	塗りつぶし	<p>塗りつぶし チェックボックスを選択して、描いた図形を選択した色で塗りつぶします。</p>
	不透明度	<p>不透明度スライダをドラッグして、ブラシストロークの不透明度を指定します。</p>
	ブレンド	<p>ブレンドドロップダウンメニューからオプションを選択して、ブラシストロークと画像のブレンド度合を設定します。</p>

3. 画像上でドラッグして描画します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像に透かしを追加する

透かしツールを使用して、写真に透かしを追加することができます。画像の任意の位置に透かしを移動することができます。透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。

使用した設定は、後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像に透かしを追加する前に、透かしとして使用する画像を作成する必要があります。

画像に透かしを追加するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[透かし] を選択します。既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [透かし] ツールにアクセスすることもできます。

2. [参照] をクリックして透かしを選択し、[開く] をクリックします。
3. 透かしをクリック & ドラッグして、画像上の希望する位置に移動するか、[中央] をクリックして透かしを画像の中央に移動します。
4. マーキーのハンドル部分をドラッグして、透かしのサイズを変更します。
5. 透かしの縦横比を変更せずにサイズ変更したい場合には、[サイズ変更時に縦横比を保持する] を選択します。
6. 透かしにアルファチャンネルが存在し、それを適用したい場合には、[アルファチャンネルを適用する] を選択します。
(TIF と ICO の透かしファイルのみ、アルファチャンネルを含むことができます。)
7. 透かしの色を透明にしたい場合には、[透過を使用する] を選択します。
既定の色は白です。RGB の値を入力することもできます。RGB 値がわからない場合、[編集] パネルの透かしのプレビューサムネイル上にマウスを移動して、透明にしたい色をクリックします。
8. [ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像と透かしをどのようにブレンドするかを指定します。
9. [不透明度] スライダーをドラッグして、透かしの透明度を指定します。
10. レイヤーエディタで透かしを新しいレイヤーとして表示したい場合は、[新しいレイヤーとして透かしを追加] チェックボックスを選択します。
11. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用] をクリックして画像に透かしを追加し、[透かし] ツールを開いたままの状態にします。
 - [完了] をクリックして透かしの追加を終了し、ツールを終了します。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

枠を追加する

[枠] ツールを使用して、複数の枠を画像に追加したり、エッジ効果を加えたりすることができます。枠の各サイドのサイズを設定したり、枠の色やテキストを変えたり、画像の任意の色をクリックして枠の色として使用したりすることが可能です。

エッジとテキストのライブラリから選択することもできますが、カスタムメイドのテキストチャやエッジを ACDSee フォルダに保存してライブラリに追加することも可能です。

[エッジのぼかし] を使ってエッジをソフトにしたり、背景のテキストチャとブレンドしたりすることもできます。ドロップシャドウや浮き出しのエッジ効果を使って、画像に 3D 効果を加えることもできます。

複数の枠やエッジ効果を使って、画像のムードや雰囲気を変えたり、コントラストを強調したり、カラーを浮き立たせたりすることが可能です。

使用した設定は、後で利用するための プリセット として保存することができます。

画像に枠を追加するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[枠] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [枠] ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の表を参照して、サイズ、カラー、テクスチャ、エッジ、エッジ効果を選択し枠を作成します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用して [枠] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

4. 別の枠を追加するには、ツールをもう一度開き、上述の手順を繰り返します。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

枠 オプション

スポイト 	<p>画像上の任意の場所をクリックすると、カーソルの場所の色が選択されます。枠をクリックした色に変わり、枠ペインの[カラー ボックス]にもその色が表示されますので、[色の設定]ダイアログを開いて希望する色に変えることも可能です。</p>
 テクスチャを使用している場合、スポイトは使用できません。	
枠	<p>サイズ 枠の幅サイズをすべて同時に設定します。スライダを左右にドラッグして、枠の幅を調整します。数値を直接入力するか、上または下矢印を使って幅を調整することも可能です。</p> <p>[サイズ] フィールドの下に、枠を含んだ画像サイズが表示されます。枠のサイズの調整に応じて、最終サイズも大きく変わります。</p>
	<p>アドバンス サイズ コントロール ポップアップのアドバンス サイズ コントロールが表示されます。スライダを使用する、上下の矢印キーを使用する、数値を直接入力する、のいずれかの方法で、枠の各サイドの幅を個別に設定します。著作権情報を入力するスペースが必要なため、枠の下幅を大きく設定したい場合、などが例として挙げられます。[サイズ]スライダの隣にある矢印をクリックすると、アドバンス サイズ コントロール メニューが開きます。</p>
	<p>カラー ボックス [カラー] ラジオボタンを選択すると有効になります。次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像の中にある任意の色をクリックして、枠の色として使用します。クリックされた色がカラー ボックスに表示されます。 • カラー ボックスの中央部分をクリックすると、[色の設定] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、様々な方法で色を設定することができます。 • ボックスの横にある下矢印をクリックして、クイックカラー ボックスの上にマウスを移動してお気に入りの色を見つけます。クイックカラー ボックスのボックス内をクリックすると、その色がカラー ボックスに表示され、枠の色もその色に変わります。
	<p>テキストチャ ボックス [テキストチャ] ラジオボタンを選択すると有効になります。次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 横にある矢印をクリックするとテキストチャ ライブラリが開くので、表示されるテキストチャ サムネイルから選択します。 • ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにテキストチャを参照します。
エッジ	<p>ストレート 枠のエッジを直線に設定します。</p> <p>不規則 [不規則] ラジオボタンを選択すると有効になります。次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボックスの右横にある矢印をクリックすると、エッジ ライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのエッジを選択します。 • ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにエッジを参照します。
	<p>エッジのぼかし 画像の外側と枠の内側が重なるエッジをぼかします。スライダを右にドラッグするとぼかしが増え、左にドラッグするとぼかし</p>

		が減ります。
エッジの効果	ドロップシャドウ	<p>画像にドロップシャドウを追加して、ページから画像が浮かんでいる感じに仕上げます。ドロップシャドウは、画像の背景、つまり画像と枠の間に追加されます。ドロップシャドウの縁のぼかしの量や、ドロップシャドウの不透明度を調整できます。不透明度は、枠の上のドロップシャドウの透明度をコントロールします。[光源] ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ぼかし: スライダーをドラッグして、ドロップシャドウのエッジにおけるぼかしの量を調整します。 • 不透明度: スライダーをドラッグして、ドロップシャドウの不透明度の量を調整します。
	浮き出し	<p>画像と枠の重なるエッジ上に浮き出しを追加して、3D 効果を出します。浮き出しは画像上に発生します。[光源] ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。以下のように、サイズ、強度、浮き出しのカラーを調整することも可能です:</p> <ul style="list-style-type: none"> • サイズ: スライダーを右にドラッグして浮き出しのサイズを増やします。サイズを増やすほど、浮き出しの部分がより高く見えます。サイズが大きくなればなるほど、より丸みを帯びた効果になります。 • 強度: スライダーを右にドラッグして、浮き出しの 3D 効果を増やします。 • カラー: 浮き出しのエッジに枠の色を適用したい場合、このオプションを選択します。
光源		[ドロップシャドウ] または [浮き出し] ボックスをクリックすると有効になります。ボール上の光をクリック & ドラッグして、ドロップシャドウの 3D 効果やエッジ浮き出し効果のための仮想光源の位置を設定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する

[枠] ツールのライブラリに、ユーザーがカスタム作成したテクスチャとエッジを追加することができます。インターネットからコレクションをダウンロードした場合も、テクスチャとエッジ ライブラリに追加することが可能です。また、ライブラリから不必要なファイルを削除して、他のファイルを追加する容量を増やすこともできます。

テクスチャとエッジ ファイルは、次のファイル フォーマットであること、および拡張子が付けられていることが必要です:

- BMP
- EMF
- GIF
- JPG
- GIF
- PNG
- TIF

テクスチャ

テクスチャは並べて表示されるという特徴から、繰り返して並べた際にスムーズな画像である必要があります。また、ファイルは拡大や縮小を行わないフル解像度で保存されるべきです。例えば、テクスチャの画像が 100 x 100 ピクセルで、1000 x 1000 ピクセルの画像の枠に使用している場合、テクスチャファイルは 10 回並列表示されることになります。テクスチャファイルが 1000 x 1000 ピクセルの場合には、枠全体に 1 回表示されるだけになります。

ユーザー定義のテクスチャをテクスチャ ライブラリに追加するには:

1. ACDSee で [枠] ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテクスチャ ファイルをコピー/貼り付けします:
C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\textures
3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後 [ツール] から [処理]、[編集] をクリックします。
4. [追加] グループから、[枠] をクリックします。
5. [テクスチャ] ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、テクスチャ ライブラリを開きます。
テクスチャのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。

エッジ

エッジ ファイルはグレースケールの画像で、枠の付けられる画像に合わせてサイズ変更されます。画像は、エッジ ファイルに見られる白い領域では表示されますが、黒い領域では隠れて表示されます。エッジ ファイルでグレーのトーンのピクセルでは、白と黒のどちらに近いかによる相対的な不透明度で表示されます。つまり、濃いピクセルほど透明に表示されます。

ユーザー定義のエッジをエッジ ライブラリに追加するには:

1. ACDSee で [枠] ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテクスチャ ファイルをコピー/貼り付けします:
C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\edges
3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後 [ツール] から [処理]、[編集] をクリックします。
4. [追加] グループから、[枠] をクリックします。
5. [不規則] ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、エッジ ライブラリを開きます。
エッジのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。



既に枠の適用されている画像を開くと、新しい枠がその画像の上に適用されます。

ビネットを追加する

ヴィネット効果を使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できます。ボーダーの外観をコントロールすることができます。

使用した設定は、後で利用するための プリセット として保存することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[ヴィネット] を選択します。
 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ヴィネット] ツールにアクセスすることもできます。
2. 下記を参考にして、オプションを設定します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄して閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

ヴィネット オプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリアゾーン	焦点の周りがあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
トランジションゾーン	クリアゾーンとフレーム間のトランジションゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなります。スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広くなります。
中央から拡張	丸ではなく楕円形になるようにビネットの形を横に伸ばします。
形	ヴィネットの形を指定します： <ul style="list-style-type: none"> ● 丸：丸みを帯びたフレームに仕上がります。 ● 四角：四角形のフレームに仕上がります。
輪郭を表示する	クリアゾーンの外枠とフレームの内枠を示す輪郭を表示したい場合に、この[輪郭を表示する]オプションを選択します。
フレーム	次の特殊効果を、焦点の周りがあるヴィネットに適用します： <ul style="list-style-type: none"> ● カラー：カラー設定で選択された色が、ヴィネットの枠の色として変更されます。 ● 彩度：フレーム内にある人物やオブジェクトの色を削除するため、グレースケールで表示されます。 ● ぼかし：ビネットフレームの領域がぼかされます。 ● 曇：フレームの領域に曇の効果が適用されます。 ● エッジ：フレーム領域の人物やオブジェクトの線やディテールを、蛍光色でエッジ検出します。 ● 放射状波：焦点からフレーム領域に放射する波を生成します。 ● 放射状ぼかし：フレーム領域を回転してひ引き伸ばす放射状ぼかしを生成します。 ● ズームぼかし：フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 ● クレヨンエッジ：クレヨンエッジエフェクトをかけて、人物やオブジェクトの周辺の線やディテールをクレヨンで描いた線でなぞります。 ● ペンキ画：焦点の周りがある人物やオブジェクトを、ブラシで描いたように表示されます。 ● ピクセル化：フレームにピクセル化エフェクトをかけます。 ● オールド：フレームに経年エフェクトをかけて、古い写真のような見栄えにします。 ● グローエッジ：フレーム内のはっきりとした線すべてに対し、エッジを光らせます。 ● 波紋：フレームに波紋エフェクトがかかり、焦点から外に向かって波紋が生じているように見えます。
フレームの設定	[フレーム] のドロップダウンリストの下に表示される設定は、選択されるオプションによって変化します。例えば、[フレーム]ドロップダウンリストから カラー を選択すると、カラーピッカーが表示されますので、ヴィネットに使用する色を選択することができます。同様に、[フレーム]ドロップダウンリストから ぼかし を選択すると、スライダが表示されますので、ぼかしの量を調整することができます。エッジのように、フレームの中には設定オプションのないものもあります。



スライダを右クリックすると既定値に戻します。

チルトシフト効果を追加する

チルトシフト効果とは、写真の一部を強調したり、実際の風景をミニチュアのように写した画像を作成したりするものです。

チルトシフト効果を適用するには：

1. [編集] モードの[追加] グループで、[チルトシフト] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [チルトシフト] ツールにアクセスすることもできます。

2. [チルトシフト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

チルトシフト オプション

画像上に表示されるガイドを使用して効果を適用します。内側のボックスは、フォーカスからぼかしに遷移する地点を表します。外側のボックスの地点から完全なぼかしが発生します。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、45°で切り捨てられる角度に固定できるよう効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。

ぼかし	ぼかしの種類をドロップダウンメニューから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • レンズぼかし • ガウスぼかし 詳しくは、 [ぼかしの種類] をご確認ください。
度合い	適用するぼかしの度合いを指定します。
ぼけ頻度	ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。
ぼけ明度	表示されるぼかしの形状の明度を指定します。
ぼけサイド	ぼかしの形状の辺の数を指定します。
彩度	スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

グレイン エフェクトを追加する

グレイン効果を使用すると、画像を定型化して、画像粒子が粗い昔の映画のような仕上がりにすることができます。グレインツールを他の効果と組み合わせて使用すると、全体をビンテージ仕上げにすることもできて便利です。

使用した設定は、後で利用する際の[プリセット](#)として保存することができます。

グレイン効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[グレイン] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [グレイン] ツールにアクセスすることもできます。

2. 下記を参考にして、オプションを設定します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄して閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

グレインのオプション

度合い	グレインの強度を指定します。
平滑化	グレインの滑らかさを指定します。
サイズ	グレインのサイズを指定します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション] ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果フィルタについて

特殊効果フィルタを使用して、画像にユニークな効果を追加することができます。ACDSee には、クロスハッチ、鉛筆画、ソラリゼーションを始めとする 40 以上の特殊効果フィルタが含まれています。

特殊効果フィルタにアクセスするには:

[編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

各特殊効果についての詳細は、[ヘルプ] ボタンをクリックして、ヘルプ ファイルをご参照ください。

特殊効果: 曇りガラス

曇りガラス効果は、画像をバー状に分割することで、浴室の曇りガラスを通して見たような画像に仕上げることができます。曇りガラスオプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

曇りガラス効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [曇りガラス] をクリックします。

3. [バーの幅] スライダーをドラッグして、バーの太さを設定します。バーの幅が狭いと、画像はより歪んだ仕上がりになります。

4. [バーの方向]領域で、次のいずれかを選択してバーの方向を指定します。
 - 上下
 - 左右
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ブラインド

ブラインド効果は、画像をバー状に分割することで、ベネチアン ブラインドやパーチカル ブラインドのような外観に仕上げることができます。画像に適用したいブラインドの設定をカスタマイズできます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ブラインド効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。
 -  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。
2. **【ブラインド】**をクリックします。
3. **【ブラインド】** パネルで、下記を参考にしてオプション...を設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ブラインド オプション

幅	ブラインドの幅を指定します。1から1000までの数字を入力、またはスライダーをドラッグしてブラインドの幅を調整します。値が大きくなるほど、ブラインドの幅は広くなります。
不透明度	ブラインドの不透明度を指定します。1から99までの数字を入力、またはスライダーをドラッグしてブラインドの不透明度を調整します。不透明度が高くなるほど、画像は暗くなります。
角度	ブラインドの角度を指定します。1から360までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
ブラインドの色	ブラインドの色を指定します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

  **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
  を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ブルースチール

ブルースチール効果を使用して、画像をスタイリッシュな青みがかった色合いに仕上げることができます。

ブルースチール効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ブルースチール】** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

  **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
  を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: Bob Ross

Bob Ross効果を使用すると、画像を Bob Ross 画法 (ウェットオンウェット) のように粗めのペイント風に仕上げることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

Bob Ross効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [Bob Ross] をクリックします。
3. [Bob Ross] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

Bob Ross効果のオプション

	ブラシ サイズ	[ブラシ サイズ] スライダーをドラッグして、効果として使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広くなります。
	画線比率	[カバレッジ] スライダーをドラッグして、写真「キャンパス」上のインクの濃度を設定します。
	ペンキの厚さ	[ペンキの厚さ] スライダーをドラッグして、ペンキの立体感を調節します。
	カラフル	[カラフル] スライダーをドラッグして、画像内の色の数を調整します。
背景色	画像	[画像] チェックボックスを有効にすると、写真に追加したブラシ効果の背景色として画像の色を使用できます。背景色に別の色を使用する場合は、[画像] チェックボックスを無効にして、ドロップダウンメニューから新しい色を選択します。
	ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。Bob Ross効果画像に適用すると、ACDSeeは塗りつぶしをランダムに配置します。そして、[ランダム化] を適用する度に配置されるペンキがランダムに変化します。[ランダム化] をクリックして、お好みの雰囲気が出るまで楽しみましょう。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[**編集ブラシ**] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[**グラデーション**] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[**放射状グラデーション**] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 膨張

膨張効果を使用して、画像を縦横に引き伸ばしたり、縮めたりすることができます。強度、膨張や歪みの位置を設定することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

膨張効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [膨張]をクリックします。
3. [膨張]パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

膨張オプション

左右の位置	歪みの中心を左右に移動して設定します。小さい値では画像の左側が歪み、大きい値では画像の右側が歪みます。
上下の位置	歪みの中心を上下に移動して設定します。小さな値では画像の下側が歪み、大きな値では画像の上側が歪みます。
半径	歪みの半径を設定します。小さな値ほど歪みの半径は小さくなり、大きな値ほど歪みの半径は大きくなります。
強さ	歪みの強度を設定します。マイナス値では歪みの中心は収縮し、プラス値では歪みの中心は膨張します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
膨張の方向	歪みの方向を設定します。以下のオプションからいずれか、または両方のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 左右: 歪みを左右に動かします。 • 上下: 歪みを上下に動かします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション] ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: マンガ

マンガ効果を使用して、画像をコミック風に仕上げることができます。
使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

マンガ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。
 -  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。
2. **[マンガ]** をクリックします。

3. [マンガ] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

マンガ効果のオプション

影の強度	画像の影の強度を指定します。大きな値ほど、画像に使用される影の量は多く、濃くなります。	
影の半径	影の広がり方を調整します。	
影のしきい値	影を適用する前の画像上に輪郭されるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、輪郭されるエッジの量が多い影になります。	
滑らかさ	同系色間のトランジションの滑らかさをコントロールします。	
輪郭の詳細	画像の細部に表示される黒い輪郭の濃さを指定します。	
輪郭の強度	画像の細部に表示される黒い輪郭の多さと強さを指定します。	
アーチファクト抑制	細部を削除する	黒い輪郭が画像の細部に表示されないようにして、画像をさらにマンガに近い画風に仕上げます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ノスタルジア

ノスタルジア効果を使用して、画像をまるで昭和時代の写真のように仕上げることができます。

ノスタルジア効果を適用するには：

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。
 -  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。
2. **【ノスタルジア】**をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 雲

雲効果を使用して、背景など、画像からグラフィックコンテンツを作成することができます。

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

写真に雲を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [雲] をクリックします。
3. [雲] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

雲のオプション

サイズ	雲のサイズを設定します。スライダを右へ動かすとサイズが大きくなります。
ディテール	ディテールの細かさを指定します。0から10までの数字を入力するか、スライダをドラッグして雲のディテールを調整します。
ランダム化	雲がランダムに配置されます。 画像に雲効果を適用すると、ACDSee フラグメントがランダムに適用されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを作成して、同じフラグメントパターンを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

コラージュエフェクトを適用する

コラージュエフェクトを使用すると、1枚の写真をクリエイティブに複数の写真に分割することができます。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

コラージュエフェクトを適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【コラージュ】**をクリックします。
3. 写真の[数]と[サイズ]のスライダをドラッグして調整します。
4. 色の階調度が表示されるドロップダウンの矢印をクリックするか、スウォッチのダイアログが表示されるカラーボックスをクリックするかして、背景色を選択します。
5. 写真をシャッフルしたい場合は、**【ランダム化】**をクリックします。
6. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。
7. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**【完了】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



【グラデーション】ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: カラーエッジ

カラーエッジ効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの線や詳細をトレースすることができます。

使用した設定は**プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

カラーエッジを適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [カラーエッジ] をクリックします。
3. [カラーエッジ] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

カラーエッジ オプション

強度	画像のエッジに追加する色の量を調整します。大きな値ほど、画像に適用される色は濃くなります。
エッジの色	エッジに適用する色を選択します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
ぼかし	画像のエッジをぼかします。[ぼかしの使用] チェックボックスをオンにし、ぼかしの設定を選択してエッジに適用するぼかしの量を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 等高線

等高線効果を使用して、画像の輪郭を抽出することで、漫画のような画像に仕上げることができます。等高線や色などの設定を変更して画像に適用します。

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

等高線を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [等高線] をクリックします。
3. [等高線] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

等高線オプション

丸み度	等高線の線の丸みを調整します。大きな値ほど、線は丸くなります。
線の頻度	等高線の幅を調整します。大きな値ほど、線の間隔が小さくなります。
強さ	線の濃さを調整します。大きな値ほど、線は濃くなります。
線の色	線の色を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: クレヨン画

クレヨン画効果を使用して、画像をクレヨンで描いたような外観にすることができます。

クレヨン画効果を使用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。

2. **【クレヨン画】**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

クロスハッチ エフェクトを適用する

クロスハッチ エフェクトを使用して、画像全体にクロスハッチを加えることができます。

クロスハッチ エフェクトを使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [クロスハッチ]をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



[編集ブラシ]を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ペンキ画

ペンキ画 効果を使用すると、ペンキで塗りつけたような画像に仕上げることができます。強度や頻度などの設定を変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ペンキ画を適用するには:

1. [編集] モードの[追加]グループで、[特殊効果]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[特殊効果]メニューにアクセスすることもできます。

2. [ペンキ画]をクリックします。
3. [ペンキ画] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

ペンキ画 オプション

強度	使用するペンキの量を調整します。
頻度	ペンキを塗りつける回数を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。 画像にペンキ画効果を適用すると、ACDSee ペンキがランダムに適用されます。そして、[ランダム化] を適用する度に配置されるペンキがランダムに変化します。特定のランダムシードを定義して同じ塗りを生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション] ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ドラマチック

特定の領域のコントラストを強調するドラマチック効果を適用すれば、画像をドラマチックな雰囲気仕上げることができます。使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ドラマチック効果を適用するには:

- [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。
 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。
- [ドラマチック] をクリックします。
- [ドラマチック] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
- 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

ドラマチック効果のオプション

強さ	適用されるコントラストの強度を調整します。
スプレッド	画像細部のどこまで効果を広げるか、ここで調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

エッジ検出エフェクトを適用する

エッジ検出効果を使って、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

エッジ検出効果を使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[エッジ検出]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: エンボス

エンボス効果を使用して、画像をグレーに変換して、型押しされたような立体感のある画像に上げることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像にエンボスを適用するには:

1. [編集] モードの[追加]グループで、**[特殊効果]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[特殊効果]メニューにアクセスすることもできます。

2. **[エンボス]**をクリックします。

3. [エンボス] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

エンボス オプション

明るさ	画像の明るさを指定します。小さな値ほど、画像にかかる影の量が多くなるため、画像は暗くなります。大きな値ほど、画像にかかる影の量が少なくなるため、画像は明るくなります。
強さ	画像の凹凸を調整します。大きな値ほど、画像に適用される凹凸は大きくなります。
方向	画像のエッジから伸びる影の方向を指定します。0の値では影は左に伸び、180の値では影は右に伸びます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

  を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 柔毛エッジ

柔毛エッジ効果を使用して、人物やオブジェクトの境界線や細部に柔毛や剛毛を追加することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

柔毛エッジ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【柔毛エッジ】** をクリックします。
3. **【柔毛エッジ】** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

柔毛エッジ オプション

頻度	画像に追加される柔毛の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される柔毛の量は多くなります。
しきい値	柔毛適用前のエッジのシャープネスを指定します。小さな値ほど、柔毛が追加される領域は広くなります。
柔毛の長さ	柔毛線の長さを調整します。大きな値ほど、柔毛線は長くなります。
変化	[柔毛の方向] で設定した方向に伸びる柔毛の量を調整します。大きな値ほど、柔毛の伸びる方向はランダムになります。
柔毛の方向	柔毛の伸びる一般的な方向を指定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
柔毛の色	柔毛の色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム化とは、柔毛線をランダムに配置することを指します。 画像に柔毛エッジ効果を適用すると、ACDSee 柔毛がランダムに配置されます。これにより、フィルタを適用するたびに柔毛の織りが変化します。特定のランダムシードを定義して、同じ柔毛パターンを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

  **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。  を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション] ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:グルーム

グルーム効果を使用して、画像に暗くどんよりした表情を与えることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

グルーム効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[グルーム]** をクリックします。
3. **[グルーム]** パネルで **[色]** スライダーをドラッグして画像に色合いを追加します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ネオン効果

ネオン効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細にカラーを加えることができます。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ネオン効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ネオン効果】** をクリックします。
3. **【ネオン効果】** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

ネオン効果オプション

強度	画像のエッジに追加する色の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される色の量は多くなります。
カラー	エッジに適用する色を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**[グラデーション] ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**[放射状グラデーション] ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:グラデーションマップ

グラデーションマップ効果を使用して、画像の暗い部分と明るい部分に色を追加できます。グラデーションマップ効果はひとつの色にシャドウをマップし、各ピクセルの明度に基づいて他の色にハイライトをマップします。画像の暗い部分に、明るい部分とはまったく違う色を与えることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

グラデーションマップ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [グラデーションマップ] をクリックします。
3. [グラデーションマップ] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

グラデーションマップのオプション

ダーク	画像の暗い領域に追加する色を指定します。
ライト	画像の明るい領域に追加する色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

**[グラデーション] ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**[放射状グラデーション] ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:グラナイト

グラナイト効果は、岩壁の表面に描かれたように画像を仕上げます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

グラナイト効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [グラナイト] をクリックします。
3. [グラナイト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

グラナイト オプション

光の角度 画像の上を、想像上の光が照らす角度を指定します。矢印をドラッグして角度を調整します。光の角度を変更すると、グラナイト(岩)の上に現れる凸凹のハイライトやシャドウが変化します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。この効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: グランジ

グランジ効果を使用して画像に陰鬱な、暗い表情を与えることができます。[カラー] スライダーを使用して画像にさまざまな色合いを付けることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

グランジ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。
-  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。
2. [グランジ] をクリックします。
 3. [グランジ効果] パネルで [カラー] スライダーをドラッグして色合いを指定します。[カラー] スライダーが0に設定されていると着色は行われません。
 4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 揺れ

揺れ効果を使用して画像に揺れ歪曲を追加します。画像に追加したい歪曲の特徴をカスタマイズすることができます。一部の歪曲は画像の外側のエッジの形状を変化させるため、透明な背景が見えるようになります。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

揺れ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. 揺れをクリックします。
3. [揺れ] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

揺れオプション

サイズ	揺れ歪曲のサイズを指定します。1から100までの数字を入力するか、スライダをドラッグして歪曲の幅を調整します。値が大きいほど波の幅も大きくなります。
ディテール	歪曲の揺れの程度を指定します。1から10までの数字を入力するか、スライダをドラッグしてディテールを調整します。
強さ	歪曲の強度を設定します。1から100までの数字を入力するか、スライダをドラッグして強度を調整します。
ランダム化	揺れがランダムに配置されます。 画像に揺れ効果を適用すると、ACDSee フラグメントがランダムに適用されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを作成して、同じフラグメントパターンを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ロモ エフェクトを適用する

ロモカメラのレトロ効果を再現します。ロモカメラで撮影された写真は、コントラストが高く、色ずれとヴィネット効果をはっきり出るのが特徴です。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

ロモ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ロモ]**をクリックします。
3. **[歪み]** スライダーを右にドラッグすると、色ずれが強調されます。
4. **[ヴィネットの強さ]** スライダーを右にドラッグすると、ヴィネット効果が強調されます。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。
6. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**[完了]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ミラー

ミラー効果を使用して、画像を水平軸または垂直軸に対して反射させることができます。ミラーの軸や方向を変更することにより効果を適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ミラー効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ミラー] をクリックします。
3. [ミラー] パネルで、[ミラー方向] 領域から、次のいずれかのオプションを選択し、画像のミラー方向を指定します。
 - 左右
 - 上下
4. [ミラー軸] スライダーをドラッグして、画像を反射するミラー軸の位置を調節します。500の値では、ミラー軸の位置は画像の中心になります。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ネガ エフェクトを適用する

ネガティブ効果を使って、画像のネガティブを作成することができます。また、ネガティブ フィルタを使用して、フィルムからスキャンされたネガティブをポジティブ画像に変換することも可能です。

ネガティブ画像を作成するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクト メニューにアクセスすることもできます。

2. [ネガ] をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: オイルペイント

オイルペイント効果を使用して、画像をオイルペイントのように仕上げることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

オイルペイント効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [オイルペイント] をクリックします。
3. [オイルペイント] パネルの [ブラシの幅] スライダーをドラッグして、使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広くなります。
4. [変化] スライダーをドラッグして、各ブラシで描かれる色の変化を調整します。大きな値ほど、ブラシで塗られる色の量が増えます。
5. [変化] スライダー をドラッグして、画像内の色の強さを調整します。
6. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: アンティーク

アンティーク効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

アンティーク効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [アンティーク] をクリックします。
3. [アンティーク] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

アンティーク オプション

年	アンティークに仕上げる強度、または度合いを指定します。(数値は、画像がどれほど古く見えるかといった年季数とはマッチしませんのでご注意ください。)
---	--



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

オートン効果

オートン効果は写真に印象派の絵画のような効果を適用します。オートン効果は、2種類の画像(一つはややぼかし、もう一つはやや露光過多)を重ね合わせることで生み出される暗室のテクニックを再現したものです。

設定は後で利用する際の [プリセット](#) として保存することができます。

オートン効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト] を選択します。
 -  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。
2. [オートン] をクリックします。
3. [ぼかし]、[コントラスト]、[明るさ] スライダーをドラッグして各効果を調整します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。
5. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、[完了] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：輪郭

輪郭は、エッジ検出に似た特殊効果です。輪郭効果を使用して、画像の輪郭を強調することができます。輪郭効果を使用することで、輪郭の厚み、エッジを輪郭で縁取るかどうか、輪郭で縁取られた画像の背後に表示される色をコントロールすることもできます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

輪郭効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[輪郭]** をクリックします。
3. **[輪郭]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

輪郭オプション

線の幅	輪郭線の幅を指定します。大きな値ほど、輪郭の幅は広くなります。
しきい値	縁取られるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、縁取られるエッジの量が多くなります。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

鉛筆画エフェクトを適用する

鉛筆画効果を使って、画像を鉛筆で描いたように仕上げることができます。

画像を鉛筆画のように仕上げるには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [鉛筆画]をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



[編集ブラシ]を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 写真

写真効果を使用して画像にさまざまなフィルタを適用できます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

写真効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加]グループで、[特殊効果]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[特殊効果]メニューにアクセスすることもできます。

2. [写真効果]をクリックします。

3. [写真効果] パネルで、[フィルタタイプ] ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

にこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ピクセル爆発

ピクセル爆発効果を使用して、画像の中心点からピクセルを爆発させたような効果に仕上げることができます。強度や方向などの設定を変更して、ピクセル爆発効果を画像に適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ピクセル爆発効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ピクセル爆発] をクリックします。
3. [ピクセル爆発] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

ピクセル爆発オプション

左右の中央	爆発の中心を横軸上で設定します。500の値では、爆発の位置は画像の中心になります。
上下の中央	爆発の中心を縦軸上で設定します。500の値では、爆発の位置は画像の中心になります。
強度	爆発の強度を設定します。大きな値ほど、ピクセルの爆発は大きくなります。
爆発の方向	爆発の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ピクセルを左右に爆発: 画像の左右に向かってピクセルを爆発させます。 • ピクセルを上下に爆発: 画像の上下に向かってピクセルを爆発させます。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにピクセルを配置することです。 ピクセル爆発効果を画像に適用すると、ACDSee ピクセルがランダムに配置されます。これにより、フィルタを適用するたびにピクセルが変化します。特定のランダムシードを定義して、同じピクセルパターンを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

にこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: モザイク

ピクセルとは、縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のことです。画像の解像度を減らすと、ピクセルが大きくなるため、画像がぼやけてしまいます。モザイク効果を使用して、画像のピクセルサイズを大きくすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

モザイク効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [モザイク] をクリックします。
3. [モザイク] パネルで、[幅] および [高さ] スライダーをドラッグして画像のピクセルのサイズを調整します。四角形の辺の長さを等しくするには、[正方形] チェックボックスをオンにします。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

にこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ポスタライズ

ポスタライズ効果を使用して、画像の明るさを調整することができます。ポスタライズ オプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ポスタライズ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ポストライズ] をクリックします。
3. [ポストライズ] パネルで、[明るさのレベル] スライダをドラッグして、画像の色の変化を調整します。小さな値ほど、画像に使用される色の量は少なくなります。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 霞み

霞み効果を使用して、画像に薄ら紫がかかった効果を広げ、レトロに仕上げることができます。

霞み効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [霞み] をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**[放射状グラデーション] ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 光線ぼかし

光線ぼかし効果を使用すると、画像の中心から外に向かって波が発生しているような効果を与えます。画像の中心となる位置を変更できる他、波の外観も設定できます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

光線ぼかし効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [光線ぼかし] をクリックします。
3. [光線ぼかし] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

光線ぼかし オプション

左右の位置	波の中心を横軸上で設定します。500の値では、画像の中心に設定されます。
上下の位置	波の中心を縦軸上で設定します。500の値では、画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波の深さと高さを設定します。
波の幅	波と波の間の幅を設定します。
光の強度	各波の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波の方向	波が発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 左右の波: 画像の左右に向かう波を加えます。 • 上下の波: 画像の上下に向かう波を加えます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
ここにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**[グラデーション] ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**[放射状グラデーション] ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 雨

雨効果を使用して、画像撮影時に雨が降っていたかのように仕上げることができます。雨の量、角度、強度その他の特性を調整して画像に適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

雨効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [雨] をクリックします。
3. [雨] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

雨オプション

強さ	雨だれの長さを指定します。スライダを右へ動かすほど雨だれの長さが長くなります。
不透明度	雨だれの不透明度を指定します。0から100までの数字を入力、またはスライダをドラッグして雨だれの不透明度を調整します。不透明度が高くなるほど、画像は暗くなります。
度合い	雨だれの量を指定します。
角度の変化	雨だれの角度を指定します。0から50までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
強度の変化	雨だれの長さの変化を指定します。雨だれの長さを揃えたい場合、スライダを左へドラッグします。大小様々な長さの雨だれを指定したい場合、スライダを右へドラッグします。様々な長さの雨だれが含まれるほど、画像は自然に仕上がります。
背景ぼかし	画像におけるぼかしの量を調整します。雨の量を多く設定すると、背景の画像が見えにくくなります。このオプションを使って画像をぼかすと、より自然に仕上がります。
角度	雨の降ってくる角度を指定します。
カラー	雨だれの色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 波紋

波紋効果は、小石を水に落とした時に見られるような円状を画像に加えます。位置や強度などの波紋の設定を変更して画像に適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

波紋効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [波紋] をクリックします。
3. [波紋] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

波紋オプション

左右の位置	波紋の位置を左右に設定します。500の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
上下の位置	波紋の位置を上下に設定します。500の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波紋の深さと高さを設定します。
波の幅	波の幅を設定します。
光の強度	波紋の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波紋の方向	波紋の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 上下の波紋: 波紋を画像の上下に向かわせます。 • 左右の波紋: 波紋を画像の左右に向かわせます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 飛散タイル

飛散タイル効果を使用して、画像を四角形のタイルに分割して散らばしたり重ねることができます。飛散タイルオプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

飛散タイル効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [飛散タイル] をクリックします。
3. [飛散タイル] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

飛散タイルオプション

タイル サイズ	タイルのサイズを設定します。
飛散の度合い	タイルを飛散する度合いを調整します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにタイルを配置することです。 画像に飛散タイル効果を適用すると、ACDSee タイルがランダムに配置されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを定義して、同じタイルパターンを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

セピア エフェクトを適用する

セピア効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)

設定は後で利用する際の [プリセット](#) として保存することができます。

セピアトーンを画像に追加するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [セピア]をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 [編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 [グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 [放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 70年代

70年代効果も、画像にレトロな印象を与えることができます。

70年代効果を適用するには:

1. [編集]モードの[追加]グループで、[特殊効果]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[特殊効果]メニューにアクセスすることもできます。

2. [70年代]をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 [編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 [グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 [放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 金属シート

金属シート効果を使用して、画像を金属シートのように仕上げることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

金属シート効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [金属シート] をクリックします。
3. [金属シート] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

金属シート オプション

丸み度	画像のエッジの丸みを調整します。
ディテール	画像の詳細を調整します。
角度	金属シートの模様が流れる角度を指定します。
金属の色	金属シートの色を指定します。
プレス	金属がプレスされる表面を指定します。次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • インデント: 画像の上から金属をプレスします。 • エンボス: 画像の下から金属をプレスします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: シフト

シフト効果を使用して、画像をバー状に分割し、ランダム方向にシフトさせることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

シフト効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. シフトをクリックします。
3. [シフト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

シフトオプション

強さ	バーの間のシフトの量を指定します。
幅	バーの幅を調整します。
角度	バーの角度を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: アングル

アングル効果を使用して、画像が斜めに傾いているかのように仕上げることができます。例えば、画像の上部を左に、画像の下部を右に引っ張って、画像を歪ませることが可能です。同様に、画像の左側を上、右側を下に引っ張って、画像を歪ませることも可能です。使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

アングル効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。
-  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。
2. **[アングル]** をクリックします。
 3. [アングル] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
 4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

アングルオプション

度合い	アングルの度合いを指定します。
支点	アングルの中心となる位置を指定します。スライダを左にドラッグして写真下部の近くに傾斜の中心を配置します。スライダを右にドラッグして写真上部の近くに傾斜の中心を配置します。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
アングルの方向	アングルの方向を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 左右: 写真の上部または下部を、右または左方向に歪ませたい場合に[左右]を選択します。 • 上下: 写真の左端または右端を、上または下方向に歪ませたい場合に[上下]を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション] ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ソーベルエフェクトを適用する

ソーベル効果を使用して、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

ソーベル効果を使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ソーベル]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ソラリゼーション

ソラリゼーションを使用すると、現像する前にフィルムが光に当たったかのような露出効果を画像に追加することができます。ソラリゼーションオプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ソラリゼーション効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[ソラリゼーション]** をクリックします。

3. **[ソラリゼーション]** パネル上で **[しきい値]** スライダーをドラッグし、画像の明るさのしきい値を調整します。

4. 「効果」のセクションで、次のいずれかのオプションを選択してピクセルを指定します。

- **ソラリゼーション:** しきい値オプションで指定された値より高いピクセルを調整します。ソラリゼーション フィルタは、しきい値を越えたピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ソラリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は明るくなります。つまり、露出オーバー画像にするためには、色が明るくなくてはなりません。
- **ルナリゼーション:** しきい値オプションで指定された値より低いピクセルを調整します。ルナリゼーション フィルタはしきい値より低いピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ルナリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は暗くなります。つまり、露出オーバー画像にするのに、色が明るい必要はありません。

5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: くすみ

くすみ効果を使用して、画像を暗い、少し重苦しいような印象を与える独特の写真に仕上げることができます。

くすみ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [くすみ] をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ステンドグラス

ステンドグラス効果を使用して、大小様々なサイズと形に分割された、ステンドグラスの窓のように画像を仕上げるすることができます。効果設定を使用してフラグメントのサイズと位置を調整します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ステンドグラス効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ステンドグラス] をクリックします。
3. [ステンドグラス] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

ステンドグラス オプション

フラグメント サイズ	フラグメントのサイズを設定します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにフラグメントを配置することです。 画像にステンドグラス効果を適用すると、ACDSee フラグメントがランダムに適用されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを作成して、同じフラグメントパターンを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション] ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 太陽スポット

太陽スポット効果を使用して、画像に太陽のような明るい円光を加えることができます。使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

太陽スポット効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。
 -  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。
2. **[太陽スポット]** をクリックします。
3. **[太陽スポット]** パネルの**[左右の位置]** および **[上下の位置]** スライダーをドラッグして、太陽スポットの位置を指定します。
4. **[明るさ]** スライダーをドラッグして、太陽スポットの明るさを調整します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

特殊効果: 渦巻き

渦巻き効果を使用して、画像の人物やオブジェクトを渦巻きのように回転させたり引き伸ばしたりすることができます。使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

渦巻き効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。
 -  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。
2. **[渦巻き]** をクリックします。
3. **[渦巻き]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

渦巻きオプション

左右の位置	渦巻きの位置を横軸上で設定します。500の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
上下の位置	渦巻きの位置を縦軸上で設定します。500の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
半径	渦の半径を設定します。
強さ	渦巻きの強さを調整します。プラス値では渦巻きの方向は時計回りで、マイナス値では渦巻きの方向は反時計回りになります。
フォーカス	半径に対する渦巻きの焦点を設定します。大きな値ほど、渦巻きの焦点は半径の中心に置かれます。小さな値ほど、渦巻きが画像全体に散らばります。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
渦巻きの方向	渦巻きが発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 左右の渦巻き: 渦巻きが画像の上下に向かうようにします。 • 上下の渦巻き: 渦巻きが画像の左右側に向かうようにします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:しきい値

しきい値を使用して、モノクロの画像を作成することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

しきい値効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの**【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【しきい値】** をクリックします。
3. **【しきい値】** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

しきい値オプション

しきい値 スライダーをドラッグして、モノクロ画像の黒、白の基点を定義します。選択されたしきい値よりも明るいピクセルは白に、暗いピクセルは黒に表示されます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 地形図

地形図効果を使用して、画像の詳細を輪郭線で表して地形図のように仕上げることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

地形図効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【地形図】**をクリックします。
3. **【地形図】** パネルの **【丸み】** スライダーをドラッグして、輪郭線の丸みを調整します。
4. **【線の数】** スライダーをドラッグして、地形図に使用したい輪郭線の数を指定します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ウォーター

ウォーター効果を使用して、画像内オブジェクトの下に水面を足し、その水面にオブジェクトを反映させることができます。水面の位置はユーザーがコントロールすることができます。例えば、人物の顔の顎下から、あるいは人物の上半身の下からなど開始点を変更します。また、波の幅、波の明るさもコントロール可能です。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ウォーター効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[ウォーター]** をクリックします。
3. **[ウォーター]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ウォーター オプション

位置	ウォーターの開始位置を指定します。
波の深さと高さ	水面上の波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が大きくなります。
波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の間隔が小さくなり、波紋によって発生する歪曲が大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の間隔が大きくなり、波紋によって発生する歪曲が小さくなります。
遠近法	オブジェクトから発生する波のサイズを変更します。スライダを左にドラッグすると、オブジェクトから最も離れた位置にある波のサイズが大きくなり、距離感が増えます。
ライティング	水面の光の量を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ウォータードロップ

ウォータードロップを使用すると、画像の表面に水滴が表示されます。ユーザーは、ウォータードロップの数やサイズ、位置をコントロールすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ウォータードロップ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ウォータードロップ] をクリックします。
3. [ウォータードロップ] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ウォータードロップ オプション

密度	画像に追加する、ウォータードロップの数を指定します。スライダを左にドラッグして水滴を除去します。スライダを右にドラッグして水滴を追加します。
半径	ウォータードロップのサイズを設定します。スライダを左にドラッグして水滴を小さくします。スライダを右にドラッグして水滴を大きくします。
高さ	画像の表面上に現れるウォータードロップの高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が大きくなります。
ランダム化	ランダムにウォータードロップを配置することを指します。 画像に水滴効果を適用すると、ACDSee によって水滴がランダムに配置されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを作成して配置のパターンを指定することで、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダムシードを新規作成するには、 [ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 波

波効果を使用して写真に波を表示することができます。波の間隔を変更することができます。この波の間の距離は、波の幅として知られています。写真に表示される波の高さ、波の角度も設定することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

波効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [波] をクリックします。
3. [波] パネルで、下記を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

波オプション

波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の幅が小さくなり、波によって形成される歪みが大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波の幅が大きくなり、波によって形成される歪みが小さくなります。
波の深さと高さ	波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
角度	波が発生する角度を指定します。1から360までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
背景色	背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

にこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 織り

織り効果を使用すると、画像が布やバスケットに織り込まれたように仕上げることができます。縦横のストリップの幅、織りの間にあるすき間、すき間を埋める背景色を指定することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

織り効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [織り] をクリックします。
3. [織り] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

織りオプション

ストリップの幅	縦横のストリップの幅を指定します。
すき間の幅	ストリップ間にできるすき間の幅を指定します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 風

風効果を使用して風の線を加え、静止画像を動きのある画像のように仕上げるすることができます。設定を選択または変更して、画像に加えた風効果をコントロールします。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

風効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [風] をクリックします。
3. [風] パネルで、下記を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

風オプション

強さ	風の強さを設定します。大きな値ほど、風の線は濃く、強く表示されます。
しきい値	風のエッジのシャープネスを設定します。大きな値ほど、エッジはシャープになります。
風の量	適用される風の量を設定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の色	風の線の色を選択します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の向き	エッジから伸びる風の向きを設定します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムに風の線を配置することです。 画像に風効果を適用すると、ACDSee 風の線がランダムに配置されます。これにより、フィルタを適用するたびに風のラインが変化します。特定のランダムシードを定義して同じ風のラインを生成できます。ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: カスタムフィルタ (畳み込み効果)

「カスタム」フィルタでは、自分だけの特殊効果を作成して画像に適用することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

「カスタム」フィルタを作成するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ユーザー定義の畳み込み] をクリックします。
3. [ユーザー定義の畳み込み] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

ユーザー定義の畳み込み オプション

コンボリューション マトリックス	数式を使用して画像を変更します。 [コンボリューション マトリックス] のフィールドに値を入力し、画像のピクセルを変更します。特殊効果の作成には、数学的な計算式を使用し、マトリックス値に画像の各ピクセルのカラー値を乗算して作成します。
分割係数	マトリックスの分数係数を使用します。 [分割] フィールドに数値を入力し、マトリックスの分数係数を使用します。マトリックスの効果は、ピクセルに適用される前に分割係数に分割されます。
バイアス	画像の明るさを指定します。 [バイアス] フィールドに数値を入力し、画像の明るさを変更します。バイアスの数字は、各ピクセルの RGB (赤・緑・青) の値に追加されます。プラス値は画像を明るくし、マイナス値は画像を暗くします。
マトリックスのクリア	マトリックスをリセットします。
サンプル フィルタ ドロップダウン メニュー	サンプル フィルタをロードして、カスタム フィルタの元として使用することができます。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像を回転する

[編集] モードでは、プリセット、あるいはカスタム角度で画像を回転することができます。

使用した設定は、後で利用する際の プリセット として保存することができます。

カスタム角度で画像を回転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから [回転] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [回転] ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを選択します:

- 既定の方向オプションを選択します。
- [傾きを直す] スライダを左右にドラッグして、画像がまっすぐに見えるように調整します。
- [左右] または [上下] ボタンをクリックして、以下で解説されているツールを使用します。
- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングしたい場合は、[まっすぐに調整された画像のトリミング] を選択します。
- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングをしたくない場合は、[まっすぐに調整された画像を保持する] を選択します。まっすぐに調整された画像の背景に表示する色を、[塗りつぶしの色] ドロップダウンから選択します。
- [グリッドのオーバーレイを表示する] を選択すると、画像上にグリッドが表示されます。画像をまっすぐに調整するものさしとして使用したり、どのようにトリミングされたかを把握したりするために便利です。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

回転 アイコン

左右 アイコンをクリックしてから、カーソルを使って左右の線として使用する線を画像上に描きます。



上下 アイコンをクリックしてから、カーソルを使って上下の線として使用する線を画像上に描きます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像を反転する

[編集] モードでは、画像を上下左右に反転することができます。

使用した設定は、後で利用するための [プリセット](#) として保存することができます。

画像を反転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから [反転] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [反転] ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかまたは両方を実行します:

- [左右に反転] チェックボックスを選択します。
- [上下に反転] チェックボックスを選択します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

画像をトリミングする

トリミングツールを使用して、画像の不要な部分を除去したり、画像キャンバスを特定のサイズに縮小したりすることができます。使用した設定は、後で利用する際の**プリセット**として保存することもできます。

 画像を縮小するには **スペースバー**を押したまま画面をパンします。

画像をトリミングするには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから [トリミング] を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [トリミング] ツールにアクセスすることもできます。

2. トリミング ウィンドウの**サイズを変更**して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。
3. トリミング ウィンドウの外部を暗くするには、[**トリミング範囲外を暗くする**] スライダーを左にドラッグします。スライダーを右にドラッグすると、トリミング ウィンドウの外部が明るくなります。
4. [**新規ファイルの予想サイズ**] をクリックして、トリミング後の画像ファイルの大きさを確認します。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - [**完了**] をクリックすると、画像をトリミングしてツールが終了します。
 - 画像をトリミングせずにツールを閉じるには、[**キャンセル**] をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズ変更方法は3つあります。

- トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望のサイズに変更する。
- ピクセル、インチ、センチ、あるいはミリ単位で、トリミング ウィンドウのサイズを指定する方法。
- 縦横比を使って、トリミング ウィンドウの比率を保ちながらサイズ変更する方法。

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミングウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング ウィンドウのサイズを正確に指定するには:

1. [幅]と[高さ]のスピンドボックスに希望のトリミング ウィンドウのサイズを入力します。
2. [単位]ドロップダウン リストから、寸法の単位を選択します。
3. [ドット/インチ]スピンドボックスで、解像度を指定します。

縦横比を指定してトリミングウィンドウのサイズを変更するには:

1. [トリミング縦横比の設定] チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから比率を選択し、トリミング ウィンドウを横にする場合は[横]チェックボックスをオンにし、縦にする場合はオフにします。

3. 以下のいずれかを実行します。

- トリミング ウィンドウの端にカーソルを合わせ、カーソルが双方向矢印に変わったら、トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。
- [幅] または [高さ] スピンボックスを使用して、トリミング ウィンドウの縦または横のサイズを指定します。ACDSee 設定された比率に基づいて、自動的に縦または横のサイズが変更されます。

遠近の歪みを補正する

[遠近補正] ツールを使用して、デジタル写真の遠近歪みを補正することができます。遠近歪みは広角レンズや望遠レンズによって起きる歪みで、大きい物体や遠くにある物体が歪む現象です。例えば、高層ビルを撮影した場合、ビルは上から下まで幅が同じであっても、上の方が狭くなっているように見えます。

遠近歪みを補正するには:

1. 編集モードで、ジオメトリグループから[遠近の補正]を選択します。



フィルタのドロップダウン メニューやツールバーから[遠近の補正]ツールにアクセスすることもできます。

2. 画像の周りに輪郭が表示されます。輪郭の4つの角すべてとそれぞれの辺の中心にはハンドルが表示されます。ハンドルをドラッグして遠近感を変更します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

遠近補正オプション

背景色	写真で歪み補正を行うと、画像の周辺部が外側に膨張または内側に縮小することがあります。[背景色] オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます。 <ul style="list-style-type: none"> • 透明度: 修正後の画像にできた角または横の隙間を透明色で埋めたい場合にこのオプションを選択します。
グリッドの表示	このオプションを選択すると、歪み補正時にグリッドを表示して補正できます。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。

歪みを補正する

[レンズの歪み補正] ツールを使用して、デジタル撮影で発生しがちなパーレル、魚眼、ピンクッションの歪みを補正することができます。パーレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

パーレル、魚眼、ピンクッションの歪みは、ワイドアングルやズームレンズを用いて撮影した画像でよく見られます。

使用した設定は、後で利用するためのプリセットとして保存することができます。

レンズの歪みを補正するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから [レンズの歪み補正] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [レンズの歪み補正] ツールにアクセスすることもできます。

2. [歪みの種類] セクションで、[パーレル]、[ピンクッション]、または[魚眼]を選択します。
3. 下記を参考に、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

レンズの歪み補正 オプション

左右の中央	左右スライダを左右にドラッグして、水平軸で画像の中心となる位置を指定します。
上下の中央	スライダを左右にドラッグして、垂直軸で画像の中心となる位置を指定します。
補正の強度	画像が真っ直ぐに見えるまで、スライダを右にドラッグして調整します。
ズーム	スライダを左右にドラッグして、画像の倍率を調整します。
背景色	写真で歪み補正を行うと、画像の周辺部が外側に膨張または内側に縮小することがあります。[背景色] オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます。 <ul style="list-style-type: none"> • 画像: このオプションを選択すると、補正前の画像を背景に配置して、補正後の画像にできた隙間を埋めます。隙間が比較的小さい場合に便利です。
グリッドの表示	このオプションを選択すると、歪み補正時にグリッドを表示して補正できます。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

レンズの歪みを自動補正する

デジタル写真の樽形歪みと糸巻き形歪みを修正することができます。樽形歪みでは、写真は中心から外に向かって膨張しているように見えます。糸巻き形歪みでは、写真は中心に向かって縮小しているように見えます。樽形歪みと糸巻き形歪みは、広角レンズやズームレンズで撮影した写真でよく起きます。

では、ACDSee[手動補正]スライダで手動補正を行うことができます。また、レンズプロファイルからレンズ補正をすることもできます。画像の撮影に使用したカメラのメーカー、モデル、レンズを選択すると実行できます。レンズ補正ツールによって、使用したレンズ固有の歪みに基づいた自動調整が行われます。また、画像ごとに手動でレンズ補正をすることもできます。[レンズ補正] ツールには、カメラのメーカー、モデル、対応するレンズのデータベースが入っています。選択したカメラに対応するレンズは[レンズ]ドロップダウンメニューから選択できます。ただし対応するレンズが1つしかない場合は、初めからそのレンズが選択された状態になります。

使用したレンズの名前は画像の[現在のレンズの情報]セクションで確認できます。ただしサードパーティ製レンズの場合、カメラ自体がID番号としてしか認識しない場合があるため、EXIFで表示されるレンズ値は信頼できません。可能な場合は、編集モードの情報パレットから正確なレンズ値を復元して(ただし[レンズ補正]ツールの外部で)、[レンズ]ドロップダウンメニューからその値を選択します([レンズ補正]ツールの内部で)。

[手動補正]スライダは、自動補正後、またはそれ自体による手動補正に対し、さらに調整を加えることができます。

使用できる場合は、レンズプロファイルを用いて色収差を補正することもできます。



使用できるレンズプロファイルは、[こちら](#)からすぐに確認できます。

レンズプロファイルを使用してレンズの歪みを修正するには:

1. 編集モードで、ジオメトリグループから[**レンズ補正**]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[**レンズ補正**]ツールにアクセスすることもできます。

2. [**レンズ プロファイルを有効にする**]チェックボックスを選択します。
3. 表示されているカメラのメーカーとモデルが正しくない場合は、[メーカー]と[モデル]のドロップダウンメニューから正しいものを選択します。
4. レンズドロップダウンメニューから、画像の撮影に使用したレンズを選択します。この情報は[現在のレンズの情報]セクションに表示されます。補正は自動的に行われます。
5. さらに調整をしたい場合は、[手動補正]セクションの[**強度**]スライダを左に動かすと中央が膨張し、右に動かすと画像の周辺部が引き延ばされます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[**グリッドの表示**]チェックボックスを有効すると、画像にグリッドが表示されます。このツールは、画像の位置を修正する場合に便利です。

レンズ プロファイルを使用して色収差を修正するには:

色収差は使用したレンズの特性が原因で発生します。そのため、レンズ プロファイルを使用して自動的に補正することができます。選択したレンズに対応する色収差補正が利用できる場合、[色収差]チェックボックスが有効になります。

1. 編集モードで、ジオメトリグループから[**レンズ補正**]を選択します。
2. [**レンズ プロファイルを有効にする**]チェックボックスを選択します。
3. [**色収差**]チェックボックスを選択します。

手動補正した画像の周辺部を埋めるには:

手動調整により画像の周辺部が影響を受けることがあります。レンズ補正により生じた食い違いを塗りつぶす色を選ぶことができます。あるいは、この領域を透明にすることもできます。

[**透過**]チェックボックスを無効にして、[背景色]ドロップダウンメニューから色を選択します。

画像のサイズを変更する

[**サイズ変更**] ツールを使用して、ピクセル、比率、出力/印刷サイズに合わせて画像のサイズを変更することができます。画像のサイズを変更する際に、縦横比およびリサンプリングフィルタを指定して、サイズ変更後の画像の外観を調整することも可能です。

使用した設定は、後で利用するための**プリセット**として保存することができます。

画像のサイズを変更するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから [**サイズ変更**] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[**サイズ変更**] ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのサイズ変更オプションを選択します:
 - **ピクセル**: 特定のピクセル サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。
 - **パーセント**: 元のサイズに対するパーセンテージで、画像のサイズを変更します。
 - **実寸/印刷サイズ**: 特定の出力サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。ドロップダウン リストをクリックして、使用する単位を指定します。
3. 特定の幅や高さを保持したい場合、[**縦横比を固定**]チェックボックスをオンにし、ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択します:

- **オリジナル:**元の画像の幅と高さの比率を保持します。
 - **1 x 1:**幅と高さを等しくします。
 - **2 x 3:**幅と高さの比率を 2:3 にします。
 - **3 x 2:**幅と高さの比率を 3:2 にします。
 - **3 x 5:**幅と高さの比率を 3:5 にします。
 - **5 x 3:**幅と高さの比率を 5:3 にします。
 - **カスタム:** カスタムの比率を適用します。[**カスタムの縦横比**]ダイアログ ボックスで、幅と高さの比率を入力します。
4. [フィルタの**サイズ変更**]ドロップダウン リストから、フィルタを選択します。
 5. 手順 3 で選択した**サイズ変更オプション**の[**幅**]と[**高さ**]スピンボックスに、画像の**新規サイズ**を入力します。[**実寸/印刷サイズ**]を選択した場合、[**解像度**]ドロップダウン リストから出力画像の解像度(ドット/インチ)を選択します。
 6. 出力画像の**予想サイズ**を確認するには、[**新規ファイルの予想サイズ**] ボタンをクリックします。
 7. 以下のいずれかを実行します。
 - 変更を適用して[**サイズ変更**] ツールを閉じるには、[**完了**] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[**キャンセル**] をクリックします。



「サイズ変更」のワンポイント:

- 画質を保持するには 33%、50% または 66% で縮小します。他の倍率を選択すると、縦横比が変更される可能性があります。
- サイズ変更を繰り返し行わないようにします。サイズ変更を行うたびに、微妙に異なる方向の画像ピクセルが配置されます。サイズ変更を繰り返し行うことによって、画像の全体の色と外観が変更されてしまう可能性があります。最初のサイズ変更が満足いく結果でなかった場合には、[元に戻す] ボタンをクリックします。
- 画像サイズの拡大を行わないようにします。画像サイズを大きくすると、画像内のピクセルが目立ち、粒状のノイズが追加されてしまうことがあります。

ピクセルのサイズ変更オプションと効果

ピクセルの大きさを新しく設定することで、管理モードの1つ以上の画像を拡大 / 縮小することができます。ピクセル単位でサイズ変更する詳しい情報については、「[画像のサイズを変更する](#)」、あるいは「[複数の画像サイズを変更する](#)」をご覧ください。



画像を拡大すると、ピクセルがモザイク化するため画質を下げることになります。可能な限り、画像のサイズを拡大しないようにお勧めします。

サイズ変更オプション	オプション	操作
拡大のみ	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。幅の値が増加すると、縦横比を保つために高さの値も増加します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。高さの値が増加すると、縦横比を保つために幅の値も増加します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
縮小のみ	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。幅の値が減少すると、縦横比を保つために高さの値も減少します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。高さの値が減少すると、縦横比を保つために幅の値も減少します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
拡大または縮小	幅のみ	指定された値に幅を変更し、縦横比を保つために高さも変更します。
	高さのみ	指定された値に高さを変更し、縦横比を保つために幅も変更します。
	幅と高さ	画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大または最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

液状化ツールを使用して歪み付加とレタッチ処理を実行する

液状化ツールを使うと、ピクセルはそのまま移動させることができます。

使用した設定は、後で利用する際の[プリセット](#)として保存することができます。

画像を歪ませるには:

1. 編集モードで、ジオメトリグループから[液状化]を選択します。
2. [歪みツール] セクションで、適用するゆがみ処理の種類を選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用して液状化ツールを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

歪み処理のオプション

歪みツール	カーソルを移動させて画像を歪ませます。基本的には、ピクセルを画像周辺で押し引きしたりして効果を適用します。
シフト 	シフトツールを使うと画像にピクセルを押し込むことができます。
ピンチ 	ピンチツールを使うとピクセルを中心点に向かって凝縮させることができます。
バルジ 	膨張ツールを使うとピクセルを外に向かって広げることができます。
復元 	復元ツールを使うと、ピクセルをブラシで元の位置に戻すことができます。
	 別の歪みツールを使用している時にマウスの右ボタンを押すと、復元ツールを有効にすることができます。
ブラシ幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してブラシ幅を変更するか、ブラシ幅スライダを使用します。
密度	対象の領域のサイズを調整します。ブラシの内円の範囲内では、効果は90%以上で適用されます。内円と外円の間の領域では、効果は90%~0%の範囲(外側のエッジで0%)で適用されます。  Shift + マウスホイール を使用して密度を調整します。
強さ	全体的な効果の強度を設定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
塗りつぶしの色	画像を歪ませた結果縁が引き寄せられることがあります。その場合には、画像の背景に入れる色を選ぶことができます。
透過	画像を歪ませた結果縁が引き寄せられることがあります。その場合には、画像の背景に生じた隙間に対する[透過]チェックボックスを選択することができます。

画像の露出を調整する

[露出] ツールを使用して、画像の露出、コントラスト、ガンマを調整することができます。

使用した設定は、後で利用するための[プリセット](#)として保存することができます。

画像の露出を調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[露出] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [露出] ツールにアクセスすることもできます。

2. 下記を参考にして、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、[適用] をクリックします。
- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。

- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

画像の露出 オプション

露出	スライダを右にドラッグすると露出が増加し、左にドラッグすると露出が減少します。
自動	[自動] ボタンをクリックして、露出レベルを自動調整します。
コントラスト	スライダを右にドラッグするとコントラストが大きくなり、左にドラッグするとコントラストが小さくなります。
フィルライト	スライダを右にドラッグすると画像の暗い領域で光の量が増え、左にドラッグすると追加される光の量が減ります。フィルライトは、画像の暗い領域を明るくするためのオプションです。
露出警告を表示する 	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。使用されていない時にはこのアイコンはグレーに、使用している時にはこのアイコンはイエローで表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
ここにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像のレベルを調整する

レベル ツールを使用すると、画像のコントラストや明るさのレベルを正確に調整することができます。

使用した設定は、後で利用する際の プリセット として保存することができます。

画像のレベル調整を行うには:

- [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[レベル調整] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [レベル調整] ツールにアクセスすることもできます。

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 以下の一覧を参照にしてオプションを設定し、コントラストおよびライトのレベルを手動で調整します。
 - [自動] をクリックしてオプションを選択し、画像のプロパティを自動調整します。

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用] をクリックして変更を適用します。
 - 変更を適用して [レベル調整] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。矢印上をクリックして、画像のブラックポイントの開始点に自動設定することも可能です。
中間色	画像のミッドポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに値を入力して、ミッドポイントを指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。矢印上をクリックして、画像のミッドポイントに自動設定することも可能です。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。矢印上をクリックして、画像のハイライトの開始点に自動設定することも可能です。
自動	次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● コントラストの調整: 自動分析して、画像のコントラストを調整します。 ● 色とコントラストの調整: 自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 ● 色と明るさの調整: 自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 ● トレンス: [トレンスの設定] ダイアログボックスが開かれます。ブラックとホワイトレベルの最大クリッピング率を指定し、[OK] をクリックします。ACDSee は画像のレベルを自動調整します。
ブラックポイント ピッカー 	[ブラックポイント] ピッカーをクリックした後、ブラックポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ミッドポイント ピッカー 	[ミッドポイント] ピッカーをクリックした後、ミッドポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ホワイトポイント ピッカー 	[ホワイトポイント] ピッカーをクリックした後、ホワイトポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。



ピッカーのいずれかをクリックした後、画像上にマウスを移動すると、スポイトを動かすたびに RGB 値が変わるのを確認することができます。RGB 値はソース (未処理) のピクセル値と、スクリーン上でカーソルの置かれているピクセル値を表しています。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

レベルを自動調整する

[自動レベル] タブでは、画像の露出レベルを自動的に調整することができます。自動レベルは、画像で最も暗いピクセルをより暗く、最も明るいピクセルをより明るく調整します。

使用した設定は、後で利用する際のプリセットとして保存することができます。

画像のレベルを自動調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[自動レベル] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [自動レベル] ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのオプションを選択します。

- **自動コントラストと自動カラー:** 色の違い、明るさ、RGB チャンネルのバランスを調整します。
- **自動コントラスト:** 色の違いと明るさのみを自動調整します。
- **自動カラー:** 明るさやコントラストを変更せずに、画像の RGB チャンネルのバランスを調整します。

3. [強度] スライダーを使って、適用する露出の量を微調整します。

4. [露出警告を表示する] をクリックすると、露出オーバーと露出アンダーのピクセルが表示されます。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。

5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

にこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

トーンカーブを調整する

編集では、カーブ ツールを使用して画像のトーンレンジを変更できます。RGB カラー チャンネルを選択するか、特定の色を選択して、画像全体のトーンレンジを調整します。

使用した設定は、後で利用するためのプリセットとして保存することができます。



このツールを使用して行った変更は、すべてピクセルベースの編集です。そのため、画像にファイナルタッチを加えたい場合のみ使用するようにお勧めします。非破壊編集処理を行う場合は、現像モードの トーンカーブ ツールを使用します。

画像の明るさカーブを調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[トーンカーブ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [トーンカーブ] ツールにアクセスすることもできます。

2. 下記を参考にして、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用] をクリックして変更を適用します。
 - 変更を適用して [トーンカーブ] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

カーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルに基づいて、画像の色情報レベルのグラフィックを表示します。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。カーブをクリックするたびに、新しいポイントが追加されます。カーブの上下にポイントをドラッグできます。ポイントを削除するには、ポイントを右クリックして [ポイントの削除] を選択します。グラフの外 (上または下) にドラッグしてポイントを削除することもできます。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。ここにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ライティングを調整する

[Light EQ™] ツールを使用して、画像内で光が適切に表示されている領域を変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域を調整することができます。また、暗すぎる領域を明るく、明るすぎる領域を暗くすることを、同時に行うことができます。例としては、海や窓など明るい背景で人物を撮影して、人物が暗くはつきりと顔が見えない場合などです。実際には、ほとんどの写真は曇天あるいはフラッシュ発光で撮影されるので、さまざまな方法で微調整して改善することができます。

使用した設定は、後で利用するための プリセット として保存することができます。

[Light EQ™] はとても多機能なツールです。4 つのタブから選択することができ、各タブの設定によって結果が変わります。また、画像の特定領域を調整するためのキーボードとマウスのショートカットもご利用いただけます。

- **1-ステップ** タブ: 露出調整が瞬時にかつ簡単にできます。
- **ベーシック** タブ: 3つのスライダを使用して素早く簡単に調整できます。ACDSee は写真を分析して、画像全体の調整を自動で変更します。例えば、暗い画像ほど明るくなる度合いが大きくなります。[自動] ボタンをクリックすると、ACDSee が画像をくまなく分析して、スライダの位置を自動で設定します。画像のある領域 (通常は画像の被写体) を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。
- **標準** タブ: サウンドのイコライザのように見えますが、ライトをコントロールするためのイコライザです。画像の異なるトーンバンド (相対的に明るいまたは暗い領域) の明るさとコントラストを、該当するトーンバンドのスライダを使用して個別に調整します。グラフには、トーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングやディテールが失われないために表示されています。赤い領域は調整されたスライダのうち、クリッピングが発生した領域を示しています。
- **アドバンス** タブ: 画像の明るさとコントラストを完全にコントロールすることができます。スライダを使用して基本的なカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接クリック&ドラッグしてカーブを手動調整します。

Light EQ™ ツールを開くには:

[編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[Light EQ™] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [Light EQ] ツールにアクセスすることもできます。

Light EQ™ のコントロール

スライダ上を右クリックする	スライダ上を右クリックしてリセットします。
露出警告を表示する 	[露出警告] をクリックすると、露出オーバーまたは露出アンダーのエリアがすべて見えるようになります。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。E キーをホールドすることで、露出警告を一時的にオン/オフに切り替えることができます。
自動	クリックして、画像を分析させ、画像の明るさと暗さのピクセルの量を基準に最適な設定を適用します。既に明るい写真よりも暗い写真の方が、明るくなる度合いが大きくなります。
完了	変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
キャンセル	変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

[1-ステップ] タブを使用する

Light EQ™ ツールで画像を開くと、1-ステップで画像の露出が自動で調整されます。さらに調整するときは、度合のスライダを使用して変更します。1-ステップで自動で調整された露出に戻すには、**リセット** ボタンをクリックします。

[ベーシック] タブを使用する

暗い領域に明るさを加えるには:

1. [シャドウ] スライダを右にドラッグし、写真の暗い領域に光を追加します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

明るすぎる領域を暗くするには:

1. [ハイライト] スライダを左にドラッグし、明るすぎる領域を暗くし、ディテールを戻します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

暗すぎるまたは明るすぎるミッドトーンを調整するには:

1. [ミッドトーン]スライダを右または左にドラッグし、ミッドトーンの明るさと暗さを調整します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

[標準] タブを使用する



「標準」タブには 2 セットのスライダがあります。上部のセットは明るさ用で、下部のセットは暗さ用です。下部のセットは暗くするためのものです。各スライダでの明暗のグラデーションはトーンバンドの変化を表しており、上部セットのスライダを上に乗かせるとトーンバンドが明るくなり、下部セットのスライダを下に乗かせるとトーンバンドが暗くなります。

2 つのセットの間には、ブラックとホワイトにグラデーションのかかった 2 つの水平軸があります。これらのバーは、左側のスライダほど、暗いトーンバンドに反映されることを示しています。右側のスライダは明るいトーンバンドに反映されます。スライダを動かして、特定トーンバンド内の明るさを変更します。

バンド間には画像のトーンレンジの明るさと暗さの量を表す 2 つのグラフがあり、スライダを調整するにつれ変化します。2 つのグレーのグラフは、クリッピングを発生させずに適用できる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。スライダを大幅に移動すると、クリッピングが明るいピンクで表示されます。

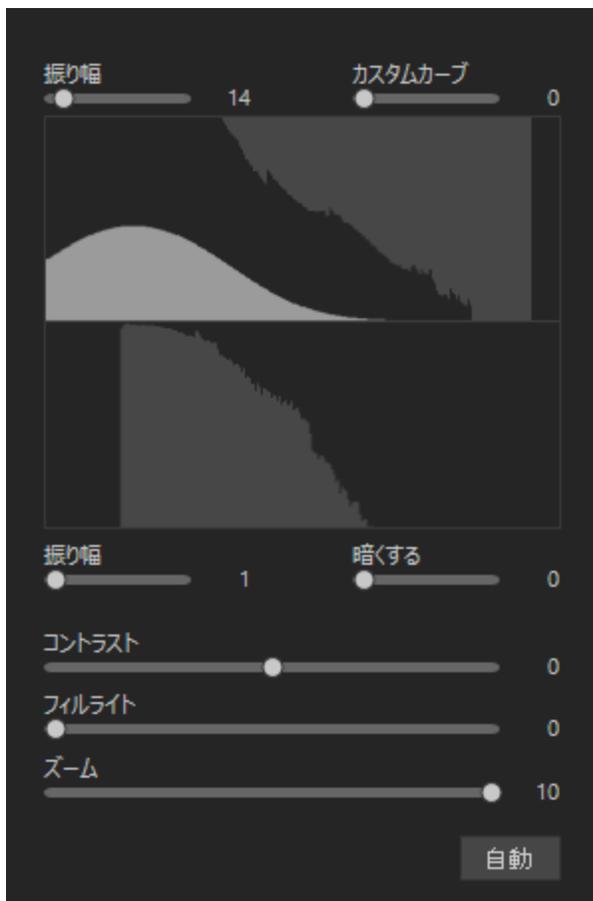
明るさを変更せずにトーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部セットのトーンバンドを上、下部セットのトーンバンドを下に移動させ、明るさと暗さを同時に適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

[標準] タブを使用するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 調整したいトーンバンドのスライダを上下に移動します。
 - ボックスに数値を直接入力、または数値を増分して、精確な調整を行います。
 - [トーンバンド数]のドロップダウン リストをクリックして、トーンバンドの数を選択します。
 - をクリック、あるいは **A** キーを押して、露出オーバーまたはアンダーのピクセルを表示します。
 - [自動] ボタンをクリックして、設定を自動的に適用します。
 - [暗くする] スライダをドラッグして、画像の明るい領域を暗くします。

- [コントラスト] スライダをドラッグして、画像のコントラストを増やします。
 - [フィルライト]スライダをドラッグして、コントラストを増やさずに画像の暗い領域を明るくします。
 - 左クリックして上に向かってドラッグすると、画像の暗い領域が明るくなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - 右クリックして下に向かってドラッグすると、画像の明るい領域が暗くなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - 調整したい画像の領域を選択し、左クリックして上にドラッグすると明るくなり、右クリックして下にドラッグすると暗くなります。
2. 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。変更を破棄してツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

[アドバンス] タブを使用する



スライダ

アドバンス タブには、明るくするためのスライダと暗くするためのスライダが各 2 つずつ備えられています。[明るくする]および [暗くする] の各スライダは調整カーブの形をコントロールする一方、[振り幅]スライダはカーブの高さをコントロールします。

[振り幅] スライダは明るくする、または暗くする効果の強さを増やします。

ツールの下にある[スケール]スライダは、局所的な明るさの変動に対する全体的な調整感度を調整します。スライダを左に移動すると、明るさのより細かい調整を行うことができ、一部の画像で有益となる場合があります。しかしほとんどの画像では、スライダをデフォルト位置のままにしておくことで最良の結果が得られます。[コントラスト] スライダを調整してコントラストを増減したり、[フィルライト]スライダを使用して画像の暗い領域を明るくしたりすることもできます。

グラフ

[明るくする]と[暗くする]コントロールの間にある 2 つのグレーのグラフは、クリッピング(明るいピンクで表示されます)を発生させずに適用することができる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。

[明るくする]、[暗くする]および[振り幅]のスライダをドラッグするにつれ、2つの色付きのカーブが変化します。これらのカーブは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示しています。暗いトーンの領域は左手に、明るいトーンの領域は右手に位置します。画像上でカーソルを移動させると、グラフの垂直線はカーソルの下にある領域のトーンレベルをそのトーンレンジ内で表示します。明るさと

暗さのトーンレベルが必ずしも同じではないので、2つの線が表示されることがあります。これは、明るくするのは色値の最大値に敏感であるのに対し、暗くするのは色値の最小値に敏感であるためです。

「アドバンス」タブは、グラフ自体、あるいは実際の画像上で、カーブを手動調整できるという点が独特です。写真に加えた調整はグラフのカーブに反映されます。グラフに加えた調整は写真に反映されます。

明るさを変更せずにトーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部のカーブを上、下部のカーブを下に移動させ、明るさと暗さを同時に適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

【アドバンス】タブを使用するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。

- **[明るくする]**または**[暗くする]**スライダをドラッグして、明るいまたは暗いトーンバンドを調節します。スライダをドラッグすると、調整を示すグレーのカーブが表示されます。
- 左クリックして上に向かってドラッグすると、画像の暗い領域が明るくなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
- 右クリックして下に向かってドラッグすると、画像の明るい領域が暗くなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
- **[スケール]**スライダを右にドラッグすると、より細かい領域での明るさの変動に敏感になります。
- **[コントラスト]** スライダをドラッグして、画像のコントラストを増減します。
- **[フィルライト]**スライダをドラッグして、コントラストを増やさずに画像の暗い領域に明るさを加えます。
- 以下の表に示されたあらゆるオプションを使用して、必要な調整を行います。

2. 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。変更を破棄してツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

調整オプション - 【アドバンス】タブ

領域	操作	結果
スライダ	【明るくする】をドラッグ	右に移動する:暗い領域に適用される明るさの量を増やします。 左に移動する:画像のすべての領域で、明るさが一様に増加します。 (カーブを手動で変更する、あるいは画像上で調整を行うと、スライダの名前が 【カスタムカーブ】 に変わります。
	【暗くする】をドラッグ	右に移動する:画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左に移動する:画像のすべての領域で、暗さが一様に増加します。
	【明るくする】の【振り幅】をドラッグ	右に移動する:画像のすべての領域に適用される明るさの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する:明るさとカーブの高さの強度が減少します。 振り幅スライダが0の場合:明るさを一切適用しません。 振り幅スライダが100~200の場合:クリッピングの割合が増加します。 ほとんどの場合、振り幅を調整する必要はありません。
	【暗くする】の【振り幅】をドラッグ	右に移動する:画像のすべての領域に適用される暗さの強度が増加します。下側のカーブの高さが増加します。 左に移動する:暗さとカーブの高さの強度が減少します。
	【スケール】をドラッグ	左に移動する:ツールが明るさに対して、より細かい領域を調整するように設定します。 これで、より小さな領域を個別に調整することができます。通常、既定スケール値 10 で最良の結果になりますが、明るくするべき領域に詳細が含まれているような場合には、スケール値を小さくするとよりよい結果になります。
グラフ上	オレンジのグラフ(上部)をドラッグ	グラフ上を左クリックして上に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。 グラフの高さは、各トーンレベルに適用された明るさのレベルを表します。(トーンは左がブラックで、右に向かうほどホワイトになります。) グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」のスライダが、自動的に 【カスタムカーブ】 に変わります。この時点でスライダのポジションを変更すると、グラフまたは画像上で直接調整された変更はすべて破棄されますのでご注意ください。 グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振り幅」のスライダが、現在のカーブの振幅を示した値に変わります。
	グラフ(下部)をドラッグ	グラフ上を右クリックして下に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。
	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。グラフのトーンバンドを変更すると、画像にその変更が反映されるため、特定のトーンバンドを微調整する場合に便利です。
画像	左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。
	右マウスボタンを押した状態でダブルクリック(Shift キー + 左マウスボタンを押した状態でダブルクリック)	画像のその領域に最適な「暗くする」の値を自動設定します。

領域	操作	結果
	Ctrl キー + 左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の明度調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさを最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさが増加し、他のトーンレベルの明るさが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を明るくして目立たせることができます。
	Ctrl キー + 右マウスボタンでダブルクリック	現在の暗化調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗さを最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗さが増加し、他のトーンレベルの暗さが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を暗くして目立たなくすることができます。
	画像上でマウスホイールをスクロールアップまたはダウンします。	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
	Shift キー + 画像上をマウスホイールでスクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
	A キーを押しながらスクロールする、あるいは左マウスボタンを押した状態でドラッグ	[明るくする] の [振り幅] スライダを直接設定します。
	A + Shift キーを押しながらスクロールする、あるいは右マウスボタンを押した状態でドラッグ	[暗くする] の [振り幅] スライダを直接設定します。
	左マウスボタンで画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸、すなわちズームなしの場合にのみ反映されます)
	Shift キーを押しながら画像を上下にクリック & ドラッグ(左または右マウスボタン)	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸、すなわちズームなしの場合にのみ反映されます)

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[グラデーション]** ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

霞みを除去する

かすみ除去ツールを使用して、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元することができます。このツールは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪うことで発生します。

画像のかすみを除去するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[かすみ除去] を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [かすみ除去] ツールにアクセスすることもできます。

2. [量] スライダーをドラッグして補正の強度を調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 [編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 [グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 [放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

覆い焼き・焼きこみ

選択した領域の明るさや彩度を調整して写真品質を向上させることができます。覆い焼き、焼きこみ、飽和、不飽和の4種類が用意されています。

覆い焼きと焼きこみツールを使用すると、写真の一部を明るくしたり暗くしたりすることができます。たの部分には影響を与えません。このツールは、露出不足の部分明るく、露出過多の部分暗くする場合にしばしば使用されます。

設定は後で利用する際の [プリセット](#) として保存することができます。

画像の一部に覆い焼き、焼きこみを適用する

写真の一部を明るく、暗くするには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、一部を明るくするには [覆い焼き] ツールを、暗くするには [焼きこみ] ツールを選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [覆い焼きと焼きこみ] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ツールの設定] で次のいずれかを選択します: **シャドウ**、**中間調**、**ハイライト**。
3. 範囲 スライダーを調整してシャドウまたはハイライトの対象領域を微調整します。範囲を増やすと対象となる色域を広げ、減らすと範囲を狭めます。
4. [ブラシの設定] で次の設定を行います:
 - [ペン先の幅] スライダーでブラシのサイズを選択します。
 - [フェザリング] スライダーでストロークのエッジをソフトにします。
 - [強度] スライダーでストロークの強度を調整します。

5. 画像の明るくしたい、暗くしたい領域をドラッグします。
6. [完了]をクリックします。



範囲スライダを調整すると、ブラシの影響を受ける領域がプレビューでグレースケール画像として表示されます。プレビュー画像でピクセルが明るいほど、ブラシストロークの影響を受けます。白い領域は強く影響を受け、黒い領域は影響を受けません。覆い焼き、焼きこみの効果を適用したい部分が白く、そうでない部分が黒くなるように範囲スライダを動かしてください。



Shift キーを押しながらスクロールするとフェザリングを調整できます。

写真の彩度を上げる、下げるには:

1. 色の**彩度**を上げるには[飽和]ツールを、彩度を下げるには[不飽和]ツールを選択します。
2. [ツールの設定]で次のいずれかを選択します:
 - [標準]を選択すると、写真のすべての領域を対象とします。
 - [自然な彩度]を選択すると、彩度の低い色を対象とし、肌の彩度が極端に上がることはありません。
3. [ブラシの設定]で次の設定を行います:
 - [ペン先の幅]スライダーでブラシのサイズを選択します。
 - [フェザリング]スライダーでストロークのエッジをソフトにします。
 - [強度]スライダーでストロークの強度を調整します。
4. 画像の明るくしたい、暗くしたい領域をドラッグします。
5. [完了]をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ホワイト バランスを調整する

「ホワイトバランス」グループを使用して、画像から不必要なカラーキャストを削除することができます。例えば、夕焼けを撮影した写真に赤みがかかっている場合、[ホワイトバランス]ツールを設定して、赤みを取り除くことができます。

設定は後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像のホワイトバランスを調整するには:

1. 編集モードで[カラー]グループから[ホワイト バランス]をクリックします。
 - [ホワイトバランス]グループで、以下のいずれかを実行します:
2. 画像のグレーのピクセルをマウスで選択してホワイトバランスを自動調整します。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
3. [色温度]スライダを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。
4. [ティント]スライダを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーンの増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。
5. ホワイトバランス調整の強度を指定するには、[強度]スライダを動かします。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
6. [完了]をクリックして変更を保存するか、[キャンセル]をクリックして変更を破棄しツールを終了します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



希望する効果が得られない場合には、画像上にある別の色合いの白またはグレーをクリックして試してください。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

色を調整する

[カラー EQ (色相、彩度、コントラスト、明るさ)] ツールを使用して、画像全体の色または個別の色を調整することができます。アドバンスカラー ツールは微調整やカラーの強調を行うために、あるいは画像に見られる各カラーを大幅に変更するために使用します。

カラー EQ は画像内の単一の色を変更するのに便利です。黄色い車の画像では、[彩度] タブを使って黄色の色味を強調したり、[明るさ] タブを使って黄色の色味を明るくすることができます。[色相] タブでは、黄色い車をピンクに変更することができます。[コントラスト] タブでは、黄色のコントラストを調整し、[バランス] スライダを使用して、コントラスト調整の対象となる明るさの範囲を指定できます。

使用した設定は、後で利用するための [プリセット](#) として保存することができます。



黄色い車と背景に黄色の建物がある画像では、[選択範囲] ツールを使って黄色い車の色だけを変更することが可能です。[選択範囲] ツールで車を選択してから、色を調整します。

カラーを調整するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、[カラー EQ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [カラー EQ] ツールにアクセスすることもできます。

2. [彩度]、[明るさ]、[色相]、[コントラスト] タブをクリックして、以下の表で解説されているオプションを調整します。
3. 以下のいずれかを実行します。

- [適用] をクリックして変更を適用します。
- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

カラー EQ オプション

[高品質] モードまたは [標準] モードをカラー EQ ペインの一番上から選択します。個々の色を調整するには、画像の色を左クリックしてマウスを上下にドラッグします。高品質モードではカラー-sliderが、標準モードではグラフがそれぞれマウスの動きに合わせて変化します。これは[彩度]、[明るさ]、[色相]、[コントラスト]タブで機能します。

高品質

画像の色を個々に調整します。高品質では、新しいより進化したカラーモデルを使用して、より高品質な調整が可能です。



個々の色 slider を右に移動すると効果がより強く、左に移動すると弱くなります。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。または画像上にカーソルを移動させて、双方向矢印アイコンが表示されると、調整する色を正確に選択することができます。そして、クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンの下の色を調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色の slider が自動調整されるのを確認します。

バイブランス

slider をドラッグして、スキントーンを変えずに画像のバイブランスを調整できます。

彩度

slider をドラッグして、画像の彩度を指定します。

標準

以前に現像した画像に対応します。色を個々に調整するか全体的な調整を行います。

縦の slider

画像全体に調整を適用します。左手にある slider の効果は、各タブによつ



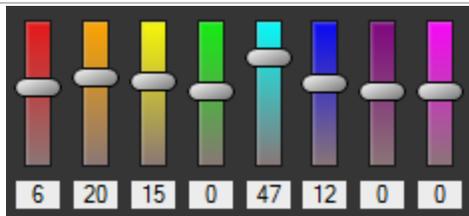
て次のように
異なります:

- **彩度:** 飽和からグレースケールまで調整することができます。
- **明るさ/コントラスト:** 画像の明るさまたは暗さを調整することができます。
- **色相:** 別の色に変更します。

各フィールド
数値を入力
すると、より細
かい調整が
可能です。

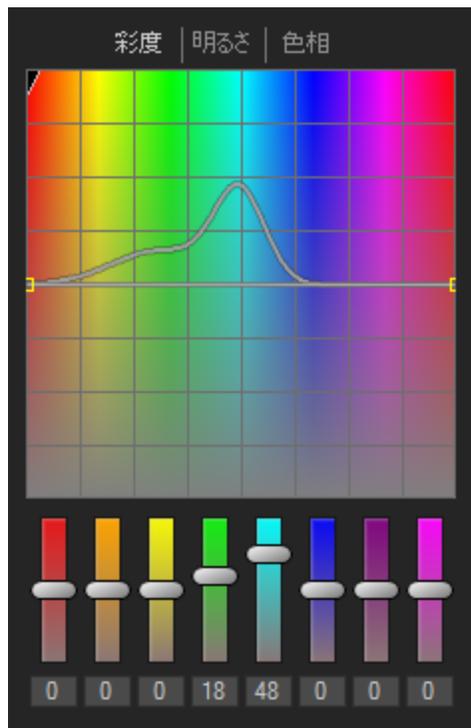
各カラー スライダー

スライダーを動かして各カラーを調整します。調整したいカラーを選択し、その



スライダをクリック & ドラッグします。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

画像を直接調整する



画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。そして、クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンの下の色を調整します。カーソルを動かすにつれ、カーブと対応するカラーのスライダが自動調整されるのを確認します。グラフの黒い下矢印は、今調整している色を示します。

このカーブはグラフで黒く表示され、直接調整することはできません。さらに調整を行うには、ホワイトカーブを変更します。ホワイトカーブを調整すると、ブラックカーブもそれと一緒に変更されます。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

バイブランス

スライダをドラッグして、スキントーンを変えずに画像のバイブ

ンスを調整
できます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

カラーバランスを調整する

[カラーバランス] ツールを使用して、画像の色の値を調整することができます。
使用した設定は、後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像のカラーを調整するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、[カラーバランス] をクリックします。

 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [カラーバランス] メニューにアクセスすることもできます。

2. 下の表で解説されているようにスライダを調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。

- [適用] をクリックして変更を適用します。
- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

 変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

カラーバランス オプション

バイバランス	スキントーンを変えずに、画像の色を鮮やかにします。
彩度	画像の彩度を調整します。スライダを右にドラッグすると彩度が増え、左にドラッグすると彩度が減ります。
色相	画像の色相を調整します。スライダを右にドラッグすると色相が増え、左にドラッグすると色相が減ります。
輝度	画像の明るさを調整します。スライダを右にドラッグすると画像が明るくなり、左にドラッグすると画像が暗くなります。
赤	画像のレッドチャンネルを調整します。スライダを右にドラッグすると画像の赤のトーンが増え、左にドラッグすると画像の赤のトーンが減ります。
グリーン	画像のグリーンチャンネルを調整します。スライダを右にドラッグすると画像の緑のトーンが増え、左にドラッグすると画像の緑のトーンが減ります。
青	画像のブルーチャンネルを調整します。スライダを右にドラッグすると画像の青のトーンが増え、左にドラッグすると画像の青のトーンが減ります。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 [編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 [グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

グレースケール画像を作成する

レッド、グリーン、ブルーの各チャンネル、および全体の輝度を調整して、リッチなグレースケールの画像を作成することができます。[モノクロ変換] ツールを使用すると、写真のさまざまな領域やアスペクトを強調したり、ムードやトーンを変更したりすることができます。

各スライダの上にマウスを移動すると、小さなプレビューウィンドウに効果が表示されて、チャンネルごとに画像のどの部分が変化するのかがわかります。画像における各スライダの効果を確認するために便利です。

使用した設定は、後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

グレースケールの画像を作成するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから **[モノクロに変換]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[モノクロに変換]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の表で解説されているように設定を調整します。
3. **[完了]** をクリックして変更を保存するか、**[キャンセル]** をクリックして変更を破棄し、フィルタメニューに戻ります。

グレースケールオプション

明るさタブ:

[明るさ]タブで、次のいずれかを実行します。

- 個々のカラー滑り台をドラッグするか、画像（以前に色が発生した場所）を左クリックして上下にドラッグして特定のトーンの明るさを変更します。たとえば、空色の領域にカーソルをドラッグして、ブルーの明るさを変更します。
- **[レッドのパーセント]** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにレッドが多いほど、レッドスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **[グリーンのパーセント]** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **[ブルーのパーセント]** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **[輝度のパーセント]** スライダーを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。

 スライダーを右クリックすると値をゼロに戻します。

コントラストタブ:

個々の色のコントラストを増減できます。さらに、コントラスト調整の対象となる個々の色の明るさの範囲を指定できます。

[コントラスト]タブで、次のいずれかを行います。

強度: 特定の色調でコントラストを調整するには、個々の色スライダーをドラッグするか、画像（以前に色が発生した場所）を左クリックして上下にドラッグします。

バランス: コントラスト調整の対象となる明るさの範囲を設定するには、スライダーを調整して、ハイライトまたはシャドウからディテールを引き出します。中間色調からディテールを引き出すには、[バランス]スライダーを0のままにしておきます。

 **Shift**キーを押しながら画像をクリックしてドラッグすると、その色に対応しているバランススライダーが対象になります。

 スライダーを右クリックすると値をゼロに戻します。

[白黒に変換]パネルの下部で、度合いスライダーおよび色相スライダーを使用して画像に色を追加できます。色相スライダーを使用して色を選択します。追加される色の彩度は、オリジナル画像に存在していた色/彩度の量と度合いスライダーの設定を基本にします。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **[グラデーション]** ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

 変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。

スプリットトーンを調整する

スプリットトーンはフィルム写真に元からある技術で、ハイライトとシャドウに薄い色をつけます。

[スプリットトーン] ツールは、ハイライトとシャドウの色相と彩度を調整して創造的な作品を可能にします。スライダーを使用してハイライトとシャドウの色相、彩度を調整します。スプリットトーンは ACDSee での RAW 現像や非破壊編集に創造的な要素を追加します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ハイライトとシャドウを調整するには:

1. **【編集】** モードの **【カラー】** グループで **【スプリットトーン】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [スプリットトーン] ツールにアクセスすることもできます。

2. スライダーをドラッグして、下表で説明されているハイライトおよびシャドウの調整を行います。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

ハイライト

色相	スライダーを右にドラッグしてハイライトの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の指定色の彩度を上げます。

シャドウ

色相	スライダーを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の指定色の彩度を上げます。

バランス

スライダーを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダーが最大値 50 に設定されている場合、ハイライト色が最も強調され、スライダーが最小値 -50 に設定されている場合は、シャドウ色が最も強調されます。



セピアトーン効果を出すには、まず [アドバンスカラー] ツールで写真の彩度を落とした後、[スプリットトーン] ツールで赤茶の色相を適用します。わずかに色づけした白黒写真を作成することもできます。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

LUTを使用したカラーグレーディング

「カラーLUT」とは[カラー ルックアップ テーブル]の略です。カラーLUTとは、特定のRGB値を他の特定のカラー値にマッピングするよう ACDSeeまたは関連プログラムに指示するリストです。LUTをインポートして、ACDSeeでフィルタとして使用できます。LUTは、他の編集モードで使用するフィルタと同じ方法で適用できます。調整レイヤーから、独自のLUTを作成することもできます。カラーLUTに対応しているファイルの種類は、.3DLと.CUBEです。

 カラーLUTは、調整レイヤーとして適用することもできます。

カラーLUTは以下の手順で画像に適用します:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから[カラーLUT] を選択します。
2. カラーLUTパネル上で、次のいずれかを実行します。
 - リストからLUTを選択します。LUTがすぐに適用されます。
 - [LUTをインポート]ボタンを押します。[開く]ダイアログで、LUTファイルの場所を参照して[開く]を押します。LUTがすぐに適用されます。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

 インポートしたLUTファイルの場所が変更された場合、カラーLUTパネル上でファイルを再ロードする必要があります。

 **[編集ブラシ]** を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **[放射状グラデーション] ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

 **[グラデーション] ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

カラーLUTのリストは以下の手順で更新します:

使用可能なLUTのリストを更新すると、移動または削除されたファイルを見つけることができます。利用できないLUTは、フォントの色が暗くなっています。

[カラーLUT]パネル上で、[リストの更新]ボタンを押します。

カラーLUTは、以下の手順で削除します:

1. [カラーLUT]パネル上で、[LUTの削除]ボタンを押します。
2. [LUTの削除]ダイアログで、削除したいLUTの横にあるチェックボックスを切り替えます。
3. [LUTの削除]を押します。

カラーLUTを作成する

カラーLUTは以下の手順で作成します:

調整レイヤーを使用して、独自のLUTを作成できます。複数の調整レイヤーを追加し設定することで、お好みのLUTを実現できます。以下に挙げる調整レイヤーを使用してLUTを作成できます: 露出、レベル、カーブ、Light EQ™、ホワイトバランス、変化、カラーEQ、RGB、スプリットトーン、カラーの追加、白黒、ネガ、フォトエフェクト、グラデーションマップ、ポストライズ、しきい値、カラーLUT。

 通常のレイヤーからはLUTを作成できません。

 作成されたLUTは、マスクを考慮しません。

1. 編集モードで画像を開いた状態で、1つ以上の調整レイヤーを追加し、必要に応じてレイヤーを設定します。
2. [ツール]>[LUTを作成]を選択します。
3. [LUTの作成]ダイアログで、下記の表の説明に従って設定します。
4. [保存]ボタンを押します。
5. 自分のLUTに名前を入力し、[保存]を押します。自分のLUTは、[カラー]グループの[カラーLUT]フィルタのリスト、[カラーLUT]調整レイヤーのドロップダウンリスト、および[現像]モードの[調整]タブの[カラーLUT]グループに、すぐに追加されます。

LUTのオプションを作成する

説明	(オプション)自分のLUTに関する説明を入力します。自分のLUTを他者と共有するのであれば、この説明が非常に役立ちます。
著作権	(オプション)自分のLUTに関する著作権を入力します。自分のLUTを他者と共有するのであれば、この説明が非常に役立ちます。
フォーマット	自分のLUTのファイル形式に、3DLまたはCUBEを選択します。
画質	自分のLUTの品質を選択します。品質を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

ヒストグラムを使用する

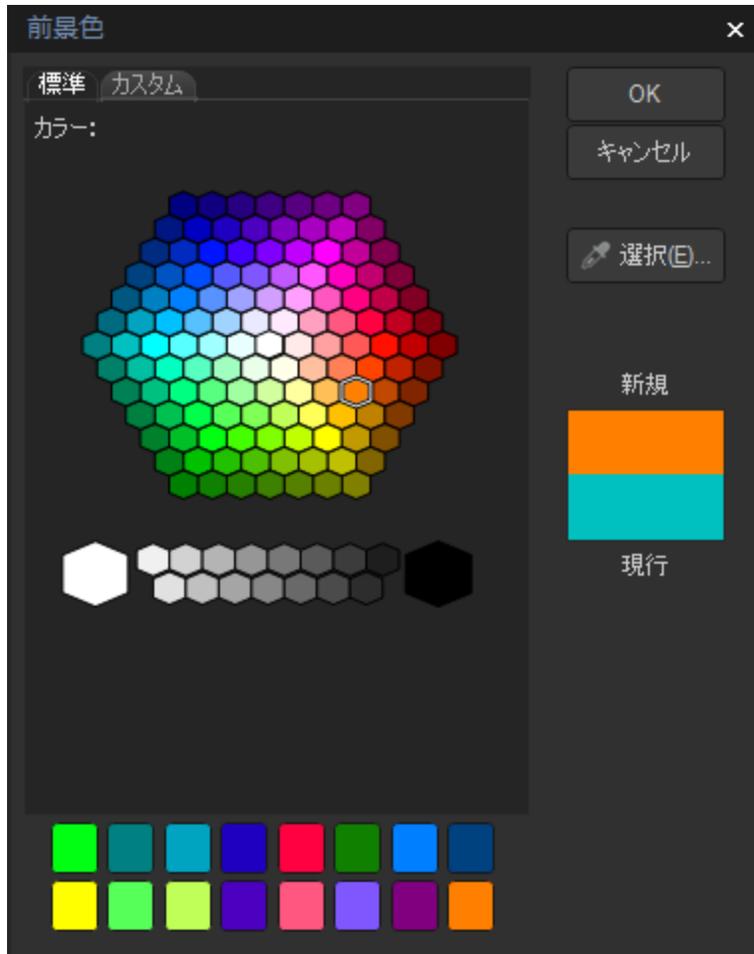
ヒストグラムは、画像の明るさと各カラーチャンネルのレベルをグラフィックで表します。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. [表示]または[編集]モードで、[ペイン] から [ヒストグラム]をクリックします。
2. ヒストグラム ペイン内の次のチェックボックスをオンまたはオフにします。
 - **R:** レッド チャンネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーン チャンネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルー チャンネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

色の設定 ダイアログボックスを使用する

[編集] モードで色を選択または適用する場合、さまざまな場所に [色] ダイアログボックスが表示されます。「色の設定」ダイアログボックスを使用して、様々な方法でカラーを選択したり、異なる編集ツールでカラーを調整したりします。



標準タブ

最初のタブの下部にはグレー、黒、白を含む基本色がハチの巣状に表示されていて、ここから色を選択できます。その下にはカスタムまたはお気に入りの色がグリッド状に表示されます。色を選択してグリッドのボックスを右クリックすることで、その色を適用することができます。カスタム色を作成するには [カスタム] タブをクリックします。

カスタムタブ

第 2 のタブにはカラーパレットが表示されています。右端にあるカラー滑り台を使用してカラーグループに移動し、スペクトルの任意の色またはすべての色を利用することができます。パレットの色を選択してグリッドのボックスを右クリックすれば、カスタムカラーに色が追加されます。

カラーを選択する/調整する

色を選択するには、カスタムカラーのグリッドで四角をクリックするか、カラーパレットをクリックします。カラーパレット上ではドラッグすることも可能です。色をクリックすると [新規] ボックスにその色が表示され、すべての数値 (色相、彩度、明度、RGB 値) が [カスタム] タブの各フィールドに表示されます。

色相、彩度、明度の値を変更して色を調整することもできます。厳密に色を選択したい場合には、その色の値を入力します。色の調整は RGB それぞれの値を使用しても可能です。

画像の鮮明化

[シャープネス] ツールを使用して、画像のミディアムおよびハイコントラスト エッジを強調することで、画像をシャープにすることができます。

使用した設定は、後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

シャープネス ツールを使用して画像をシャープにするには:

1. [編集] モードの [ディテール] グループで、[シャープネス] をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [シャープネス] ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下に解説されているように、スライダをドラッグして画像を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

シャープネス オプション

度合い	エッジ周辺のコントラストを高めることで得られるシャープネスの量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えてディテールが荒くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減ってディテールがきめ細かくなります。
マスク	エッジを対象を絞ることで、ノイズやテクスチャのシャープネスを抑えることができますようになります。マスクの適用領域を表示するには、マスクスライダーを動かしながら、 Alt キーを押します。シャープネスの効果が出る領域が白く表示されます。
ディテール	強度を減らすことにより光輪 (極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線) を抑えます。値が大きいほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズが増えます。背景ノイズを最小に維持しながらエッジを強調するようにしきい値を設定するのがおすすめです。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像をぼかす

ぼかしツールを使用すると画像にさまざまな種類のぼかし効果を適用することができます。

使用した設定は、後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像をぼかすには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[ぼかし] をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ぼかし] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ぼかしの種類] セクションで、適用するぼかしの種類を選択します。
3. 下記を参考に、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して [ぼかし] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

ぼかしの種類

 ガウシアン	画像全体を均等にスムーズにぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
 リニア	画像に動きをつけてぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	角度	ぼかしエフェクトが適用される方向を指定します。
 放射状	画像の中心を基点にして円状にぼかします。画像をクリックしてぼかしの中心を設定します。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	時計回り	時計回りにぼかします。
	反時計回り	反時計回りにぼかします。
	左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
	上下の位置	垂直軸にぼかしの中心を指定します。
 スプレッド	画像全体を曇ガラスのようにぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
 ズーム	画像の中心から外に向かって、または外から画像の中心に向かってぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	ズームイン	画像の中心に向かってぼかします。
	ズームアウト	画像の中心から外に向かってぼかします。
	左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
	上下の位置	垂直軸にぼかしの中心を指定します。
 スマートぼかし	エッジを検出して無効化することでぼかし効果を生み、しきい値の設定に基づいてディテールを保持します。この効果は通常肌を滑らかにするために使用します。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	しきい値	ぼかしを適用する境界を指定します。
 レンズ	カメラの絞りのぼかし効果に似たぼかしを生成します。	
	ぼかしパネルのオプションからぼけの形状を選択します。この形状はハイライト部分で効果が強まります。	
	度合い	ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	ぼけ頻度	ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。
	ぼけ明度	ぼかしの形状がどれだけ強く現れるかを指定します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

  **編集ブラシ** を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズとノイズ除去について

ノイズとは、例えば夜空のように無地であるべき場所に、黒、白、あるいは色のついたピクセルがランダムに発生することを指します。デジタル画像では、ノイズは通常暗い部分によく見られます。

ノイズが発生する原因を幾つか挙げてみましょう。ISO 設定が例えば ISO 800 など高い値に設定されている場合、あるいは露出時間を長くした場合。(暗い明かりの元で撮影しようとする場合、ISO 設定を高く、露出時間を長く設定するのが通常です。)しかしながら、デジタルカメラのセンサー内にあるピクセルの残骸が原因にもなります。似たような状況では、カメラのレンズやスキャナ ベッドについてたほこりが光を遮断あるいは反射することでも引き起こされます。

画像には一般に 2 種類のノイズが含まれています: ルミナンスとカラーです。ルミナンス ノイズは、特にグレーなど無地の領域に見られる明るさの違いによるノイズで



カラー ノイズは、カラーの違いによってランダムに発生するノイズです。



ノイズは目障りな現象なため、ノイズを除去しようとするのがカメラマンの常です。しかしながら、ノイズを気にしすぎるとシャープネスが失われてしまいます。[ノイズ除去] ツールを使用して、ルミナンスとカラーの両方のノイズを削除することができます。

ノイズを除去する

[ノイズ除去] ツールを使用して、画像のディテールを保持しながら画像からノイズを除去することができます。



CCD アレイセンサーが機能していない時のデジタルカメラ、あるいはほこりの付いたスキャナやカメラレンズで撮影された画像の強烈に明るいピクセルを削除するのに、ノイズ除去ツールを使います。

使用した設定は、後で利用するための**プリセット**として保存することができます。

画像からノイズを除去するには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[ノイズ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ノイズ] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ノイズの削除] タブを選択します。
3. [ノイズ タイプ] セクションからオプションを選択します。
4. 下記を参考にして、オプションを設定します。

 画像上の効果のプレビューを見るには、**Alt** キーを押したままスライダを動かします。

5. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用して [ノイズ] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。

ノイズ除去 オプション

ノイズ タイプ		
カメラ ノイズ除去 	デジタルカメラのノイズを削除します。より細かくノイズを削除するために設定された、以下のスライダを使用して調整します。	
	明度	明るさに見られるノイズをランダムに除去します。
	強さ	[明るさ] スライダの強度をコントロールします。
	カラー	ノイズ中の色のばらつきを除去します。
	ディテールを保存	強力ノイズ除去により失われたディテールを復元します。スライダを使って、復元するディテールの程度を調整してください。
ディテール保持閾値	[ディテール保持] スライダの調整に含める必要があるディテールのレベルを決定します。	
メジアン ノイズ除去 	正方形	正方形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。
	X	X 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。
	+	+ 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使用します。
ノイズ除去 	ノイズを除去します。	

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズを追加する

[ノイズ追加] ツールを使用して、画像に粒状のノイズを追加することができます。少量のノイズを加えると、オリジナル画像に見られるかすかな欠点が目立たなくなります。

使用した設定は、後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

画像にノイズを追加するには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[ノイズ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ノイズ] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ノイズの追加] タブを選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [完了] をクリックすると、変更を適用して [ノイズ追加] ツールが閉じます。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

ノイズ追加 オプション

強度	画像に追加するノイズの量を指定します。ノイズの量が多くなるほど、オリジナル画像のピクセルがノイズと置換される可能性が高くなります。
色の近接度	画像に追加するノイズの色を指定します。値が小さくなるほど、置換されるピクセルに近い色のノイズが追加されます。値が大きくなるほど、ノイズの色はランダムに選択されます。
ノイズの色	次のいずれかのオプションを選択して、ノイズの色を指定します： <ul style="list-style-type: none"> • ランダム: ランダムにノイズの色を選択します。 • モノクロ: 白黒のノイズが追加されます。 • 調整: ノイズの色をランダムに選択しますが、ほとんどのノイズの色は指定した色と同じになります。[カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を指定します。
ノイズの配置	指定された色に近い画像部分に、ノイズを追加します。ノイズの配置を有効にするには、[色の設定] チェックボックスをオンにします。[カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を選択します。
ランダム化	画像のノイズをランダムに配置します。 [ノイズ追加] ツールを使用する際、ACDSee は乱数シードに基づいてノイズピクセルを追加します。そのため、ツールを使用する度に追加されるノイズが変化します。固有の乱数シードを作成すると、同じ画像ノイズを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

ディテールを調整する

写真の重要な細部（ディテール）を強調し、その他を目立たなくするには、ディテール ブラシを使用することができます。ディテール ブラシの効果は累積されます。例えば、特定の部分にぼかしオプションでブラシをかける場合、ブラシをかければかけるほどその部分はぼやけていきます。

ディテールを調整するには:

1. 編集モードで、[詳細]グループから、**ディテール ブラシ**を選択します。



フィルタのドロップダウン メニューやツールバーからディテール ブラシ ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の説明に従って設定を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ディテール ブラシのオプション

操作	実行したい操作を選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ぼかし • シャープネス
ツール設定	シャープネスを選択した場合は、下記を設定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えてディテールが荒くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数減ってディテールがきめ細かくなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズが増えます。背景ノイズを最小に維持しながらエッジを強調するようにしきい値を設定するのがおすすめです。
ブラシ設定	
ペン先の幅	スライダをドラッグしてブラシのサイズを選択します。
フェザリング	スライダをドラッグしてストロークのエッジをソフトにします。
強度	スライダをドラッグして、シャープネスやぼかしの強度を決定します。



ナンバー ボックスに数字を入力して、正確に微調整することもできます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

明瞭度を調整する

透明度ツールは画像のディテールに明瞭度を加えます。明瞭度ツールを使用すると、シャドウとハイライトが強調されることなく画像の中間色のコントラストが強調されます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像の明瞭度を調整するには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[透明度] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [透明度] ツールにアクセスすることもできます。

2. **強度** スライダーを右に移動すると明瞭度が上がり、左に移動すると下がります。
3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



ナンバー ボックスに数字を入力して、正確に微調整することもできます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール

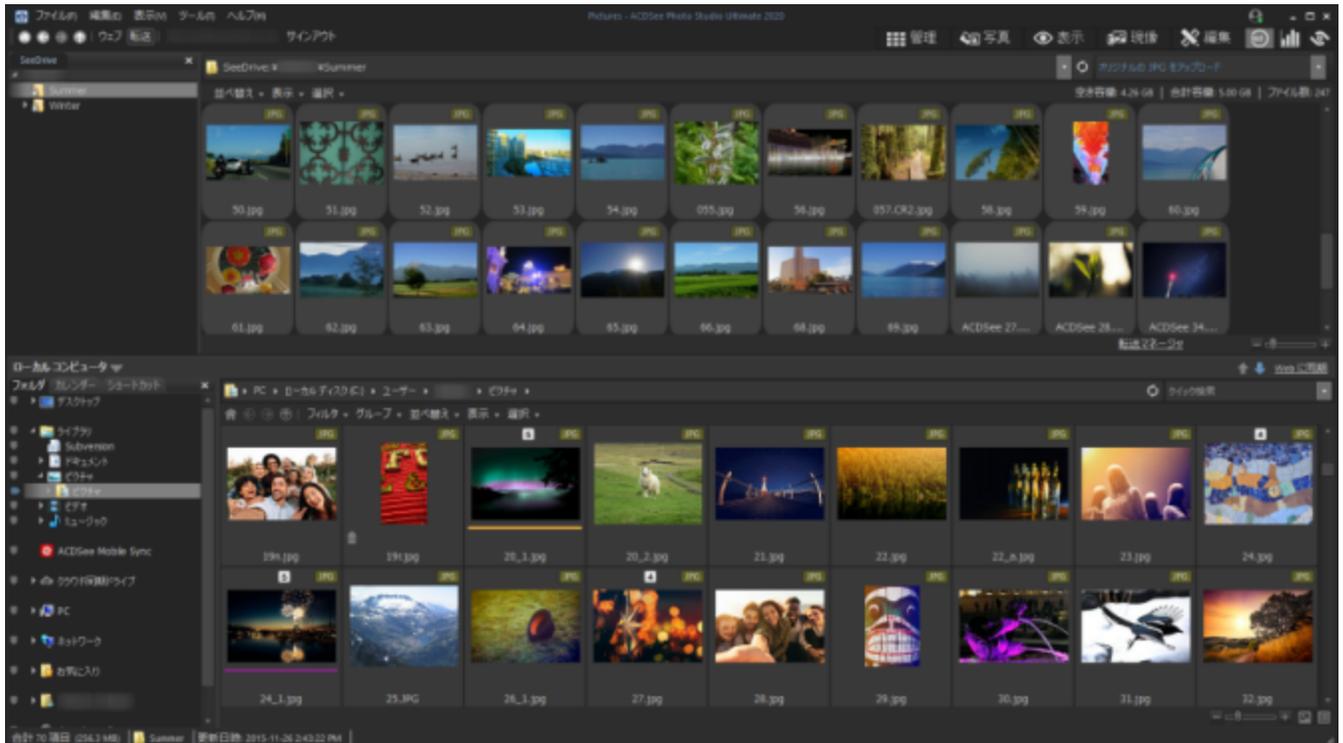


を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

Chapter 8: 365 モード

 365.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

ユーザーは、365モードにより、365.acdsee.comに画像をアップロードし、ACDSee 画像を共有したり、保存したりできます。365 モードと 365.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービス プロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。まず 365.acdsee.com アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。



365.acdsee.com を使用して、次のような操作を行うことができます。

- [365.acdsee.com アカウントの作成](#)
- [画像をアップロードする](#)
- [画像フォルダのプライバシー設定](#)

365 モードを使用する

 365.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

ユーザーは、365モードにより、365.acdsee.comに画像をアップロードし、ACDSee 画像を共有したり、保存したりできます。365 モードと 365.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービス プロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。あるいは、はご利用になっているインターネット ブラウザから直接 365.acdsee.com にアクセスすることも可能です。

365 モードには次の 2 つがあります: 365.acdsee.com と転送です。

 [365.acdsee.com] と [転送] タブを有効にするには、[365.acdsee.comのアカウントを作成](#)する必要があります。

365.acdsee.com	<p>[365.acdsee.com] タブをクリックすると 365.acdsee.com にアクセスすることができます。365.acdsee.com には次の 4つのメニューがあります:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理: 画像をフォルダに入れて管理します。 ● アップロード: [アップロード]をクリックして画像のアップロードが可能な[転送]に切り替えます。 ● プロフィール: プロファイルを変更したり、特定の情報を「公開」、「非公開」に設定したりします。 ● サポート: 365.acdsee.com のサポートが必要な場合、「ヘルプ」または「よくある質問」をご覧ください。
転送	<p>転送 モードを使用して、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロードすることができます。[転送] のスクリーンは 2 つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様の 365.acdsee.com アカウントが表示されます。</p>



365 モードの画像を、「処理」モードで開いて現像処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「処理」モードで開きます。ご注意ください。

365.acdsee.com アカウントの作成

365.acdsee.com に画像をアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。

365.acdsee.com アカウントを作成するには:

1. [365]タブをクリックして、**ACDSee 365** モードに入ります。
2. **登録** ボタンを押します。
3. フィールドに必要な情報を入力して、[**アカウントの作成**]をクリックします。



既にアカウントがある場合は、**サインイン** ボタンをクリックします。

365.acdsee.com に画像をアップロードする



365.acdsee.com のヘルプについては、[**Web**] タブをクリックした後に [**サポート**] をクリックします。

365.acdsee.com は、ACDSee ユーザー同士で画像を共有したり、画像を保存するサービスです。まず 365.acdsee.com アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。365.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。



365.acdsee.com アカウントのプランによっては、動画もアップロードできます。

画像をアップロードするには:

1. 365 モードで、[**サインイン**]をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. [**アップロード**] をクリックして、[**転送**] に切り替えます。

画面は2つに分かれており、下の領域にはコンピュータ上の画像が表示され、上の領域にはオンラインの画像が表示されます。

4. 下半分はコンピュータに保存されている画像を、上半分はオンラインの画像を表しています。
- **関連データを含んだオリジナルをアップロード**: メタデータなどを含むファイルなど、すべての関連ファイルを含む画像を現在のファイル形式でアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。
 - **オリジナルをアップロード (JPG)**: 画像を元のサイズのJPGとしてアップロードします。
 - **1920 x 1440 のJPGファイルをアップロード**: 画像をJPEGフォーマットに変換し、解像度を1920 x 1440に設定します。このオプションは高画質のJPGに最適です。
 - **1024 x 768のJPGファイルをアップロード**: 画像をJPEGに変換し、解像度を1024 x 768に設定します。このオプションは、Netbook で表示する、あるいはアップロードの時間を短縮したい場合に最適です。
5. 次のいずれかを実行して、画像をアップロードします:
- スクリーンの上半分の領域に画像をクリックアンドドラッグして、365.acdsee.com アカウントにアップロードします。複数の画像を選択するには、**Shift** キー または **Ctrl** キーを押したまま、クリックして画像を選択します。カーソルでクリックアンドドラッグして、複数の画像を選択することも可能です。
 - スクリーンの上半分の領域に向かって、画像の含まれているフォルダをドラッグします。
 - 画像を選択してから、[転送マネージャ] の横にある上矢印アイコンをクリックします。

アップロードが完了すると、アップロードされた順番で画像が表示されるようになります。画像が現像または編集済みの場合、ファイルの種類を示すオーバーレイアイコンが表示されます。



サブフォルダを含んだフォルダをアップロードすることも可能です。365 モードでは、365.acdsee.com アカウントにフォルダをアップロードする際、そのフォルダ構造を保ったままアップロードします。

フォルダを設定して自動的にWebを同期する



365.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

コンピューターに特定のフォルダを作成し、すべての画像を365.acdsee.comの特定のフォルダにアップロードできます。コンピューターのフォルダに新しい画像を追加すると、[Webに同期] ボタンを押して、365.acdsee.comの対応するフォルダを簡単に同期できます。同期は、お使いのコンピュータから365.acdsee.comのアカウントにアップロードするという一方方向でのみ動作します。

フォルダを設定して自動的に「Webに同期」するには:

1. 365 モードで、[サインイン] をクリックします。
2. **転送** タブをクリックします。
3. スクリーンの下半分の [フォルダ] ペインで、フォルダを右クリックし、[「Webに同期する」フォルダとして設定] を選択します。
4. [「Webに同期」フォルダとして設定] ダイアログで、以下の説明に従い、オプションを設定します。
5. [OK] をクリックします。



[ファイル] メニューから、[「Webに同期」するフォルダの管理] をクリックして、設定することも可能です。

Webに同期を実行するには:

1. [転送] で、画面の右側にある [Webに同期] をクリックします。
2. [OK] をクリックします。

フォルダの [Webに同期] 設定を編集するには:

1. スクリーンの下半分の [フォルダ] ペインで、Webに同期フォルダを右クリックし、[「Webに同期」するフォルダの編集] を選択します。

2. 「Web に同期」フォルダの編集」ダイアログで、以下で解説されているようにオプションを設定します。
3. **[OK]**をクリックします。

「Web に同期」フォルダのオプション

アップロードの種類	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> ● 関連データを含んだオリジナルをアップロード：メタデータなどを含むファイルなど、すべての関連ファイルを含む画像を現在のファイル形式でアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。 ● オリジナルをアップロード (JPGで)：JPEG画像を元のサイズに変換してからアップロードします。 ● 1920 x 1440 のJPGファイルをアップロード：画像をJPEG フォーマットに変換し、解像度を1920 × 1440に設定します。このオプションは、高品質のJPEG ファイルに最適です。 ● 1024 x 768のJPGファイルをアップロード：画像をJPEGに変換し、解像度を1024 x 768に設定します。このオプションは、Netbook で表示する、あるいはアップロードの時間を短縮したい場合に最適です。
ローカルフォルダ	選択したフォルダのパスを表示します。 [参照] ボタンをクリックして、別のフォルダを選択します。
Online フォルダ	Online フォルダに使用する名前を入力します。既定設定では、「Web と同期」に設定しているコンピュータ上のフォルダと同じ名前に設定されます。
今すぐ「Web に同期」	選択したフォルダ内の画像をすぐにアップロードしたい場合に選択します。このチェックボックスを選択しない場合は、「Web に同期」をクリックして、同期するように選択したすべてのフォルダ内に含まれているすべての画像をアップロードすることができます。

公開または非公開のフォルダを作成する

 365.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリックします。

[365.acdsee.com] と [転送] タブでは、フォルダを作成して公開または非公開を指定することができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも閲覧することができます。公開フォルダの URL をコピーして、友達や家族にその URL を知らせて共有することも可能です。

 新規フォルダを作成する際、既定設定としてフォルダは「非公開」に設定されます。

[転送] でフォルダを作成し、公開または非公開に設定するには：

1. 365 モードで **[転送]** をクリックします。
2. [フォルダ] ペインで ユーザー名を右クリックし、**[オンラインフォルダの新規作成]** を選択します。
3. [新規の Online フォルダ] ダイアログボックスで、新規フォルダの名前を入力します。
4. **[OK]**をクリックします。

既定設定として、新規フォルダは「非公開」に設定されます。

フォルダを「公開」に変更するには 、フォルダを右クリックして **[公開する]** を選択します。

公開フォルダの URL を共有するには：

1. 365 モードで **[転送]** をクリックします。
2. [フォルダ] ペイン ウィンドウの左上部から、公開フォルダを右クリックします。

3. **[URLをコピー]**をクリックします。
4. その URL を電子メール、インスタント メッセージやその他のアプリケーションにコピーして、友達や家族と共有します。



公開フォルダ上を右クリックして**[共有]**を選択すると、電子メールで送信、ソーシャルネットワークサイトにアップロード、あるいはウィジェットを作成することができます。

重要度設定システムを変更する



365.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に**[サポート]** をクリックします。

管理モードで重要度を設定した画像は、365 モードでは星の数で評価されます。ユーザーは、星で画像を評価する方法を選択することができます。

重要度設定システムを変更するには:

1. **[ツール]**をクリックし、**[オプション]**を選択します。
2. オプション ダイアログ ボックスの**[ACDSee 365]** をクリックします。
3. **[重要度]**で、**[重要度 1を星 5に変換する]**または**[重要度 1を星 1に変換する]**のいずれかを選択します。
4. **[OK]**をクリックします。

画像をダウンロードする



365.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に**[サポート]** をクリックします。

365.acdsee.com は、ACDSee ユーザー向けのストレージ サービスでもあります。365.acdsee.com アカウントから自分のコンピュータへ、いつでも画像をダウンロードすることができます。

画像をダウンロードするには:

1. 365 モードで、**[サインイン]**をクリックします。
2. ご自分のアカウントにログインします。
3. **転送**タブをクリックします。

画面は2つに分かれており、下の領域にはコンピュータ上の画像が表示され、上の領域にはオンラインの画像が表示されます。
4. 画面の上側の左上にあるフォルダ ペインで、365.acdsee.com フォルダからダウンロードしたい画像に移動します。
5. 画面の下側にある**[ローカル コンピュータ]** ペインで、画像のダウンロード先のフォルダを選択します。
6. 次のいずれかの方法で、画像を選択してダウンロードします。
 - 画像を画面の下側の領域にクリック & ドラッグして自分のコンピュータにダウンロードします。複数の画像を選択するには、**Shift** キー または **Ctrl** キーを押したままクリックして画像を選択します。カーソルをクリック & ドラッグして複数の画像を選択することもできます。
 - 画像のフォルダを画面の下側の領域にドラッグします。
 - 画像を選択し、**[転送 マネージャ]**の隣にある下矢印アイコンをクリックします。

転送 マネージャを使用する



365.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に**[サポート]** をクリックします。

[転送マネージャ]では、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロード + ダウンロードする作業を確認したり、転送作業をキャンセルしたり一時停止したりすることが可能です。[転送マネージャ]には、[アップロード]と[ダウンロード]の2つのタブが用意されています。これらのタブには、アップロード、ダウンロード、一時停止またはキャンセルされた画像が一覧表示されます。

[転送マネージャ]を開くには:

[ツール]メニューから、[転送マネージャー]をクリックします。

[転送マネージャ]では次のような操作を行うことができます。

	アップロードまたはダウンロードのキャンセル。
	画像のアップロードとダウンロードを再試行。
	アップロードまたはダウンロードの一時停止。
	画像のアップロードまたはダウンロードを継続。
	一覧のすべての画像を選択します。
	一覧から、アップロード、ダウンロードまたはキャンセルされた画像をクリアします。

Chapter 9: ダッシュボード モード

ダッシュボード モードを使用する

ダッシュボード モードでは、ファイル、カメラ、データベース統計情報にすばやくアクセスして閲覧できます。カメラ統計情報は画像のメタデータから読み出され、ファイル情報は ACDSee データベースから分析されます。そのため、このモードを最大限に活用するには [\[カタログ\]](#) の作成が重要になります。

ファイルのカタログ化

カタログ化を行うには、以下のいずれかの操作を行います：

- ツールに移動 | データベース | **カタログ**。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボード モード

ダッシュボード モードには、以下のタブがあります：

- **[概要タブ]**：概要タブは、その他のタブに表示される情報のまとめを表示します。月ごとまたは年ごとの写真数詳細を示したグラフも表示します。タブの最上部にある、月を範囲とするか年を範囲とするかの表示を切り替えるドロップダウンメニューが使用できます。前へまたは次へのボタンを使用して、時系列を後ろの方または前の方に移動することができます。
- **[データベース タブ]**：データベース タブは、場所、サイズ、バックアップ情報、アセットの内訳、など、データベースに関するデータを表示します。
- **[カメラ タブ]**：カメラ タブは、最も多く使用したカメラはどれか、よく使う ISO 設定、など、カメラの使用に関するデータを表示します。
- **[ファイル] タブ**：ファイル タブは、最も多く使用したビット深度、画像解像度、など、画像およびビデオファイルに関するデータを表示します。

Chapter 10: PicaView

ACDSee PicaView について

ACDSee PicaView とは、Windows/File Explorer™ 向けの、簡単にすばやくファイルを表示できる「アドオン」で、アプリケーションで開かずにファイルをプレビューできて、時間の節約になります。RAW ファイルなどの画像ファイルや EXIF 情報を、右クリックによりさまざまなサイズで表示することができます。ACDSee に対応しているファイルなら、どんな画像ファイルでもプレビュー表示することができます。Windows/File Explorer™ でファイルを右クリックしても ACDSee PicaView プレビューにアクセスできます。

プレビューのサイズや表示する情報など、ACDSee PicaView ではさまざまな設定ができます。設定へのアクセスは、[**ACDSee PicaView**] > [**オプション...**]をクリックするか、または ACDSee で[**ツール**] > [**オプション...**]に移動して、オプションダイアログメニューにある ACDSee PicaView に移動します。

ACDSee PicaView オプションを調整するには:

1. Windows/File Explorer™ でファイルを右クリックして、ACDSee PicaView のプレビューにアクセスします。
2. プレビューの上部で、[**ACDSee PicaView**] > [**オプション...**]をクリックします。
3. ACDSee PicaView オプションダイアログで、以下のオプションを設定・変更します。
4. [**OK**]をクリックして変更を適用します。

ACDSee PicaView オプション

画像の表示	[画面の表示]チェックボックスにチェックを入れると、ファイルを右クリックして表示されるコンテキストメニューにプレビューが表示されます。
場所	<ul style="list-style-type: none"> • 画像をメインメニューに追加する: ファイルを右クリックすると、メインメニューにプレビューが表示されます。 • 画像をサブメニューに追加する: ファイルを右クリックすると、ACDSee PicaView の隣にある矢印をクリックして表示されるサブメニューにプレビューが表示されます。
サイズ	右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。
オリジナルの表示	[オリジナルの表示]を選択すると、現像前または編集前の画像が右クリック時に表示されます。
EXIF 情報を表示する	[EXIF 情報を表示する]にチェックを入れると、右クリックしたときに写真の EXIF 情報が表示されます。

Chapter 11: オプションと設定

全般オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を調整して、便利なワンポイントの表示、表示する日付フォーマットの設定、自動回転オプション、特定画像表示のコントロールなどを設定することができます。

全般オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[全般]をクリックします。
3. 「全般」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

全般オプション

ガンマ補正を行う	画像を表示またはプレビューする際に、指定されたガンマ補正值を適用します。
壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する	小さな画像をデスクトップ全体のサイズに合わせて自動拡大し、壁紙として設定します。
画像アニメーションを無効にする	管理モードのプレビューペインおよび表示モードで、画像アニメーションの最初のフレームのみが表示されます。
EXIF方向を基準にして、JPEGおよびTIFF画像を自動的に回転する	ACDSeeでTIFFやJPEG画像を表示する際、画像の向きは自動的に補正されます(EXIFデータを基準とする)。
ステータスバーの日付	ステータスバーに表示するファイルの日付を指定します。
日付/時間の出力フォーマット	次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 既定のシステムフォーマット: 情報オーバーレイに日付および時間を表示する際は、既定のシステムフォーマットを使用します。 • カスタムフォーマット: すべての情報オーバーレイに日付および時間を表示する際に、カスタムフォーマットを使用します。日付と時間のフォーマットを、ドロップダウンリストから選択します。
タスクバーの通知領域にアイコンを表示する	タスクバーの通知領域にACDSeeアイコンを表示します。
モード切り替えアイコンを表示する	各モード名の左にアイコンを表示します。
OpenCL画像を処理する	お使いのパソコンのビデオカードドライバが対応している場合、このチェックボックスを有効するとRAWファイルの処理速度が上がります。このオプションを利用するにはビデオカードのドライバが最新である必要があります。
RAW表示	次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 埋め込みプレビュー: 埋め込みJPEGを使用 • RAWデコード: 高品質のデコードを実行 <p>詳細については、[RAW画像を表示する]をご覧ください。</p>

画像の自動表示オプションの設定

[画像の自動表示](#)を起動する適用されたメタデータを制御できます。

[画像の自動表示]オプションは、以下の手順で調整します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[全般]>[画像の自動表示]をクリックします。
3. [画像の自動表示]ページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

画像の自動表示 オプション

自動切り替えを有効にする	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理モード ● 表示モード 	選択解除して、管理または表示モードで画像の自動表示をオフにします。
適用時に自動切り替え	<ul style="list-style-type: none"> ● タグ ● 重要度 ● ラベル ● カテゴリ ● キーワード 	適用または削除されたメタデータのうち、画像の自動表示を起動するメタデータを指定します。 ! キーワードとカテゴリは既定で無効になっています。

[モード設定オプション]を設定する

モード ボタンの外観をコントロールして表示スペースを最大化できます。

モード ボタン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. オプション ダイアログボックスで、[モード設定]をクリックします。
3. モード設定 ページで、対応するチェックボックスの選択を外すことで、モードを非表示にできます。

! 管理モードは非表示にできません。
4. モードの対応するドロップダウンメニューを使用することで、アイコンとラベルの両方を表示する、ラベルのみ表示する、アイコンのみ表示するように設定できます。
5. [モード ボタンの見た目を簡略化する]のボタンをクリックすると、モードボタンを小さくしてスペースを節約できます。
6. [OK]をクリックします。

管理モード オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、既定の開始フォルダなど、管理モードのための様々なオプションを設定することができます。

管理モード オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスの [管理モード] をクリックします。
3. 「管理モード」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

管理モードオプション

既定の開始フォルダ	前回のセッションで使用したフォルダ	ACDSeeで前回開いたフォルダと同じフォルダ内で管理モードが開き、以前使用していたあらゆる参照条件が自動的に適用されます。
	開始フォルダ	指定された開始フォルダが、管理モードで常に開かれます。[参照] ボタンをクリックして、ハードディスク上の開始フォルダを指定します。
	開始フォルダが存在しない場合、警告を表示する	[前回のセッション内容を記憶]を有効にしても、対象のフォルダまたはホームフォルダがなくなっている場合には、警告メッセージが表示されます。
配色	ACDSeeで使用する配色を指定します。	
終了時に履歴パスをクリアする	ACDSeeの終了時に毎回、最近使用したフォルダの一覧をクリアします。	
タイトルバーに完全なパスを表示する	ACDSeeのタイトルバーの画像への完全なパスを表示します。	
タイトルバーにデータベースのファイル名を表示する	ACDSeeが実行中のデータベース名をタイトルバーに表示します。	
フォルダツリー	表示間隔	フォルダツリーにおけるフォルダとフォルダの間のスペースを調整できます。
	[+] を使用してフォルダツリーを展開	フォルダツリーにある展開可能なフォルダの左に [+] マークを表示して、展開できることを表します。
エラー報告	ACDSeeにエラーが発生した際にシステムエラーレポートを表示させたくない場合は、このオプションを選択します。	
スキャン保存先	[フォルダの参照] ボタンをクリックして、スキャンした画像の保存先を指定します。	

クイック検索オプションを設定する

クイック検索オプションを使って検索を絞り込むことができます。

クイック検索オプションを設定するには:

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[管理モード] から [クイック 検索] をクリックします。
3. 「クイック検索」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

クイック検索オプション

ファイル名を含む	入力された文字で始まるファイルまたはフォルダ名を検索します。
カテゴリを含む	入力された文字と一致するカテゴリを検索し、それらと関連付けられた全ファイルを検索結果として表示します。サブカテゴリは含まれませんのでご注意ください。
フォルダの内容を含む	入力された文字で始まるフォルダを検索し、それらのフォルダの内容を検索結果として表示します。サブフォルダは含まれませんのでご注意ください。
人物を含める	画像で検出され、表示モードで[顔検出]を使用して名前が付けられた人物を検索します。これらの検索オプションは、[オプション]ダイアログの[顔検索]ページでさらに絞り込むことができます。

[顔の検出と認識]オプションを設定する

顔検出のオンとオフを切り替えたり、顔検出のやり直しのトリガーを設定したり、コンピューターが休止状態のときにACDSeeインデクサーが顔検出を実行できるようにしたりすることができます。

顔検出オプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[顔検出]をクリックします。
3. [顔検出]のページで、下記の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [OK]をクリックします。

顔検出オプション

<p>顔検出</p>	<p>画像内の顔を自動的に検出します</p> <p>PCがアイドル中、ACDSeeインデクサーで顔検出する許可をFace Detectionに与えましょう。</p>	<p>このオプションを切り替えて、顔検出を有効にします。このオプションを有効にすると、管理モードでの閲覧中に見つかるファイル内で顔検出が実行されます。表示モードでは、顔検出は開いている画像でのみ実行されます。</p> <p>画像内で顔検出が実行されると、検出情報はデータベースに保存されます。したがって、このオプションを無効にしても、既に検出された顔については、顔の概要と名前(名前が付けられている場合)が表示モードで引き続き表示されます。顔に付けた名前を使用して検索することもできます。</p> <p>ACDSeeインデクサーが実行できるよう顔検出を有効にすることができます。ACDSeeインデクサーを使用すると、コンピューターが休止状態でACDSeeが実行されていない間に、顔検出プロセスを実行できます。こうすることで、すべてのフォルダを参照しなくて済みます。</p>
	<p>顔検出を再実行</p>	<p>顔検出を最後に実行した後ファイルが変更された可能性がある場合は、顔検出を再試行できます。再試行を有効にすると、変更を加えたファイルを[管理]または[表示]モードで次回参照したときに、顔検出が再試行されます。</p>
<p>顔認識</p>	<p>顔認識を有効にする</p>	<p>このオプションを切り替えると、顔認識が有効になります。このオプションを有効にすると、以前の画像で名前を付けた顔に基づいてACDSeeが個人の認識を試みます。</p> <p>ACDSeeが同一人物を認識するために必要となる類似した顔二種類を、スライダを使用して設定します。</p> <p>適度: デフォルトで設定されており、誤った名前を追加しすぎず、ほとんどの顔に名前を付けるよう最適化されています。</p> <p>強め: 似ていない顔も同一人物として認識されます。このオプションは、写真コレクションに少数の人物しか映っておらず、各人のポーズ、照明、フィルムの品質が多岐にわたる場合に役立ちます。名前が間違っていることが多くなる恐れがあります。</p> <p>控えめ: 非常に似ている顔を同一人物として認識します。このオプションは、写真のコレクションに大勢の人物が映っており、特に、近親者など身体的特徴が似通っている人物が映っている場合に役立ちます。名前が間違っていることは少なくなります。手動で名前を付ける必要がより頻繁に生じる可能性があります。</p> <p> 上記の設定三種類すべてにおいて、名前が間違っている可能性はあります。特に、顔認識が初めて認識する人物については、その可能性が高くなります。手動で修正できる適度な範囲を超えて間違った名前が表示される場合は、顔認識を無効にして、写真コレクション内で各人物の顔複数に手動で名前を付けます。続いて顔認識を再度有効にし、必要に応じて、<u>選択したファイル</u>またはライブラリ全体で顔認識を再試行します。</p>
<p>すべての顔データを削除</p>		<p>顔の輪郭、名前、顔検出がファイルで実行されたかどうかに関する情報など、顔検出と認識に関連するデータすべてをデータベースから削除します。この操作を実行するには、ACDSeeを再起動する必要があります。</p>
<p>顔認識を再実行</p>		<p>手動で名前を付けていない顔で顔認識を再試行して、ACDSeeが顔に割り当てた誤った名前を修正することができます。この動作を実行すると、ACDSeeの顔認識が割り当てた名前すべてがクリアされますが、手動で入力された名前は残ります。続いてACDSeeは、手動で入力した名前に基づいて、名前の付いていない顔の認識を試みます。</p>

[顔検索オプション]の設定

割り当てられた名前や推奨された名前を使用して、検索結果を決定するための設定を調整できます。

顔検索オプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[顔検出]>[顔検索]をクリックします。
3. [顔検索]のページで、下記の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [OK]をクリックします。

顔検索オプション

顔検索	<p>割り当てられた名前: クイック検索バー、検索ペイン、またはカタログペインの人物グループを使用して検索すると、ACDSeeは顔検出を使用して割り当てられた名前がある写真を返します。</p> <p>推奨ネーム: クイック検索バー、検索ペイン、またはカタログペインの人物グループを使用して検索すると、ACDSeeはACDSeeが候補として挙げた名前(ユーザーによる確認はされていない)がある写真を返します。</p> <p>割り当てられた名前と提案された名前の両方: クイック検索バー、検索ペイン、またはカタログペインの人物グループを使用して検索すると、ACDSeeは割り当てられた名前と推奨ネームの両方がある写真を返します。</p>
------------	---

ファイル一覧ペインオプションを設定する

[ACDSeeオプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペインのオプションを設定することでユーザーの好みに合わせたカスタマイズが可能です。例えば、アーカイブファイルをサブフォルダでグループ化したり、異なる背景色を使用して画像タイプをハイライトすることができます。サムネイル、ファイル種類の表示をカスタマイズしたり、ACDSeeファイル一覧ペインでのファイルやサムネイルの取り扱い方をACDSee調整したりすることもできます。

ファイル一覧ペインオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[ファイル一覧]をクリックします。
3. 「ファイル一覧」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ファイル一覧オプション

ファイル一覧	新規ファイルを自動的に選択する	ファイル一覧ペインに表示されているフォルダに新規ファイルが追加された際、新規ファイルを自動的に選択します。
	アーカイブをフォルダでグループ化する	ファイル一覧ペインで項目を並べ替える際、アーカイブ ファイルをフォルダとして扱います。
	埋め込まれたサムネイルを使用する	RAWファイルにサムネイルが埋め込まれている場合、これらのサムネイルがファイル一覧ペインに表示されます。
	高画質のサムネイルを作成する	このオプションが選択されると、まず RAWファイルに埋め込まれているサムネイルがファイル一覧ペインに表示され、その後高画質のサムネイルに置き換えられます。
	フォルダにサムネイルを表示する	ファイル一覧ペインにあるフォルダアイコンに、コンテンツのサムネイルを表示します。
	各フォルダの並べ替え設定を保存する	特定フォルダで使用した並べ替え設定を ACDSee 保存する場合には、このオプションを選択します。
	<Ctrl> キーがホットトラックを有効にします	Ctrl キーをホールドすると、ホットトラックが有効になります。これを選択すると、ファイル一覧ペイン上でCtrl キーをホールドすることでホットトラックを有効にできます。ホットトラックとは、ファイルの選択を変更せずに、プレビューやプロパティ ペインの内容を更新することを指します。
	アニメーションを使用する	特定機能を開いたり、閉じたりする際にアニメーションを有効あるいは無効に設定します。例として、グループ ヘッダーがあります。
フィルタの設定	すべてのファイルを表示する	ファイル一覧に画像ファイル、フォルダ、メディアファイル、アーカイブファイルを表示します。
	フィルタ適用の条件	以下のファイルの種類から、選択されたもののみを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 画像ファイルの表示 • フォルダを表示 • メディア ファイルの表示 • アーカイブ ファイルの表示
	隠しファイルとフォルダを表示する	通常隠しファイルとして設定されているシステム ファイルとその他のファイルを表示します。
	THM ファイルを表示する	ファイル一覧にCanon THMファイルを表示します。
	XMPファイルを表示する	ファイル一覧にXMPサイドカーファイルを表示します。
	画像ファイルのハイライト	画像ファイルをハイライトしない
画像ファイルをシングルカラーでハイライトする		「詳細」および「サムネイル+詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをシングルカラーでハイライトします。
画像ファイルをマルチカラーでハイライトする		「詳細」および「サムネイル+詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをマルチカラーでハイライトします。
ポップアップ	マウスをファイル一覧の項目の上に置いた時ポップアップを表示する	ファイル一覧のサムネイル上にマウスを置いた際、アニメーションのポップアップのプレビューを表示するか、表示しないかを指定します。 <p>以下の設定でポップアップに画像やテキストを含むかどうかを指定することができます。このオプションをオフにすると、以下の設定ではShiftキーを押し続けることでのみポップアップを有効にします。</p>
	<Shift> キーでポップアップを有効にする	ファイル一覧で、マウスカーソルをファイル一覧のサムネイル上に合わせた状態で Shift キーを押し続けた場合にのみ、ポップアップが有効になります。Shift キーでファイルを選択しづらくなる場合には、このオプションをオフに設定します。
	ポップアップを自動的に隠す	画像上にマウスのカーソルが置かれていても、ポップアップは 5 秒表示された後、非表示となります。

サムネイルのポップアップを表示する	マウスが置かれると、ファイル一覧に画像のポップアッププレビューを表示します。
ポップアップに情報を表示	ポップアップにテキスト情報を表示します。[ファイル情報の設定...] ボタンをクリックして必要なポップアップ情報を選択することで、表示する情報を選択できます。
ファイル情報の設定	[ポップアップ情報の選択] ダイアログが開かれ、ファイル一覧のサムネイル上にマウスを置いた際に表示される情報を選択できます。ファイル名、場所、サイズ、更新日時、画像サイズが既定として設定されていますが、ACDSee メタデータ、EXIF、ファイル、画像、IPTC、マルチメディアなどの属性も選択できます。
既定の右クリックメニューとして、Windows エクスプローラのショートカットメニューを表示する	既定のWindows エクスプローラのコンテキストメニューを ACDSee のコンテキストメニューの代わりに表示します。

サムネイル情報オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、[ファイル一覧] ペイン内で画像のサムネイルと共に表示する情報を変更することができます。これらのオプションは、[ファイル一覧] の [サムネイル情報] で設定されています。

サムネイル情報オプションを設定するには:

1. [管理] モードで、[ツール] から [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスの [ファイル一覧] から [サムネイル情報] をクリックします。
3. [サムネイル情報] のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

サムネイル情報オプション

情報	ファイル名	ファイル一覧ペインでサムネイルのファイル名を表示します。
	サムネイル表示情報の選択	ダイアログボックスを開き、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル情報を選択します。
	タイトル表示情報の選択	ダイアログボックスを開き、「タイトル」表示モードで表示される情報を選択します。
	ポイントしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示する	ポイントしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示します。
オーバーレイアイコン	重要度	データベースで、重要度が適用されているファイルのサムネイルに、重要度のオーバーレイアイコンを ACDSee 表示します。
	埋め込み保留中	メタデータ情報が追加され、データベースに保存されているものの、まだファイルには書き込まれていないファイルのサムネイル上に ACDSee データベースオーバーレイアイコンを表示します。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。
	アイコン	ファイル一覧ペイン内のサムネイルに、ファイルフォーマットのオーバーレイアイコンを表示します。
	カテゴリ	カテゴリが設定されているファイルのサムネイルに、カテゴリのオーバーレイアイコンを表示します。
	コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合、サムネイルにコレクションのオーバーレイアイコンが表示されます。
	ショートカット	アイテムが別のファイルへのショートカットである場合、サムネイルにショートカットのオーバーレイアイコンを表示します。
	オフライン	ファイルがオフラインのデバイスに保存されている場合、サムネイルにオフラインのオーバーレイアイコンを表示します。
	除外された項目	データベースからファイルが除外されている場合、サムネイルに除外されたファイルのアイコンを ACDSee 表示します。
	タグの付いた項目	サムネイルにタグの付いたオーバーレイアイコンを表示します。ファイルにタグが付いている場合、アイコンにチェックマークが表示されます。
	自動回転	ファイルが自動回転された場合、サムネイルに自動回転のオーバーレイアイコンを表示します。
	編集済み	編集されたファイルのサムネイルに、編集のオーバーレイアイコンを表示します。
	現像済み	現像されたファイルのサムネイルに、現像のオーバーレイアイコンを表示します。
	ジオタグ済み	位置情報が付けられたファイルのサムネイルに、マーカーのオーバーレイアイコンを表示します。
	ラベル	ラベルが付けられたファイルのサムネイルに、カラーラベルのオーバーレイアイコンを表示します。
スナップショット	ファイルに現像スナップショットが添付されている場合、サムネイルにスナップショットのオーバーレイアイコンが表示されます。	



オーバーレイアイコンを表示するには、[\[ファイル一覧ペインでファイルを参照\]](#)に移動します。

サムネイルのスタイルオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内に表示された画像のサムネイルの表示方法を変更できます。これらのオプションは、[\[ファイル一覧\]](#) > [\[サムネイルのスタイル\]](#) の下で設定されています。

サムネイルのスタイル オプションを設定するには:

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] から [サムネイルのスタイル] をクリックします。
3. 「サムネイルのスタイル」のページで、下記を参考に設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

サムネイルのスタイルオプション

サムネイルのフレーム	ドロップシャドウの表示	サムネイルに3Dのドロップシャドウを追加します。
	スライド背景の表示	サムネイルとその情報の背景に、シェードの付いた背景を表示します。
フォルダのスタイル	XPスタイル	Microsoft XP for Windowsのスタイルでフォルダを表示します。
	3Dスタイル	透明度の付いた3Dスタイルでフォルダを表示します。
サムネイルの比率	カスタム	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルの縦横比をカスタム設定します。スライダをドラッグして比率を設定します。スライダを動かすと、プレビューの形が変化します。
	縦	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、縦向きの標準縦横比3:4を指定します。
	横	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、横向きの標準縦横比4:3を指定します。
サムネイルの間隔	スライダ	各サムネイル間の間隔を増減します。
高画質な拡大縮小	ファイル一覧ペイン内のサムネイルを高画質で拡大縮小して表示します。	

詳細表示オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。

詳細表示オプションを変更するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]> [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] から [詳細表示] をクリックします。
3. 「詳細表示」のページで、下記を参考に設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

詳細表示オプション

グリッドラインを表示する	「詳細」表示モードの行と列を、グリッドラインで区切ります。
行全体を選択する	行のヘッダーをクリックすると、行全体が選択されます。
列幅を自動調整する	内容に合わせて列の幅を自動調整します。
並べ替えに使用された列をハイライトする	列のタイトルをクリックすると、ファイルの並べ替えに使用された列をハイライトします。
詳細表示の設定	「詳細」表示モードで、ファイルの並べ替えに使用する列を指定します。

プレビュー ペイン オプションを設定する

プレビュー ペインでは、画像の表示方法を指定することができます。ACDSee また、プレビュー ペインでオーディオやビデオファイルを表示する際、自動再生するように設定することも可能です。

プレビュー オプションを設定するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理]モードで、[ツール]>[オプション]>[プレビュー...]をクリックします。
 - [管理]モードで、プレビュー ペイン内の任意の場所を右クリックし、[プレビュー オプション]を選択します。
- 「プレビュー」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
- [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

プレビュー オプション

間隔	ファイル 一覧ペインで画像を選択した後、プレビュー ペインに画像が表示されるまでの時間を指定します。
サイズ	選択された画像に対するプレビュー画像のサイズを指定します。
オーディオおよびビデオ クリップのプレビュー	ファイル 一覧ペインで選択されたメディア ファイルのプレビューを表示します。
オーディオおよびビデオ クリップの自動再生	プレビュー ペインでオーディオまたはビデオ クリップを自動再生します。
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタント プレビューを表示します。
画像と情報	次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 画像の表示: プレビュー ペインに、選択した画像のプレビューを表示します。 情報の表示: プレビュー ペインに、選択した画像の情報を表示します。 ヒストグラムの表示: 選択した画像のヒストグラムを表示します。
プレビュー情報の選択	プレビュー ペインで表示する情報の種類を指定します。詳細については、 [画像のプレビュー] の項を参照してください。

フォルダ ペイン オプションを設定する

イージーセレクト バーの表示 / 非表示、アーカイブの表示、隔離フォルダ識別を設定し、フォルダ ペインをカスタマイズすることができます。

フォルダ ペインをカスタマイズするには:

- いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
- [オプション] ダイアログ ボックスで、[フォルダ] をクリックします。
- 「フォルダ」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
- [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

フォルダ ペイン オプション

イージーセレクト	イージーセレクトを表示する	複数のフォルダを選択する際に便利なイージーセレクト バーをフォルダ ペインに表示します。
	イージーセレクトのツールチップを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ツールチップが表示されます。
フォルダ表示	フォルダ ペインにアーカイブを表示する	フォルダ ペインにアーカイブ ファイルを一覧表示します。
	フォルダ ペイン内で、ドラッグ & ドロップをする際に確認する	フォルダ ペイン内でフォルダが移動される際に、確認メッセージを表示します。
	除外されたフォルダのオーバーレイ アイコンを表示する	データベースから除外されたフォルダにオーバーレイ アイコンをACDSee 表示します。

カタログ ペイン オプションを設定する

カタログ ペインのオプションを使って、カテゴリの割り当て作業中に確認メッセージを表示するかを選択や、イージーセレクトバーの表示/非表示などを指定することができます。

カタログ ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[カタログ] をクリックします。
3. 「カタログ」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK]をクリックします。

カタログ オプション

カテゴリの削除	カテゴリにファイルが割り当てられているか確認する	割り当てられたファイルを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
	カテゴリにサブ カテゴリが含まれているか確認する	サブカテゴリを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
ファイルの削除	カテゴリからファイルを削除する際に確認する	カテゴリからファイルを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
イージーセレクト	イージーセレクトを表示する	複数の [カタログ]、[スペシャル アイテム]、[重要度] を選択することができるイージーセレクト バーが、カテゴリ ペインに表示されます。
	イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ツールチップが表示されます。
アイコン	カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテム用にアイコンを表示する	カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテムのアイコンが表示されるため、これらの適用されたファイルが識別しやすくなります。
	カテゴリ、重要度カラーラベル、特別項目用にアイコンを表示する	カタログ ペインでカテゴリ、重要度、カラーラベルを設定可能にします。

カレンダー ペイン オプションを設定する

カレンダーをカスタマイズして ACDSee 各週を特定日で開始させたり、12 時間または 24 時間時計を使用したり、ファイルを並べ替える際に使用する日付の種類を選択したりすることができます。

カレンダー ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [カレンダー] をクリックします。
3. 「カレンダー」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

カレンダー ペイン オプション

日付の種類	データベースの日付	データベースに保存されている日付に基づいて、カレンダー ペインでファイルを ACDSee データベース 。
	撮影日	各項目のEXIFの日付に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	ファイル更新日時	各項目の最終更新日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	ファイルの作成日時	各項目がコンピュータで作成された日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
フィルタ	アドバンス ファイラー 一覧フィルタの適用 (フォルダの除外)	ファイラー 一覧ペインでの現在の フィルタ設定 内容に基づいて、カレンダー ペインに表示されたアイテムをフィルタします。
	画像とメディア ファイルのみ表示	画像、オーディオ、ビデオ ファイルのみをカレンダー ペインで表示します。
週の始まり	カレンダー ペインで使用する週の開始日を指定します。	
時計の表示形式	12時間	カレンダー ペインで12時間時計を使用します。
	24時間	カレンダー ペインで24時間時計を使用します。

CD/DVD管理オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用してフォトディスクを識別する際に優先して適用する方法を設定できます。

Burn Basketや変更するには以下の手順を実行します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで [CD/DVD管理] をクリックします。
3. 「CD/DVD管理」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

CD/DVD管理オプション

フォトディスクのID	ディスクのボリューム ラベルを使用する	ディスクのボリュームラベル別にフォトディスクを識別します。マルチセッションのフォトディスクで作業する場合には、この設定を選択します。
	ディスクのシリアル番号を使用する	ディスクのシリアル番号別にフォトディスクを識別します。シングルセッションのフォトディスクで作業する場合、あるいは ACDSeeの以前のバージョンからフォトディスクをインポートまたは変換する場合には、この設定が推奨されます。

プロパティ ペイン オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、プロパティ ペインのメタデータ タブに表示する情報をカスタマイズすることができます。

プロパティ ペインにメタデータ タブを追加するには:

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [プロパティ ペイン] をクリックします。
3. [プロパティ ペイン] ページから、[タグ、重要度、カラーラベルを表示する] のチェックボックスを無効にします。
4. [カテゴリを表示する] のチェックボックスを無効にします。
5. [メタデータ表示の管理] をクリックして[表示するメタデータの選択] ダイアログボックスを表示します。

6. [+]マークをクリックしてツリーを展開し、希望する項目を選択します。
7. [OK]をクリックします。
8. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。



プロパティペインのメタデータタブにある[メタデータの表示]ドロップダウンリストをクリックして、[メタデータ表示の管理]を選択することもできます。

ファイル管理オプションを設定する

ファイルとフォルダの ACDSee 名前変更と削除の方法、および削除したファイルを ACDSee デスクトップのごみ箱に送信する設定を既定とするかどうかを指定できます。

ファイル管理オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [ファイル管理] をクリックします。
3. 「ファイル管理」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ファイル管理オプション

確認	以下のオプションを使用すると、フォルダまたはファイルの削除時に確認ダイアログを表示できます。 Windows 8以降を使用している場合、Windowsの設定がACDSeeの設定を上書きまたは確認します。このダイアログの設定を有効にするには、ごみ箱のプロパティ設定で有効にする必要があります。	
	<ul style="list-style-type: none"> • フォルダの削除を確認する • ファイルの削除を確認する 	
重複ファイルの上書き	確認する	ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。
	名前の変更	ファイルを移動またはコピーする際に、ソースファイルの名前を変更することによって、名前の重複を自動的に対処します。ファイル名の自動変更システムでファイル名を分離する際に使用する文字を[分離文字]フィールドに入力します。
	置換する	確認メッセージを表示せずに、指定したフォルダのファイルを自動的に上書きします。
	スキップする	ファイル名が重複した場合、上書き、移動、コピーのいずれも実行されません。
オリジナルの保存	一括編集ツールの1つを使用して編集が行われる際、オリジナル ファイルを保存します。そのため、編集を行った後に気が変わり、元のファイルに戻したい、という場合に対応することができます。このオプションをオフに設定すると、一括編集ツールを使用する際、オリジナル ファイルが保存されないため、復元不可能となります。ご注意ください。 現像および編集モードでは、このオプションがオフに設定されていても必ずオリジナル ファイルが保存されます。	
その他	ファイル名をクリックして変更する	ファイル一覧ペインのファイル名をクリックするだけで、ファイル名を変更することができます。
	ごみ箱を使用する	デスクトップのごみ箱に削除したファイルを保存します。このチェックボックスがオンになっていない場合、削除したファイルはハード ディスクから完全に削除されます。
	ファイルをコピーするときに、データベース情報を保持する	ファイルを別の場所にコピーしても、そのファイルのデータベース情報が同時に保存されます。



フォルダの削除、ファイルの削除、読み取り専用ファイルの名前変更、削除の確認につきましては、お使いのオペレーティングシステムの設定をご利用ください。

カラーマネージメント オプションを設定する

カラー ACDSee マネージメント オプションを使うと、コンピュータ、モニタ、プリンタなどのデバイス間に生じるカラーマッチング問題を軽減できます。ACDSee はモニタに割り当てられたカラー プロファイルを自動的に検出します (オペレーティング システムで正しく設定されていることが必要)。カラーマネージメント用ハードウェア、ソフトウェアを使用してモニターのプロファイルを定期的にチェックすることをお勧めします。

カラーマネージメントの設定を変更する前に、各デバイス用のカラー プロファイルが正確であるか確認してください。デバイスのソフトウェアにプロファイルが含まれていない場合は、デバイスの製造元、あるいはプロの印刷業者に問い合わせプロファイルを手に入れてください。



カラーマネージメントは複雑な作業を伴います。カラーマネージメント システムに慣れていない場合は、ACDSee既定のカラーマネージメント設定を適用することをお勧めします。

ファイル管理オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [カラーマネージメント] をクリックします。
3. 「カラーマネージメント」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

カラーマネージメント オプション

有効	カラーマネージメントを有効にする	カラー マネージメントシステムを ACDSee と、このダイアログボックスのフィールドで有効にします。
	サムネイルに適用	サムネイルのカラーマネージメントを有効にします。
	カラー マネージメント エンジン	ドロップダウン リストから使用するカラー マネージメント エンジンを選択します。
入力	既定の入力プロファイル	画像にICCプロファイルがタグ付けされていない場合に使用する既定のカラー プロファイルを指定します。
	プロファイル詳細	現在コンピュータに格納されている、すべてのカラープロファイルの詳細が表示されます。スクロールして、sRGBなど特定の色空間用に指定されているカラープロファイルを探します。
ソフト ブルーフ	ソフト ブルーフを有効にする	モニターでブルーフをシミュレートしたいデバイスのプロファイルを選択することができます。プリンタのプロファイルをエミュレートするデバイスとして設定し、プリンタから出力されるであろうプレビューをモニターで確認することができます(ソフトブルーフ)。
	エミュレートされたデバイスのプロファイル	エミュレートするデバイスを選択します。
	レンダリングの方法	すべての色 が出力 デバイスの色空間に適合するわけではない場合の処理方法を選択します。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • 知覚: 画像全体の色すべてを圧縮することによって、出力色空間外にある色を再マップします。出力色空間の境界では彩度が失われます。 • 彩度: 色の彩度を保持しますが、色相と明るさが失われる可能性があります。画像が鮮やかで互いにコントラストをはっきりさせる必要があるグラフィックなど、ビジネスでの使用目的に最適です。 • 相対カラーメトリック: 色域外の色すべてを、色域内で最も近い色に置き換えます。出力デバイスのレンダリング可能範囲外の色は、出力デバイスの表示可能内の最も近い色に調整されます。 • 絶対カラーメトリック: 出力デバイスのレンダリング可能範囲外の色は、レンダリング可能な最も近い色に調整されます。ただし、ホワイト ポイントは移動しないため、ホワイトポイントとの距離は変更されません。



[表示]、[現像]、[編集]モードで、ショートカット【ソフトブルーフの有効/無効の切り替え】を使用します。



一部のソフトブルーフのメニュー項目は、表示、現像、編集モードでも利用できます。[表示]>[ソフトブルーフ]の下で、[好みのレンダリング]を選択したり[ソフトブルーフ]を有効にしたりできます。

データベース オプションを設定する

[オプション] ダイアログ ボックスでは、アラームを設定したり、データベース情報をコントロールしたり、データベース ファイルやサムネイル キャッシュの保存先を設定したりすることができます。

データベース オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの[データベース] をクリックします。

3. 「データベース」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

データベース オプション

データベース ファイル	ハードドライブ上で ACDSee <u>データベース</u> が保存されている場所を表示します。	
バックアップア ラームの表示	データベースのバックアップをアラームで自動的に ACDSee 知らせます。[間隔] ドロップダウン リストをクリックして、リマインダーを表示する頻度を選択します。	
除外されたフォルダの管理	[除外されたフォルダ] 一覧のダイアログ ボックスを開き、データベースから除外したいフォルダを ACDSee 指定します。	
ACDSeeメタ データの埋め 込みリマイン ダーを表示す る	ACDSeeメタデータの埋め込みを知らせるリマインダーが表示されます。[間隔] ドロップダウン リストをクリックして、リマインダーを表示する頻度を選択します。	
EXIFの日 付にデータ ベースの日 付を設定す る	フォルダの内容をカタログ化する際、ACDSee EXIFの日付がデータベースへ自動で追加されます。  注意: データベースの日付を変更した場合は、 <u>埋め込みが保留中</u> であることを示すアイコンは表示されません。	
メタデータ	カタログ化された ファイルからEXIFと IPTCメタデータを インポートする	フォルダの内容をカタログ化する際は常に、EXIFおよびIPTCの情報を自動的に ACDSee データベースへインポートします。 このオプションが選択されない場合、ACDSee EXIFとIPTC情報はインポートされませんが、データベースの履歴内に格納されます。空の履歴を削除するには、 <u>データベースの最適化</u> を頻繁に行ってください。
	ファイルヘタグ付け する時に [埋め込 み保留中] を設 定する	ファイルがタグ付けされると、データベースのオーバーレイ アイコンを表示しますが、メタデータはまだファイルに書き込まれません。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。このオプションが無効の時は、カタログ ペインのスペシャルアイテムにある [埋め込み保留中] の下にタグ付けした画像は表示されません。
IPTCコンフリ クト	IPTCキーワード 用に分離文字の コンフリクトダイア ログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTCキーワード ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。
	IPTCの補充カテ ゴリ用に分離文字 のコンフリクトダイ アログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC補充カテゴリ ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。

写真モードのオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスで設定を調整して、[写真] モードに表示されるファイルとその表示方法を決定できます。

[写真] モードのオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで **[写真モード]** をクリックします。
3. [写真] モードのページで次のようにオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

写真モードオプション

写真	データベースの オーファン ファイル を表示する	[データベースのオーファンファイルを表示]を選択すると、オーファンとしてフラグ付けされた紛失ファイルが表示されます。オーファンはセピア色で表示されます。
スクロール中にナビゲーション サムネールを表示する	スクロール中にナビゲーション サムネールを表示する	アニメーションでポップアップ表示されるナビゲーションサムネールを有効化または無効化します (スクロール中サムネールに日付が表示されます)。このオプションは、大量の写真コレクションをスクロールするユーザーが現在の位置を把握するのに役立ちます。
 このオプションは、スクロールバーを使っていて、必要な写真のエリア/日付範囲で一時停止した場合にのみ機能します。		
サムネールの日付を並べ替える	サムネールを古い順に表示するか新しい順に表示するか選択します。	
ポップアップ	マウスをファイル一覧の項目の上に置いた時ポップアップを表示する	サムネール上にマウスを置くと表示されるアニメーションのポップアッププレビューを有効化または無効化します。
<Shift> キーでポップアップを有効にする	<Shift> キーでポップアップを有効にする	サムネール上にマウスのカーソルを合わせたままで Shift キーを押しっぱなしにした場合にのみ、ポップアップが有効になります。
ポップアップを自動的に隠す	ポップアップを自動的に隠す	画像上にマウスが置かれていても、5秒ポップアップを表示した後、自動的に隠します。
サムネールのポップアップを表示する	サムネールのポップアップを表示する	マウスが置かれると、画像のポップアッププレビューを表示します。
ポップアップに情報を表示	ポップアップに情報を表示	マウスが置かれたときのポップアップにファイル情報を含めます。[ファイル情報の設定...] ボタンをクリックして必要なポップアップ情報を選択することで、表示する情報を選択できます。

表示モードのオプションを設定する

[オプション] ダイアログ ボックスを使用して、表示モードの動作を自由に調整したり、画像を表示する速度を速めたりすることができます。

表示モード オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [表示モード] をクリックします。
3. 「表示モード」オプションのページで、下記を参考にして表示モード オプションを変更または設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

表示モード オプション

デコード/キャッシュ	次の画像を前もってデコードする	表示モードで表示される次の画像を自動的にデコードするため、ロードする時間の短縮に繋がります。
	以前の画像をメモリに保存する	表示モードですばやく表示されるように、以前デコードした画像をメモリに保存します。
起動ファイル	一覧の画像を置換する	画像が他のアプリケーションで表示されている場合、新規の表示モード ウィンドウで表示しません。
	画像を新規ウィンドウで表示する	他のアプリケーションで表示されている画像を、新規の表示モード ウィンドウで開きます。
ドロップ ファイル	一覧の画像を置換する	表示モードで表示されている画像の一覧を、他のアプリケーションから表示モードに移動した画像に置き換えます。
	一覧に画像を追加する	他のアプリケーションから表示モードに移動した画像を、表示モードで既に表示されている画像の一覧に追加します。
常に手前に表示する	常に手前に表示する ACDSee ウィンドウを、重なったウィンドウの手前に常に表示します。	
フルスクリーンにする	表示モードで、画像をフルスクリーン モードで表示します。(F キーを押してフルスクリーン モードを終了します。)	
フルスクリーンでマウスポインタを隠す	フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。	
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタント プレビューを表示モードに表示します。	
ACDSeeクイックビューを使用する	選択すると、ACDSee クイックビュー は、ACDSee が閉じている際の既定の画像ビューアとして設定されます。	
100%より拡大した場合にピクセルを表示する	100%を超えて拡大した画像にはリサンプリングは適用されません。このオプションが無効の場合、100%を超えて拡大した場合もリサンプリングを行って画像を滑らかにしますが、画像がぼける場合があります。	
常に選択した自動レンズで開く	起動時に、ACDSeeを前回終了する前に選択していた自動レンズで画像を開きます。	
削除/移動後に終了する	表示モードの画像を移動 / 削除した後に、自動的に管理モードに戻ります。	
フォルダ内のすべての画像を表示する	フォルダ内のすべての画像が現行の画像の一覧に追加されます。	
画像ファイルの完全なパスを表示する	表示モードのタイトルとステータスバーに、画像ファイルの完全なパスを表示します。	
サブサンプル済画像のシャープネス	100%より小さくズームされた画像を、シャープネスを自動的に適用して表示します。	

表示オプションを設定する

オプション ダイアログボックスを使用して、ウィンドウの背景を変更したり、ズームの方法を指定したりすることができます。

表示オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]> [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[表示] をクリックします。
3. [表示] オプションのページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

表示オプション

ズーム オプション	ズームモードの既定値	表示モードで表示される画像用に、 ズームレベル の既定値を指定します。
	画像の変更時に、ズームレベルを既定値にリセットする	表示される画像が変更されるたびに、ズームモードを指定した既定値にリセットします。
	サイズ変更	設定されたオプションに基づいて画像のサイズを変更します。これらの選択肢がどのようにビューアに影響するかについての詳細は、 画像を自動的に拡大/縮小する をご覧ください。
パンツール	クリックズームを使う	このオプションが有効の場合、マウスのクリックで、既定の表示サイズと原寸表示を切り替えます。
パンニング速度	低速 - 高速	画像をパンする際の速度を指定します。
背景	既定色	表示、現像、編集モードの背景に既定色 ACDSee を使用します。
	カスタム色	表示、現像および編集モードの背景に使用する色を指定します。
	並列画像	表示、現像および編集モードの背景に並列画像を使用します。 [参照] をクリックして、ハードディスク上にある画像を選択します。



背景色と並列画像のオプションは、フルスクリーンモードには反映されません。



ACDSee クイックビューの背景色を変更するには、[クイックビューで画像を開き](#)、[ツール] メニューから [\[オプション\]](#) をクリックします。

現像および編集モードオプションの設定

オプションダイアログボックスを使用して、現像および編集モードのオプションを設定することができます。

現像および編集モードのオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...] をクリックします。
2. オプション ダイアログボックスで、[現像モード] または [編集モード] をクリックします。
3. 以下の説明を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

現像および編集モードオプション

編集	<p>フィルタ メニュー ペインのアイコンを表示</p> <p>すべての変更を自動保存する</p>	<p>編集で、ツールのそばにアイコンを表示します。</p> <p>[自動保存]のオンとオフを切り替えます。[自動保存]は、[変更を保存]ダイアログを表示せずに、編集モードで変更を自動的に保存します。</p> <p> 自動保存はRAW画像には使用できません。</p>
	GPU選択	<p>最適なパフォーマンスを実現するため、[編集]モードの一部はGPUから実行されます。ACDSeeによってシステム内の最高のGPUが自動的に選択されます。この[ACDSee Photo Studioに任せる]のオプションは、デフォルトで有効になっています。[ACDSee Photo Studioに任せる]が有効になっていると、オプションの隣にGPUモデルのテキストが表示され、[編集]モードをプライマリGPUもしくはその他のより高性能なGPUからACDSee実行するのかが示されます。ほとんどの場合、ACDSeeによって検出され、最高の性能を持っていると判断されるGPUは、プライマリGPUです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プライマリを使用: 選択されたGPUではなく、自分のプライマリGPUを使用したい場合は、このオプションをACDSee有効にします。 • ACDSee Photo Studioに任せる: 以下で見つけたより高性能なGPUを使用するにはこのオプションを選択します。ACDSee.
	<p>記録したアクション フォルダ</p> <p>Adobe® Photoshop® プラグインのパス</p>	<p>アクション スクリプト (自分の記録)が保存されているハードドライブ上の場所へのパスが表示されます。[参照] ボタンをクリックして、ハードドライブ上の新しい場所を指定します。</p> <p>Photoshop® プラグインがあるハードディスク上の場所へのパスが表示されます。これによってプラグインがACDSeeどこにあるかを示します。できれば、Photoshop® プラグインがすでに保存されている場所のパスを指示するようにしましょう。</p> <p>場所を変更または追加するには、[追加] を押して場所を参照し、場所を選択後に[フォルダを選択] を押します。</p> <p> ウィンドウが複数開いている場合、プラグインのパスをACDSee変更することはできません。</p> <p>場所を削除するには、対象の場所を選択して[削除] を押します。</p> <p>一覧表示された場所にプラグインを移動するには、場所を選択して[フォルダを開く] を押します。これでプラグインをフォルダにドラッグできます。</p>
現像	<p>現像モードのRAWファイルは、クイック切り替えを有効にする</p> <p>現像モードの調整を自動保存</p>	<p>現像モードでRAWやその他の非エンコードファイルをクイック表示するため、次の画像に切り替える際に処理が終わるまでしばらく待つ必要がありません。現像モードを終了した後もバックグラウンドタスクとして処理され、画像処理をより高速に行うことができます。このオプションを非選択にすると、エンコード不可の画像は一度に1枚ずつ処理され、処理の結果を即座に見ることができます。しかし、他の画像に移るごとに、画像処理を待たなくてはなりません。</p> <p>現像内で画像を自動保存するため、次の画像に切り替える際、現在の画像を保存するかなどのメッセージが表示されません。このオプションによって、多くの画像を迅速に現像し、変更を自動的に保存します。このオプションを非選択にすると、新しい画像に移るごとに、現在の画像を保存するかどうか確認します。現在のファイルに変更を保存するか、画像のコピーを保存するか、変更を破棄するかを選択できます。</p>

! 自動保存はRAW画像には使用できません。

ルーラーとガイドラインのオプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して、編集モードでルーラーとガイドラインを設定できます。

ルーラーとガイドラインのオプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[編集モード]>[ルーラーとガイドライン]をクリックします。
3. 以下の説明を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ルーラーとガイドラインのオプション

ガイドライン	カラー	ガイドラインの色を選択します。
ルーラー	DPI	レイヤーのピクセル値を1インチあたりのドット数で除算して、ルーラーのスケールを決定します。
	EXIFメタデータから解像度を読み込む	[プロパティ]ペインの[ファイル]タブにある[画像の属性]セクションの[解像度(PPI)]フィールドの値を使用します。  DPIフィールドは、レイヤーのEXIFメタデータのDPIに準じて動的に更新はされません。ただし、このチェックボックスを有効にすると、EXIFメタデータ値がDPIフィールドの値を上書きします。
単位	ルーラーの測定単位を以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • インチ • センチメートル • ピクセル • パーセント 	

ACDSee 365オプションを設定する

[ACDSee 365オプション]ダイアログを使って、一時フォルダの場所、ACDSeeを閉じる際ダウンロードおよびアップロードの操作をどうするか、などのオプションを設定します。

ACDSee 365オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスの[ACDSee 365]をクリックします。
3. 「ACDSee 365」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee 365オプション

フォルダの場所	一時フォルダ	[参照] ボタンをクリックして、アップロードおよびダウンロード中に ACDSee が一時的にファイルを保持するフォルダの場所を変更します。
アップロード/ダウンロード	シャットダウンする際、すべての転送を一時停止する	ACDSeeを閉じる際、転送作業を一時停止します。
	起動する際、一時停止されたすべての転送を再開する	ACDSeeを再度起動する際、転送作業を再開します。
	同時アップロード数 (1-10 まで)	同時にアップロードするファイル数を選択します。
	同時ダウンロード数 (1-10 まで)	同時にダウンロードするファイル数を選択します。
重要度	重要度 1 を 5 に変換	重要度 1を5つ星表示に変換します。
	重要度 1 を 1 に変換	重要度 1を1つ星表示に変換します。

ACDSee Showroomオプションを設定する

ACDSee Showroomデスクトップ スライドショーは、スライドの表示間隔、順序、移行、フレームの不透明度、サイズ、フレーム スタイルなどを指定することで、自由にカスタマイズできます。

ACDSee Showroomデスクトップ スライドショーは、以下の手順でカスタマイズします:

- 以下に挙げる手順いずれかを実行して、ACDSee Showroomを起動します。
 - いずれかのモードで、[ツール] > [作成] > [ACDSee Showroom] をクリックします。
 - [スタート] > [プログラム] > [ACD Systems]、[ACDSee Showroom] をクリックします。
- ACDSee Showroomウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、[オプション] を選択します。
- 以下を参照して、オプションを選択または変更します。
- 現在選択されているオプションを新規 Showroomウィンドウの既定値として保存するには、[既定値として設定] をクリックします。
- [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSee Showroomのオプション

画像フォルダ	サブフォルダを含む	スライドショーにサブフォルダの画像も含みたい場合には、このオプションを選択します。
	隠しファイルはスキップする	[オリジナル] フォルダのように、画像処理を実行する際に作成される隠しフォルダをスキップしたい場合には、このオプションを選択します。
スライド	長さ	各写真の表示時間を短くするにはスライドを左に、長くするにはスライドを右にドラッグします。
	順序	ドロップダウンから、[順次] を選択して写真を順番に表示するか、[ランダム] を選択してランダムに表示します。
	トランジション	[トランジション] ドロップダウンから、トランジション効果を使用しない場合には [なし] を、画像を右から画面に登場させ左へと移動させる場合には [スライド] を、次の画像に移る際に現在の画像の透明度を徐々に上げるには [フェード] を選択します。
	すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、[すべてに適用] を選択します。
Showroomウィンドウ	不透明度	Showroomウィンドウの不透明度を減らすにはスライドを左に、不透明度を増やすにはスライドを右にドラッグします。
	サイズ	[サイズ]ドロップダウンから、Showroomウィンドウのフレームサイズを [スモール]、[ミディアム]、[ラージ] のいずれかから選択します。
	フレーム	[フレーム]ドロップダウンから、フレームのスタイルを選択します。
	常に手前に表示する	Showroomウィンドウをその他すべてのアプリケーションの上に表示するには、[常に手前に表示する] を選択します。
	すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、[すべてに適用] を選択します。
起動時に実行する	コンピュータの起動時にACDSee Showroomを自動的に起動するには、[起動時に実行する] を選択します。	

ACDSee クイックビュー オプションを設定する

ACDSee クイックビュー は何通りかの方法でカスタマイズできます。クイックビューを開いているウィンドウいずれかの上に表示したり、クイックビューをフルスクリーンで表示したりすることもできます。また、クイックビュー ウィンドウの背景色を変更することも可能です。

ACDSee クイックビュー は以下の手順でカスタマイズします：

1. 画像をダブルクリックします。例えば、Windowsエクスプローラ内またはメールに添付された画像をダブルクリックします。
2. [ツール]から[オプション...]をクリックします。
3. 以下を参照して、オプションを選択または変更します。
4. [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSee クイックビュー オプション

ACDSee クイックビュー を使用する	選択すると、ACDSee クイックビュー は、ACDSee が閉じている際の既定の画像ビューアとして設定されます。
ガンマ補正	画像を表示する際に、指定されたガンマ補正値を適用します。
アニメーションを無効にする	動画ファイルの最初のフレームだけを表示します。
常に手前に表示する	重なったウィンドウの手前に常にクイックビュー ウィンドウを表示します。
フルスクリーン	クイックビュー ウィンドウで、画像をフルスクリーン モードで表示します。
マウスポインタを隠す	フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。
ズームモードの既定値	画像に合わせる: クイックビュー ウィンドウに収まる最大の倍率で画像を拡大して表示します。クイックビュー ウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。 実寸表示: クイックビュー ウィンドウで画像を実寸サイズで表示します。
背景	既定色: クイックビュー の ACDSee 背景色を使用します。 カスタム色: クイックビュー ウィンドウの背景として使用する色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

メディア オプションを設定する

ACDSeeから起動するオーディオ ファイルおよびビデオ ファイルを処理するアプリケーションを変更できます。

ACDSeeで起動するファイルに使用する既定のメディア プレーヤーは、以下の手順で変更します:

1. いずれかのモードで、[ツール]> [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[メディア] をクリックします。
3. 音楽ファイルや動画ファイルをお使いのシステムの既定のメディア プレーヤーで開くには、[既定のメディア プレーヤーで音楽、動画ファイルを開く]オプションにチェックを入れます。
4. [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSeeインデクサー オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスで、ACDSeeインデクサーの機能をカスタマイズできます。

ACDSee インデクサーは以下の手順でカスタマイズします:

1. いずれかのモードで、[ツール]> [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[ACDSeeインデクサー]をクリックします。
3. ACDSeeインデクサーのページで、以下の説明に従ってオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSeeインデクサー オプション

コンピュータが次の時間以上アイドルした 場合、フォルダまたは画像を自動でインデックスする	コンピュータのアイドル中にフォルダまたは画像のインデックスが実行されます。インデックスが開始されるまでのコンピュータのアイドル時間を、スライダで設定します。
画像ファイルのみをインデックスする	ACDSeeが対応しているファイルタイプすべての選択を解除します。
現在のデータベース	インデックスするデータベースを表示します。
モニタリングするフォルダ	インデックスされるフォルダを表示します。
フォルダの追加...	[フォルダの追加...]ボタンをクリックして、インデックスしたいフォルダをさらに追加します。
フォルダの削除	リストでフォルダを選択し、[フォルダの削除]ボタンをクリックすると、インデックスされるフォルダから対象のフォルダを削除できます。
Microsoft OneDriveを含む	OneDriveフォルダのインデックス作成を有効にします。

ACDSee PicaViewオプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して、ACDSee PicaViewの設定を変更したり、PicaViewの有効/無効を切り替えたりできます。

ACDSee PicaView オプションは以下の手順で調整します：

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、**ACDSee PicaView**をクリックします。
3. ACDSee PicaViewページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [**OK**]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee Picaviewオプション

ACDSee Picaview を有効にする このチェックボックスをオンまたはオフにすると、ACDSee PicaViewが有効または無効になります。有効にすると、ACDSeeに対応したファイルをハードドライブ内のどこでも右クリックすることで ACDSee PicaViewを表示できます。ファイルや画像および EXIF情報のプレビュー表示、または画像ファイルのプレビューだけ、EXIF情報のプレビュー表示だけ、など選択できます。

画像の表示	画像の表示 チェックボックスをオンにすると、右クリックしたファイルのプレビューが表示されるようになります。
場所	<ul style="list-style-type: none"> • 画像をメインメニューに追加する: 右クリックした画像がメインメニューに表示されます。 • 画像をサブメニューに追加する: 右クリックした画像がサブメニューに表示されます。サブメニューは ACDSee PicaView横の矢印をクリックすると表示されます。
サイズ	右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。
オリジナルの表示	[オリジナルの表示]を選択すると現像前または編集前の画像が右クリック時に表示されます。
EXIF情報を表示	[EXIF情報を表示]チェックボックスのオンとオフを切り替えると、右クリックした写真のEXIF情報についての表示状況を設定できます。

ACDSee Mobile Syncオプションを設定する

ACDSee Mobile Sync設定を変更するには、オプション ダイアログボックスを使用します。

ACDSee Mobile Syncオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[ACDSee Mobile Sync]をクリックします。
3. ACDSee Mobile Syncのページで、下記のようにオプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee Mobile Syncオプション

ルート フォルダ	[フォルダを参照] ボタンをクリックして、送信済みの画像とビデオの保存先を指定します。
サーバー名	送信先サーバー(PCのACDSee)の名前をカスタマイズするには、フィールドにテキストを入力してください。この名前が、ACDSee Mobile Syncアプリの送信先一覧に表示されます。
フォルダツリーにACDSee Mobile Syncのルート フォルダを表示する	フォルダペインにACDSee Mobile Syncのフォルダを表示します。

文書ファイルの種類オプションを設定する

[オプション]ダイアログを使用して、ドキュメント ファイルの種類を開く方法をカスタマイズできます。

文書ファイルの種類についてのオプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[文書ファイルの種類]をクリックします。
3. [文書ファイルの種類]ページで、各ドキュメント ファイルの種類のあるチェックボックスを有効または無効にします。ファイルの種類チェックボックスが有効になっていると、管理モードでファイルをダブルクリックまたは選択するかEnterを押すと、対象のファイルの種類が表示モードで開きます。ファイルの種類チェックボックスが無効になっていると、管理モードでファイルをダブルクリックまたは選択するかEnterを押すと、関連するアプリケーションで対象のファイルの種類が開きます。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee を複数のモニタで使用する

セカンドモニタを使用したデュアルモニターの場合でも、ACDSeeを使えば両方のモニター上で同時に画像を表示、調整が可能です。そうすれば作業の効率が上がり、保存した画像を参照しながらその画像を調整することができます。



ACDSeeを表示したいモニタを切り替える時は、ACDSeeをそのモニタヘドラッグするだけです。

セカンドモニタで ACDSee を使用する方法:**管理モード**

1. 管理モードで画像を選択します。
2. [表示]>[セカンドモニタ]をクリックします。選択した画像がセカンドモニタで開きます。



ダブルクリックするだけで、フルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

表示モード

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [表示] > [セカンドモニタ:ファイル一覧]をクリックします。フルスクリーンのファイル一覧がセカンドモニタで開きます。
 - [表示] > [セカンドモニタ:画像]をクリックします。選択した画像がセカンドモニタで開きます。



ダブルクリックするだけで、画像またはファイル一覧のフルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

現像および編集モード

1. 画像を現像または編集モードで開いて、次の操作を行ってください:
 - [表示] > [セカンドモニタ:画像]をクリックします。保存してある選択画像がセカンドモニタで開きます。この画像は現像または編集モードで加工を加える画像のライブプレビューではありません。元の画像と比較しながら加工や処理を進めることができます。
 - [表示] > [セカンドモニタ:ファイル一覧]をクリックします。フルスクリーンのファイル一覧がセカンドモニタで開きます。



ダブルクリックするだけで、画像またはファイル一覧のフルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

カスタム作業領域を作成する

ユーザーの好みやACDSeeで頻繁に使用するタスクに基づいて、管理モードの作業領域を作成したり、保存したりすることができます。例えば、編集用、整理用、参照用の各作業領域を、ユーザーが使いやすいようにツールとペインを配置して作成/保存できます。

カスタムの作業領域を作成/保存するには:

1. 特定のペインを表示/非表示にしたり、ペインの移動とドッキングをしたり、ペインを重ねて表示したり、ペインのサイズを変更したりして、管理モードの作業領域を変更します。
2. ペインのレイアウトに満足したら、[表示]メニューから[作業領域]そして[作業領域の管理]をクリックします。
3. [作業領域の管理]ダイアログボックスで、[作業領域の保存]をクリックします。
4. その作業領域に使用する名前を入力し、[OK]をクリックします。
5. [OK]をクリックします。

保存済みの作業領域をロードするには:

1. 管理モードで、[表示]、[作業領域]をクリックします。
2. 保存済みの作業領域の名前を選択します。

既定の作業領域に戻すには:

管理モードで、[表示]、[作業領域]、[既定の作業領域]をクリックします。

ペインとパネルを自動非表示にする

自動非表示ボタンを使用して、ACDSee内のパネルやペインを自動的に隠すことができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン領域外をクリックするとペインがロールアップされ、タブが表示されます。タブ上にマウスポインタを移動すると、ペインが再表示されます。ペインやパネルが固定されていない場合、自動非表示機能は使えません。また、自動非表示に設定されているペインを移動することはできません。

ペインのタイトルバーに表示されている自動非表示ボタンは、現在の設定を表示します:

- 水平に刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックすると自動非表示になるように設定されていることを示します。
- 斜めに刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックしても場所が固定され常に表示されることを示します。

自動非表示を設定 / 解除するには:

パネルのタイトルバーにある [自動非表示] ボタンをクリックし、水平または斜めの画びょうのアイコンを表示します。

タスクペインを使用する

タスクペインは、ACDSeeにおける現在のロケーションや選択範囲に基づき、メニューやツールバーで頻繁に使用するタスクグループを設定し、表示します。タスクペインは通常、管理モード ウィンドウの右手に開かれます。

タスクペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、[ペイン] から [タスクペイン] をクリックします。

タスクペインのメニューは、作業中の管理モードの領域や、選択している項目によって変わります。例えば、ファイル一覧リストで複数のフォルダを開いている場合、タスクペインには1つの画像またはメディアファイルを開いている場合とは異なるメニューが表示されません。

また、タスクペインメニューのオプションも動的に変化します。例えば、ファイル一覧で複数の画像を選択している場合、複数の画像に使用できるオプションの一覧が [画像の補正と修整] メニューに表示されます。

ツールバーをカスタマイズする

表示するツールバーと、ツールバーの各ボタンやコマンドを指定することで、管理モードと表示モードのツールバーの外観と構成をカスタマイズすることができます。また、変更を破棄して、既定のレイアウトにいつでもリセットすることができます。

ツールバーを表示/非表示にする

管理モードと表示モードでは、特定のツールバーの表示/非表示を選択することができます。

ツールバーを表示 / 非表示にするには

- 管理モードまたは表示モードで、[表示] > [ツールバー] をクリックし、表示または非表示にするツールバーを選択します。

ツールバーの内容をカスタマイズする

次のツールバーをカスタマイズすることができます。

- 管理モード: メイン ツールバーとファイル一覧ツールバー。
- 表示モード: 画面下のツールバー

これらのツールバーでは、ボタンの追加、削除、並び替えができます。これらのツールバーのボタンについてのテキストラベルやヒントも表示/非表示にすることができます。ツールバーのカスタマイズ オプションはすべて、[カスタマイズ] ダイアログボックスにあります。

[カスタマイズ] ダイアログボックスを表示するには

以下のいずれかの操作を行います。

- 管理モードで、[表示] > [ツールバー] をクリックし、[カスタマイズ] を選択します。
- 管理モードで、メイン ツールバーまたはファイル一覧ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除] を選択し、[カスタマイズ] を選択します。

- 表示モードで、画面下のツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除]を選択し、[カスタマイズ]を選択します。

ボタンを追加または削除するには

管理モード:

メイン ツールバー:

1. メイン ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [ボタンの追加または削除] > [メイン ツールバー]を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択します。

ファイル 一覧ツールバー:

- [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを開いた状態で、コマンド タブでコマンド フィールドから項目をツールバーにドラッグすると、ボタンが追加されます。
- ボタンを削除するには、ツールバーから[カスタマイズ]ダイアログ ボックスにドラッグします。

表示モード:

画面下のツールバー:

1. 画面下のツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [ボタンの追加または削除] > [画面下のツールバー]を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択します。

ツールバー ボタンを並び替えるには

[カスタマイズ]ダイアログ ボックスを開いた状態で、ツールバーの配置したい位置へボタンをドラッグします。

[ツールバー] ボタンの下のラベルを表示 / 非表示にするには

1. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを表示します。
2. [ツールバー] タブをクリックします。
3. 管理モード: [ファイル 一覧ツールバー]または[メイン ツールバー]を選択します。
表示モード: [画面下のツールバー]を選択します。
4. [テキスト ラベルを表示する]チェックボックスを選択してテキスト ラベルを表示させるか、[テキスト ラベルを表示する]チェックボックスを解除してテキスト ラベルを非表示にします。
5. [閉じる]をクリックします。

ツールバー ボタンのワンポイントを表示 / 非表示するには

1. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを表示します。
2. [オプション] タブをクリックします。
3. [ツールバーにワンポイントを表示する] を選択してワンポイントを表示するか、[ツールバーにワンポイントを表示する] をクリアしてワンポイントを非表示に設定します。このオプションを選択すると、[ワンポイントにショートカット キーを表示する] オプションを選択して、ワンポイントにショートカット キーを表示することができます。
4. [閉じる]をクリックします。

ツールバーをリセットする

すべての変更を破棄して、既定のツールバーとボタンに戻すことができます。

ツールバーをリセットするには

1. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを表示します。
2. [ツールバー] タブでをクリックしてから、[すべてリセット] を選択します。
3. [はい] をクリックして、ツールバーをリセットします。
4. [閉じる]をクリックします。

ツールバーとペインの位置をカスタマイズする

ほとんどのツールバーおよびペインは、好みに合わせて、非表示、サイズ変更、フロート、移動、固定することができます。管理モードで使用方法をカスタマイズするすべての方法を見るには、[\[管理モードを使用する\]](#) を参照してください。

ペインを非表示にする

管理、表示、現像、編集モードの右上部にある表示/非表示ボタンを使用して、スクリーンの左、右、下部にあるペインを表示/非表示することができます。

左側のパネルの表示/非表示



下部のパネルの表示/非表示



右側のパネルの表示/非表示



表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する

ペインやツールバーを、固定位置または現在のフロート位置から、新しい場所に移動することができます。

ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを移動するには:

1. 移動したいペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- ペインまたはツールバーのタブを新しい場所にドラッグします。
- ペインまたはツールバーのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。
- デュアル モニタをご利用の場合、ペインやツールバーをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する

ペインやツールバーを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを固定するには:

ペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、すべてのペインおよびツールバーはサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインまたはツールバーの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが両側に矢印が付いた線になるまで待ちます。
2. ペインまたはツールバーの外枠をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインまたはツールバーの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドして、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。



表示、現像、編集モードで、フォルダ内の参照を手早く片付けるために、フィルムストリップを拡大することができます。フィルムストリップのサイズを変更するには、外枠の一部をドラッグしてください。



ACDSee アクションバー、カラー ペイン、さらに描画および選択 ツールバーは切り離して移動することができます。

カスタムメニューを作成する

カスタマイズしたコマンドに素早くアクセスできるように、管理モードで新規メニューを作成できます。作成した新規メニューの名前や場所をカスタマイズすることもできます。

新規メニューを作成するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで、[表示] > [ツールバー]をクリックし、[カスタマイズ]を選択します。
 - 管理モードで、メイン ツールバーまたはファイル 一覧 ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除]次に [カスタマイズ]を選択します。
2. カスタマイズのダイアログ ボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリリストから [新規メニュー] を選択します。
3. コマンド フィールドで [新規メニュー] を選択し、ツールバーの設置したい場所までドラッグします。

新規メニューにコマンドを追加するには:

1. カスタマイズのダイアログ ボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリリストからいずれかのオプションを選択します。
2. コマンド フィールドで追加したいコマンドを選択し、ツールバーの新規メニューまでドラッグします。新規メニューがドロップダウンします。メニュー上にコマンドをドロップします。

新規メニューまたはコマンドを削除するには:



新規メニューまたはコマンドを削除するには、カスタマイズ ダイアログボックスを開く必要があります。

新規メニューまたはコマンドを右クリックして、コンテキストメニューから [削除] を選択します。

新規メニューの名前を変更するには:



新規メニューの名前を変更するには、カスタマイズ ダイアログボックスを開く必要があります。

1. 新規メニューを右クリックして、コンテキストメニューから [ボタン表示...] を選択します。
2. ボタン表示 ダイアログボックスで、[テキストのみ] を選択し、ボタンテキスト フィールドに名前を入力します。

3. **[OK]**を押します。

外部エディタを設定する

を設定すると、Canvasなどのさまざまな画像エディタと連携して、どの画像エディタを既定で使用するかを指定することがACDSeeできます。そうすると、ACDSee内から、外部の編集用アプリケーションで画像を開くことができます。

- ❗ 外部エディタを設定したら、その外部エディタへのショートカットキーを適用したり、ツールバーにボタンとして設定したりすることができます。

ACDSeeで外部エディタを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** > **[外部エディタ]** > **[エディタの設定]**をクリックします。
2. **[エディタの設定]** ダイアログボックスにある**[追加]** ボタンをクリックします。
3. ハードディスク上で、画像編集アプリケーションが格納されているフォルダを参照します。
4. 画像編集アプリケーションの実行ファイルを選択します。例: Canvas16.exe
5. **[開く]**をクリックします。
6. **[名前]**フィールドにエディタ名を入力し、**[OK]**をクリックします。

外部エディタへのショートカットを作成するには:

1. **[ツール]**から**[ショートカットをカスタマイズ]**を選択します。
2. **[ショートカットをカスタマイズ]**ダイアログボックスで、**[カテゴリ]**ドロップダウンメニューから**[ツール]**を選択します。
3. **[コマンド]**メニューから**[既定の外部エディタ]**を選択します。
4. **[新しいショートカットキーを入力]**フィールドに、ショートカットキーを入力します。
5. **[適用]**をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

これで新しいキーボードショートカットが設定されたこととなります。

管理モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタを追加するには:

1. ツールバーのドロップダウン矢印を(**[エディタ]**と**[アクション]**メニューオプションのすぐ右)をクリックして、**[ボタンの表示非表示]**、**[カスタマイズ]**を選択します。
2. **[カスタマイズ]**ダイアログボックスの**[コマンド]**タブで、**[カテゴリ]**リストから**[外部エディタ]**を選択します。
3. ファイル一覧ツールバーに、該当する外部エディタをクリック & ドラッグします。
4. ダイアログボックスを閉じます。

外部エディタは、ファイル一覧のツールバーに追加されます。

表示モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタのボタンを追加するには:

1. ツールの横にあるツールバーのドロップダウン矢印をクリックし、**[ボタンの表示非表示]**、**[カスタマイズ]**を選択します。
2. **[カスタマイズ]**ダイアログボックスの**[コマンド]**タブで、**[カテゴリ]**リストから**[ツール]**を選択します。
3. **[コマンド]**リストで、**[既定の外部エディタ]**を選択し、ツールバーにクリック & ドラッグします。
4. ダイアログボックスを閉じます。

外部エディタは、ツールバーに追加されます。

画像エディタを管理するには:

1. [エディタの設定] ダイアログボックスの [エディタ] 一覧から、変更したいアプリケーションを選択します。
2. 次のいずれかを実行します。
 - エディタの一覧に表示されている実行ファイルの場所やアプリケーション名を変更するには、[編集] をクリックします。アプリケーションの場所と名前を設定し、[OK] をクリックします。
 - ACDSeeの既定の外部エディタとしてアプリケーションを設定するには、[既定として設定] をクリックします。
 - アプリケーションが一度に複数の画像をサポートするかどうかの設定は、[複数画像のサポート] チェックボックスをオンまたはオフにします。
 - 一覧からアプリケーションを削除するには、[削除] をクリックします。
3. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

外部の画像エディタで画像を開くには:

1. 管理モードまたは表示モード内で、外部エディタで開きたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ツール] > [外部エディタ] > [既定の外部エディタ] をクリックするか、エディタの名前をクリックします。
 - **Ctrl + Alt + X**キーを押して、既定の外部エディタで画像を開きます。

キーボード ショートカット をカスタマイズする

頻繁に使用されるコマンドには、既定のキーボード ショートカットが設定されています。既定のショートカットを変更したり、現在ショートカットが定義されていないコマンド用にショートカットを作成したりすることが可能です。カスタマイズ ショートカット ダイアログボックスで設定可能なオプションはモード依存적であり、ダイアログを開いたときのモードに依存します。

 あるモードでカスタマイズされたキーボードショートカットは、定義されたコマンド名が同じであっても他のモードでは無効です。

 既にコマンドに割り当てられているショートカットを別のコマンドに割り当てると、元のコマンドから適用が解除されます。

キーボード ショートカットをカスタマイズするには

管理、表示、現像、編集モードで、

1. [ツール] > [ショートカットをカスタマイズ] をクリックするか、**Ctrl + Shift + Alt + S**を押します。
2. [カテゴリ] ドロップダウンメニューから、[ファイル]、[編集]、[表示] などカテゴリを選択します。そのメニューから選択可能なコマンドが、[コマンド] 一覧ボックスに表示されます。
3. [コマンド] 一覧ボックスから、コマンドを選択します。
 - 選択されたコマンドにキーボード ショートカットが既に設定されている場合、[現在のキー] ボックスにその組み合わせが表示されます。
 - 選択されたコマンドにキーボード ショートカットがまだ設定されていない場合、[現在のキー] ボックスは空白で表示されます。

既存のキーボード ショートカットを削除するには、[現在のキー] ボックスからキーボード ショートカットを選択し、[削除] をクリックします。

新規のキーボード ショートカットを設定するには:

1. [新しいショートカットキーを入力] を入力してくださいテキストボックス内をクリックします。
2. 新規のショートカットとして使用したいキーの組み合わせを、実際のキーボード上で押します。
 新規のショートカット キーの入力テキストボックスに、押したキーが表示されます。入力したショートカットに既に割り当てられた機能がある場合、現在の割当フィールドに表示されます。
3. [適用] をクリックします。

[現行キー] ボックスに新規のキーボードショートカットが表示されます。

4. **閉じる**をクリックします。

カスタマイズしたキーボードショートカットをすべて削除して、既定のショートカットに戻すには、[リセット]をクリックします。

配色を変更する

では、ACDSee 配色を変更して、ペインやツールバーの背景色を変更することができます。

配色を変更するには

1. 管理モードで、[ツール] > [オプション]をクリックします。
2. オプション ダイアログ ボックスの[管理モード]をクリックします。
3. **配色**ドロップダウン リストからテーマを選択します。
4. [OK]をクリックして変更を適用し、ACDSeeに戻ります。

JPEGオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を変更して、JPEG画像の画質、エンコードの方法、カラー サブサンプリングの方法、JPEG画像に埋め込まれたサムネイルの更新あるいは作成の有無などを指定することができます。

JPEGオプション

画質	スライダをドラッグして、JPEG画像の画質を指定します。
エンコード	<ul style="list-style-type: none"> • プログレッシブ: プログレッシブエンコードを有効にします。 • ハフマン圧縮の使用: ハフマン圧縮を最適化して圧縮率を増やします。
カラー コンポーネント サンプリング	<ul style="list-style-type: none"> • 2:1 水平方向: 水平軸に2:1の割合でカラーチャンネルをサブサンプリングします。 • 2:1 垂直方向: 垂直軸に2:1の割合でカラーチャンネルをサブサンプルします。
埋め込みサムネイル	<ul style="list-style-type: none"> • 既存のサムネイルのみ更新する: 既存の埋め込みサムネイルをすべて更新します。 • 常にサムネイルを追加/更新する: 既存の埋め込みサムネイルが存在する場合は更新を、存在しない場合は埋め込みサムネイルを作成します。 • サムネイルを追加 / 更新しない: 既存の埋め込みサムネイルを一切更新したくない、あるいは埋め込みサムネイルを作成したくない場合に選択します。 • DCF互換サムネイルの生成: デジタルカメラ形式 (DCF) 規格を満たし、デジタルカメラのLCD上でのサムネイル表示に対応したサムネイルを生成します。160 x 120の固定解像度に強制変換し、空白部分は黒で埋められます。
これらの設定を既定値として保存する	現在のJPEG設定を既定値として保存する場合には、このオプションを選択します。

Chapter 12: ショートカット

管理モードのキーボード ショートカット

管理モードで作業中にキーボード ショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。[カレンダー ペイン](#)内でも使用可能なショートカットもあります。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。

ショートカット	操作
Alt + F4	ACDSeeを終了する。
Ctrl + W	
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
Enter	現在選択されている画像を [表示] モードで開く。
Delete	現在選択されている画像を削除する。

管理モードを使用する

\ (円記号)

画像ファイルにタグを付けたり外したりします。

、(アクセントグループ)

画像オーディオの切り替え。

Alt + 0-5	選択されている項目にカラーラベルを割り当てる。 Alt + 0 でカラーラベルを削除します。
Alt + C	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像をコピーする。
Alt + , (コンマ)	プロパティ ペイン内で最後に使用したタブを開く。
Alt + . (ピリオド)	プロパティ ペイン内の次のタブを開く。
Alt + Enter	プロパティ ペインを開く/閉じる。
Alt + G	[インポート] ダイアログ ボックスを開く。
Alt + I	[フィルタ] ダイアログ ボックスを開き、ファイル 一覧 ペインに表示するファイル タイプを指定する。
Alt + K	プロパティ ペインの [メタデータ] タブの IPTC グループのキーワード セクションにカーソルを置く。
Alt + M	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像を移動する。
Alt + Shift + F	ファイル 一覧 ペインを最大化する。
F2	1 つ以上の選択されたファイル名を変更する。
Alt + W	の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する。ACDSee 表示
Alt + X	画像 バスケット ファイル バスケット から、現在表示されている項目を削除する。
Backspace	現行ドライブのフォルダ構造内で 1 つ上に移動する。
Ctrl + 0-5	現在選択されている画像に、重要度を割り当てる。 Ctrl + 0 で重要度を削除します。
Ctrl + \ (円記号)	タグ付き画像を選択します。
Ctrl + A	現在のフォルダの内容全体を選択する。
Ctrl + B	選択された項目をアクティブな [画像 バスケット] に追加する。
Ctrl + D	現在の画像を現像モードで開く。
Ctrl + E	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + Alt + S	選択中の画像で [多焦点合成] コマンドを実行する。
Ctrl + G	ファイル 一覧 をテキスト ドキュメント に作成する。
Ctrl + I	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + K	プロパティ ペイン内にあるカテゴリ タブのキーワード フィールドにカーソルを置く。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + N	ファイル 一覧 ペインに新しいフォルダを作成する。
Ctrl + O	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで表示する画像を 1 つ以上選択する。
Ctrl + P	選択中の画像を ACDSee 印刷 ユーティリティで開く。
Ctrl + Tab	現在表示されているペイン内で、管理モード ウィンドウのフォーカスを移動する。
Ctrl + X	現在選択されている項目を切り取って、クリップボードにコピーする。
Ctrl + C	選択された項目をクリップボードにコピーする。

Ctrl + Insert

Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける。
Shift + Insert	
Ctrl + F	[クイック検索バー]にフォーカスが表示されて、検索クエリの入力開始できるようになる。
F5	管理モードの内容を更新する。
F3	検索ペインを開く。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログボックスを開く
F4	コンテンツバーを表示する。
F6	「サムネイル + 詳細」表示モード。
F7	「ファイル一覧」から「フィルムストリップ」表示モードに切り替える。
F8	「サムネイル」表示モード。
F9	「タイル」表示モード。
F10	「アイコン」表示モード。
F11	「ファイル一覧」表示モード。
F12	「詳細」表示モード。
Shift + Delete	選択された項目をハードディスクから削除する。
Shift + F5	ファイル一覧ペインを更新する。
Shift + Tab	管理モードで以前フォーカスされたペインまたはツールに移動する。
Tab	管理モードで次にフォーカスされたペインまたはツールに移動する。
Ctrl + Alt + R	画像の比較ビューアに選択された画像を表示する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + X	現在の画像を既定の編集エディタで開く。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + Shift + 1	フォルダペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 2	カタログペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 3	検索ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 4	カレンダーペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 5	すべての画像バスケットを表示または非表示にする。
Ctrl + Shift + 9	新しい画像バスケットを作成する。
Ctrl + Shift + -	アクティブな画像バスケットを削除する。
Ctrl + Shift + A	現行フォルダ内にあるすべてのファイルを選択します。
Ctrl + Shift + B	ステータスバーを表示/非表示にする。
Ctrl + Shift + C	現在選択されている画像をクリップボードにコピーする。
Ctrl + Shift + D	現在の選択項目を解除する。
Ctrl + Shift + E	現在のファイルを既定のシステムアプリケーションで開く/アプリケーションを選択することのできるダイアログボックスを開く。
Ctrl + Shift + F	フルスクリーン表示とファイル一覧ペインを切り替える。
Ctrl + Shift + I	現在選択されている項目以外を選択する。

Ctrl + Shift + L	ブラウザ検索パネルを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + M	マップ ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + N	ACDSee の新しいウィンドウを開く。
Ctrl + Shift + O	ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く。
Ctrl + Shift + T	管理モードの既定ツールバーを表示/非表示にする。
Ctrl + Shift + Tab	現在表示されているペイン内で、管理モード ウィンドウのフォーカスを移動する。
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する。
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する。

表示

Alt + 左矢印	ファイル一覧ペインで最後に表示されたフォルダを表示する。
Alt + 右矢印	ファイル一覧ペインで最後に [戻る] で表示したフォルダに戻る。
Ctrl + S	現在選択されている画像を使ってスライドショーを作成する。
Ctrl + Shift + P	プレビュー ペインを開く/閉じる。

一括編集

Ctrl + R	[サイズの一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + B	[編集の一括処理] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + F	[ファイルフォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + J	回転/反転の一括変更 ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + L	[露出の一括調整] ダイアログ ボックスを開く。

モード切り替え

Ctrl + F2	写真モードに切り替える
Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
Ctrl + F4	画像を現像モードで開く
Ctrl + F5	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスが開いて、選択した画像のキャプションを追加または編集することができます。
Ctrl + F6	365 モードに切り替える
Ctrl + F7	ダッシュボード モードに切り替える

管理モードのマウス ショートカット

管理モードで、次のキーボード ショートカットを使用して効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードで選択した画像を開きます。
右クリック	管理モードのコンテキストメニューを開く。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択します。
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択します。画像グループの周囲に選択ボックスを描けるように、画像やフォルダではなく必ず画面の空白エリアをクリックしてからドラッグします。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択します。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	サムネイルの拡大。
Ctrl + ホイールダウン	サムネイルの縮小。

表示モードのキーボードショートカット

表示モードで作業中にキーボードショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + F4	ACDSeeを終了する。
Ctrl + W	
` (アクサングラフ)	ステータスバーへの完全なファイルパスの表示/非表示を切り替えます。
Enter	前のモードに切り替える。
Esc	
Shift + Esc	表示、現像、編集モードで ACDSee を最小化表示します。
Ctrl + Shift + Alt + S	ショートカットをカスタマイズダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログボックスを開く
F1	ヘルプファイルを開きます。
ファイルメニュー	
Ctrl + O	ファイルを開くダイアログボックスを開きます。
Insert	
Shift + F4	現在の項目を閉じる。
Ctrl + Shift + F4	すべての画像を閉じる。
Ctrl + S	[名前を付けて保存] ダイアログボックスを開き、画像名の変更/ファイルフォーマットの変更をする。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート]ダイアログボックスを開く
Shift + L	ファイル拡張子と関連付けられているシステムアプリケーションを使ってファイルを開く。
Shift + E	現在のファイルを既定のシステムアプリケーションで開く / アプリケーションを選択することのできるダイアログボックスを開く。
Ctrl + P	現在の画像を ACDSee 印刷ユーティリティで開く。
Ctrl + Shift + P	現在選択されているすべての画像/現在のフォルダ内のすべての画像を印刷する。
Alt + L	Flickr アップローダー ダイアログボックスを開く。
Alt + U	SmugMug アップローダー ダイアログボックスを開く。
Alt + Z	Zenfolio アップローダー ダイアログボックスを開く。
インターフェースをカスタマイズする	
Ctrl + Shift + H	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + A	アクションペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + M	虫めがねペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + プラスキー (+)	虫めがねペインで拡大する。
Ctrl + マイナスキー (-)	虫めがねペインで縮小する。
Ctrl + Shift + S	ナビゲーターペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	プロパティペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + ,	プロパティペインで左側のタブに移動する。

Alt + .	プロパティ ペインで右側のタブに移動する。
Ctrl + Shift + F	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + I	情報パレットを開く/閉じるを切り替える。
T	ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + T	
B	ステータス バーを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + B	
Ctrl + Shift + V	ページ表示パネルを開く/閉じるを切り替える。

管理する

Ctrl + X	現在の項目を切り取って、クリップボードにコピーする。
Ctrl + C	現在選択されているファイルをクリップボードにコピーする。
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける。
Alt + C	フォルダにコピー ダイアログボックスを開く。
Alt + M	フォルダに移動 ダイアログボックスを開く。
Delete	選択された画像を削除する。
F2	[ファイル名の変更] ダイアログボックスを開く。
Alt + R	
Ctrl + B	選択された画像をアクティブな画像バスケットに追加する。
Alt + X	アクティブな画像バスケットから選択された画像を削除する。
Alt + A	ショートカットの追加 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログボックスを開く。
\ (バックスラッシュ)	画像ファイルにタグを付けたり、外したりします。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + K	プロパティペインのキーワード セクションを開く。
Alt + K	プロパティペインのメタデータタブを選択する。
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する。
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として拡大して設定する
Alt + W	の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する。ACDSee 表示

表示

ページ右矢印	次の画像を表示します。
Page Down	
3 (テンキー)	
Spacebar	
ページ左矢印	前の画像を表示します。
Page Up	
9 (テンキー)	
Backspace	

End

フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。

Home

フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。

Ctrl + 右クリック Windows エクスプローラのコンテキスト メニューを開く。

+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (マイナス記号)	縮小する。
Shift + Z	選択したエリアに拡大する。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
* (テンキーのアスタリスク)	画像を表示領域に合わせて調整する。
Shift + 8	
Alt + ページ右矢印	画像を幅に合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + PgDn	画像を高さに合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + \	ズーム固定のオンとオフを切り替え。
L	[パンの固定] の切り替え。
Z	[ズームレベルの設定] ダイアログ ボックスを開く。
ページ右矢印	画像を拡大した時に、右にパンする。
ページ左矢印	画像を拡大した時に、左にパンする。
Page Down	画像を拡大した時に、下にパンする。
Page Up	画像を拡大した時に、上にパンする。
F	フルスクリーン モードの切り替え。
Ctrl + ページ右矢印	右ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ下矢印	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
O	画像の保存されたバージョンを表示する。
E	露出警告のオンとオフを切り替えます。
R	RAW デコード/埋め込みプレビューのオン/オフを切り替える。
Shift + F1	ズーム ツールで拡大した後にハンド ツールを有効にする。
Shift + F2	選択ツールを有効にする。
Ctrl + Q	現在の選択項目を解除する。
Shift + F3	ズーム ツールを有効にする。
Shift + F	フェイスツールをアクティブにします。
Shift + B	顔の輪郭を切り替えます。
Ctrl + N	[顔検出]ペインを開き、名前フィールドにカーソルを置きます。
Tab	画像および顔検出ペインの名前フィールド間でカーソルを移動します。
Ctrl + Shift + D	顔検出ペインを切り替えます。
Ctrl + F	顔を再検出します。
F5	表示モード ウィンドウを更新し、現在の画像を再ロードする。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + 6	Light EQ™ ボタンのオンとオフを切り替える。
Alt + S	1 ~ 2 秒ごとに、自動的に次の画像に進む。
Ctrl + Alt + S	スライドショーを開始する。
Ctrl + A	ヘッダーおよびフッターを表示 / 非表示にする。

Ctrl + Shift + Q	[ヘッダー/フッターの編集] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで画像上に表示するテキストを編集する。
Alt + Ctrl + S	スライドショーを開始または停止します。
Shift + ページ下矢印	マルチページ画像の次のページを表示する。
Shift + ページ上矢印	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + Home	マルチページ画像の最初のページを表示する。
Shift + End	マルチページ画像の最後のページを表示する。

編集

Ctrl + Shift + ページ左矢印	現在の画像を反時計回りに 90 度回転する。
Ctrl + Shift + ページ右矢印	現在の画像を時計回りに 90 度回転する。
Alt + E	画像を既定の画像エディタで開く。
Shift + R	編集した画像を現像したバージョンに復元する(画像が最初に現像されてから編集された場合)。
Shift + O	編集した画像を元のバージョンに復元する。
Shift + S	変更を確定する。
Shift + C	現像された画像に対してコピー設定ダイアログボックスを開く。
Shift + V	コピーした現像設定を画像にペーストする。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Alt + N	[現像の一括処理] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + B	[編集の一括処理] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + F	[ファイルフォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + J	[回転/反転の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + R	[サイズの一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + L	[露出の一括調整] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + R	[名前の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Shift + 1	色深度をモノクロに変更する。
Ctrl + Shift + 2	色深度を 16 色グレースケールに変更する。
Ctrl + Shift + 3	色深度を 256 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift + 4	色深度を 16 色に変更する。
Ctrl + Shift + 5	色深度を 256 色に変更する
Ctrl + Shift + 6	色深度を Hi Color に変更する。
Ctrl + Shift + 7	色深度を True Color に変更する。
Ctrl + Shift + 8	画像を 16 ビットのグレースケールに変換する。
Ctrl + Shift +	画像を 48 ビットのカラーパレットに変換する。

9

モード切り替え

Ctrl + F5	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + F4	現在選択されている画像を現像モードで開く。
Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F2	写真モードに切り替える
Ctrl + F6	365 モードに切り替える
Ctrl + F7	ダッシュボード モードに切り替える

表示モードのマウス ショートカット

表示モードで作業中にマウス ショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードを閉じて、前のモードに戻る。
右クリック	表示モードのコンテキスト メニューを開く。
中央ボタン クリック	フルスクリーン モードの切り替え(3 つボタンのマウス)。
ホイール クリック	フルスクリーン モードの切り替え。
ホイールを上げる	前の項目を表示する。
ホイールを下げる	次の項目を表示する。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキスト メニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	画像の倍率を上げます(ズームイン)。
Ctrl + ホイールダウン	画像の倍率を下げます(ズームアウト)。
Shift + ホイールアップ	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + ホイールダウン	マルチページ画像の次のページを表示する。

カレンダー ペインのショートカット

基本的なカレンダーペインのオプションに慣れてきたら、次のショートカットの使用をお勧めします：

- タイトルバーにある年、月、日テーブルをクリックし、該当の年、月、日に含まれる画像を表示します。
- 年、月または日テーブルのタイトルバーを右クリックし、隣接する年、月、日をスクロールして選択します。
- 年モードのある月をダブルクリックすると、月モードに切り替わりします。あるいは、月モードで任意の日をクリックすると、日モードに切り替わりします。
- 月モードで、週の日を示す文字をクリックして、週のその日に含まれる画像を表示します。例えば、「F」をクリックすると、その月のすべての金曜日が選択されます。
- 日モードで「AM」または「PM」をクリックして、その日の午前または午後を選択します。
- イベントモードで、Ctrl キーをホールドしながら月や日をクリックして、該当の月や日に含まれる画像を表示します。
- 任意の月カレンダーのタイトルをクリックすると、その月に含まれているすべての画像が選択されます。
- 週の名前をクリックすると、該当の週に含まれているすべての画像が選択されます。
- カレンダーのあらゆる日をドラッグ + 選択すると、それらの日に含まれるすべての画像が選択されます。

現像/編集モードのキーボードショートカット

現像および編集モードでは、次のキーボードショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

編集モードのキーボードショートカット

ショートカット	操作
Alt + F4	すべてのモードで ACDSee を終了します。
Shift + Esc	表示、現像、編集モードで ACDSee を最小化表示します。
Ctrl + Shift + Alt + S	ショートカットをカスタマイズダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボード ショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示/非表示を切り替えます。

ファイル メニュー

ページ右矢印 Page Down 3 (テンキー)	次の画像を開きます。
ページ左矢印 Page Up 9 (テンキー)	前の画像を開く
Ctrl + S	画像を保存します。
Ctrl + Alt + S	コピーを保存する。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + D	現像モードに切り替えます。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Esc	前のモードに切り替える。
Enter	

メニューの編集

Ctrl + Y	やり直します。
Ctrl + Z	元に戻します。
Ctrl + Shift + Z	すべてを元に戻す。
Ctrl + C	コピーする。
Ctrl + V	ペーストする。
Delete	削除する。

管理する

Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Ctrl + K	プロパティ ペインのキーワード セクションを開く。
Alt + K	プロパティ ペインのメタデータ タブを選択する。
\ (バックslash シュ)	写真にタグ付けする。
Ctrl + M	[情報の一括設定] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く。

表示

Ctrl + ページ右矢印	右ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ左矢印	左ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ下矢印	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
Shift + 8	画像を表示領域に合わせて調整する。
* (テンキーのアスタリスク)	
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
F	画像をフルスクリーンで表示します。
'	画像を拡大した時に、ナビゲーターの開く/閉じるを切り替える。
[ソフト ブルーフを有効にする。
Z	画像の保存されたバージョンを表示する。
ページ右矢印	画像を拡大した時に、右にパンする。
ページ左矢印	画像を拡大した時に、左にパンする。
Page Down	画像を拡大した時に、下にパンする。
Page Up	画像を拡大した時に、上にパンする。

インターフェースをカスタマイズする

F2	フィルタ メニューを開く/閉じるを切り替える。
F3	アクション ペインを開く/閉じるを切り替える。
F4	プロパティ ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	
F5	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
F6	情報 パレットを開く/閉じるを切り替える。
F7	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + H	
F8	レイヤー ペインを開く/閉じるを切り替える。
F9	元に戻す履歴 ペインを開く/閉じるを切り替える。
F10	カラー ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F1	ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F2	フィルタ ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F3	アクション ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + T	ルーラーのオンとオフを切り替えます。
Ctrl + Shift + G	ガイドラインへのスナップを有効/無効にします。
Ctrl + Shift + ;	すべてのガイドラインをクリアします。
Ctrl + Alt + ;	ガイドラインを所定の位置にロックします。
Ctrl + ;	ガイドラインのオンとオフを切り替えます。

選択

Alt + A	すべて選択する。
Alt + D	選択解除する。
Alt + I	選択範囲を反転する。
Alt + Del	選択したピクセルを消去する。
Alt + Shift + F	選択範囲にスマート削除を適用する。
Alt + Shift + P	特定のカラーおよび/またはトーンを対象として選択するPixel Targeting パネルを開く。
Alt + Shift + S	選択範囲を保存する。
Ctrl + Alt + L	画像の明るさに基づいて、選択範囲を作成します。
Alt + Shift + L	読み込み選択ダイアログ ボックスを開く。
Alt + Shift + M	管理選択ダイアログ ボックスを開く
Alt + Shift + O	オーバーレイ オプション ダイアログ ボックスを開く。

フィルタ

Y	赤目補正ツールを開く。
Alt + P	修復ツールを開く。
K	スキントーン フィルタを開く。
Alt + Y	色収差ツールを開く。
Alt + W	透かしツールを開く。
Alt + B	ボーダー ツールを開く。
V	ヴェネット効果ツールを開く。
Alt + S	特殊効果 パネルを開く。
X	チルトシフト ツールを開く。
Alt + G	グレイン ツールを開く。
Alt + R	回転ツールを開く。
Alt + F	反転ツールを開く。
C	トリミングツールを開く。
P	透視補正ツールを開く。
Alt + Z	レンズの歪み補正ツールを開く。
Alt + V	レンズ補正ツールを開きます。
J	サイズ変更ツールを開く。
Alt + L	液状化ツールを開く。
Alt + X	露出ツールを開く。
L	レベル ツールを開く。
Alt + J	自動レベル ツールを開く。
U	トーンカーブ ツールを開く。
Q	Light EQ™ ツールを開く。
H	かすみ除去 ツールを開く。
D	覆い焼きと焼きこみツールを開く。
A	ホワイトバランス ツールを開く。
O	カラー EQ ツールを開く。
Alt + H	カラーバランス ツールを開く。
W	モノクロに変換ツールを開く。
Alt + T	スプリット トーン ツールを開く。
Alt + M	カラー LUTツールを開く。
Alt + N	シャープ化 ツールを開く。
Alt + U	ぼかしツールを開く。
N	ノイズ除去 ツールを開く。
Alt + C	明瞭度 ツールを開く。
I	詳細 ブラシ ツールを開く。

フィルタ内部で機能する

B	ブラシ コントロールを開く/閉じるを切り替える。
S	フィルタの内部で機能する際のブラシ ストローク表示を切り替える。
G	グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
R	放射状グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
Spacebar	フィルタ内部で、ブラシまたはグラデーションと共に機能する際に、ハンドツールを切り替える。
E	露出ツールで、露出警告のオンとオフを切り替える。

レイヤーエディタ

Ctrl + Alt + I	インポート画像をレイヤー ダイアログボックスとして開く。
Ctrl + Alt + N	新規の空のレイヤーを追加する。
Ctrl + Alt + A	選択されたレイヤーを複製する。
Ctrl + Delete	選択されたレイヤーを削除する。
Ctrl + Alt + R	レイヤーの名前変更ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + V	レイヤー表示/非表示のオンとオフを切り替える。
Ctrl + Alt + C	クリッピング ボタンのオンとオフを切り替える。
Ctrl + Alt + Page Down	選択されたレイヤーを下のレイヤーと結合する。
Ctrl + Alt + F	すべてのレイヤーをひとつの画像に結合する。
Shift + J	すべてのレイヤーを表示します。
Shift + Y	すべてのレイヤーを非表示にします。
Ctrl + Shift + F	周波数分離を適用します。
Ctrl + Shift + T	選択したテキストレイヤーをラスターライズします。
Ctrl + Shift + D	HDRダイアログを開きます。
Ctrl + Shift + O	多焦点合成ダイアログを開きます。
Shift + Alt + A	選択した画像の自動位置合わせをします。
Shift + Alt + B	[自動ブレンド]ダイアログを開きます。

レイヤーマスク

Ctrl + Alt + W	ホワイトマスクを追加する。
Ctrl + Alt + B	ブラックマスクを追加する。
Ctrl + Alt + ,	マスクを選択範囲に追加する。
Ctrl + Alt + -	選択範囲からマスクを削除する。
Ctrl + Alt + =	マスクと選択範囲の共通領域を選択する。
Ctrl + Alt + .	現在の選択範囲からマスクを作成する。
Ctrl + Alt + J	マスクを反転する。
Ctrl + Shift + Delete	マスクを削除する。
Ctrl + Alt + P	特定のカラーおよび/またはトーンを対象としてマスクするPixel Targeting パネルを開く。
Ctrl + Shift + V	画像レイヤーを輝度マスクとして貼り付けます。
Ctrl + Shift + M	選択したマスクを無効/有効にします。

調整レイヤー

Shift + E	露出調整レイヤーを追加する。
Shift + B	ぼかし調整レイヤーを追加する。
Shift + Z	ポスタライズ調整レイヤーを追加する。
Shift + U	カーブ調整レイヤーを追加する。
Shift + I	ネガ調整レイヤーを追加する。
Shift + F	色の調整レイヤーを追加する。
Shift + W	モノクロ調整レイヤーを追加する。
Shift + T	しきい値調整レイヤーを追加する。
Shift + G	RGB調整レイヤーを追加する。
Shift + R	明瞭度調整レイヤーを追加する。
Shift + L	レベル調整レイヤーを追加する。
Shift + X	バイブランス調整レイヤーを追加する。
Shift + V	ヴィネット効果調整レイヤーを追加する。
Shift + S	シャープネス調整レイヤーを追加する。
Shift + O	カラーEQ調整レイヤーを追加する。
Shift + Q	Light EQ™調整レイヤーを追加する。
Shift + M	グラデーションマップ調整レイヤーを追加する。
Shift + K	スキントーン調整レイヤーを追加する。
Shift + P	写真効果調整レイヤーを追加する。
Shift + A	ホワイトバランス調整レイヤーを追加する。
Shift + H	かすみ除去調整レイヤーを追加する。
Shift + C	スプリットトーン調整レイヤーを追加する。
Shift + N	ノイズ除去調整レイヤーを追加する。
Shift + D	色LUT調整レイヤーを追加する。

ツール

Ctrl + Q	ハンドツールを起動する。
M	移動ツールを起動する。
Ctrl + Shift + C	キャンバスのサイズ変更ツールをアクティブにします。
T	テキストツールをアクティブにします。
Ctrl + Shift + R	長方形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + E	楕円形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + L	直線ツールを起動する。
Ctrl + A	矢印ツールを起動する。
Ctrl + Shift + P	多角形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + B	曲線ツールを起動する。
B	ブラシツールを起動する。
Ctrl + F	塗りつぶしツールを起動する。
Ctrl + G	グラデーションツールを起動する。
Alt + E	消しゴムツールを起動する。
Ctrl + E	スマート削除ツールを起動する。
Ctrl + Shift + I	スポイトツールを起動する。
カラーツールを使用する	
Ctrl + [前面色の設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl +]	背景色の設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + X	前面色と背景色を入れ替える。
選択ツール	
Ctrl + R	長方形選択ツールを起動する。
Ctrl + I	楕円形選択ツールを起動する。
Ctrl + L	投げなわ選択ツールを起動する。
Ctrl + W	自動選択ツールを起動する。
Ctrl + B	ブラシ選択ツールを起動する。
操作	
Ctrl + Shift + S	記録を停止する。
Alt + Shift + R	記録を開始する。
モード切り替え	
Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F2	写真モードに切り替える
Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
Ctrl + F4	画像を現像モードで開く
Ctrl + F6	365 モードに切り替える
Ctrl + F7	ダッシュボード モードに切り替える

現像モード キーボードショートカット

ショートカット	操作
Alt + F4	すべてのモードで ACDSee を終了します。
Shift + Esc	すべてのモードで ACDSee を最小化する。
Ctrl + H	ショートカットをカスタマイズダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示 / 非表示を切り替えます。

ファイル メニュー

ページ右矢印	次の画像を表示します。
Page Down	
3 (テンキー)	
ページ左矢印	前の画像を表示します。
Page Up	
9 (テンキー)	
Ctrl + S	画像を保存します。
Ctrl + Alt + S	コピーを保存する。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + E	編集モードに切り替える。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Esc	前のモードに切り替える。
Enter	

メニューの編集

Ctrl + Y	やり直します。
Ctrl + Z	元に戻します。
Ctrl + Alt + C	コピー設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + V	コピーされた情報をペーストする。
Delete	削除する。

管理する

Ctrl + B	選択された画像を画像バスケットに追加する。
Alt + X	選択された画像を画像バスケットから削除する。
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Ctrl + K	プロパティ ペインのキーワード セクションを開く。
Alt + K	プロパティ ペインのメタデータ タブを選択する。
\ (バックスラッシュ)	画像にタグ付けするか、タグ付けを外す。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く。

表示

[ソフト プルーフを有効にする。
Ctrl + ページ左矢印	左ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ下矢印	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
Shift + 8	画像を拡大した時に、上にスクロールする。 次の画像を開きます。
Alt + ページ右矢印	画像を幅に合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + Page Down	画像を高さに合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
F	フルスクリーン モードの切り替え。
'	画像を拡大した時に、ナビゲーターの開く/閉じるを切り替える。
Z	画像の保存されたバージョンを表示する。
ページ右矢印	画像を拡大した時に、右にパンする。
ページ左矢印	画像を拡大した時に、左にパンする。
Page Down	画像を拡大した時に、下にパンする。
Page Up	画像を拡大した時に、上にパンする。
Alt + E	すべてのツールグループを拡張表示する。
Alt + C	すべてのツールグループを折りたたむ。
Alt + A	ツールグループで、他のツールグループが開いた際にスクロールバーを使えないようにするために閉じる設定を切り替える。
V	プレビューを開く/閉じるを切り替える。
H	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	プロパティ ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + F	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + I	情報パレットを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + D	現像ツールを開く/閉じるを切り替える。
P	スナップショット ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。

モード切り替え

Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
Ctrl + E	編集モードで画像を開く。
Shift + E	
Ctrl + F5	
Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F2	写真モードに切り替える
Ctrl + F6	365 モードに切り替える
Ctrl + F7	ダッシュボード モードに切り替える

現像モードを使用する

B	ブラシ コントロールを開く/閉じるを切り替える。
I	ブラシストロークを反転する。
1	最初のブラシを選択する。
2	2 番目のブラシを選択する。
3	3 番目のブラシを選択する。
4	4 番目のブラシを選択する。
5	5 番目のブラシを選択する。
6	6 番目のブラシを選択する。
7	7 番目のブラシを選択する。
Shift + 1	最初のブラシを有効にする。
Shift + 2	2 番目のブラシを有効にする。
Shift + 3	3 番目のブラシを有効にする。
Shift + 4	4 番目のブラシを有効にする。
Shift + 5	5 番目のブラシを有効にする。
Shift + 6	6 番目のブラシを有効にする。
Shift + 7	7 番目のブラシを有効にする。
G	グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
R	放射状グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
Spacebar	拡大した状態で、ブラシまたはグラデーションと共に機能する際に、ハンドツールを切り替える。画像をパンするためにハンドツールが使用できます。
E	露出ツールで、露出警告のオンとオフを切り替える。
Alt + I	トリミングツールで、グリッドのオンとオフを切り替える。
C	トリミングツールで、トリミング画像プレビューのオンとオフを切り替える。
Ctrl + T	調整タブに切り替える。
Ctrl + D	ディテール タブに切り替える。
Ctrl + G	ジオメトリタブに切り替える。
Ctrl + R	修復タブに切り替える。
Ctrl + P	新規スナップショット ダイアログボックスを開く。

現像/編集モードのマウスショートカット

現像および編集モードで次のマウスショートカットを使用して、画像作業の効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。

ショートカット	操作
Shift + 左クリック	ペイン内で、グループの自動折りたたみ機能をオフに設定。
Shift + マウス ホイール	スライダに大きな調整を行う。現像ペインでスクロールがアクティブの場合、ホイールはペインをスクロールします。
Spacebar + クリック + ドラッグ	マウスをドラッグして画像をスクロール。現像で画像を拡大表示して、ツールを使用している場合に使用します。
右クリック	任意のスライダを既定値にリセット。
スライダ上でマウス ホイール	スライダに細かい調整を行う。スライダ上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンします。
画像上でマウス ホイール	ブラシのサイズを変更します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてペン先の幅を調整します。
Shift + マウス ホイール	フェザリングを調整します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてフェザリングを調整します。

365 モードのキーボードショートカット

転送モードでは、次のキーボードショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + A	選択されたフォルダを同期フォルダとして設定する。
Alt + D	選択されたファイルとフォルダをダウンロードする。
Alt + Enter	転送モードのスクリーン下半部に、プロパティ ペインを表示する。
Alt + Num +	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて昇順。
Alt + Num -	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて降順。
Alt + O	オプション ダイアログを開く。
Alt + U	選択されたファイルとフォルダをアップロードする。
Alt + Shift + U	すべてのファイルを同期する。
Ctrl + \	タグの付いているファイルを選択する。
Ctrl + A	すべてのファイルとフォルダを選択する。
Ctrl + F8	転送モードの上部にある表示方法を、サムネイル表示に変更する。
Ctrl + F12	転送モードの上部にある表示方法を、詳細表示に変更する。
Ctrl + Shift + D	画像の選択をクリア。
Ctrl + Shift + I	画像の選択を反転。
Ctrl + Shift + 1	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダ ペインを表示する。
Ctrl + Shift + 2	転送モードのスクリーン下半部に、カタログ ペインを表示する。
Ctrl + Shift + 3	転送モードのスクリーン下半部に、検索 ペインを表示する。
Ctrl + Shift + 4	転送モードのスクリーン下半部に、カレンダー ペインを表示する。
Ctrl + Shift + 5	すべての画像バスケットを表示または非表示にする。
Ctrl + W	ACDSee を終了する。
Delete	ファイルまたはフォルダを削除する。
Enter	現在選択されている画像を [表示] モードで開く。
F2	ファイルまたはフォルダの名前を変更。
F5	表示を更新する。
F6	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルと詳細を表示する。
F7	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのフィルムストリップを表示する。
F8	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルを表示する。
F9	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのタイトルを表示する。
F10	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのアイコンを表示する。
F11	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの一覧を表示する。
F12	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの詳細を表示する。
Num +	転送モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを昇順に並べ替えます。
Num -	転送モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを降順に並べ替えます。
Shift + Alt + A	365.acdsee.com モードを表示する。
Shift + Alt + C	URL のコピー。
Shift + Alt + T	転送モードを表示する。

365 モードのマウス ショートカット

転送モードでは、次のマウス ショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。

ショートカット	操作
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択する。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択する。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択する。

ACDSee PicaView のキーボードショートカット

ACDSee PicaViewでは、次のキーボードショートカットを使用して効率アップを図ることができます。

ショートカット	操作
画像を Shift + 右クリック	<ul style="list-style-type: none">• 画像の表示を有効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されません。• 画像の表示を無効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されます。

Chapter 13: ファイルフォーマット

RAW ファイルについて

RAW ファイルはネガのようなものです。写真撮影時にデジタルカメラのセンサーが収集した全データが入っています。未処理のまま RAW ファイルを表示すると、真っ暗な画像として表示されます。そのため、RAW ファイルを写真を生成するように処理する必要があります。

ACDSee には色、コントラスト、露出が改善された新しい RAW 処理エンジンが備わっています。ACDSee はまた、Pro 3 以前のバージョンで現像された RAW 画像で Pro 3 のパイプラインをエミュレートできます。

現像モードや編集モードを使用して、RAW 画像ファイルの露出、色、シャープネスの設定を選択することができます。各 RAW ファイルの固有設定を選択/保存したり、一般的な設定をプリセットとして選択/保存したりすることもできます。一般設定をプリセットとして保存すると、一括処理ツールを使用するか、管理モードで[ツール] > [処理] > [プリセットの適用]に移動してプリセットを選択することで、大量の RAW ファイルに設定を適用することができます。

オリジナルの RAW ファイルは恒久的に変更することはできません。RAW ファイルは処理後も変更を受けないため、カメラで取得した全データが保持されたままになります。特定の画像に対し選択された処理設定は、その RAW 画像の XMP ファイルに保存され、データベースでその画像と関連付けられます。

RAW ファイルへの変更を保存するには、別のファイル形式 (例えば JPEG や TIFF など) で別のファイルとして保存する必要があります。処理済みのファイルを同時に複数のフォーマットで保存したい場合は、現像モードの複数フォーマット オプションを使用します。画像を現像したら、[保存] ボタンをクリックして[エクスポート]を選択します。エクスポート ダイアログボックスで、エクスポート設定を選択し、[OK]をクリックします。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

ファイルの関連付け

ACDSee はさまざまなファイルフォーマットに対応しています。ACDSee を、特定のファイルタイプを開くデフォルトのアプリケーションとして設定することができます。このプロセスはファイルの関連付けと呼ばれています。ファイルの種類を関連付けると、ファイルをダブルクリックする際に開く既定のプログラムとして ACDSee を設定することになります。

ACDSee でファイルの関連付けオプションを設定するには:

1. [ツール] > [ファイルの関連付け設定]をクリックします。
2. 4 つのフォーマットセクションで、画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマットに対して、ACDSee 関連付けたいファイル形式のチェックボックスを選択します。
3. [保存]をクリックします。

ファイルタイプと ACDSee の関連付けを解除するには:

1. [ツール] > [ファイルの関連付け設定]をクリックします。
2. 4 つのフォーマットセクションで、画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマットに対して ACDSee 関連付けたいファイル形式のチェックボックスを選択します。
3. [保存]をクリックします。

用語集

A

絶対カラーメトリック

一般的に校正に用いられるレンダリングの方法。デバイスに依存しない色空間情報に基づき、利用可能な色域の範囲内で色を再現したり、色味を減らして色域外の利用可能な色の中から一番近い色相を再現すること(ただし、彩度は落ちます)。

アクション、ACDSee アクション

ACDSee アクションは、編集モードの調整を記録します。そして、それらの調整を「再生」して他の画像に適用することができます。これは編集の一括処理を効率的に行う方法です。

取得

スキャナやデジタルカメラなどの周辺機器内の画像を認識し、パソコンのハードドライブへ追加する処理を指すことが多いです。パソコンの画面をキャプチャすることを表すこともあります。[インポート](#)を参照してください。

アルバム

画像の集まり。テーマやイベントごとに管理されていることが多い。ACDSee ではハードドライブの画像が保存されているディレクトリへのショートカットをアルバム内に入れることができます。

エイリアシング

ピクセルが原因で生じた画像の端のギザギザ。低解像度の画像や、拡大された画像で最も頻繁に起こります。[ジャギー](#)を参照してください。

アンカー

スクリーンやページ、画像の場所を選択範囲などのオブジェクトを固定する方法。

アンチエイリアシング、アンチ・エイリアシング

ぎざぎざの線、または「ジャギー」を軽減するソフトウェア技術。グレーとカラーの色合いを使って、近隣のピクセル間にあるコントラストをスムーズにします。

縦横比

画像の横と縦の比率。たとえば、縦横比 3:1 の画像は、横が縦よりも 3 倍長くなっています。

アジマス

画像のエッジから伸びる影の方向。では ACDSee 画像にエンボス効果を適用する際に、アジマスをコントロールできます。

B

バックグラウンド処理

ユーザー操作なしで起動するタスクまたはプログラムのこと。

帯域

特定の時間の間に、ネットワーク接続を通じて送信できるデータの量。帯域はキロビット/秒 (Kbps) で測定されます。

バレル歪み

バレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。

一括処理

サイズ変更、変換、名前変更などの何らかの処理またはツールで、複数の画像またはファイルを調整するために同時に使用できるもの。

ビット

ビットは、コンピュータで扱うデータの最小単位のこと。画像の色深度は、色情報を格納するために必要なビット数で制約されています。例えば、8 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 256 の異なる値を格納することができます。同様に、18 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 65,536 の異なる値を格納することができます。

ブラックポイント

画像の最も暗い領域。ブラックポイントを調整して、画像の暗さをコントロールすることができます。

ブレンド モード

ツールの効果や選択されたオブジェクトの外観を変更するフィルタ。

明るさ

画像に見られる光の強度。明るさを調整することで、画像の外観を明るくまたは暗くできます。

ブラシ

編集モードまたは現像モードで、効果または調整を適用したいピクセルを分離または指定するために使用するツール。描画ツール内のブラシは、画像にカラーで描画するために使用できます。[スマートブラッシング](#)を参照してください。

C

キャッシュ

高速の格納メカニズム。ACDSee のデータベースはキャッシュです。

キャプション

印刷画像に追加されるファイルに関連するテキスト、コメント、説明。

カタログ化

ファイル情報を ACDSee データベースに追加します。

カテゴリ

カテゴリを指定することによって、画像の並べ替えや管理がより簡単になります。

色収差

レンズによって生じるもので、写真のハイコントラスト領域にフリッジが現れます。

CMYK

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック (キー) を原色とするカラーモデル。

カラーキャスト

彩度と輝度を保ったまま、画像の色相を変更すること。たとえば、ほとんどのデジタルカメラはわずかに青みがかった色相で画像を撮影します。ACDSee には、希望しないカラーキャストを削除するツールが含まれています。

カラーチャンネル値

単一カラーに対するすべてのピクセル情報が含まれています。グレースケールの画像には 1 つのチャンネル、RGB 画像には 3 つ (赤、緑、青) のチャンネルがあります。カラーを編集する際、RGB の値で調整することができます。

色域

プリンタやモニタなどのデバイスが再現または表示することのできる色の範囲。

色の管理

プリンタで印刷される色がモニタで表示される色と一致するように、コンピュータの設定を調整する処理。

色空間

色空間には、デバイス独立 (デバイス・インディペンデント)、デバイス依存 (デバイス・ディペンデント) の 2 種類があります。RGB を代表とするデバイス独立 (デバイス・インディペンデント) 色空間では、すべての可能な色を使って表示されます。デバイス依存 (デバイス・ディペンデント) 色空間は、特定のデバイスで再現することができる、デバイス独立色空間から集められた色で表示されます。デバイス依存色空間は、モニタ・プリンタ間などの複数デバイス間で色のマッピングを行い、色が忠実に再現されるようにします。

圧縮

オリジナルのデータよりも、サイズの小さい保存用のフォーマットにデータを変換すること。

コンタクト シート

複数の小さい画像をまとめたページのごとで、通常縦横に並べられます。

コンテキスト メニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。

コントラスト

画像における色と明るさの差の度合い。

変換

あるフォーマットから別のフォーマットにファイルを変更すること。例えば、ファイルのサイズを減らすために、ビットマップ(.bmp)をJPEG(.jpg)に変換することを指します。

トリミング

画像の不必要な領域を削除すること。

D

データベース

格納されたデータに素早くアクセスする電子ファイルシステムのこと。ACDSee データベースは、キャッシュされたサムネイル ファイルと情報ファイルの 2 つから構成されています。キャッシュされたサムネイル ファイルは、小さな画像のコピー(サムネイル)を含んでいます。情報ファイルは、システム上のファイルに関する詳細情報(説明、日付、作者、注記、キーワード、カテゴリなど)を含んでいます。

データベースの日付

ファイルのプロパティに用いられる、ACDSee データベースに保存された日付。

説明

ACDSee は説明を `descript.ion` という名前の隠しファイルに保存します。ファイル名やキャプションなどの説明は、この `descript.ion` ファイルに含まれます。

ドッキング

別のスクリーン領域に、ツールバー、ウィンドウ、ペインなどを結合すること。

DPI (ドット/インチ)

画像の解像度を示す単位。例えば、92 DPI = 横 92 ドット × 縦 92 ドット = 8,464 ドット/スクエアインチ となります。スクエアインチあたりドット数が増えるほど、高解像度、高画質になります。

ダイナミックレンジ

画像のダイナミックレンジは、その画像を撮影したデジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジと直接関係しています。デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジが大きいと、シャドウまたはハイライトのクリッピングを発生させず、最も暗い影と最も明るいハイライトを同時にキャプチャすることができます。(RAW 画像は、デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジを保持します。) 画像のトーン範囲を調整すると、モニタあるいは画像に表示されているダイナミックレンジを変更することになります。

E

明るさ

画像上の仮想光源の高さ。光源の高さと方向が一緒になって 3D のエンボス効果を生み出します。

エンコード

ファイルフォーマットを書き込み、あるいは保存すること。

暗号化

データを保護されたフォーマットに変換する方法。暗号化されたファイルを読解するには、パスワードまたはキーが必要です。

EXIF (エクステンシブル イメージ ファイル)

JPEG 圧縮の画像を主とする、情報保存の標準規格。ほとんどのデジタルカメラは EXIF 情報を作成し、画像ファイル内に埋め込みます。例えば、EXIF 情報にはシャッタースピードやフラッシュ発光の有無などの情報が含まれます。

エクスポート

あるアプリケーションから別のアプリケーションへ、データを移動すること。エクスポートされたデータは、別のアプリケーションが理解できるフォーマットに置き換えられます。

露出

画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが光に露出された時間の量を指します。

F

顔検出、顔認識

顔検出は、画像内の人物の顔を検出します。顔に名前を割り当てると、ACDSee は今後、人物を認識できるようになります。画像に含まれる人物の名前を使用して画像を検索することができます。

フェザー

画像のエッジを背景とブレンドし、画像をソフトに仕上げること。

ファイル一覧

ACDSee では、管理モードで現在表示されているファイルの一覧を指します。

ファイルフォーマット

ファイルの情報をエンコードするための方法。各種のファイルには、情報の管理方法を指定する異なったファイル形式があります。

フィルタ

エンボスやセピアなど、画像に効果を加えることができるプログラムのこと。

魚眼歪み

魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

G

ガンマ

モニタ、スキャナ、プリンタで表示することができる色の値の範囲。ガンマ値を補正すると、光のスペクトルの強さが増減します。

グレースケール画像

グレーの濃淡で構成されている画像。

H

ハイライト

ハイライトとは、画像の最も明るい部分、最も白い部分を指します。

ヒストグラム

画像のシャドウとハイライトのダイナミックレンジを表したグラフ。

HSL

色相 (H)、彩度 (S)、明るさ (L) の頭文語。

色相

画像内に見られる優勢な (主となる) 色。

I

画像エディタ

画像を作成したり、編集したりするために使うプログラムのこと。ACDSee は画像エディタです。

画像解像度

画像の詳細と色のクオリティ。モニタの表示能力やプリンタ印刷能力を表す際にも使われます。

画像ビューア

画像を表示するプログラム。ACDSee は画像ビューアです。

インポート

取り込み先のアプリケーションが理解できるフォーマットを使って、別のアプリケーションからデータを取り込むこと。

補間法

近隣のピクセルを使って、新しいピクセルの色を推定し、大きな画像にそれらの色を加える方法。例えば、補間法はデジタル画像を引き伸ばす際に使用されます。

IPTC

画像内に情報をエンコードする標準の方法で、説明的なコメント、著作権などの情報を画像と一緒に転送することができます。

J-K

ジャギー

解像度の低い画像に見られるギザギザのこと。画像のピクセルの見え方により、線や曲線が生じてギザギザに見えます。

L

レンズのヴァネット

画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。

可逆圧縮

画像のデータとクオリティのすべてを保持する圧縮の方法。

可逆回転と反転

JPEG 画像の回転方法で、画質が劣化しません。8 または 16 の倍数のサイズの画像を回転する際に最も適しています。

非可逆圧縮

不要なデータを削除した圧縮方法。データを削除するため、画質に影響を及ぼします。

M

マーキー

画像の選択範囲を示す破線で囲まれた枠のこと。ツールによっては、下にある画像に変化を加えて、あるいは加えることなく、マーキーのサイズを変更したり移動することができます。

メタデータ

画像の撮影状態を示す情報。例えば、デジタルカメラで撮影された画像のメタデータには、画像が撮影された日時、シャッタースピード、カメラの露出設定、フラッシュ発光の有無などが含まれます。

モノクロ画像

単一カラー（白黒）の画像。

N

ノイズ

同系色の範囲内で、様々なピクセルカラーが使用されている場合に生じます。ノイズは、ISO の感度を高く設定したり、スローなシャッタースピードで撮影される場合に発生します。

O

不透明度

画像または選択範囲に効果を適用する場合、どの程度見えるようにするかを決定します。不透明度の値を上げるとはっきりと見えるようになり、値を下げるとほとんど見えなくなります。

露出オーバー

露出が多すぎると、ハイライト過多になり色あせて見えるようになります。通常、デジタルカメラのセンサーを長時間光に露出しすぎることによって引き起こされます。

P-Q

パンニング

拡大された画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分を表示すること。

PDF

Portable Document Format の頭字語。フリーの Adobe Reader® ソフトウェアを使用することで、どのようなコンピュータでも PDF を見ることができます。

知覚

別の色の範囲内に収まるよう、全色をある色の範囲内に調整するレンダリングの方法。色そのものよりも他の色間との関係を忠実に保つため、写真に最も適した方法です。

遠近の歪み

ワイドアングルや望遠レンズによって引き起こされる歪みで、大型あるいは遠方のオブジェクトが歪んで見える現象を指します。例えば、高層ビルを撮影した場合、ビルは上から下まで幅が同じであっても、上の方が狭くなっているように見えます。

フォトアルバム

[アルバム](#)を参照してください。

写真エディタ

[画像エディタ](#)をご覧ください。

ピンクッション（糸巻き）歪み

ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。

ピクセル（画素）

縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のこと。

プラグイン

比較的大きなプログラムに機能を追加するソフトウェアモジュール。

PPI（インチ毎ピクセル）

画像の解像度を示す単位。インチあたりのピクセル数が増えるほど、高画質になります。

プリセット

プリセットには画像補正の設定が入っています。プリセットを作成して使用すると、すべての画像に適用する設定を統一できるようになります。

原色

混ぜ合わせることで他の色を生み出すことができる色のこと。例えば、RGB カラーモデルでは、赤 (R)、緑 (G)、青 (B) が原色となります。

R

ラスタ画像

長方形のピクセルグリッドで構成された画像。各ピクセルに、色、サイズ、画像の場所を定義した値が含まれています。そのため、サイズ変更すると画質に影響を与えます。

重要度

1 から 5 までの値を画像に割り当てることで、管理と検索がより簡単になります。

RAW

画像ファイル形式の1つ。RAW ファイルには、デジタルカメラのセンサーがキャプチャした、画像の全データが含まれています。RAW ファイルはカメラによって処理されないため、現像モードで RAW 画像を処理する必要があります。

再帰的

スライドショーのように反復を繰り返すことができるプログラムまたはタスクのこと。

赤目

デジタルカメラのフラッシュが被写体の網膜で反射したときに起きます。被写体の目が実際の色ではなく赤く見えます。

相対カラーメトリック

入力と出力デバイスの両方に忠実な色の範囲を使って色をマップするレンダリングの方法。色域外の色は単色にマッピングされるので、単色の画像または色が制限された画像に最適です。

レンダリング

画像をスクリーンに描くこと。

レンダリングの方法

ある色の範囲から別の色の範囲へ、色をマップするために使用される方法。レンダリングには[知覚](#)、[相対カラリメトリ](#)、[彩度](#)、[絶対カラリメトリ](#)の4種類があります。

解像度

ピクセル、DPI (Dots Per Inch) または PPI (Pixels Per Inch) で測定され、画像の質とクラリティを示します。

RGB

赤 (R)、緑 (G)、青 (B) の3色を原色として使用するカラーモデル。

波打つ乱れ

画像の圧縮やサイズ変更によって生じた、画像のエッジに見られる歪み。

S

彩度

色の純度。彩度の値が高くなるほど、グレーの色味が強くなります。

彩度 (レンダリングの方法)

ある色の範囲から別の色の範囲に、色の彩度を保ちながらレンダリングする方法。実際に表示される色よりも、色の鮮度が重要な画像に適しています。

選択

選択範囲ツールを使って定義した画像の領域。選択範囲の周りにはマーキーが表示されます。ACDSee ACD Photo Editor は選択範囲ツールを搭載しています。

セピア

セピア画像は、茶色のトーンで構成されています。古い写真のほとんどに、セピアトーンが見られます。

シャープネス

[シャープ化] ツールは画像をシャープにするために使用します。オリジナル画像はわずかにぼかされます。オリジナルの画像から、ぼかしのついたバージョンの画像が取り除かれるため、エッジがはっきり表示されるようになります。コントラストを増やすことで、エッジをよりシャープにすることが可能です。

シャープネス

画像のシャープネスは、主にデジタルカメラのレンズとセンサで決まります。画像のエッジ間にあるコントラストを増やすことで、シャープネスを加えることが可能です。

ショートカット メニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。コンテキスト メニューとも言います。

スライドショー

画像を連続して表示すること。のようなスライドショーソフトウェアを使用して ACDSee 画像グループをスライドショーとして表示することができます。

スマート ブラシ

対象を、特定の色、明るさ、または色と明るさの組み合わせに絞ったブラシ処理。スマート ブラシは、ピクセル値がブラシ ストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、調整をこれらのピクセルにのみ適用することができます。

ソフト プルーフ

コンピュータのモニタをブルーフ デバイスとして使用します。プリンタで実際どのような色で印刷されるかをシミュレーションしてモニタに表示します。

T

タグ付け

カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。クリック 1 回で写真にタグを付けることができます。同様に、タグ付けされたすべての画像をクリック 1 回で表示することができます。

サムネイル

フル サイズ画像の縮小版プレビュー。

タイムスタンプ

ファイルに付随する日付と時間。

トランジション

スライドショー、スクリーンセーバー、動画において、画像や動画のセグメント間に使用される特殊効果のこと。

U

露出アンダー

露出アンダーの画像には、影がたくさん含まれています。通常、デジタルカメラのセンサー光に露出する時間が足りないとこの現象が起こります。

V

ベクタ画像

ピクセルではなく個々のオブジェクトから構成されている画像のこと。オブジェクトは数学的な方程式で定義されます。ベクタ画像のサイズを変更しても、画像のクラリティと画質に影響はありません。

W

透かし

画像の背景に埋め込まれたテキストやグラフィックのことで、通常、著作権保護を目的として使用されます。

ホワイトバランス

カラーキャストを削除して、画像に適切な光を与えます。撮影する前にカメラの設定を適切なホワイトバランスに設定するか、撮影後に ACDSee を使用してホワイトバランスを補正します。

ホワイトポイント

画像の最も明るい領域。ホワイトポイントを調整して、画像の明るさをコントロールすることができます。

X-Z

XML (拡張可能マークアップ言語)

Webドキュメントに使用される標準言語。

ズーム

ACDSeeでは、ズームは画像表示の拡大/縮小プロセス。拡大すると画像の一部を細かく表示することができます。縮小すると画像全体、あるいは画像のより広い範囲を表示することができます。

索引

L

[ファイル一覧] ペイン

表示する、管理モード

表示する、サムネイル

表示する 54

3

365 モード	30
アカウントの作成	411
フォルダの作成	413
フォルダを公開または非公開にする	413
プライバシー設定	413
画像のアップロード	30
重要度	414

A

ACDSee	
データベース	152
ユーザーインターフェース	18
画像のインポート	33
ACDSee Mobile Sync	42
ACDSee アクション	289
ACDSee とファイルを関連付ける	487

C

CD	
CD/DVD 管理 オプションを設定する	430
フォトディスク	186
写真の取得	38-39

D

D アイコン	46, 426
descript.ion ファイル	158
DVD	
CD/DVD 管理 オプションを設定する	430

E

E アイコン	46, 426
editing	
correcting shadows and highlights	381
EXIF	
EXIF 情報を追加する	83, 86
一括セット情報	83
表示	79

H		
HDR		286
Hi Color		189
highlights		381
HSL		390
HTML アルバム		116
I		
IPTC		
IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する		95
IPTC 情報を追加する		83, 86
表示		79
J		
JPEG オプション		452
L		
LCE		388
Light EQ™		381
local contrast enhancement		381
M		
mobile sync		42
P		
PicaView		417
R		
RAW 画像		
参照する		52
現像する		193
現像の設定を削除する		199
表示する		172
RGB		395
T		
True Color		189
U		
USB 大容量ストレージ デバイス		
概要		34
W		
Web と同期		412
あ		
アクション		289
アドバンスカラー		390
アングル効果		357
アンティーク効果		344

い

イメージウェル	106
インポート	
写真	34
インポートする	
画像や写真	33

う

ヴェネット効果	235, 319
ウォータードロップ効果	365
ウォーター効果	364

え

エッジ検出効果	335
エンボス効果	335

お

オイルペイント効果	344
オートン効果	345

オプション

ACDSee Quick View	186
カタログ ペイン	429
カレンダー ペイン	429
コンタクトシート	124
データベース	433
ファイル管理	431
フォルダ	428
プレビュー ペイン	427
全般	418
管理モード	419
表示モード	435

オリジナル

表示する	188
オリジナル画像の復元	254
お気に入りペイン	51

か

ガイドライン	264
--------	-----

カスタマイズ

カタログ ペイン	429
カレンダー ペイン	429
キーボードショートカット	451
ツールバー	446
データベース	433

ファイルの管理	431
ファイル一覧 ペイン	423
フォルダ ペイン	428
プレビュー ペイン	427
ペインを移動する	22
管理モード作業領域	445
表示モード	435
カタログ ペイン	
カスタマイズ	429
カタログ化	
ファイル	65
重要度の割り当て	69
カテゴリ	
割り当てる	69
管理	68
カテゴリとカラー ラベルを設定する	72
カテゴリと重要度を設定する	69
カラー	
カラープロファイルを変更する	136
カラーマネージメント オプションを設定する	432
色深度を変更する	189
カラースキーム	420, 452
カラーラベル	72
カレンダー ペイン	49
き	
キーボード ショートカット	
カスタマイズ	451
管理モード	453
表示モード	461
キーワード	87
キーワードのインポート	89
キーワードのエクスポート	89
キャンバス	279
く	
グラナイト効果	339
グループ化	
処理済み状態	56
グレースケール	189
クレヨン画効果	332
クロスハッチ効果	333

こ

コピー

ファイル	90
------	----

コンタクトシート

作成	118
----	-----

印刷	124
----	-----

さ

サイズ変更

1枚の画像	374
-------	-----

サウンド

画像に追加	182
-------	-----

録音	182
----	-----

サムネイル

再構築	163
-----	-----

縦横比オプションを設定する	426
---------------	-----

表示オプションを設定する	425
--------------	-----

し

ジオメトリタブ

239

しきい値効果

362

シフト効果

356

シャープネス

402

ショートカット

マウス	470
-----	-----

管理モード	453
-------	-----

表示モード	461
-------	-----

す

ズームする

レベルの設定	190
--------	-----

自動	190
----	-----

スクリーン キャプチャ

106

スクリーンセーバー

作成	108
----	-----

共有	113
----	-----

ステンドグラス

360

スライドショー

共有	113
----	-----

画像送り	175
------	-----

設定	111
----	-----

せ

セカンドモニタ	
ペインの移動	22
セピア効果	354

そ

ソーベル効果	358
ソフト フォーカスを調整する	230
ソフトフォーカス	230
ソラリゼーション効果	359

た

タイムスタンプ	96
タイムスタンプを付ける	96
ダウンロード	
ACDSee から	33
CD から	38-39
デジカメから	34

つ

ツールバー	446
-------	-----

て

ディテール タブ	236
データベース	
descript.ion ファイル	158
インポート	157
エクスポート	159
オプション	433
キーワード	87
サムネイルの再構築	163
ドライブをマップする	162
バックアップする	159
ヒント	160
ファイルのカタログ化	155
ファイルを隔離する	163
フォルダを除外する	155
メンテナンス	161
変換	157
復元する	161
情報を追加する	83, 86
最適化する	162
概要	152
データベースからフォルダを除外する	155

データベースを最適化する	162
データベース情報の復元	161
データベース情報をインポートする	157
データベース情報をエクスポートする	159
テーマ	
カラー	420, 452
テーマを表示	420, 452
テキスト	
ファイル一覧	159
ページに追加する (印刷)	123
画像に追加する	308
表示モードで画像に表示する	175
テキスト レイヤー	278
デジタルカメラ	
プラグイン	34
画像の取得	34
デュアル モニタ	
ペインの移動	22
と	
トリミング	243, 371
な	
ナビゲーター	191
ね	
ネオン効果	338
ネガティブ効果	343
の	
ノイズ	
概要	405
画像から削除	405
画像に追加	407
は	
バーレルの歪み	372
ハイライト	388
バックアップ	
データベース	159
バックアップのヒント	160
ひ	
ピクセル サイズ変更オプション	375
ピクセルターゲット	257
ピクセル爆発効果	348

ヒストグラム	173,400
ビデオファイル	
フレームを抽出する	181
ふ	
ファイル	
ACDSee と関連付ける	487
カタログ化	65
コピーまたは移動する	90
ディテール	54
データベースでカタログ化する	155
フォルダを同期する	97
プロパティ	78
リストにする	159
並べ替える	57
入れ替える	91
名前の変更、フォルダ	
名前の変更、名前の変更	
ファイルまたはフォルダ 92	
圧縮する	119
日付を変更する	96
管理 オプション	431
貼り付ける、フォルダ	
貼り付ける 91	
選択する、選択する	
ファイル 58	
重複を検索する	104
隔離する	163
ファイルのカタログ化	155
ファイルの上書き	91
ファイルの入れ替え	91
ファイルを一覧表示する	159
ファイルを並べ替える	57
ファイルを圧縮する	119
ファイルを隔離する	163
ファイル一覧 ペイン	
カスタマイズする	423
サムネイル表示 オプションを設定する	425
ファイル一覧 オプションを設定する	423
フルスクリーン	47
使用する	44

詳細表示 オプションを設定する	427
フォーカス	230
フォトディスク	186
フォルダ	
データベースから除外する	155
ファイルの同期	97
参照する	48
表示モードで同期する	185
フォルダ ペイン	
オプション	428
使用する	48
フッター	
ページに印刷	123
表示モード	175
ブラウズ検索	102
プラグイン	
プロパティを表示する	164
概要	163
管理する	164
ブラシ	258
フルスクリーン モード	25
プレビュー ペイン	
カスタマイズする	427
使用する	59
プロパティ ペイン	
オプション	430
使用する	78
へ	
ペイン	
既定のレイアウトにリセットする	20
移動	21
自動非表示	445
ヘッダー	
ページに印刷する	123
表示モード	175
ペンキ画効果	333
ほ	
ぼかし	403
ポスタライズ効果	349
ポラロイド	330

ホワイトバランス	389
ま	
マウス ショートカット	470
マスク	272
み	
ミラー効果	342
め	
メタデータ	
メタデータの削除	95
も	
モード	
モードの切り替え	20
モザイク効果	349
モノクロ	189
ゆ	
ユーザーインターフェース	18
ら	
ラベル	
割り当てる	72
り	
リムーバル デバイス	34
る	
ルーラー	264
れ	
レイヤー	264
レイヤーの位置合わせ	288
レイヤーペイン	265
レイヤーマスク	272
レイヤー効果	280
レトロ効果	342
わ	
ワイルドカード	102
漢字	
一括エクスポート	
方法	125
一括処理	
概要	125
一括編集	
カラープロファイル	136

サイズ変更、複数画像	
サイズの変更、サイズ変更	
複数画像 131	
一括処理	137
反転	130
回転	130
露出	133
人物グループ	89
人物マネージャ	89
位置合わせ	288
元に戻す/やり直し	253
光線ぼかし効果	351
共有	388
ACDSee で共有	106
HTML アルバム	116
PDF、PDF	115
アーカイブ	119
コンタクトシート	118
スクリーンセーバー	113
スライドショー	113
画像をメールで送信する	107-108
写真	330
テンプレートの名前を変更する	39
写真をインポートする	
CD から	38
ディスクから	39
デジカメから	34
写真を取り込む	33
インポート	33
写真修復ツール	247, 304
処理モード	
現像	193
処理済み状態	
グループ化	56
切り抜き後の周辺光量補正を調整する	235
切り替える	
モード	20
削除	
メタデータ	95
勾配	260

印刷	
カスタム印刷フォーマット	122
コンタクトシート オプション	124
サイズと位置を設定する	123
ページのテキスト	123
反転	
編集で	370
複数の画像	130
同期	
画像のアップロード	412
同期する	
フォルダ間のファイル	97
表示モードとフォルダ	185
名前の変更	
写真の取得	39
複数のファイル、一括編集	
名前の変更、複数画像	
名前の変更 135	
周波数分離	283
回転	
現像モードで	242
管理および表示モードで	60, 172
編集モードで	369
複数の画像	130
地形図効果	363
壁紙	185
変換	
descript.ion ファイル	158
グレースケールへ	189
データベース	157
画像を他のファイルフォーマットへ	129
変更の確定	189
多焦点合成	284
太陽スポット効果	361
整理する	
カテゴリを割り当てる	69
カテゴリを管理する	68
カラーラベルを割り当てる	72
新しい画像	47, 268

日付	
複数ファイルを変更	96
明るさ	377
明るさレベル	378
明るさマスク	277
明瞭度	408
曲がった写真	242
曲がった写真を真っ直ぐにする	242
枠	315
柔毛エッジ効果	336
検索	
ワイルドカード	102
検索 ペイン	100
検索する	
ACDSeeで	98
イメージウェル	106
クイック検索オプションを設定する	420
ファイル名のパターン	102
検索ペインで	100
重複ファイル	104
波効果	366
波紋効果	353
消去する	95
渦巻き効果	361
特殊効果	
アングル	357
アンティーク	344
ヴィネット	319
ウォーター	364
ウォータードロップ	365
エッジ検出	335
エンボス	335
オイルペイント	344
カラーエッジ	330
グラナイト	339
クレヨン画	332
クロスハッチ	333
コラーージュ	330
しきい値	362
シフト	356

ステンドグラス	360
セピア	354
ソーベル	358
ソラリゼーション	359
ネオン	338
ネガティブ	343
ピクセル爆発	348
ブラインド	324
ペンキ画	333
ぼかし	345
ポスタライズ	349
ミラー	342
モザイク	349
ユーザー定義	368
光線ぼかし	351
地形図	363
太陽スポット	361
曇ガラス	323
柔毛エッジ	336
概要	323
波	366
波紋	353
渦巻き	361
等高線	331
織り	366
膨張	326
色ずれ	342
輪郭	346
金属シート	356
鉛筆画	347
雨	352
風	367
飛散タイル	354
現像	193
アドバンスカラーグループ	225
グループを回転&傾きを直す	242
ジオメトリタブ	239
シャープグループ	237
スプリットトーン	234, 398
ソフトフォーカスグループ	230

ディテールタブ	236
トーンカーブグループ	230
トリミンググループ	243
ノイズ除去グループ	237
プリセット	202
ホワイトバランスグループ	219
レンズの歪みグループ	241
全般グループ	219
出力色空間グループ	235
切り抜き後の周辺光量補正グループ	235
調整タブ	218
赤目補正	246
透視グループ	243
現像する	
回転&傾きを直す	242
現像について	
カラーを調整する	225
ソフトフォーカス	230
トーンカーブを調整する	230
ノイズ除去	237
ハイライト、シャドウ、色相、彩度	234, 398
ホワイトバランスを調整する	219
レンズの歪みを補正する	241
全般調整を使用する	219
切り抜き後の周辺光量補正	235
画像をシャープにする	237
画像をトリミングする	243
色出力空間を選択する	235
現像の詳細	
プリセットの管理	202
現像モード	28
画像	
アップロード	412
インポート	34
インポートする	33
オーディオを追加する	182
コピーする、コピー	
画像 91	

すばやく検索する、カテゴリ	
カテゴリのない画像の検索、整理する	
画像をすばやく検索する 106	
ダウンロード	33
パンニング	192
ビデオファイルから抽出する	181
メールで送信する	107-108
別のフォーマットに変換する	129
比較する	60
現像する	196
現像設定を共有する	198, 208
表示する	25
複数の画像をまとめて現像する	150
画像にタグを付ける	94
画像のオーディオを録音する	182
画像をメールで送信する	107-108
画像を作成	47, 268
画像を比較する	60
画像送り	175
移動する	
ファイル	90
管理モード ペイン	21
空の画像	47, 268
管理モード	
RAW ファイル	52
オプション	419
お気に入りペイン	51
キーボードショートカット	453
クイック検索バー、検索する	
クイック検索バー 99	
ツールバーをカスタマイズする	446
ファイル一覧 ペイン	44
フォルダ ペイン	48
ブラウザ検索 ペイン	102
プロパティ ペイン	78
マップ ペイン、ファイル	
マップ座標、マップ ペイン	
使用する 81	
作業領域をカスタマイズする	445
使用する	20

検索 ペイン	100
画像バスケット、画像バスケット	63
編集	
アドバンスカラー	390
ヴィネット	319
カラーバランス	395
サイズ変更	374
シャープネス	402
テキスト	308
トーンカーブ	380
トリミング	371
ノイズの除去	405
ノイズを追加する	407
プリセット	252
ぼかし	403
モノクロに変換	396
レンズの歪み補正	372
修復ツール	304
反転する	370
回転	369
明瞭度	408
枠	315
自動レベル	380
赤目補正	304
透かし	314
透視補正	372
選択ツール	296
編集する	249
HSL 値	390
RGB 値	395
エディタの設定	450
クローン	247, 304
サイズ変更	374
シャープネス	402
シャドウとハイライトを補正する	388
ツールバー	446
テキストを追加する	308
トーンカーブ	380
トリミング	371
ノイズを追加する	407

ノイズ除去	405
バレルの歪みを補正する	372
ぼかし	403
ライトのレベル	378
修復する	304
反転する	370
回転	369
明るさ	377
明瞭度	408
特殊効果	323
赤目を補正する	246, 304
透視の歪みを補正する	372
針山の歪みを補正する	372
露出	380
魚眼の歪みを補正する	372
編集ブラシ	258
編集モード	28
編集モード、現像モード	28
織り効果	366
美肌効果ツール	304
自動ブレンド	288
自動位置合わせ	288
自然な彩度	219, 390
虫めがね	192
表示する	
ファイルのプロパティ	177
ファイル一覧のファイルの種類、[ファイル一覧]ペイン	
ファイルにフィルタを適用する、ファイルにフィルタを適用する	55
フルスクリーン	25
別のアプリケーションの画像	188
画像	25
表示モードでテキストを画像に表示	175
表示モード	
カスタマイズ	435
キーボードショートカット	461
ズームレベルを設定する	190
テキスト表示	175
ナビゲーター	191
パンニング	192
ヒストグラム	173, 400

フォルダを同期する	185
フルスクリーンモード	25
マウスショートカット	470
使用する	25
画像をズームする	189
画像送り	175
自動ズーム	190
虫めがね	192
表示オプションの設定	436
複数画像	
露出の調整	133
詳細表示	54
詳細表示 オプション	427
認証	173
調整タブについて	218
赤目補正	246, 304
輪郭効果	346
透かし	314
透明度を調整する	408
透視の歪み	372
選択する	
画像の一部	176
選択ツール	296
重複ファインダー	104
重要度	
割り当てる	69
金属シート効果	356
針山の歪み	372
鉛筆画効果	347
開始フォルダ	420
既定	420
開発: Light EQ™	220
開発: 照明グループ	220
開発: 照明の調整	220
雨効果	352
露出	
自動で調整	380
複数の画像を調整する	133
音声	
画像に追加する	182

画像に録音する	182
顔	173
顔検出	53, 89, 173
顔認証	53, 173
顔認識	173
風効果	367
飛散タイル効果	354
魚眼の歪み	372